

富士宮市 男女共同参画に関するアンケート  
調査結果報告書

令和元年10月

富士宮市





# 目次

<b>I</b>	<b>調査概要</b> .....	<b>1</b>
	(1) 調査目的 .....	1
	(2) 実施概要 .....	1
	(3) 調査項目 .....	2
	(4) 報告書を見る際の注意点 .....	4
<b>II</b>	<b>調査結果【市民意識調査】</b> .....	<b>5</b>
	(1) 属性について .....	5
	(2) 社会における制度・慣行について .....	18
	(3) 男女共同参画に関する教育・学習について .....	29
	(4) 意思決定過程への女性の参画について .....	31
	(5) 地域社会とのつながりについて .....	36
	(6) 用語について .....	42
	(7) 男女がともに能力を発揮できる就業環境について .....	46
	(8) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について .....	54
	(9) 性的マイノリティについて .....	98
<b>III</b>	<b>調査結果【事業所意識調査】</b> .....	<b>103</b>
	(1) 事業所の状況について .....	103
	(2) 女性の雇用について .....	117
	(3) 各種ハラスメント対策について .....	126
	(4) 育児・介護休業制度について .....	128
	(5) 仕事と家庭の両立支援について .....	141
	(6) 性的マイノリティについて .....	144
<b>IV</b>	<b>調査結果【市民意識調査（中学生用）】</b> .....	<b>145</b>
	(1) 属性について .....	145
	(2) 学校生活での平等感について .....	148
	(3) 友達との関係について .....	163
	(4) 親との関係について .....	171
	(5) 家庭生活について .....	181
	(6) 「女らしさ」「男らしさ」などについて .....	209
	(7) 性的マイノリティについて .....	223
	(8) 将来のことについて .....	225
<b>V</b>	<b>調査票【市民意識調査】</b> .....	<b>231</b>
<b>VI</b>	<b>調査票【事業所意識調査】</b> .....	<b>243</b>
<b>VII</b>	<b>調査票【市民意識調査（中学生用）】</b> .....	<b>251</b>



## I 調査概要

### (1) 調査目的

従来からの性別に基づく個別的な役割分担意識をなくし、男女が互いに個人として尊重し合い、社会の対等な構成員としてあらゆる分野における活動に参画できる男女共同参画の実現を目指した第3次男女共同参画プラン（前期計画：平成28年度から令和2年度）について、施策の推進状況を図り、社会状況の変化にあわせた見直し（後期計画：令和3年度から令和7年度）を行うための基礎資料とすることを目的として実施しました。

### (2) 実施概要

	市民意識調査	事業所意識調査	市民意識調査 (中学生用)
対象者	市内在住の 満20歳以上の男女	市内事業所	公立中学校13校 私立中学校1校
対象者数	1,300人	200事業所	1,194人
抽出方法	住民基本台帳による 無作為抽出	無作為抽出	中学2年生全数
調査方法	郵送配付・郵送回収	郵送配付・郵送回収	施設配付・施設回収
調査期間	令和元年 7月26日～8月9日	令和元年 7月26日～8月9日	令和元年 7月11日～7月24日
回収数	755件	97件	1,122件
有効回収数	751件	97件	947件
有効回収率	57.8%	48.5%	84.4%

### (3) 調査項目

市民意識調査	
(1) 属性について	
問1	中学校区
問2	性別
問3	年齢
問4	職業
問5	家族構成
問6	婚姻状況
問7	家庭の就業状況
問8	子どもの有無
問9	転職等の経験の有無
問10	転職等の理由
(2) 社会における制度・慣行について	
問11	「男女共同参画」の認知
問12	「男は仕事、女は家庭」という考え方への意見
問13	高齢者の介護に対する分担の考え方
問14	男女平等になっているかの感じ方
(3) 男女共同参画に関する教育・学習について	
問15	子どもの育て方への考え方
問16	子どもの進路や職業の選択の性別の意識
(4) 意思決定過程への女性の参画について	
問17	地域活動において女性が代表や運営に携わる立場になることへの考え方
(5) 地域社会とのつながりについて	
問18	地域での現在と今後の活動状況
(6) 用語について	
問19	用語についての認知
(7) 男女がともに能力を発揮できる就業環境について	
問20	女性が働くことへの考え方
問21	女性が継続して働く上での課題
(8) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について	
問22	主にしている人
問23	介護が必要になった時に介護してほしい人
問24	ワーク・ライフ・バランスを実現するために職場で必要だと思う取り組み
問25	希望する「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度
問26	現実（現状）に最も近いもの
(9) 性的マイノリティについて	
問27	性的マイノリティ（またはLGBT）の認知
問28	性的マイノリティの方々にとって生活しづらい社会であるかの感じ方
問29	性的マイノリティの方々が生かされるために必要な対策

事業所意識調査	
(1) 事業所の状況について	
問1	事業分類
問2	常用雇用者数
問3	派遣社員数
問4	労働組合の有無
問5	平均勤続年数
問6	雇用者数の推移
(2) 女性の雇用について	
問7	管理職及び女性管理職の人数
問8	女性職員を管理職に登用することへの考え方
問9	女性の管理職への登用を増やすための課題
問10	女性を活用するための取り組みとして実施しているもの
(3) 各種ハラスメント対策について	
問11	職場における各種ハラスメント対策
(4) 育児・介護休業制度について	
問12	育児休業制度・介護休業制度の状況
問13	育児・介護休業制度が定着するための主な課題
(5) 仕事と家庭の両立支援について	
問14	仕事と家庭の両立支援として実施しているもの
(6) 性的マイノリティについて	
問15	性的マイノリティの方々にとって働きやすい職場づくりの取り組み
問16	性的マイノリティの方々にとって働きやすい職場にするために市や県に支援してほしいこと

市民意識調査（中学生用）	
（１）属性について	
問 1	性別
問 2	家族構成
問 3	働いている家族
（２）学校生活での平等感について	
問 4	学校またはクラスであること
問 5	適していると思う性別
問 6	技術・家庭科の授業で思うこと
（３）友達との関係について	
問 7	好きな異性に希望すること
問 8	自分になりたいタイプ
問 9	好きな異性の友達のタイプ
（４）親との関係について	
問10	いちばんあてはまると思う人
（５）家庭生活について	
問11	身の回りのことを行う頻度
問12	主にしている人
（６）「女らしさ」「男らしさ」などについて	
問13	女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われたことの有無
問13-1	女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われた時の感じ方
問13-2	女・男「らしく、なのに、のくせに」と言う人
問14	あてはまると思う性別
問15	「女らしく」「男らしく」の意識の有無
問16	「男女共同参画社会」の認知
（７）性的マイノリティについて	
問17	性的マイノリティ（またはLGBT）の認知
問18	性的マイノリティの方々にとって暮らしやすい社会の実現の必要性
（８）将来のことについて	
問19	将来働く理由の考え方
問20	進路や職業の選択の性別の意識
問21	結婚の考え方
問22	女性が働くことへの考え方

#### （４）報告書を見る際の注意点

- ①基数となるべき実数は調査数nとして記載しています。
- ②比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。  
そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。
- ③複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

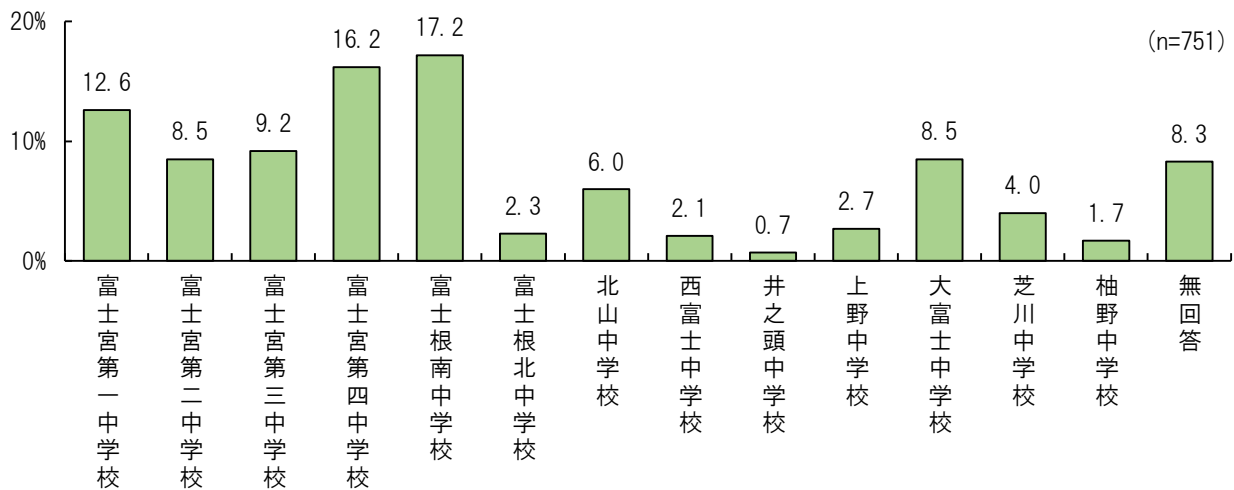
## II 調査結果【市民意識調査】

### (1) 属性について

#### 1. 中学校区

問1 あなたの地区の中学校区はどこですか。(1つに○)

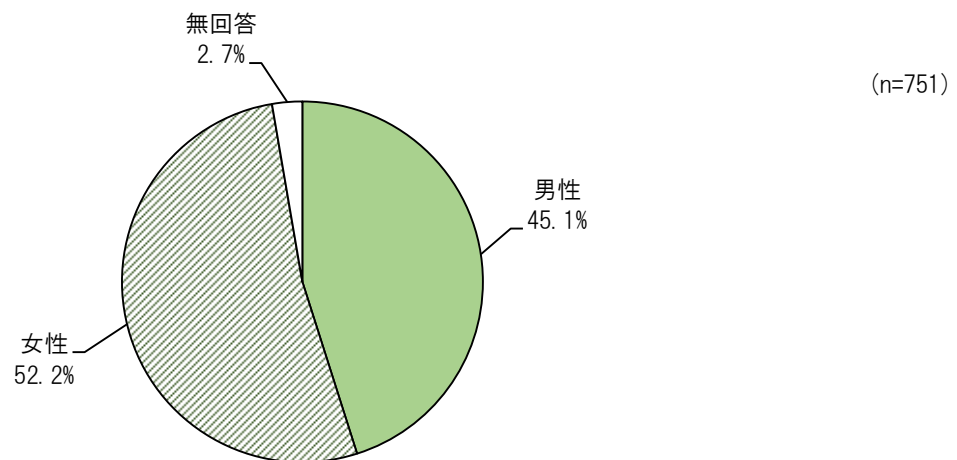
中学校区では、「富士根南中学校」が17.2%と最も多く、次いで「富士宮第四中学校」が16.2%、「富士宮第一中学校」が12.6%などとなっています。



#### 2. 性別

問2 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

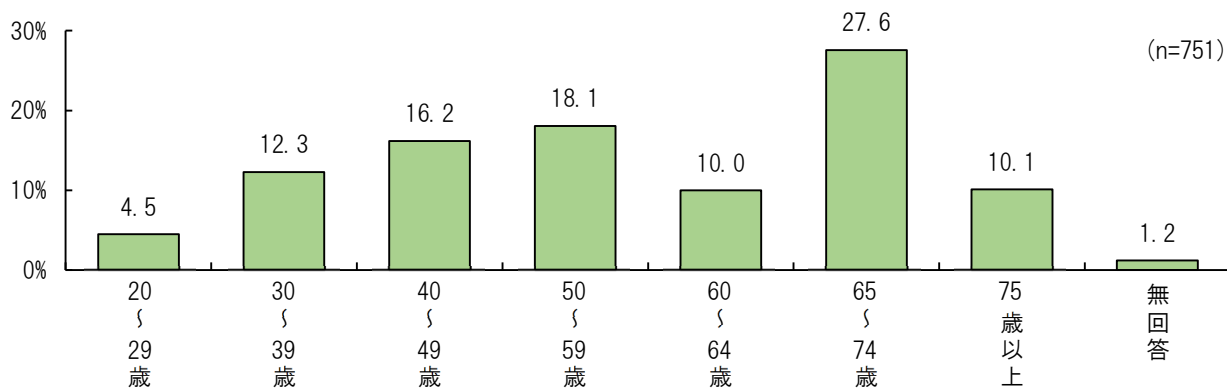
性別では、「男性」が45.1%、「女性」が52.2%となっています。



### 3. 年齢

問3 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。 (1つに○)

年齢では、「65～74歳」が27.6%と最も多く、次いで「50～59歳」が18.1%、「40～49歳」が16.2%などとなっています。





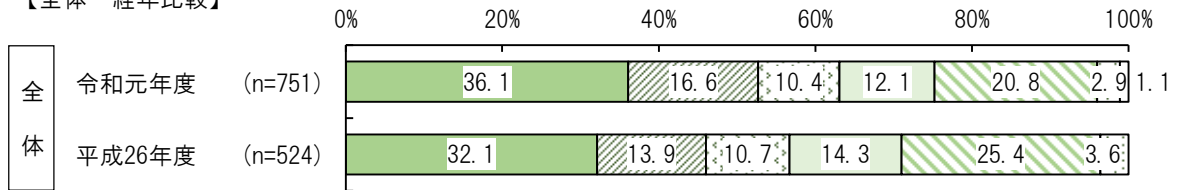
## 4. 職業

問4 あなたの職業はどれにあてはまりますか。(1つに○)

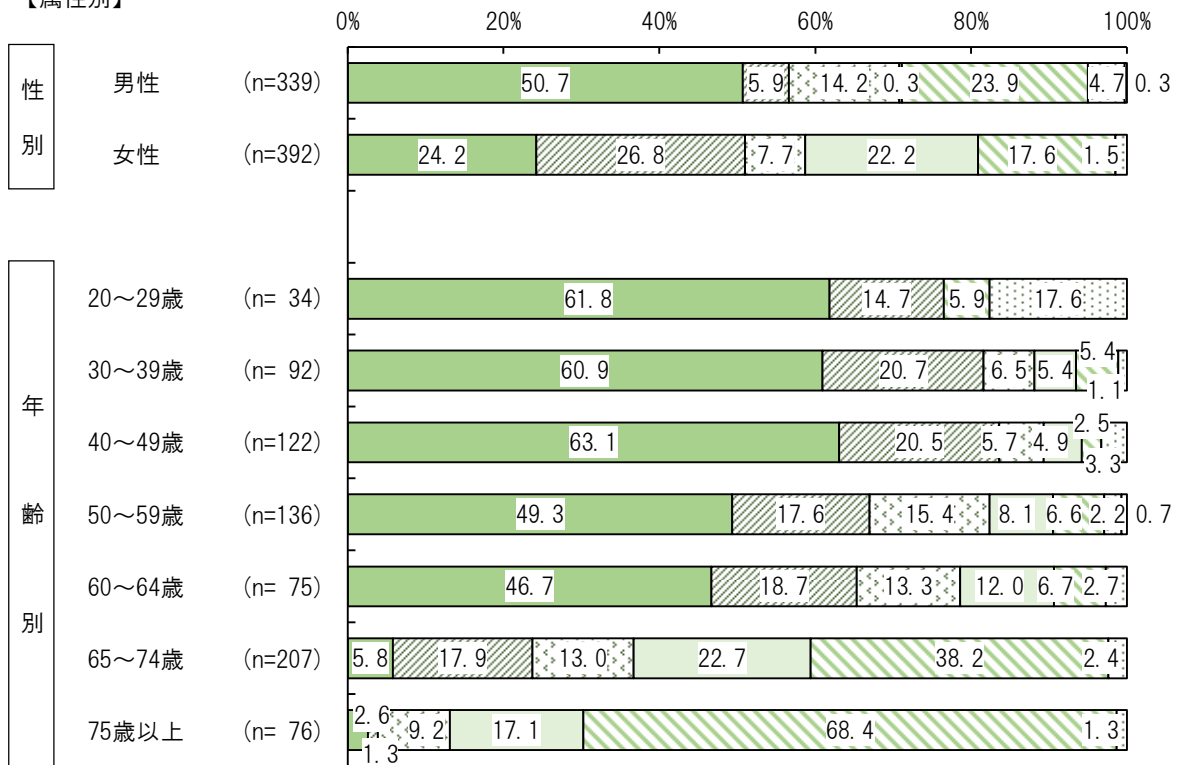
職業では、「勤め人(フルタイム)」が36.1%と最も多く、次いで「無職」が20.8%、「勤め人(パートタイム)」が16.6%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



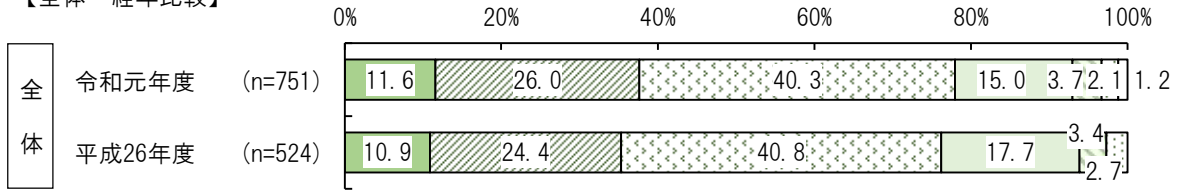
## 5. 家族構成

問5 あなたの家族構成はどれにあてはまりますか。 (1つに○)

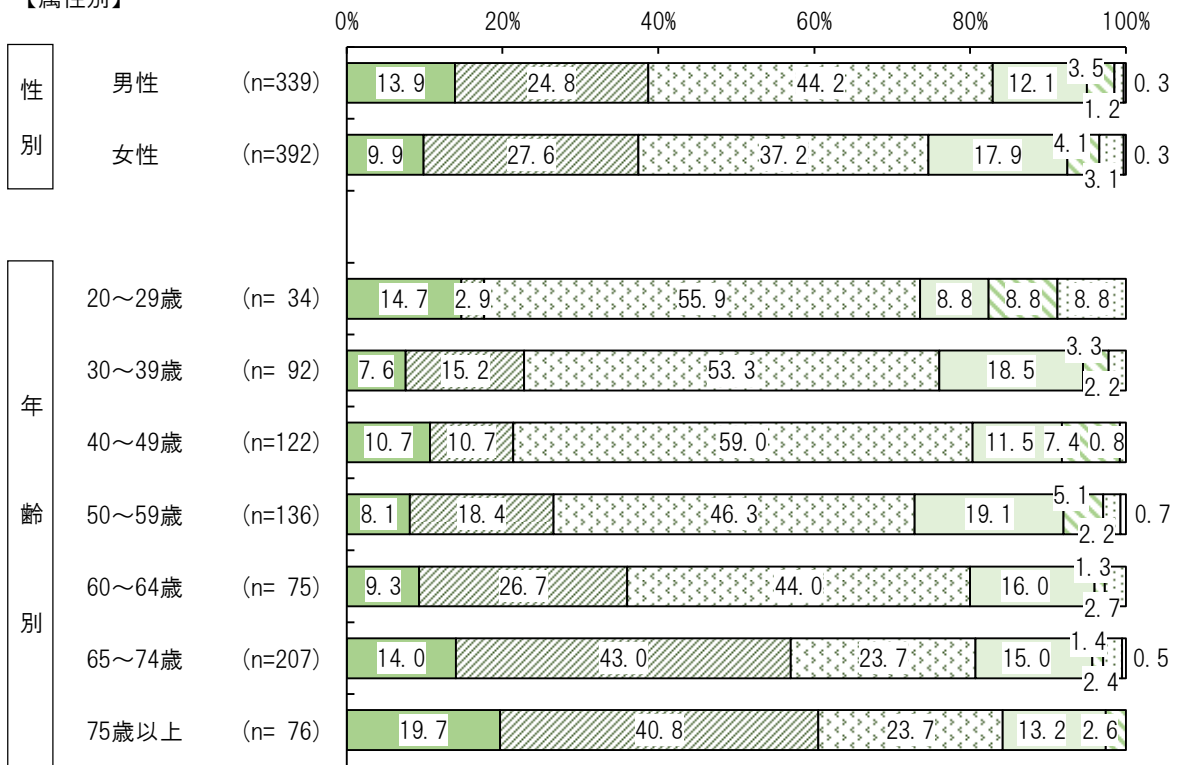
家族構成では、「親と子の二世帯世帯」が40.3%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」が26.0%、「親・子・孫の三世帯世帯」が15.0%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



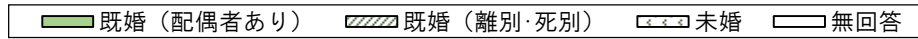
## 6. 婚姻状況

問6 あなたは結婚されていますか。

(1つに○)

婚姻状況では、「既婚（配偶者あり）」が72.6%、「既婚（離別・死別）」が14.4%、「未婚」が12.3%となっています。

年齢別にみると、“20～29歳”では「未婚」が88.2%と最も多くなっています。

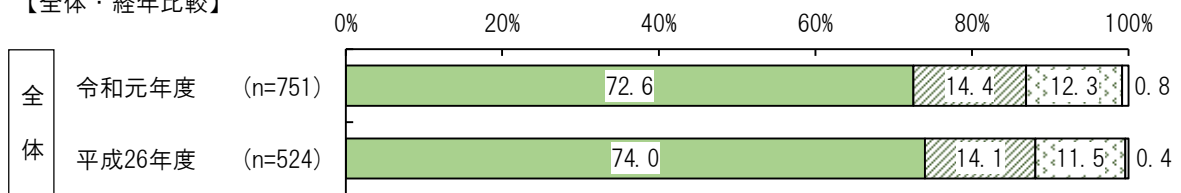


\* 選択肢「既婚（配偶者あり）」は平成26年度では「結婚している（事実婚を含む）」

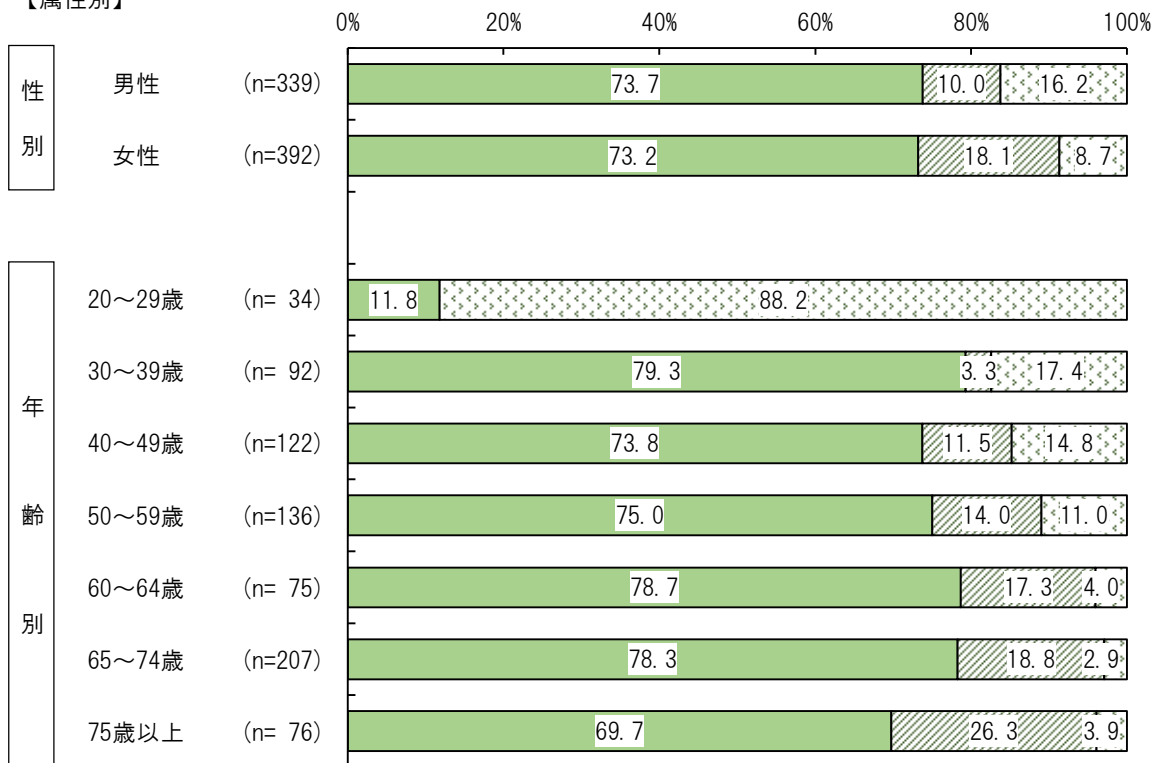
\* 選択肢「既婚（離別・死別）」は平成26年度では「結婚していたが、離別・死別した」

\* 選択肢「未婚」は平成26年度では「結婚していない」

【全体・経年比較】



【属性別】

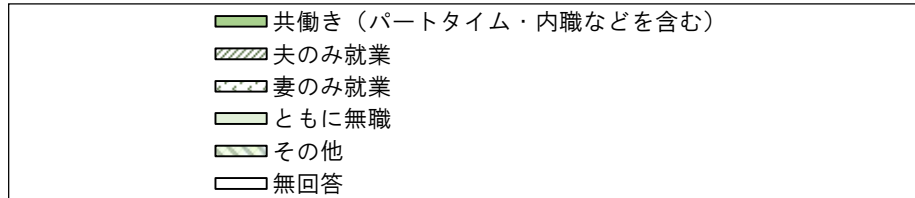


## 7. 家庭の就業状況

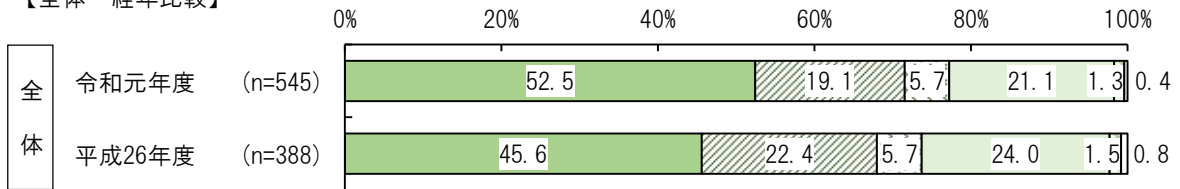
問6で「1 既婚（配偶者あり）」に○をつけた方にうかがいます。

問7 あなたの家庭は夫婦とも職業をお持ちの家庭ですか。それとも、どちらか一方が働いている家庭ですか。 (1つに○)

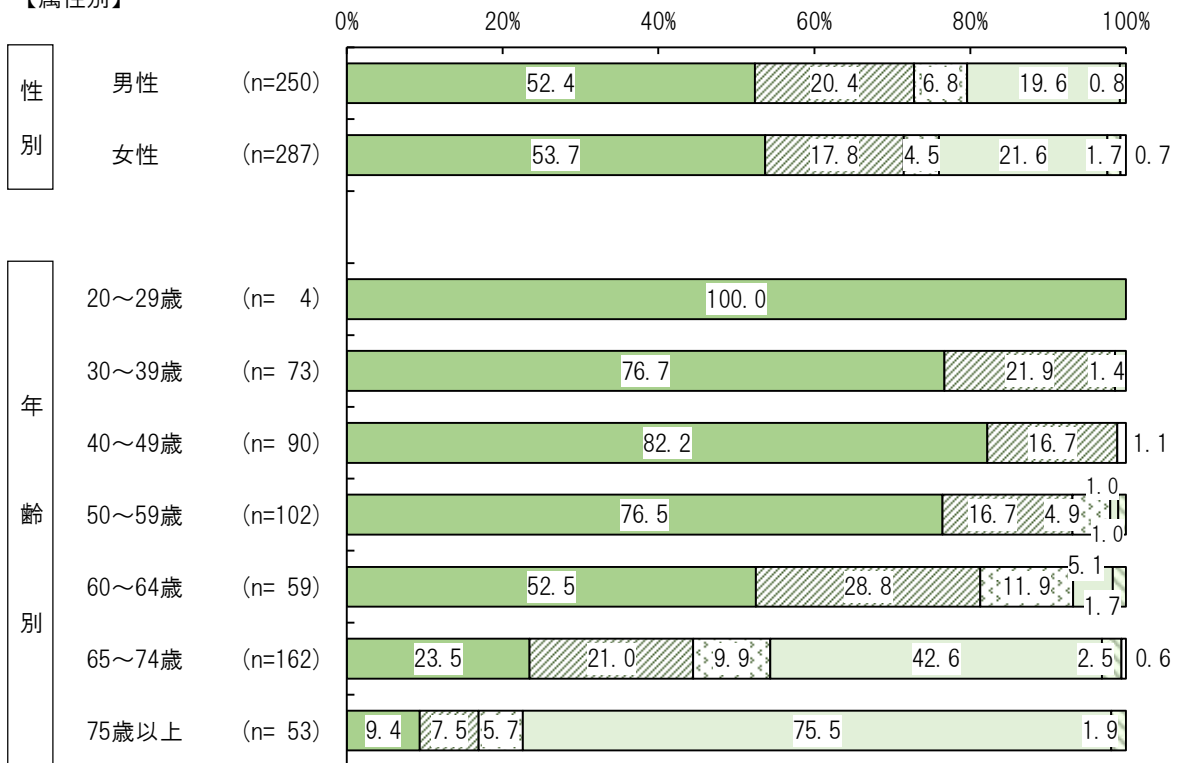
家庭の就業状況では、「共働き（パートタイム・内職などを含む）」が52.5%と最も多く、次いで「ともに無職」が21.1%、「夫のみ就業」が19.1%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

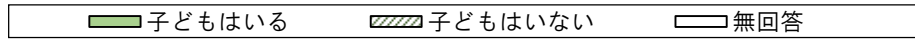


## 8. 子どもの有無

問8 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(別居を含む) (1つに○)

子どもの有無では、「子どもはいる」が80.6%、「子どもはいない」が18.5%となっています。

年齢別にみると、“20～29歳”では「子どもはいない」が91.2%と「子どもはいる」よりも多くなっています。

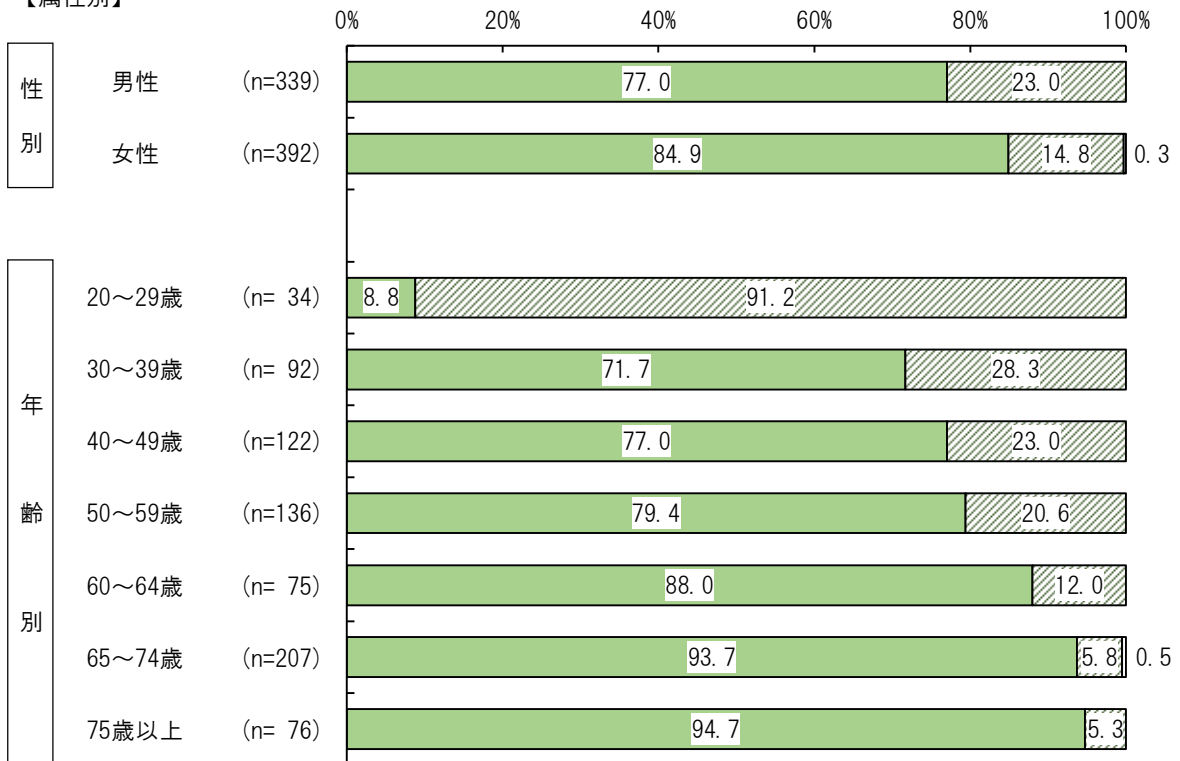


\*選択肢「子どもはいる」は平成26年度では「子どもがいる」

【全体・経年比較】



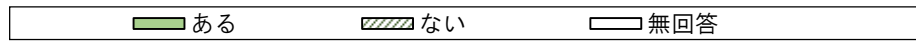
【属性別】



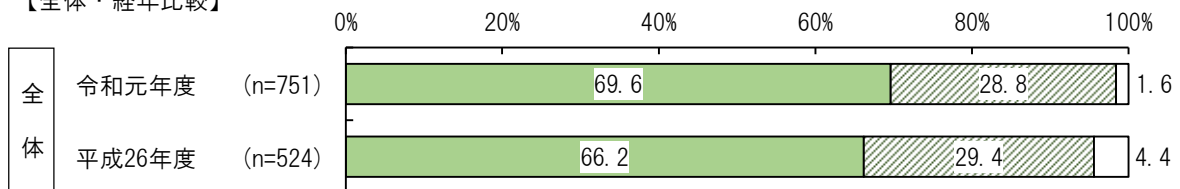
## 9. 転職等の経験の有無

問9 あなたは今までに、仕事を辞めたり、中断したり、転職したことがありますか。(定年退職は含まない) (1つに○)

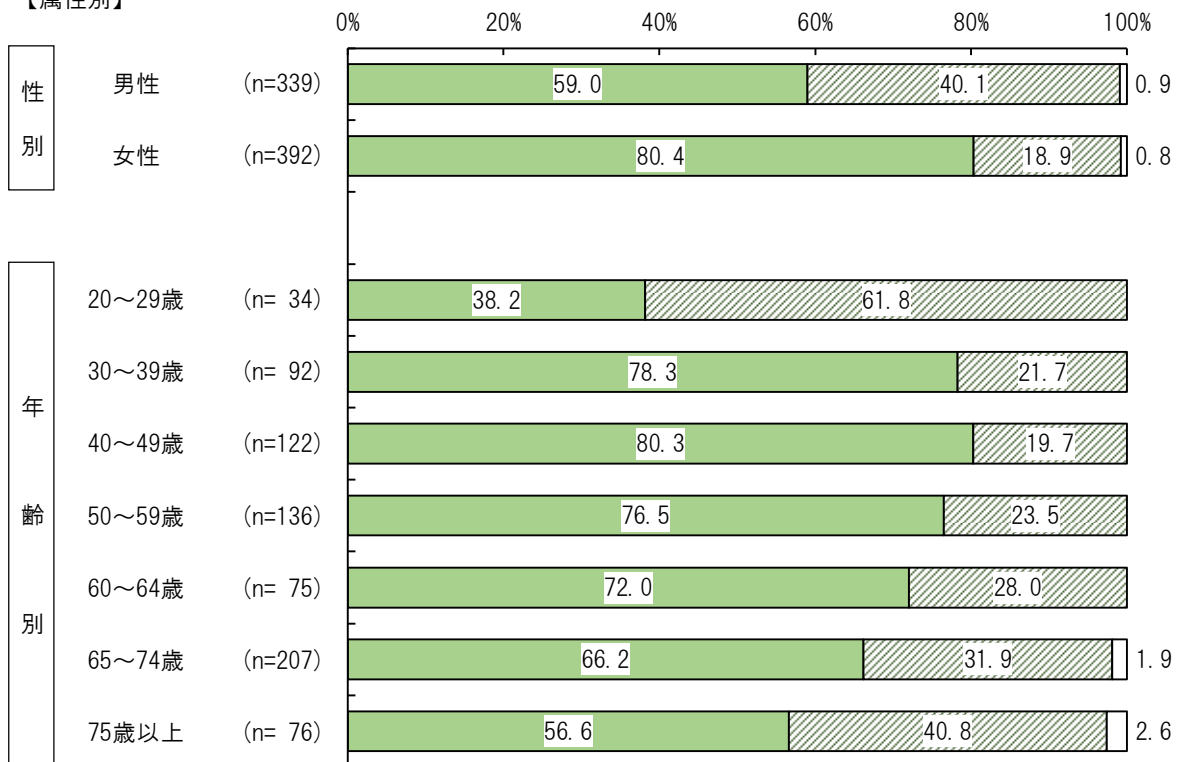
転職等の経験の有無では、「ある」が69.6%、「ない」が28.8%となっています。  
年齢別にみると、“20～29歳”では「ない」が61.8%と「ある」よりも多くなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



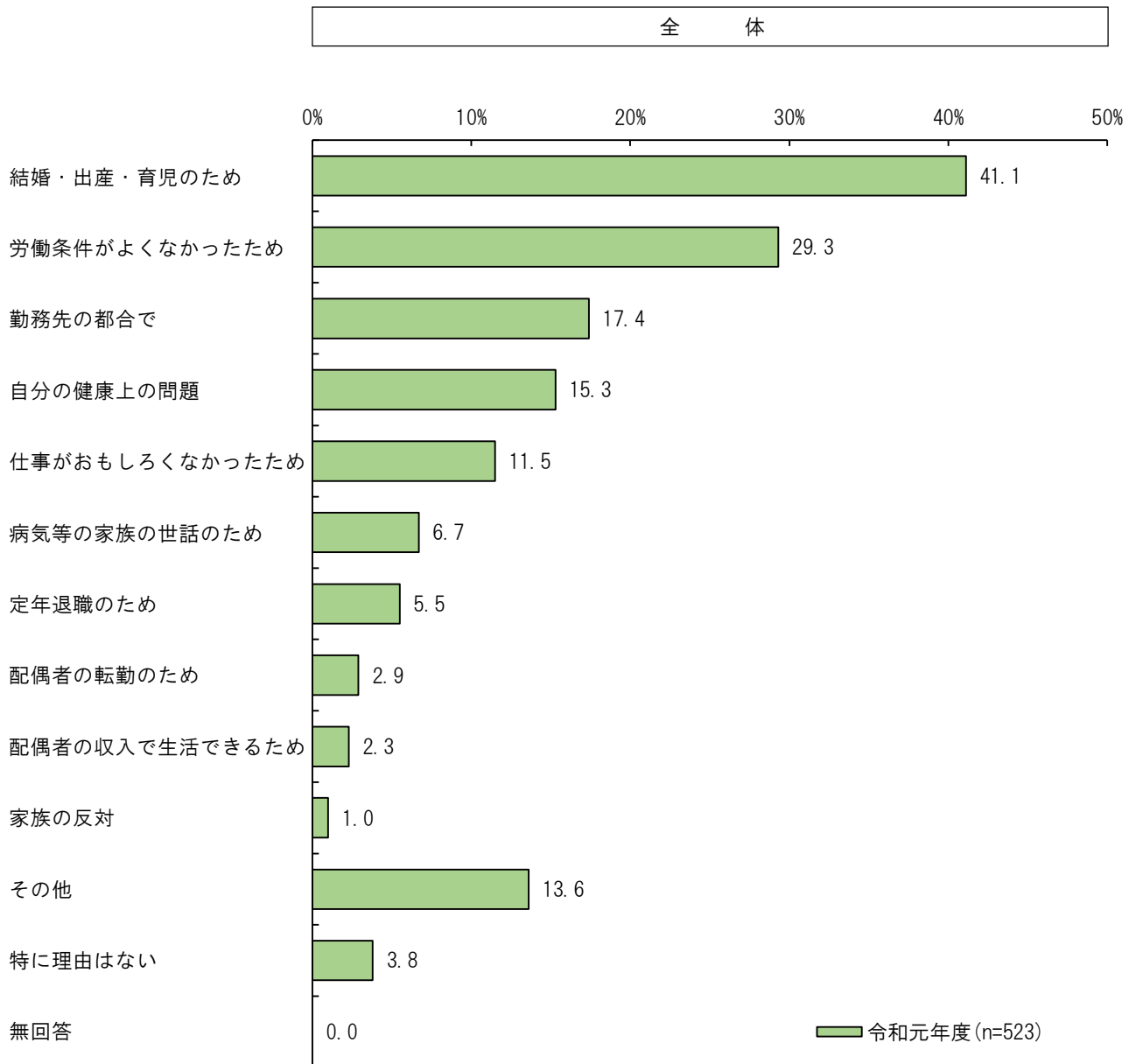
## 10. 転職等の理由

問9で「1 ある」に○をつけた方にうかがいます。

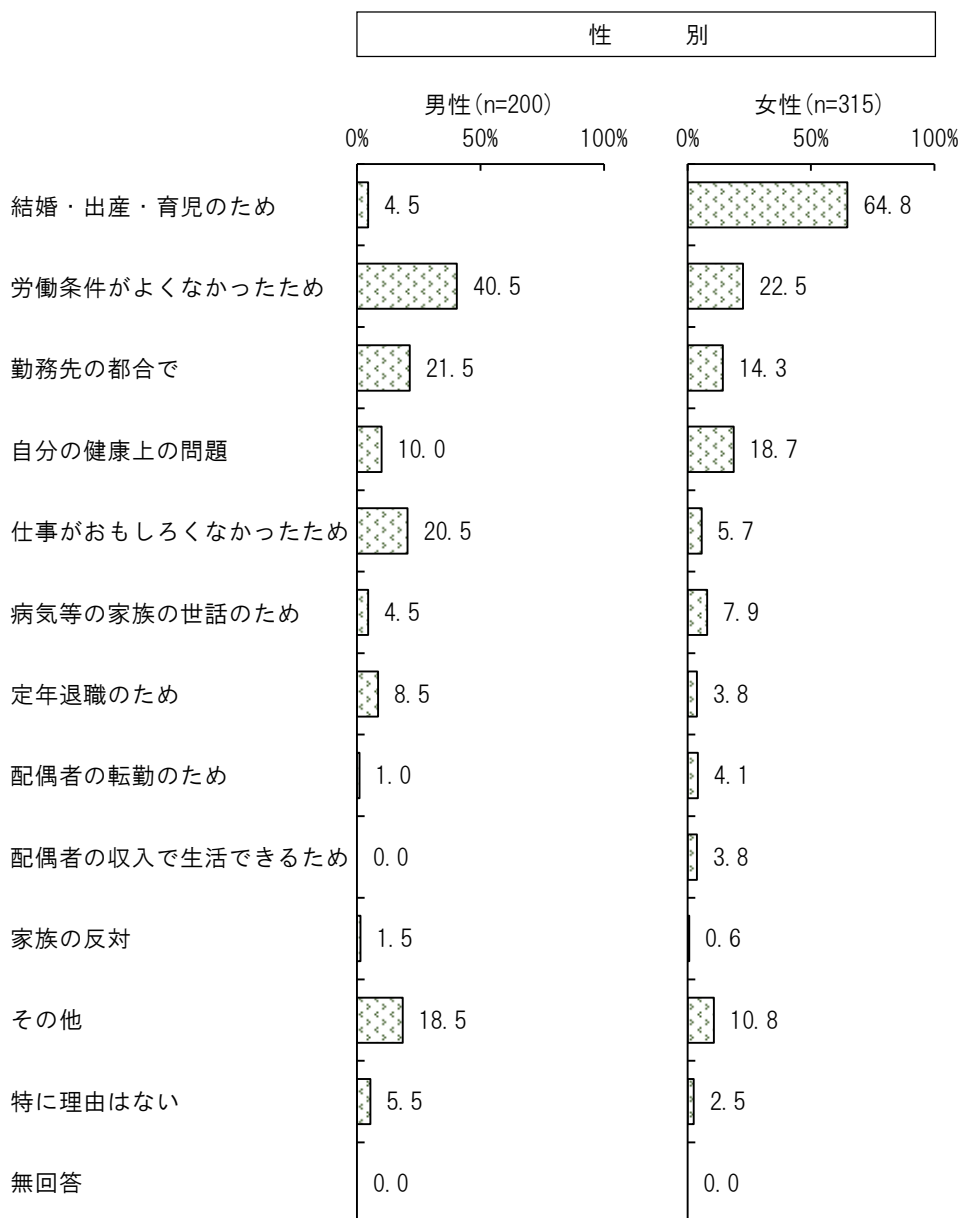
問10 仕事を辞めたり、中断したり、転職した理由を選んでください。(3つまでに○)

転職等の理由では、「結婚・出産・育児のため」が41.1%と最も多く、次いで「労働条件がよくなかったため」が29.3%、「勤務先の都合で」が17.4%などとなっています。

性別にみると、“男性”では「労働条件がよくなかったため」が40.5%と最も多くなっています。

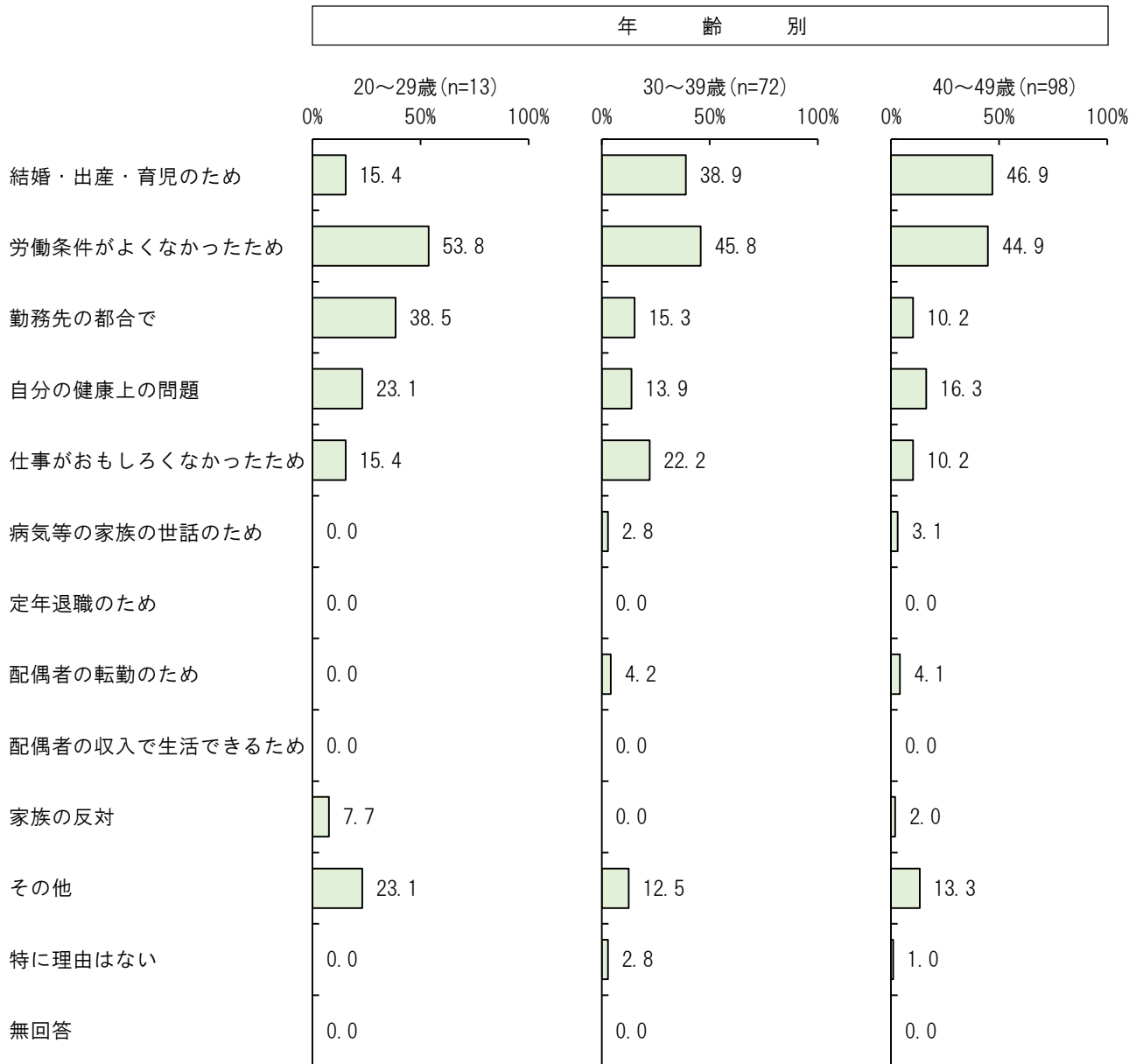


## 10. 転職等の理由

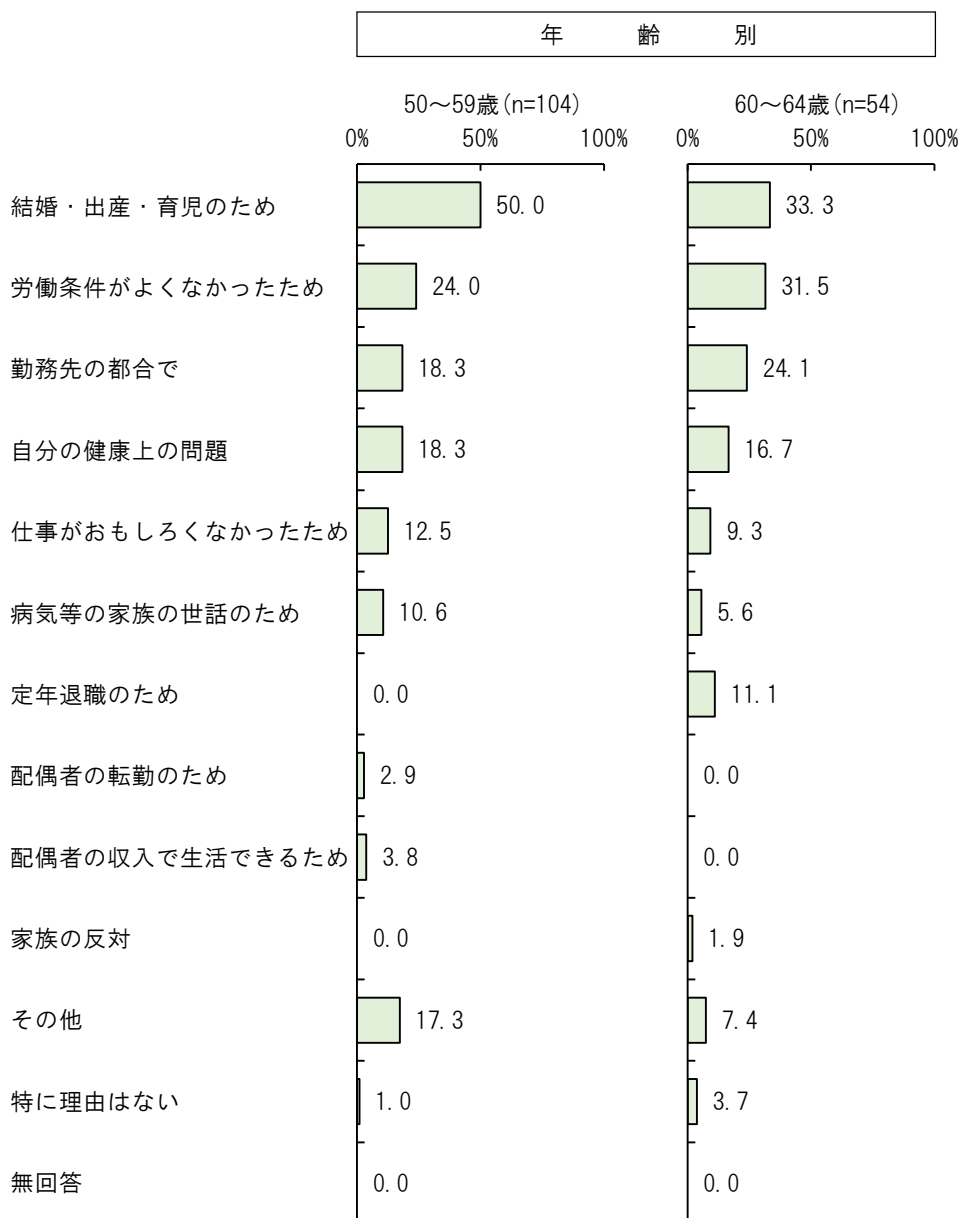




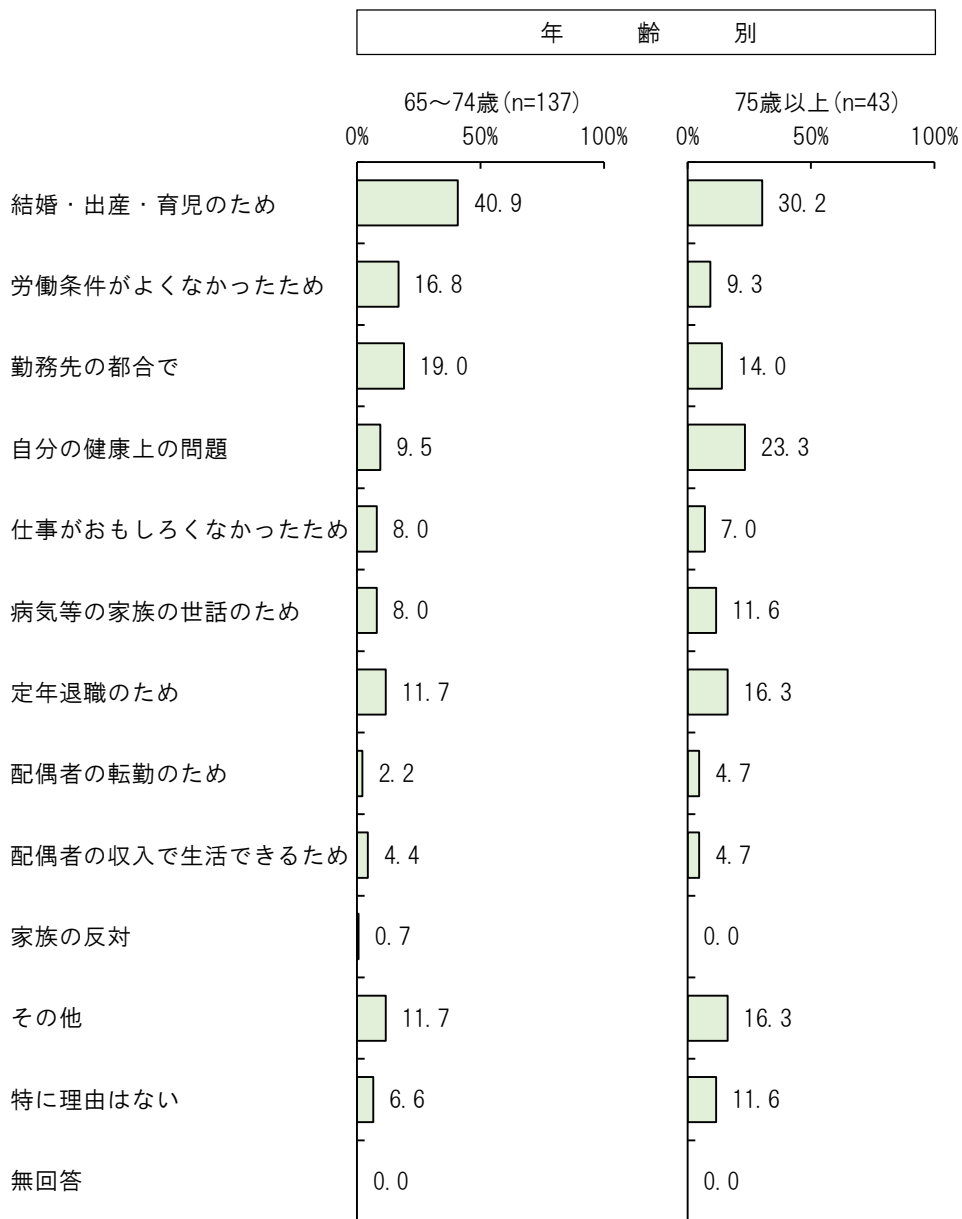
10. 転職等の理由



## 10. 転職等の理由



10. 転職等の理由



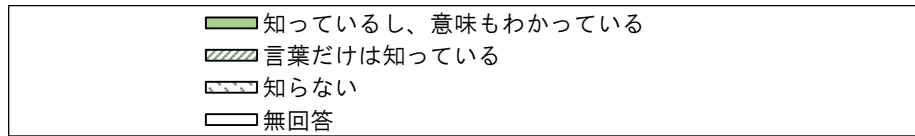
## (2) 社会における制度・慣行について

### 11. 「男女共同参画」の認知

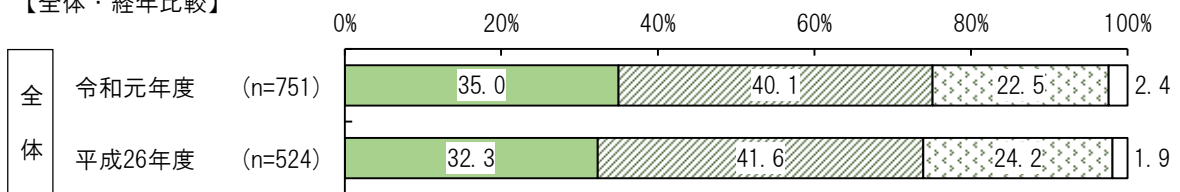
問11 「男女共同参画」という言葉と意味についてご存知ですか。 (1つに〇)

「男女共同参画」の認知では、「知っているし、意味もわかっている」が35.0%、「言葉だけは知っている」が40.1%、「知らない」が22.5%となっています。

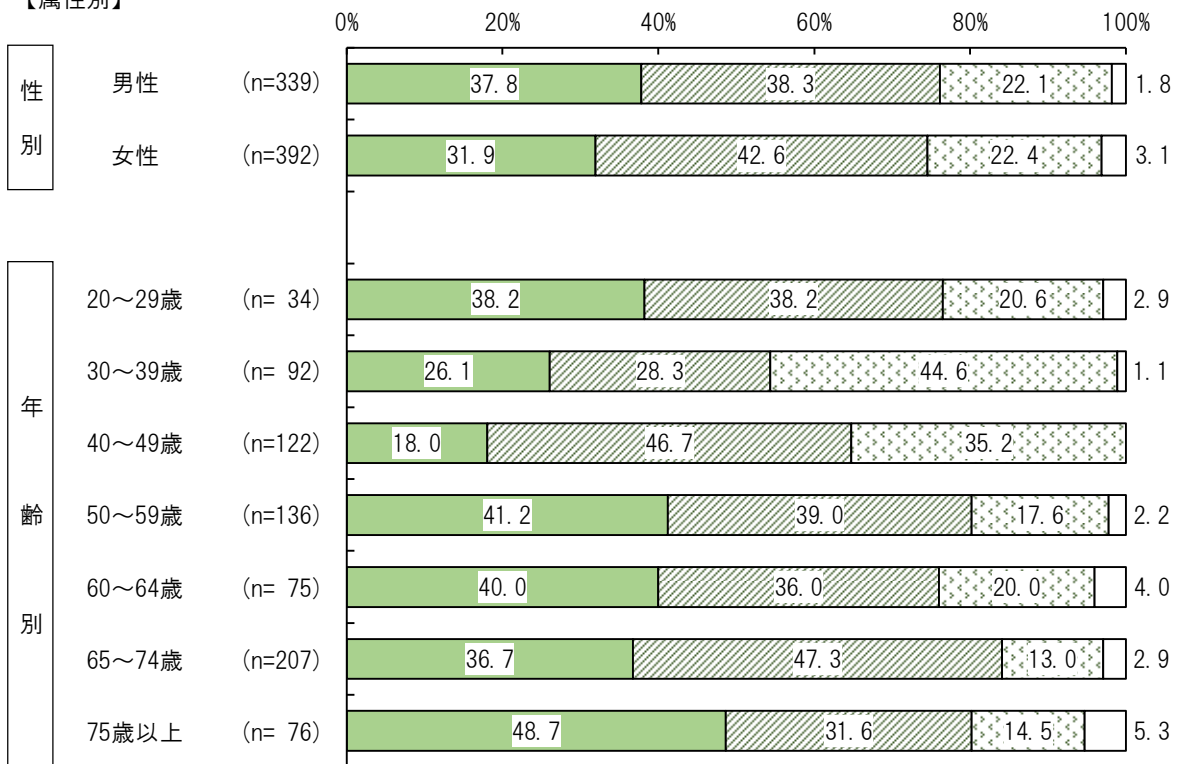
年齢別にみると、“30～39歳”では「知らない」が44.6%と最も多くなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



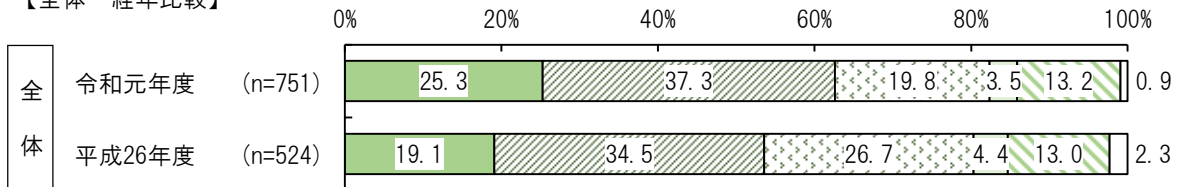
## 12. 「男は仕事、女は家庭」という考え方への意見

問12 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。（1つに○）

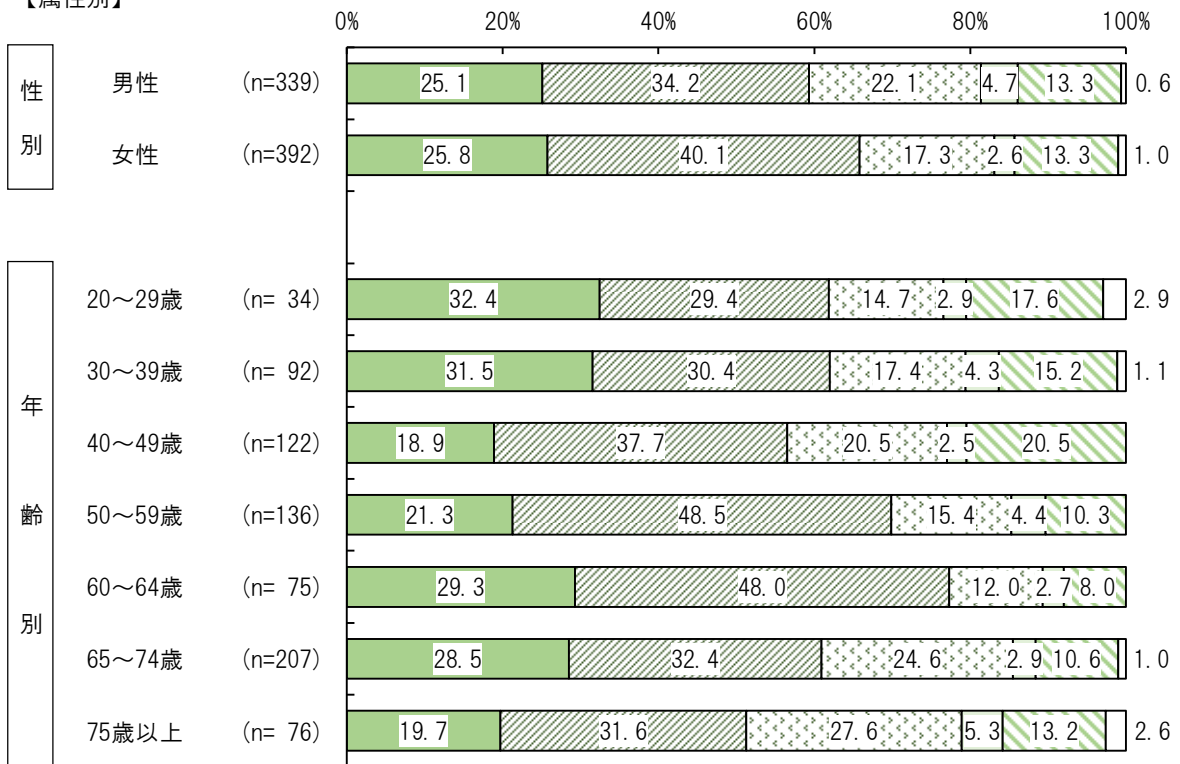
「男は仕事、女は家庭」という考え方への意見では、「どちらかといえば反対」が37.3%と最も多く、次いで「反対」が25.3%、「どちらかといえば賛成」が19.8%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

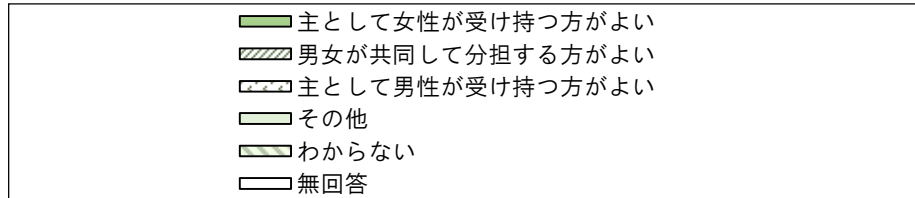


### 13. 高齢者の介護に対する分担の考え方

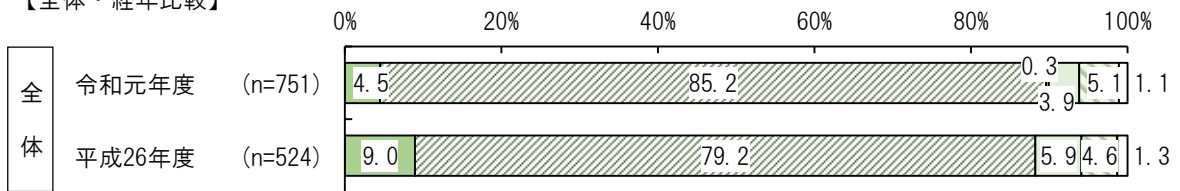
問13 あなたは、高齢者の介護に対する家庭内での分担についてどのようにお考えですか。

(1つに○)

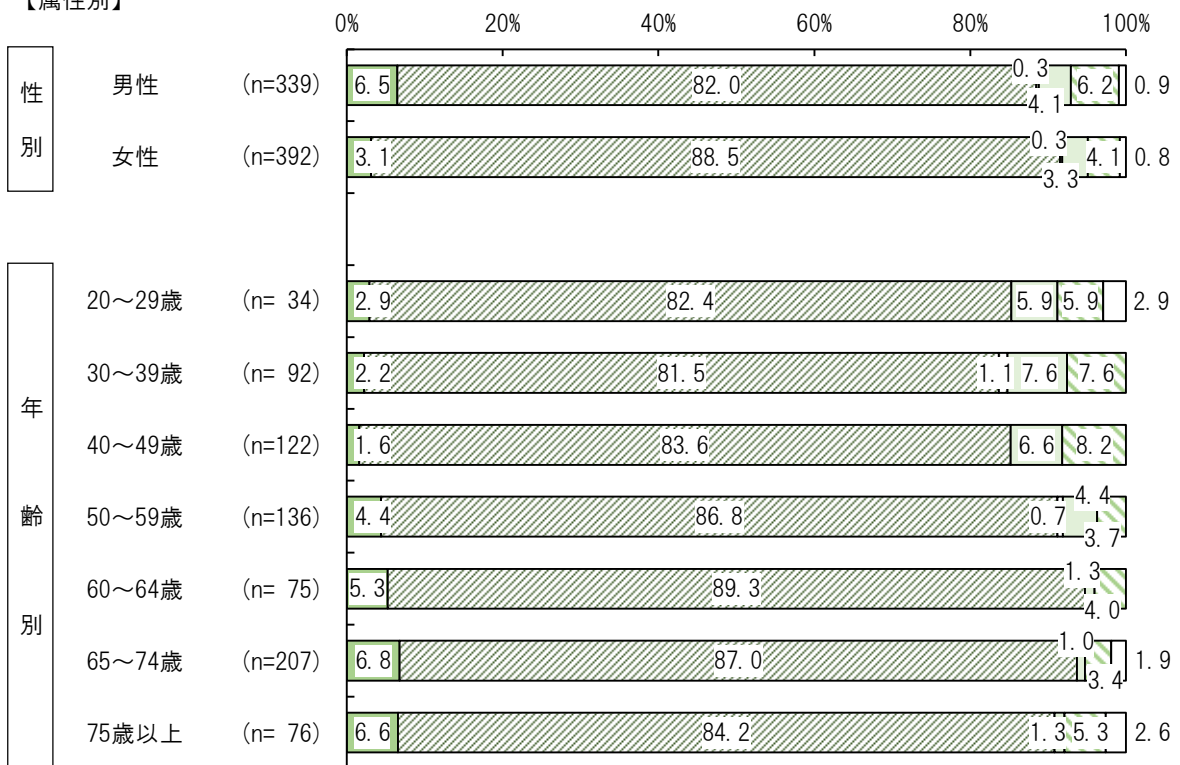
高齢者の介護に対する分担の考え方では、「男女が共同して分担する方がよい」が85.2%と最も多く、次いで「わからない」が5.1%、「主として女性が受け持つ方がよい」が4.5%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

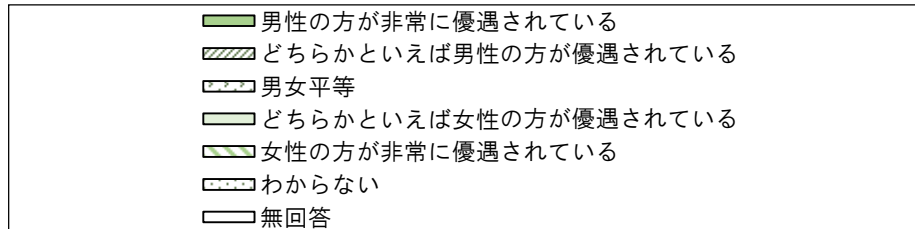


## 14. 男女平等になっているかの感じ方

問14 あなたは、次の分野で男女が平等になっていると思いますか。 (それぞれ1つに○)

### ①家庭生活で

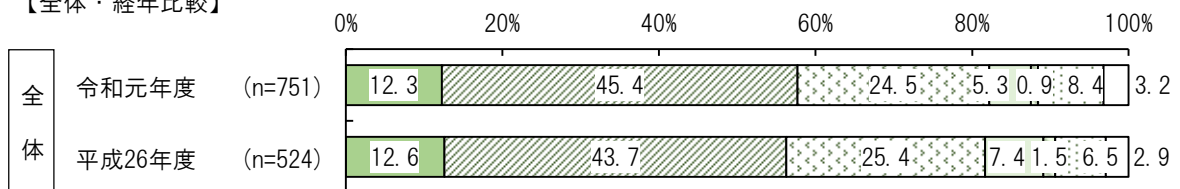
家庭生活では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が45.4%と最も多く、次いで「男女平等」が24.5%、「男性の方が非常に優遇されている」が12.3%などとなっています。



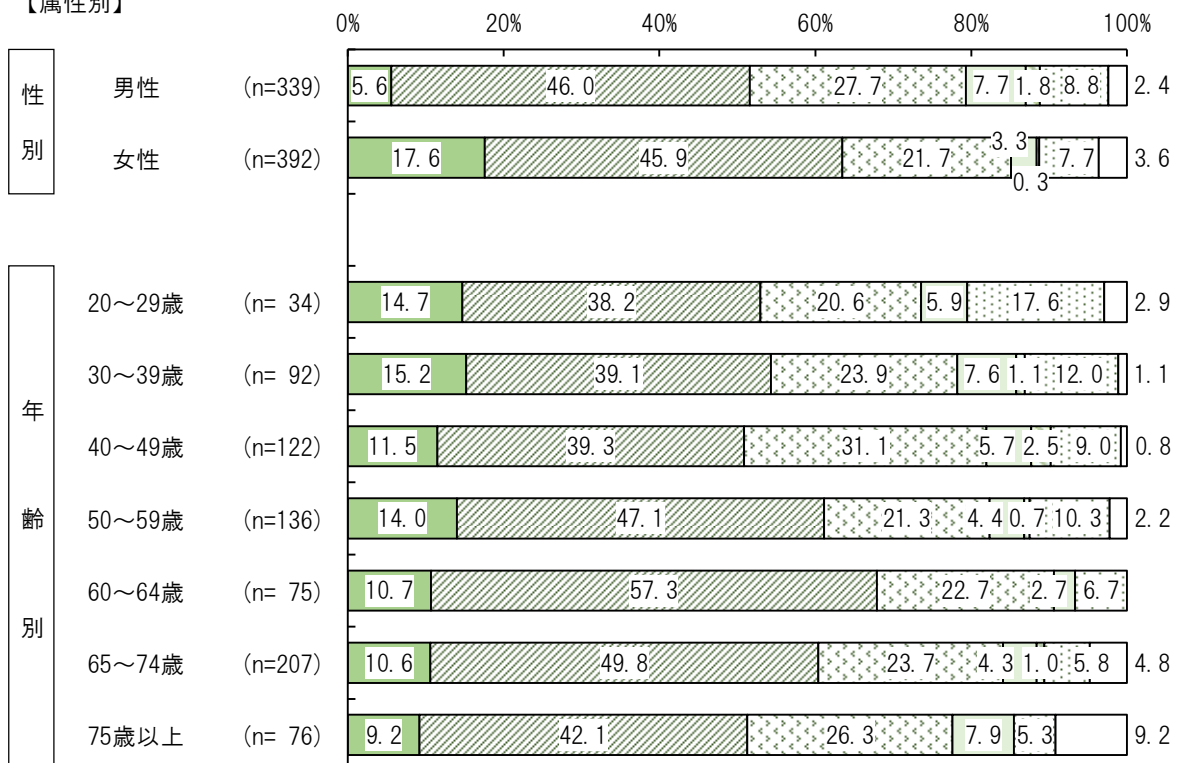
\*選択肢「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」

\*選択肢「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」

### 【全体・経年比較】



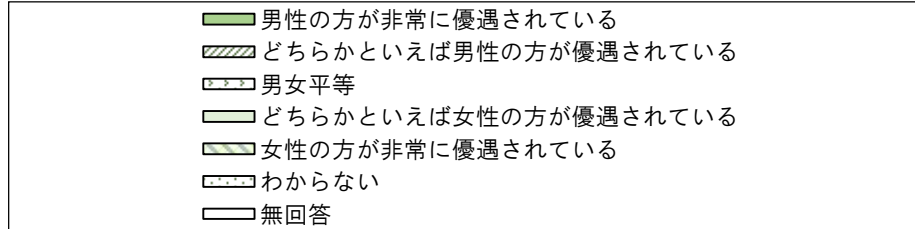
### 【属性別】



## 14. 男女平等になっているかの感じ方

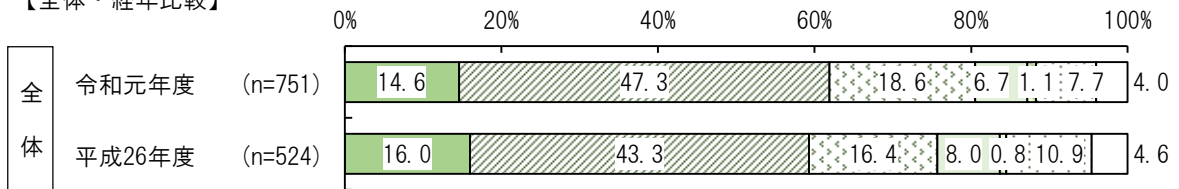
### ②職場で

職場では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が47.3%と最も多く、次いで「男女平等」が18.6%、「男性の方が非常に優遇されている」が14.6%などとなっています。

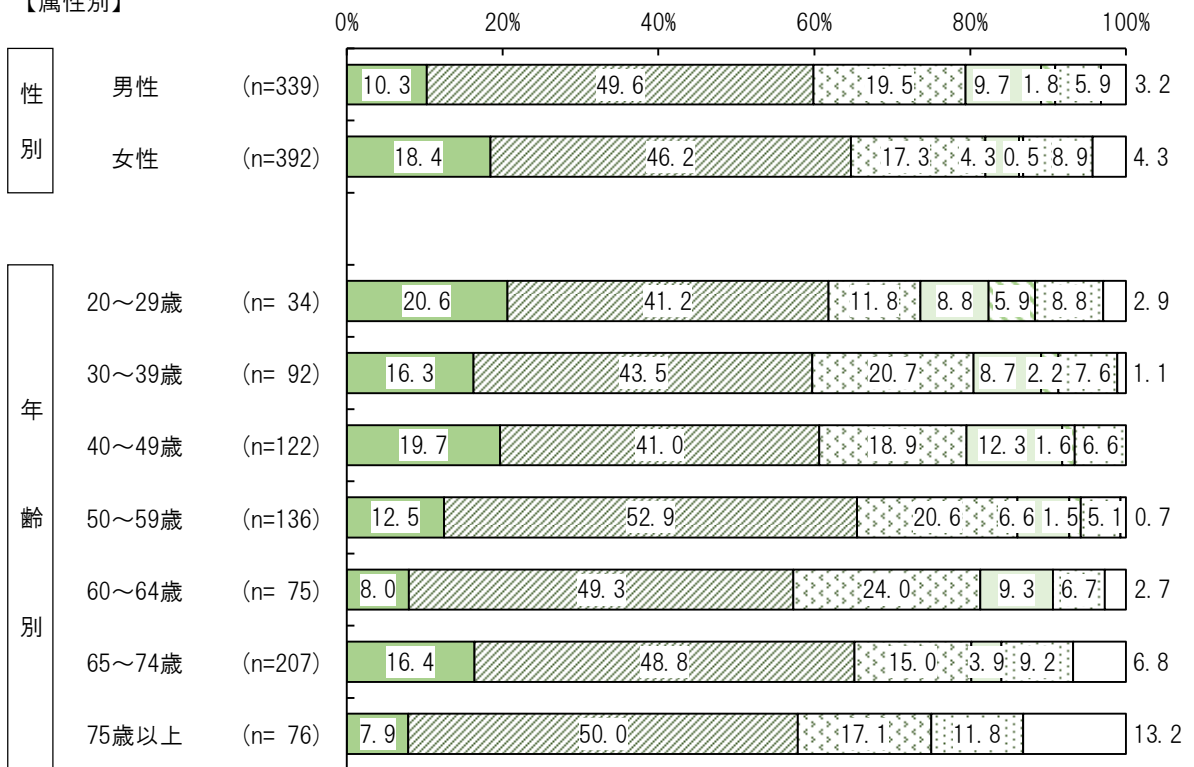


\* 選択肢「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」  
 \* 選択肢「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

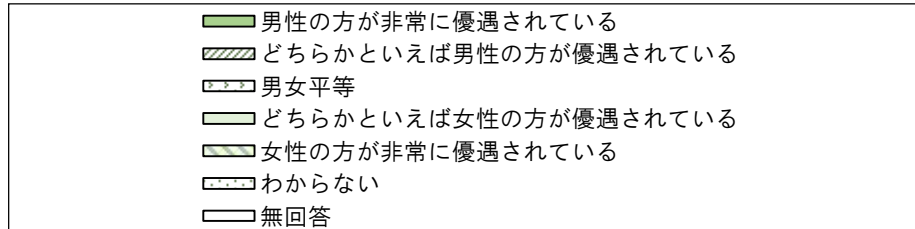




## 14. 男女平等になっているかの感じ方

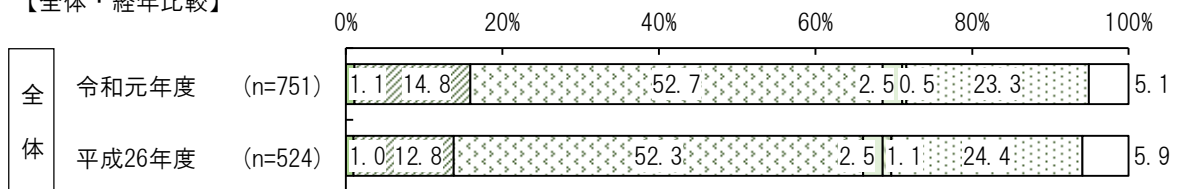
### ③学校教育の場で

学校教育の場では、「男女平等」が52.7%と最も多く、次いで「わからない」が23.3%、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が14.8%などとなっています。

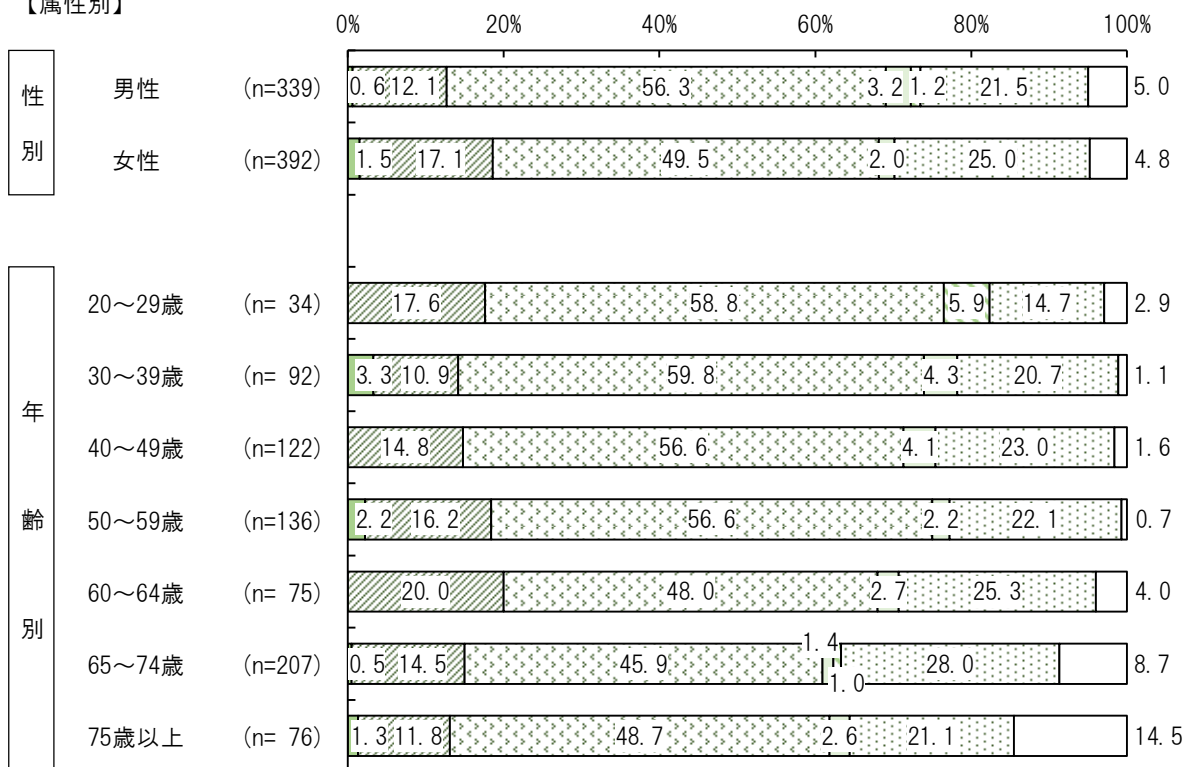


\* 選択肢「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」  
 \* 選択肢「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

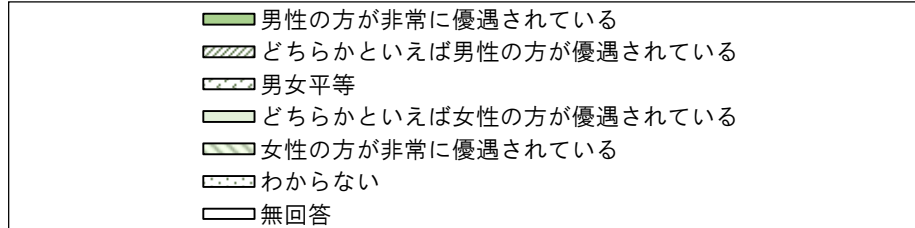


## 14. 男女平等になっているかの感じ方

### ④地域活動の場で

地域活動の場では、「男女平等」が33.3%と最も多く、次いで「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が31.4%、「わからない」が17.6%などとなっています。

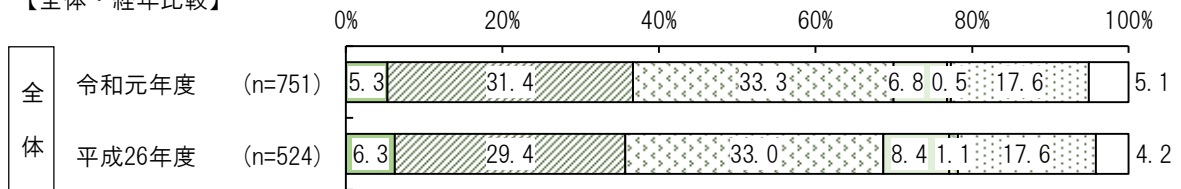
性別にみると、“女性”では「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が31.9%と最も多くなっています。



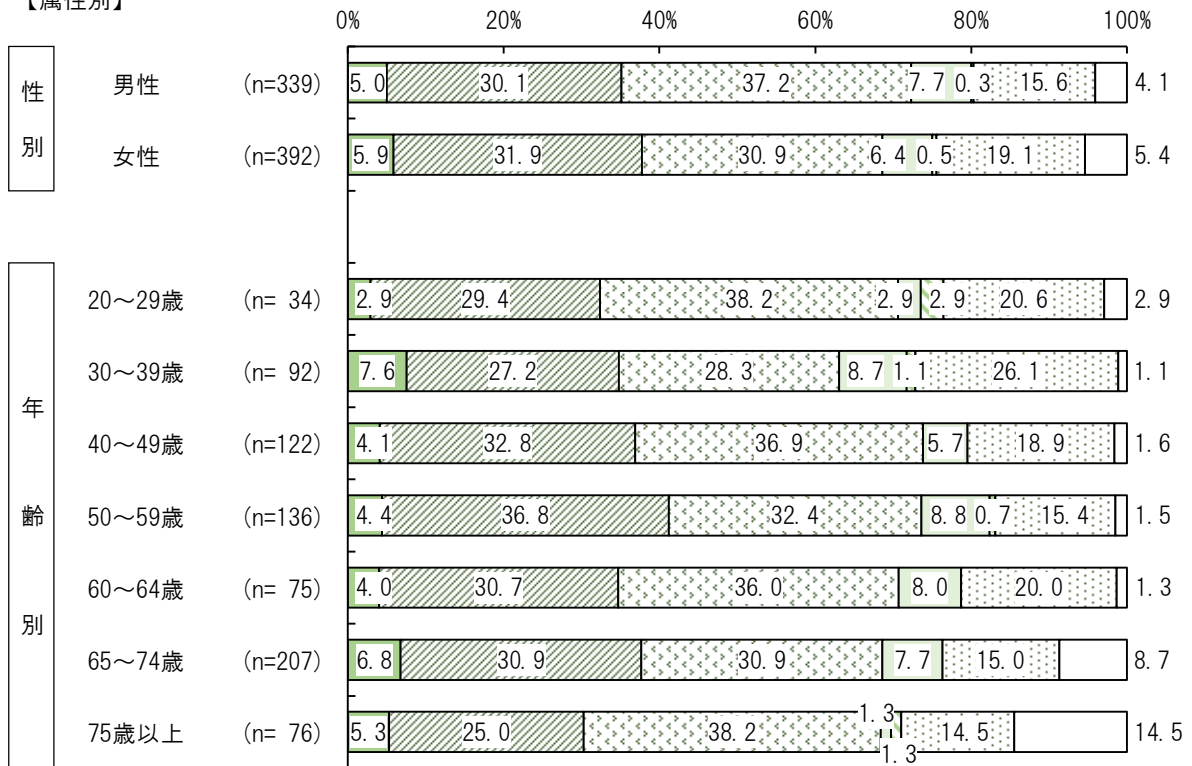
\*選択肢「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」

\*選択肢「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」

#### 【全体・経年比較】



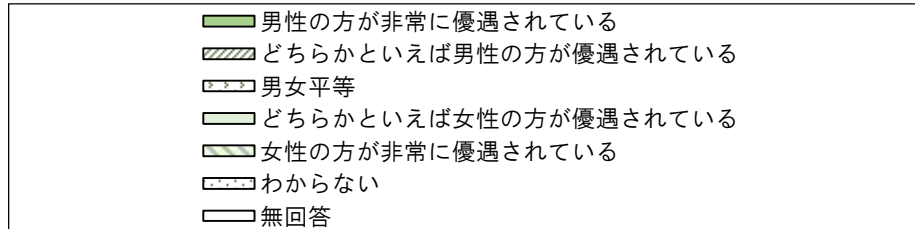
#### 【属性別】



## 14. 男女平等になっているかの感じ方

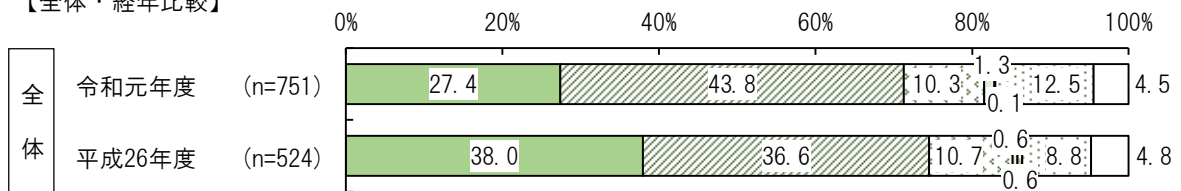
### ⑤政治の場で

政治の場では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が43.8%と最も多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」が27.4%、「わからない」が12.5%などとなっています。

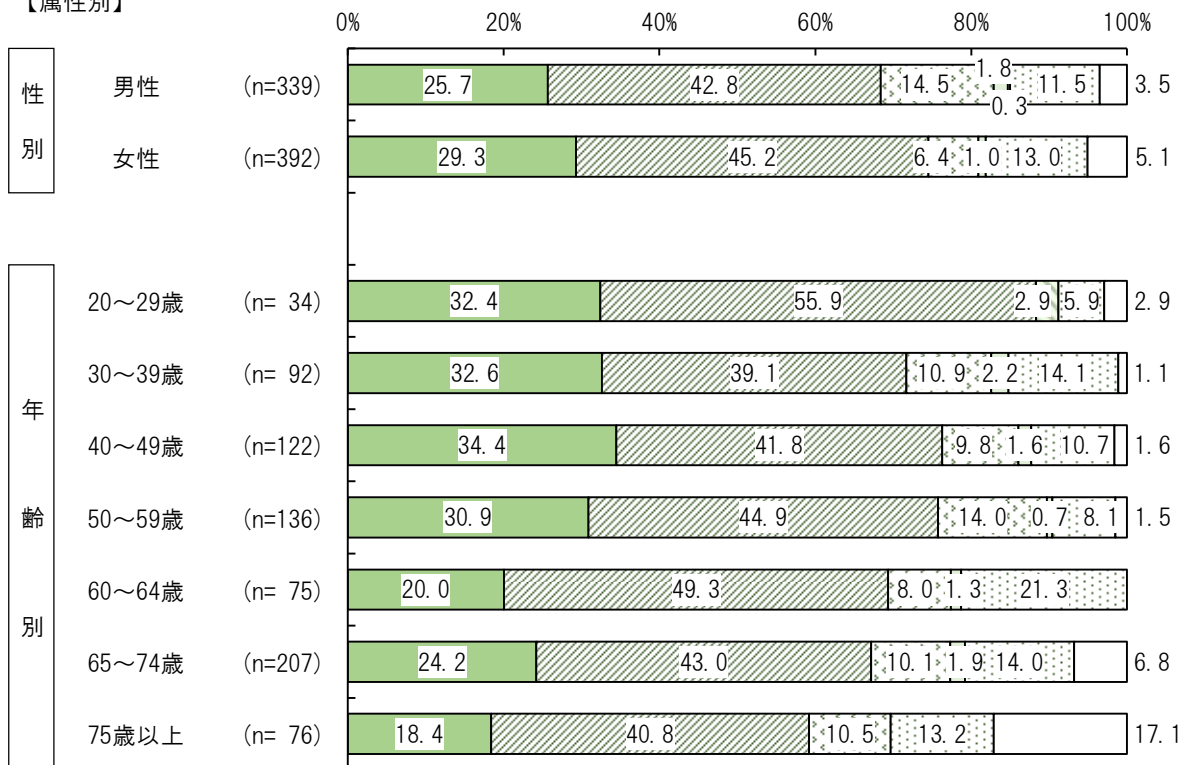


\* 選択肢「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」  
 \* 選択肢「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」

#### 【全体・経年比較】



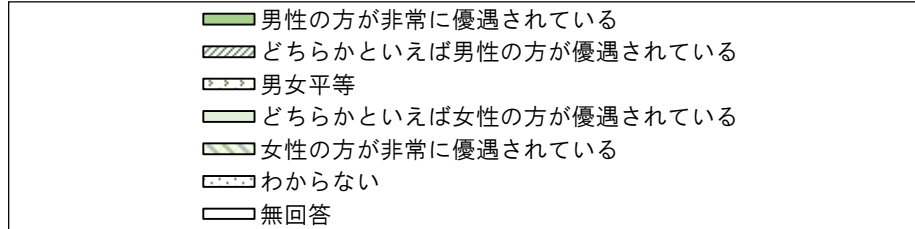
#### 【属性別】



## 14. 男女平等になっているかの感じ方

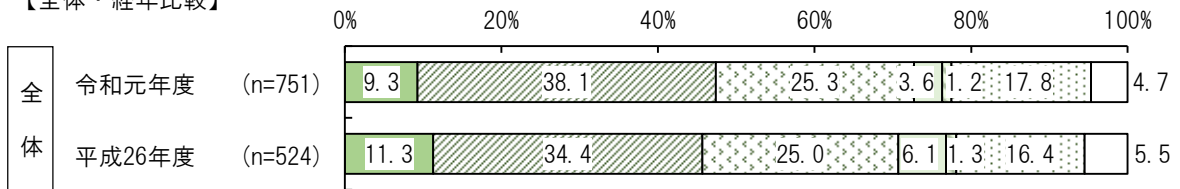
### ⑥法律や制度の上で

法律や制度の上では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が38.1%と最も多く、次いで「男女平等」が25.3%、「わからない」が17.8%などとなっています。

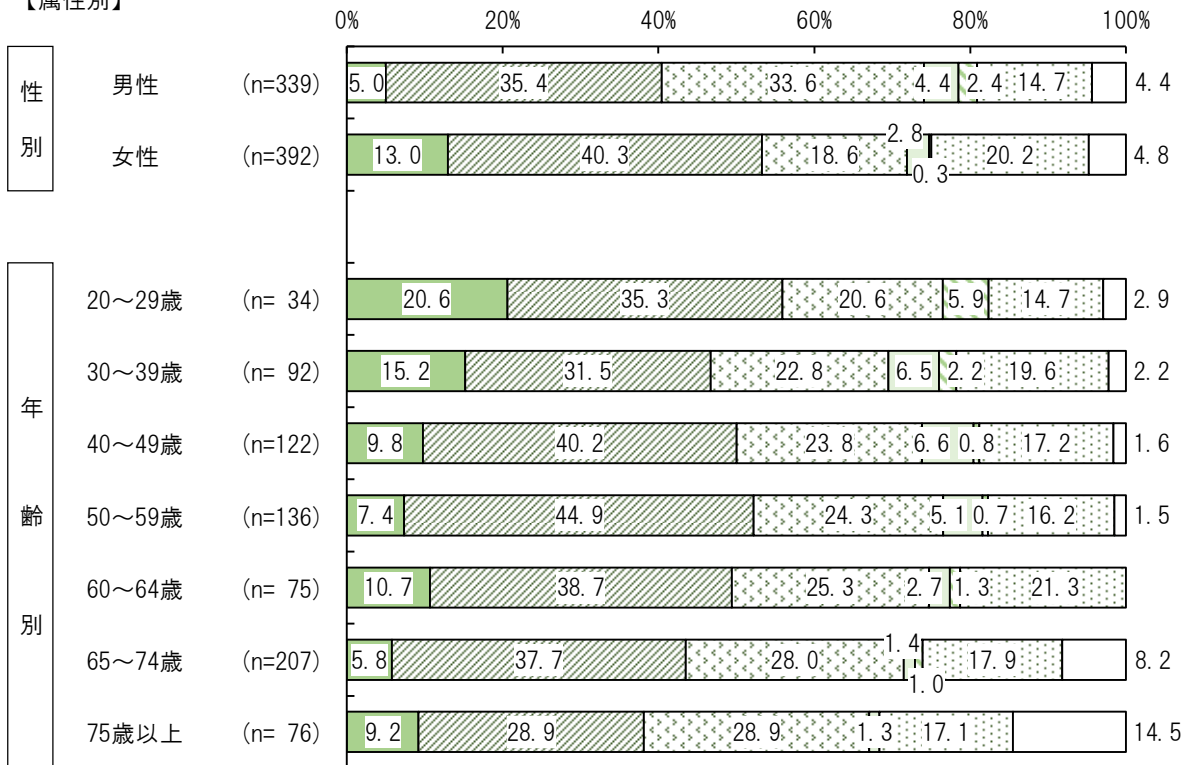


\* 選択肢「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」  
 \* 選択肢「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

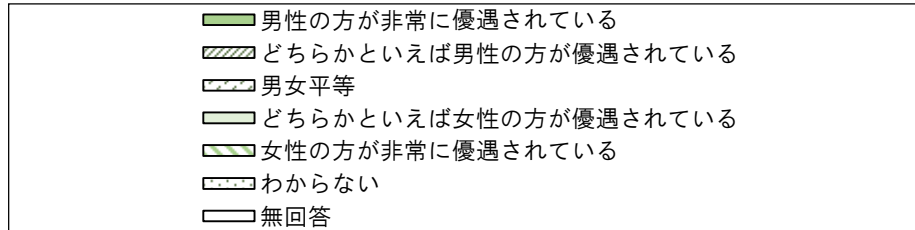


## 14. 男女平等になっているかの感じ方

### ⑦社会通念や慣習・しきたりなど

\*平成26年度では「社会通念や慣習・しきたりなどで」

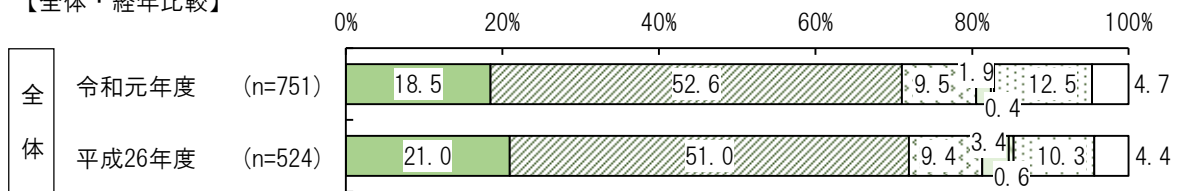
社会通念や慣習・しきたりなどでは、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が52.6%と最も多く、次いで「男性の方が非常に優遇されている」が18.5%、「わからない」が12.5%などとなっています。



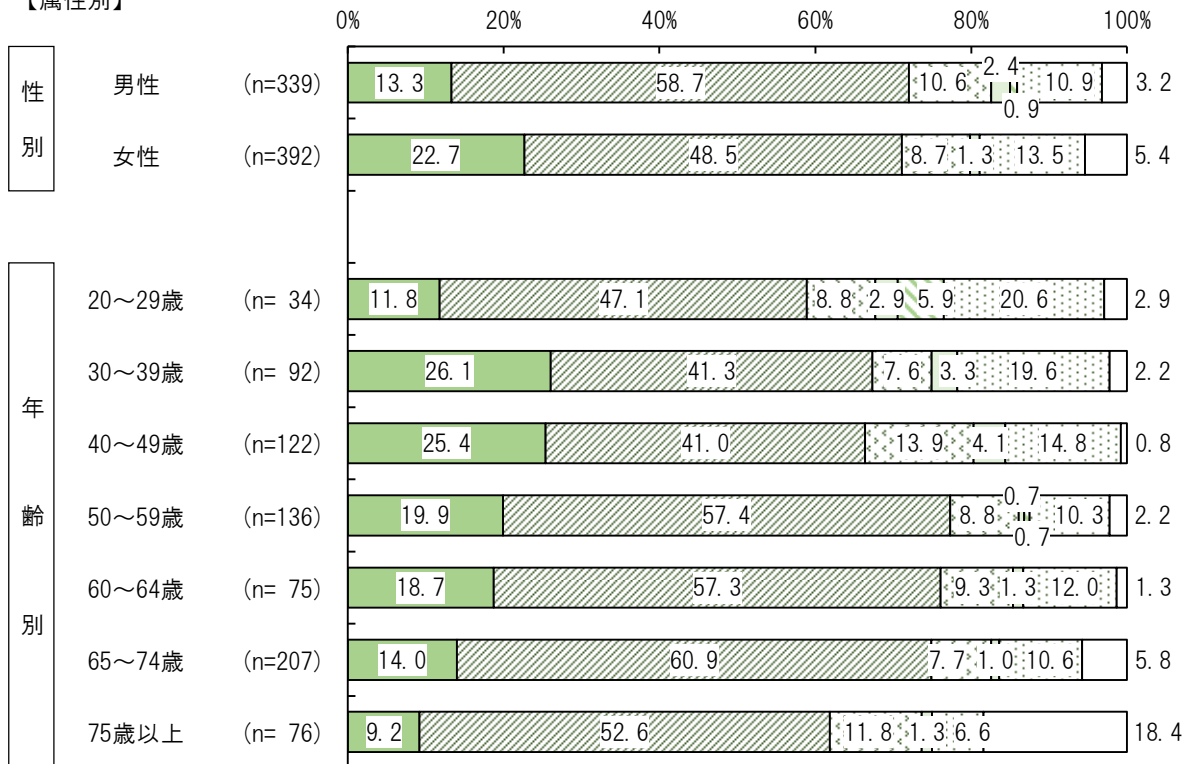
\*選択肢「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」

\*選択肢「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」

#### 【全体・経年比較】



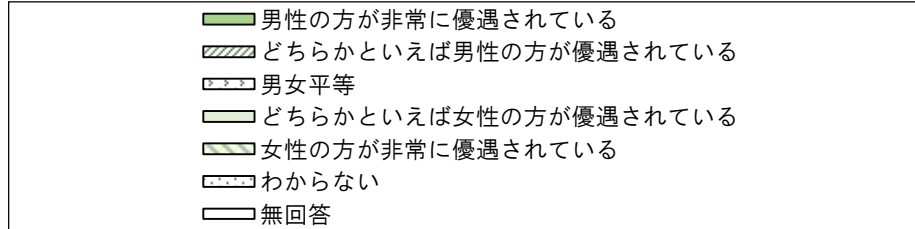
#### 【属性別】



## 14. 男女平等になっているかの感じ方

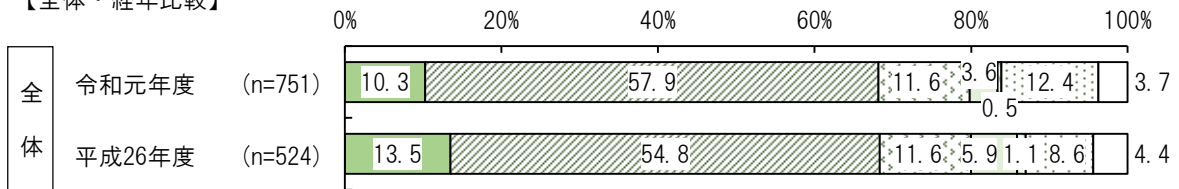
### ⑧社会全体で

社会全体では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」が57.9%と最も多く、次いで「わからない」が12.4%、「男女平等」が11.6%などとなっています。

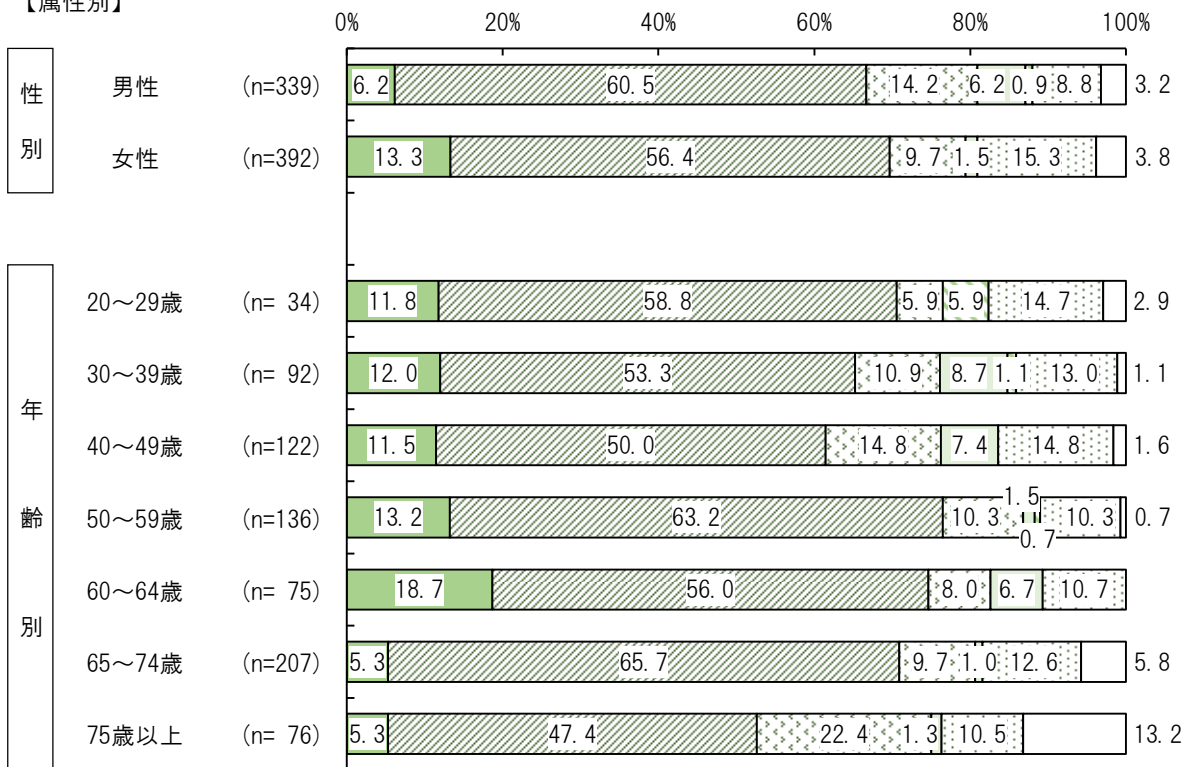


\* 選択肢「どちらかといえば男性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば男性の方が優遇されている」  
 \* 選択肢「どちらかといえば女性の方が優遇されている」は平成26年度では「どちらかと言えば女性の方が優遇されている」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】



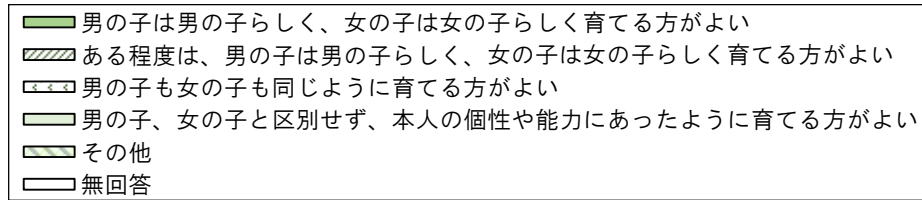


(3) 男女共同参画に関する教育・学習について

15. 子どもの育て方への考え方

問15 あなたは、子どもの育て方についてどのように考えますか。 (1つに○)

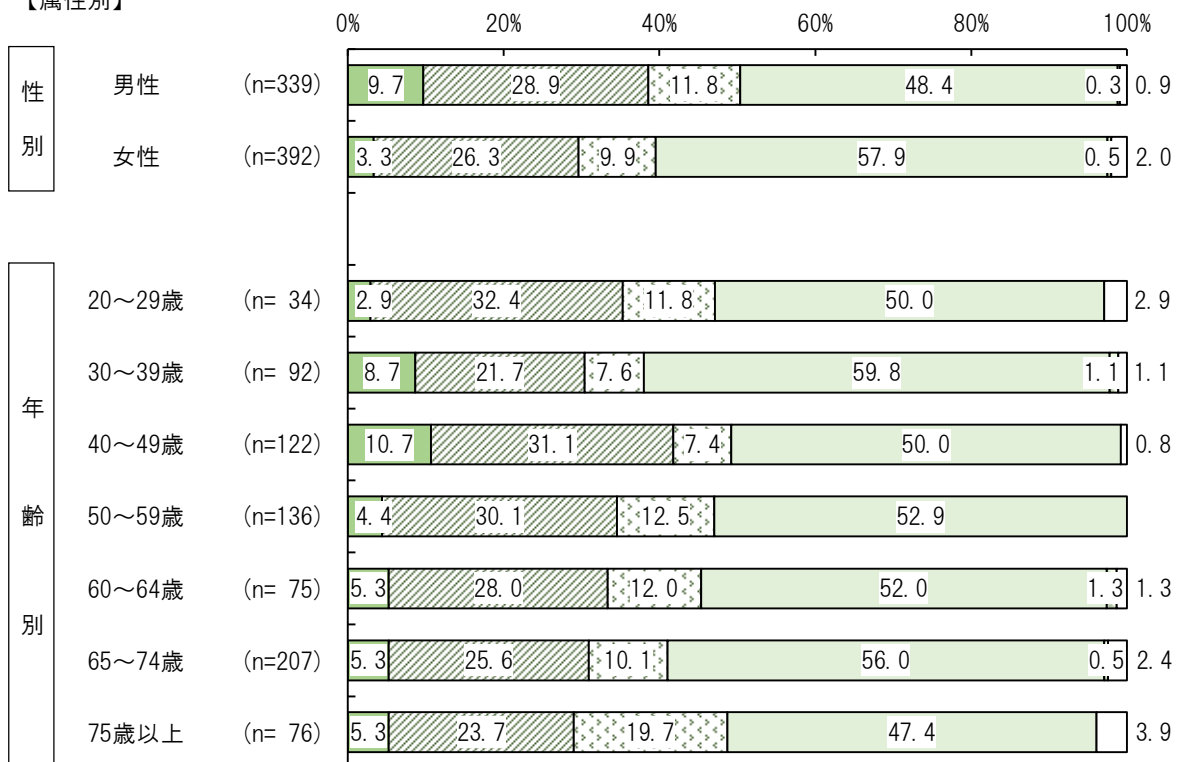
子どもの育て方への考え方では、「男の子、女の子と区別せず、本人の個性や能力にあったように育てる方がよい」が53.5%と最も多く、次いで「ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい」が27.0%、「男の子も女の子も同じように育てる方がよい」が11.2%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



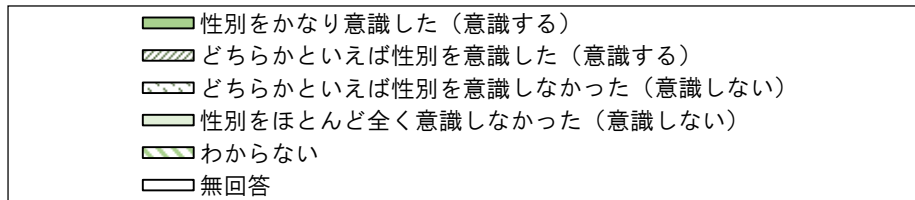
## 16. 子どもの進路や職業の選択の性別の意識

問16 あなたは、子どもの進路や職業の選択に性別を意識しましたか。また、該当する子どもがいない方は性別を意識すると思いますか。 (1つに○)

子どもの進路や職業の選択の性別の意識では、「どちらかといえば性別を意識した(意識する)」が30.0%と最も多く、次いで「性別をほとんど全く意識しなかった(意識しない)」が28.4%、「どちらかといえば性別を意識しなかった(意識しない)」が25.4%などとなっています。

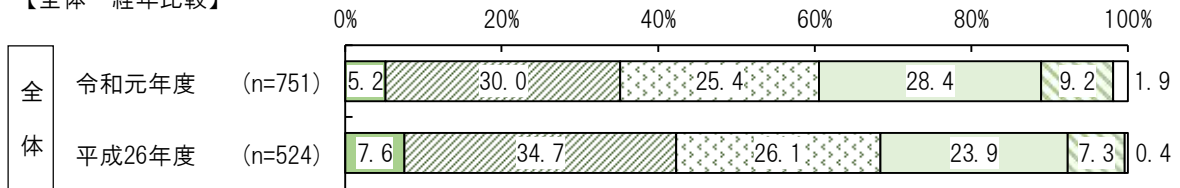
性別にみると、「男性」では「性別をほとんど全く意識しなかった(意識しない)」が28.6%と最も多くなっています。

年齢別にみると、「75歳以上」では「どちらかといえば性別を意識しなかった(意識しない)」が36.8%と最も多くなっています。

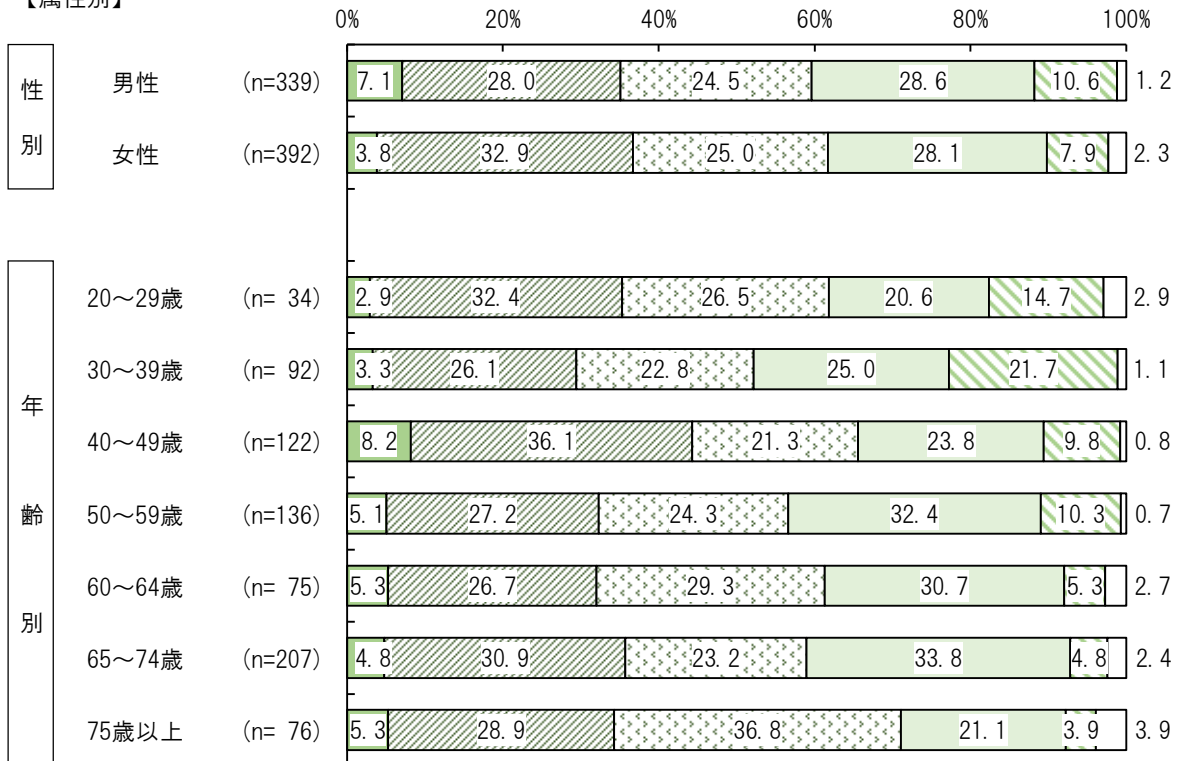


\*選択肢「どちらかといえば性別を意識した(意識する)」は平成26年度では「どちらかといえば、性別を意識した(意識する)」  
 \*選択肢「どちらかといえば性別を意識しなかった(意識しない)」は平成26年度では「どちらかといえば、性別を意識しなかった(意識しない)」  
 \*選択肢「性別をほとんど全く意識しなかった(意識しない)」は平成26年度では「性別を全く意識しなかった(意識しない)」

### 【全体・経年比較】



### 【属性別】





(4) 意思決定過程への女性の参画について

17. 地域活動において女性が代表や運営に携わる立場になることへの考え方

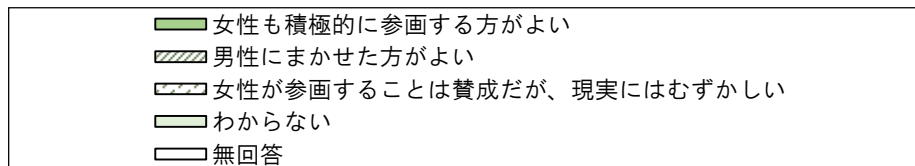
問17 あなたは、地域活動において女性が代表や運営に携わる立場になることについてどのように考えますか。(1つに○)

①自治会・町内会

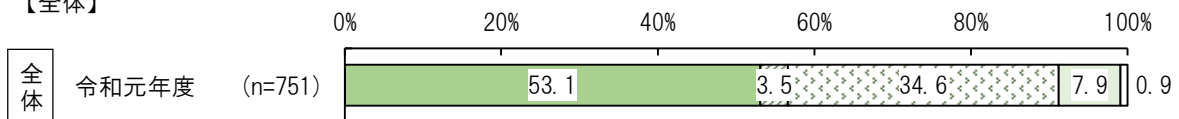
自治会・町内会では、「女性も積極的に参画する方がよい」が53.1%、「男性にまかせた方がよい」が3.5%、「女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい」が34.6%、「わからない」が7.9%となっています。

性別にみると、“女性”では「女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい」が45.9%と最も多くなっています。

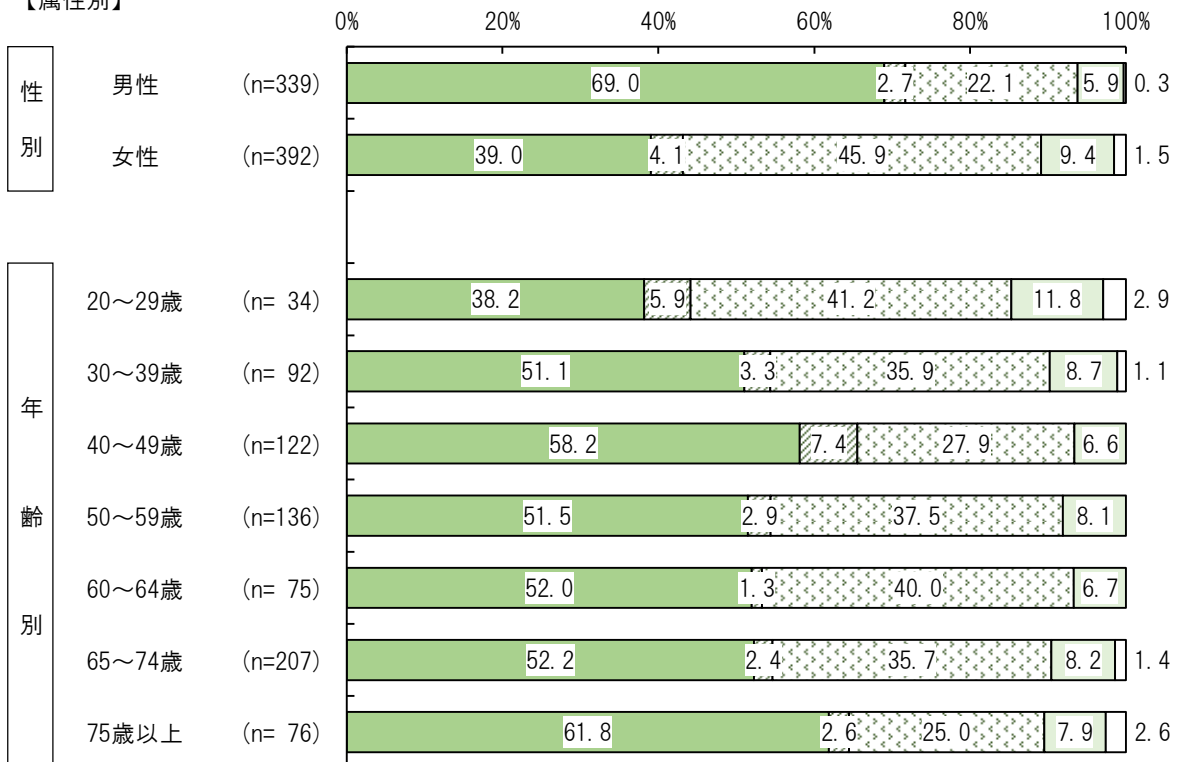
年齢別にみると、“20～29歳”では「女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい」が41.2%と最も多くなっています。



【全体】



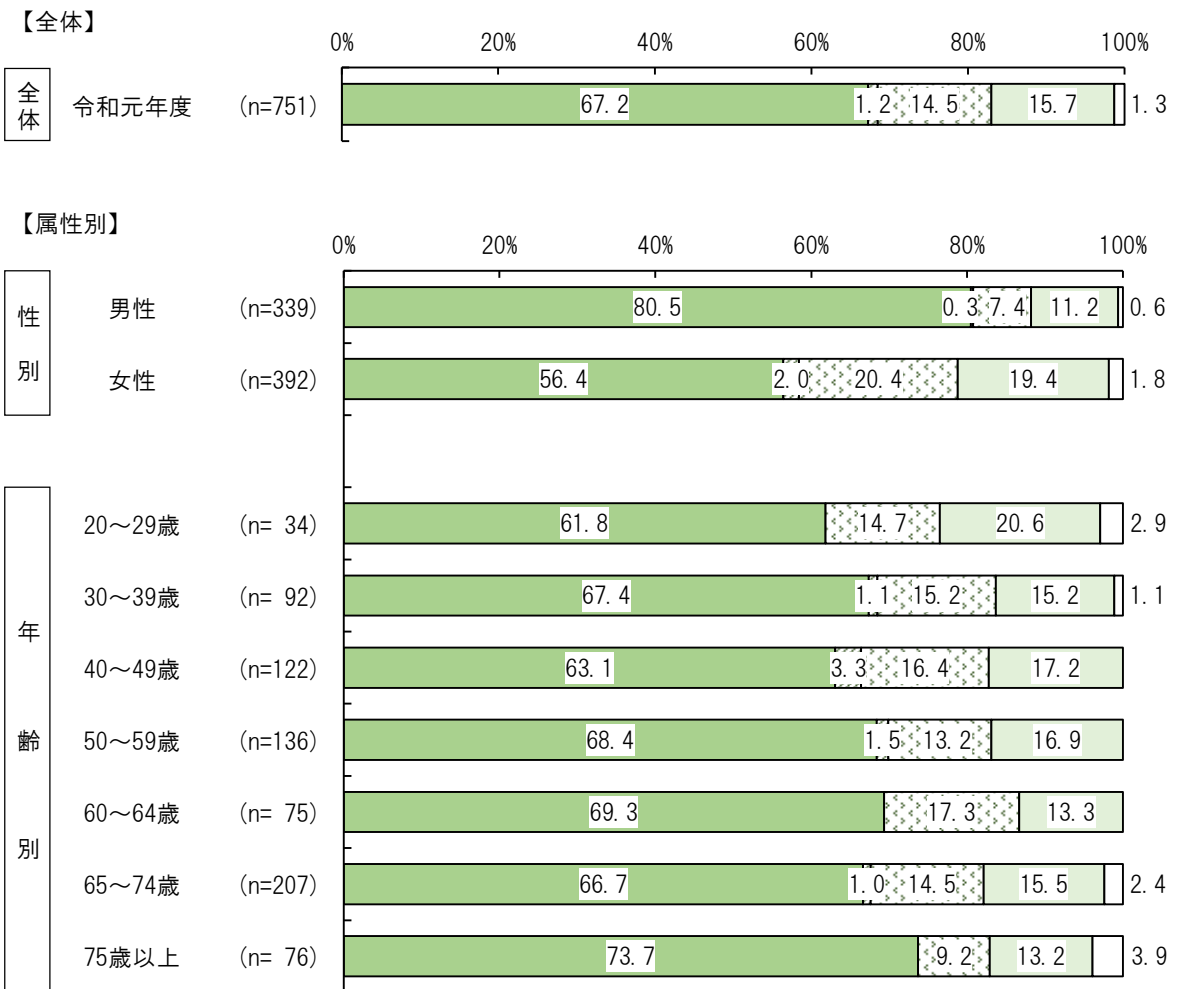
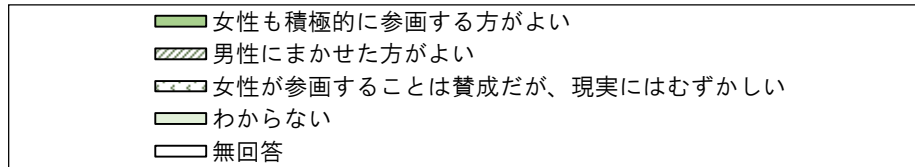
【属性別】



## 17. 地域活動において女性が代表や運営に携わる立場になることへの考え方

### ②子ども会

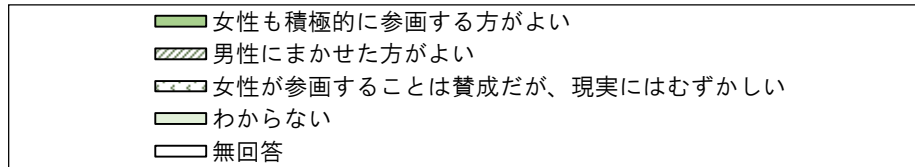
子ども会では、「女性も積極的に参画する方がよい」が67.2%、「男性にまかせた方がよい」が1.2%、「女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい」が14.5%、「わからない」が15.7%となっています。



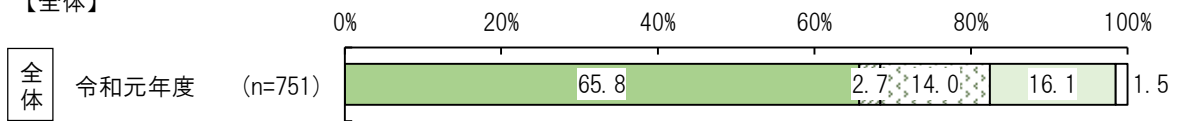
17. 地域活動において女性が代表や運営に携わる立場になることへの考え方

③PTA

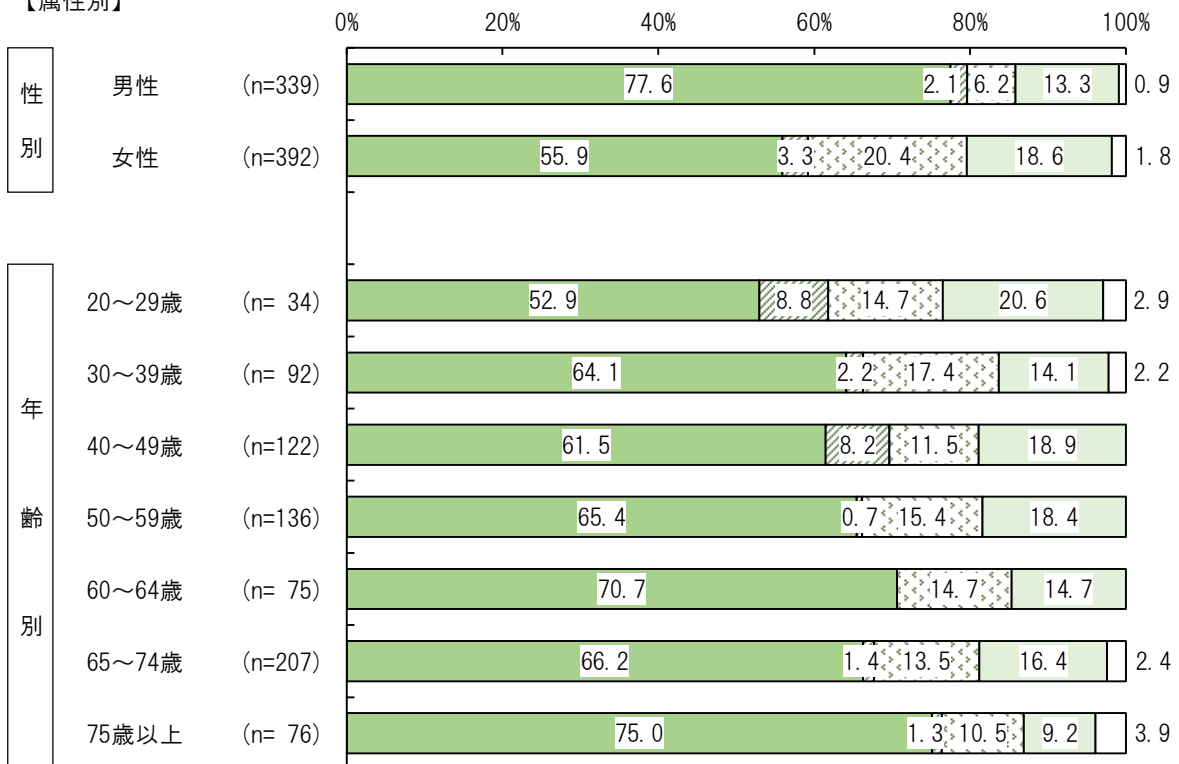
PTAでは、「女性も積極的に参画する方がよい」が65.8%、「男性にまかせた方がよい」が2.7%、「女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい」が14.0%、「わからない」が16.1%となっています。



【全体】



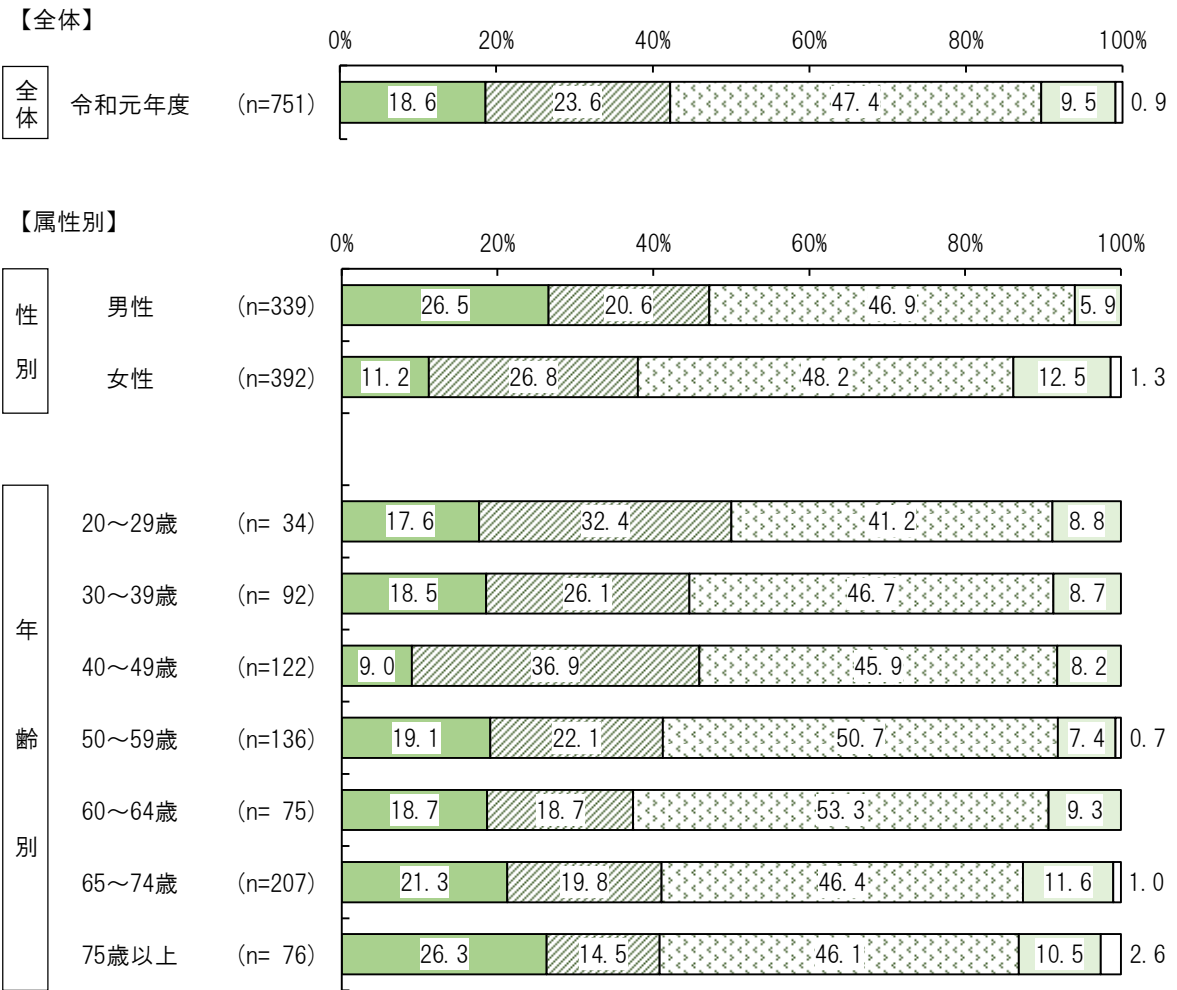
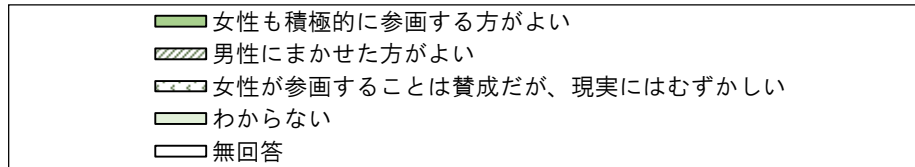
【属性別】



## 17. 地域活動において女性が代表や運営に携わる立場になることへの考え方

### ④消防団

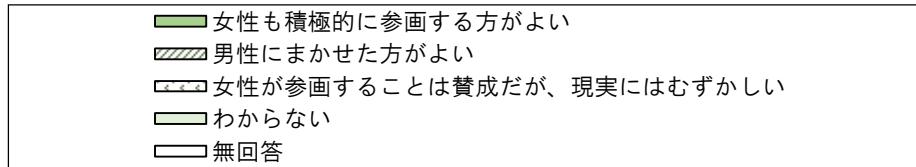
消防団では、「女性も積極的に参画する方がよい」が18.6%、「男性にまかせた方がよい」が23.6%、「女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい」が47.4%、「わからない」が9.5%となっています。



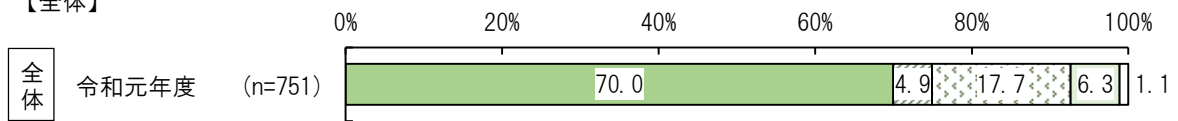
17. 地域活動において女性が代表や運営に携わる立場になることへの考え方

⑤避難訓練等の防災活動

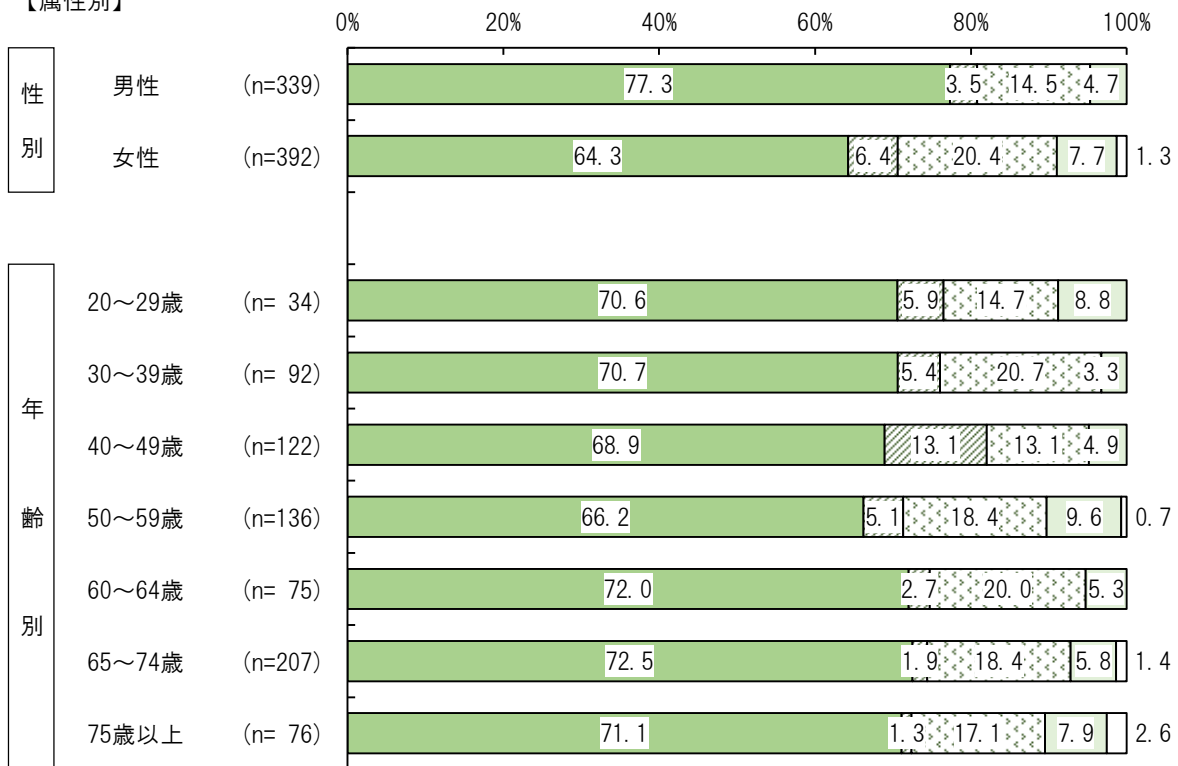
避難訓練等の防災活動では、「女性も積極的に参画する方がよい」が70.0%、「男性にまかせた方がよい」が4.9%、「女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい」が17.7%、「わからない」が6.3%となっています。



【全体】



【属性別】



## (5) 地域社会とのつながりについて

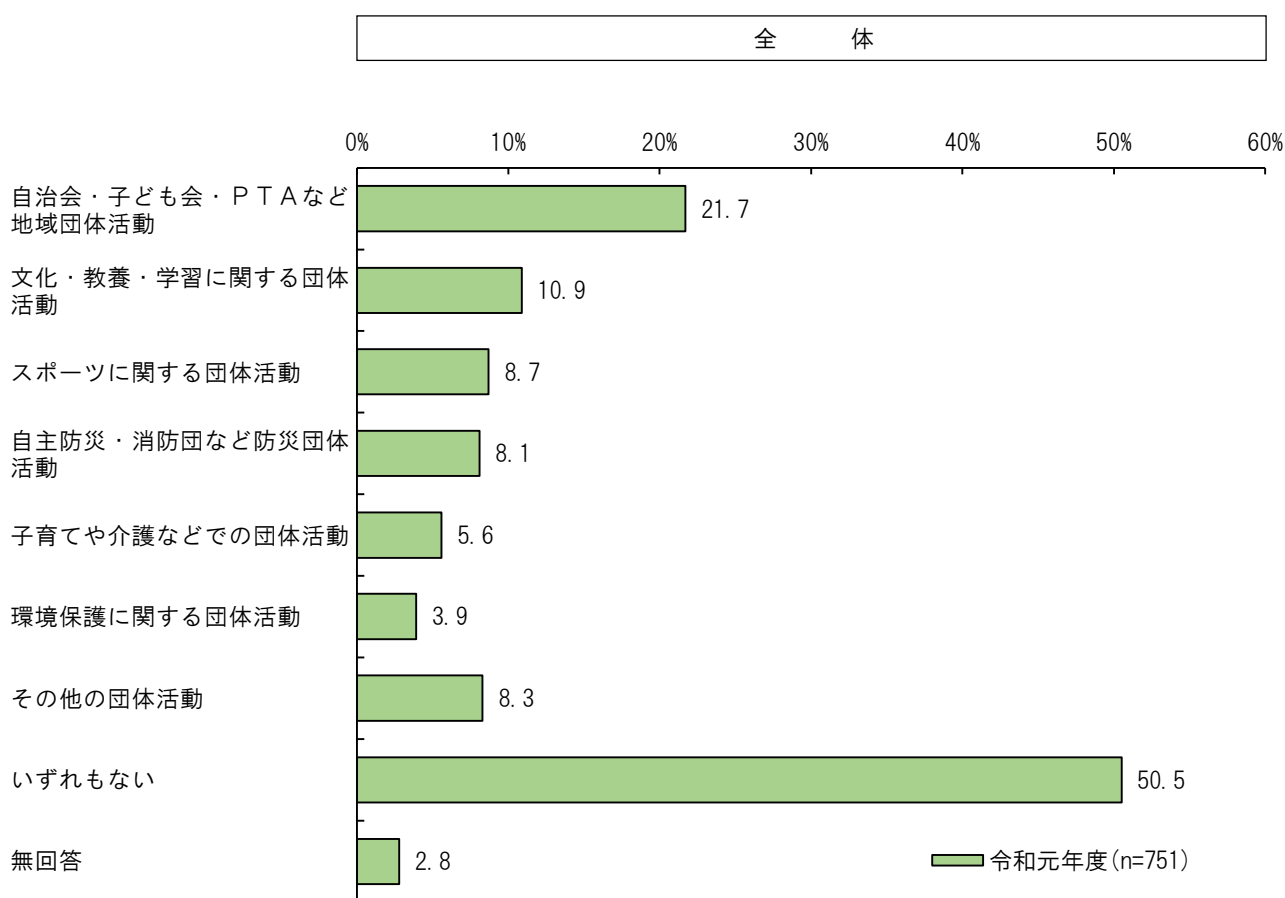
### 18. 地域での現在と今後の活動状況

問18 あなたが、次にあげる地域での活動の中で（1）現在取り組んでいる活動、（2）今後取り組みたい活動をお答えください。（〇はいくつでも）

#### ①現在取り組んでいる活動

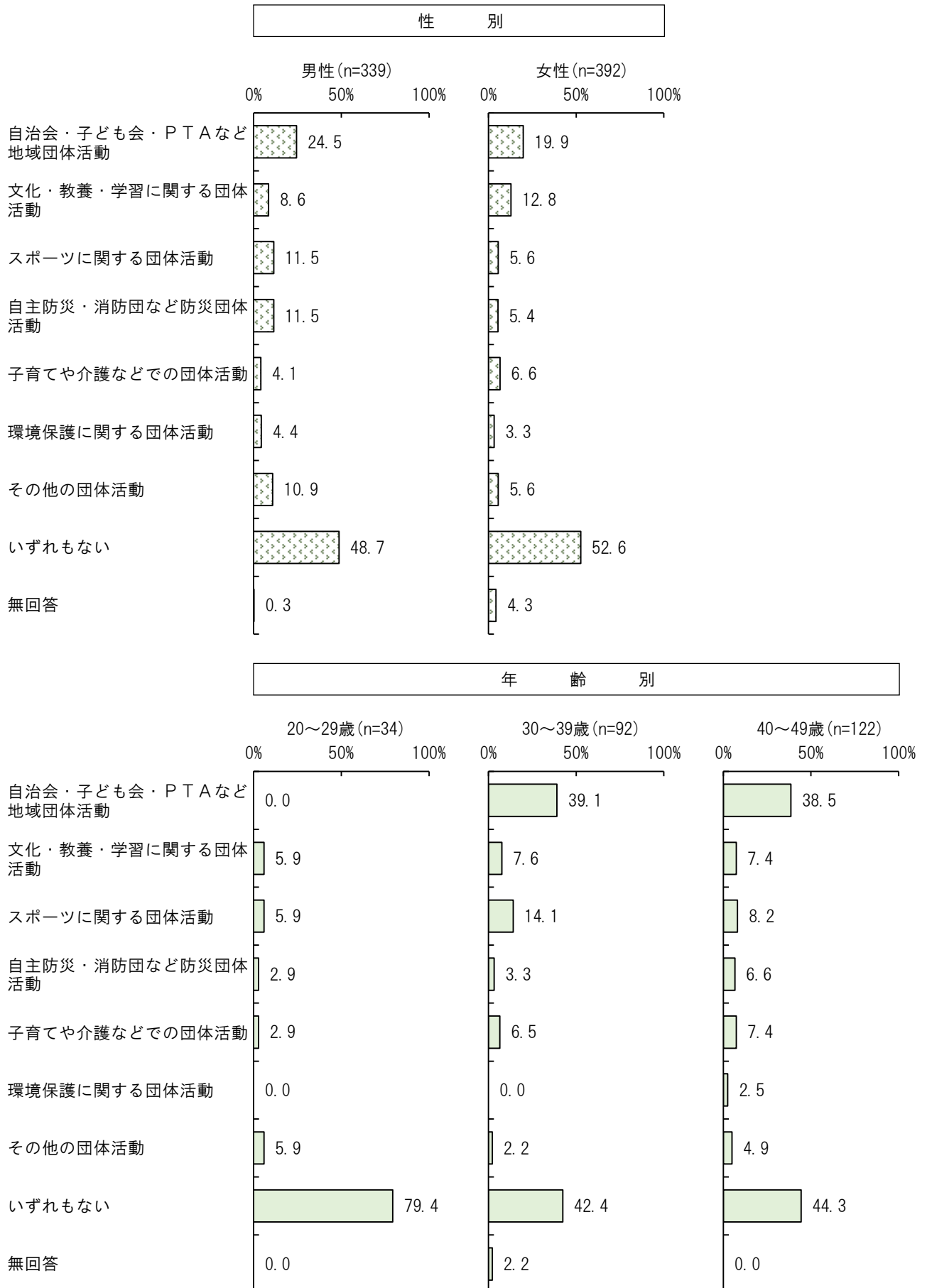
現在取り組んでいる活動では、「自治会・子ども会・PTAなど地域団体活動」が21.7%と最も多く、次いで「文化・教養・学習に関する団体活動」が10.9%、「スポーツに関する団体活動」が8.7%などとなっています。また、「いずれもない」が50.5%となっています。

年齢別にみると、“20～29歳”で「自治会・子ども会・PTAなど地域団体活動」と回答した方はいませんでした。



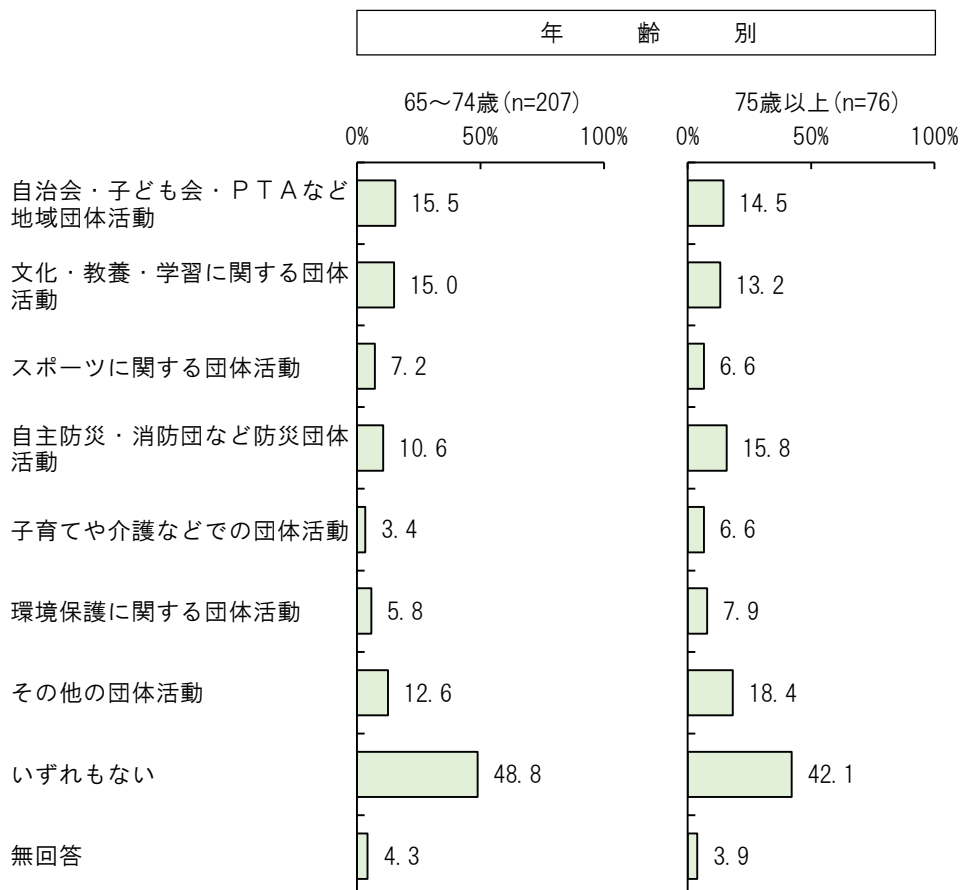
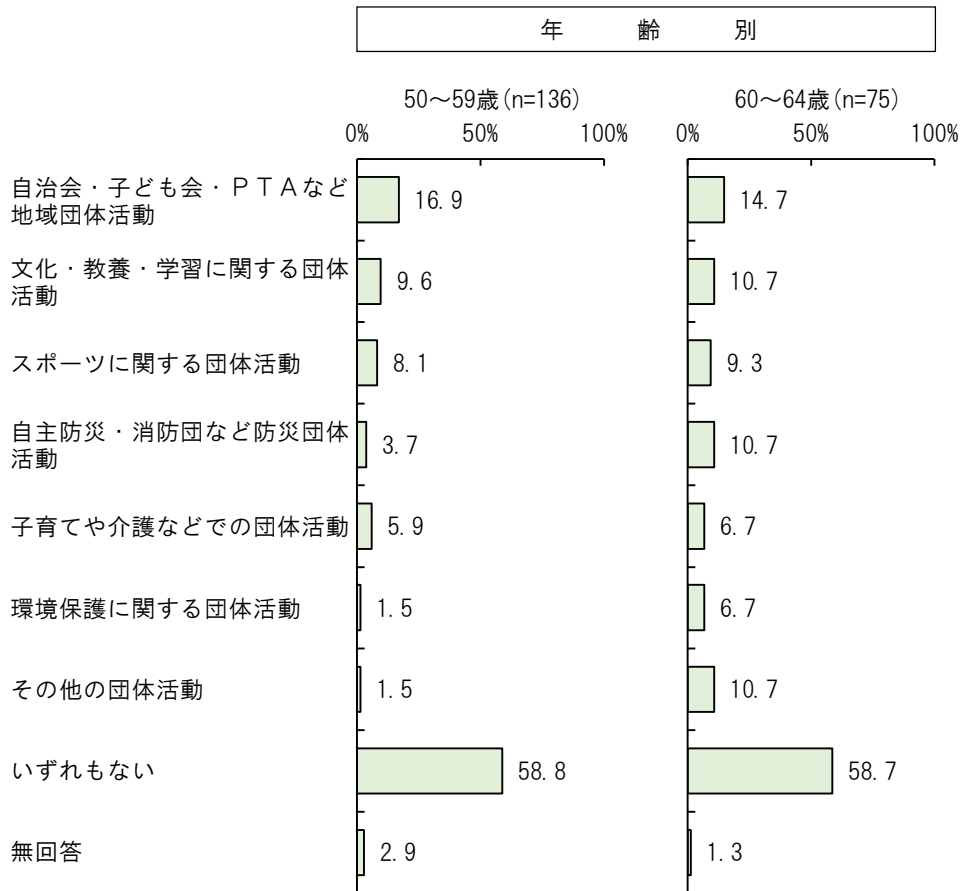
## 18. 地域での現在と今後の活動状況

### ①現在取り組んでいる活動



## 18. 地域での現在と今後の活動状況

### ①現在取り組んでいる活動

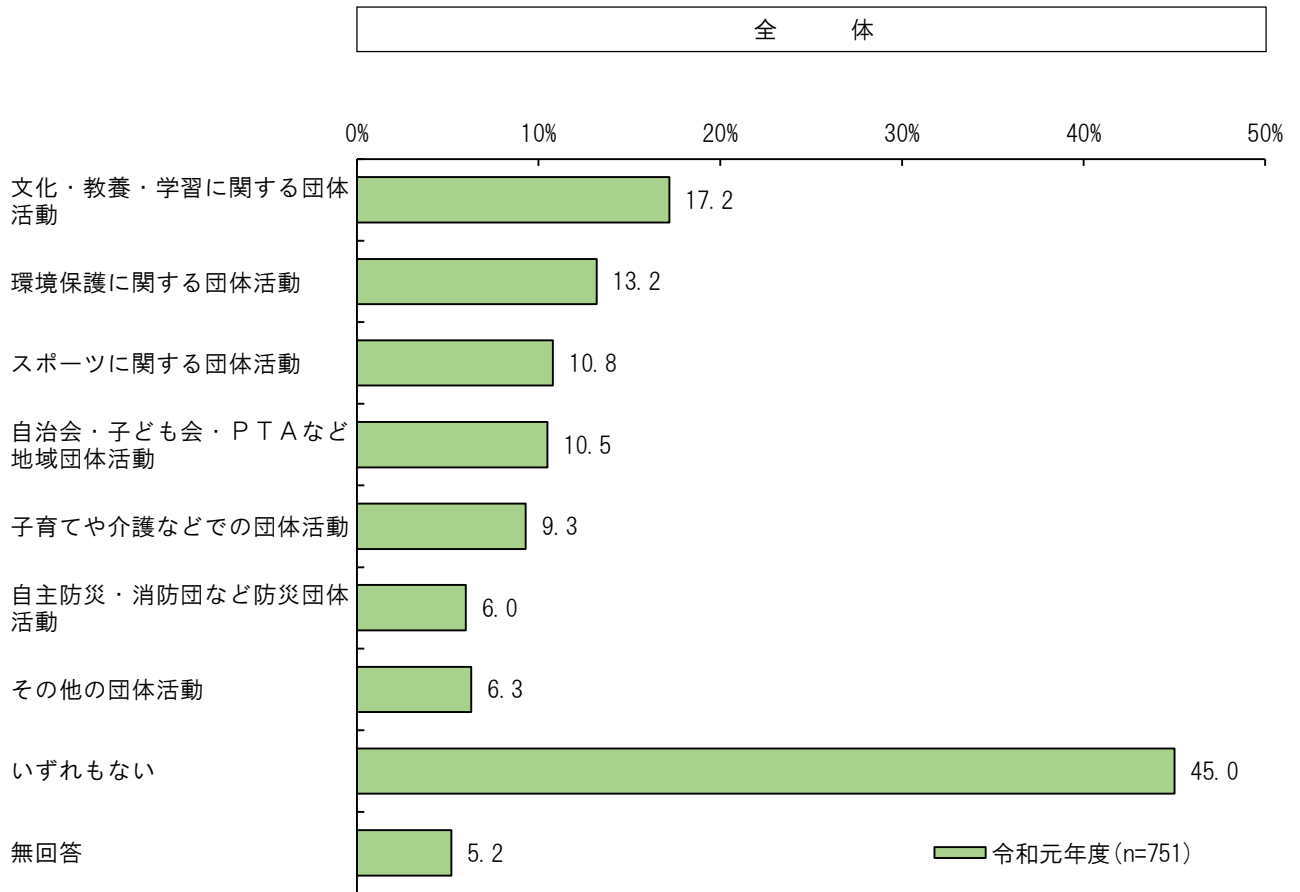




## 18. 地域での現在と今後の活動状況

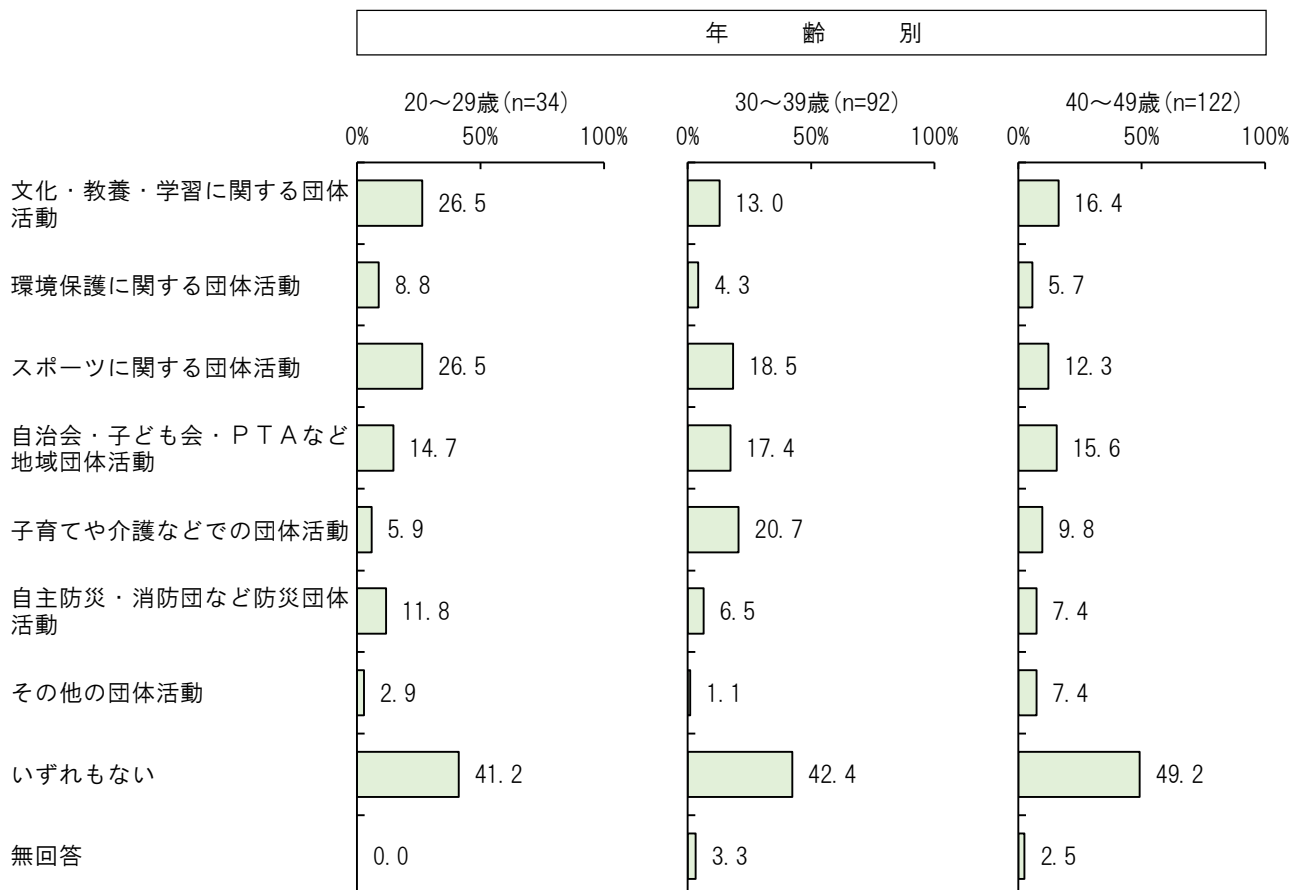
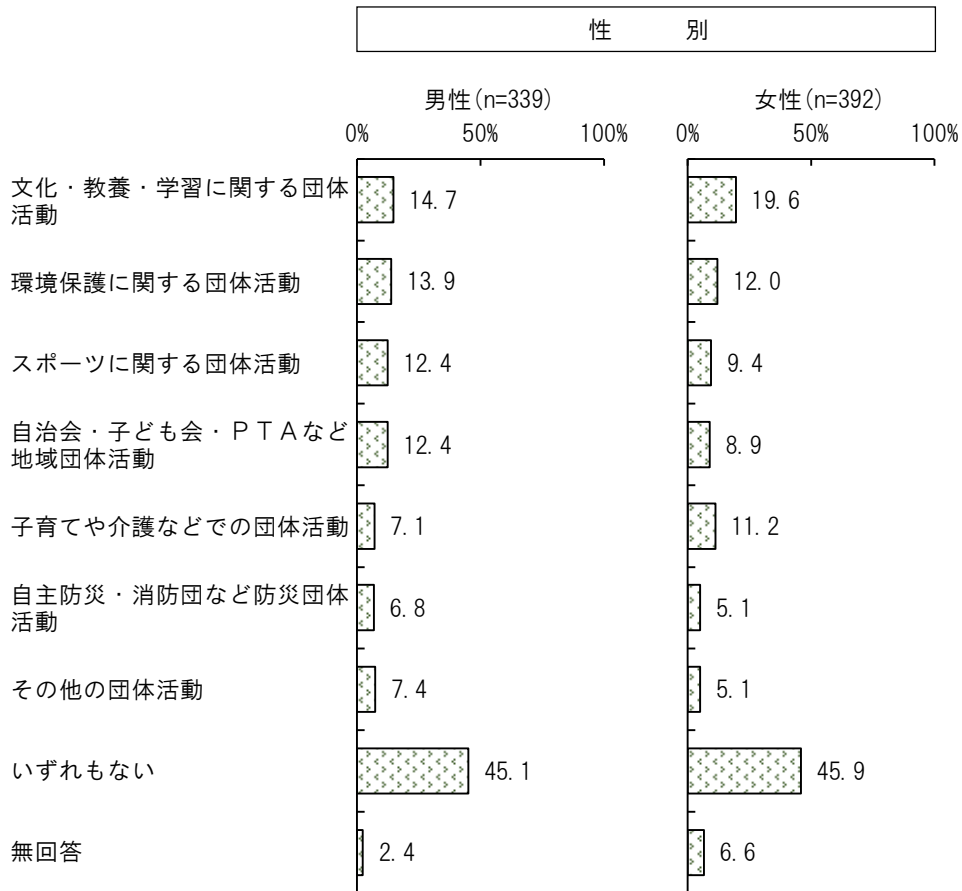
### ② 今後取り組みたい活動

今後取り組みたい活動では、「文化・教養・学習に関する団体活動」が17.2%と最も多く、次いで「環境保護に関する団体活動」が13.2%、「スポーツに関する団体活動」が10.8%などとなっています。また、「いずれもない」が45.0%となっています。



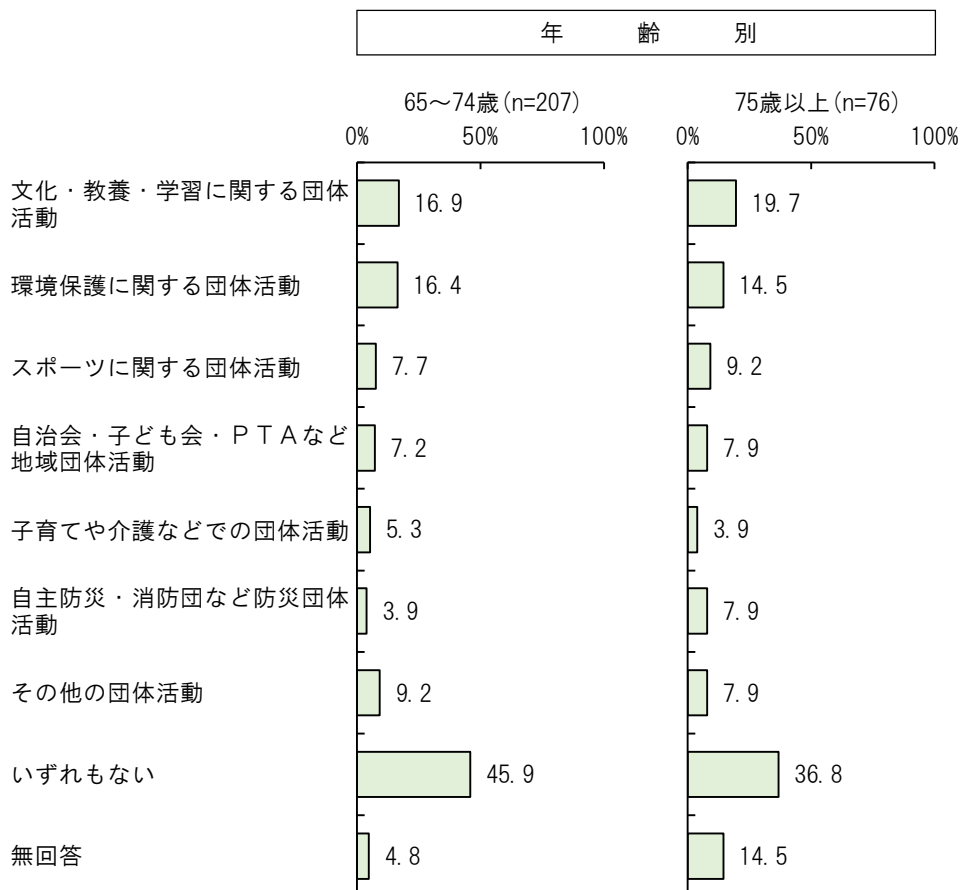
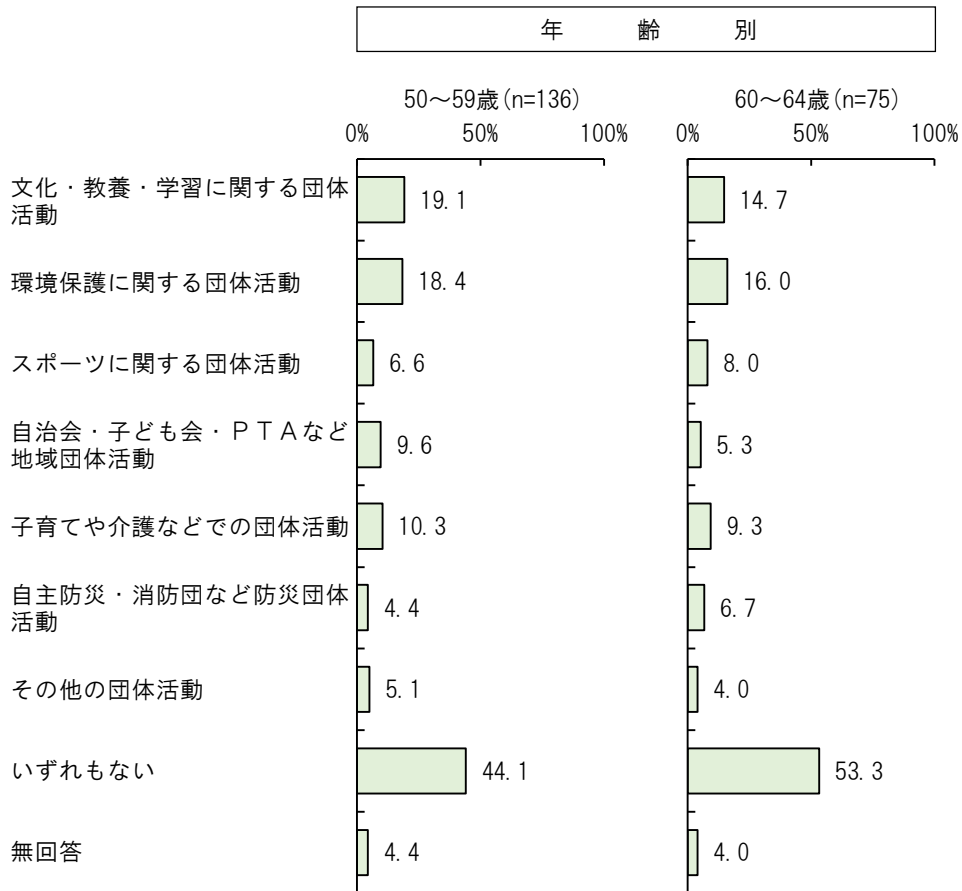
## 18. 地域での現在と今後の活動状況

### ② 今後取り組みたい活動



## 18. 地域での現在と今後の活動状況

### ② 今後取り組みたい活動



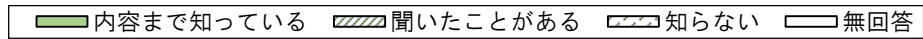
(6) 用語について

19. 用語についての認知

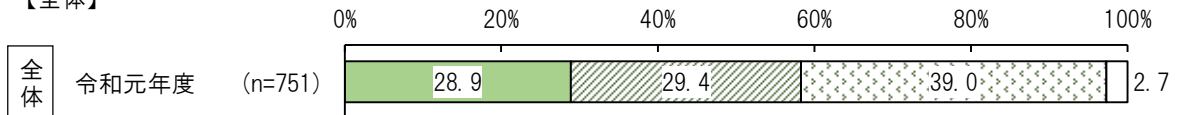
問19 あなたは、次にあげる用語について知っていますか。 (それぞれ1つに○)

①ジェンダー

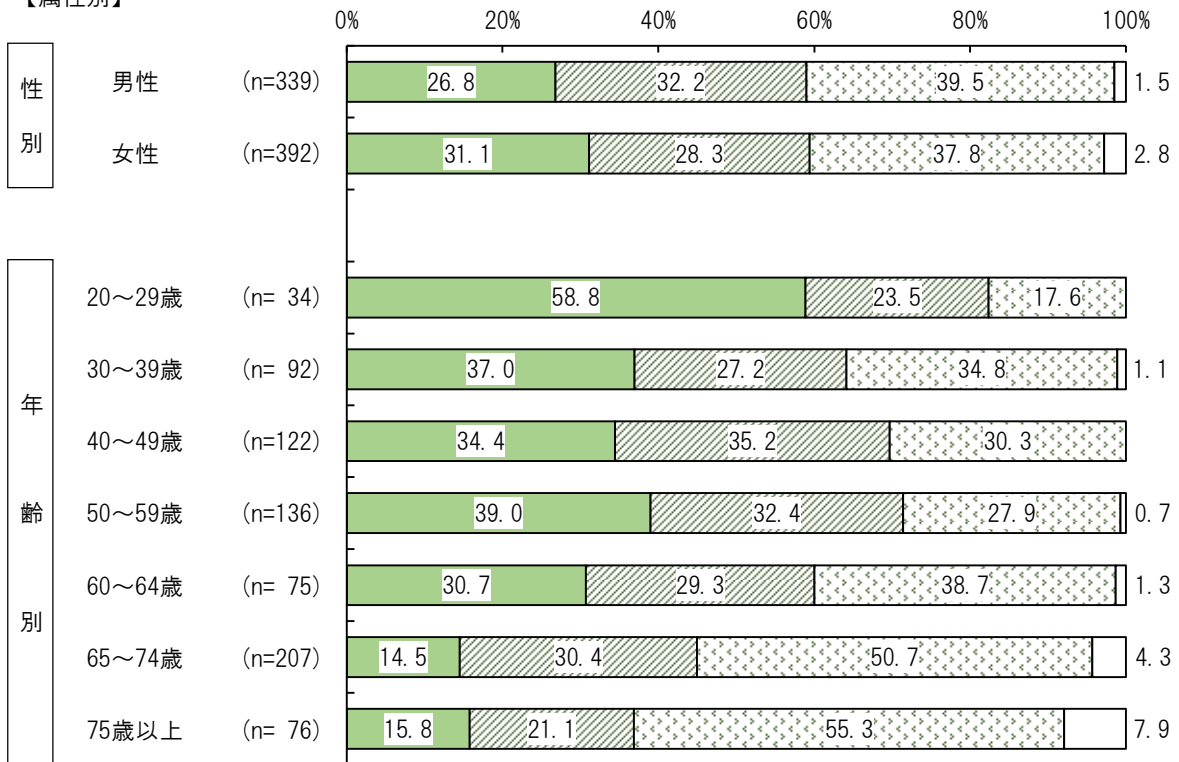
ジェンダーでは、「内容まで知っている」が28.9%、「聞いたことがある」が29.4%、「知らない」が39.0%となっています。



【全体】



【属性別】



## 19. 用語についての認知

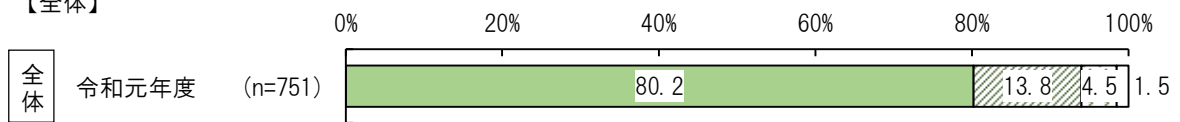
### ②ドメスティック・バイオレンス（DV）

ドメスティック・バイオレンス（DV）では、「内容まで知っている」が80.2%、「聞いたことがある」が13.8%、「知らない」が4.5%となっています。

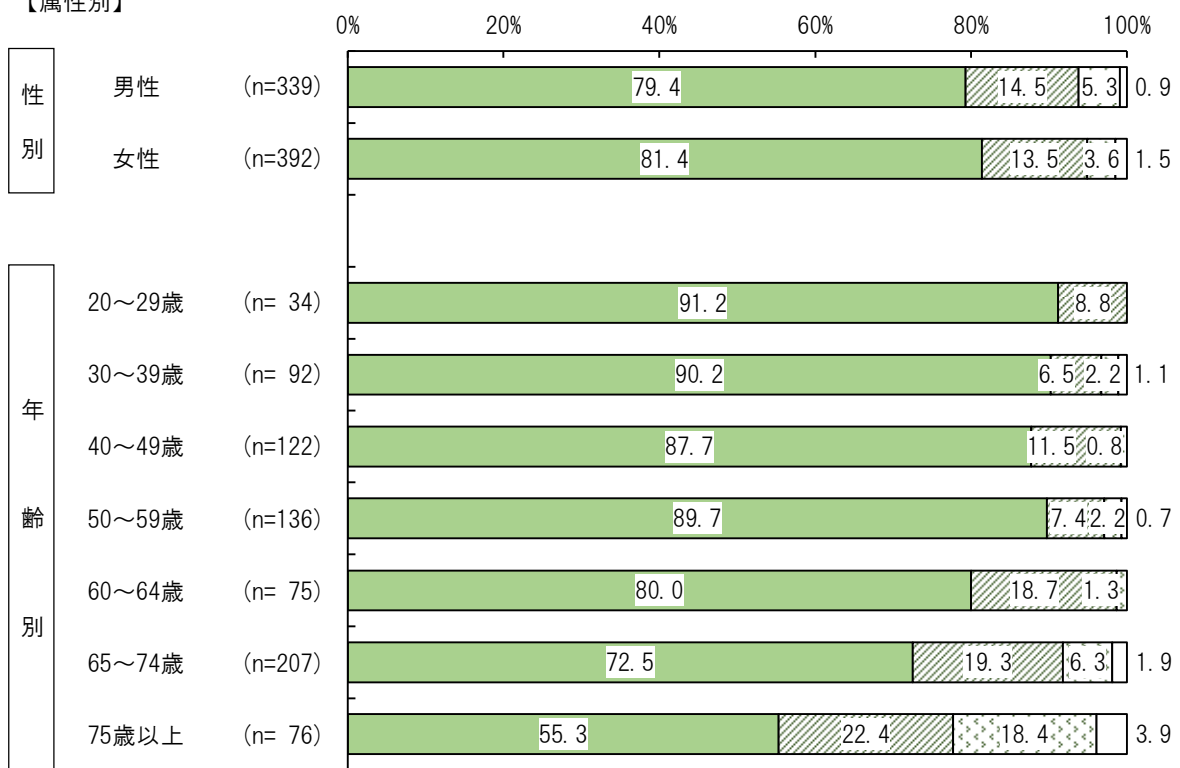
年齢別にみると、“20～29歳”で「知らない」と回答した方はいませんでした。

■ 内容まで知っている ■ 聞いたことがある □ 知らない □ 無回答

#### 【全体】



#### 【属性別】

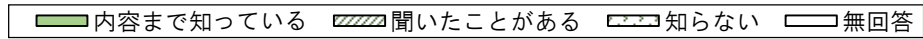


## 19. 用語についての認知

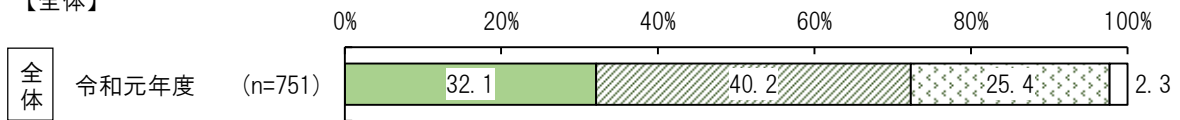
### ③ワーク・ライフ・バランス

ワーク・ライフ・バランスでは、「内容まで知っている」が32.1%、「聞いたことがある」が40.2%、「知らない」が25.4%となっています。

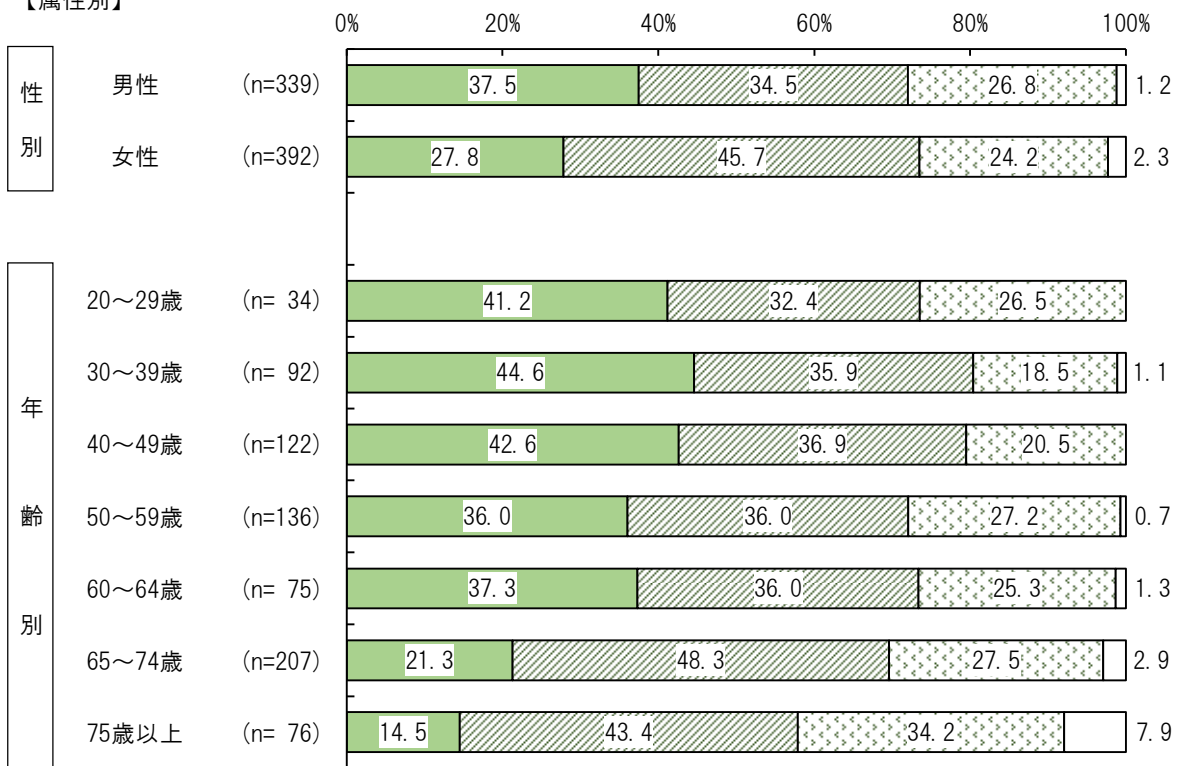
性別にみると、「男性」では「内容まで知っている」が37.5%と最も多くなっています。



#### 【全体】



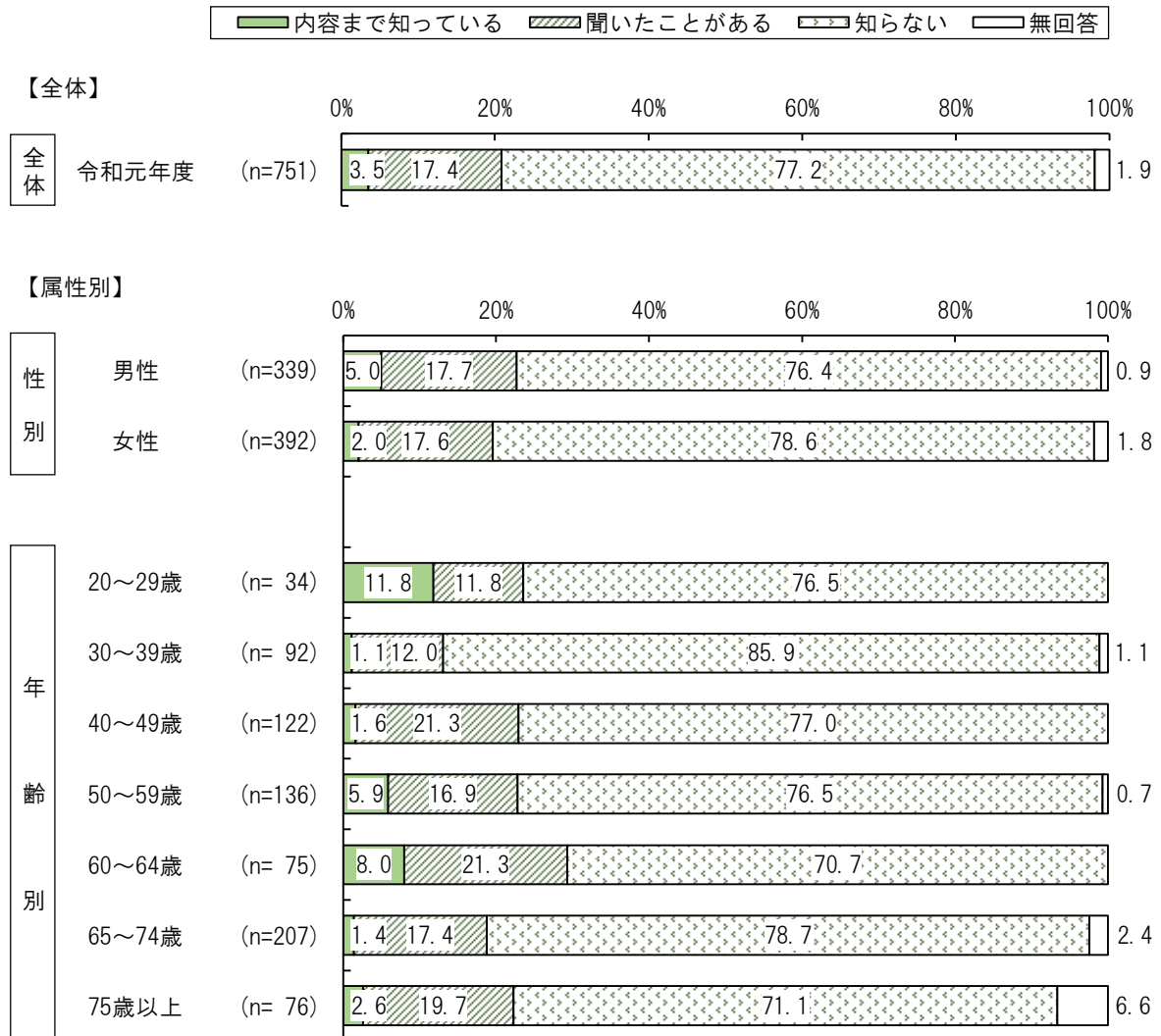
#### 【属性別】



## 19. 用語についての認知

### ④リプロダクティブ・ヘルス/ライツ

リプロダクティブ・ヘルス/ライツでは、「内容まで知っている」が3.5%、「聞いたことがある」が17.4%、「知らない」が77.2%となっています。

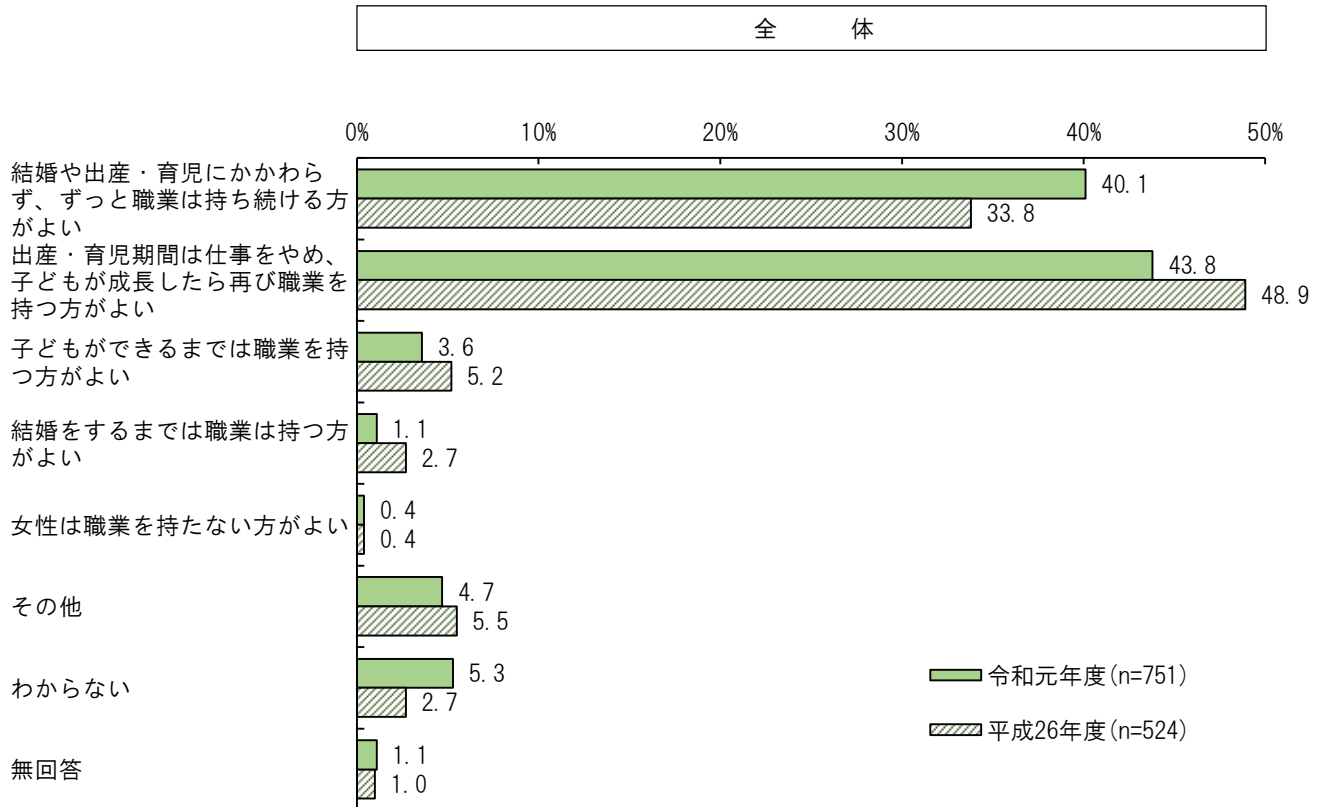


(7) 男女がともに能力を発揮できる就業環境について

20. 女性が働くことへの考え方

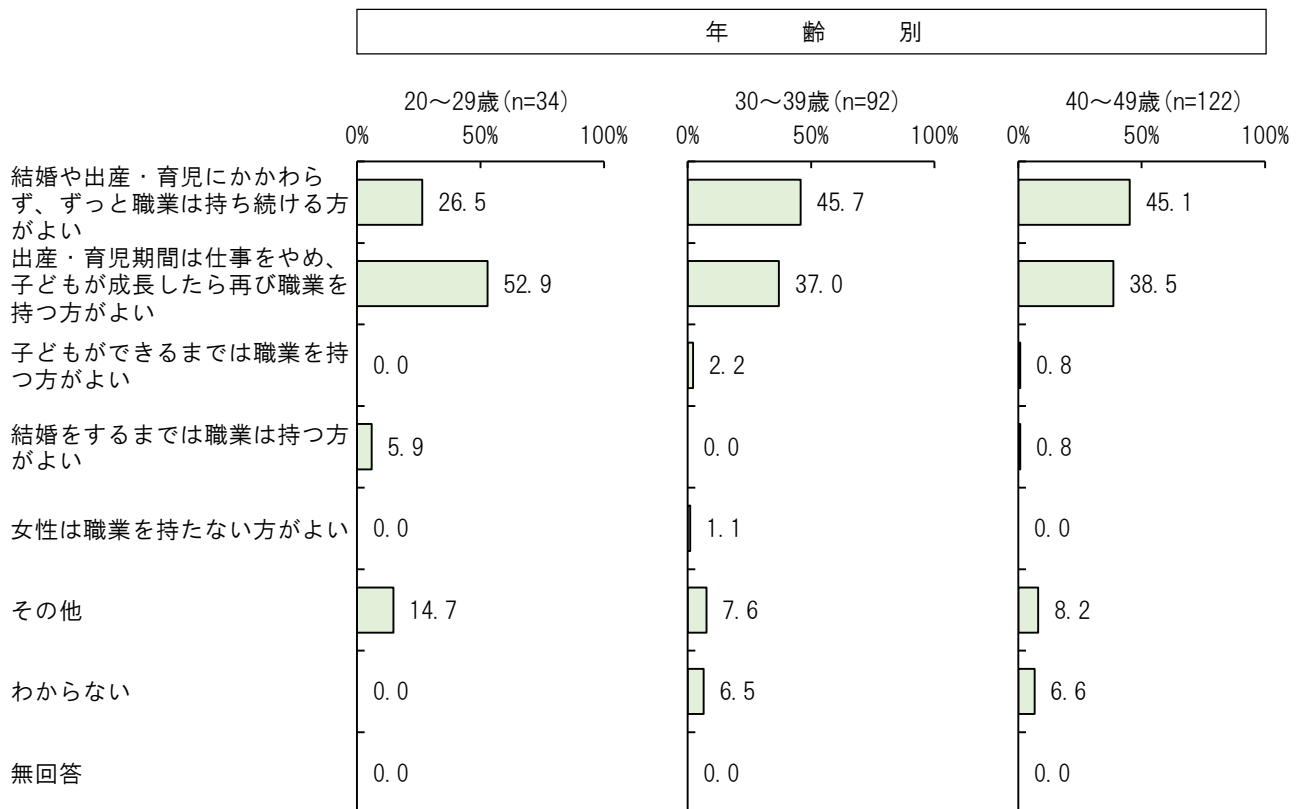
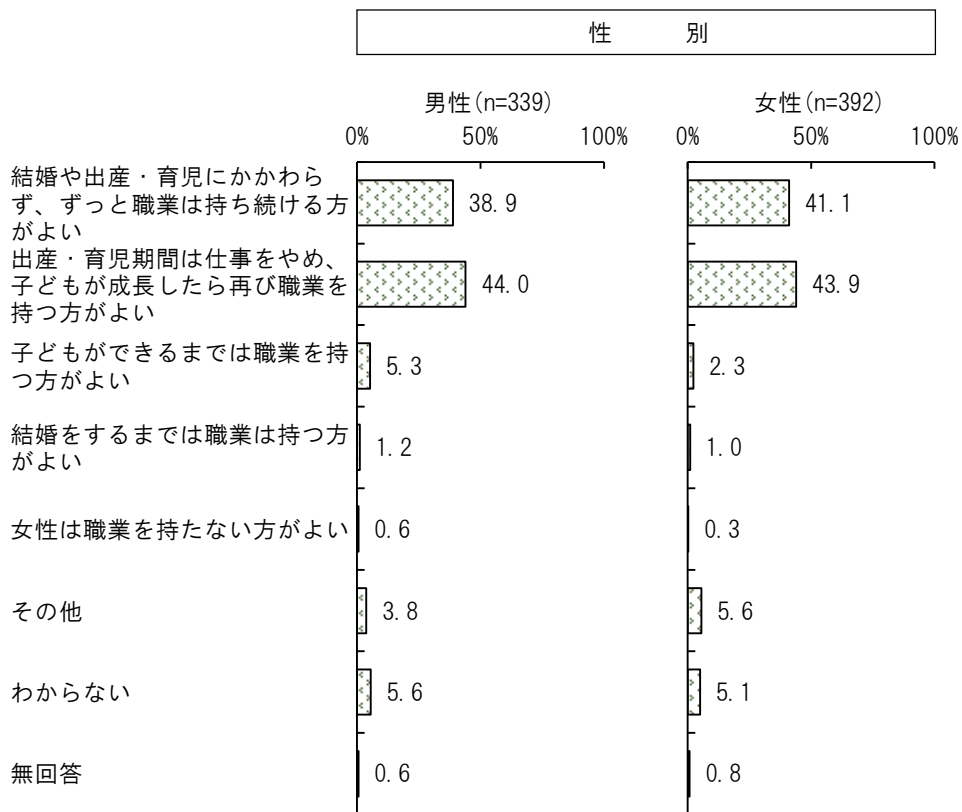
問20 女性が働くことについてどのように考えますか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(1つに○)

女性が働くことへの考え方では、「出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び職業を持つ方がよい」が43.8%と最も多く、次いで「結婚や出産・育児にかかわらず、ずっと職業は持ち続ける方がよい」が40.1%、「わからない」が5.3%などとなっています。

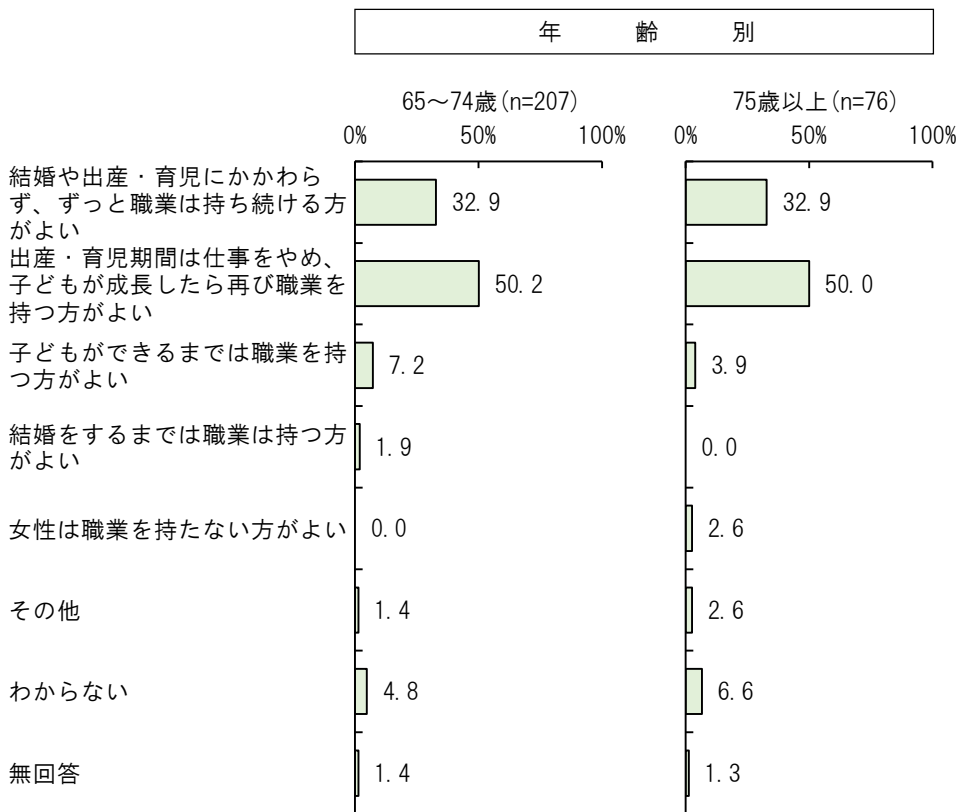
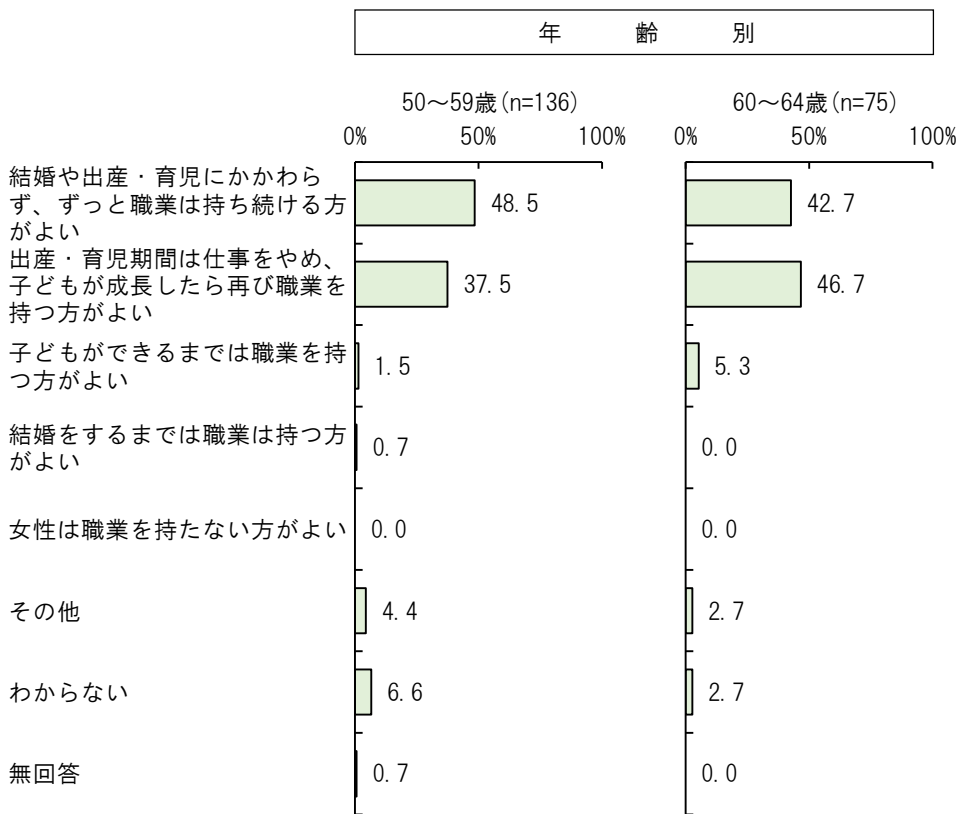




## 20. 女性が働くことへの考え方



## 20. 女性が働くことへの考え方

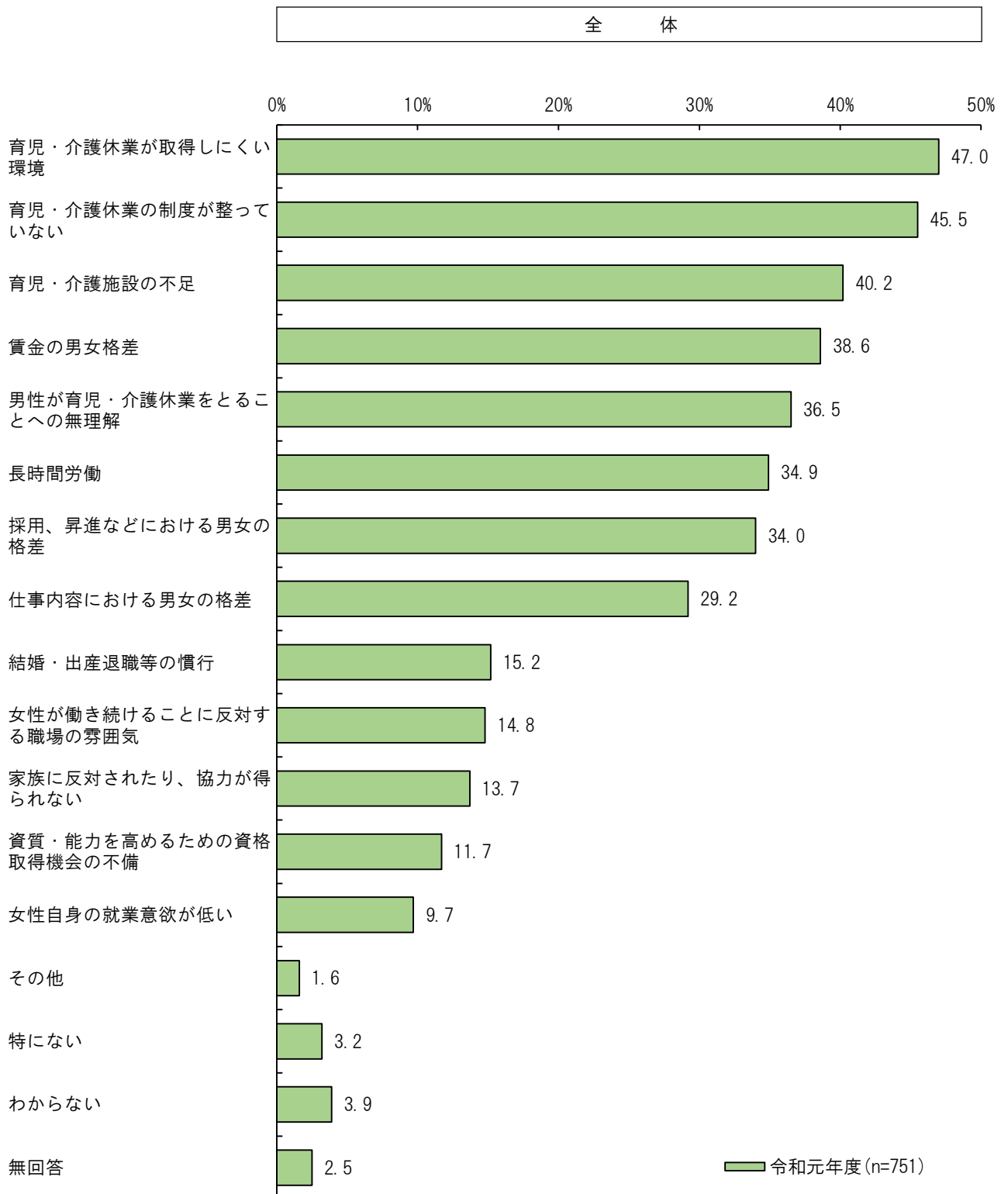


## 21. 女性が継続して働く上での課題

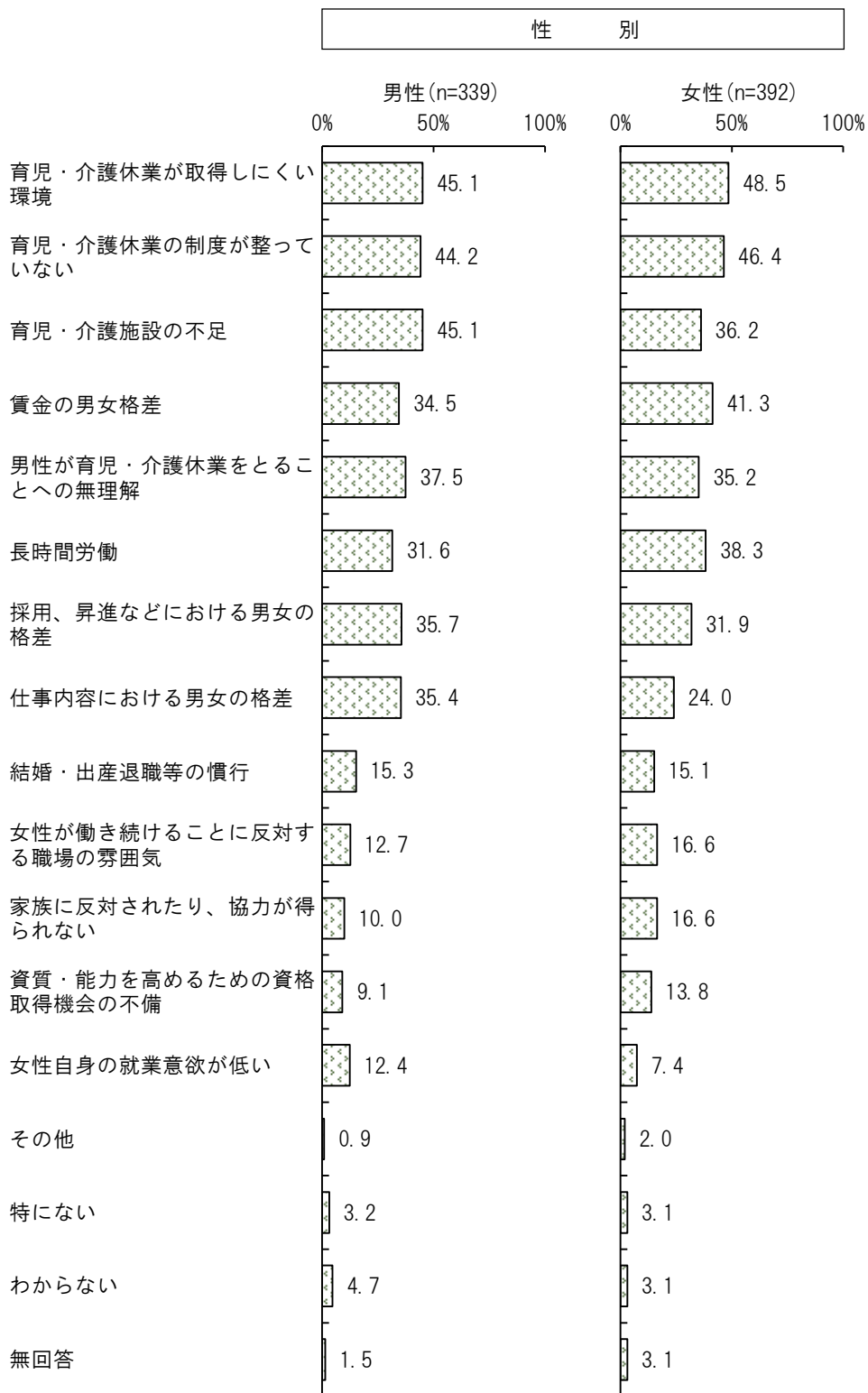
問21 あなたは、女性が継続して働く上での課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

女性が継続して働く上での課題では、「育児・介護休業が取得しにくい環境」が47.0%と最も多く、次いで「育児・介護休業の制度が整っていない」が45.5%、「育児・介護施設の不足」が40.2%などとなっています。

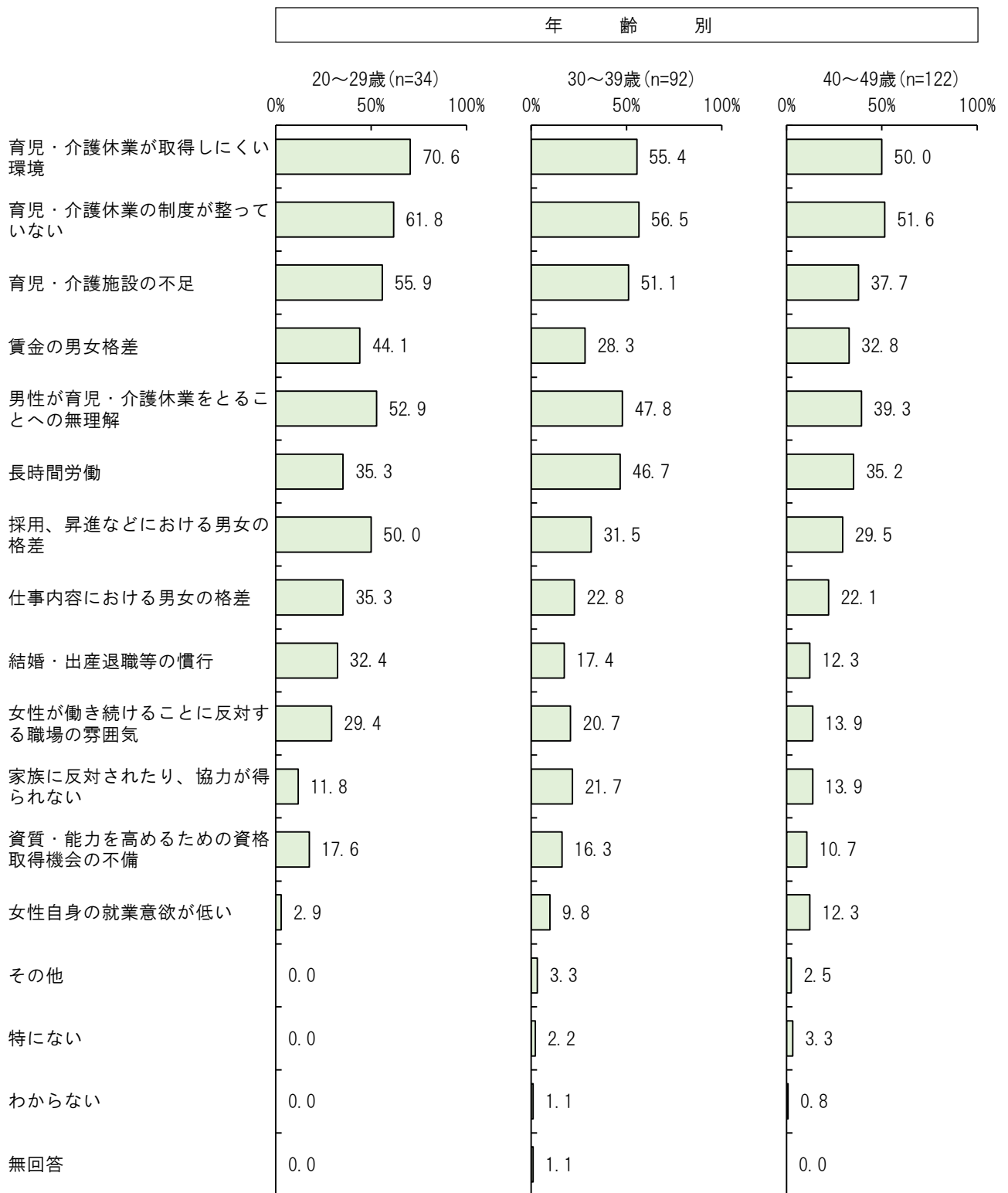
年齢別にみると、「60～64歳」では「育児・介護施設の不足」が44.0%と最も多くなっています。また、「65～74歳」では「賃金の男女格差」が44.9%と最も多くなっています。



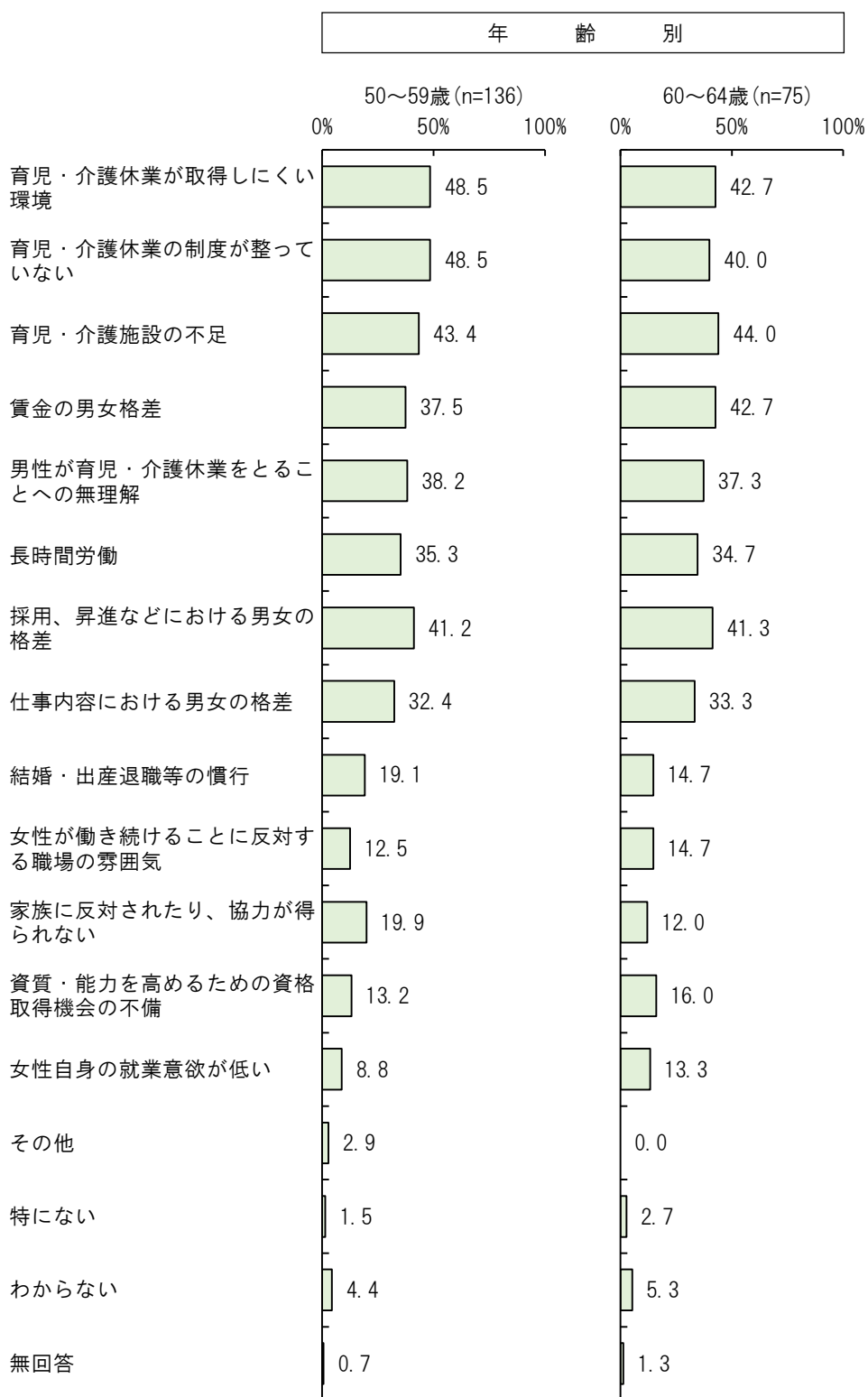
## 21. 女性が継続して働く上での課題



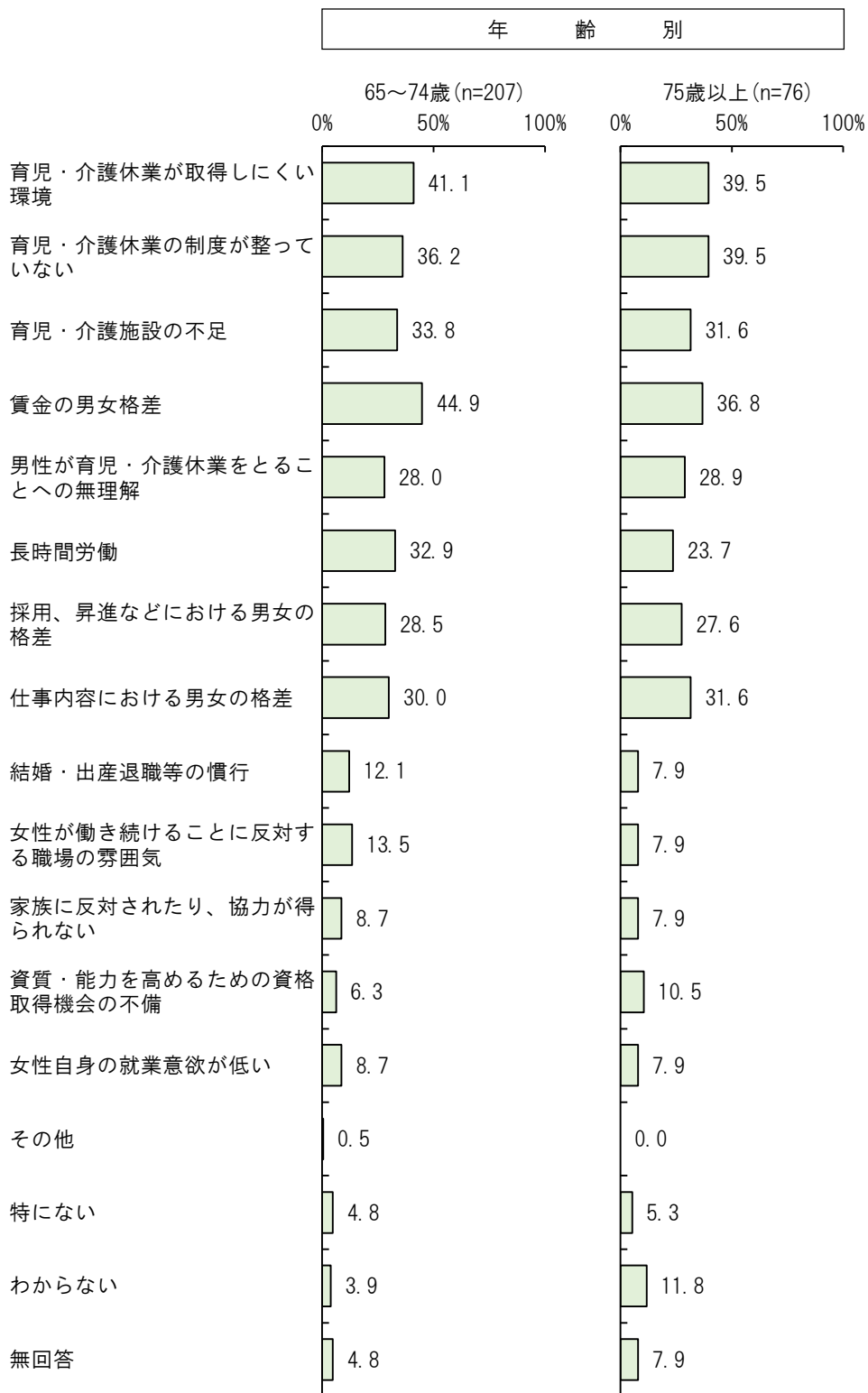
21. 女性が継続して働く上での課題



## 21. 女性が継続して働く上での課題



21. 女性が継続して働く上での課題



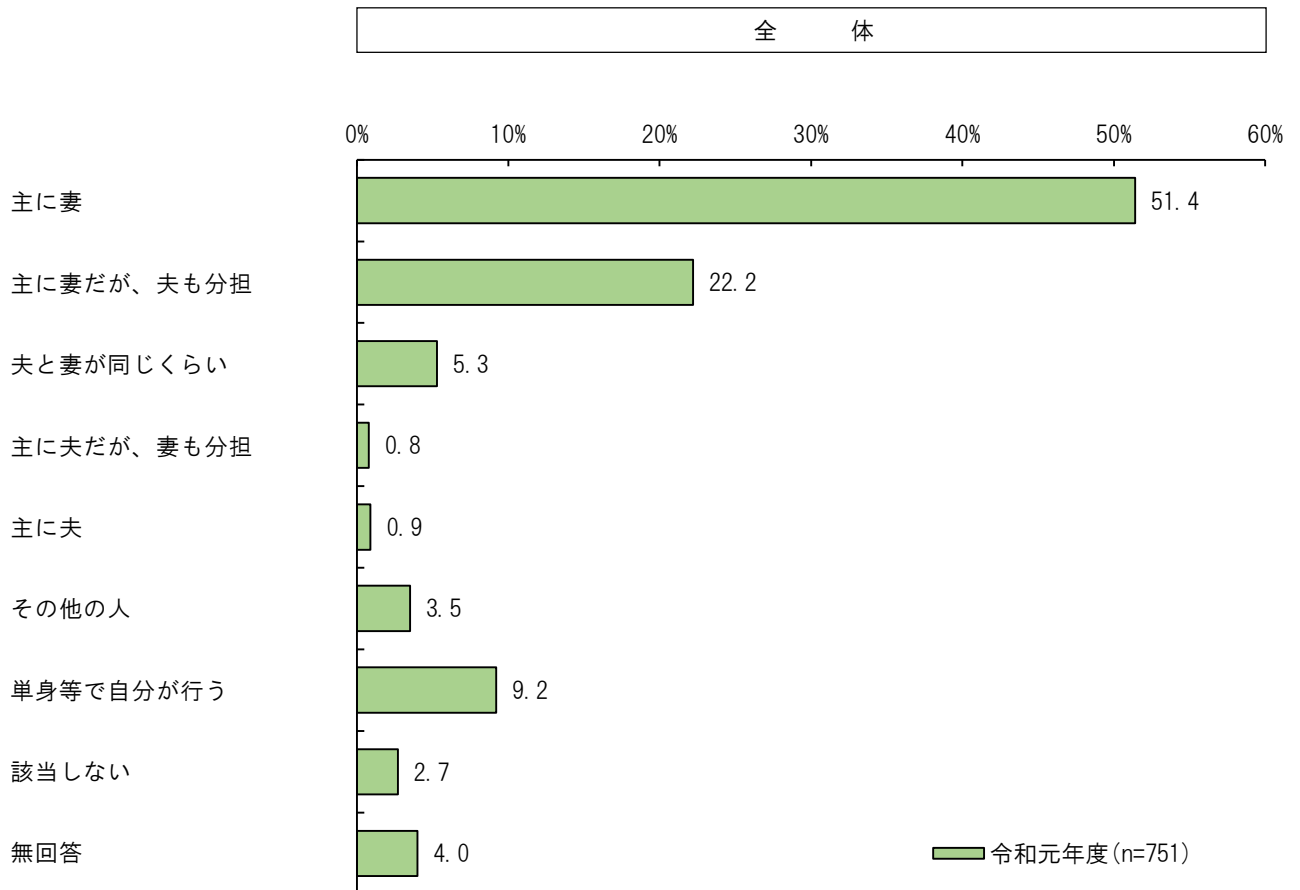
(8) ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

22. 主にしている人

問22 次にあげる事柄は、主にどなたがしていますか。 (それぞれ1つに○)

①掃除、洗濯、食事の支度など

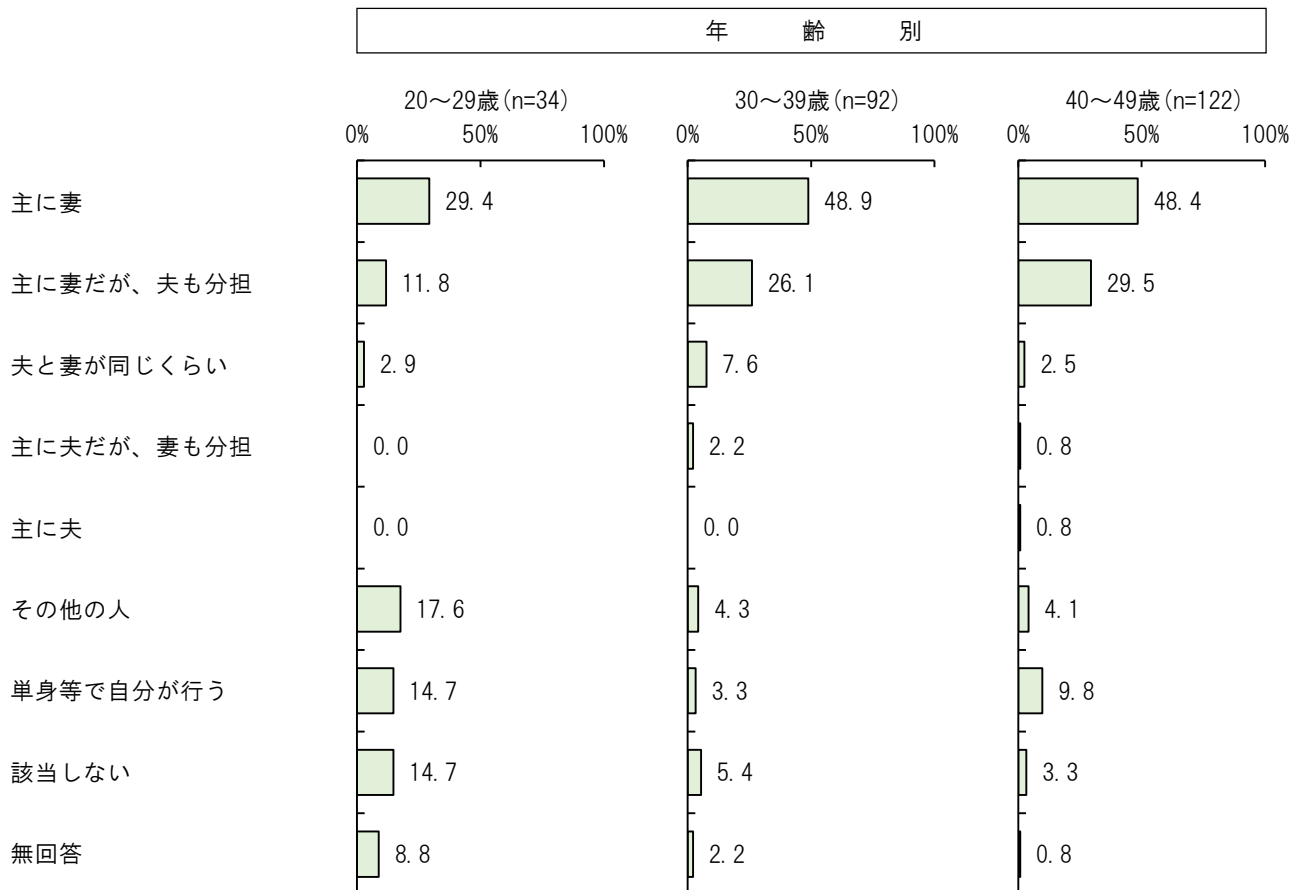
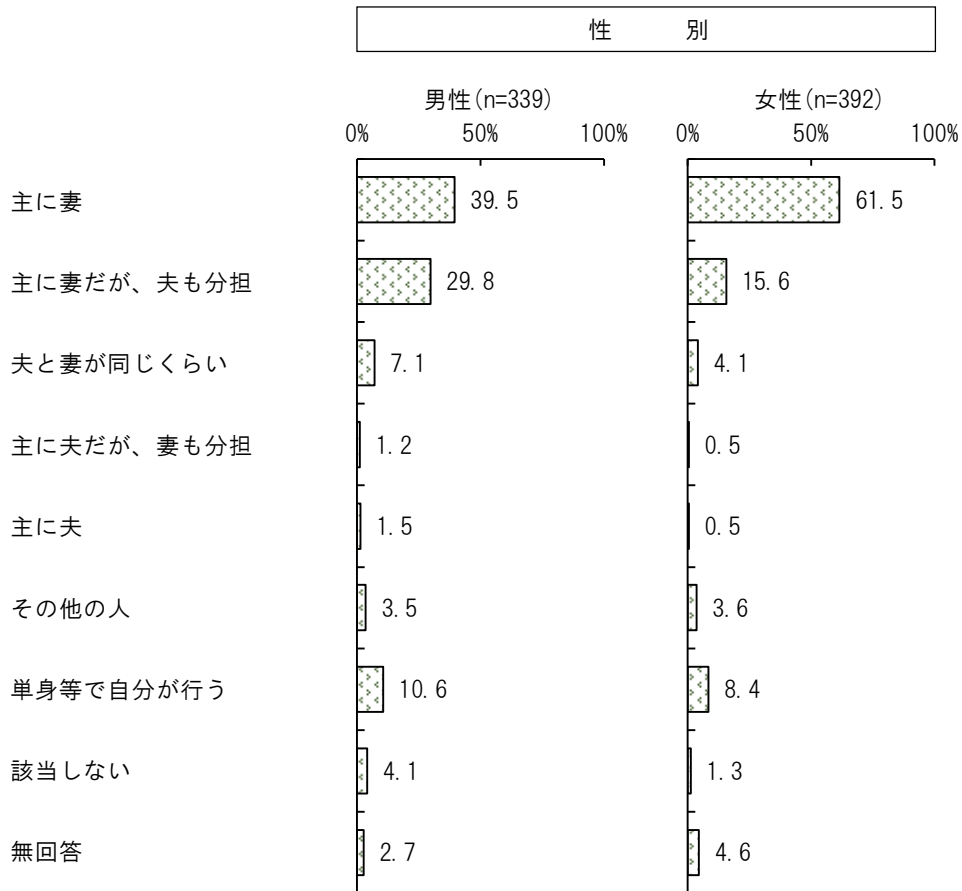
掃除、洗濯、食事の支度などでは、「主に妻」が51.4%と最も多く、次いで「主に妻だが、夫も分担」が22.2%、「単身等で自分が行う」が9.2%などとなっています。





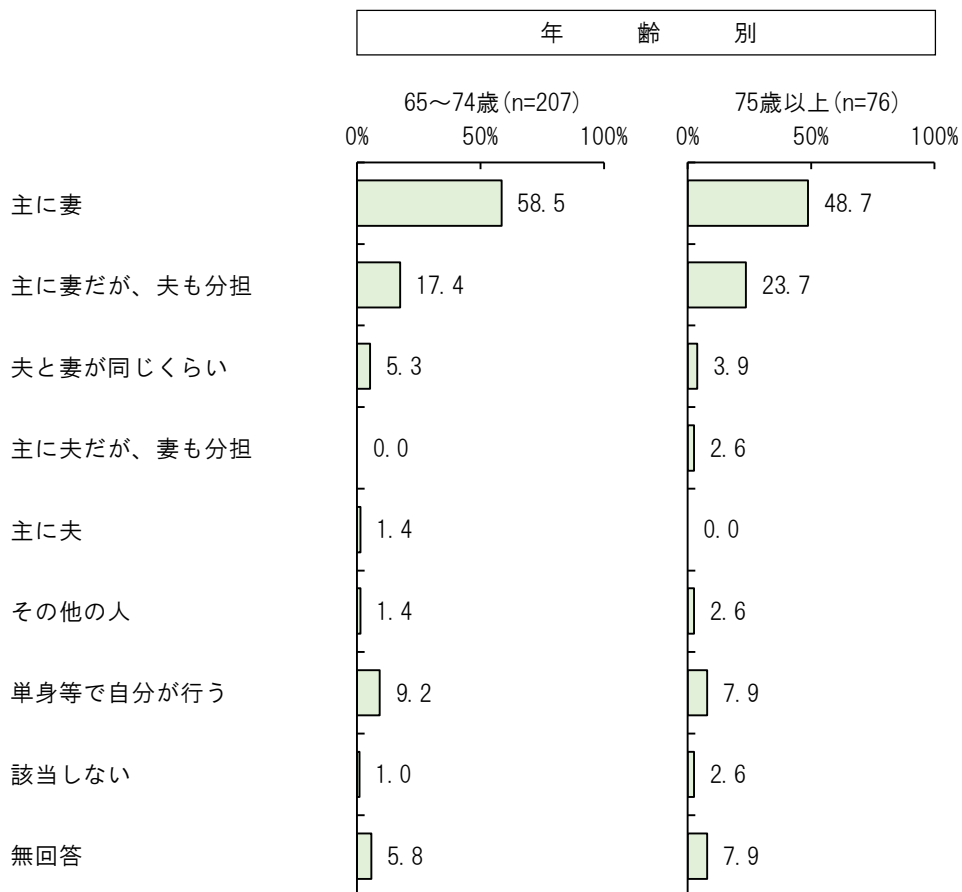
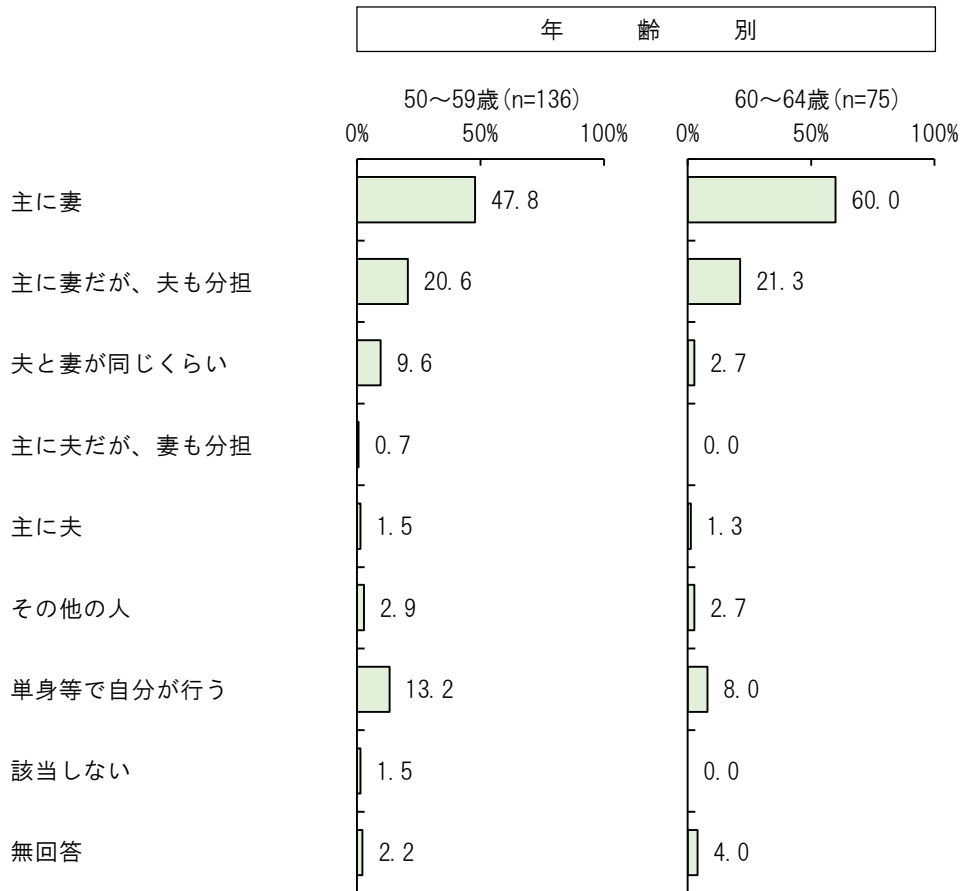
## 22. 主にしている人

### ①掃除、洗濯、食事の支度など



## 22. 主にしている人

### ①掃除、洗濯、食事の支度など

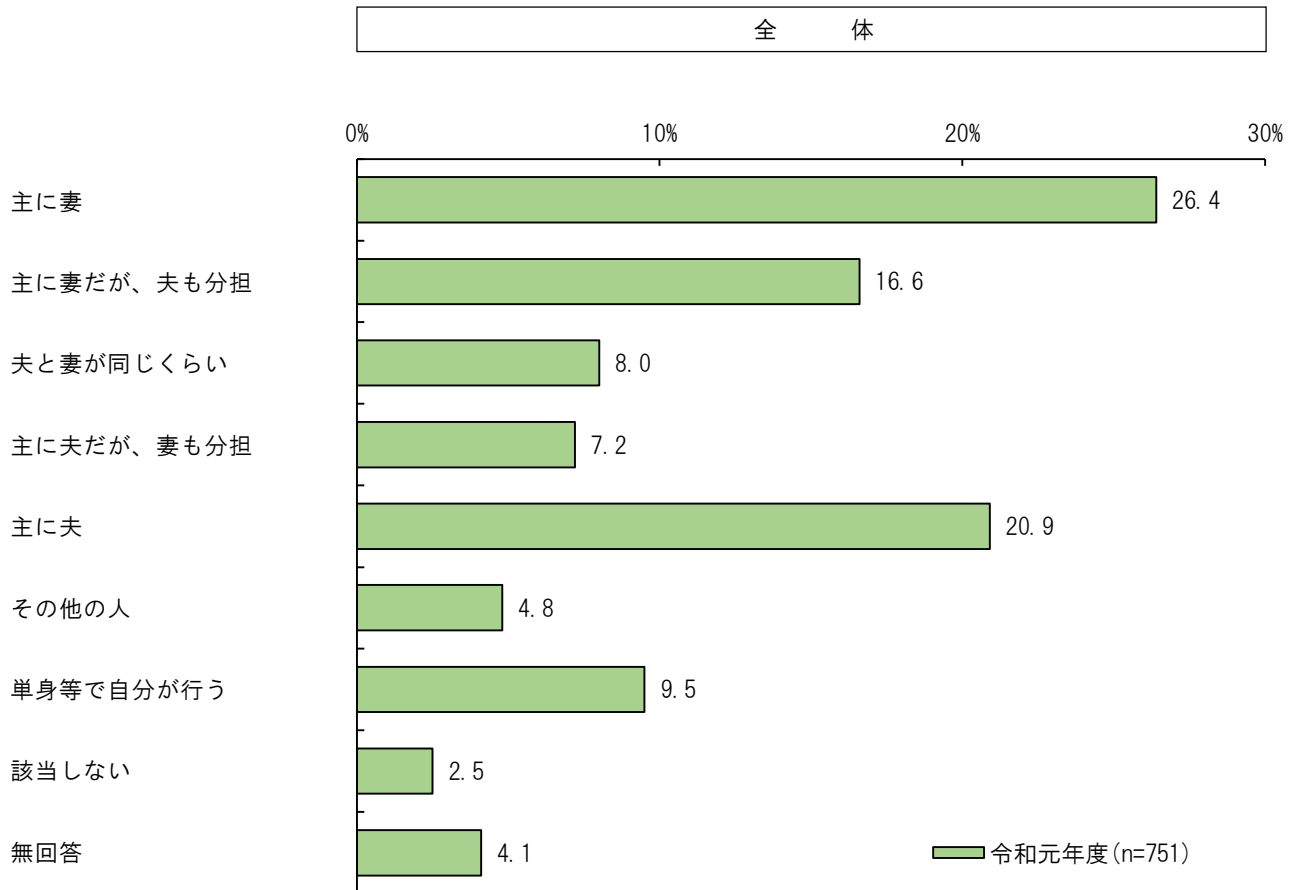


## 22. 主にしている人

### ② ゴミ出しなどの簡単な家事

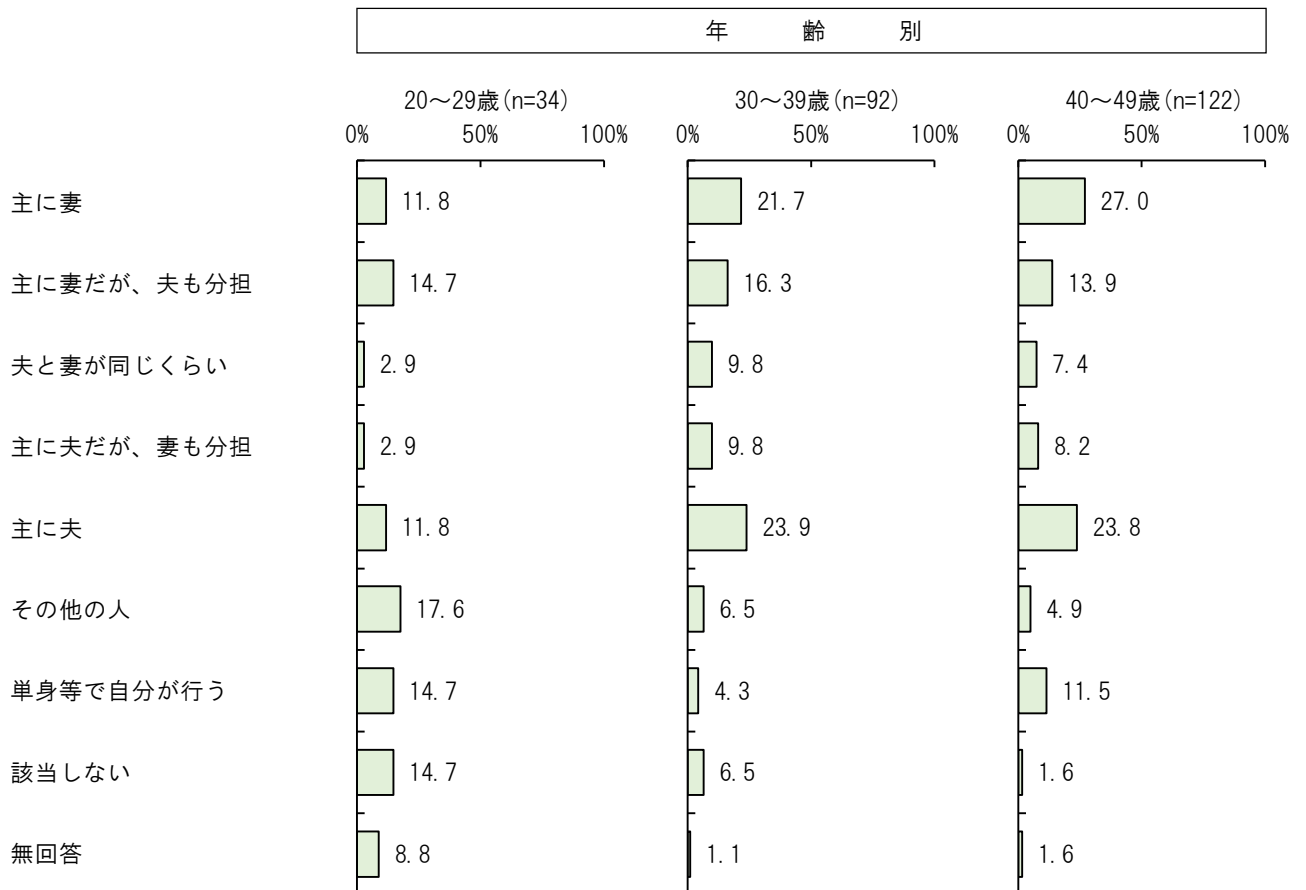
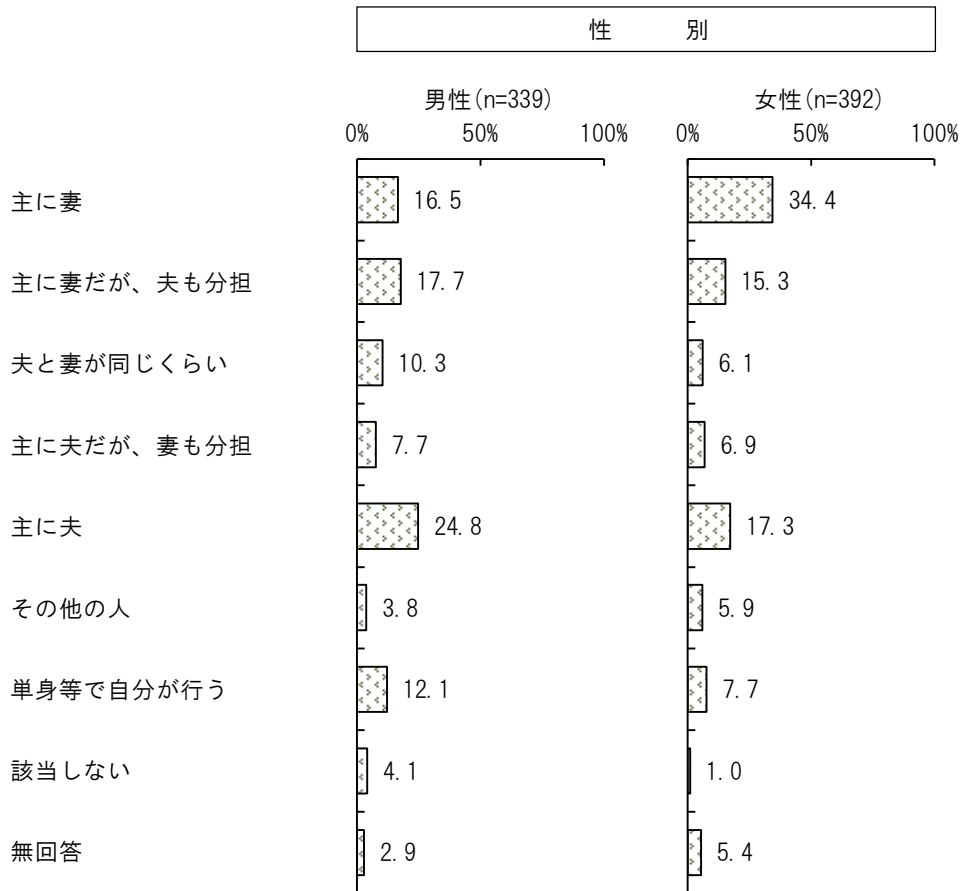
ゴミ出しなどの簡単な家事では、「主に妻」が26.4%と最も多く、次いで「主に夫」が20.9%、「主に妻だが、夫も分担」が16.6%などとなっています。

性別にみると、“男性”では「主に夫」が24.8%と最も多くなっています。



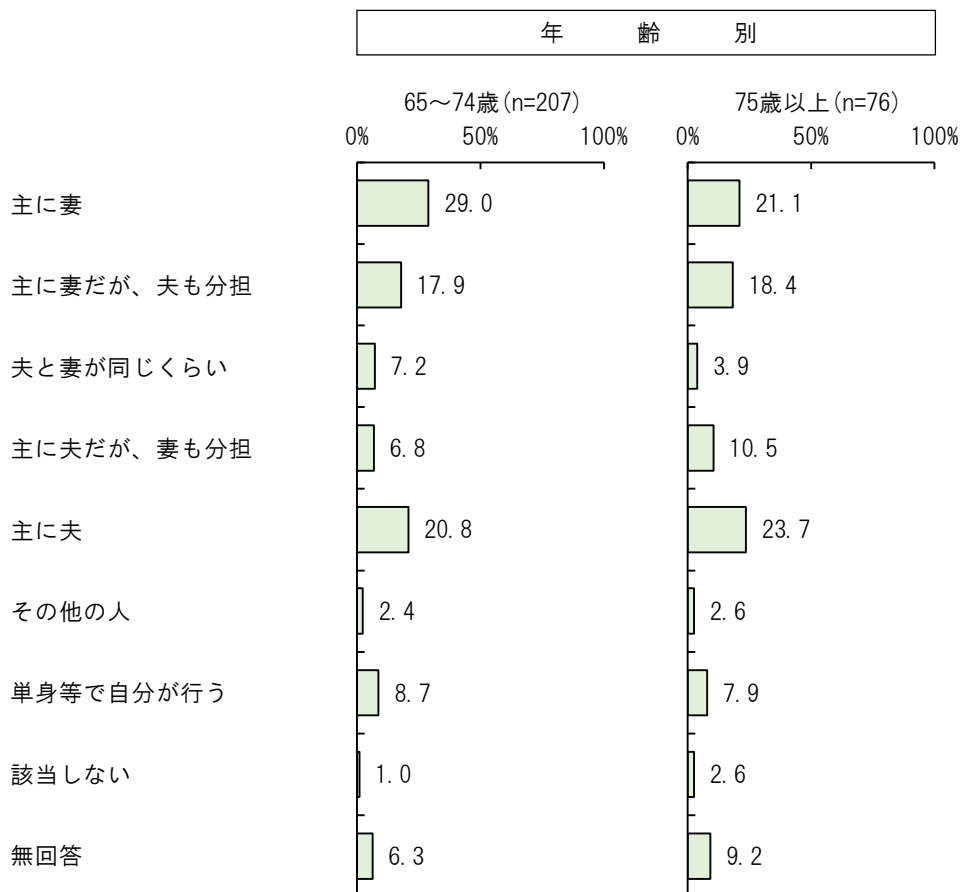
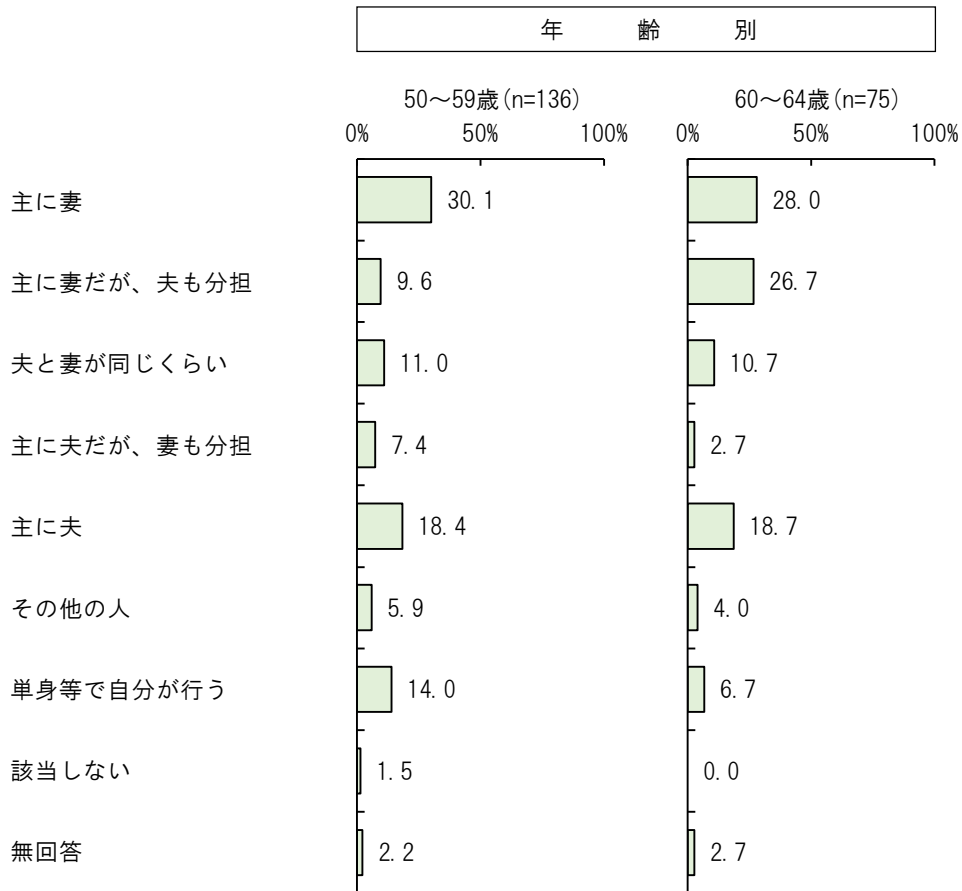
## 22. 主にしている人

### ②ゴミ出しなどの簡単な家事



## 22. 主にしている人

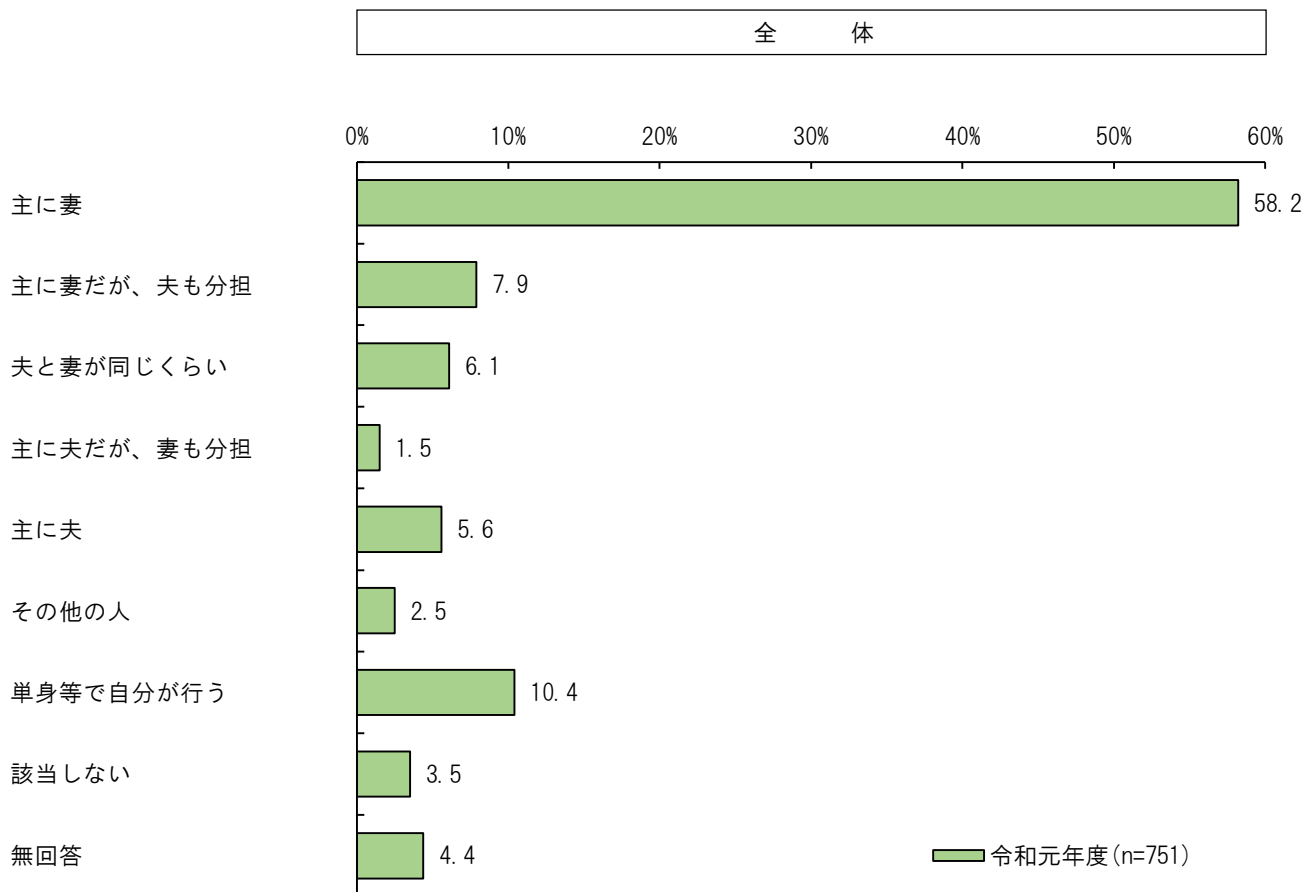
### ②ゴミ出しなどの簡単な家事



## 22. 主にしている人

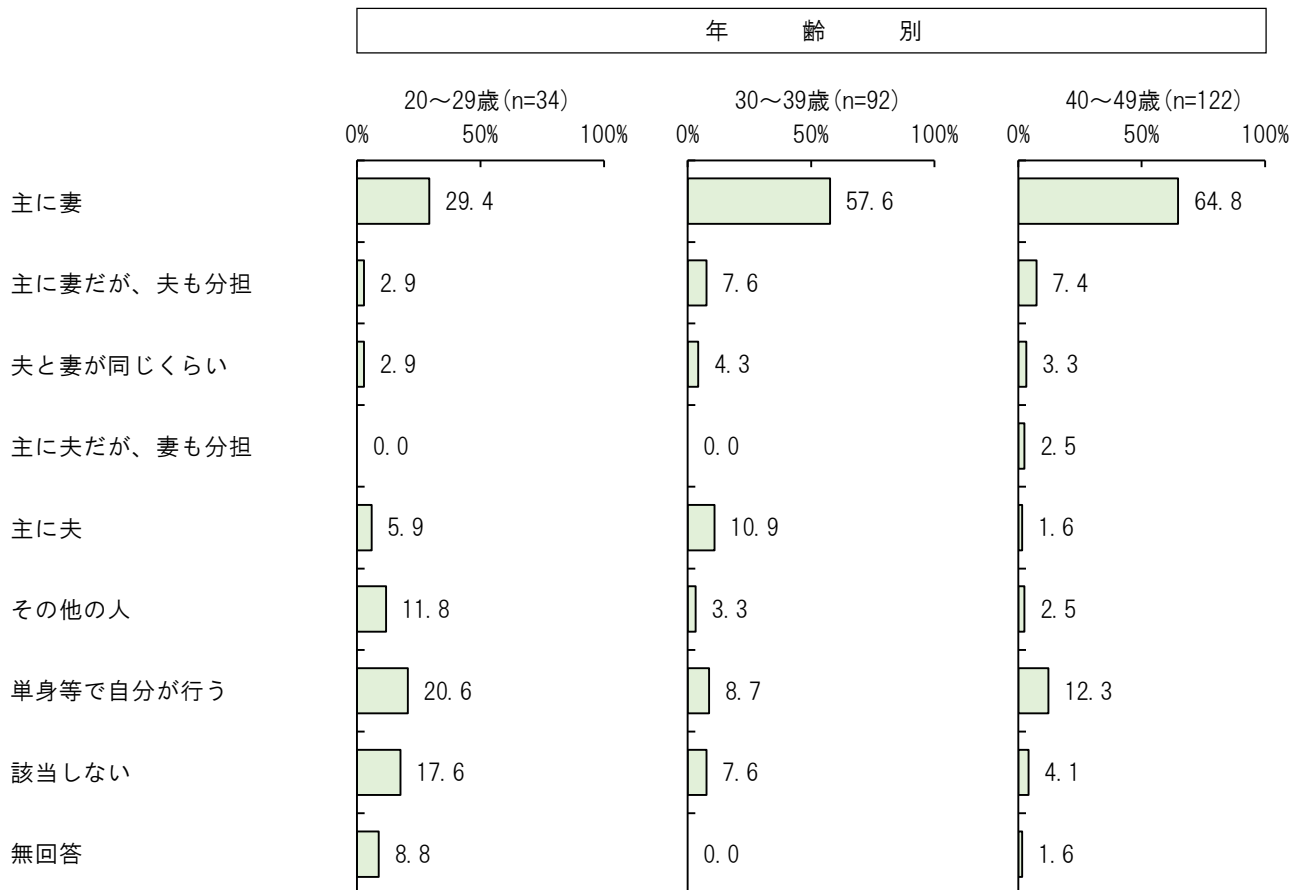
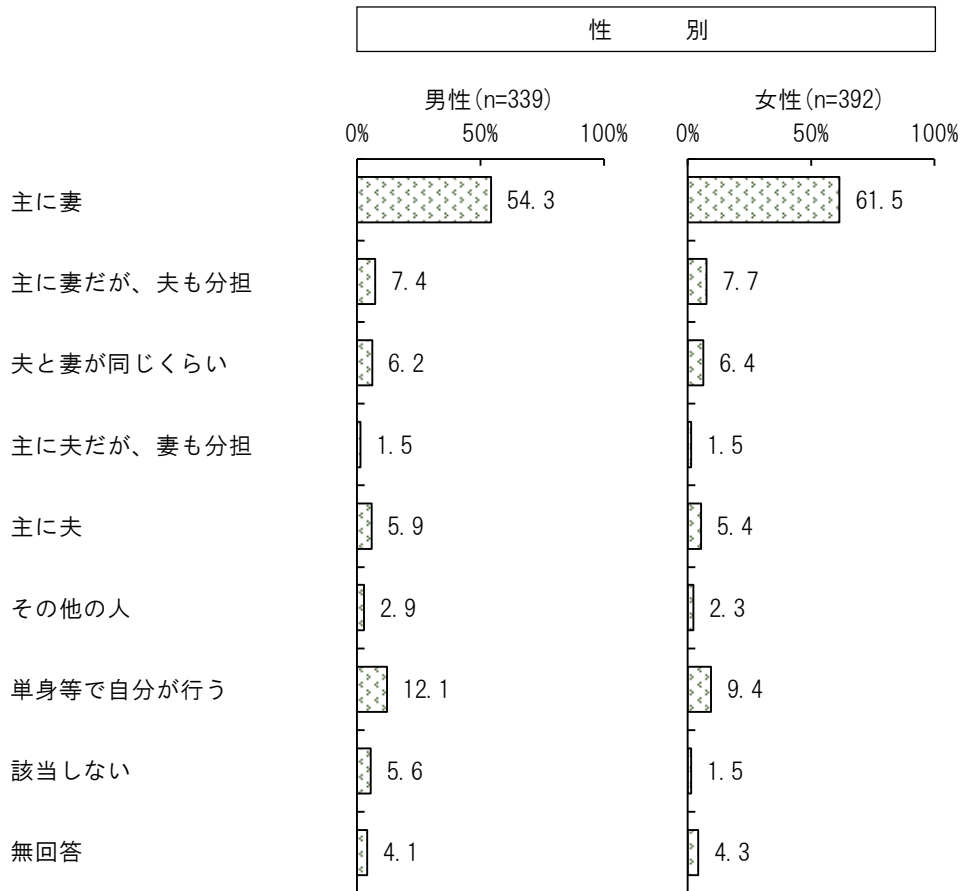
### ③日々の家計の管理

日々の家計の管理では、「主に妻」が58.2%と最も多く、次いで「単身等で自分が行う」が10.4%、「主に妻だが、夫も分担」が7.9%などとなっています。



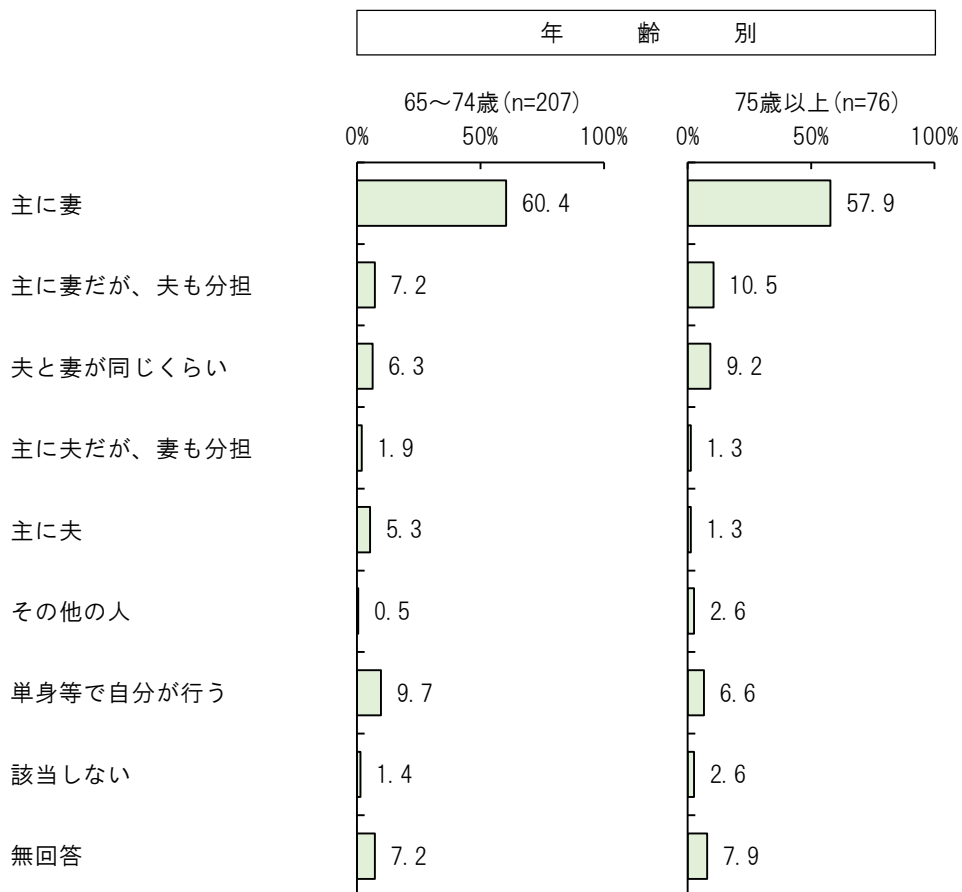
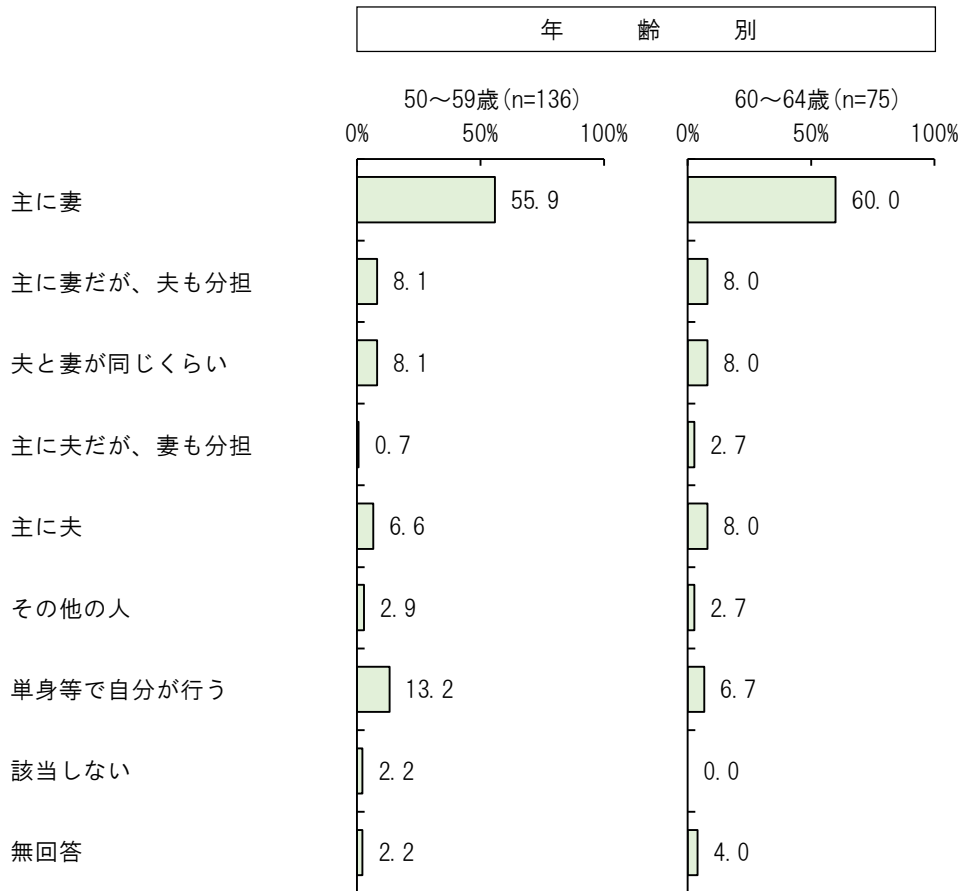
## 22. 主にしている人

### ③日々の家計の管理



## 22. 主にしている人

### ③日々の家計の管理



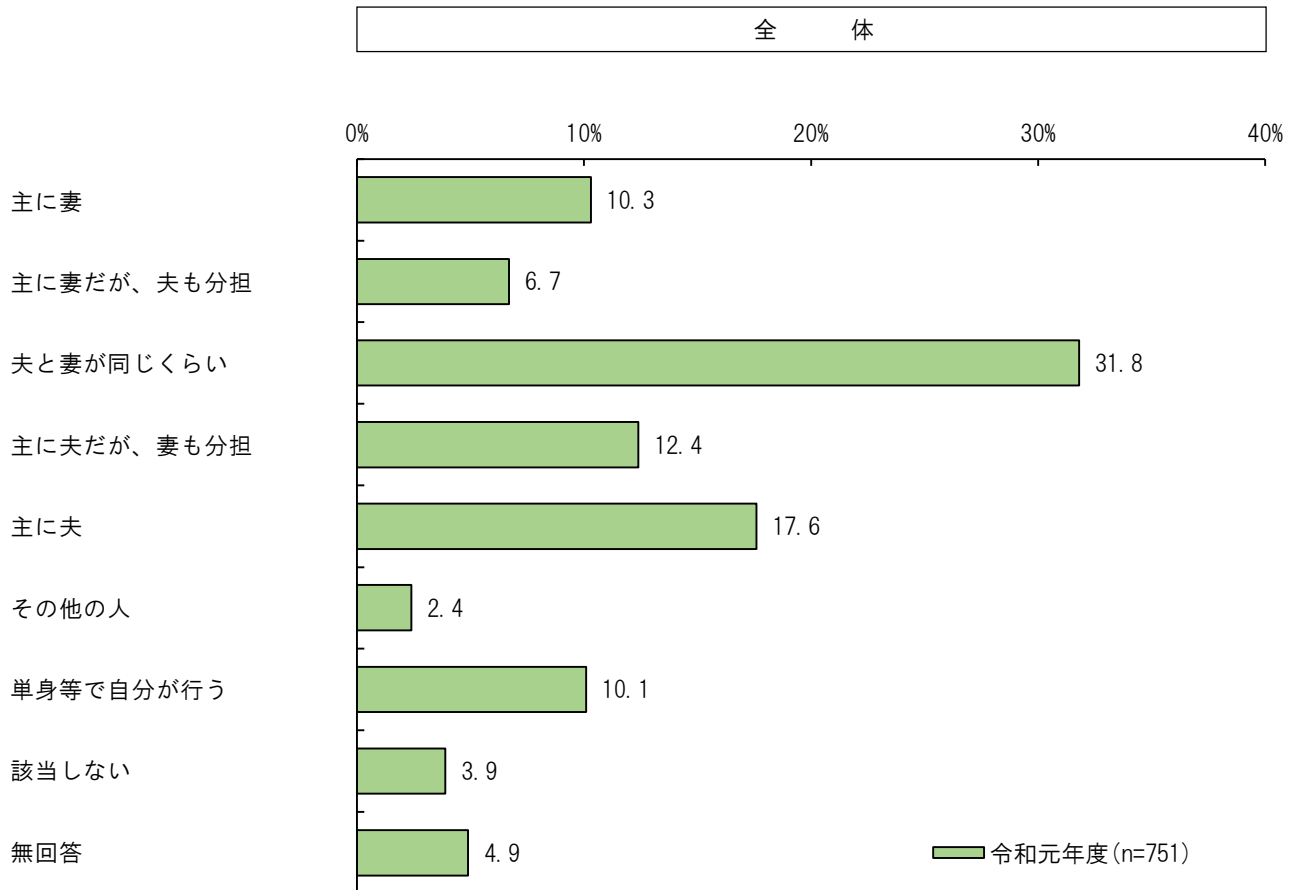


## 22. 主にしている人

### ④高額の品物の購入を決める

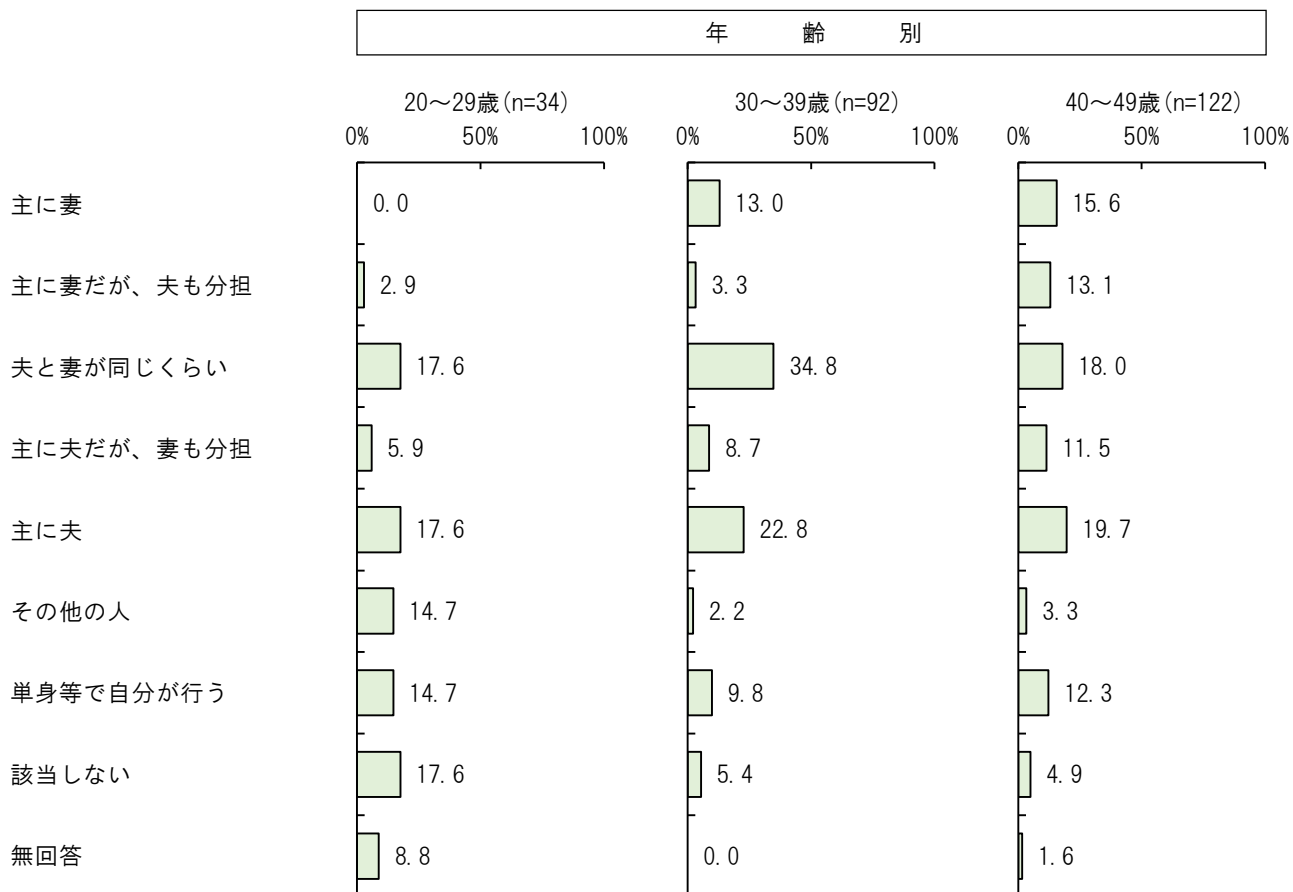
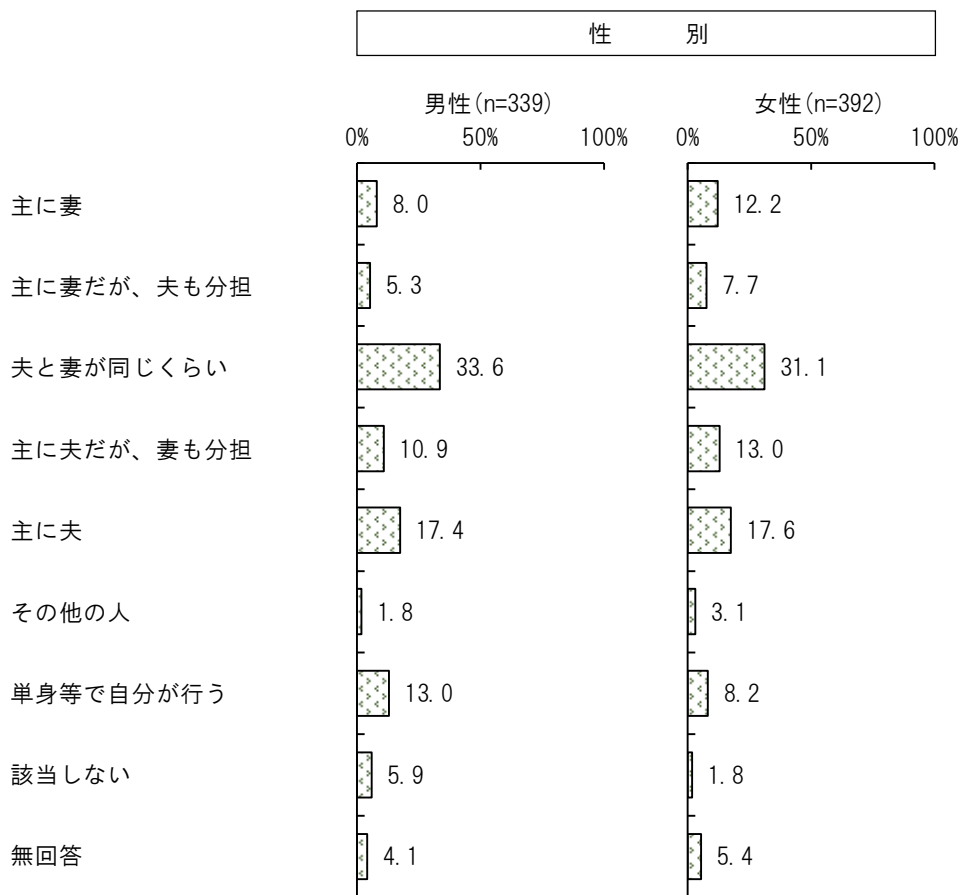
高額の商品の購入を決めるでは、「夫と妻が同じくらい」が31.8%と最も多く、次いで「主に夫」が17.6%、「主に妻だが、夫も分担」が12.4%などとなっています。

年齢別にみると、“20～29歳”で「主に妻」と回答した方はいませんでした。



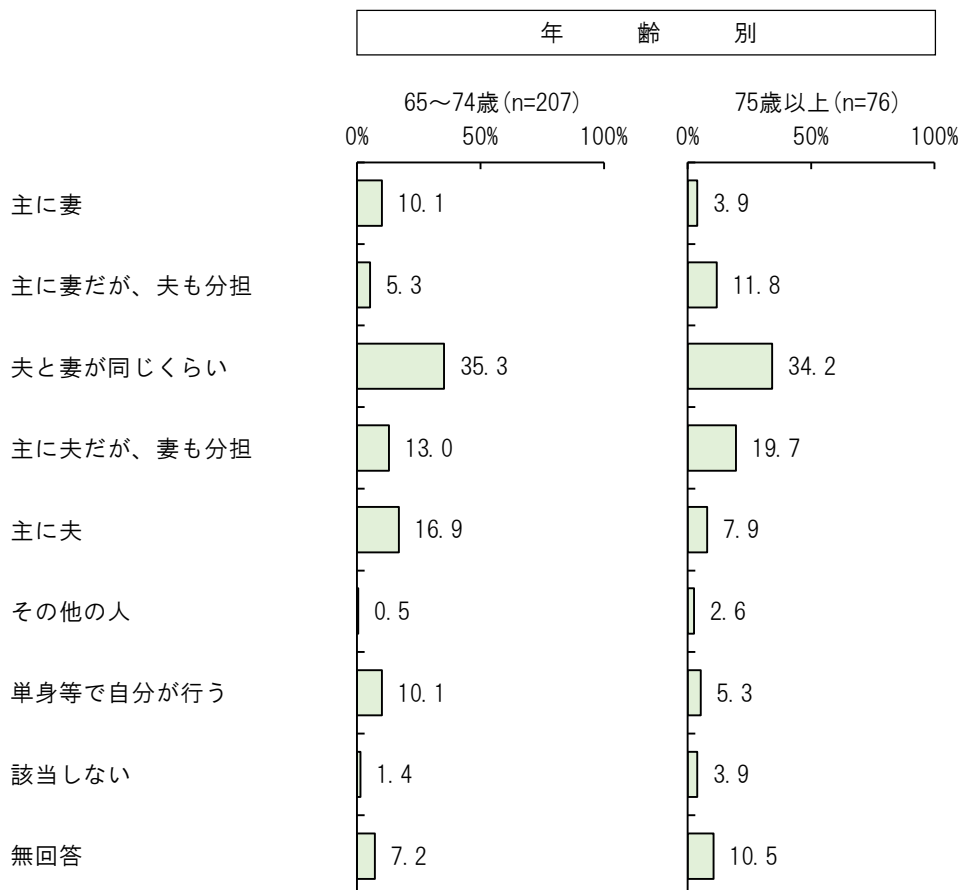
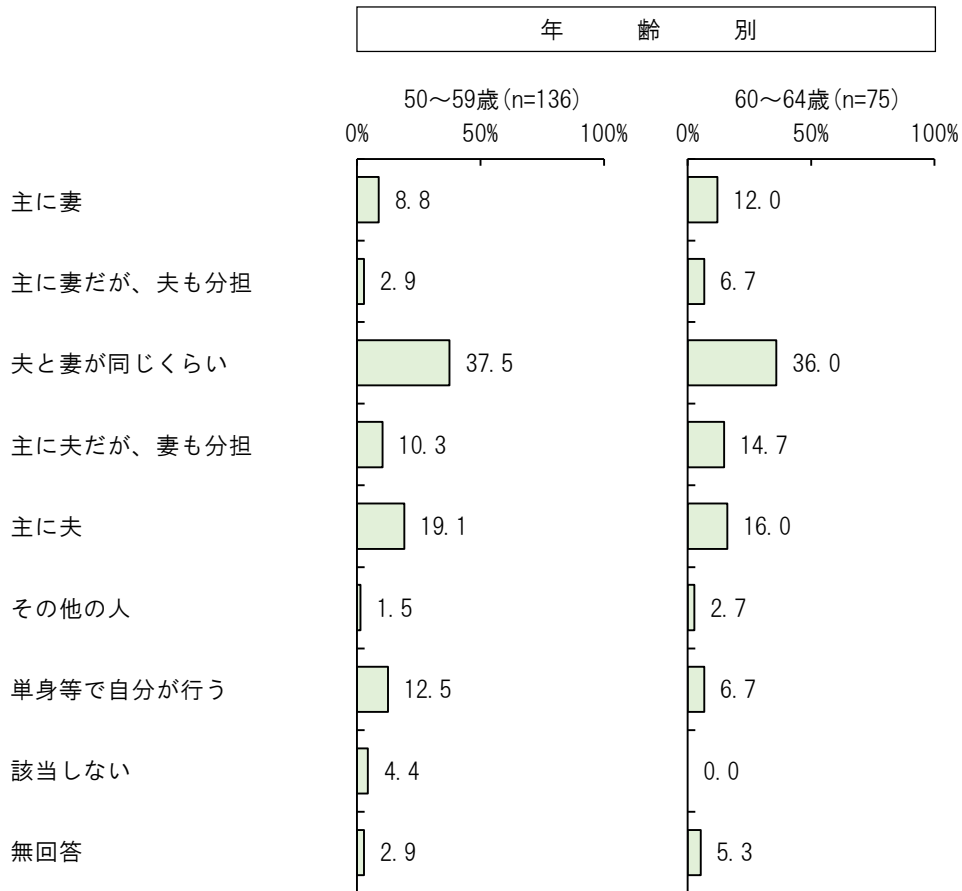
## 22. 主にしている人

### ④高額の品物の購入を決める



## 22. 主にしている人

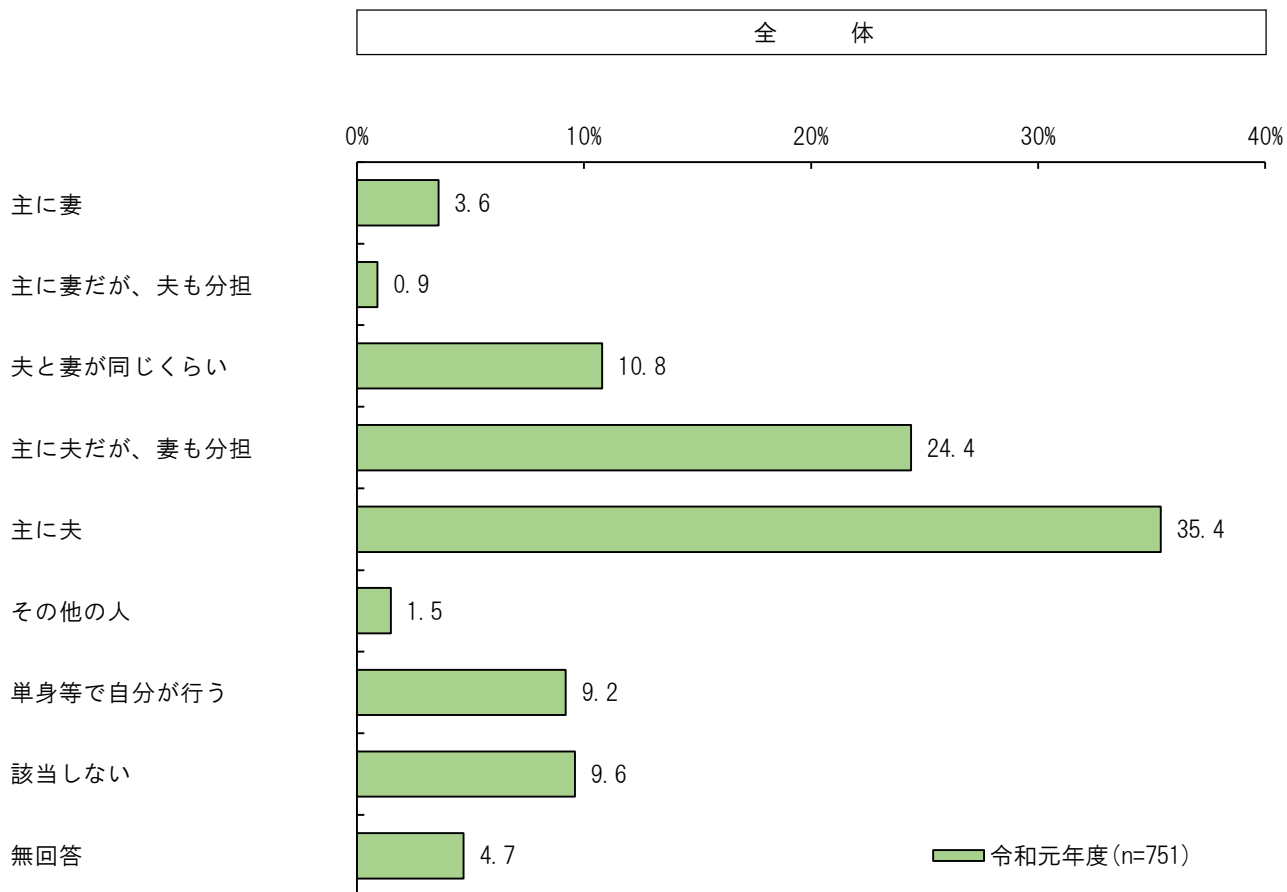
### ④高額の商品の購入を決める



## 22. 主にしている人

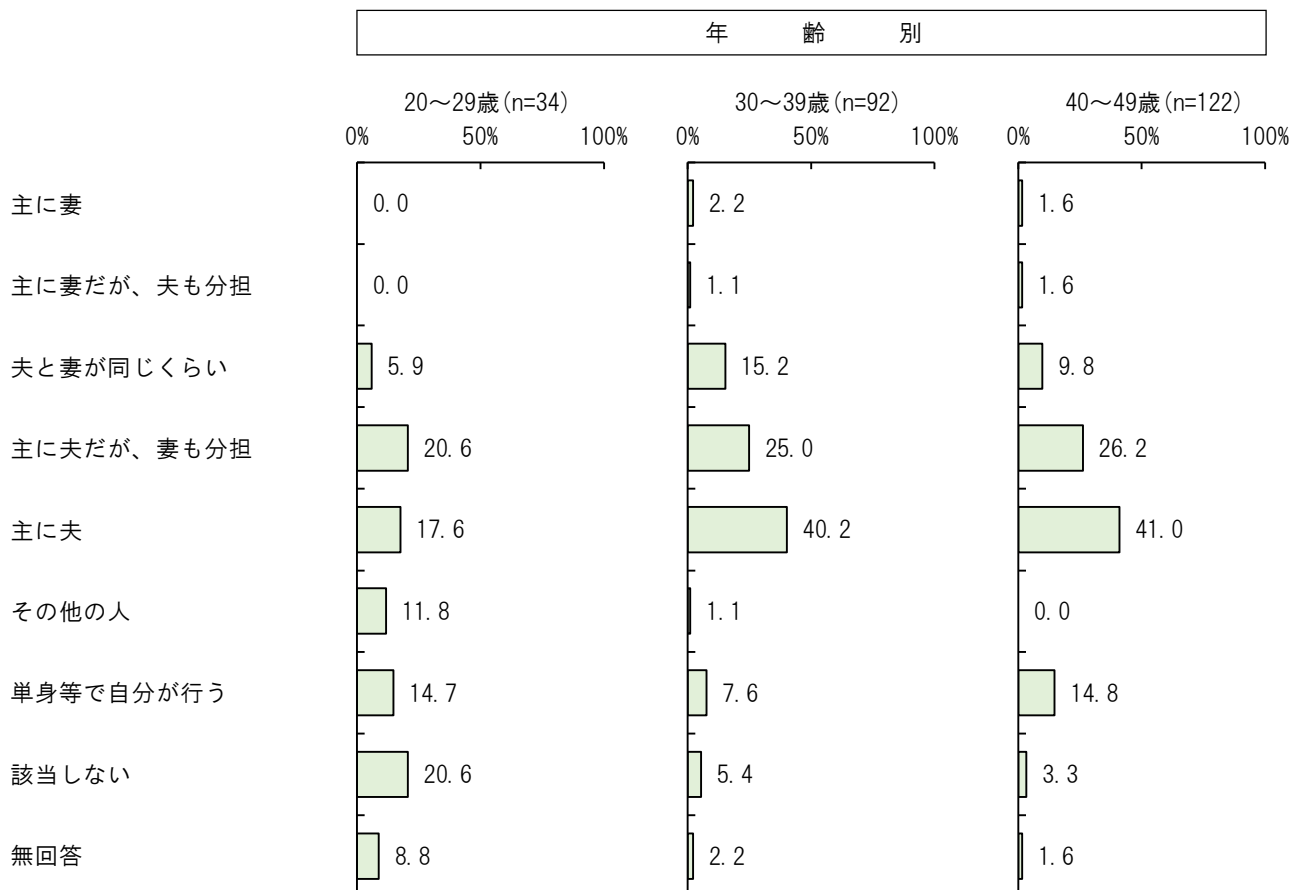
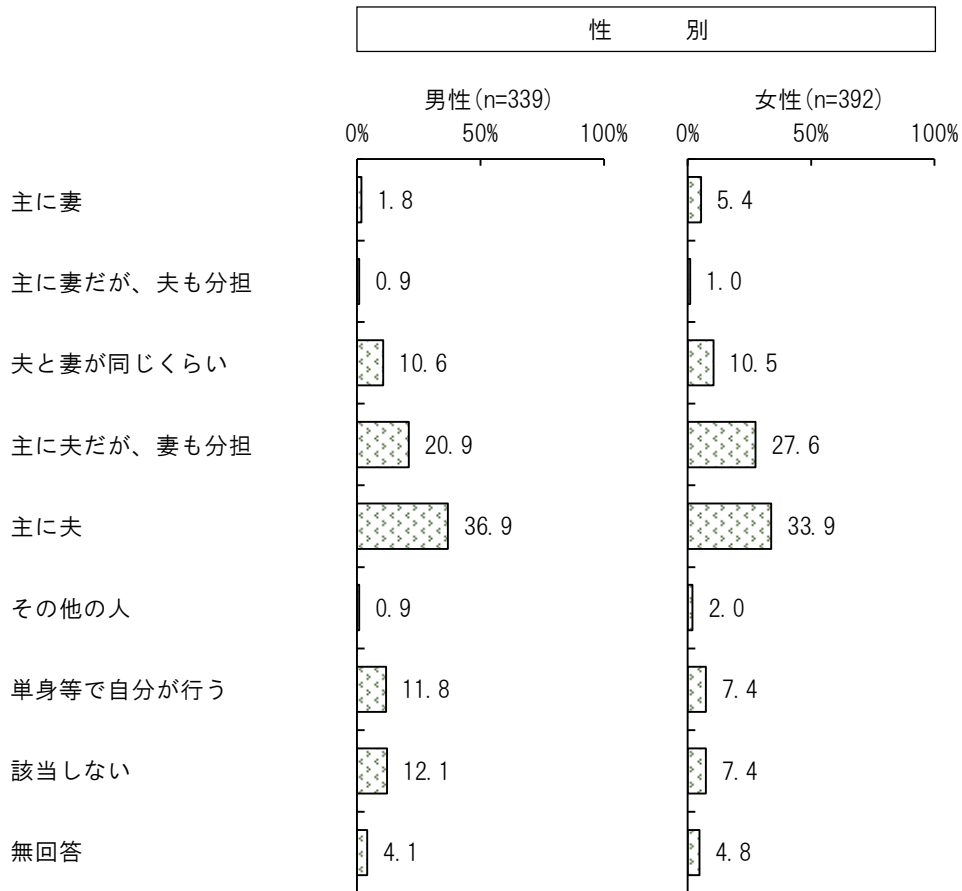
### ⑤生活費を稼ぐ

生活費を稼ぐでは、「主に夫」が35.4%と最も多く、次いで「主に夫だが、妻も分担」が24.4%、「夫と妻が同じくらい」が10.8%などとなっています。



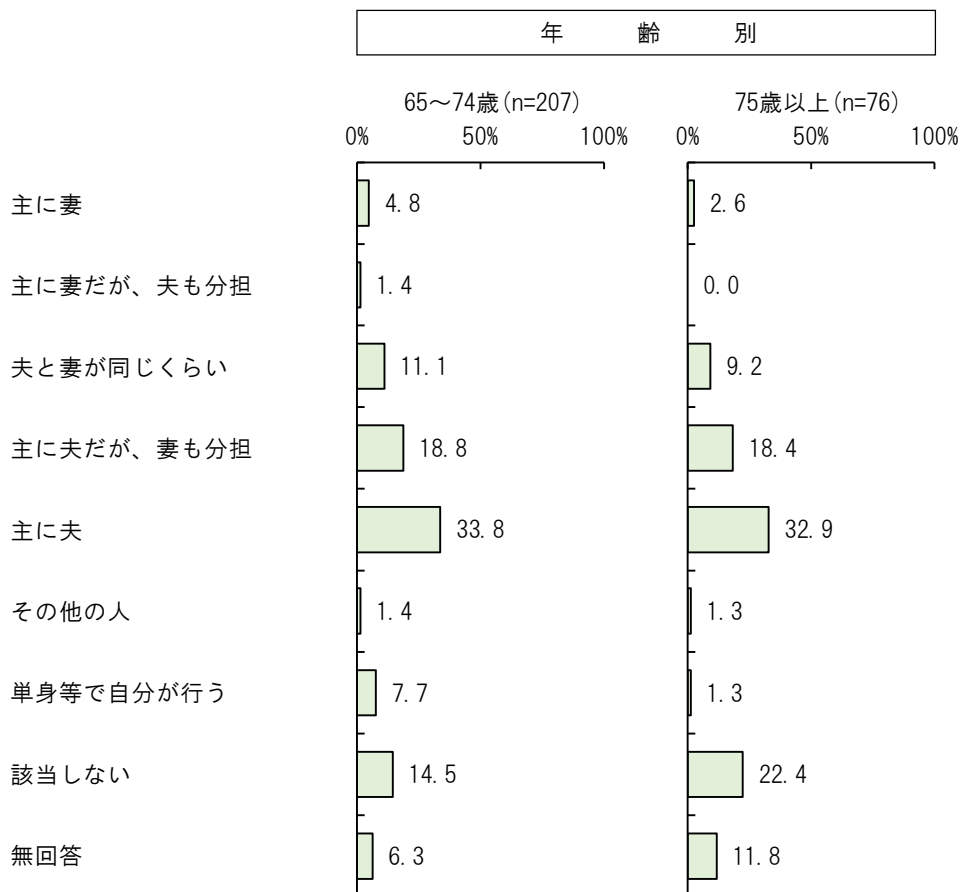
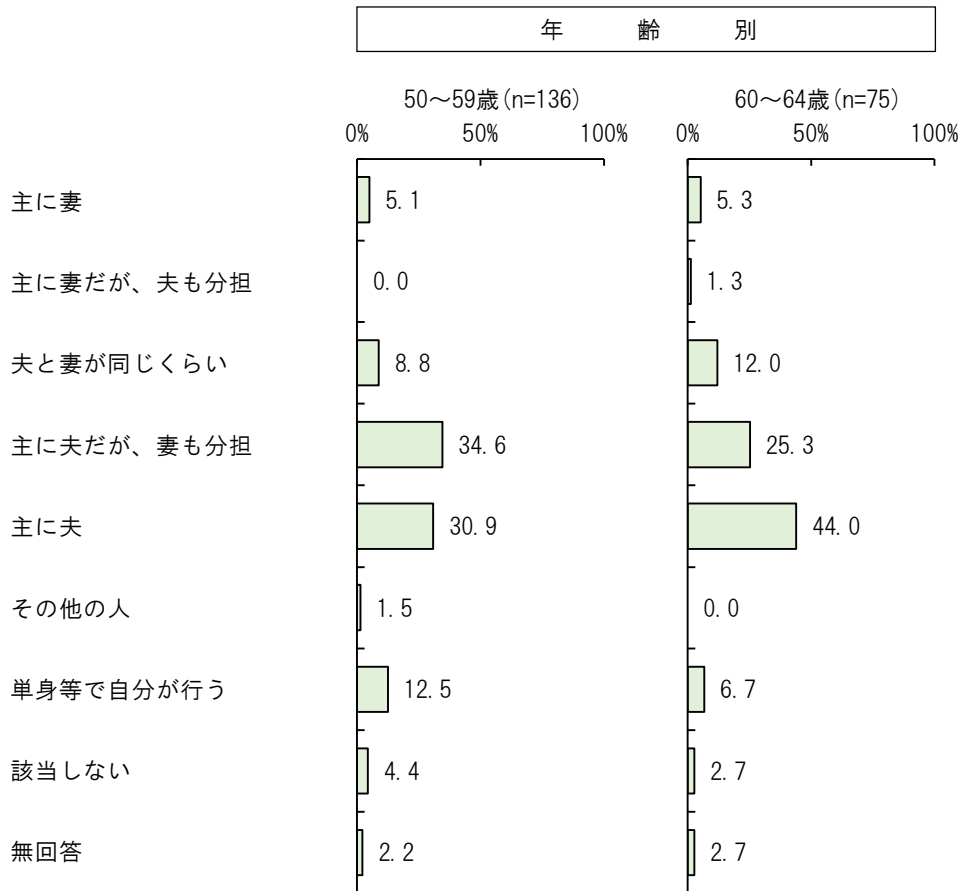
## 22. 主にしている人

### ⑤生活費を稼ぐ



## 22. 主にしている人

### ⑤生活費を稼ぐ



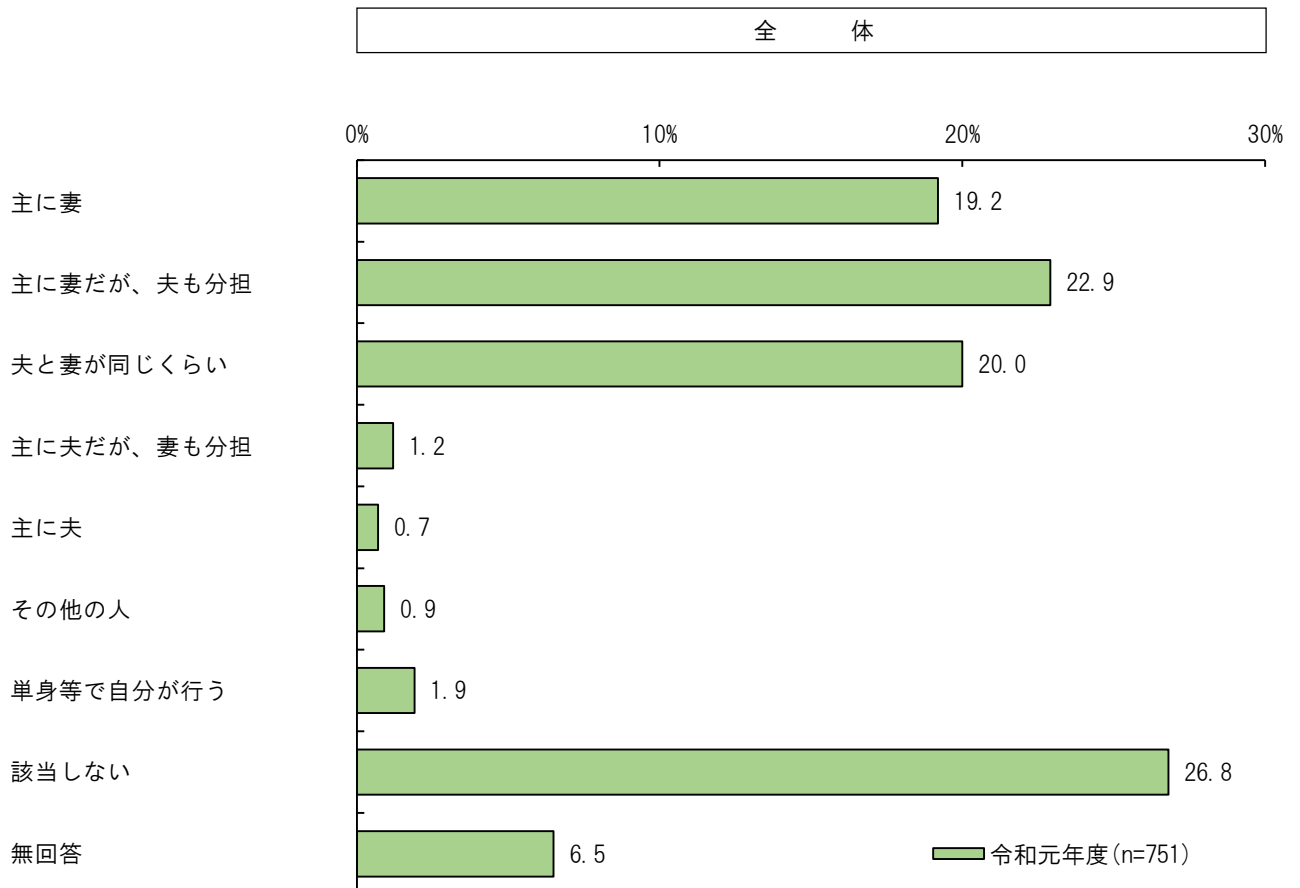
## 22. 主にしている人

### ⑥育児、子どものしつけ

育児、子どものしつけでは、「該当しない」が26.8%と最も多く、次いで「主に妻だが、夫も分担」が22.9%、「夫と妻が同じくらい」が20.0%などとなっています。

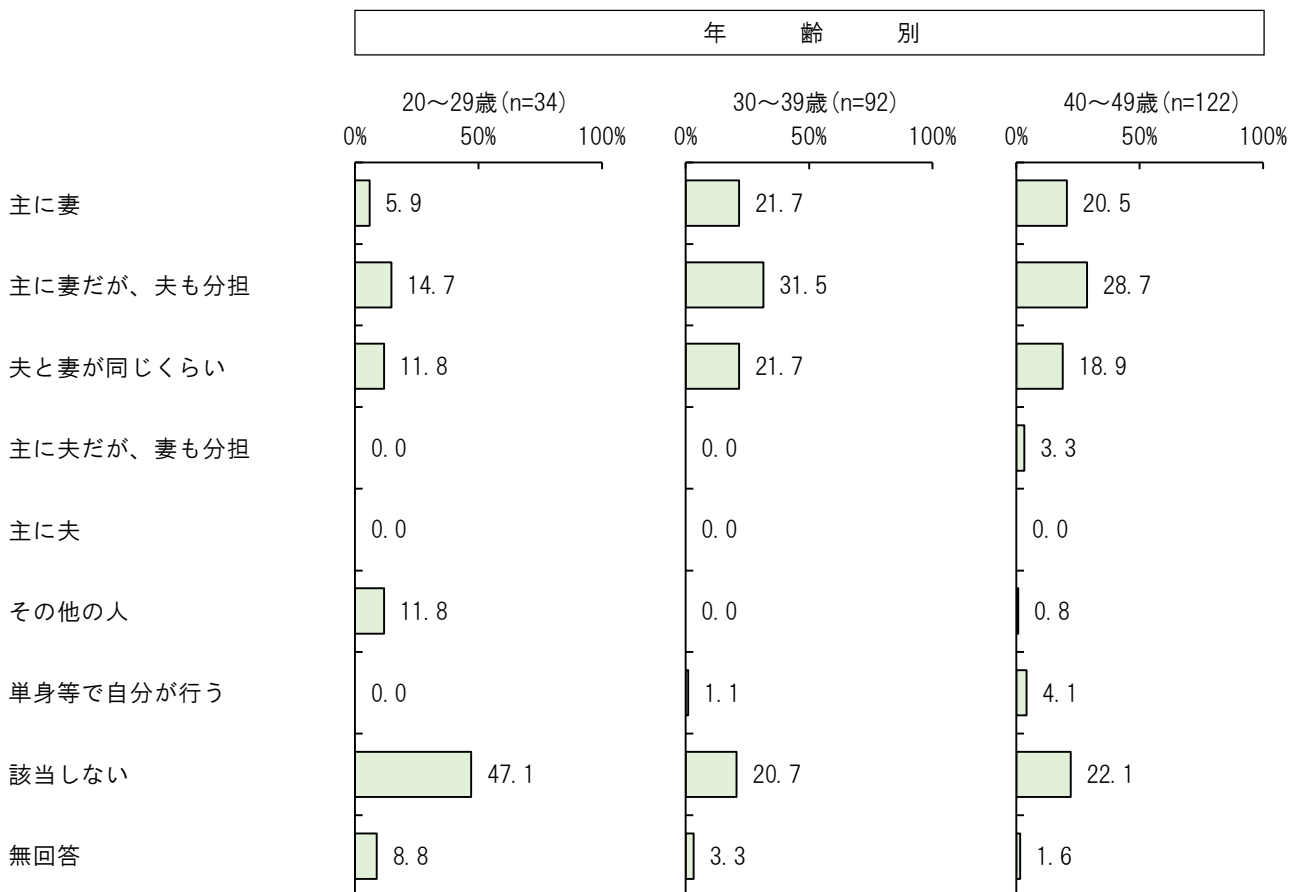
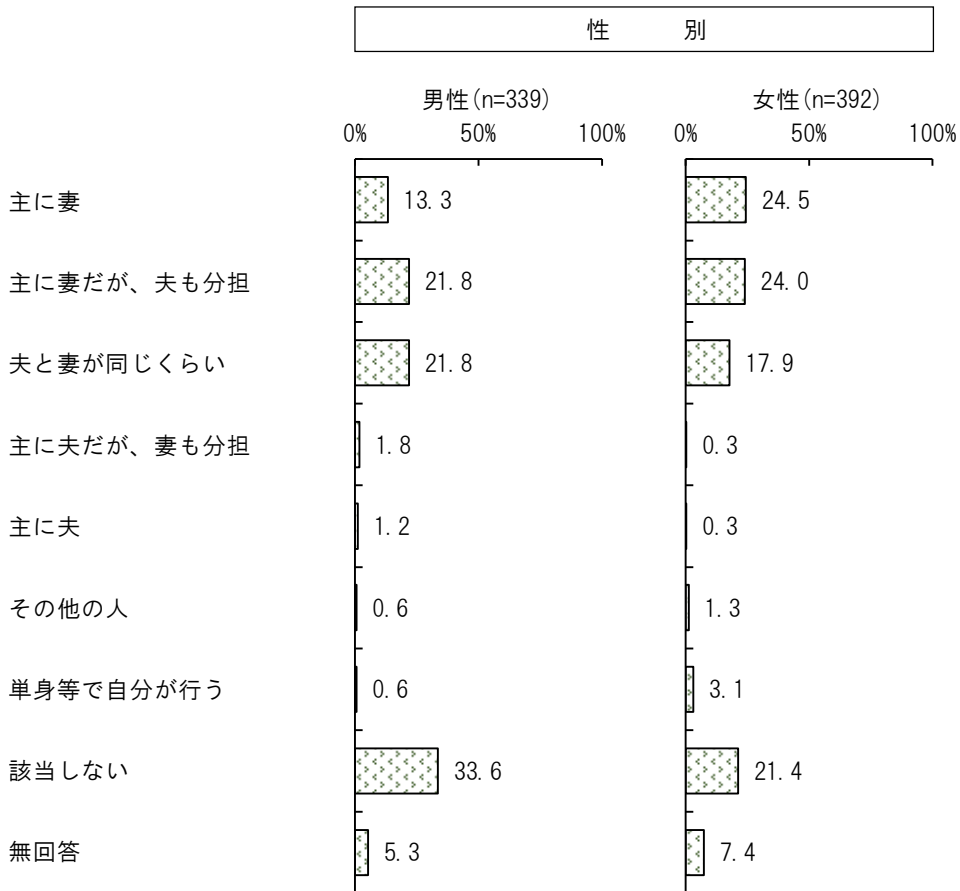
性別にみると、“女性”では「主に妻」が24.5%と最も多くなっています。

年齢別にみると、“50～59歳”では「夫と妻が同じくらい」が29.4%と最も多くなっています。



## 22. 主にしている人

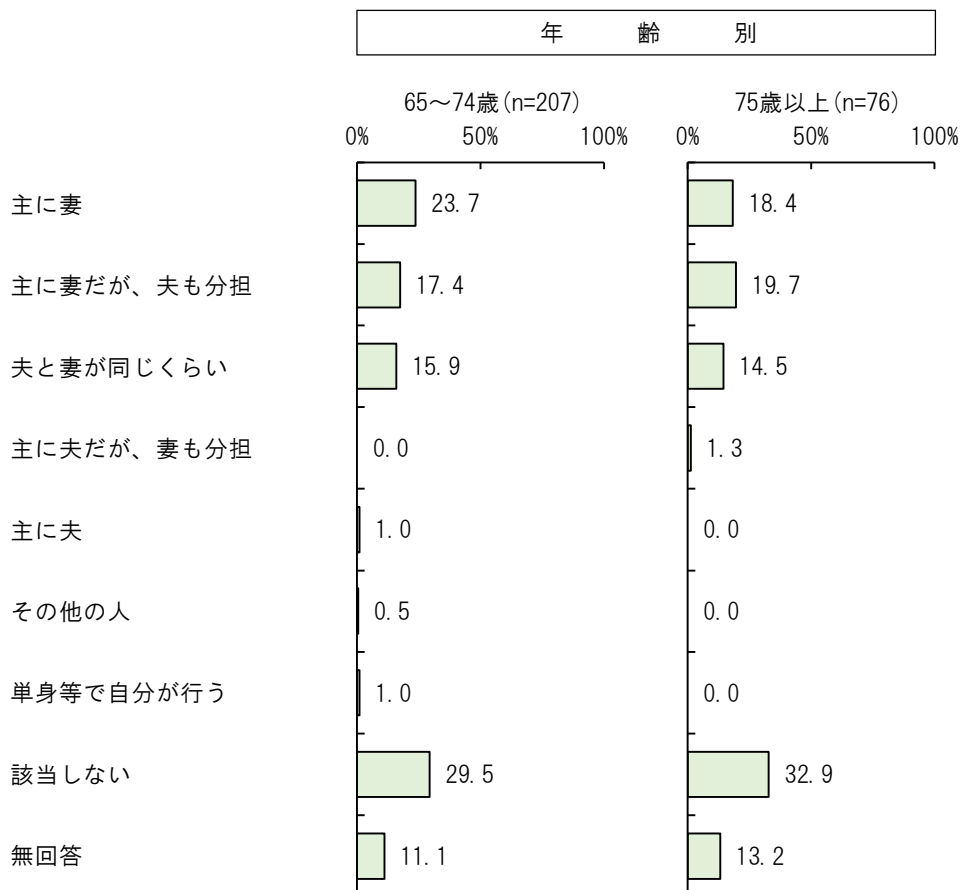
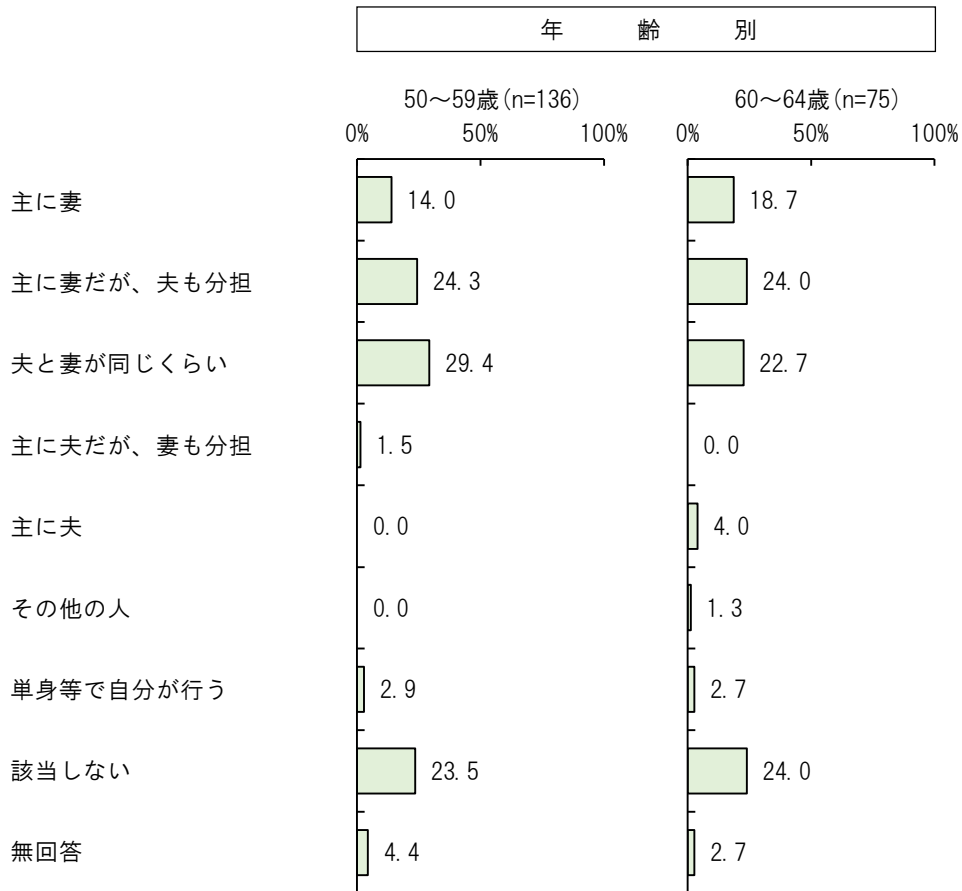
### ⑥育児、子どものしつけ





## 22. 主にしている人

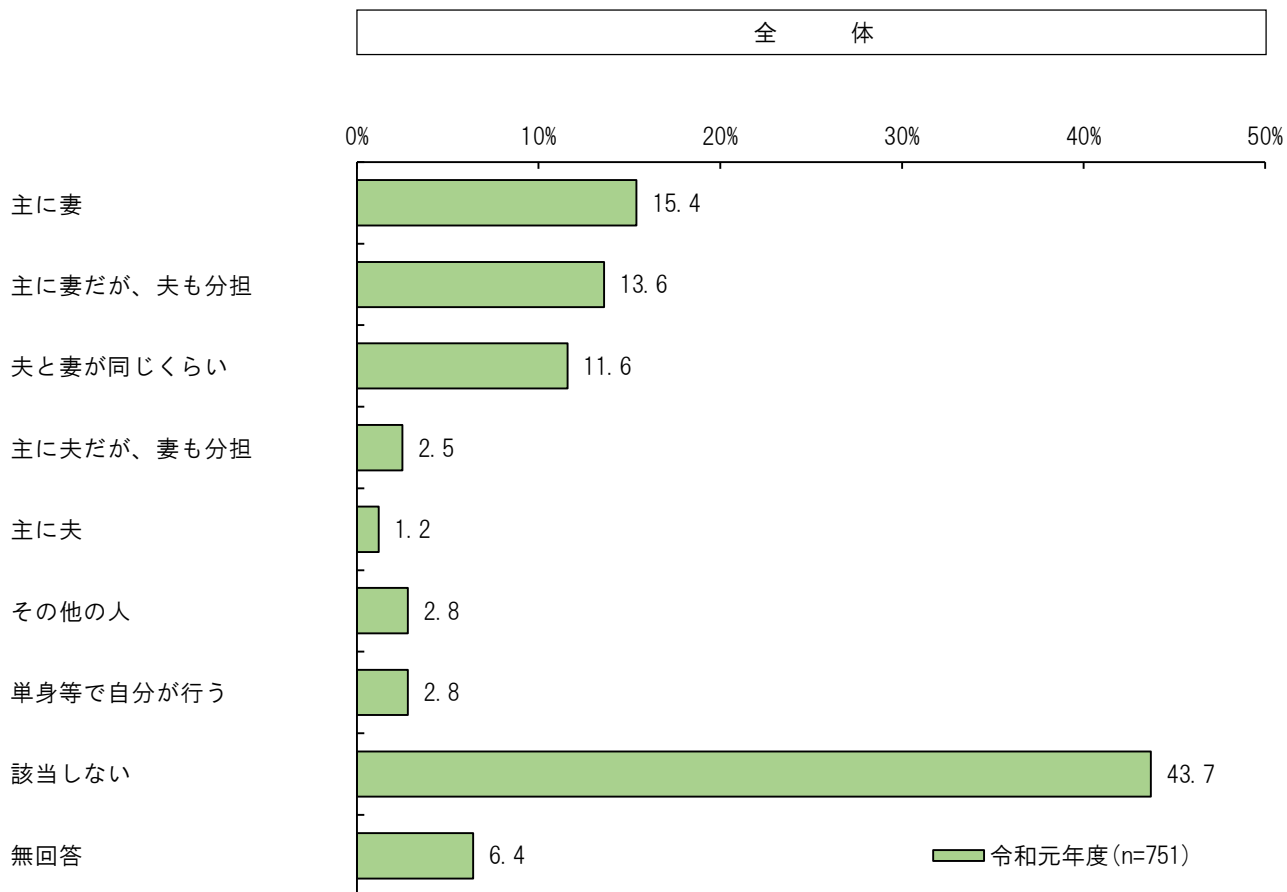
### ⑥育児、子どものしつけ



## 22. 主にしている人

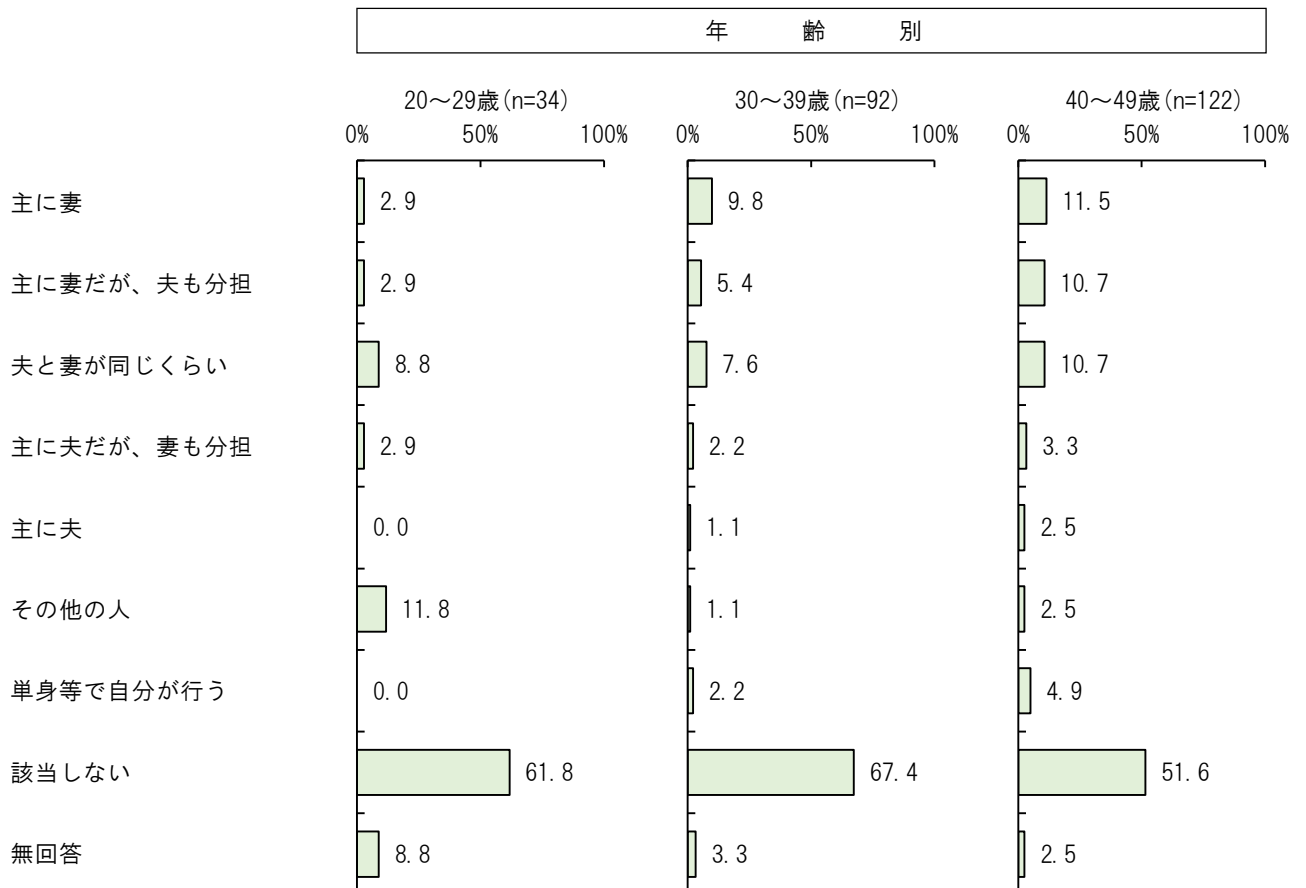
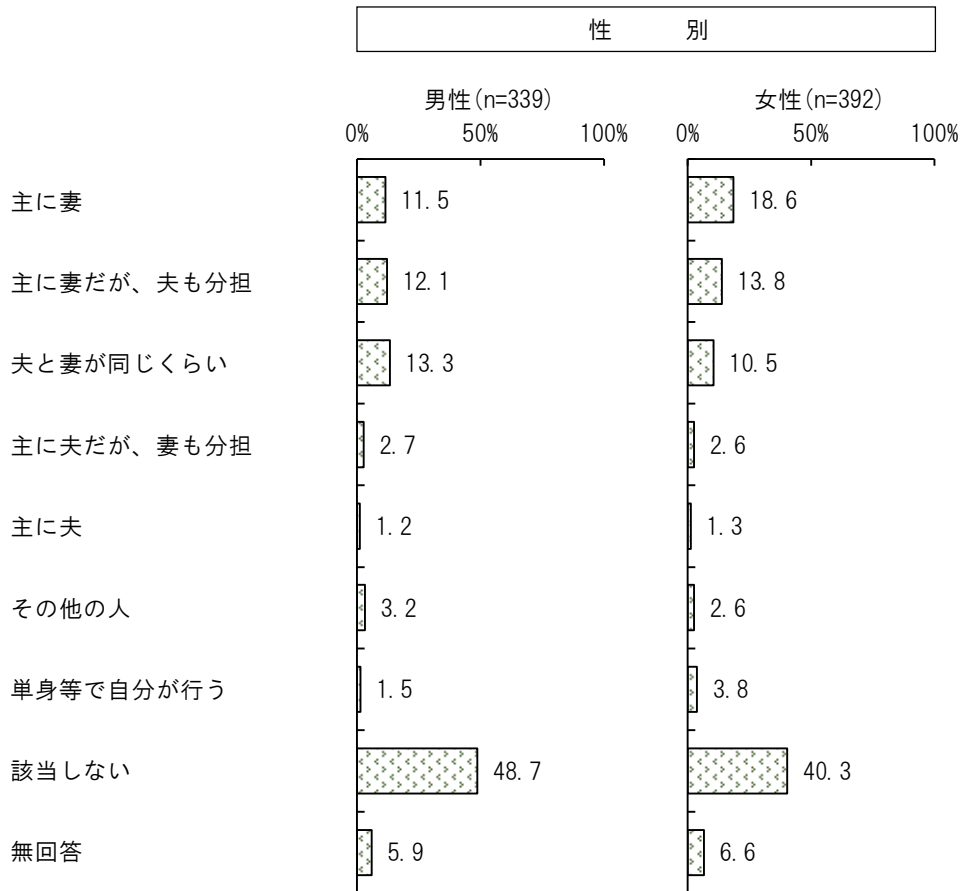
### ⑦親の世話〈介護〉

親の世話〈介護〉では、「該当しない」が43.7%と最も多く、次いで「主に妻」が15.4%、「主に妻だが、夫も分担」が13.6%などとなっています。



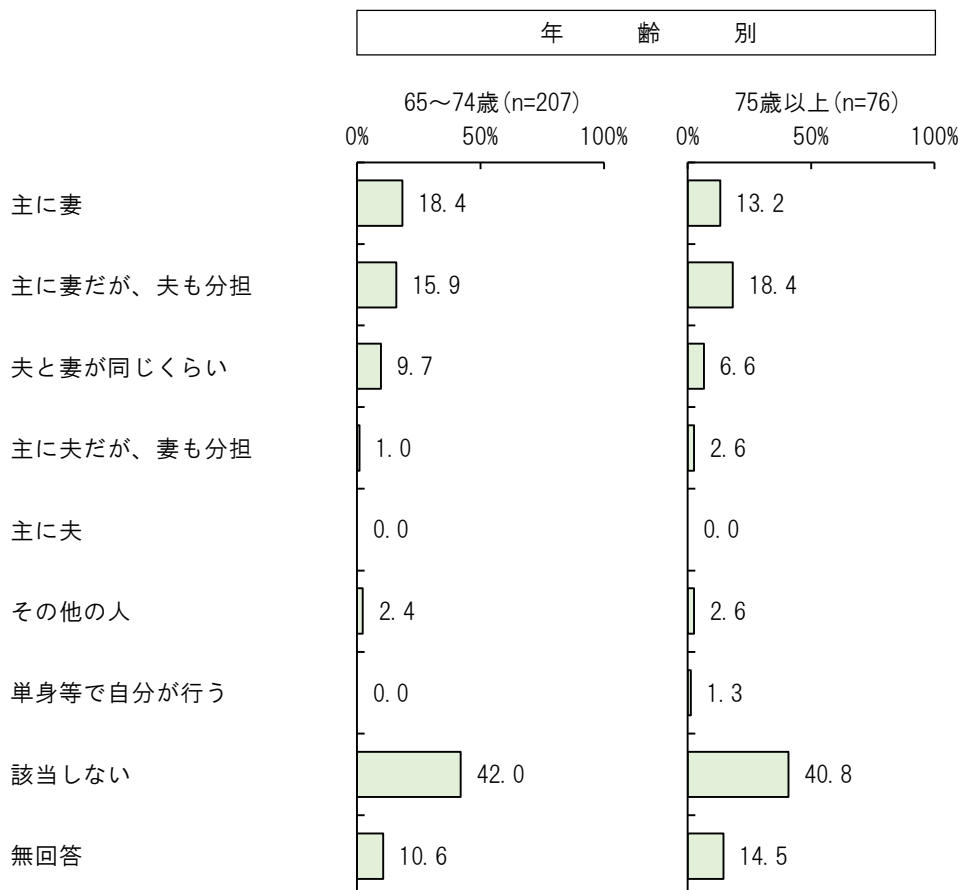
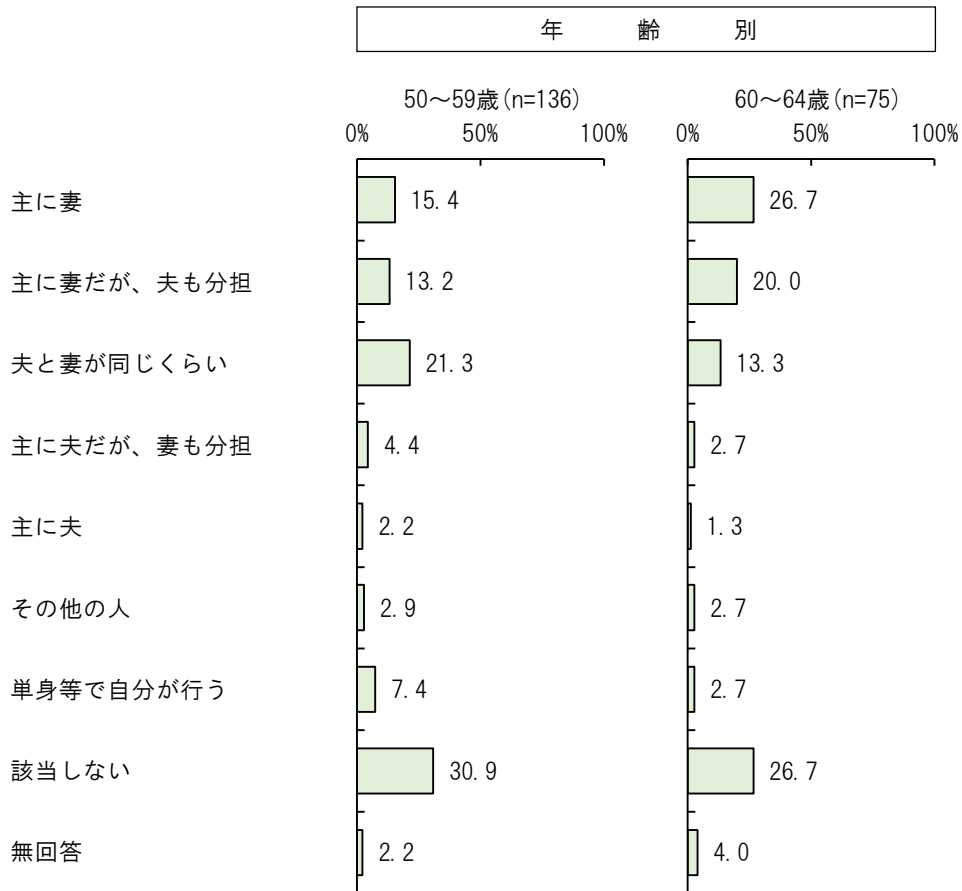
## 22. 主にしている人

### ⑦親の世話〈介護〉



## 22. 主にしている人

### ⑦親の世話〈介護〉

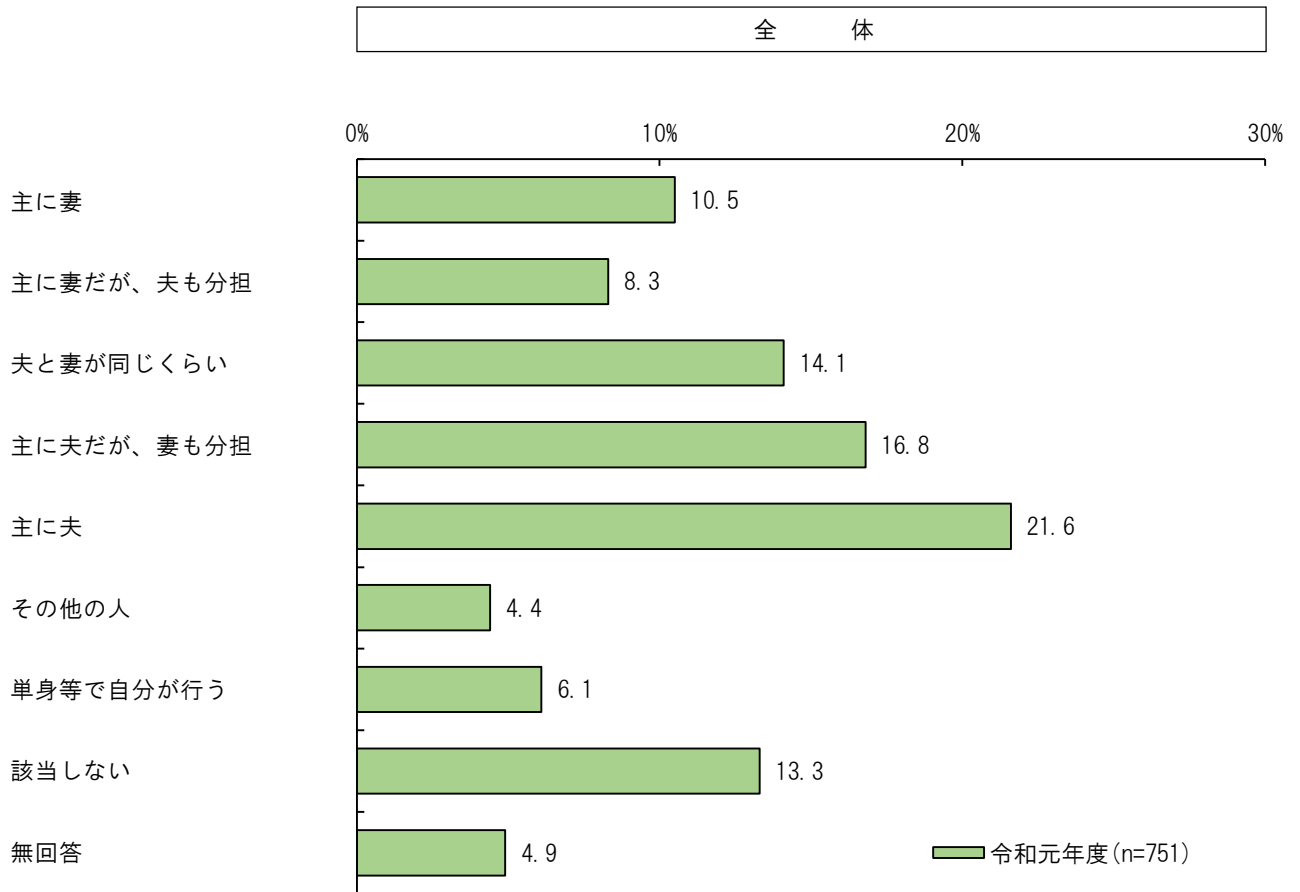


## 22. 主にしている人

### ⑧自治会などの地域活動

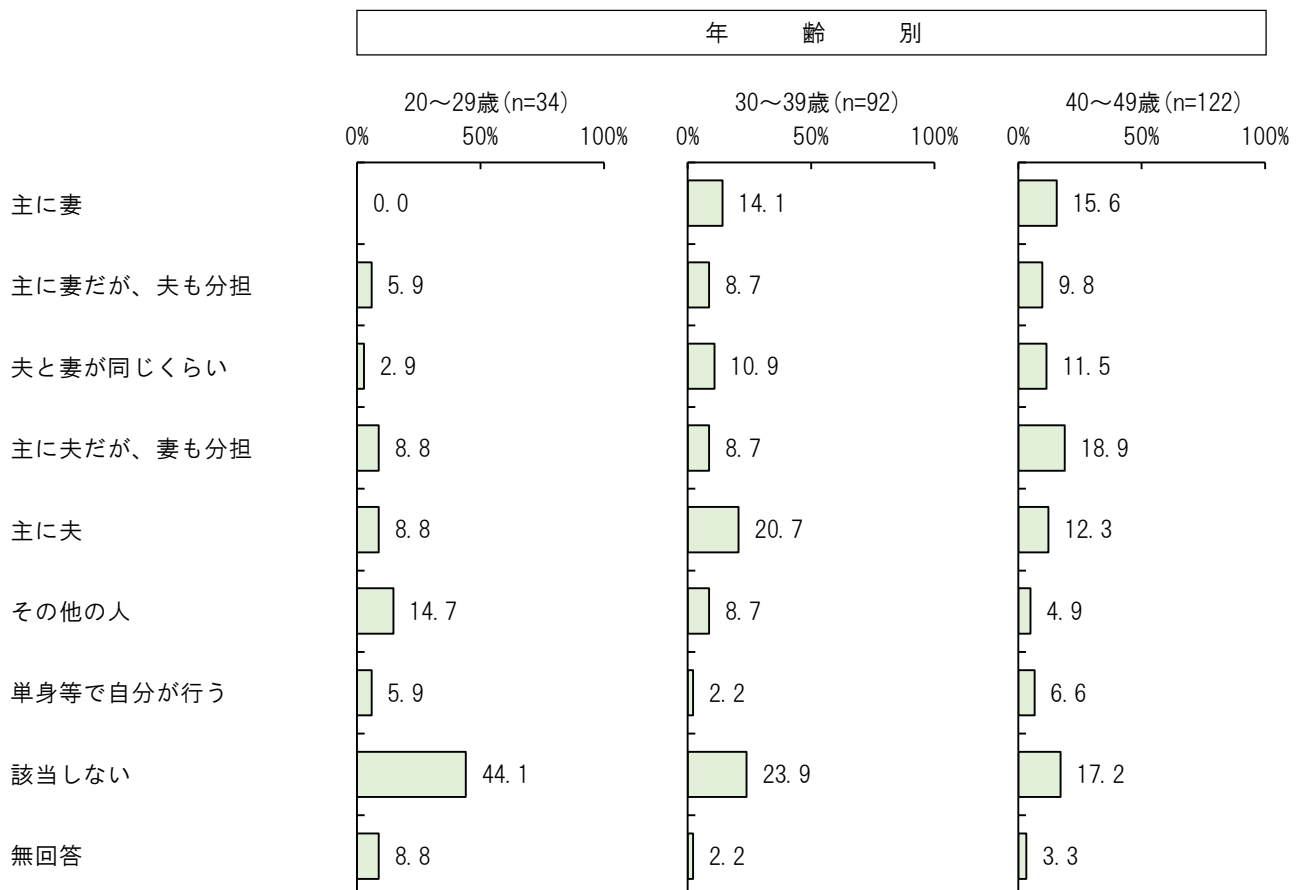
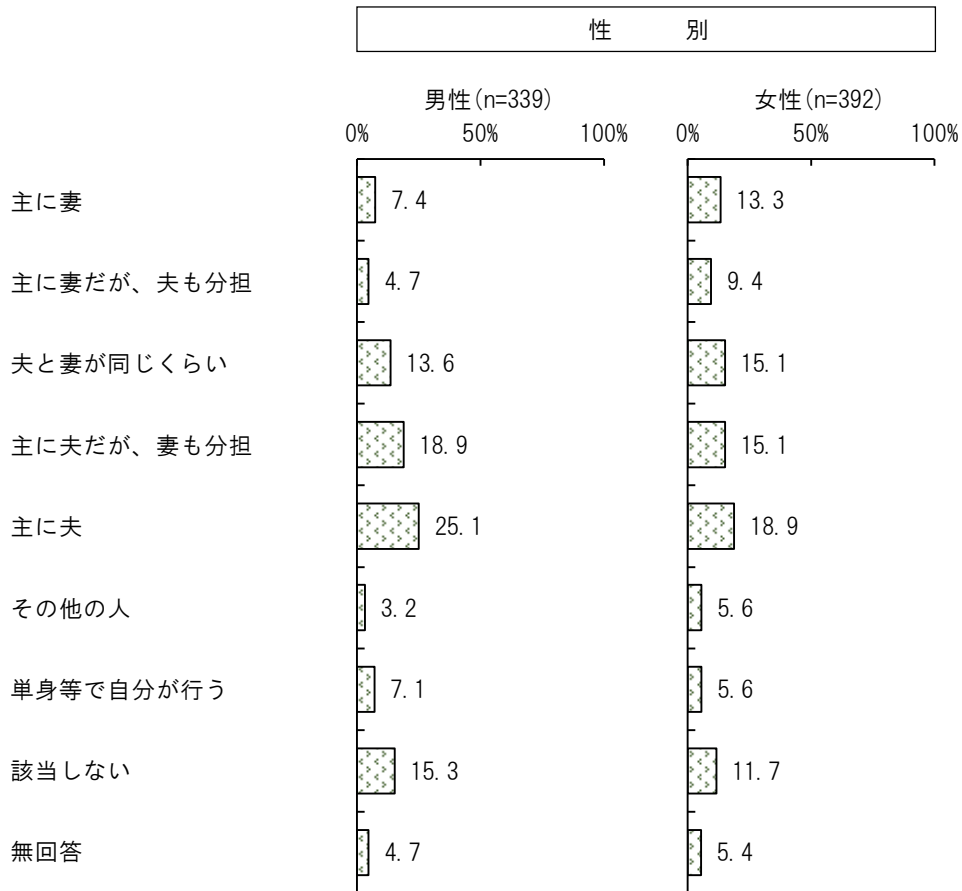
自治会などの地域活動では、「主に夫」が21.6%と最も多く、次いで「主に夫だが、妻も分担」が16.8%、「夫と妻が同じくらい」が14.1%などとなっています。

年齢別にみると、“40～49歳”では「主に夫だが、妻も分担」が18.9%と最も多くなっています。



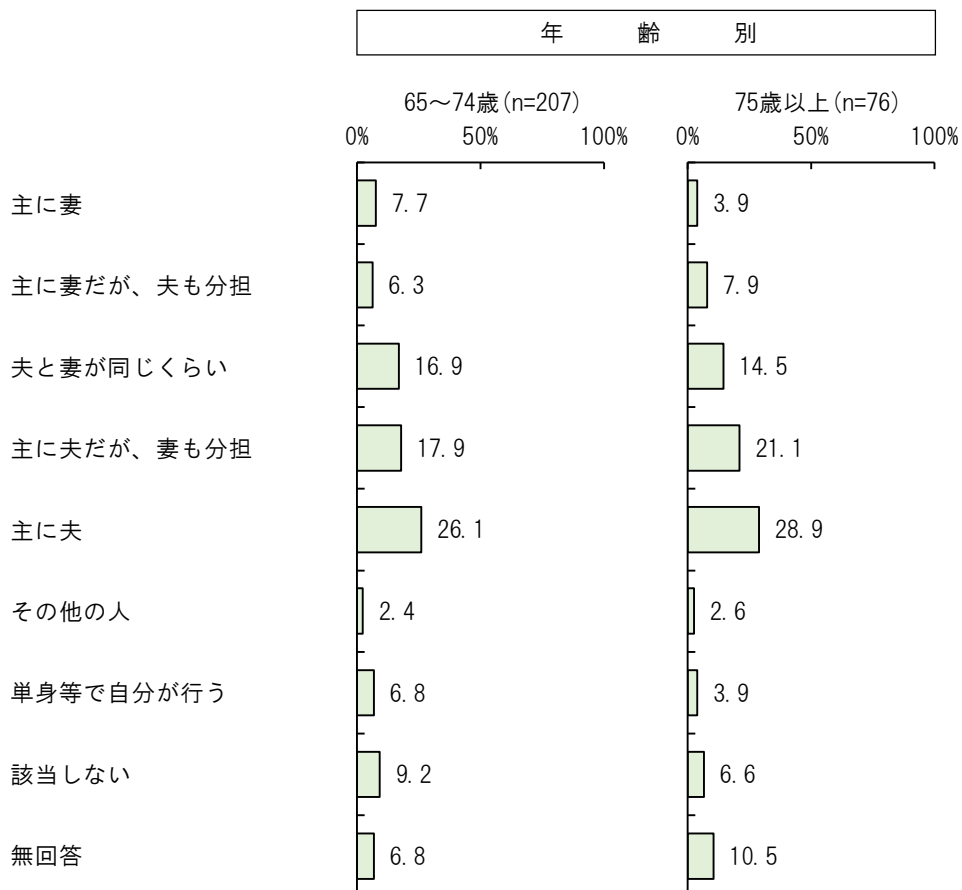
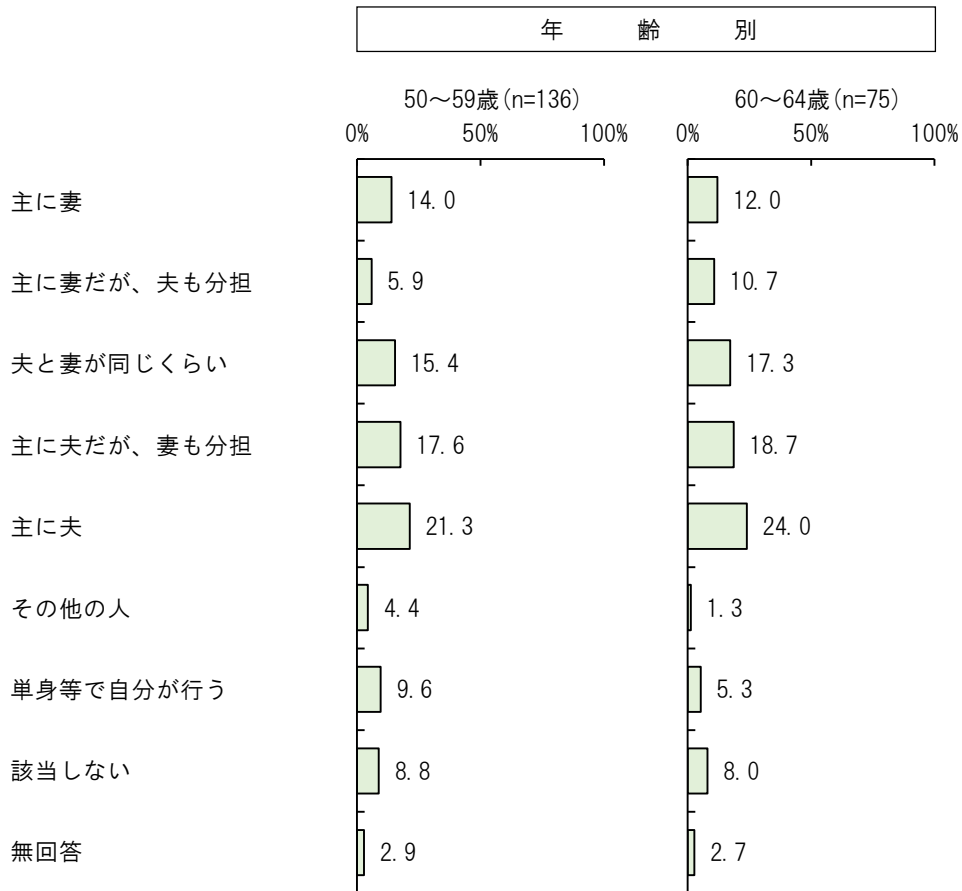
## 22. 主にしている人

### ⑧自治会などの地域活動



## 22. 主にしている人

### ⑧自治会などの地域活動

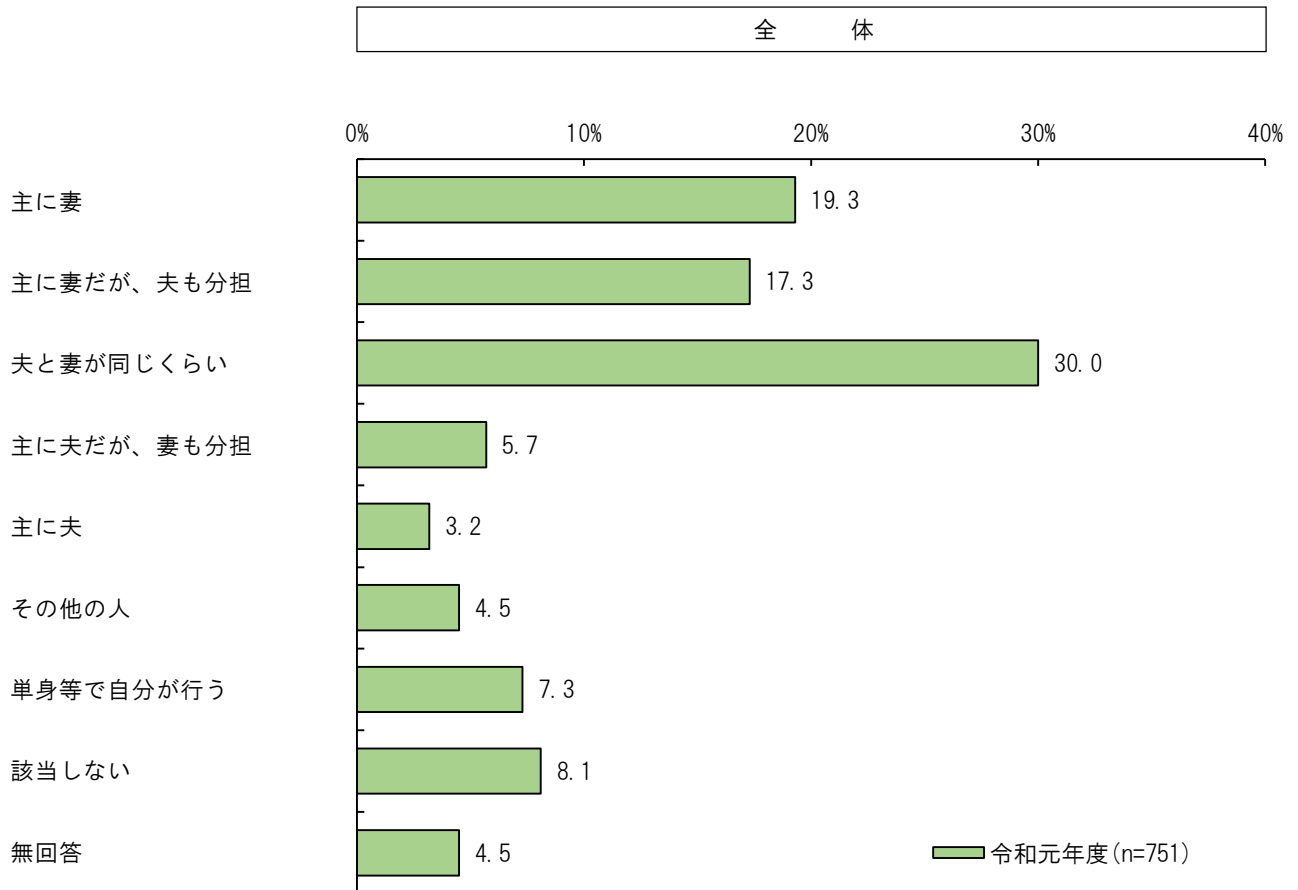


## 22. 主にしている人

### ⑨近所とのつきあい

近所とのつきあいでは、「夫と妻が同じくらい」が30.0%と最も多く、次いで「主に妻」が19.3%、「主に妻だが、夫も分担」が17.3%などとなっています。

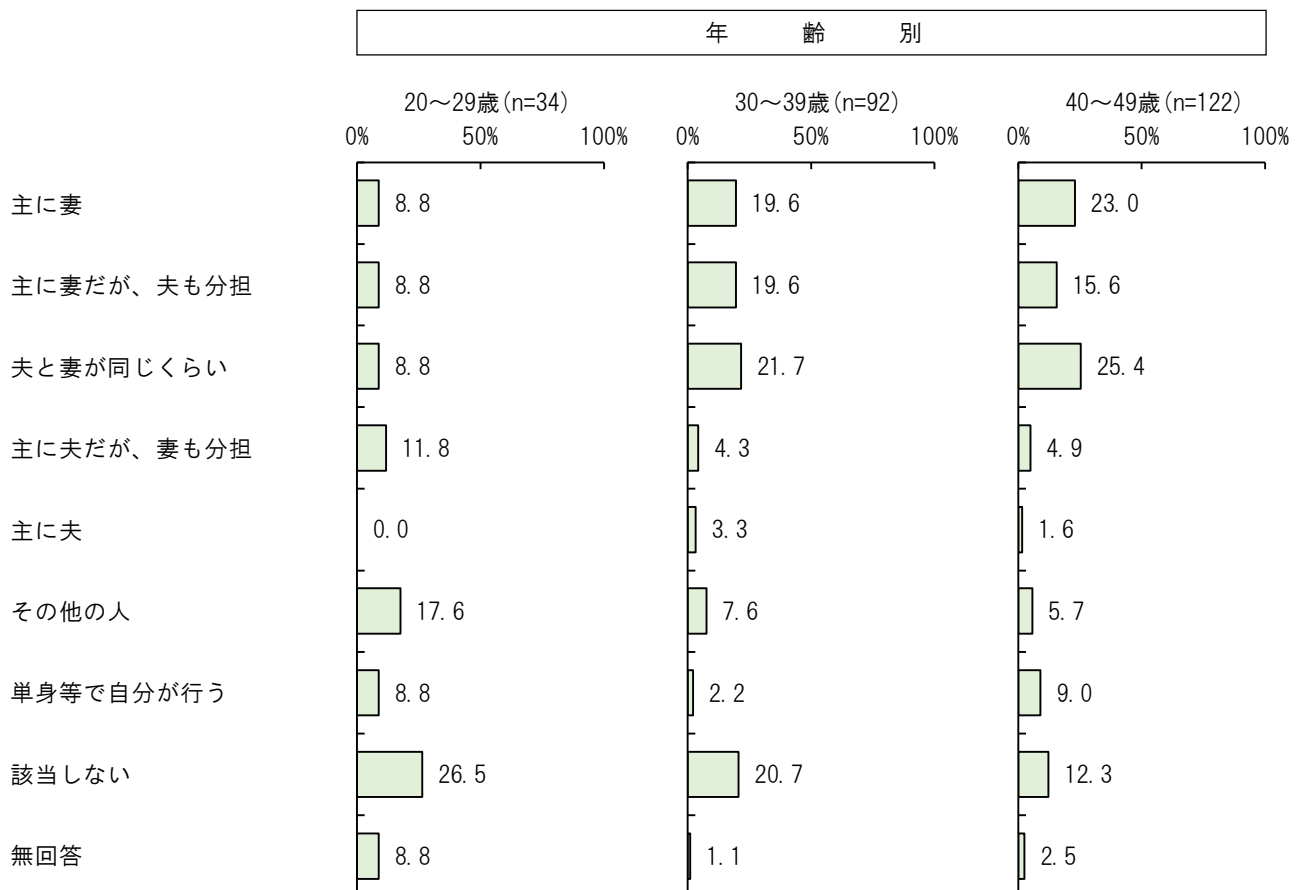
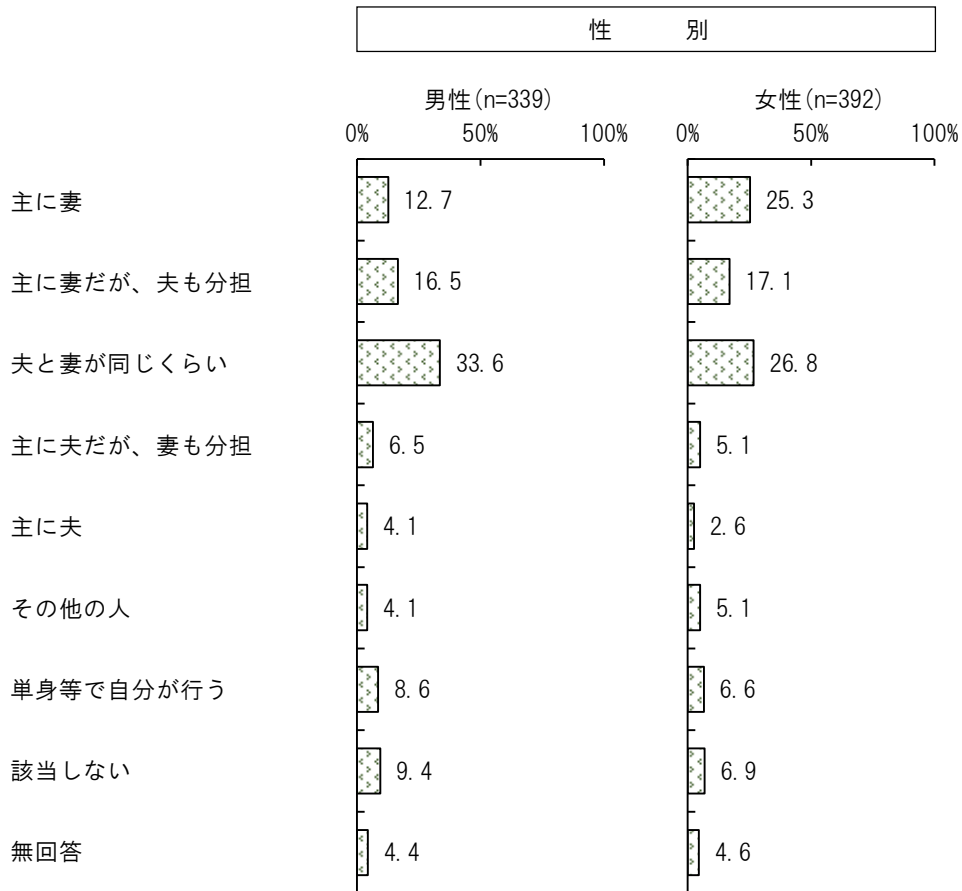
年齢別にみると、“20～29歳”では「該当しない」が26.5%と最も多くなっています。





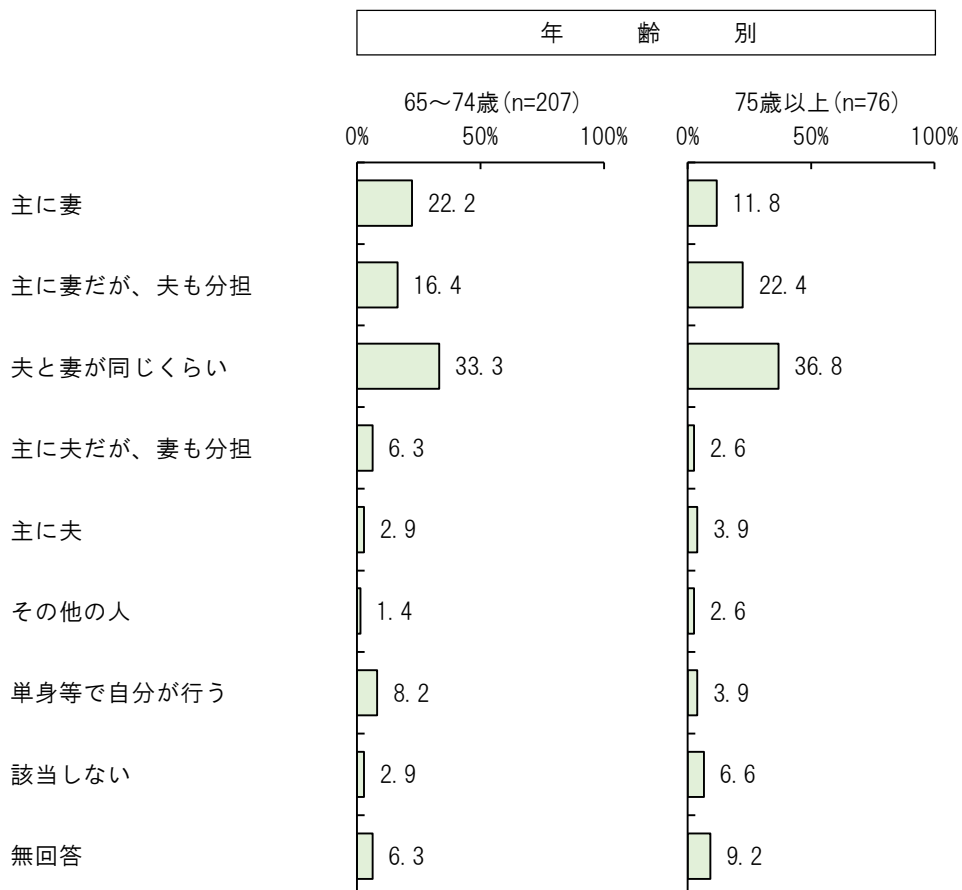
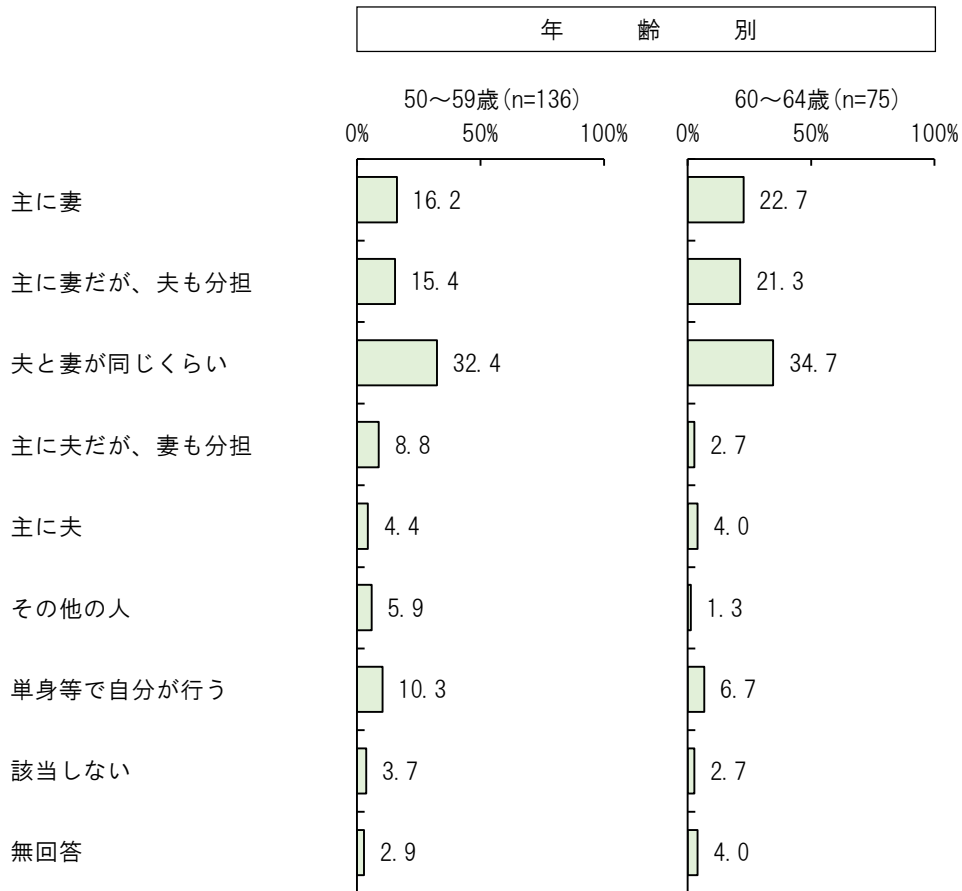
## 22. 主にしている人

### ⑨近所とのつきあい



## 22. 主にしている人

### ⑨近所とのつきあい

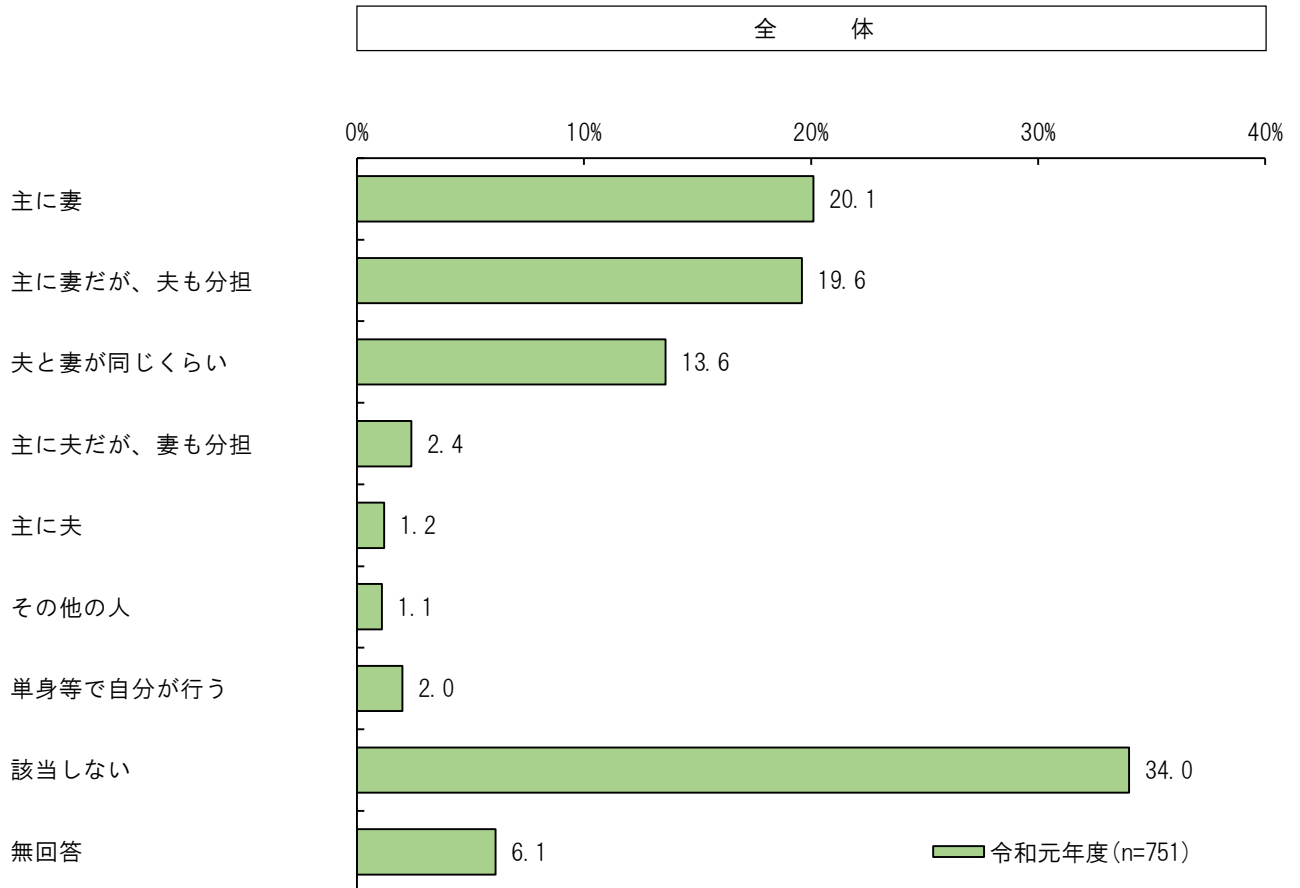


## 22. 主にしている人

### ⑩子どもの行事への参加

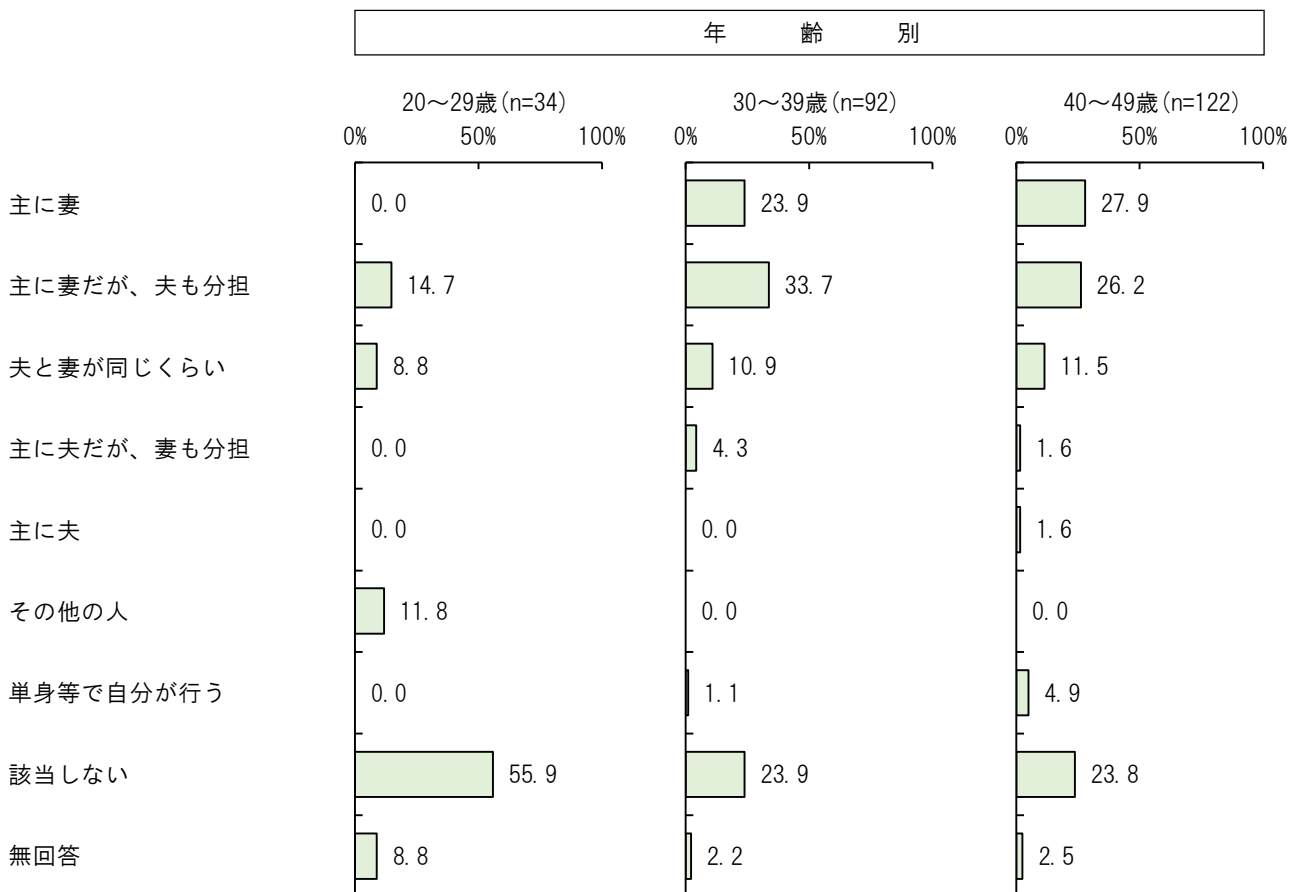
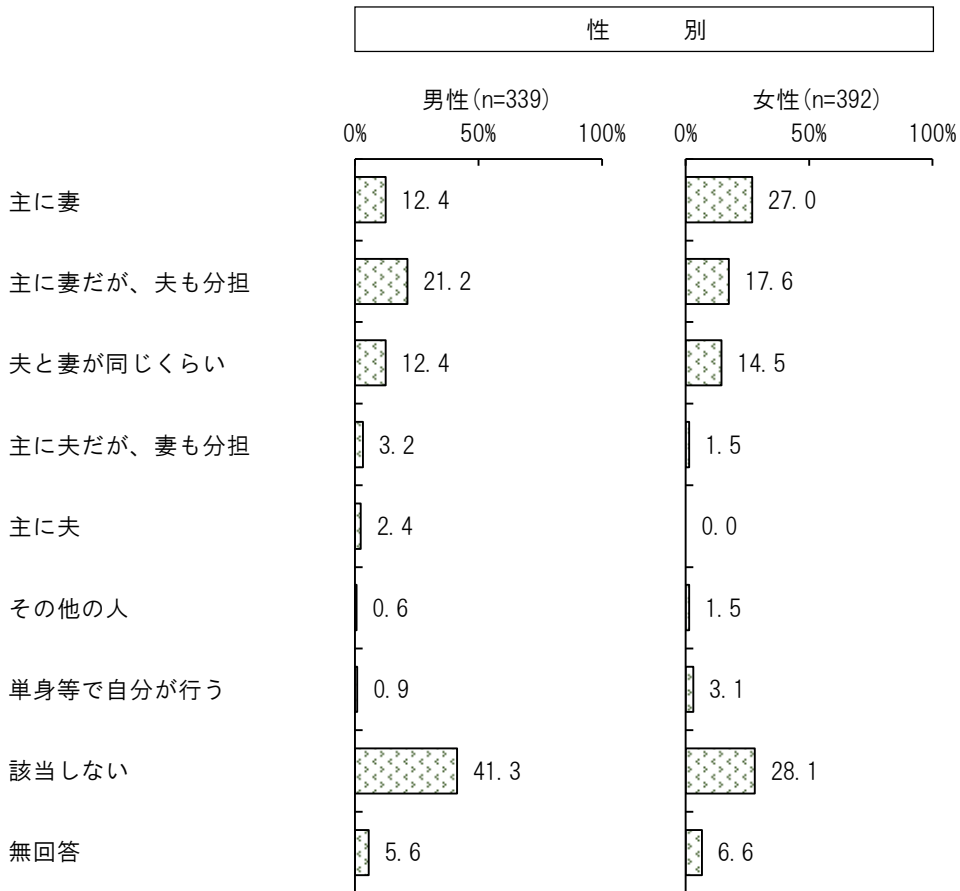
子どもの行事への参加では、「該当しない」が34.0%と最も多く、次いで「主に妻」が20.1%、「主に妻だが、夫も分担」が19.6%などとなっています。

年齢別にみると、“30～39歳”では「主に妻だが、夫も分担」が33.7%と最も多くなっています。また、“40～49歳”では「主に妻」が27.9%と最も多くなっています。



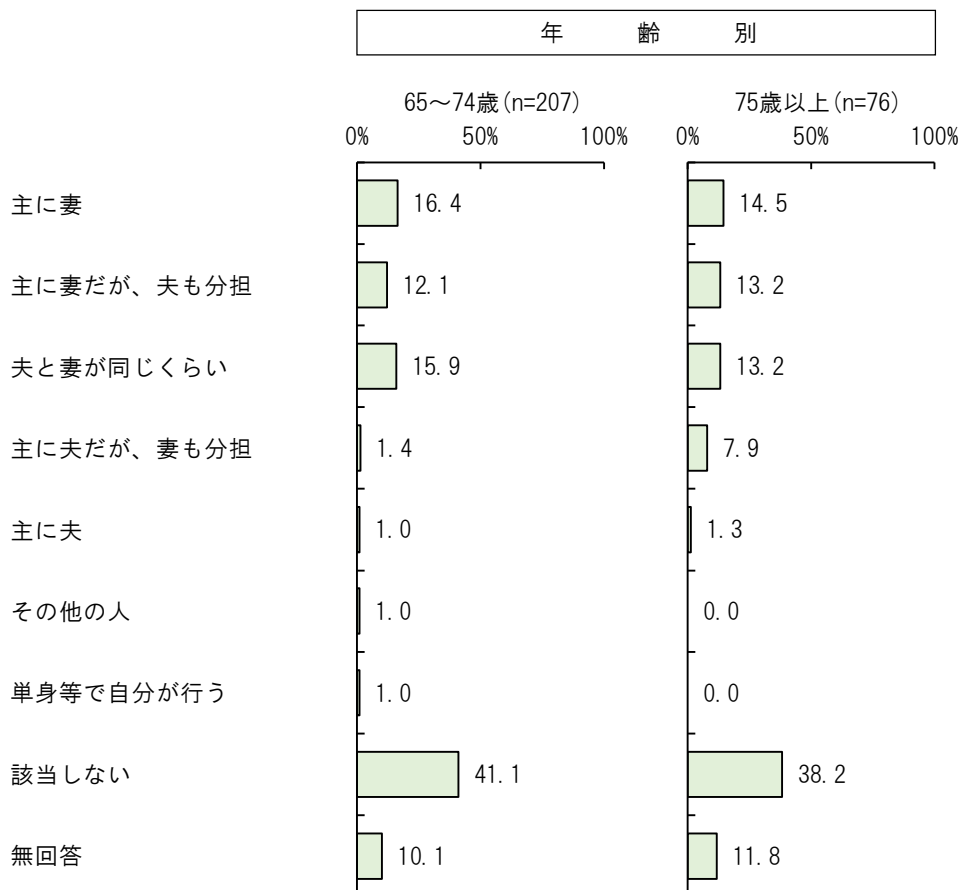
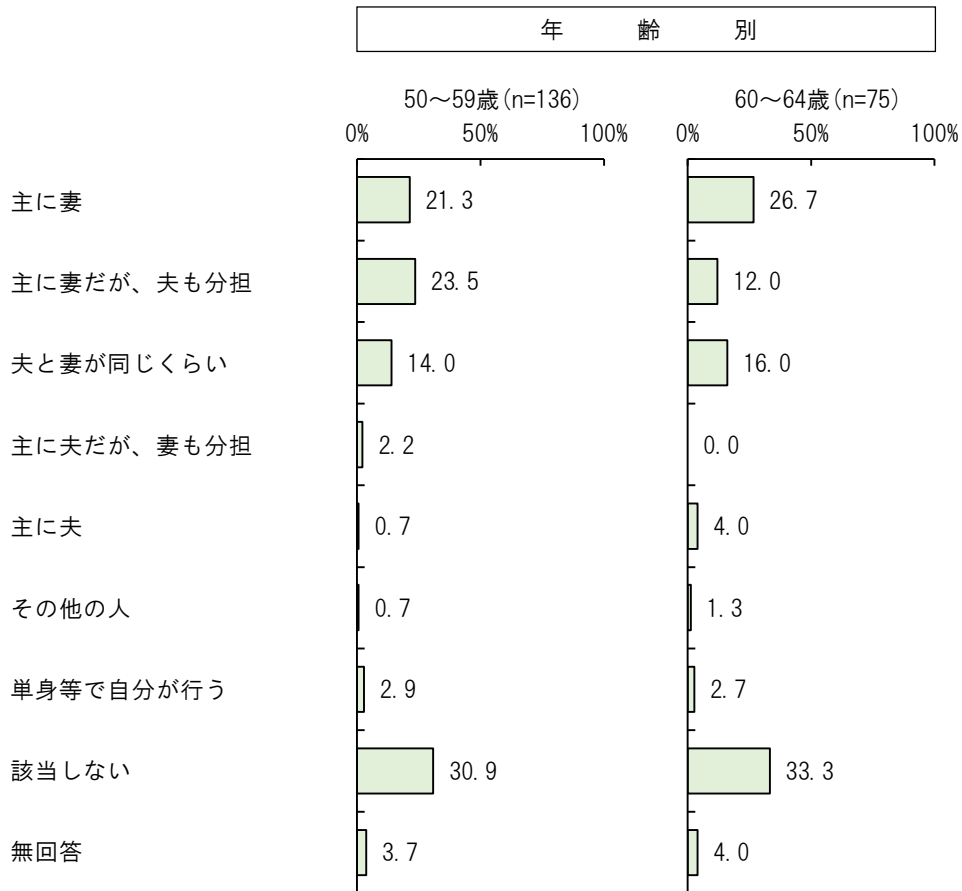
## 22. 主にしている人

### ⑩子どもの行事への参加



## 22. 主にしている人

### ⑩子どもの行事への参加

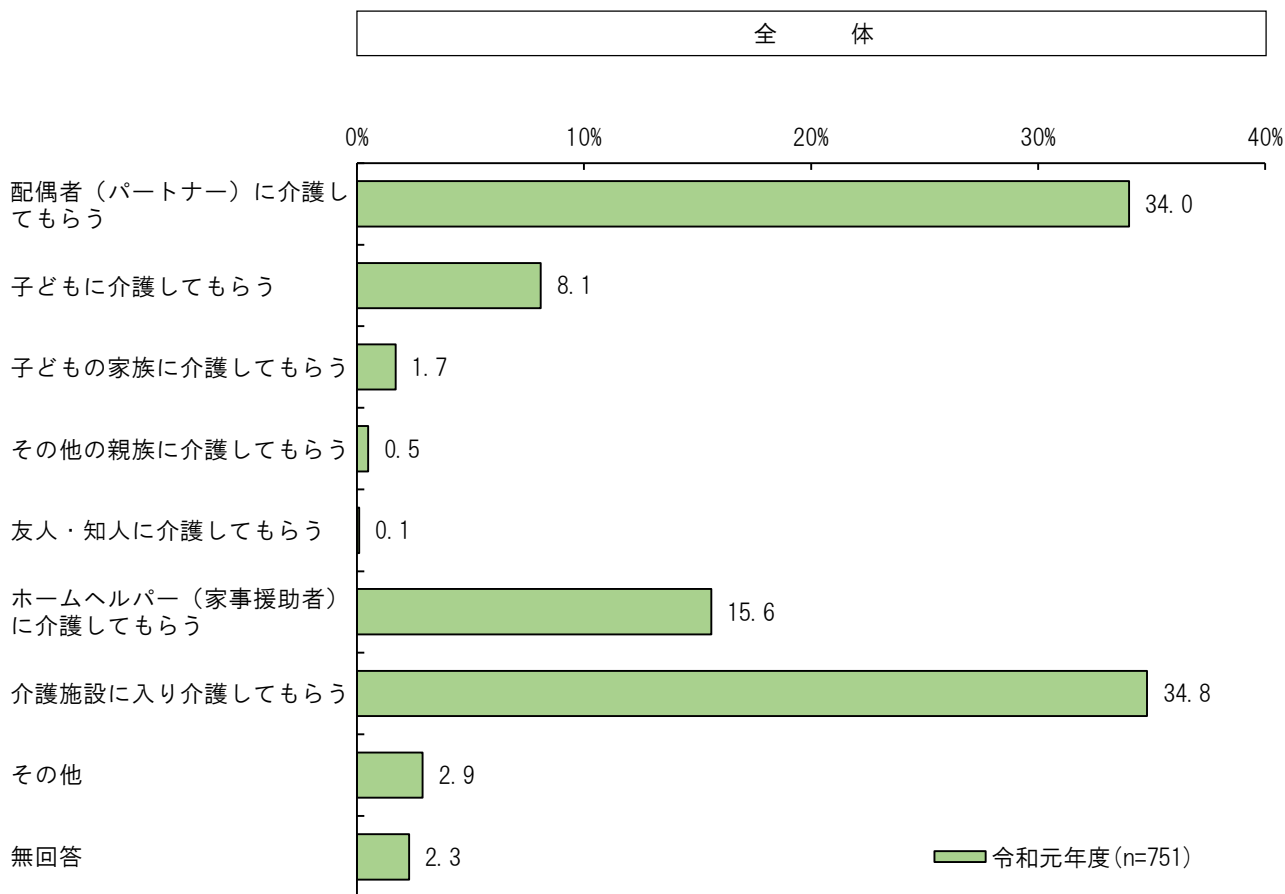


### 23. 介護が必要になった時に介護してほしい人

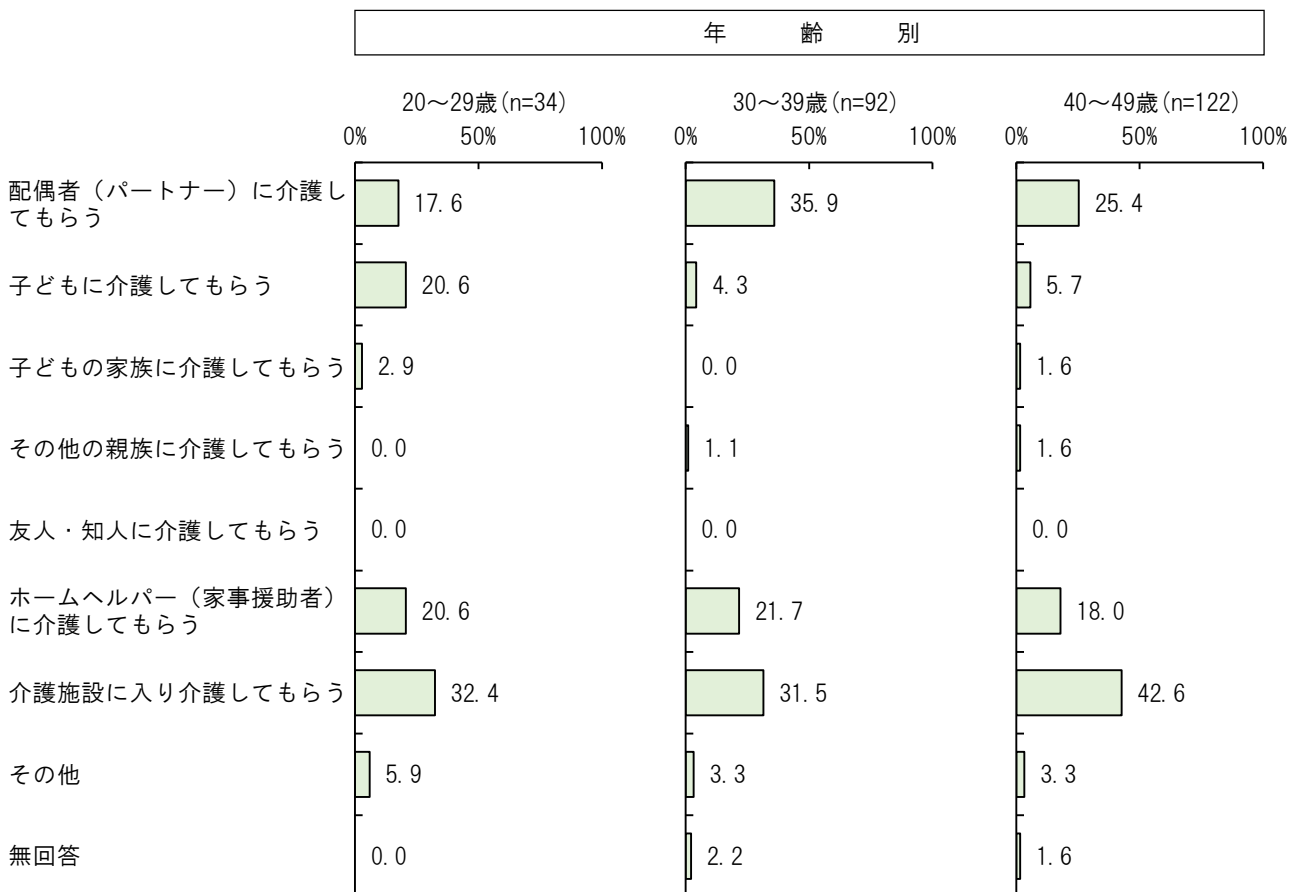
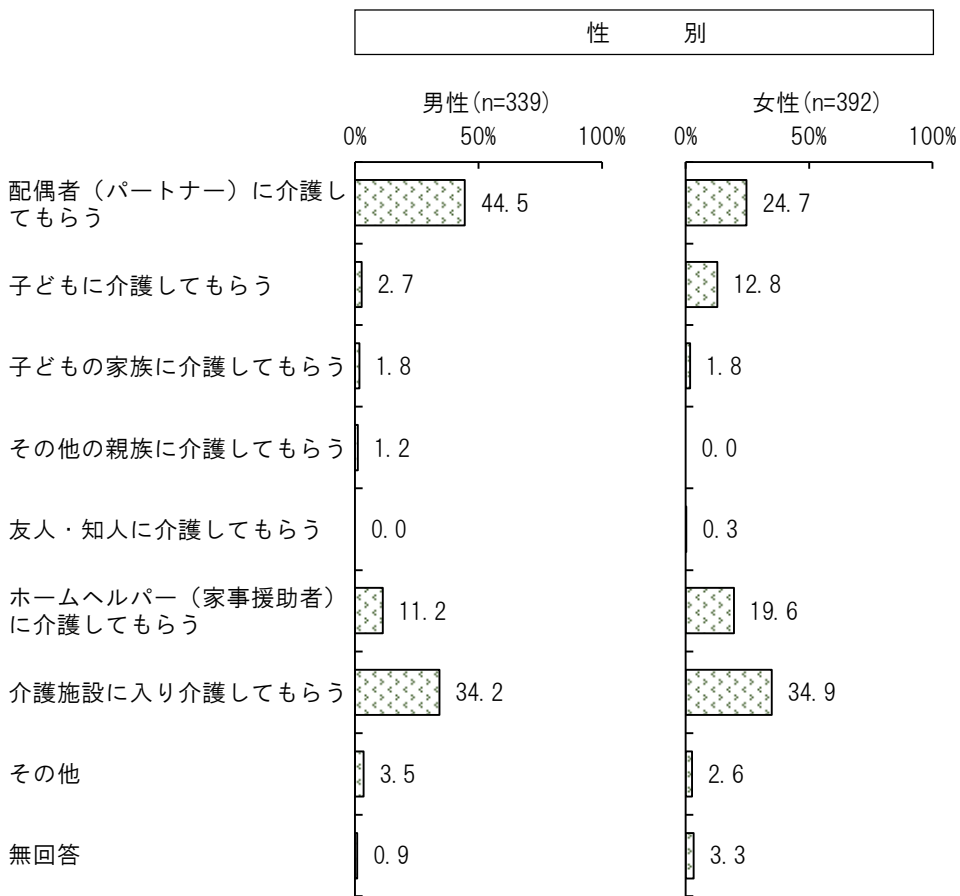
問23 あなたが、もし介護が必要になった時、誰に介護してほしいですか。 (1つに○)

介護が必要になった時に介護してほしい人では、「介護施設に入り介護してもらう」が34.8%と最も多く、次いで「配偶者（パートナー）に介護してもらう」が34.0%、「ホームヘルパー（家事援助者）に介護してもらう」が15.6%などとなっています。

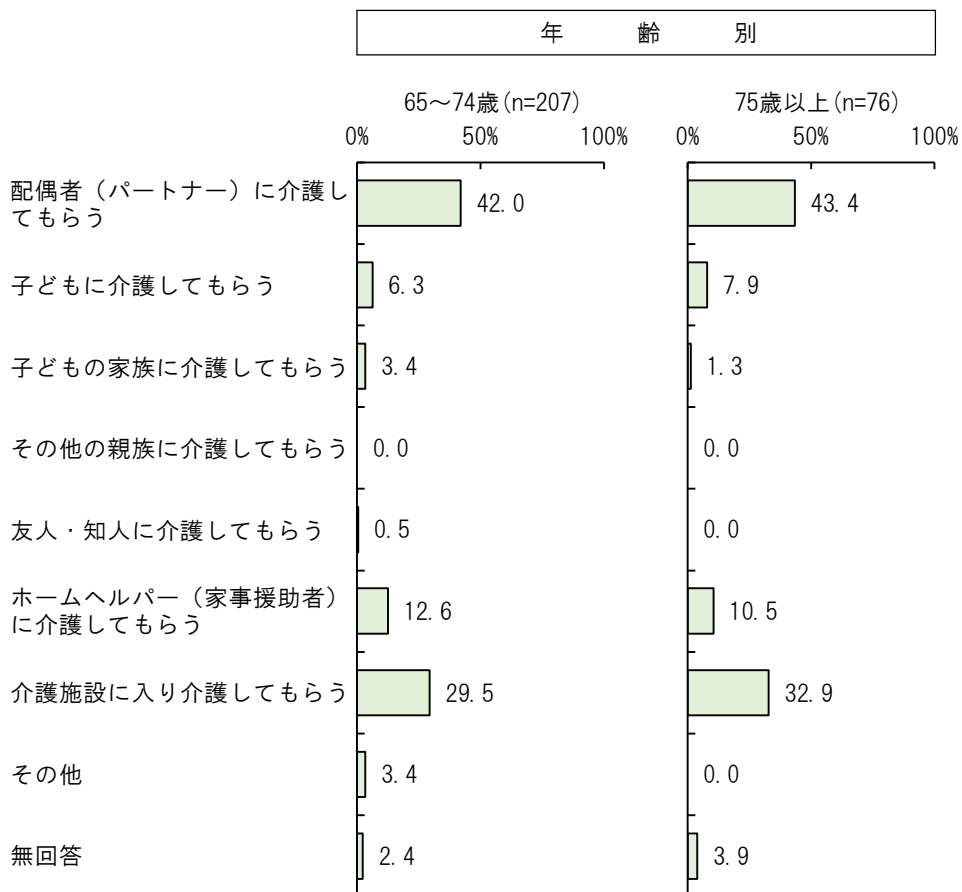
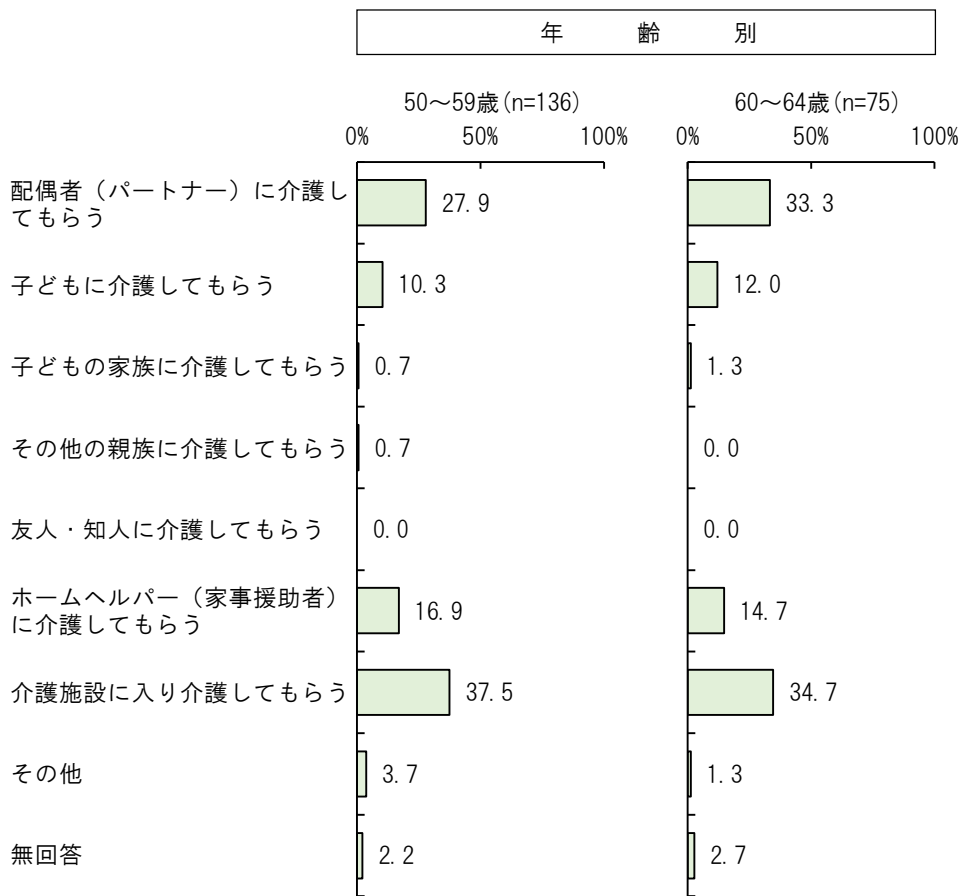
性別にみると、“男性”では「配偶者（パートナー）に介護してもらう」が44.5%と最も多くなっています。



23. 介護が必要になった時に介護してほしい人



### 23. 介護が必要になった時に介護してほしい人





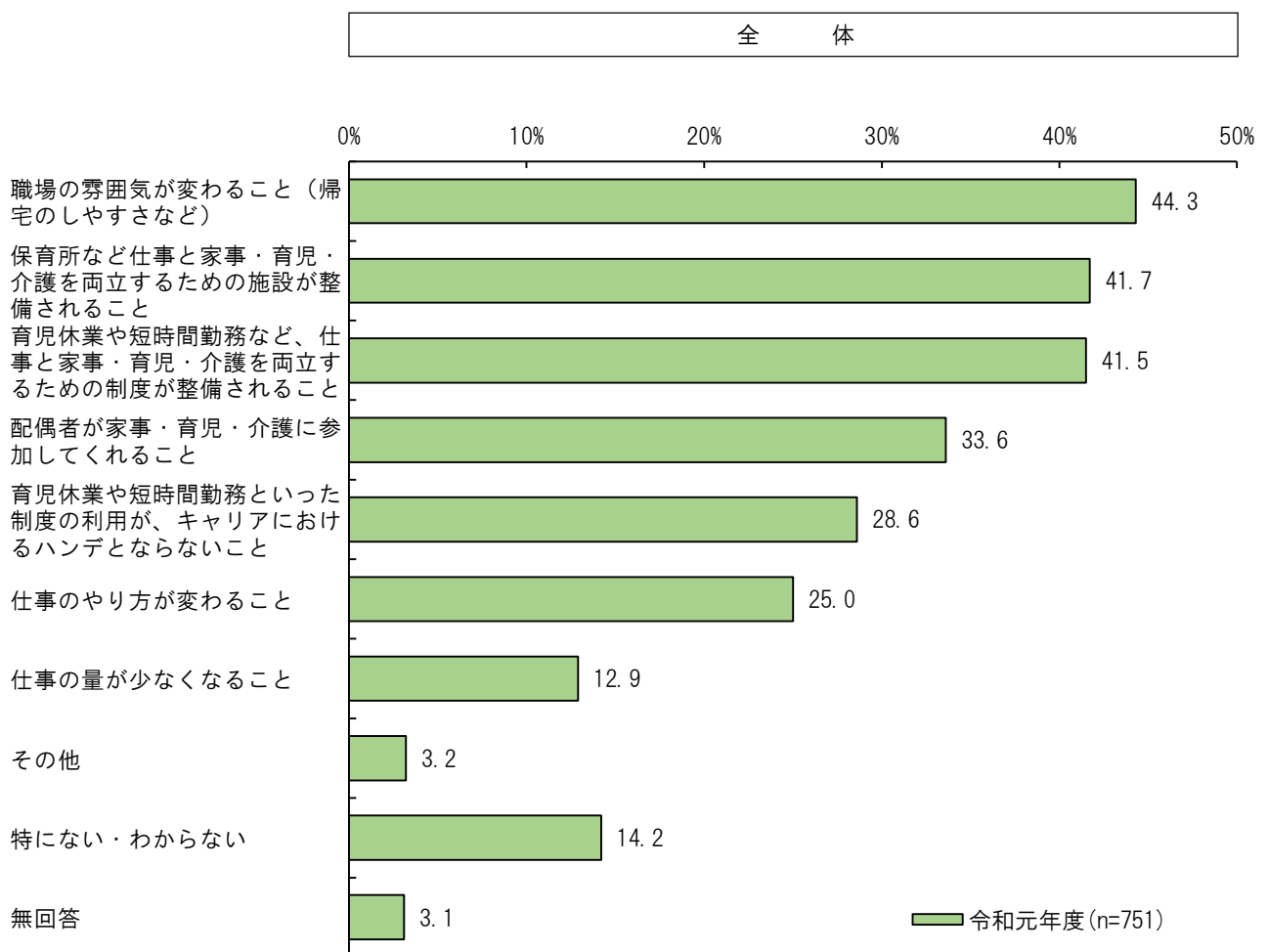
## 24. ワーク・ライフ・バランスを実現するために職場で必要だと思う取り組み

問24 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、職場で必要だと思う取り組みは何ですか。（〇はいくつでも）

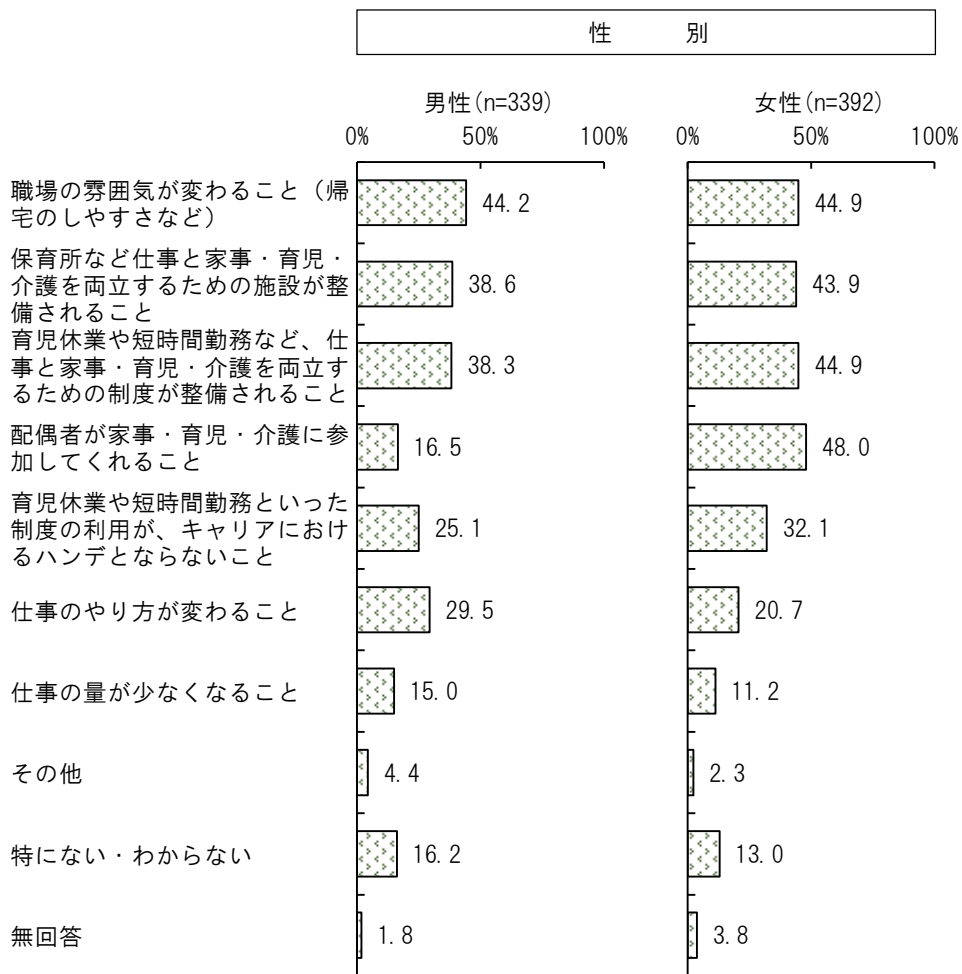
ワーク・ライフ・バランスを実現するために職場で必要だと思う取り組みでは、「職場の雰囲気が変わること（帰宅のしやすさなど）」が44.3%と最も多く、次いで「保育所など仕事と家事・育児・介護を両立するための施設が整備されること」が41.7%、「育児休業や短時間勤務など、仕事と家事・育児・介護を両立するための制度が整備されること」が41.5%などとなっています。

性別にみると、“女性”では「配偶者が家事・育児・介護に参加してくれること」が48.0%と最も多くなっています。

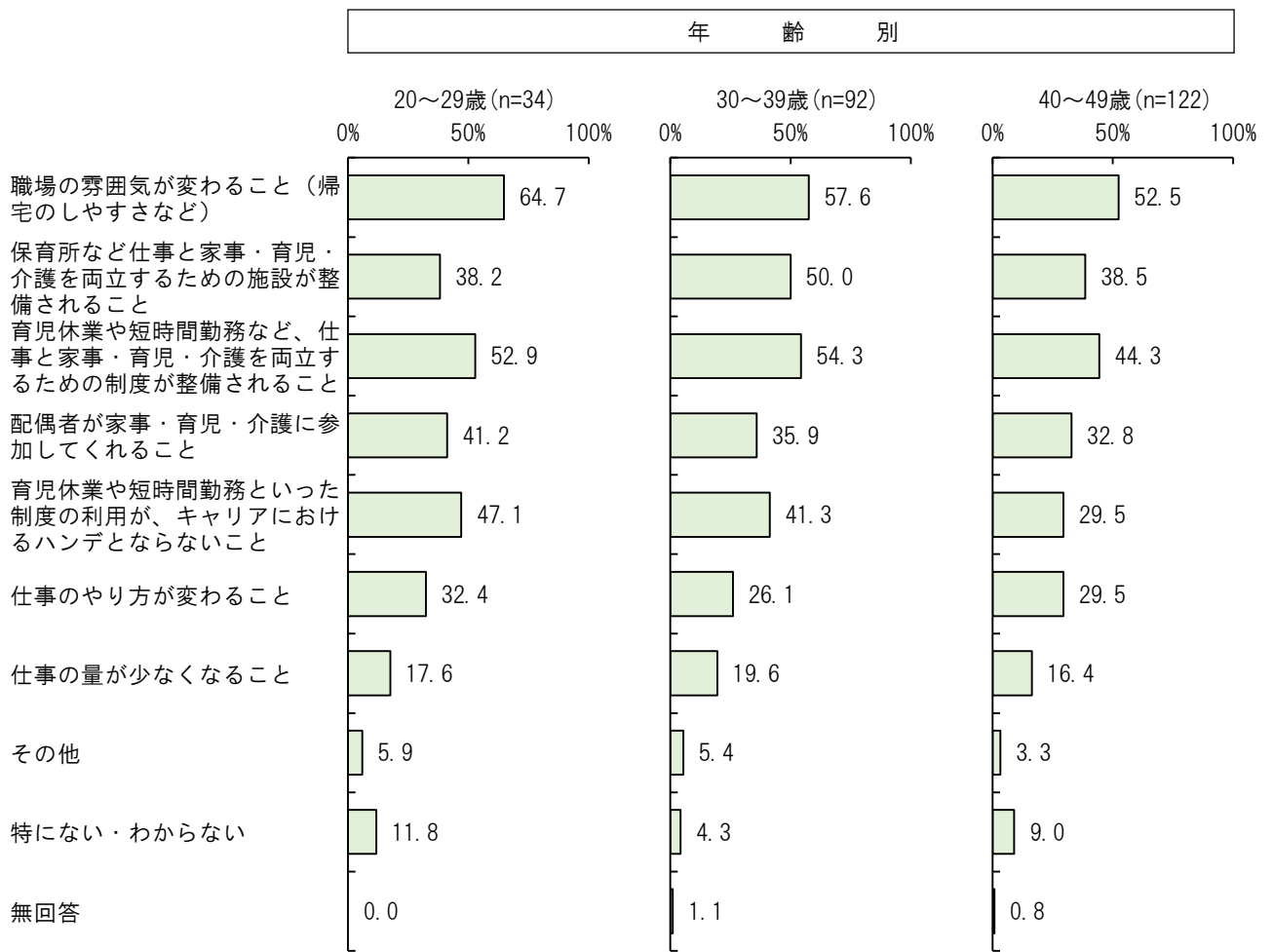
年齢別にみると、“75歳以上”では「育児休業や短時間勤務など、仕事と家事・育児・介護を両立するための制度が整備されること」が34.2%と最も多くなっています。



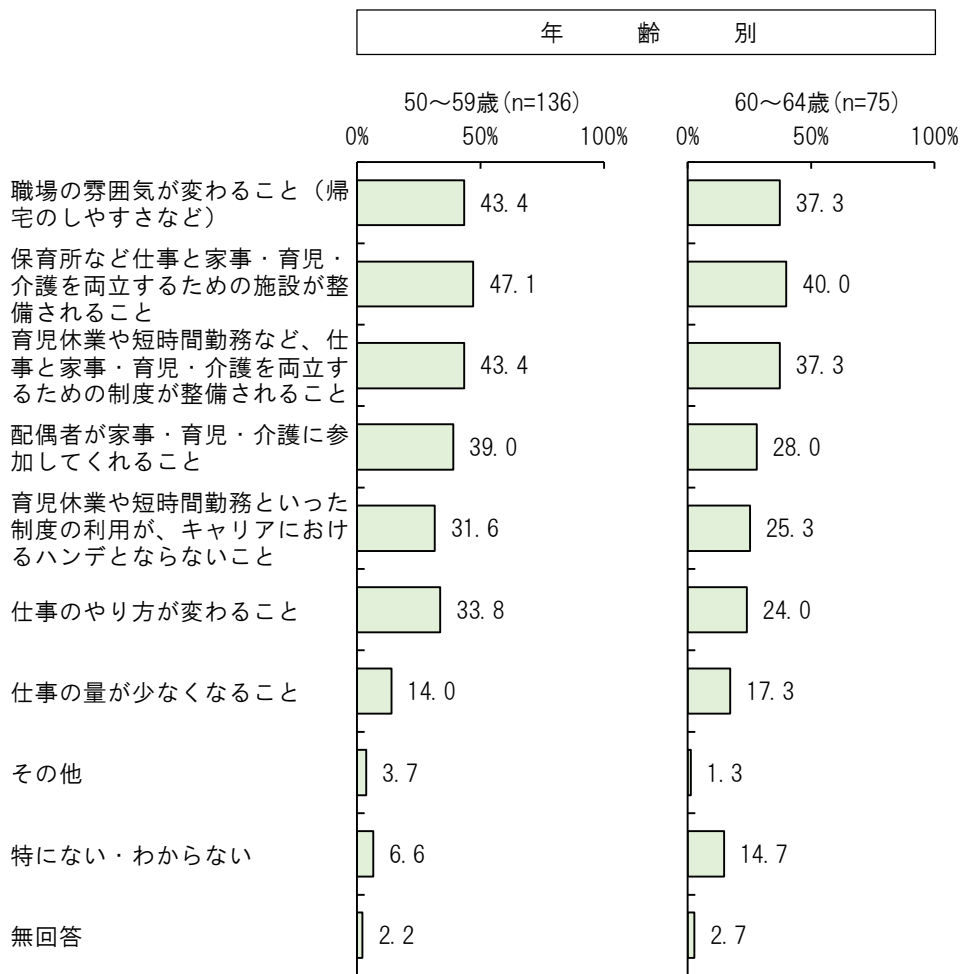
## 24. ワーク・ライフ・バランスを実現するために職場で必要だと思う取り組み



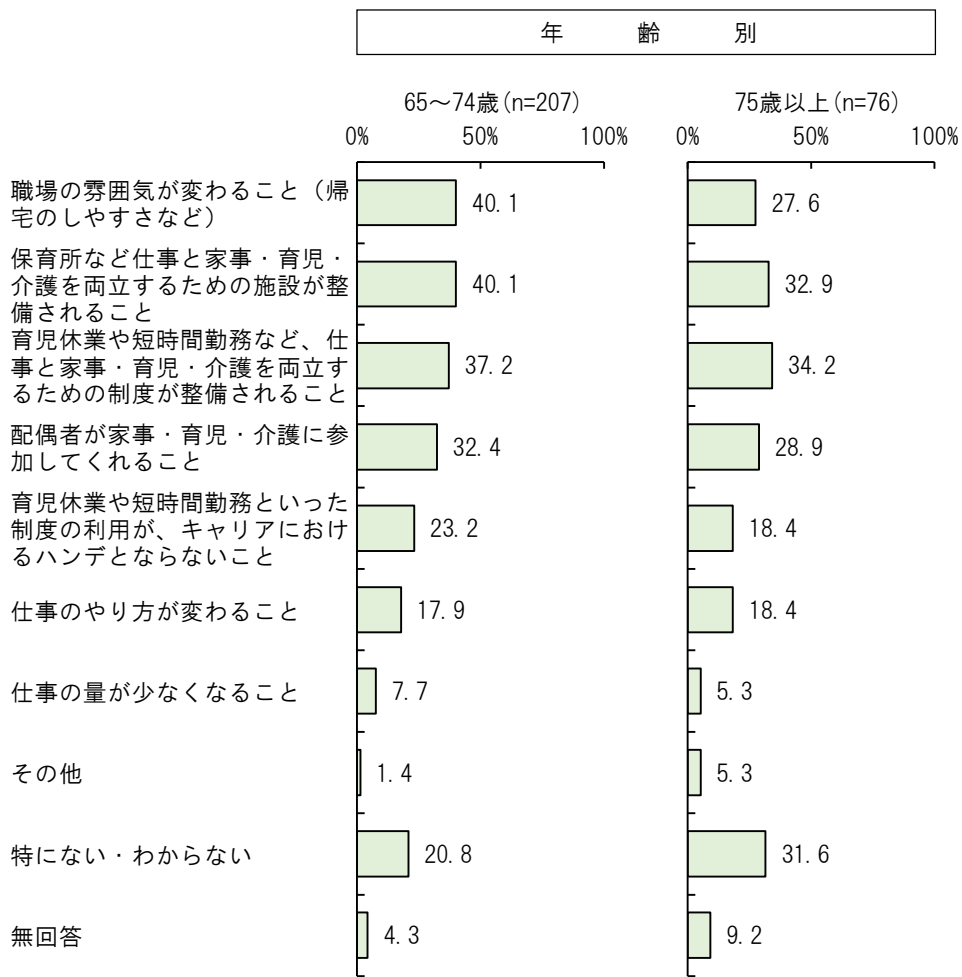
24. ワーク・ライフ・バランスを実現するために職場で必要だと思う取り組み



## 24. ワーク・ライフ・バランスを実現するために職場で必要だと思う取り組み



24. ワーク・ライフ・バランスを実現するために職場で必要だと思う取り組み



## 25. 希望する「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度

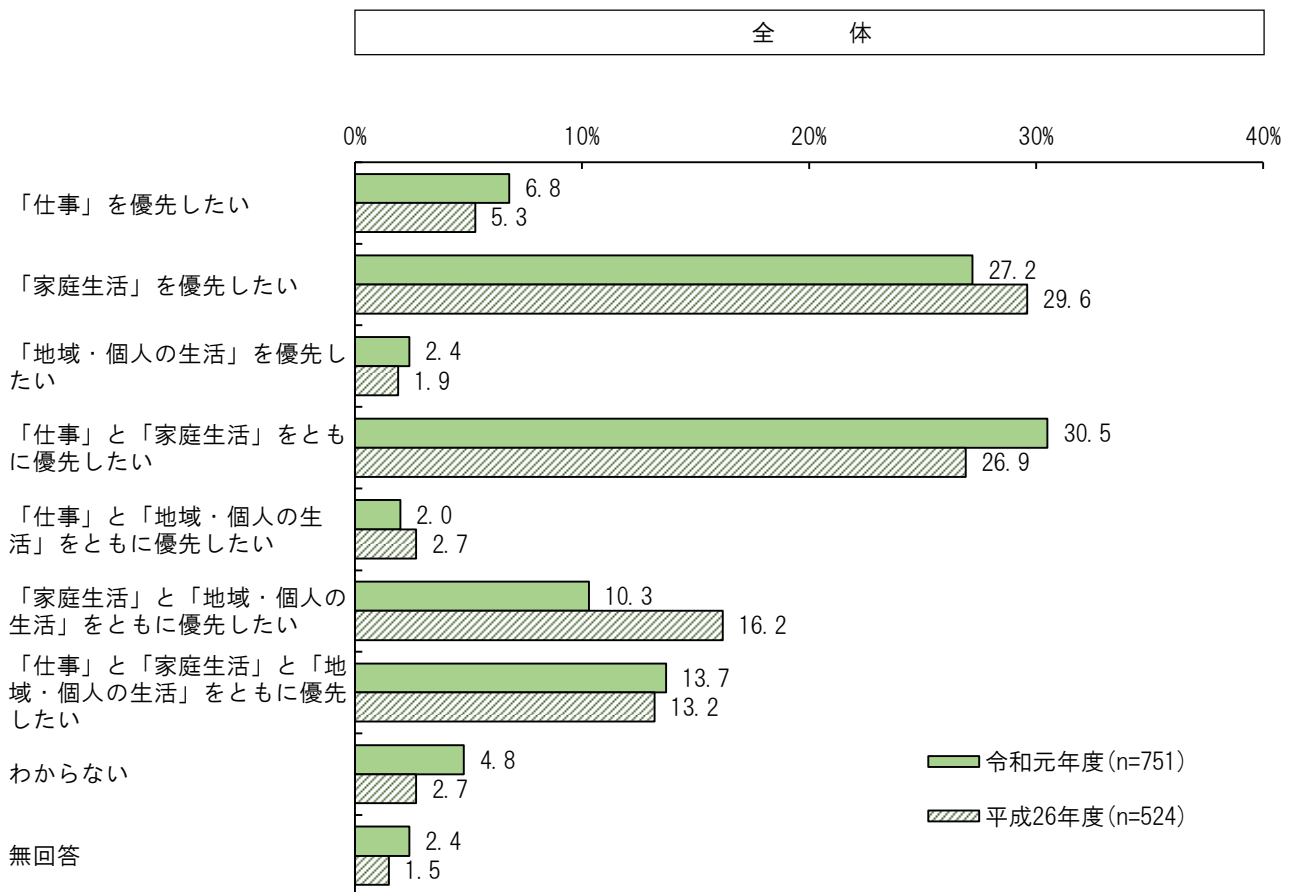
問25 生活の中での、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。学生においては、仕事を学業とおきかえてお答えください。

(1つに○)

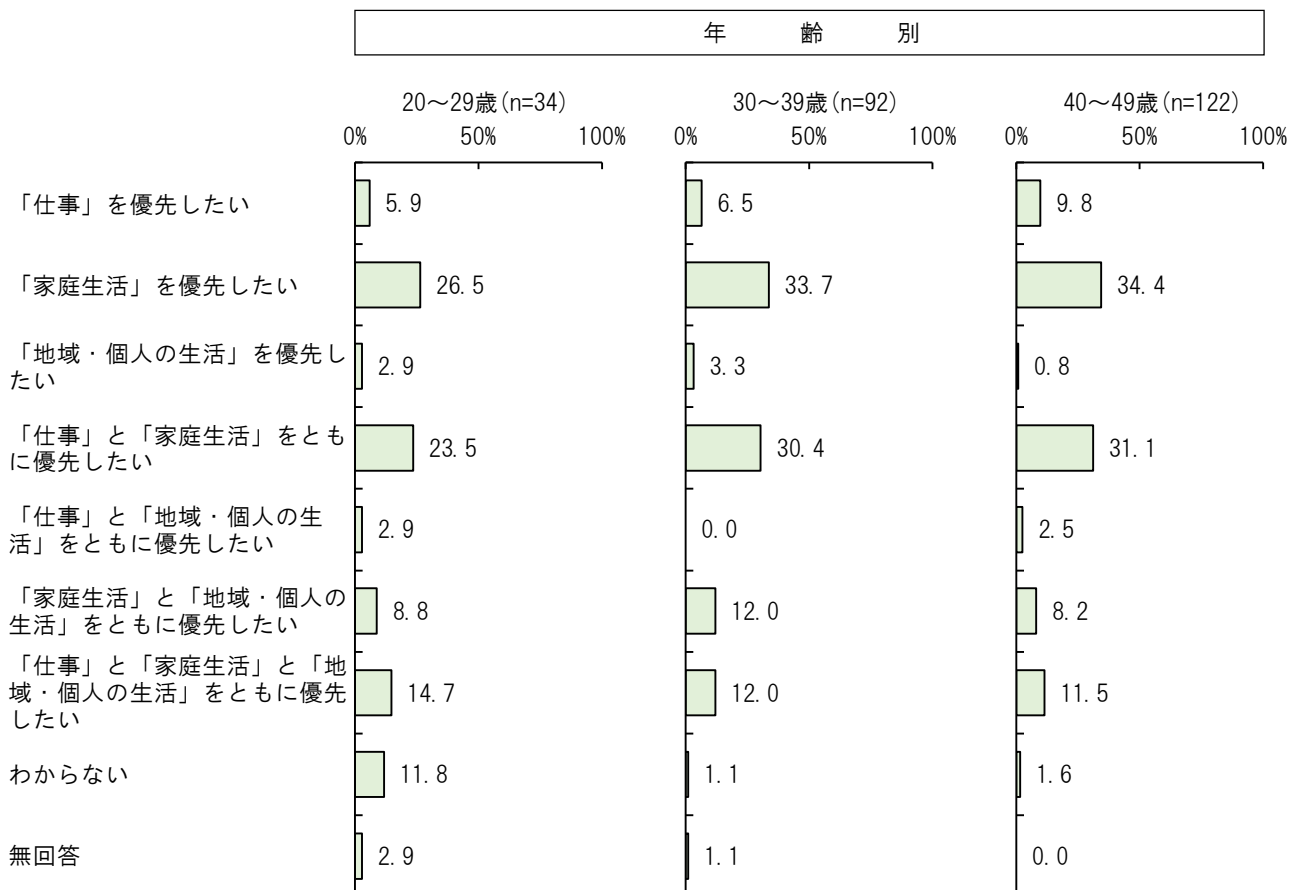
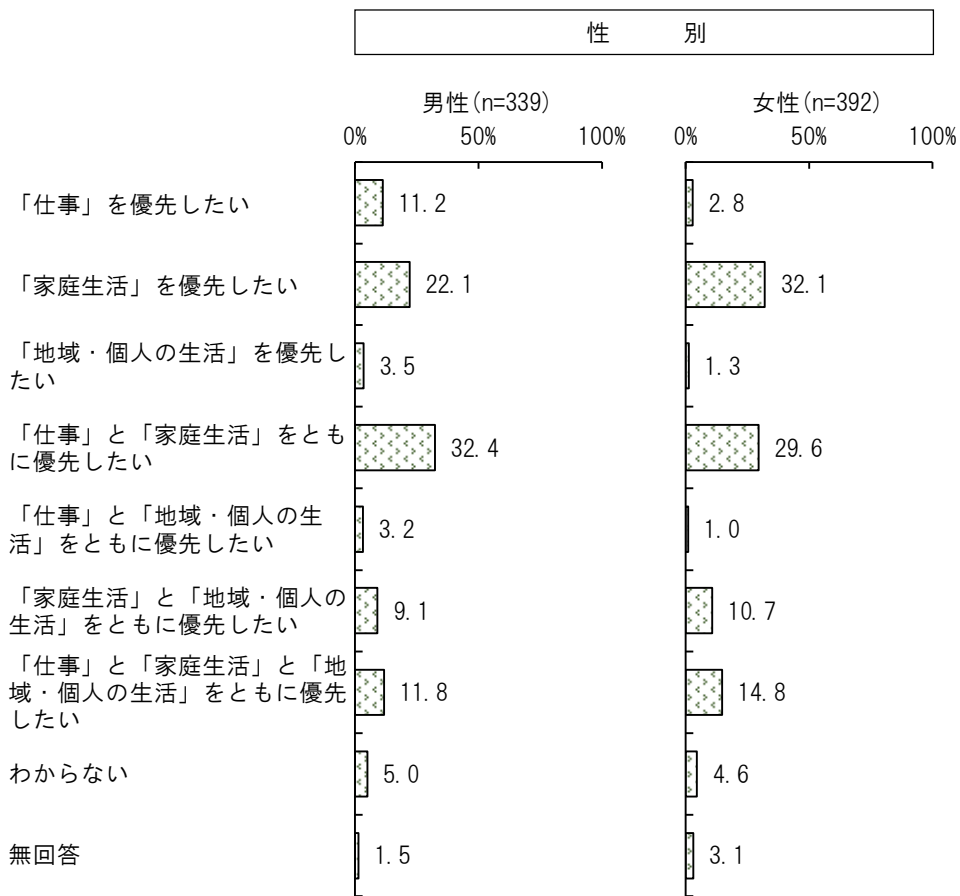
希望する「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度では、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が30.5%と最も多く、次いで「家庭生活」を優先したい」が27.2%、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」が13.7%などとなっています。

経年比較でみると、平成26年度では「家庭生活」を優先したい」が29.6%と最も多くなっていましたが、令和元年度では「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」が最も多くなっていました。

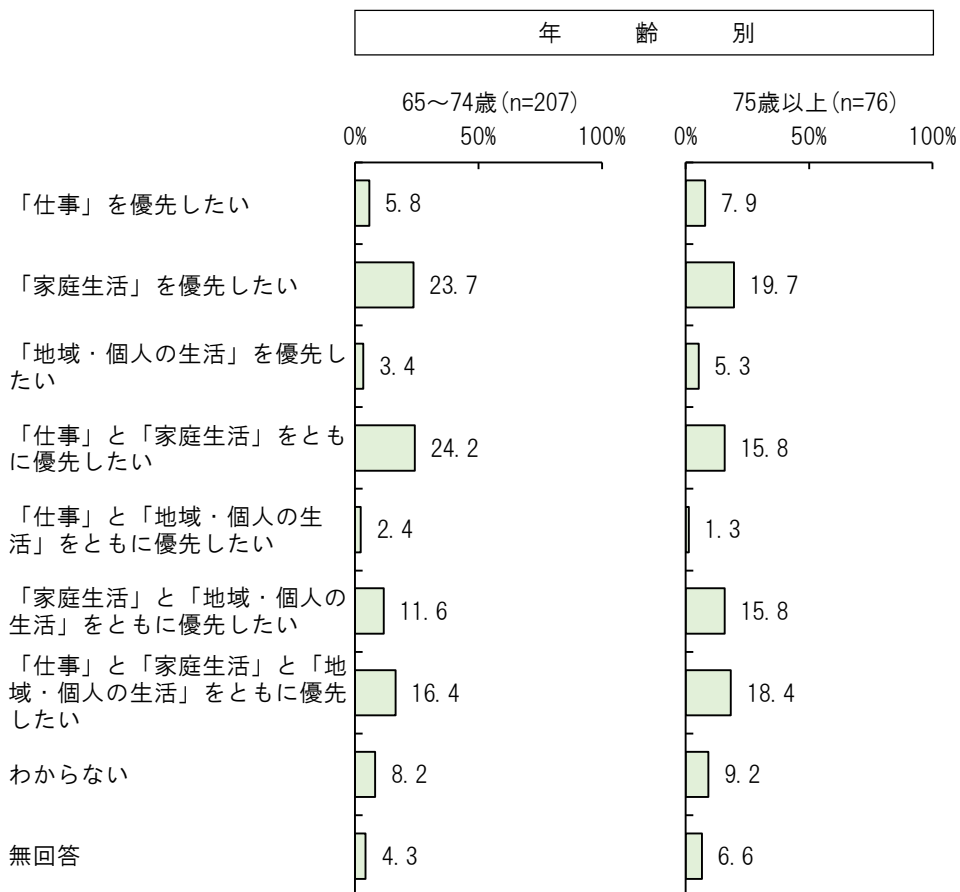
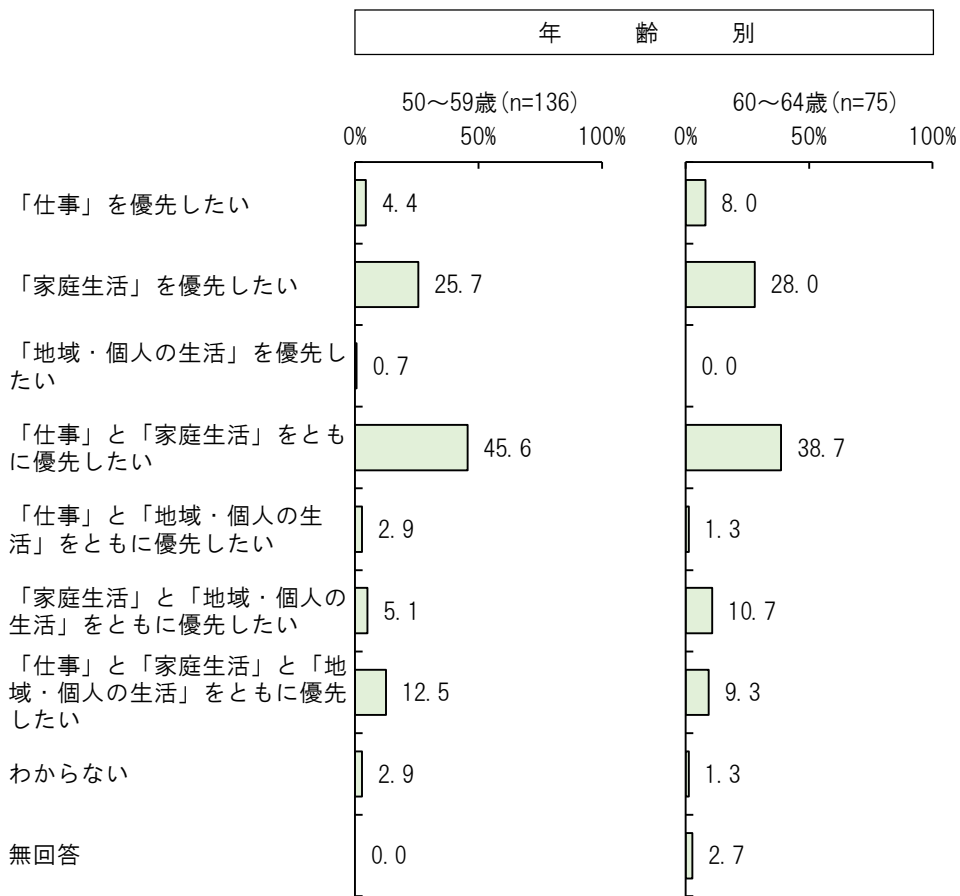
性別にみると、「女性」では「家庭生活」を優先したい」が32.1%と最も多くなっていました。



25. 希望する「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度



## 25. 希望する「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度



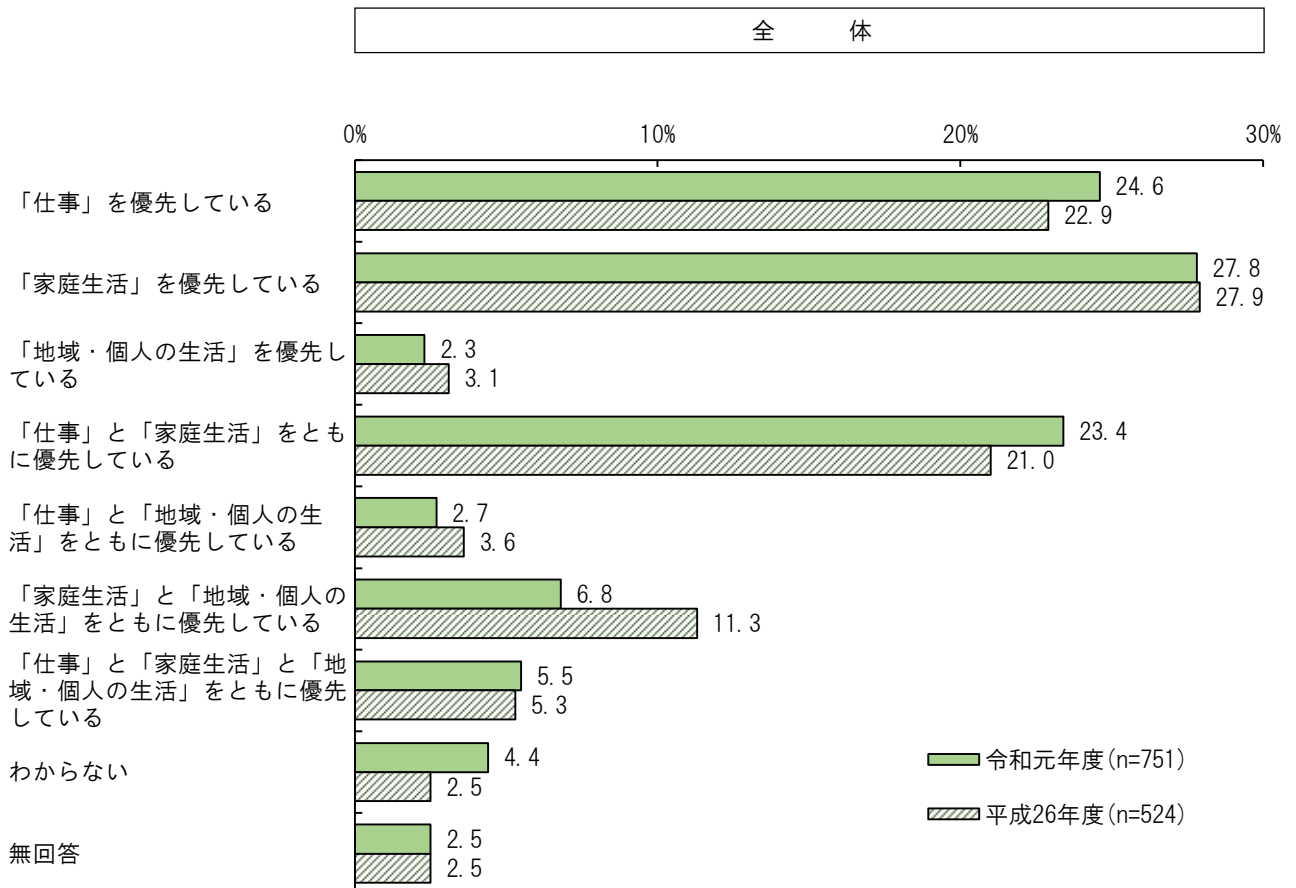


## 26. 現実（現状）に最も近いもの

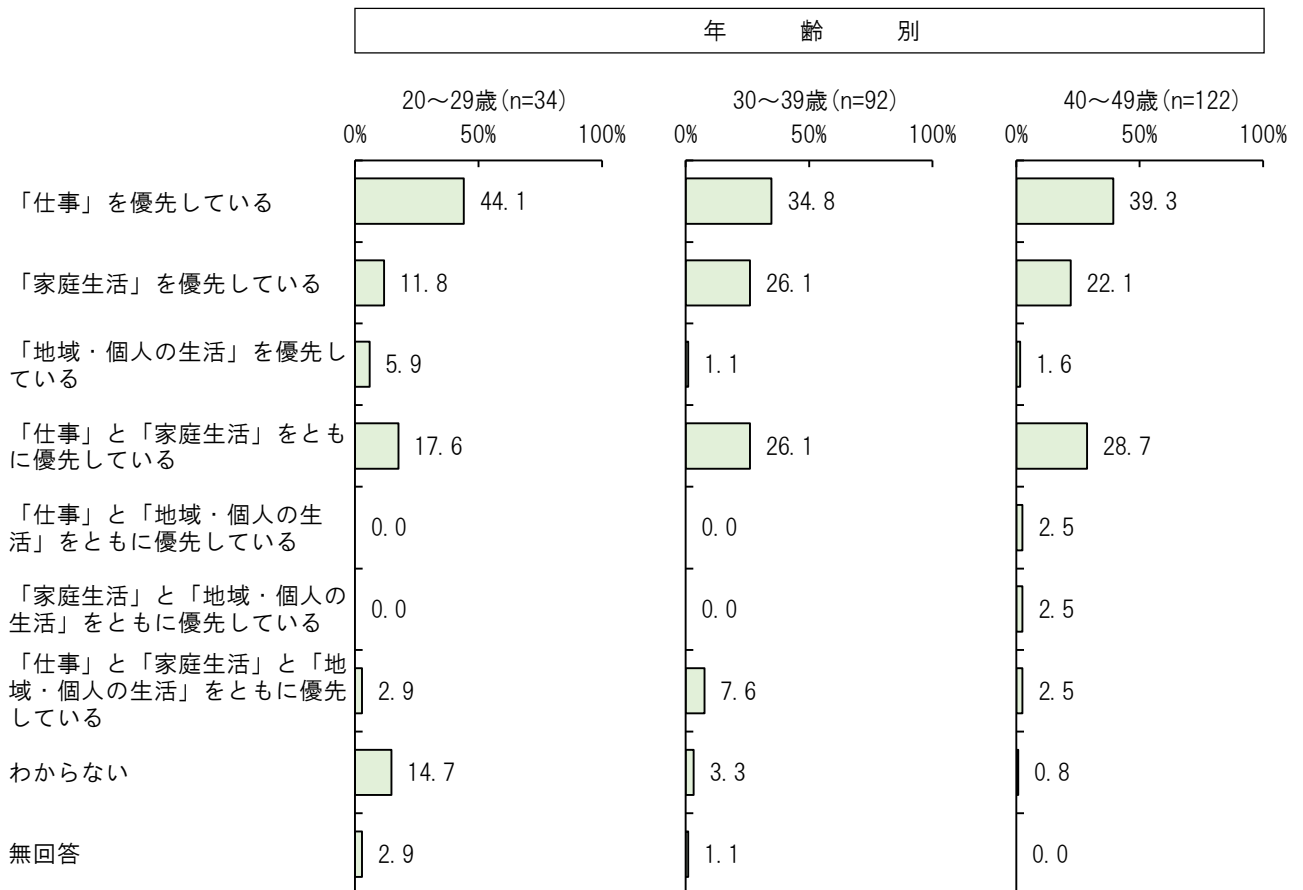
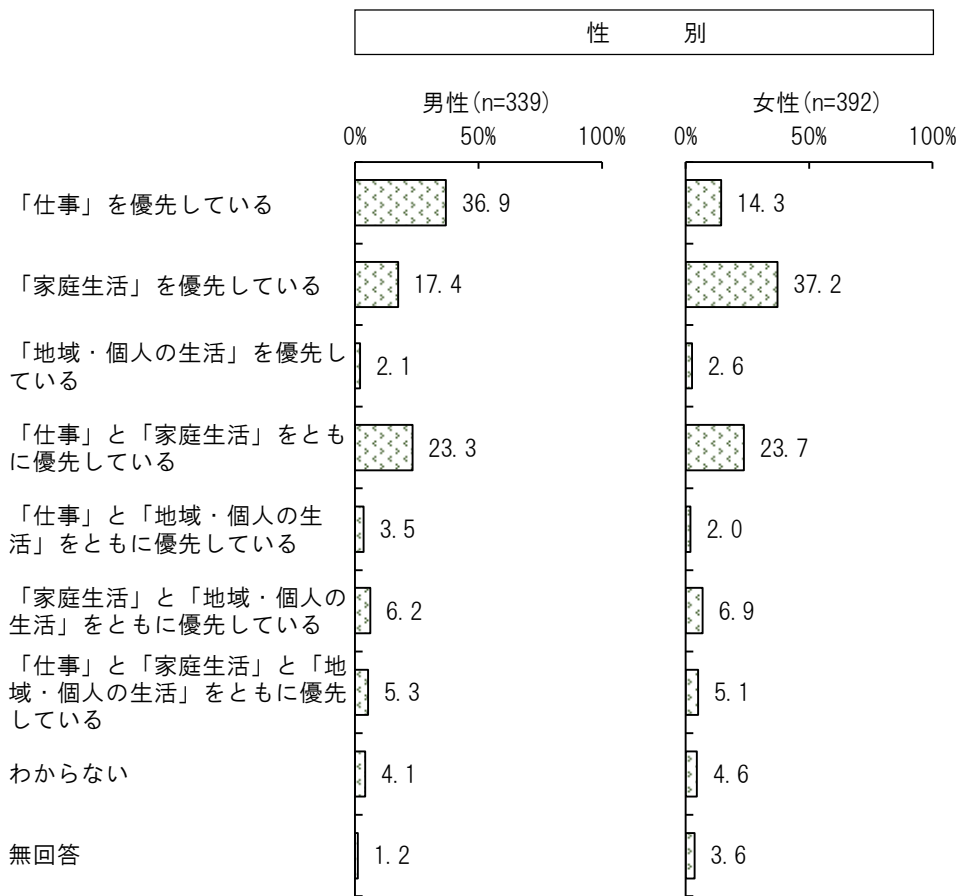
問26 それでは、あなたの現実（現状）に最も近いものはどれですか。（1つに○）

現実（現状）に最も近いものでは、「家庭生活」を優先しているが27.8%と最も多く、次いで「仕事」を優先しているが24.6%、「仕事」と「家庭生活」をともに優先しているが23.4%などとなっています。

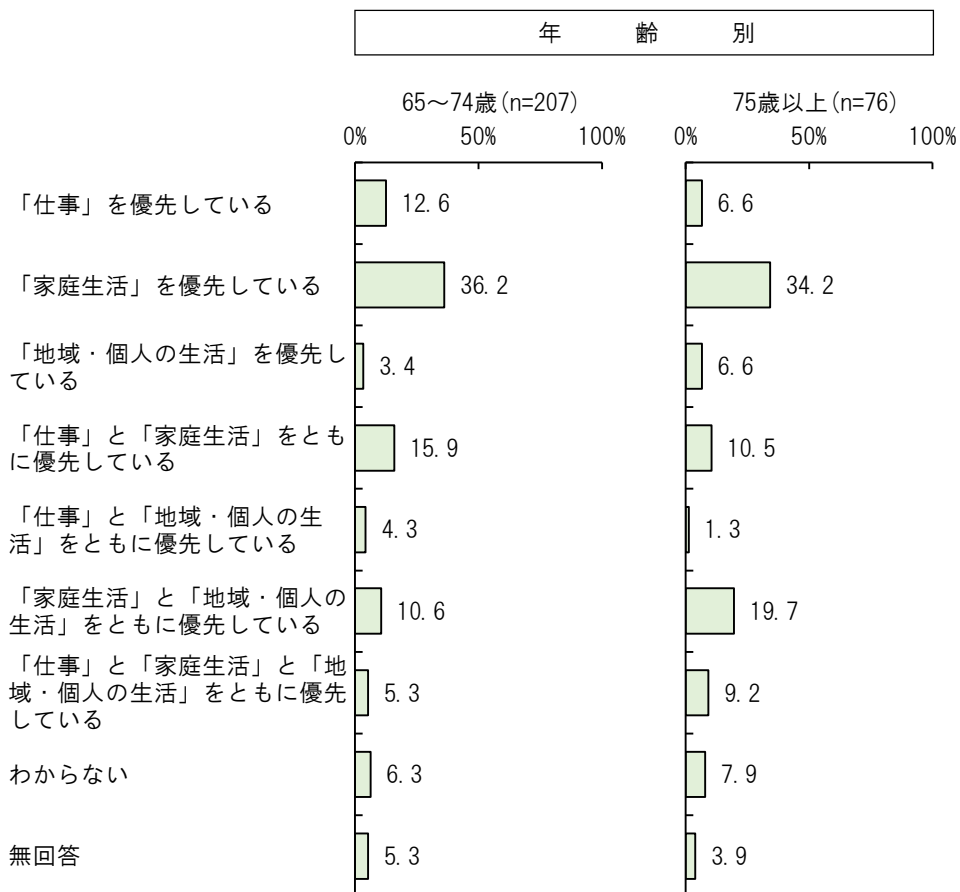
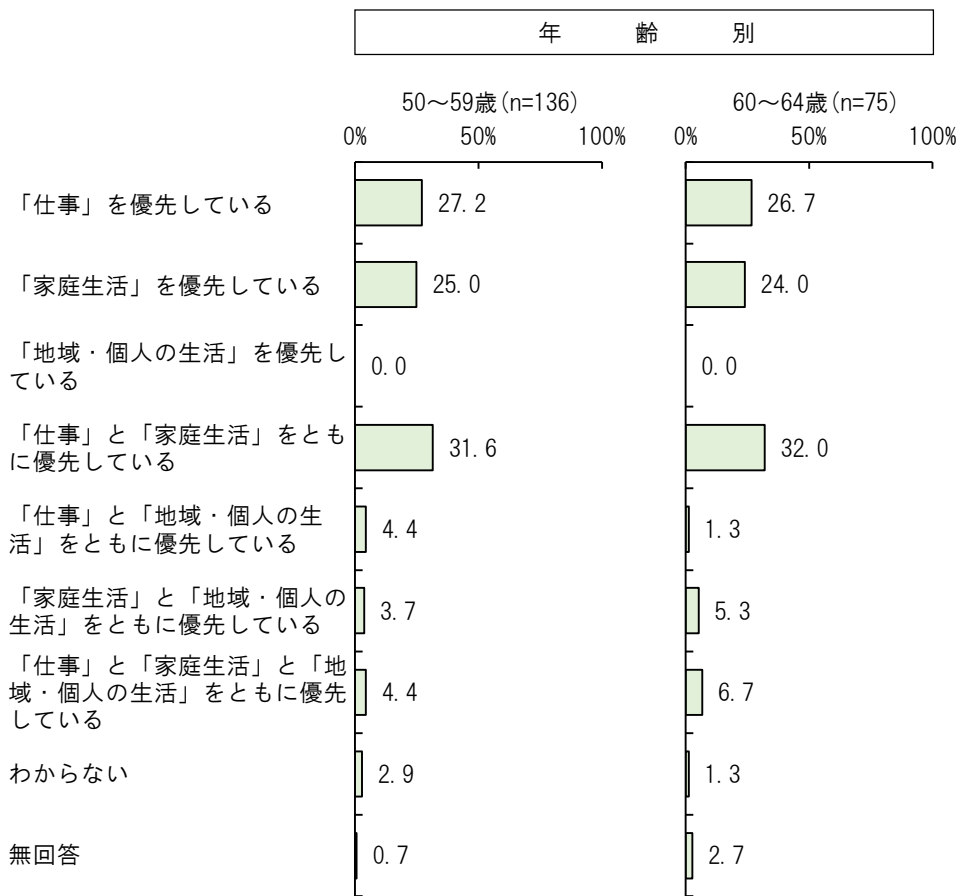
性別にみると、“男性”では「仕事」を優先しているが36.9%と最も多くなっています。



## 26. 現実（現状）に最も近いもの



26. 現実（現状）に最も近いもの



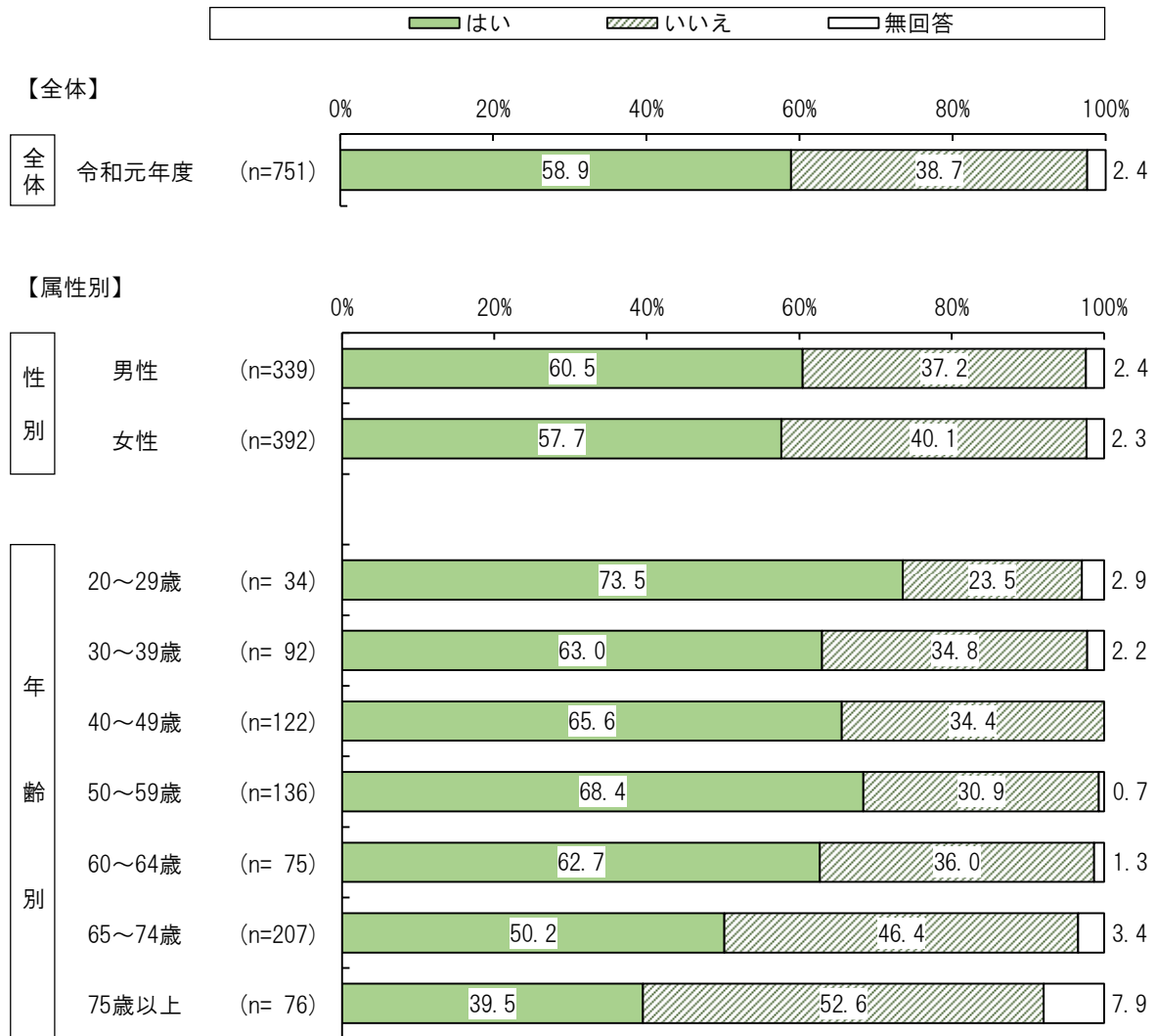
## (9) 性的マイノリティについて

### 27. 性的マイノリティ（またはLGBT）の認知

問27 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。（1つに○）

性的マイノリティ（またはLGBT）の認知では、「はい」が58.9%、「いいえ」が38.7%となっています。

年齢別にみると、“75歳以上”では「いいえ」が52.6%と「はい」よりも多くなっています。

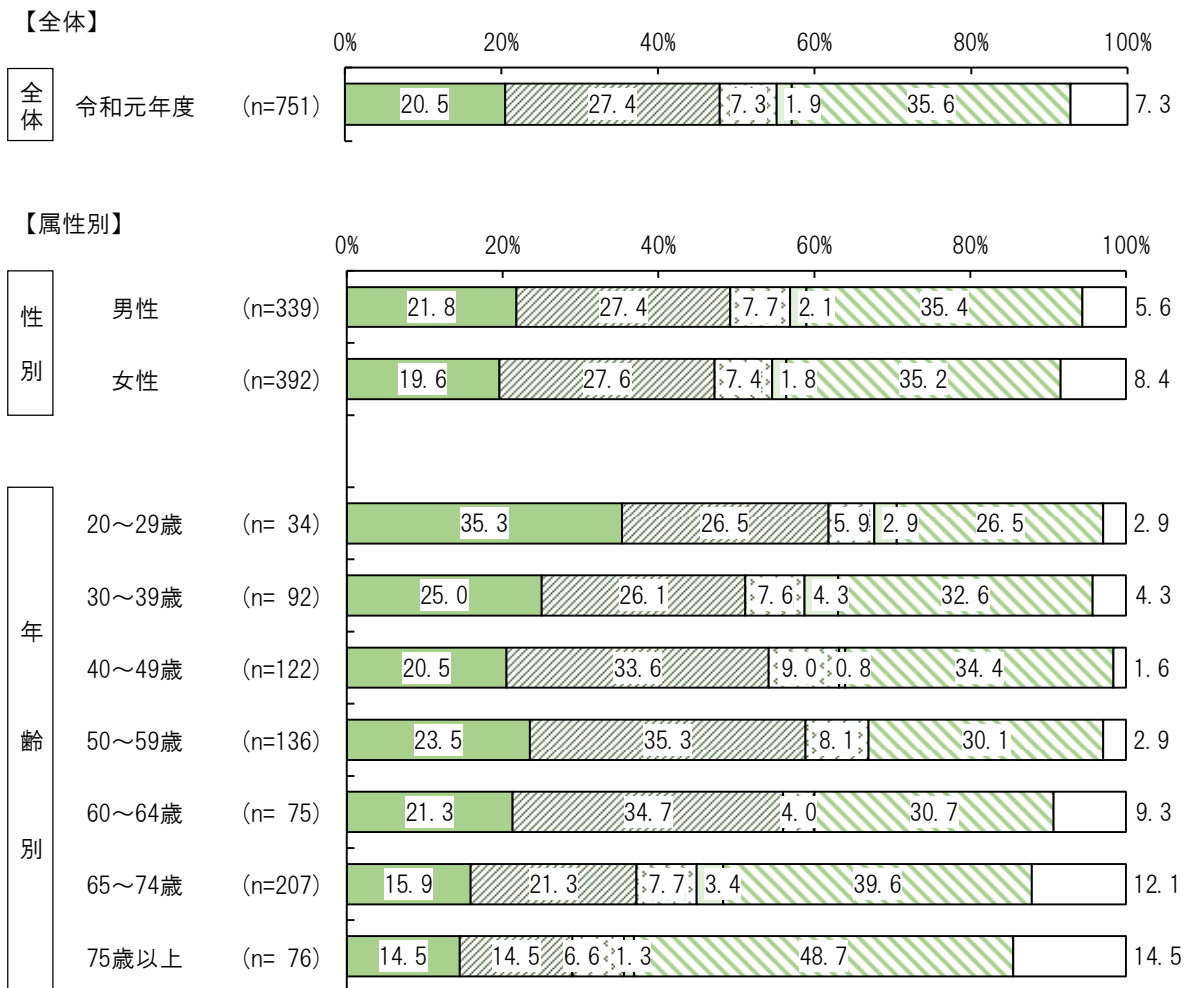
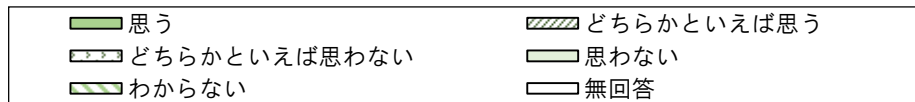


## 28. 性的マイノリティの方々にとって生活しづらい社会であるかの感じ方

問28 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。（1つに○）

性的マイノリティの方々にとって生活しづらい社会であるかの感じ方では、「わからない」が35.6%と最も多く、次いで「どちらかといえば思う」が27.4%、「思う」が20.5%などとなっています。

年齢別にみると、“20～29歳”では「思う」が35.3%と最も多くなっています。



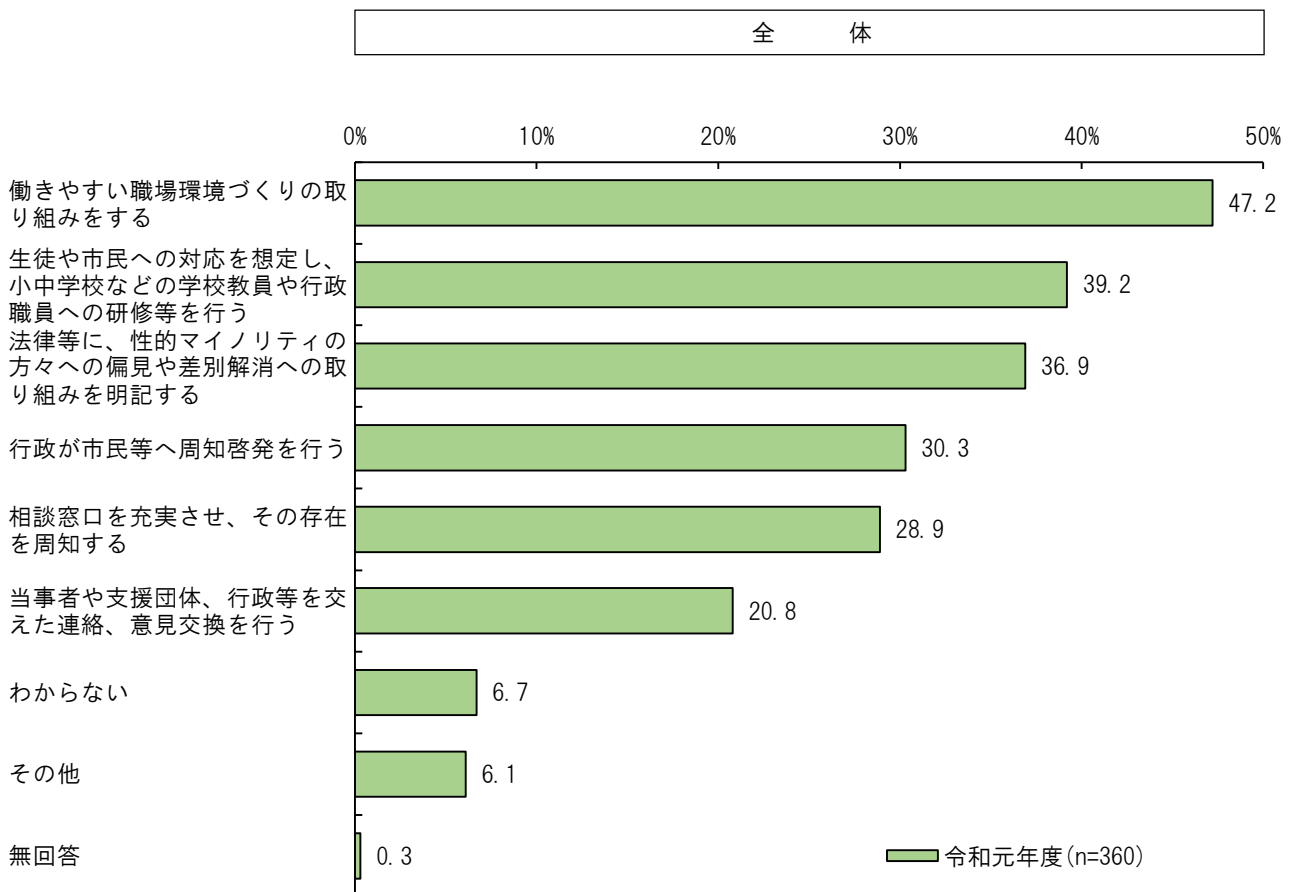
## 29. 性的マイノリティの方々が生活しやすくなるために必要な対策

問28で「1 思う」または「2 どちらかといえば思う」に○をつけた方にうかがいます。

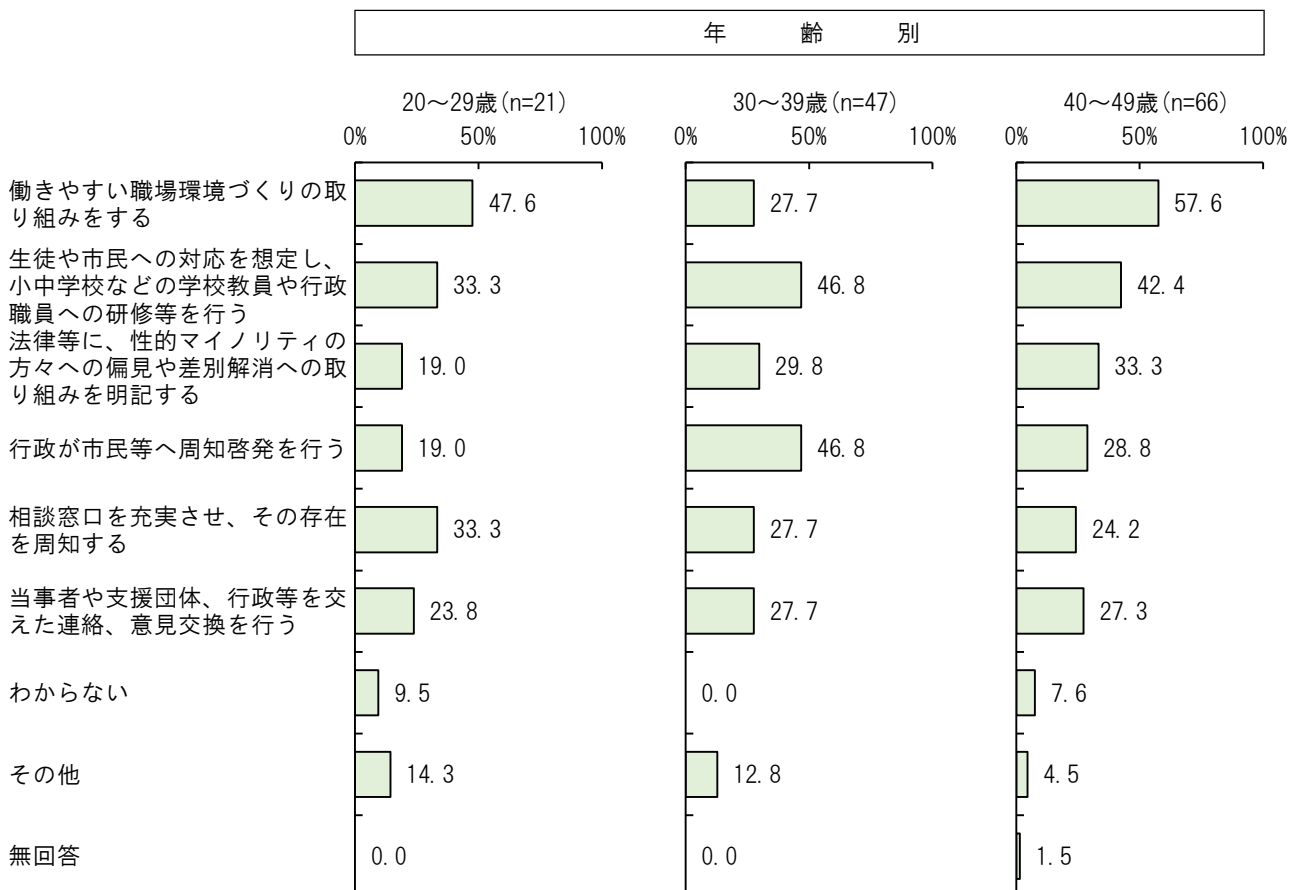
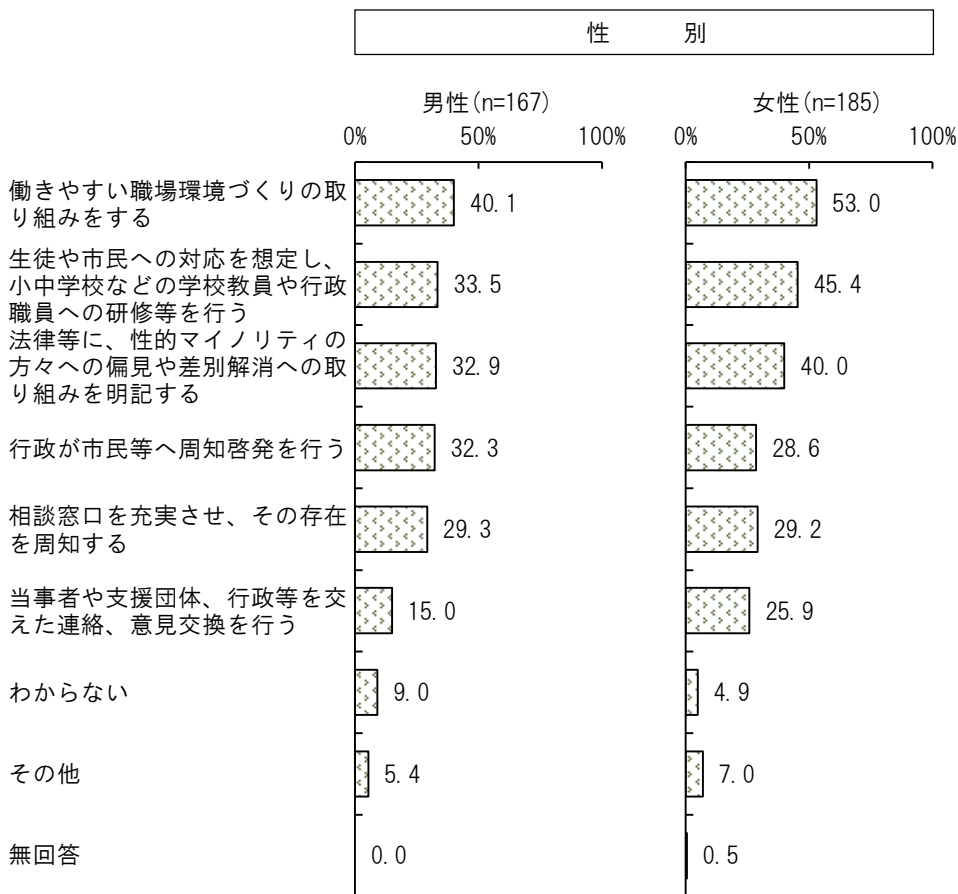
問29 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。 (○はいくつでも)

性的マイノリティの方々が生活しやすくなるために必要な対策では、「働きやすい職場環境づくりの取り組みをする」が47.2%と最も多く、次いで「生徒や市民への対応を想定し、小中学校などの学校教員や行政職員への研修等を行う」が39.2%、「法律等に、性的マイノリティの方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する」が36.9%などとなっています。

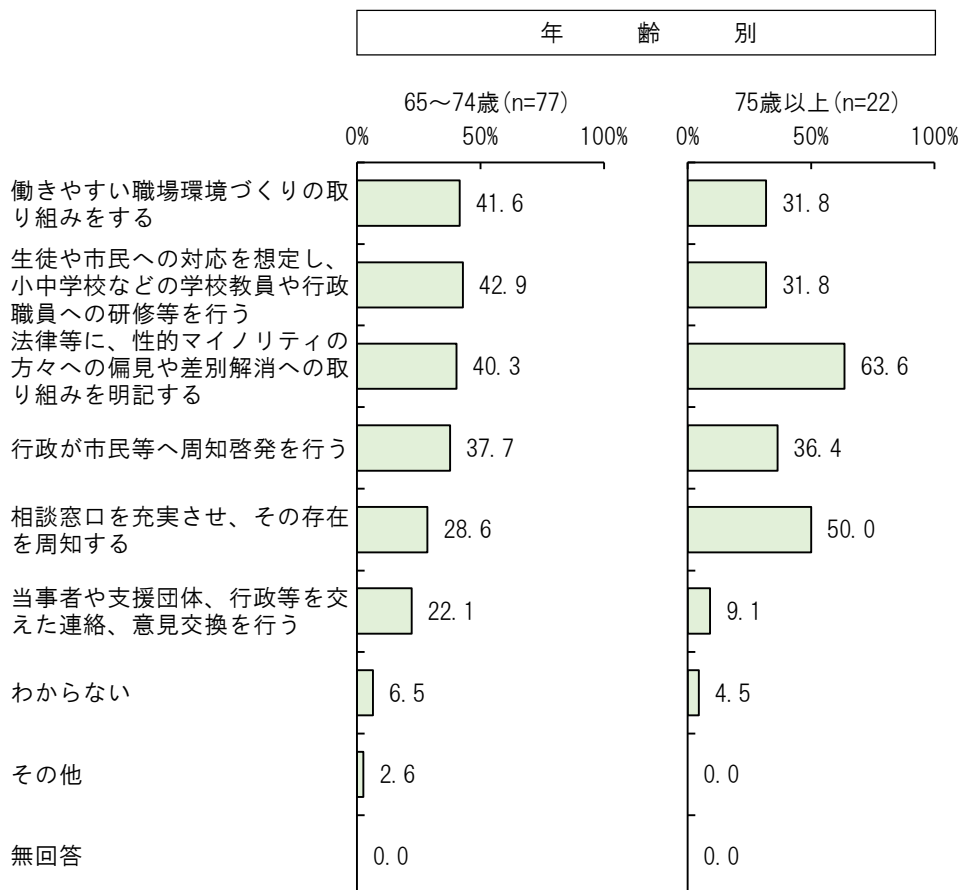
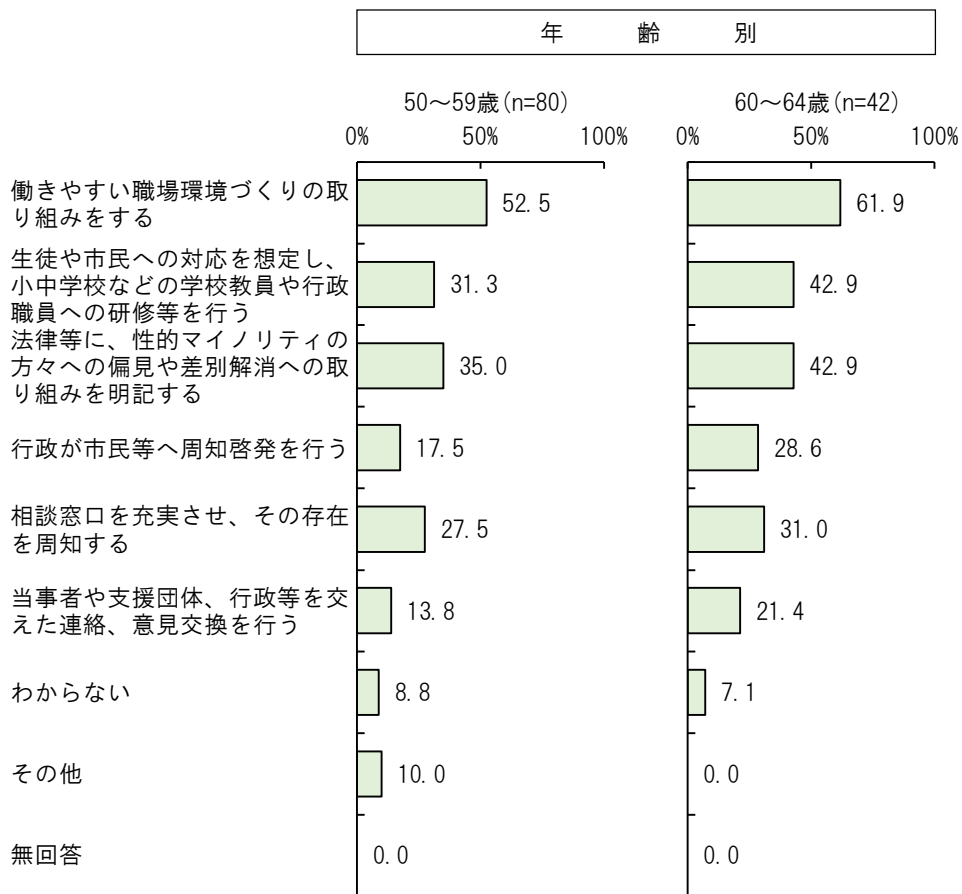
年齢別にみると、“75歳以上”では「法律等に、性的マイノリティの方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する」が63.6%と最も多くなっています。



29. 性的マイノリティの方々が生活しやすくなるために必要な対策



## 29. 性的マイノリティの方々が生活しやすくなるために必要な対策





### Ⅲ 調査結果【事業所意識調査】

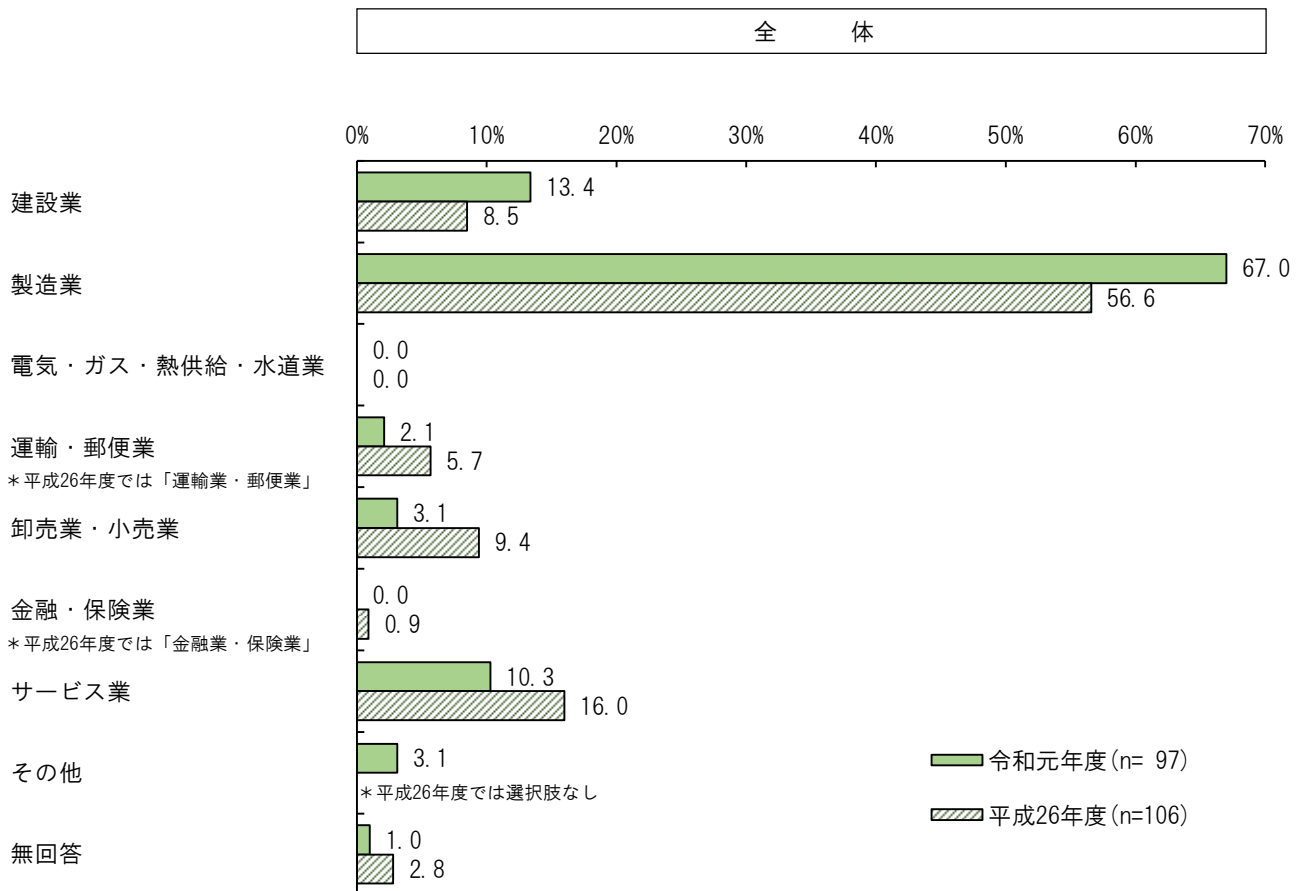
#### (1) 事業所の状況について

##### 1. 事業分類

##### 問1 事業分類

(○は1つ)

事業分類では、「製造業」が67.0%と最も多く、次いで「建設業」が13.4%、「サービス業」が10.3%などとなっています。

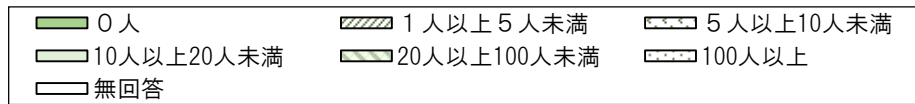


## 2. 常用雇用者数

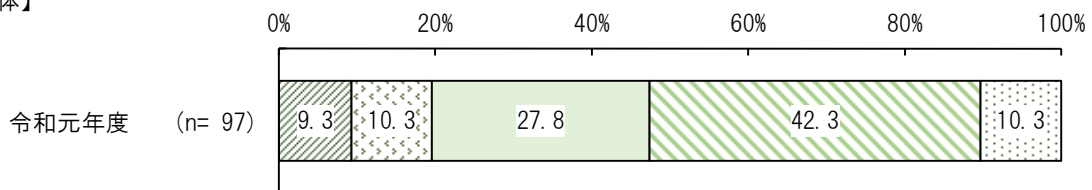
### 問2 常用雇用者数（令和元年6月30日現在）

#### ①男性正社員

男性正社員では、「20人以上100人未満」が42.3%と最も多く、次いで「10人以上20人未満」が27.8%、「5人以上10人未満」が10.3%などとなっています。

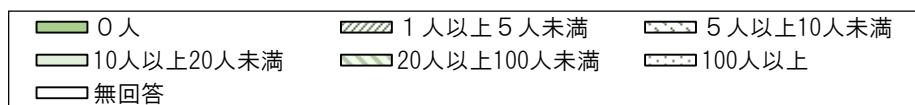


【全体】

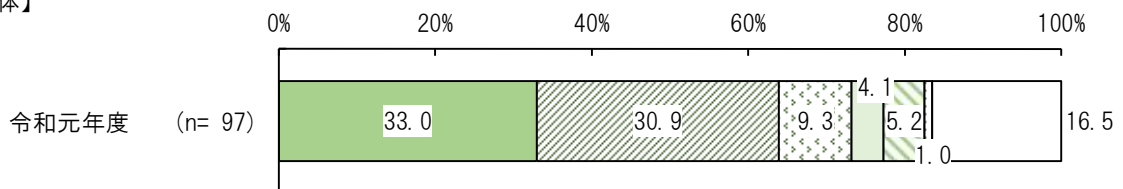


#### ②男性パートタイム労働者

男性パートタイム労働者では、「0人」が33.0%と最も多く、次いで「1人以上5人未満」が30.9%、「5人以上10人未満」が9.3%などとなっています。

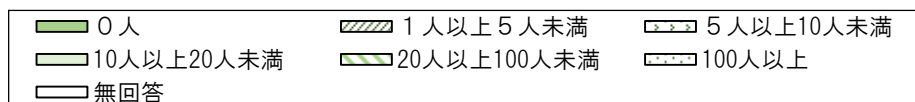


【全体】

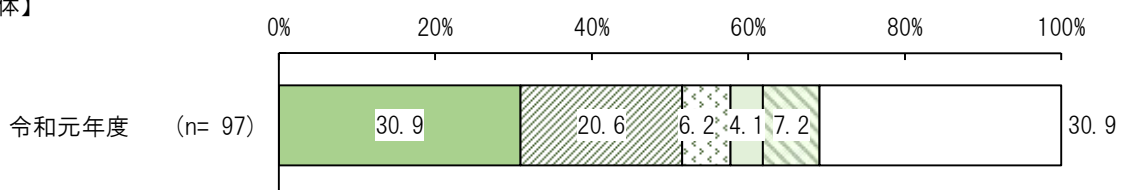


#### ③男性その他の労働者

男性その他の労働者では、「0人」が30.9%と最も多く、次いで「1人以上5人未満」が20.6%、「20人以上100人未満」が7.2%などとなっています。



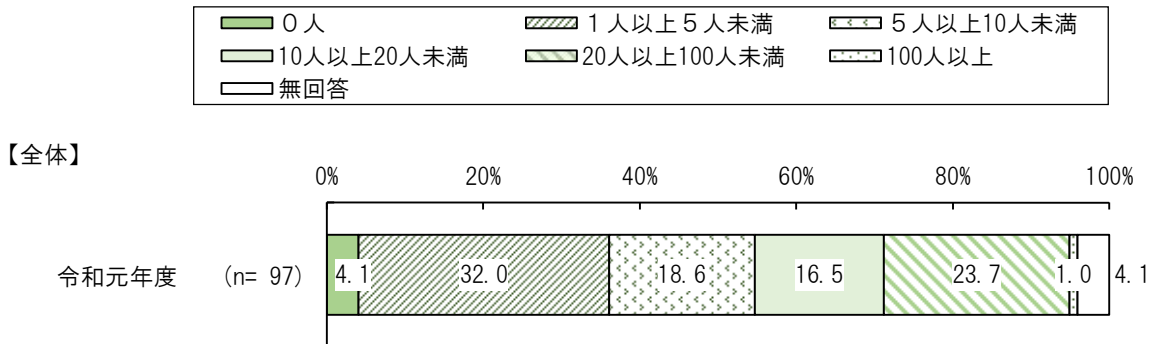
【全体】



## 2. 常用雇用者数

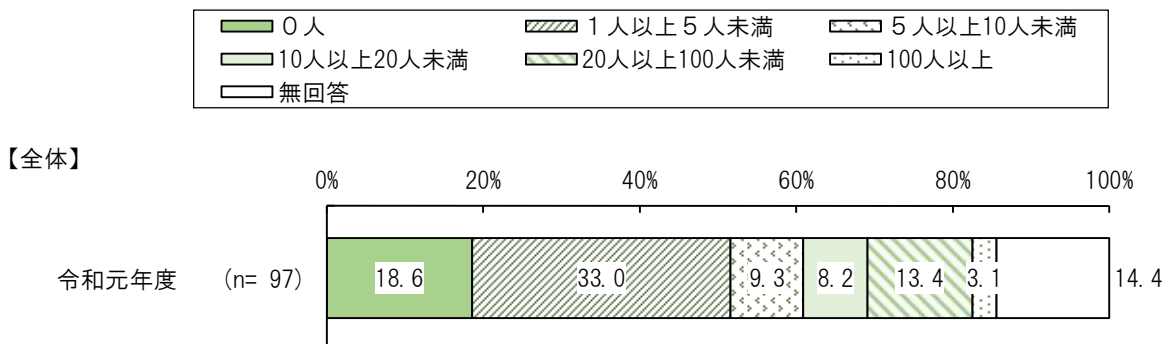
### ④女性正社員

女性正社員では、「1人以上5人未満」が32.0%と最も多く、次いで「20人以上100人未満」が23.7%、「5人以上10人未満」が18.6%などとなっています。



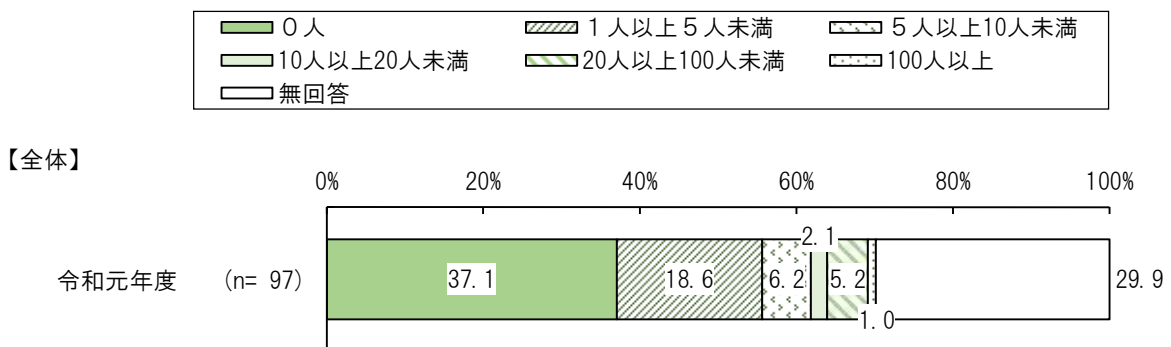
### ⑤女性パートタイム労働者

女性パートタイム労働者では、「1人以上5人未満」が33.0%と最も多く、次いで「0人」が18.6%、「20人以上100人未満」が13.4%などとなっています。



### ⑥女性その他労働者

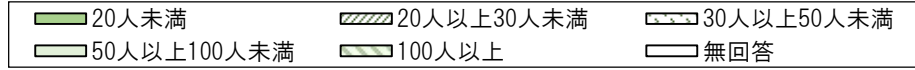
女性その他労働者では、「0人」が37.1%と最も多く、次いで「1人以上5人未満」が18.6%、「5人以上10人未満」が6.2%などとなっています。



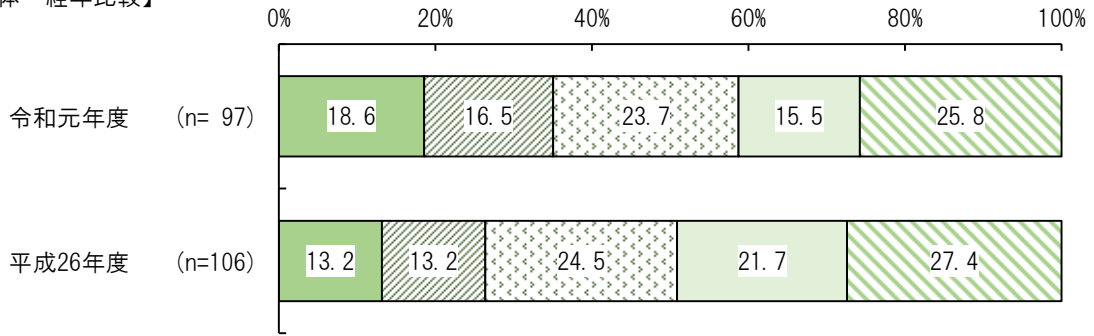
## 2. 常用雇用者数

### 【参考】常用雇用者数（事業所規模）

常用雇用者数（事業所規模）では、「100人以上」が25.8%と最も多く、次いで「30人以上50人未満」が23.7%、「20人未満」が18.6%などとなっています。

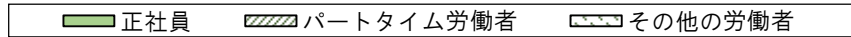


#### 【全体・経年比較】

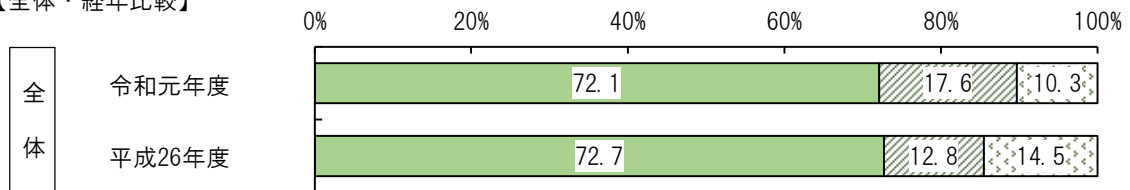


### 【参考】常用雇用の雇用形態

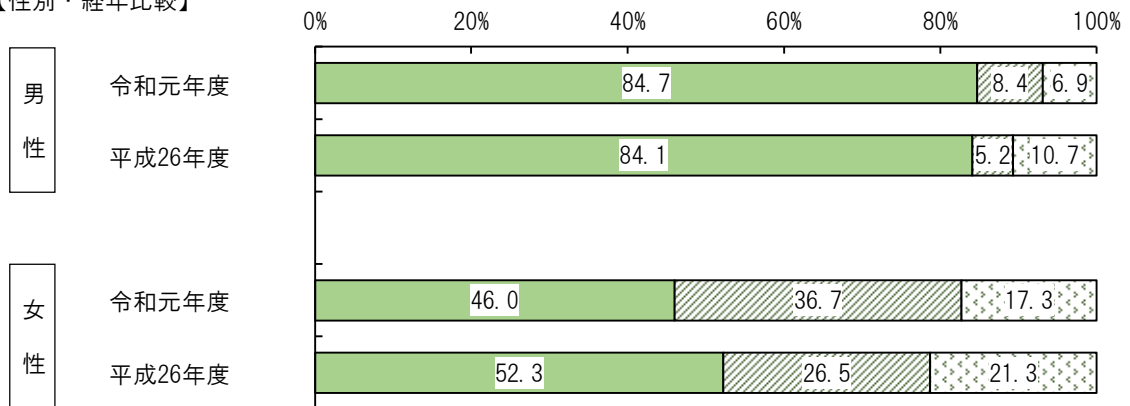
常用雇用の雇用形態を性別にみると、“男性”では「正社員」が84.7%、「パートタイム労働者」が8.4%、「その他の労働者」が6.9%となっています。“女性”では「正社員」が46.0%、「パートタイム労働者」が36.7%、「その他の労働者」が17.3%となっています。



#### 【全体・経年比較】



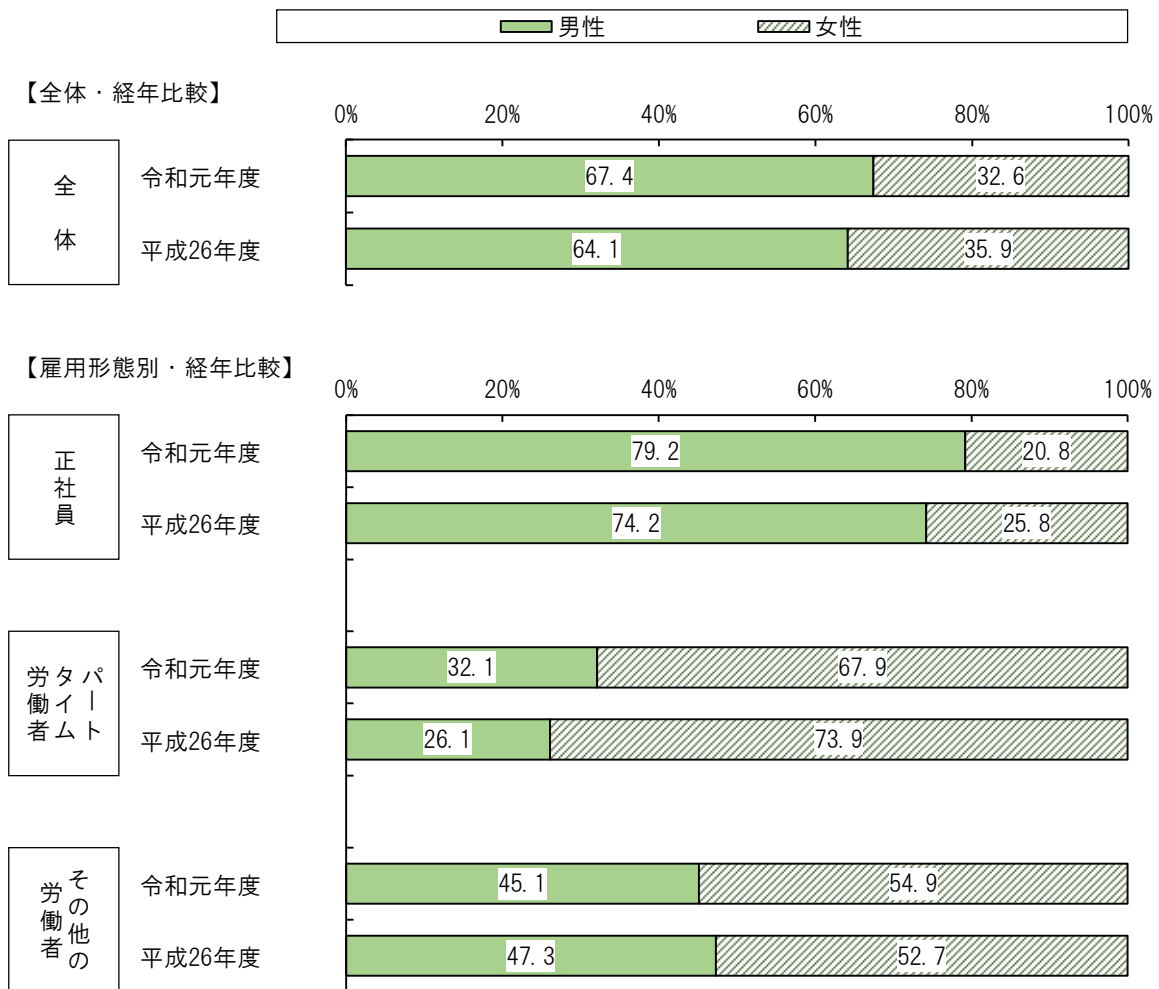
#### 【性別・経年比較】



## 2. 常用雇用者数

### 【参考】常用雇用者の男女比

常用雇用者の男女比を雇用形態別にみると、“正社員”では「男性」が79.2%、「女性」が20.8%となっています。“パートタイム労働者”では「男性」が32.1%、「女性」が67.9%となっています。“その他の労働者”では「男性」が45.1%、「女性」が54.9%となっています。

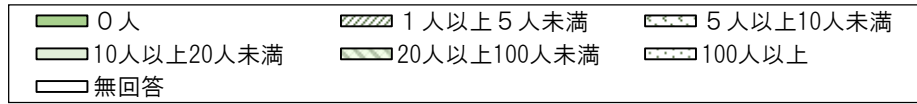


### 3. 派遣社員数

#### 問3 派遣社員数（令和元年6月30日現在）

##### ①男性

男性派遣社員数では、「0人」が50.5%と最も多く、次いで「1人以上5人未満」が18.6%、「5人以上10人未満」が7.2%などとなっています。

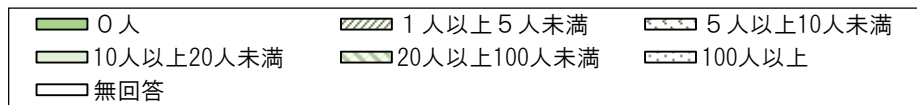


【全体】

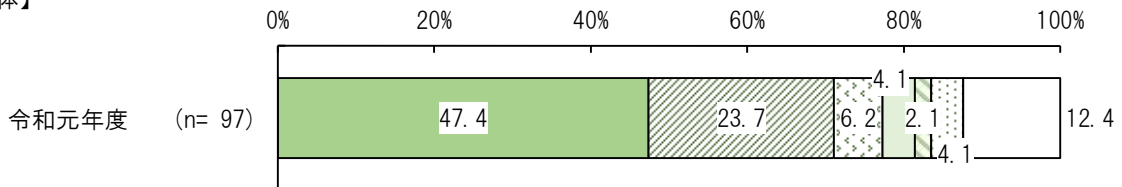


##### ②女性

女性派遣社員数では、「0人」が47.4%と最も多く、次いで「1人以上5人未満」が23.7%、「5人以上10人未満」が6.2%などとなっています。



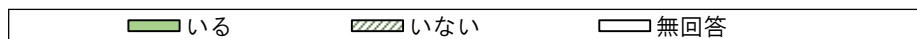
【全体】



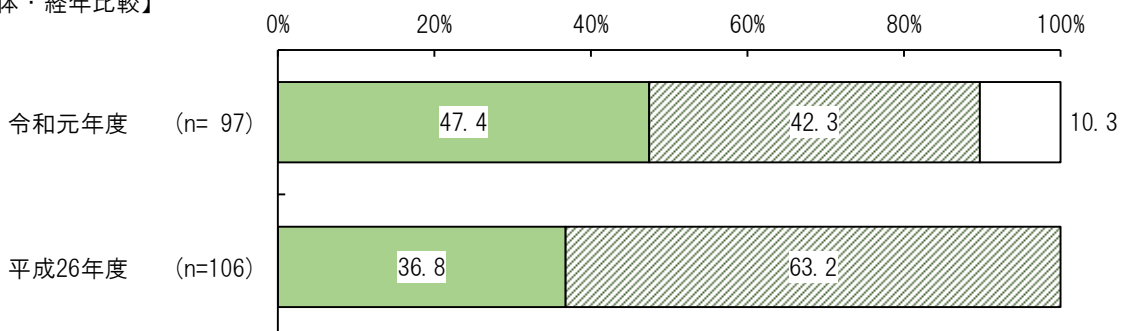
#### 【参考】派遣社員の有無

派遣社員の有無では、「いる」が47.4%、「いない」が42.3%となっています。

経年比較でみると、平成26年度では「いない」が63.2%と「いる」よりも多くなっていましたが、令和元年度では「いる」が「いない」よりも多くなっていました。



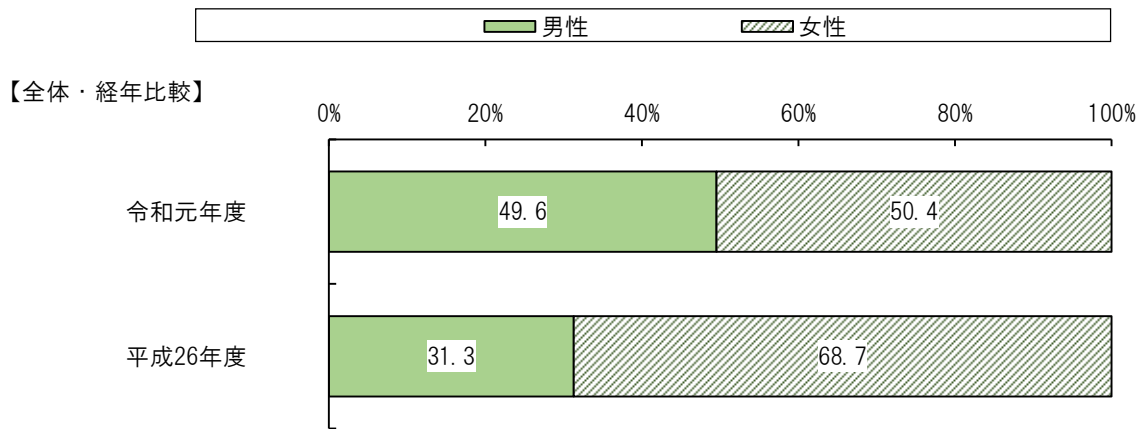
【全体・経年比較】



### 3. 派遣社員数

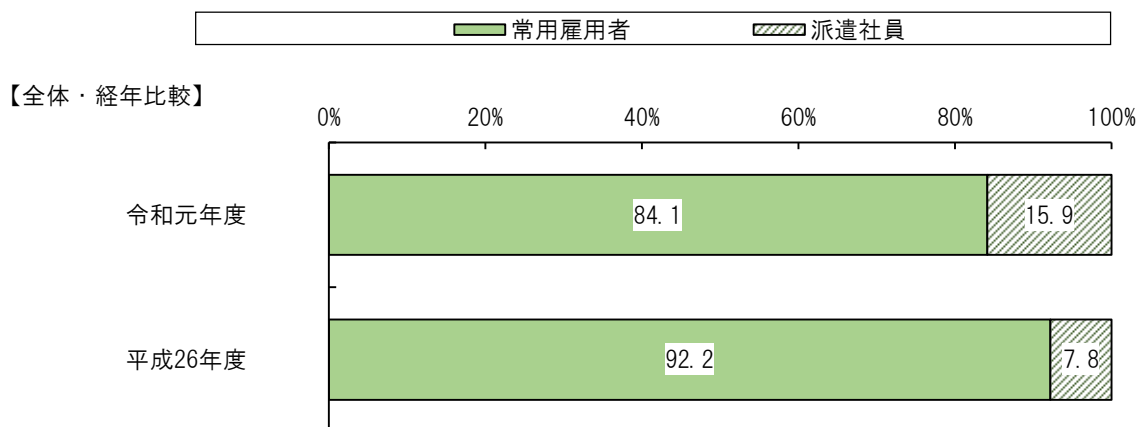
#### 【参考】派遣社員の男女比

派遣社員の男女比では、「男性」が49.6%、「女性」が50.4%となっています。



#### 【参考】常用雇用者数、派遣社員数の合計に占める派遣社員の割合

常用雇用者数、派遣社員数の合計に占める派遣社員の割合では、「常用雇用者」が84.1%、「派遣社員」が15.9%となっています。

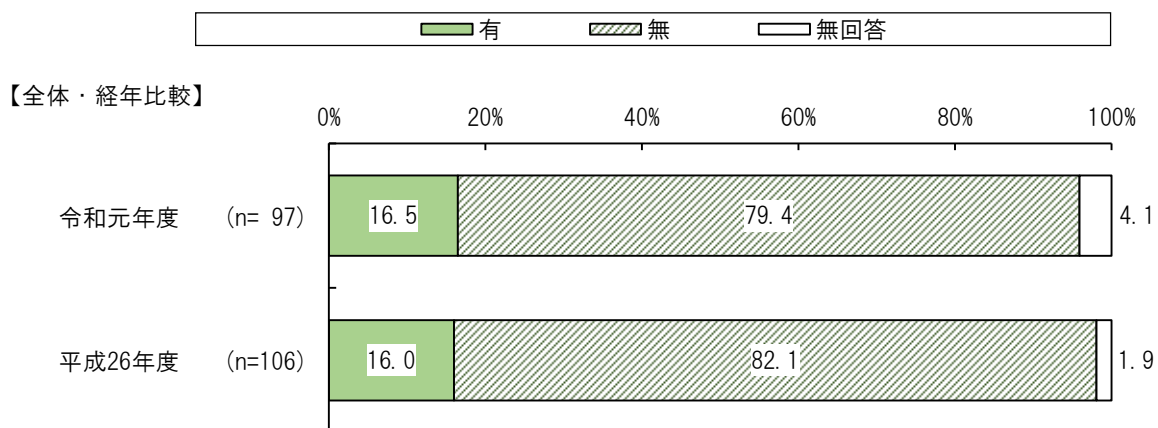


## 4. 労働組合の有無

### 問4 労働組合の有無

(○は1つ)

労働組合の有無では、「有」が16.5%、「無」が79.4%となっています。





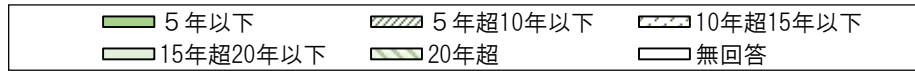
## 5. 平均勤続年数

### 問5 平均勤続年数（四捨五入して、小数点第1位まで）

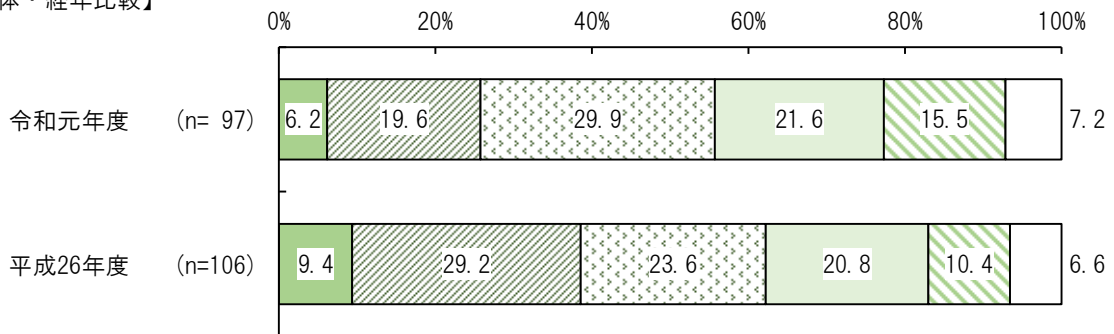
#### ①男性正社員

男性正社員では、「10年超15年以下」が29.9%と最も多く、次いで「15年超20年以下」が21.6%、「5年超10年以下」が19.6%などとなっています。

経年比較でみると、平成26年度では「5年超10年以下」が29.2%と最も多くなっていましたが、令和元年度では「10年超15年以下」が最も多くなっていました。

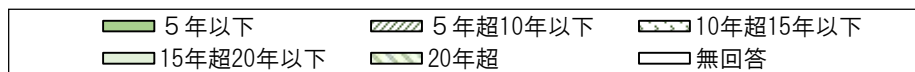


【全体・経年比較】

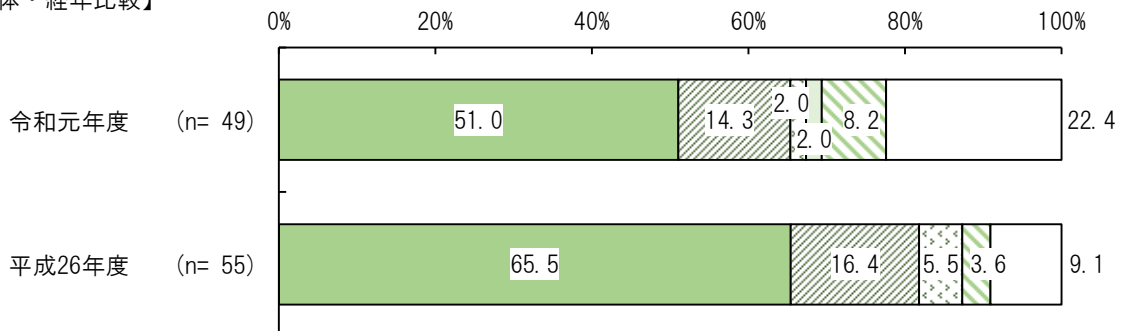


#### ②男性パートタイム労働者

男性パートタイム労働者では、「5年以下」が51.0%と最も多く、次いで「5年超10年以下」が14.3%、「20年超」が8.2%などとなっています。



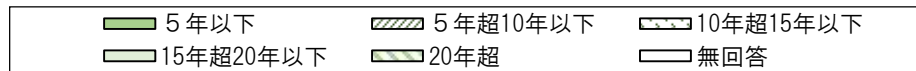
【全体・経年比較】



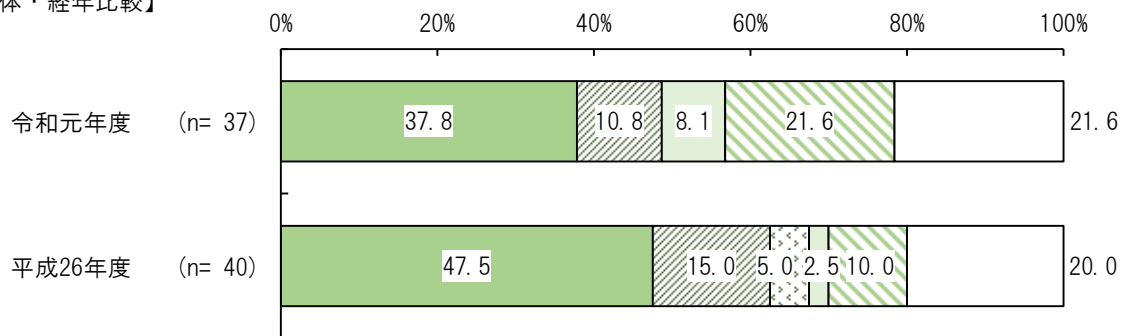
## 5. 平均勤続年数

### ③男性その他の労働者

男性その他の労働者では、「5年以下」が37.8%と最も多く、次いで「20年超」が21.6%、「5年超10年以下」が10.8%、「5年超10年以下」が10.8%、「15年超20年以下」が8.1%、「10年超15年以下」が2.5%、「20年超」が2.5%、「10年超15年以下」が10.0%などとなっています。

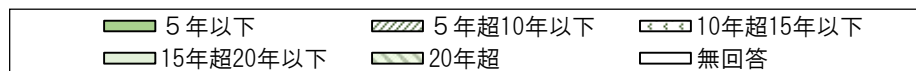


【全体・経年比較】

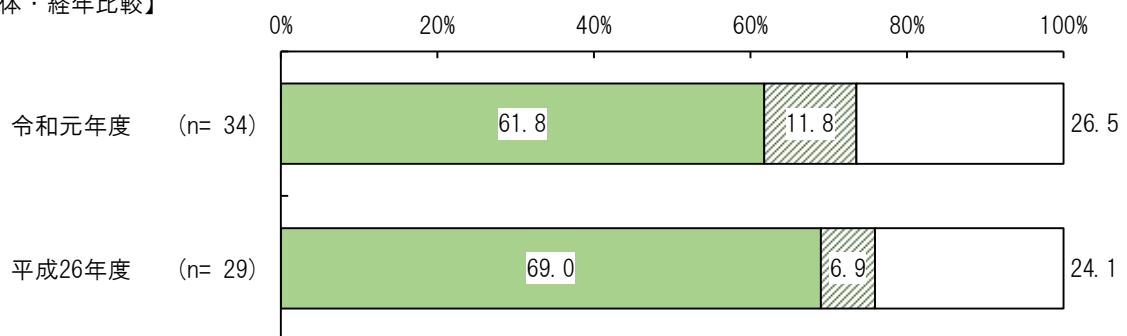


### ④男性派遣社員

男性派遣社員では、「5年以下」が61.8%と最も多く、次いで「5年超10年以下」が11.8%などとなっています。



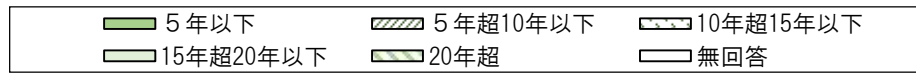
【全体・経年比較】



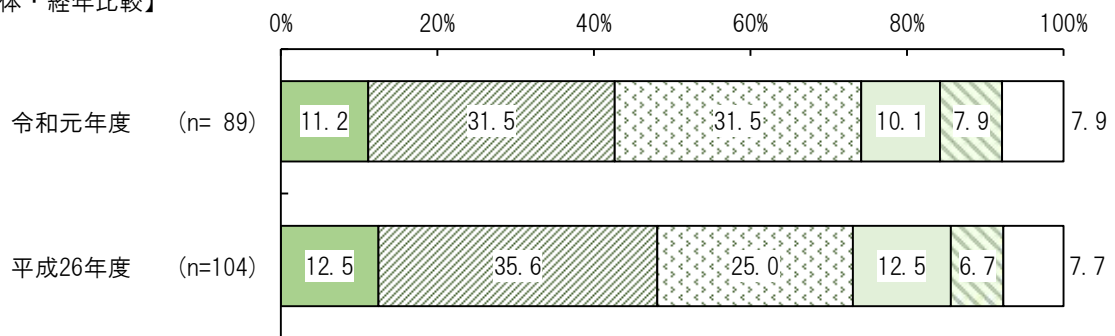
## 5. 平均勤続年数

### ⑤女性正社員

女性正社員では、「5年超10年以下」と「10年超15年以下」が31.5%と最も多く、次いで「5年以下」が11.2%、「15年超20年以下」が10.1%などとなっています。



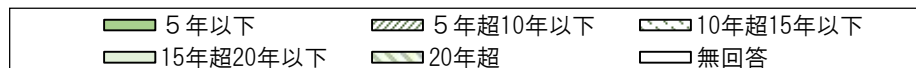
【全体・経年比較】



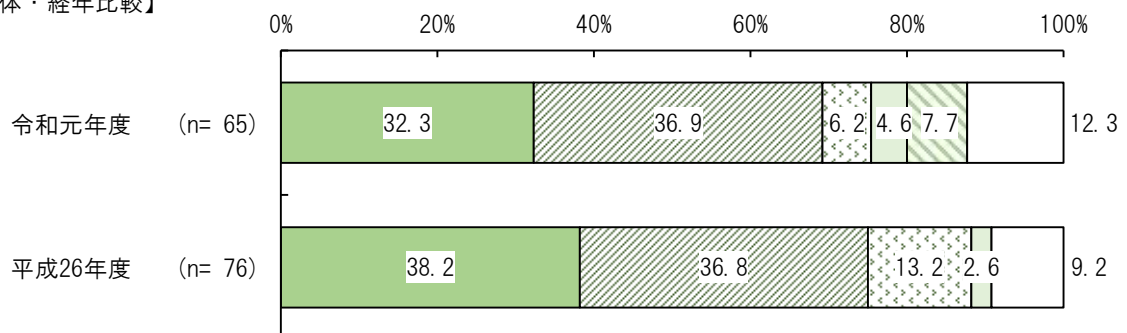
### ⑥女性パートタイム労働者

女性パートタイム労働者では、「5年超10年以下」が36.9%と最も多く、次いで「5年以下」が32.3%、「20年超」が7.7%などとなっています。

経年比較でみると、平成26年度では「5年以下」が38.2%と最も多くなっていましたが、令和元年度では「5年超10年以下」が最も多くなっています。



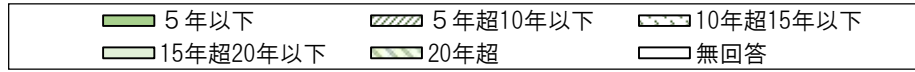
【全体・経年比較】



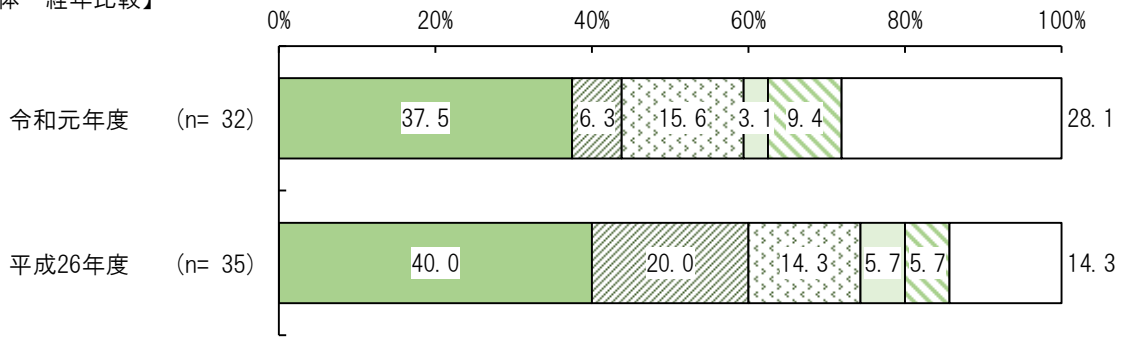
## 5. 平均勤続年数

### ⑦女性その他の労働者

女性その他の労働者では、「5年以下」が37.5%と最も多く、次いで「10年超15年以下」が15.6%、「20年超」が9.4%などとなっています。

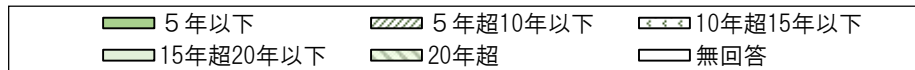


【全体・経年比較】

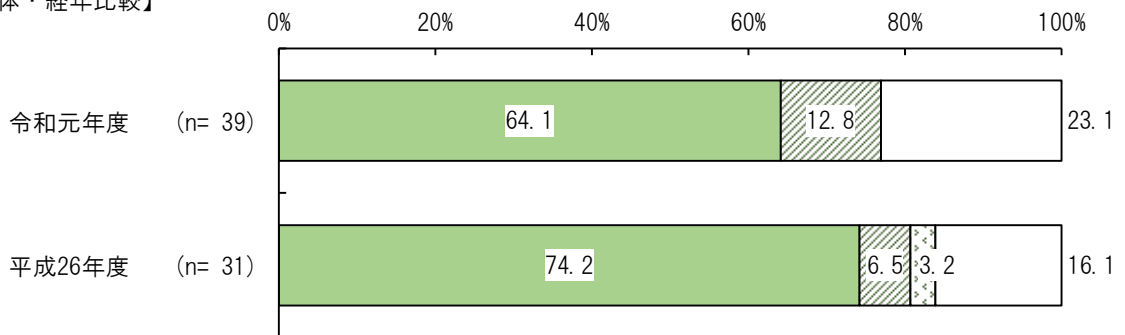


### ⑧女性派遣社員

女性派遣社員では、「5年以下」が64.1%と最も多く、次いで「5年超10年以下」が12.8%などとなっています。



【全体・経年比較】



## 6. 雇用者数の推移

問6 雇用者数の推移（5年前と比較）

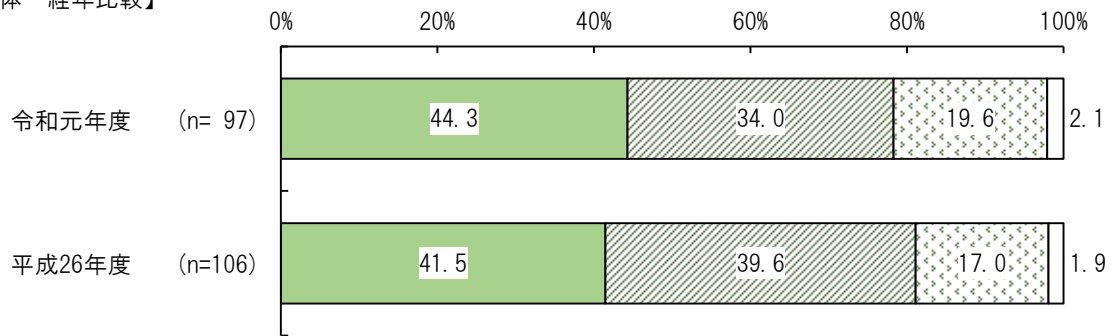
（それぞれ1つに○）

### ①正社員

正社員では、「増加した」が44.3%、「減少した」が34.0%、「変わらない」が19.6%となっています。



【全体・経年比較】

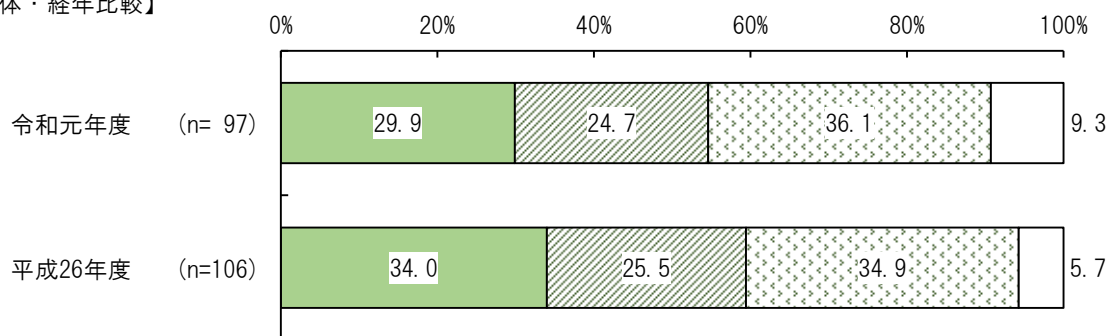


### ②パートタイム労働者

パートタイム労働者では、「増加した」が29.9%、「減少した」が24.7%、「変わらない」が36.1%となっています。



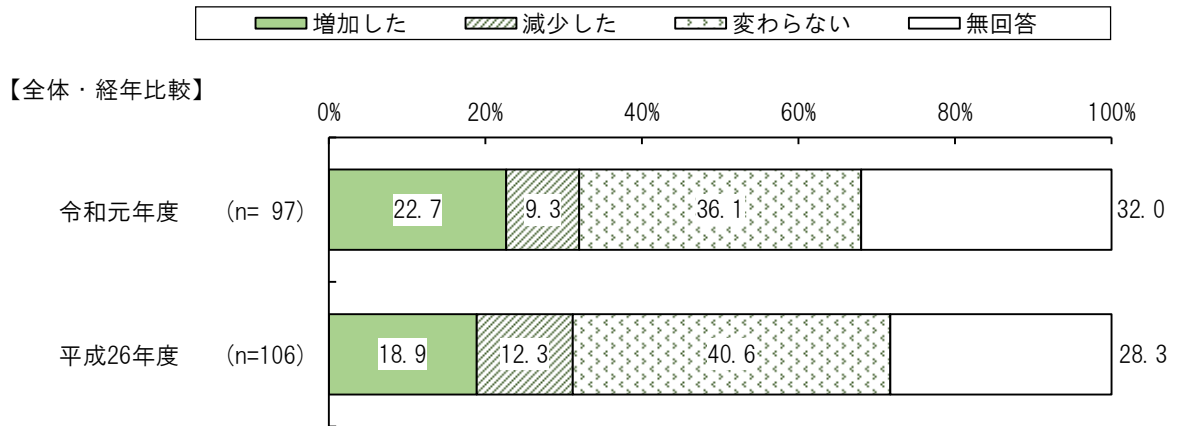
【全体・経年比較】



## 6. 雇用者数の推移

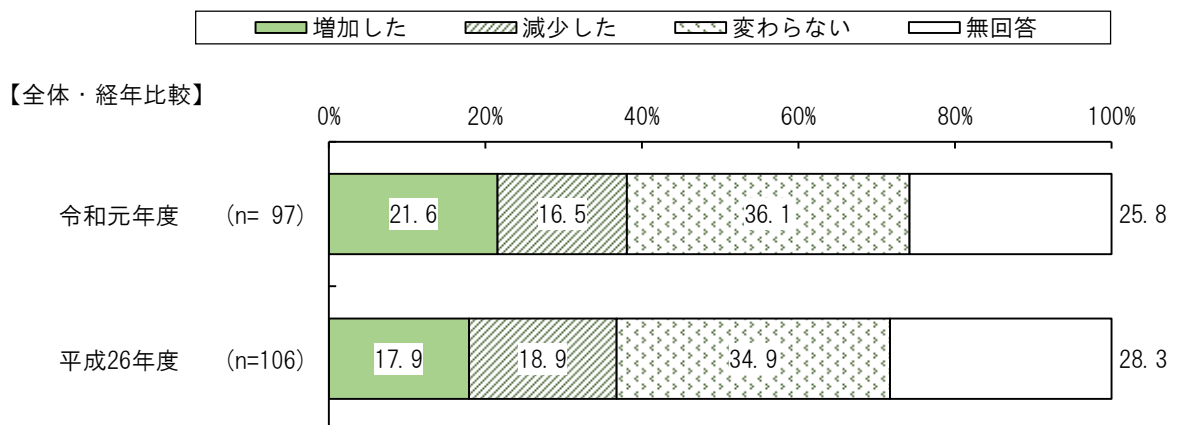
### ③その他（契約社員等）

その他（契約社員等）では、「増加した」が22.7%、「減少した」が9.3%、「変わらない」が36.1%となっています。



### ④派遣社員

派遣社員では、「増加した」が21.6%、「減少した」が16.5%、「変わらない」が36.1%となっています。



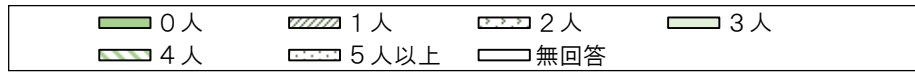
## (2) 女性の雇用について

### 7. 管理職及び女性管理職の人数

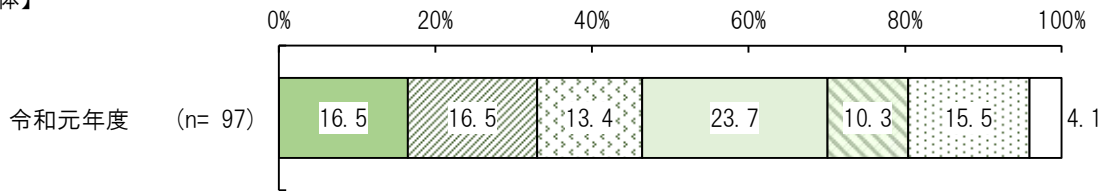
問7 管理職及び女性管理職の人数をご記入ください。(該当者がいない場合は0と記入)

#### ① 役員の数

役員の数では、「3人」が23.7%と最も多く、次いで「0人」と「1人」が16.5%、「5人以上」が15.5%などとなっています。

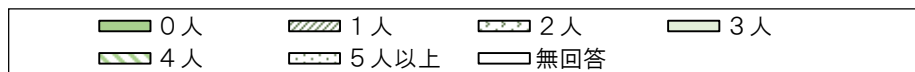


【全体】

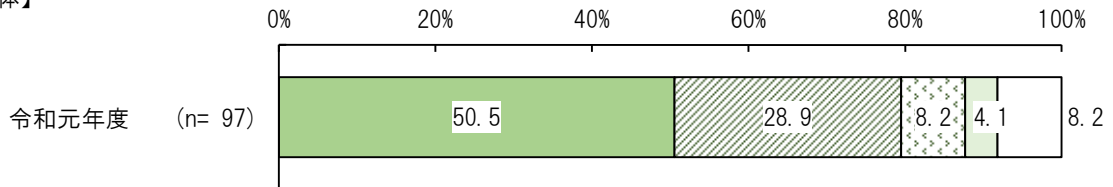


#### ② 役員のうち女性の数

役員のうち女性の数では、「0人」が50.5%と最も多く、次いで「1人」が28.9%、「2人」が8.2%などとなっています。

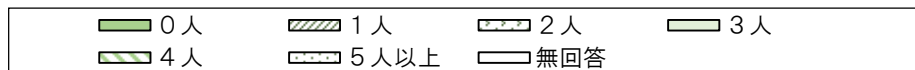


【全体】

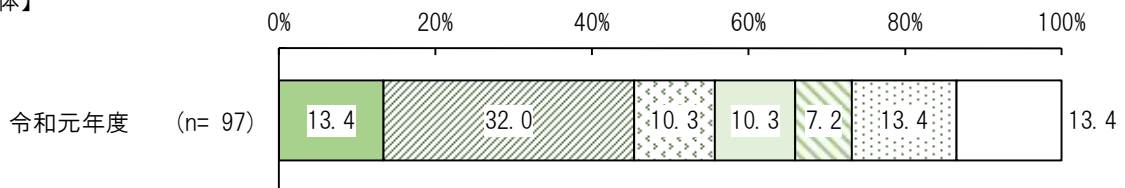


#### ③ 部長相当職の数

部長相当職の数では、「1人」が32.0%と最も多く、次いで「0人」と「5人以上」が13.4%、「3人」と「4人」が10.3%などとなっています。



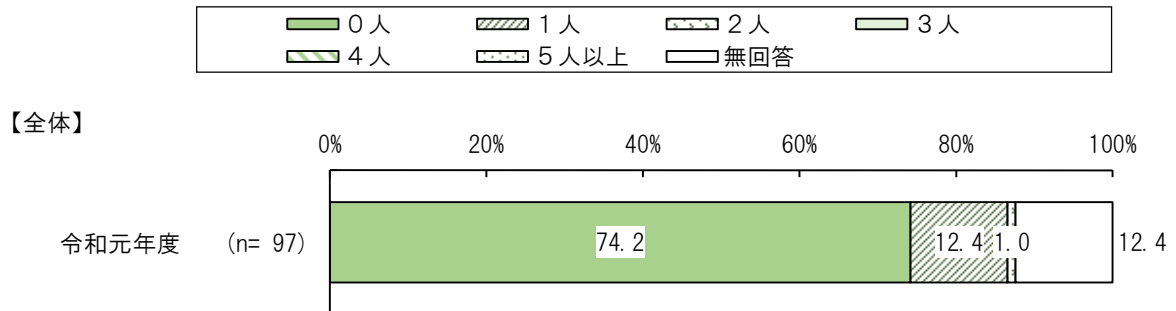
【全体】



## 7. 管理職及び女性管理職の人数

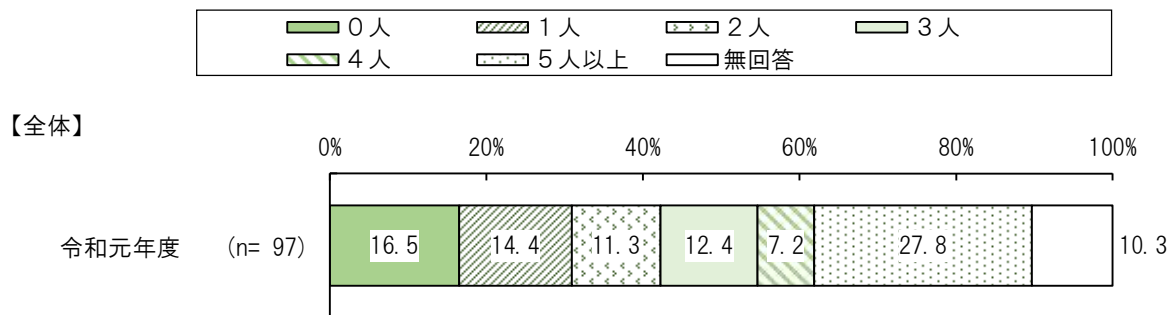
### ④部長相当職のうち女性の数

部長相当職のうち女性の数では、「0人」が74.2%と最も多く、次いで「1人」が12.4%、「2人」が1.0%などとなっています。



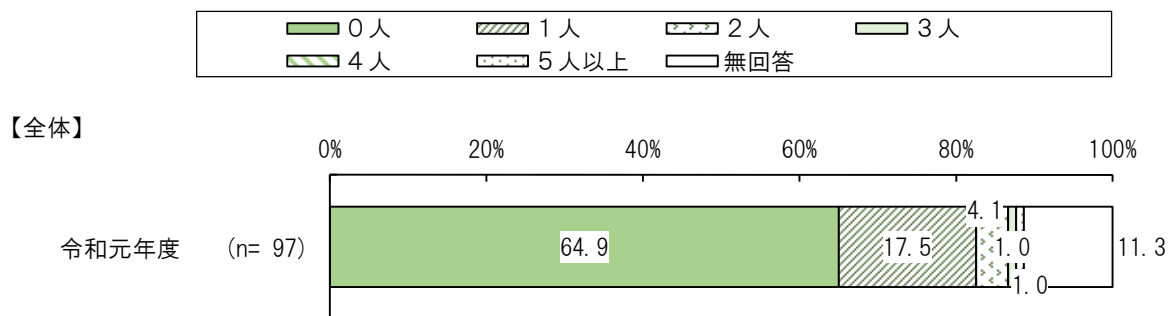
### ⑤課長相当職の数

課長相当職の数では、「5人以上」が27.8%と最も多く、次いで「0人」が16.5%、「1人」が14.4%などとなっています。



### ⑥課長相当職のうち女性の数

課長相当職のうち女性の数では、「0人」が64.9%と最も多く、次いで「1人」が17.5%、「2人」が4.1%などとなっています。

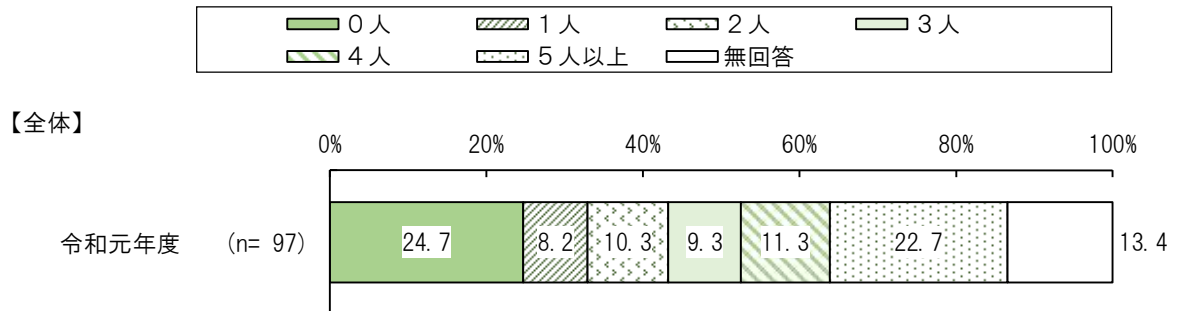




## 7. 管理職及び女性管理職の人数

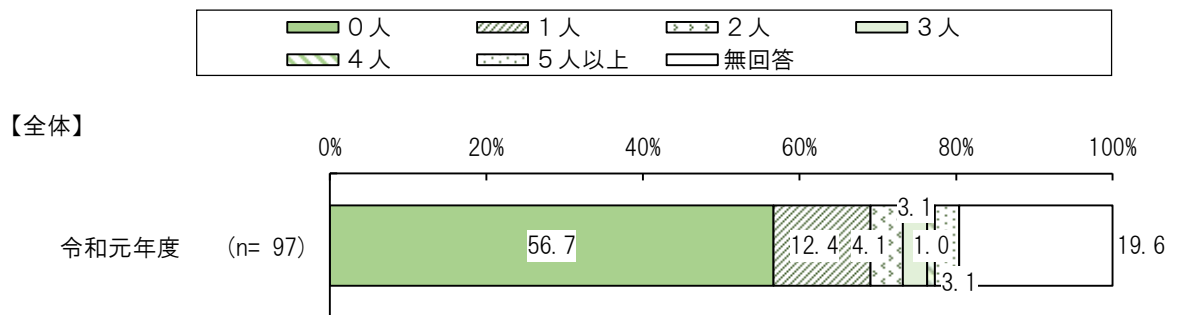
### ⑦係長相当職の数

係長相当職の数では、「0人」が24.7%と最も多く、次いで「5人以上」が22.7%、「4人」が11.3%などとなっています。



### ⑧係長相当職のうち女性の数

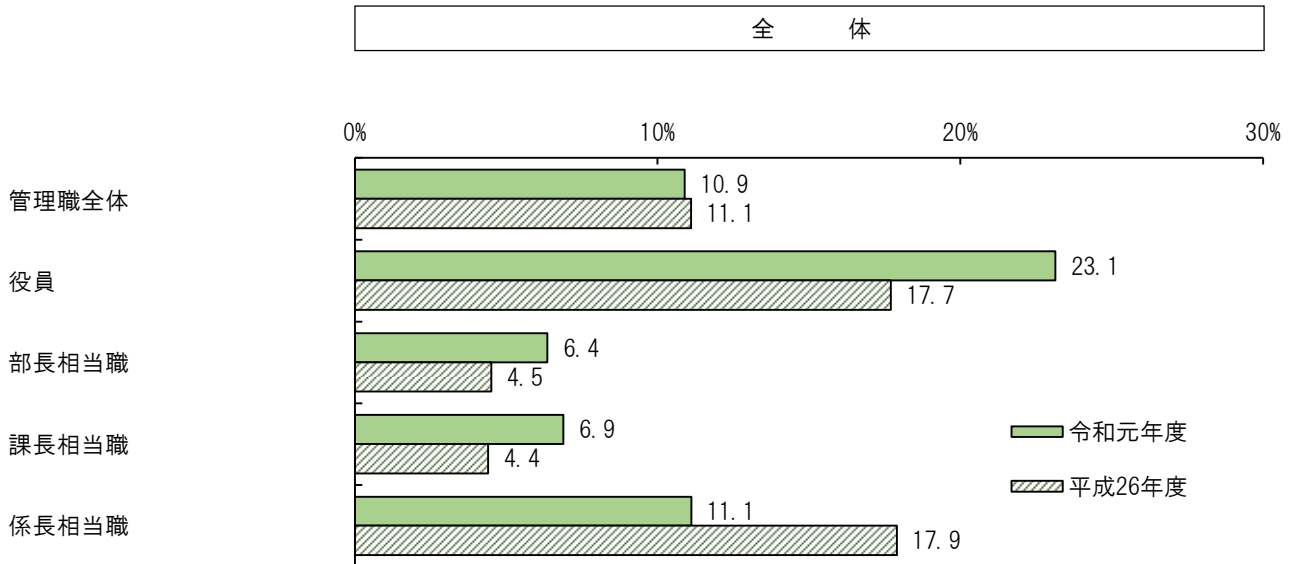
係長相当職のうち女性の数では、「0人」が56.7%と最も多く、次いで「1人」が12.4%、「2人」が4.1%などとなっています。



## 7. 管理職及び女性管理職の人数

### 【参考】係長以上の管理職に占める女性の管理職の割合

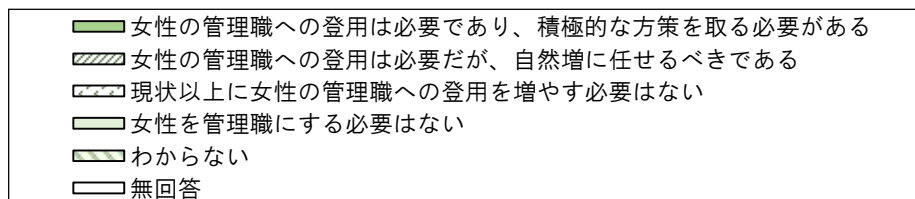
係長以上の管理職に占める女性の管理職の割合では、“管理職全体”が10.9%、“役員”が23.1%、“部長相当職”が6.4%、“課長相当職”が6.9%、“係長相当職”が11.1%となっています。



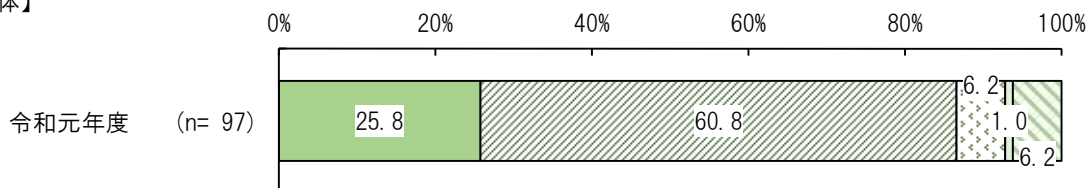
## 8. 女性職員を管理職に登用することへの考え方

問8 女性職員を管理職に登用することについてどう思いますか。(○は1つ)

女性職員を管理職に登用することへの考え方では、「女性の管理職への登用は必要だが、自然増に任せるべきである」が60.8%と最も多く、次いで「女性の管理職への登用は必要であり、積極的な方策を取る必要がある」が25.8%、「現状以上に女性の管理職への登用を増やす必要はない」と「わからない」が6.2%などとなっています。



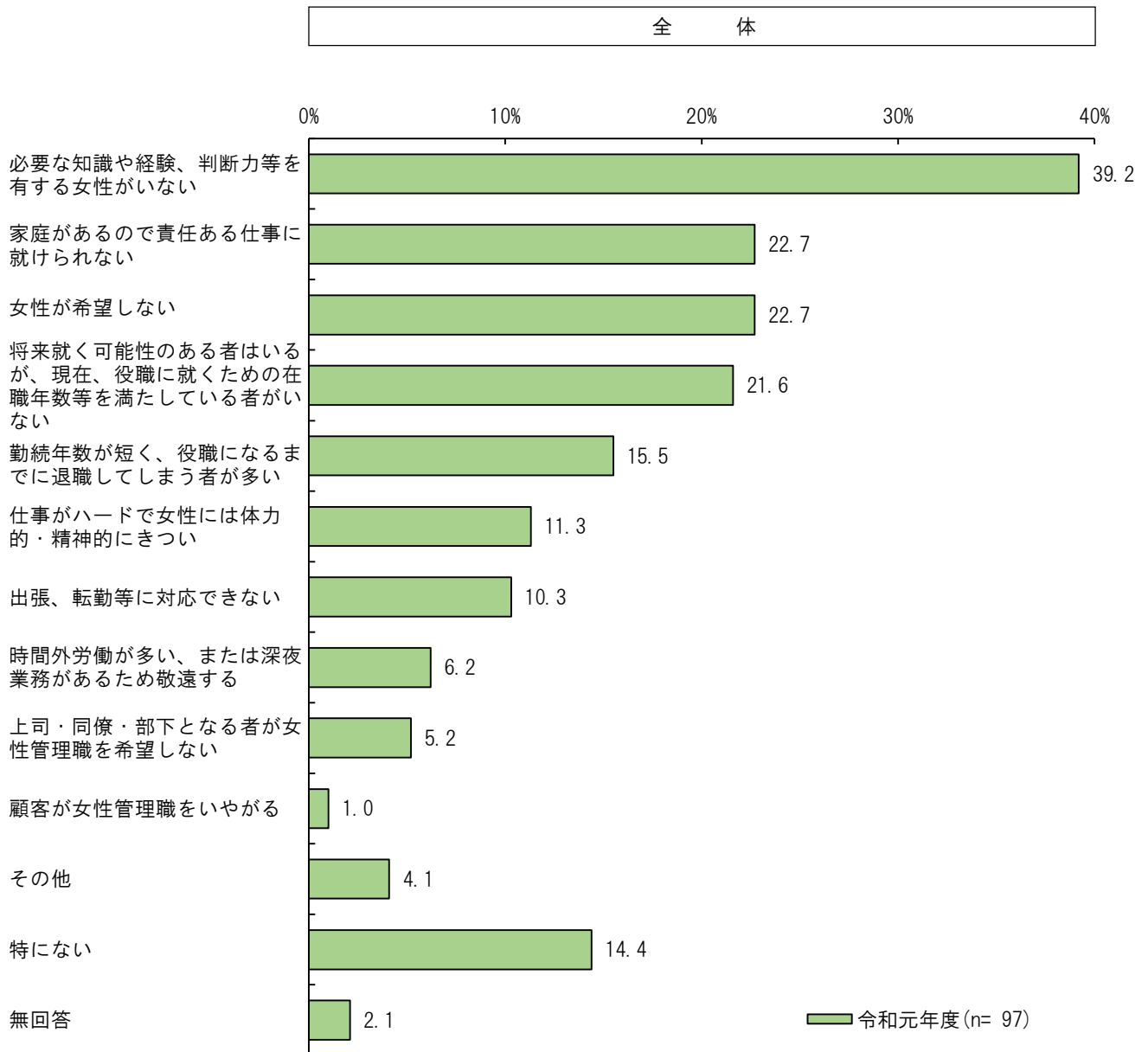
【全体】



## 9. 女性の管理職への登用を増やすための課題

問9 貴事業所で女性の管理職への登用を増やすための課題はなんですか。（〇はいくつでも）

女性の管理職への登用を増やすための課題では、「必要な知識や経験、判断力等を有する女性がない」が39.2%と最も多く、次いで「家庭があるので責任ある仕事に就けられない」と「女性が希望しない」が22.7%、「将来就く可能性のある者はいるが、現在、役職に就くための在職年数等を満たしている者がいない」が21.6%などとなっています。



## 10. 女性を活用するための取り組みとして実施しているもの

問10 女性を活用するための取り組みとして貴事業所で実施しているものはありますか。

(それぞれ1つに○)

### ①性別により評価することがないよう人事の基準を明確に定める

\*平成26年度では「性別により評価することがないよう人事考課基準を明確に定める」

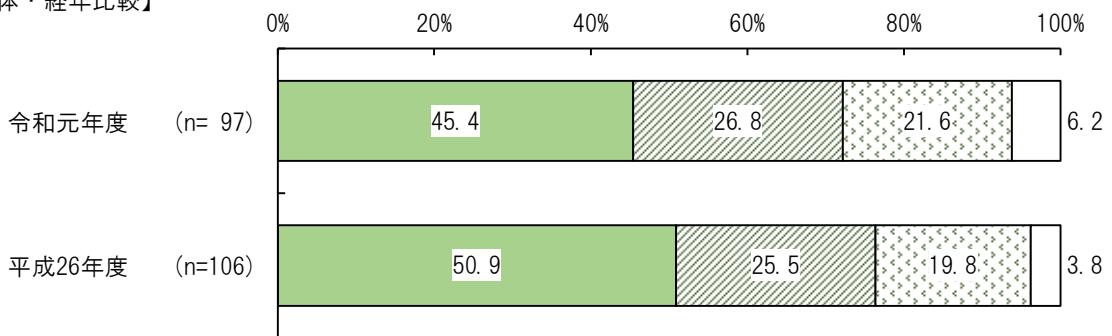
性別により評価することがないよう人事の基準を明確に定めるでは、「実施している」が45.4%、「実施予定なし」が26.8%、「今後の実施を検討」が21.6%となっています。

■ 実施している   ■ 実施予定なし   ■ 今後の実施を検討   □ 無回答

\*選択肢「実施予定なし」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\*選択肢「今後の実施を検討」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



### ②仕事と家庭との両立のための制度を整えて活用を促進する

\*平成26年度では「仕事と家庭の両立のための制度を整えて活用を促進する」

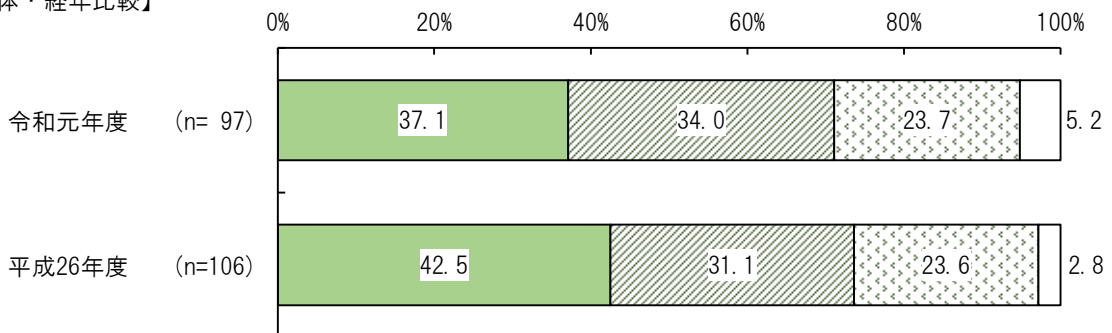
仕事と家庭との両立のための制度を整えて活用を促進するでは、「実施している」が37.1%、「実施予定なし」が34.0%、「今後の実施を検討」が23.7%となっています。

■ 実施している   ■ 実施予定なし   ■ 今後の実施を検討   □ 無回答

\*選択肢「実施予定なし」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\*選択肢「今後の実施を検討」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



## 10. 女性を活用するための取り組みとして実施しているもの

### ③女性の活用に関する担当者や責任者を選任するなどの体制を整える

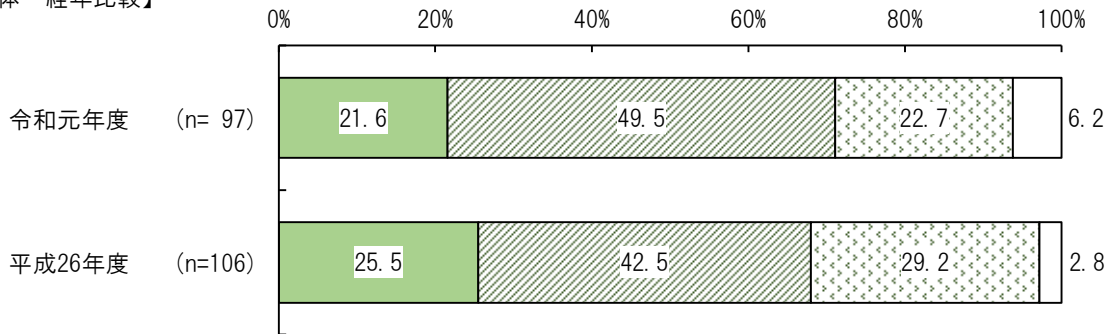
女性の活用に関する担当者や責任者を選任するなどの体制を整えるでは、「実施している」が21.6%、「実施予定なし」が49.5%、「今後の実施を検討」が22.7%となっています。

■ 実施している ■ 実施予定なし ■ 今後の実施を検討 □ 無回答

\* 選択肢「実施予定なし」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\* 選択肢「今後の実施を検討」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



### ④女性がいらない又は少ない役職に女性が従事するための教育訓練を行って女性の登用を推進する

\*平成26年度では「女性がいらない又は少ない役職に従事するための教育訓練を行って登用を推進する」

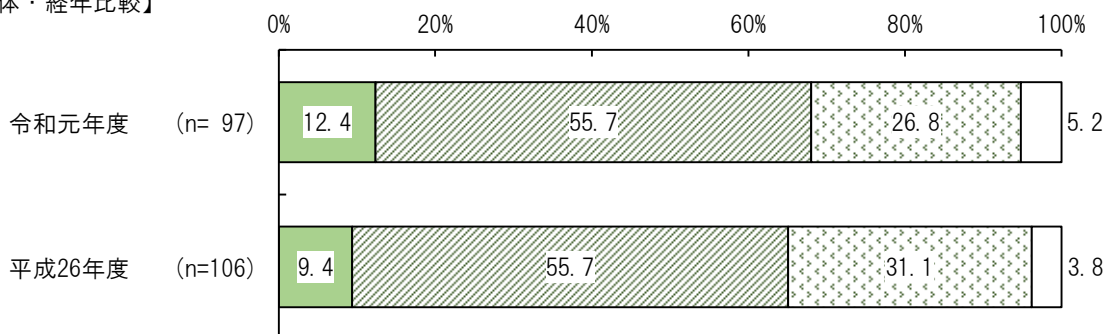
女性がいらない又は少ない役職に女性が従事するための教育訓練を行って女性の登用を推進するでは、「実施している」が12.4%、「実施予定なし」が55.7%、「今後の実施を検討」が26.8%となっています。

■ 実施している ■ 実施予定なし ■ 今後の実施を検討 □ 無回答

\* 選択肢「実施予定なし」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\* 選択肢「今後の実施を検討」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



## 10. 女性を活用するための取り組みとして実施しているもの

### ⑤女性の体力面での差を補う設備・器具を導入する

\*平成26年度では「女性の体力面での差を補う器具・設備を導入する」

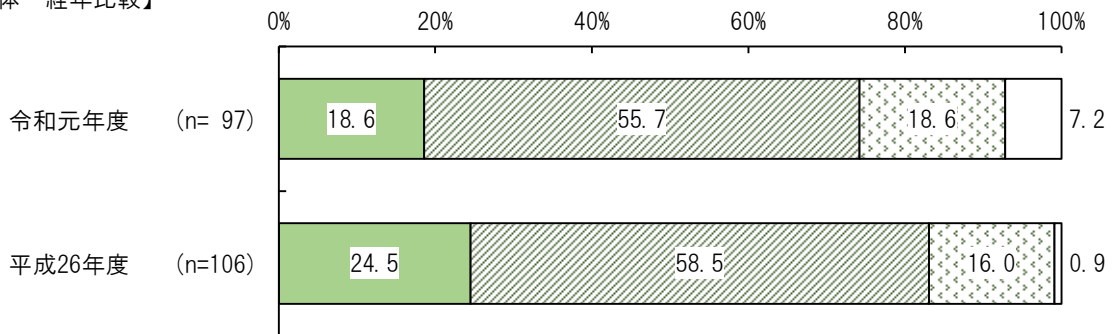
女性の体力面での差を補う設備・器具を導入するでは、「実施している」が18.6%、「実施予定なし」が55.7%、「今後の実施を検討」が18.6%となっています。

■ 実施している ■ 実施予定なし ■ 今後の実施を検討 □ 無回答

\*選択肢「実施予定なし」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\*選択肢「今後の実施を検討」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



### ⑥女性の活用状況や活用にあたっての問題点の調査分析を行う

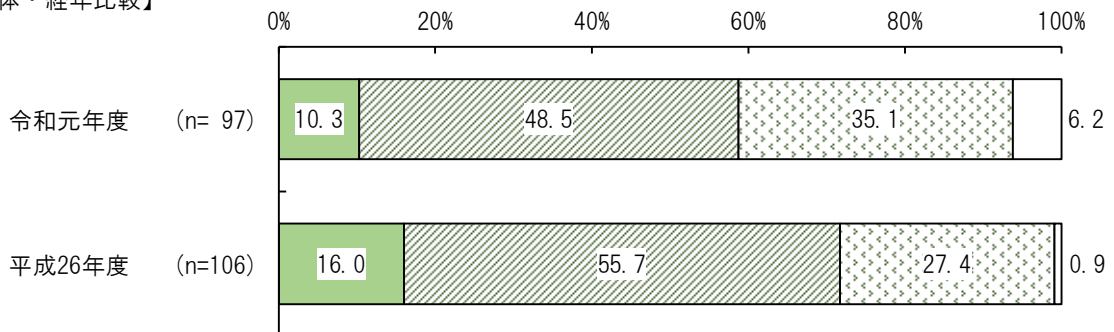
女性の活用状況や活用にあたっての問題点の調査分析を行うでは、「実施している」が10.3%、「実施予定なし」が48.5%、「今後の実施を検討」が35.1%となっています。

■ 実施している ■ 実施予定なし ■ 今後の実施を検討 □ 無回答

\*選択肢「実施予定なし」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\*選択肢「今後の実施を検討」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



## 10. 女性を活用するための取り組みとして実施しているもの

### ⑦管理職や同僚の男性に女性活用の重要性についての啓発を行う

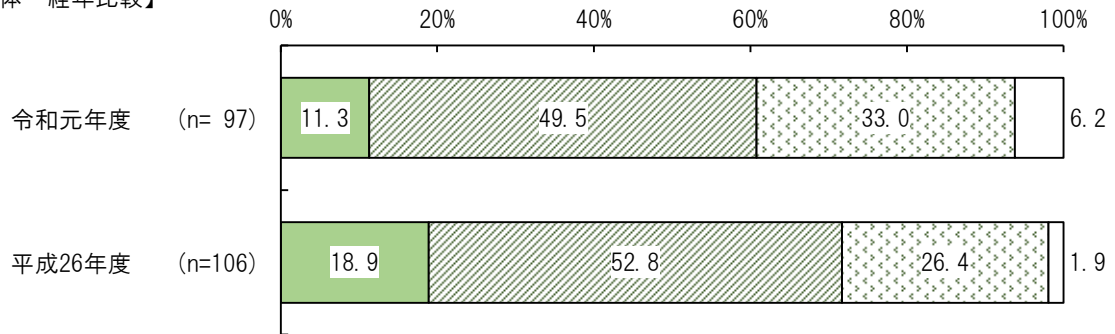
管理職や同僚の男性に女性活用の重要性についての啓発を行うでは、「実施している」が11.3%、「実施予定なし」が49.5%、「今後の実施を検討」が33.0%となっています。

■ 実施している ■ 実施予定なし ■ 今後の実施を検討 □ 無回答

\* 選択肢「実施予定なし」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\* 選択肢「今後の実施を検討」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



### ⑧女性従業員の活躍をホームページや社内報で紹介する

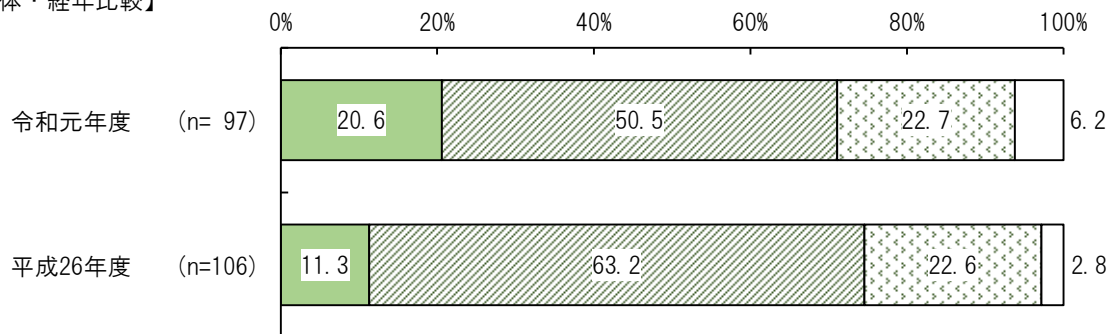
女性従業員の活躍をホームページや社内報で紹介するでは、「実施している」が20.6%、「実施予定なし」が50.5%、「今後の実施を検討」が22.7%となっています。

■ 実施している ■ 実施予定なし ■ 今後の実施を検討 □ 無回答

\* 選択肢「実施予定なし」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\* 選択肢「今後の実施を検討」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】





### (3) 各種ハラスメント対策について

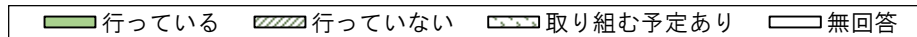
#### 11. 職場における各種ハラスメント対策

問11 職場におけるセクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等の各種ハラスメント対策について、あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つに○)

①会社の姿勢や防止のための対策等を社内規定等で従業員に明示している

\*平成26年度では「セクシュアルハラスメントやパワーハラスメントに対する会社の姿勢や防止のための対策等を社内規定等で従業員に明示している」

会社の姿勢や防止のための対策等を社内規定等で従業員に明示しているでは、「行っている」が61.9%、「行っていない」が28.9%、「取り組む予定あり」が7.2%となっています。

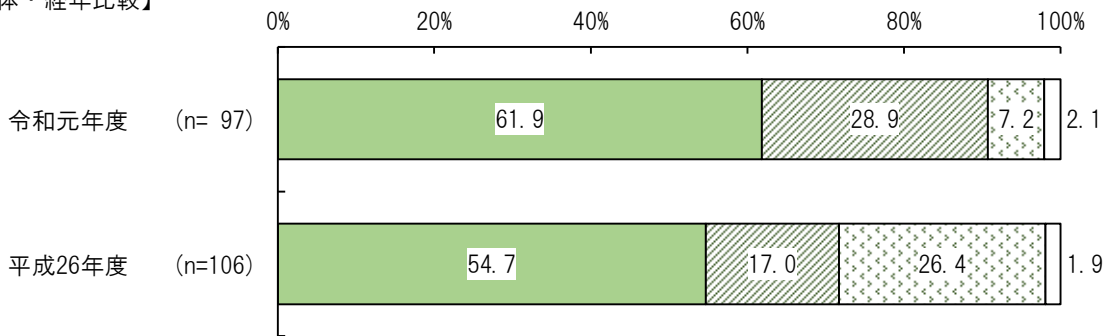


\*選択肢「行っている」は平成26年度では「実施している」

\*選択肢「行っていない」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\*選択肢「取り組む予定あり」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

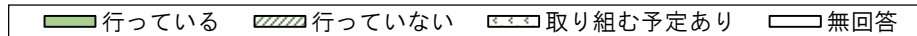
【全体・経年比較】



②従業員が留意すべき事項に関して、研修等により啓発している

\*平成26年度では「従業員が留意すべき事項に関して研修等により啓発している」

従業員が留意すべき事項に関して、研修等により啓発しているでは、「行っている」が52.6%、「行っていない」が35.1%、「取り組む予定あり」が9.3%となっています。

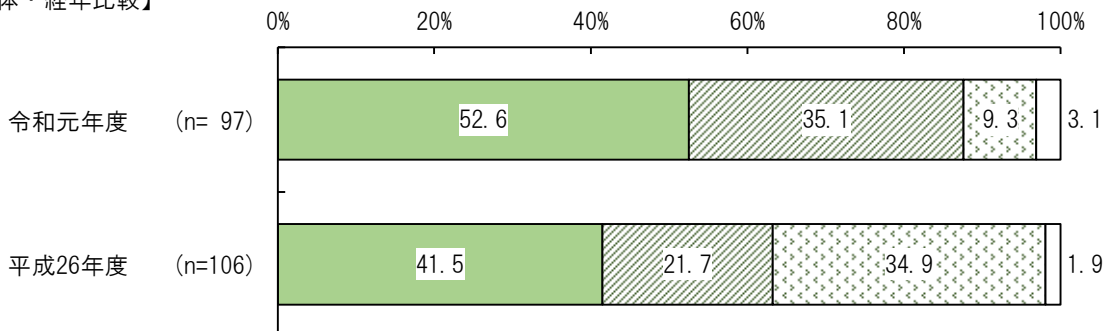


\*選択肢「行っている」は平成26年度では「実施している」

\*選択肢「行っていない」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\*選択肢「取り組む予定あり」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】





## 11. 職場における各種ハラスメント対策

### ③ 苦情・相談体制を整備し、従業員に周知している

苦情・相談体制を整備し、従業員に周知しているでは、「行っている」が64.9%、「行っていない」が25.8%、「取り組む予定あり」が6.2%となっています。

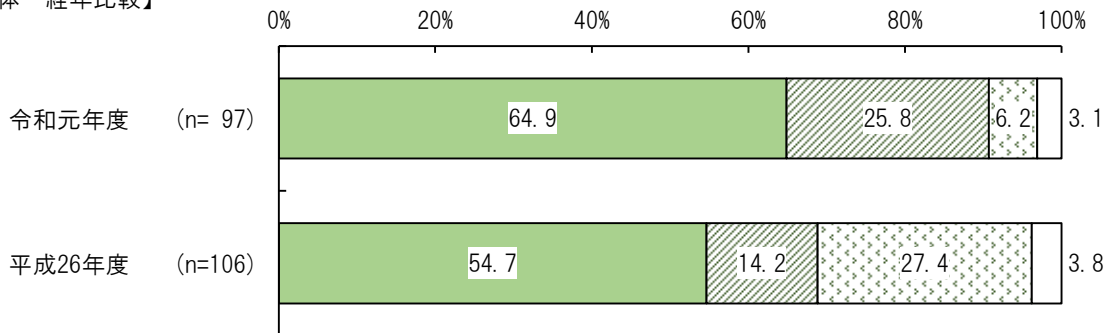
行っている
  行っていない
  取り組む予定あり
  無回答

\* 選択肢「行っている」は平成26年度では「実施している」

\* 選択肢「行っていない」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\* 選択肢「取り組む予定あり」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



### ④ 従業員からの苦情・相談があった場合には、真摯かつ迅速に対応している

従業員からの苦情・相談があった場合には、真摯かつ迅速に対応しているでは、「行っている」が87.6%、「行っていない」が5.2%、「取り組む予定あり」が4.1%となっています。

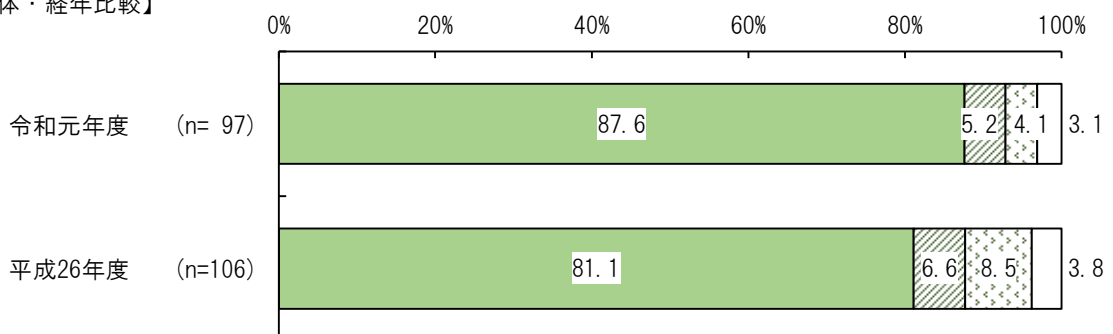
行っている
  行っていない
  取り組む予定あり
  無回答

\* 選択肢「行っている」は平成26年度では「実施している」

\* 選択肢「行っていない」は平成26年度では「実施なし、実施予定なし」

\* 選択肢「取り組む予定あり」は平成26年度では「実施なし、今後の実施を検討」

【全体・経年比較】



## (4) 育児・介護休業制度について

### 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

問12 育児休業制度・介護休業制度の状況についておたずねします。

#### ①育児休業制度の規定（令和元年6月30日現在）

育児休業制度の規定（令和元年6月30日現在）では、「規定がある」が77.3%、「規定がない」が17.5%となっています。



\*選択肢「規定がある」は平成26年度では「規定あり」

\*選択肢「規定がない」は平成26年度では「規定なし」

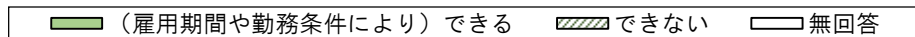
【全体・経年比較】



①で「1 規定がある」に○をつけた方にうかがいます。

#### ②正社員以外の育児休業の取得

正社員以外の育児休業の取得では、「(雇用期間や勤務条件により)できる」が77.3%、「できない」が14.7%となっています。



\*選択肢「(雇用期間や勤務条件により)できる」は平成26年度では「(雇用期間や勤務条件により)取得できる」

\*選択肢「できない」は平成26年度では「取得できない」

【全体・経年比較】

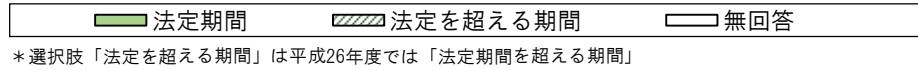


## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

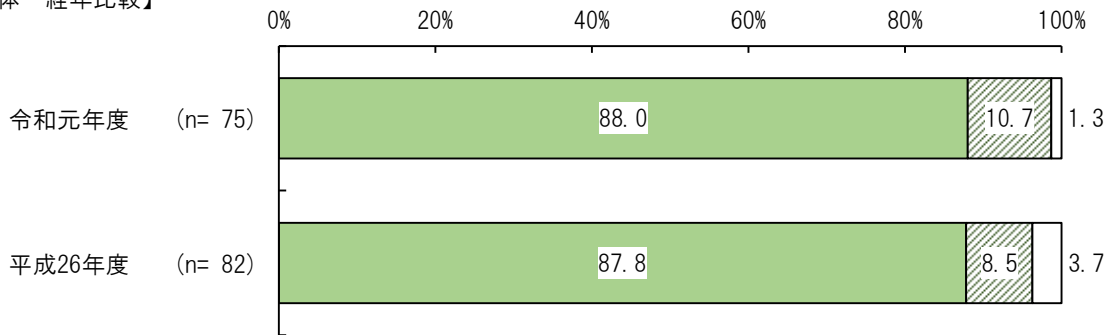
①で「1 規定がある」に○をつけた方にうかがいます。

### ③育児休業の期間

育児休業の期間では、「法定期間」が88.0%、「法定を超える期間」が10.7%となっています。

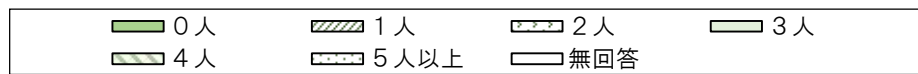


【全体・経年比較】

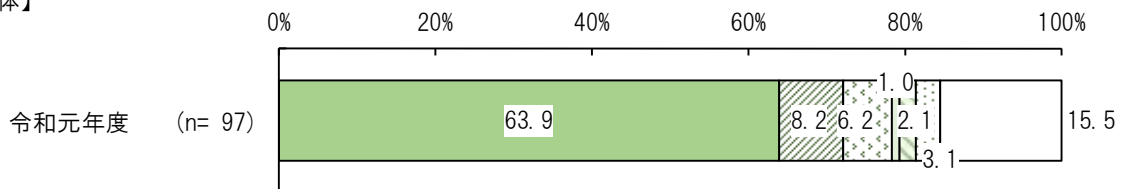


### ④ - 1 育児休業の取得状況（平成28年度女性取得者数）

育児休業の取得状況（平成28年度女性取得者数）では、「0人」が63.9%と最も多く、次いで「1人」が8.2%、「2人」が6.2%などとなっています。

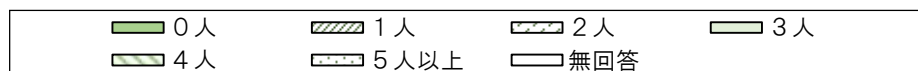


【全体】

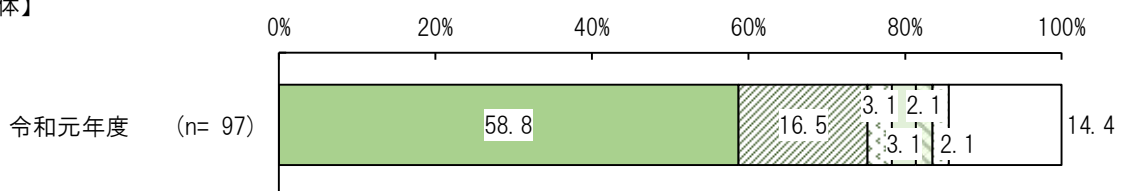


### ④ - 2 育児休業の取得状況（平成29年度女性取得者数）

育児休業の取得状況（平成29年度女性取得者数）では、「0人」が58.8%と最も多く、次いで「1人」が16.5%、「2人」と「3人」が3.1%などとなっています。



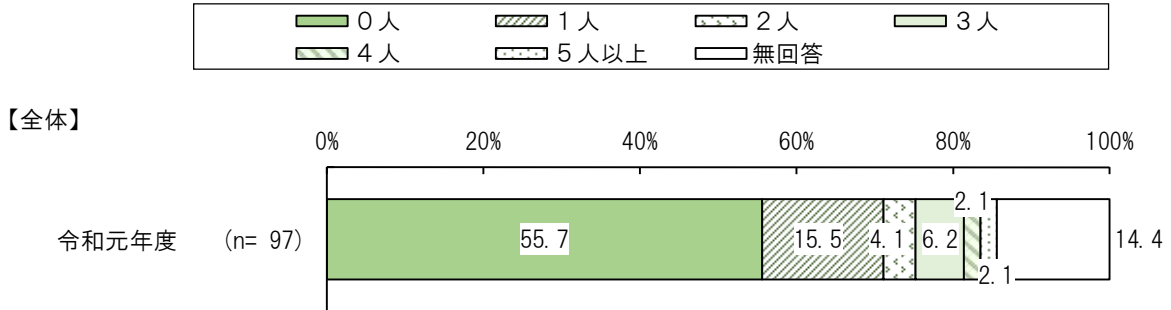
【全体】



## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

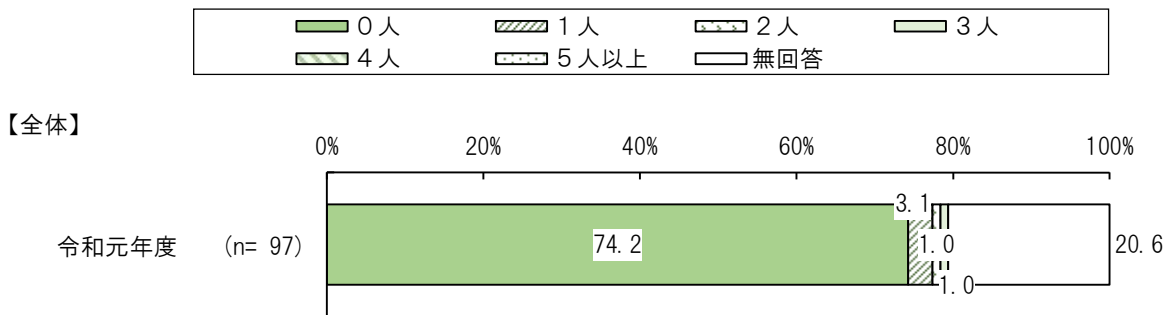
### ④ - 3 育児休業の取得状況（平成30年度女性取得者数）

育児休業の取得状況（平成30年度女性取得者数）では、「0人」が55.7%と最も多く、次いで「1人」が15.5%、「3人」が6.2%などとなっています。



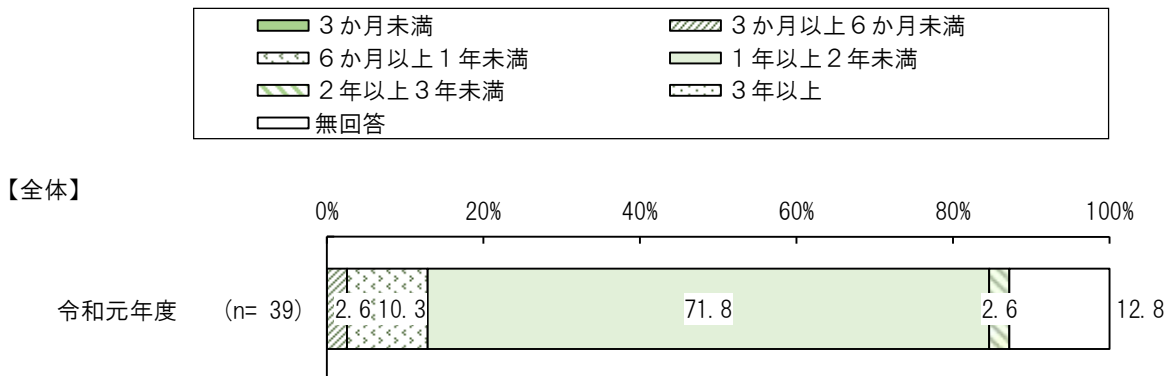
### ④ - 4 育児休業の取得状況（平成28～30年度の利用後の女性退職者数）

育児休業の取得状況（平成28～30年度の利用後の女性退職者数）では、「0人」が74.2%と最も多く、次いで「1人」が3.1%、「2人」と「3人」が1.0%などとなっています。



### ④ - 5 育児休業の取得状況（女性1人あたりの期間の平均）

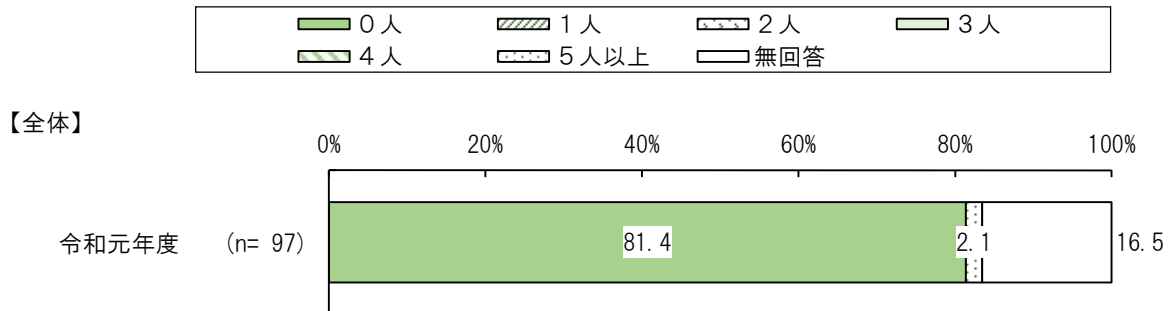
育児休業の取得状況（女性1人あたりの期間の平均）では、「1年以上2年未満」が71.8%と最も多く、次いで「6か月以上1年未満」が10.3%、「3か月以上6か月未満」と「2年以上3年未満」が2.6%などとなっています。



## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

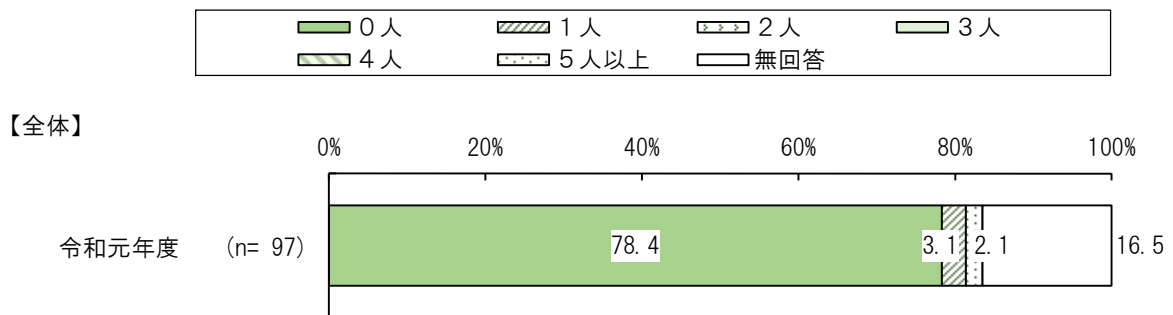
### ④ - 6 育児休業の取得状況（平成28年度男性取得者数）

育児休業の取得状況（平成28年度男性取得者数）では、「0人」が81.4%と最も多く、次いで「5人以上」が2.1%などとなっています。



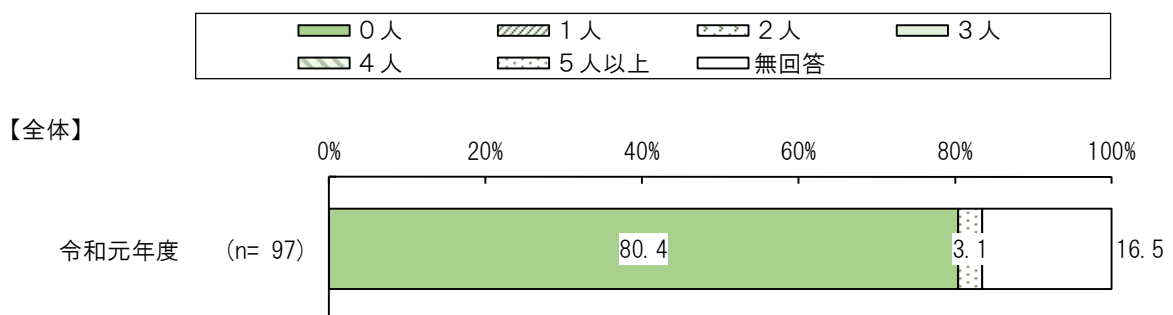
### ④ - 7 育児休業の取得状況（平成29年度男性取得者数）

育児休業の取得状況（平成29年度男性取得者数）では、「0人」が78.4%と最も多く、次いで「1人」が3.1%、「5人以上」が2.1%などとなっています。



### ④ - 8 育児休業の取得状況（平成30年度男性取得者数）

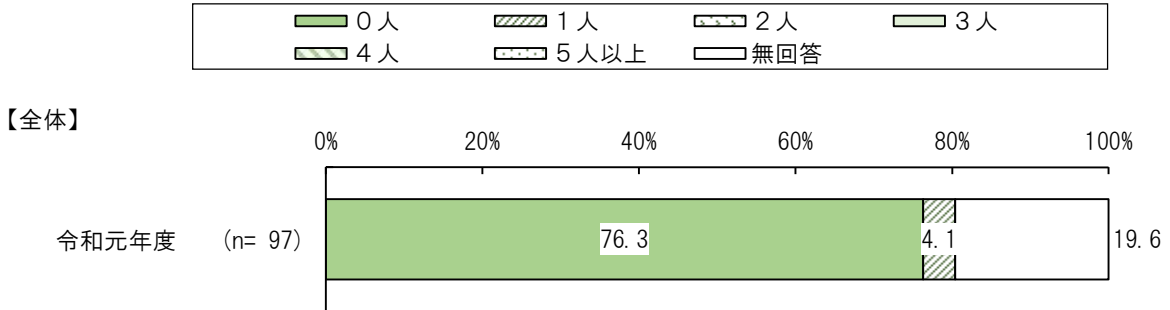
育児休業の取得状況（平成30年度男性取得者数）では、「0人」が80.4%と最も多く、次いで「5人以上」が3.1%などとなっています。



## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

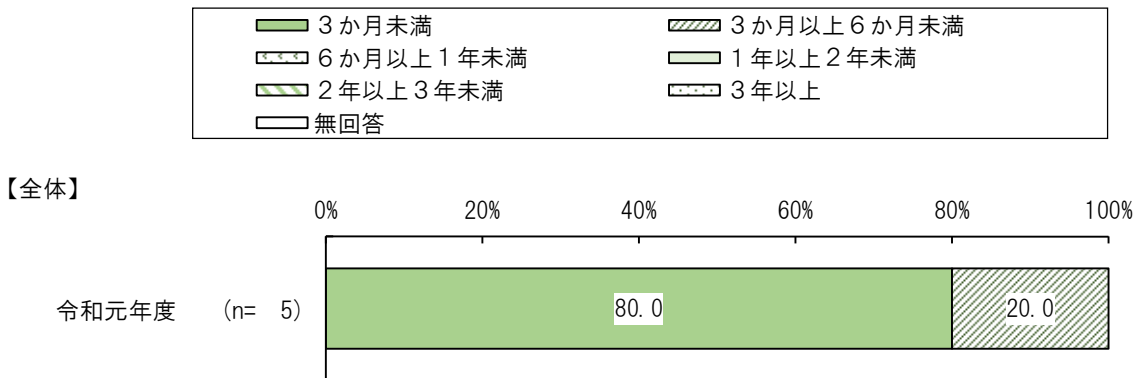
### ④ - 9 育児休業の取得状況（平成28～30年度の利用後の男性退職者数）

育児休業の取得状況（平成28～30年度の利用後の男性退職者数）では、「0人」が76.3%と最も多く、次いで「1人」が4.1%などとなっています。



### ④ - 10 育児休業の取得状況（男性1人あたりの期間の平均）

育児休業の取得状況（男性1人あたりの期間の平均）では、「3か月未満」が80.0%と最も多く、次いで「3か月以上6か月未満」が20.0%などとなっています。



### 【参考】育児休業取得者数、利用後の退職者数

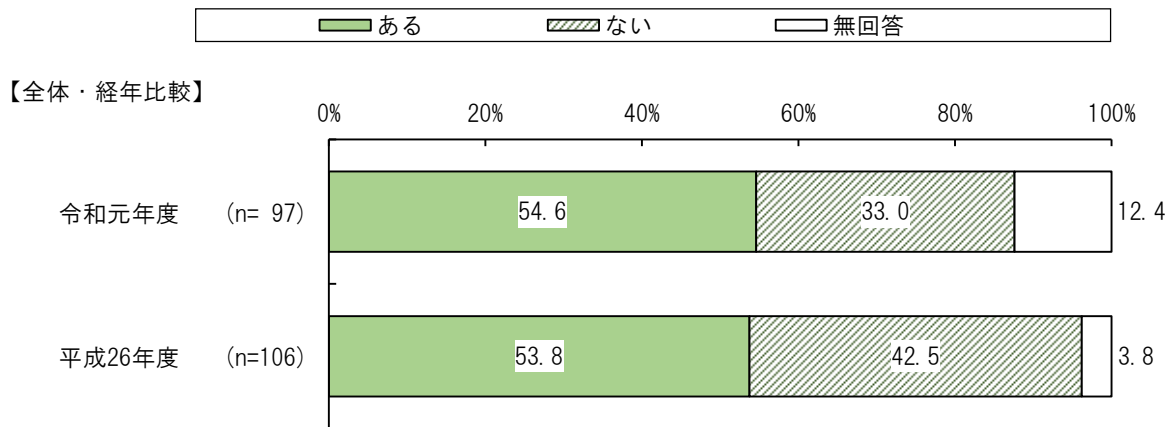
育児休業取得者数では、“女性”が181人、“男性”が91人となっています。

	平成26年度		令和元年度	
	平成23～25年度の育児休業取得者	利用後の退職者	平成28～30年度の育児休業取得者	利用後の退職者
女性	203人	19人 9.4%	181人	8人 4.4%
男性	5人	1人 20.0%	91人	4人 4.4%

## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

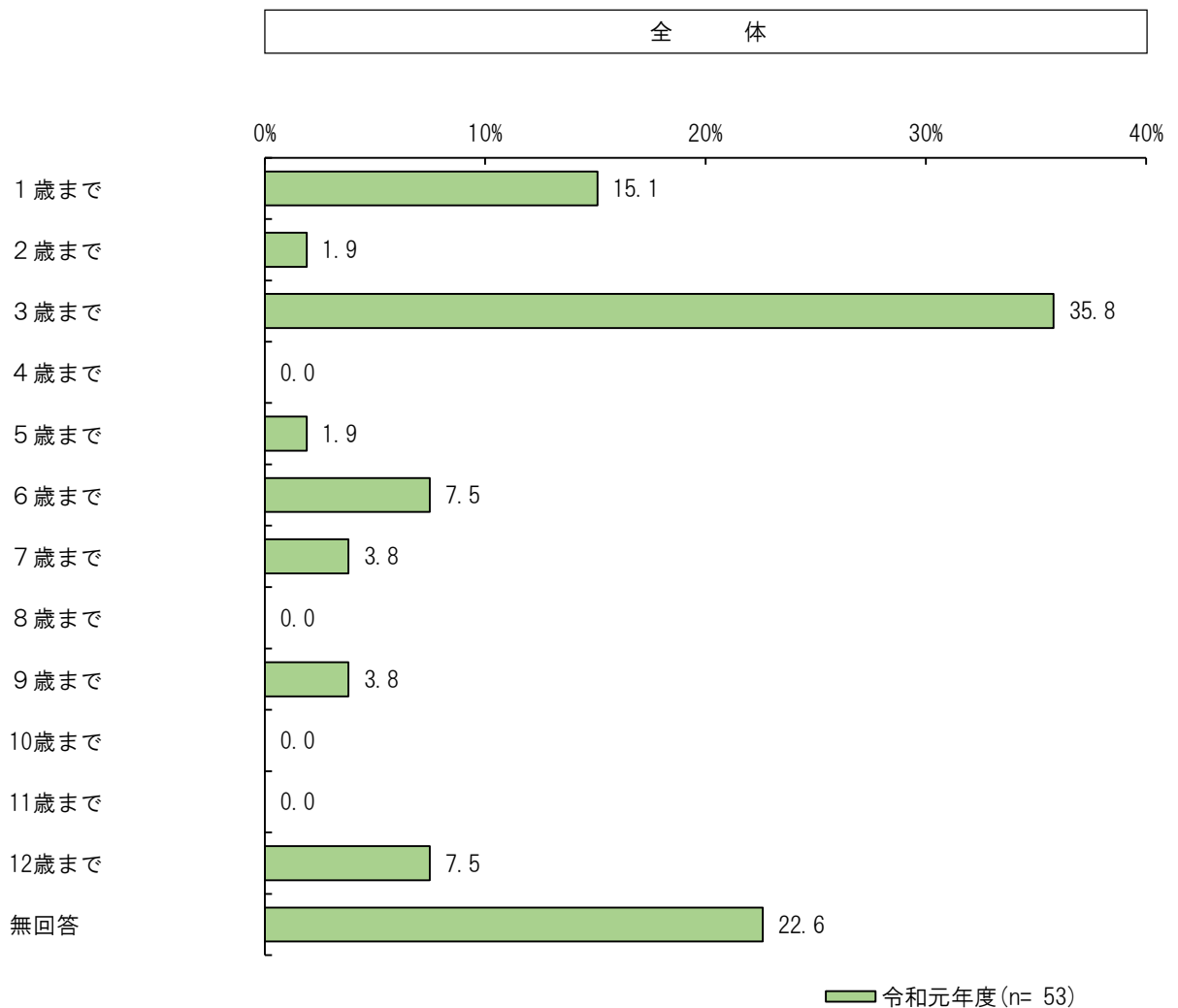
### ⑤ - 1 育児のための短時間勤務制度

育児のための短時間勤務制度では、「ある」が54.6%、「ない」が33.0%となっています。



### ⑤ - 2 育児のための短時間勤務制度（子が〇歳まで）

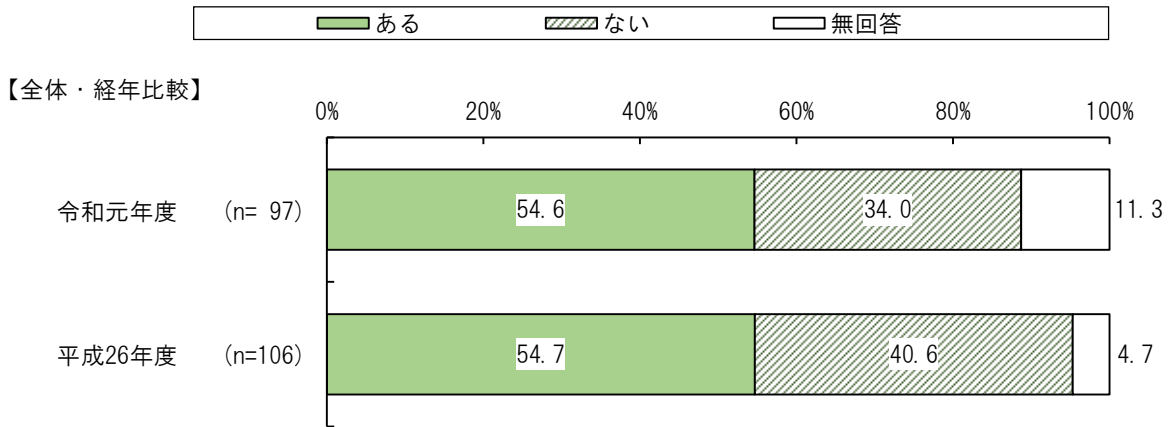
育児のための短時間勤務制度（子が〇歳まで）では、「3歳まで」が35.8%と最も多く、次いで「1歳まで」が15.1%、「6歳まで」が7.5%などとなっています。



## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

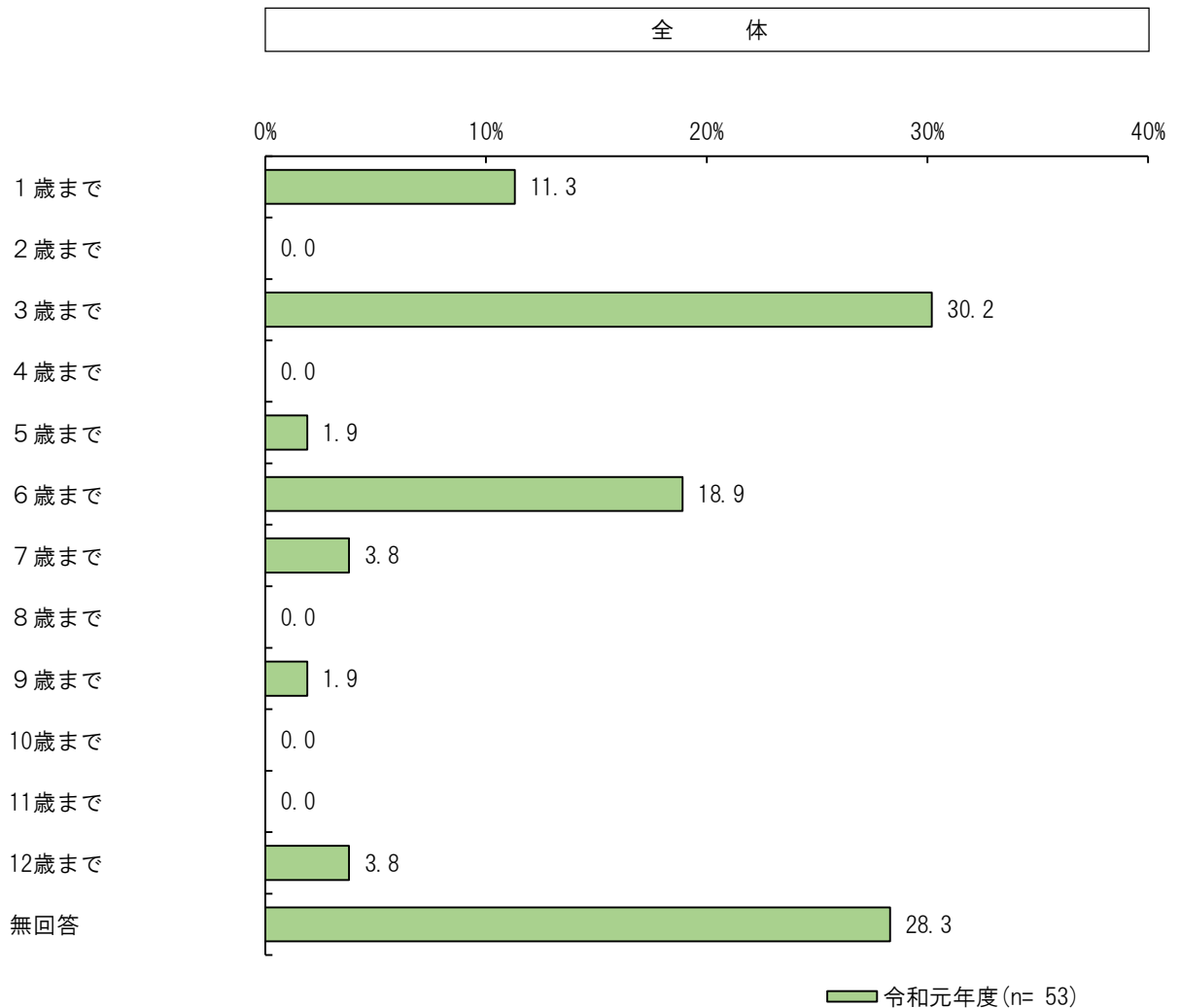
### ⑥ - 1 所定外労働の免除

所定外労働の免除では、「ある」が54.6%、「ない」が34.0%となっています。



### ⑥ - 2 所定外労働の免除（子が〇歳まで）

所定外労働の免除（子が〇歳まで）では、「3歳まで」が30.2%と最も多く、次いで「6歳まで」が18.9%、「1歳まで」が11.3%などとなっています。

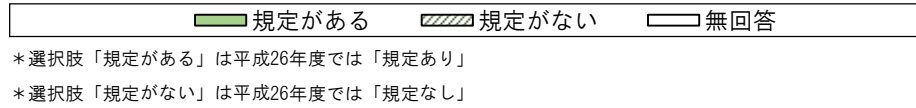




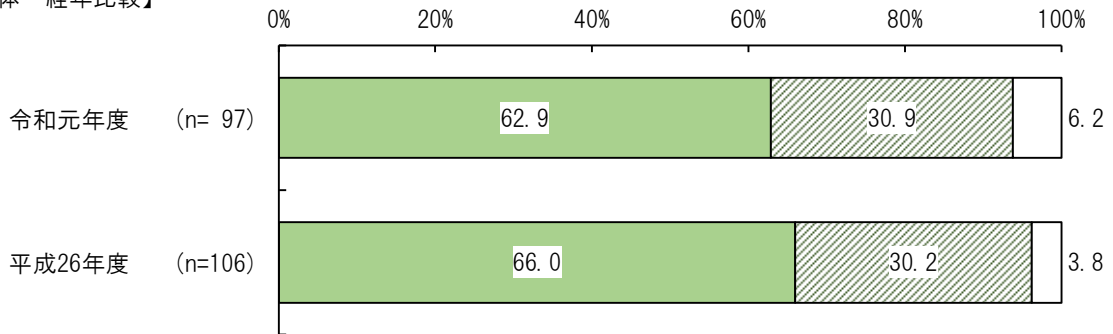
## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

### ⑦介護休業制度の規定（令和元年6月30日現在）

介護休業制度の規定（令和元年6月30日現在）では、「規定がある」が62.9%、「規定がない」が30.9%となっています。



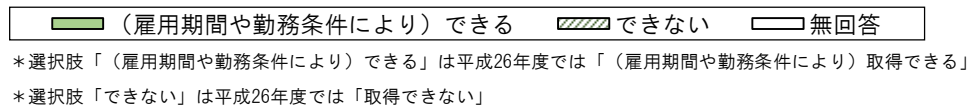
【全体・経年比較】



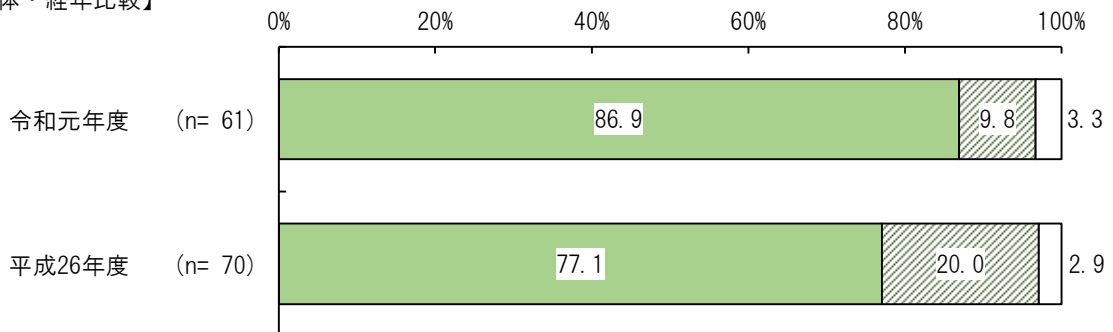
⑦で「1 規定がある」に○をつけた方にうかがいます。

### ⑧正社員以外の介護休業の取得

正社員以外の介護休業の取得では、「(雇用期間や勤務条件により)できる」が86.9%、「できない」が9.8%となっています。



【全体・経年比較】

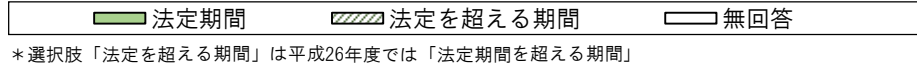


## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

⑦で「1 規定がある」に○をつけた方にうかがいます。

### ⑨介護休業の期間

介護休業の期間では、「法定期間」が90.2%、「法定を超える期間」が9.8%となっています。

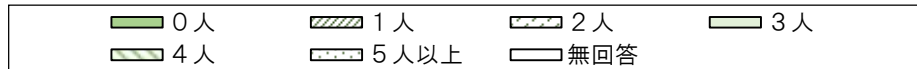


【全体・経年比較】

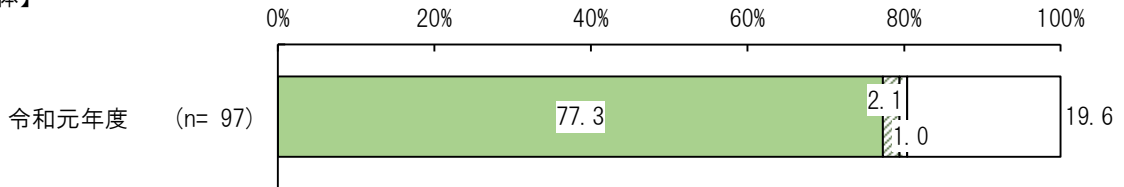


### ⑩ - 1 介護休業の取得状況（平成28年度女性取得者数）

介護休業の取得状況（平成28年度女性取得者数）では、「0人」が77.3%と最も多く、次いで「1人」が2.1%、「2人」が1.0%などとなっています。

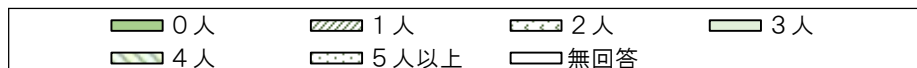


【全体】

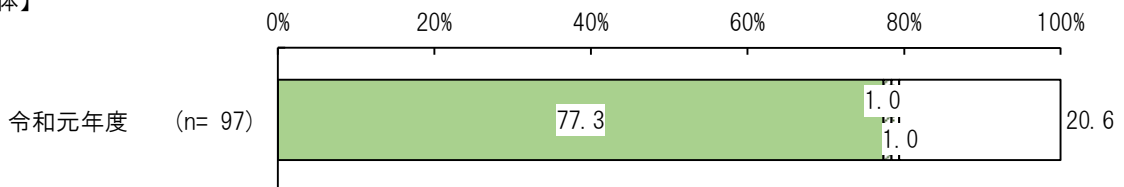


### ⑩ - 2 介護休業の取得状況（平成29年度女性取得者数）

介護休業の取得状況（平成29年度女性取得者数）では、「0人」が77.3%と最も多く、次いで「1人」と「2人」が1.0%などとなっています。



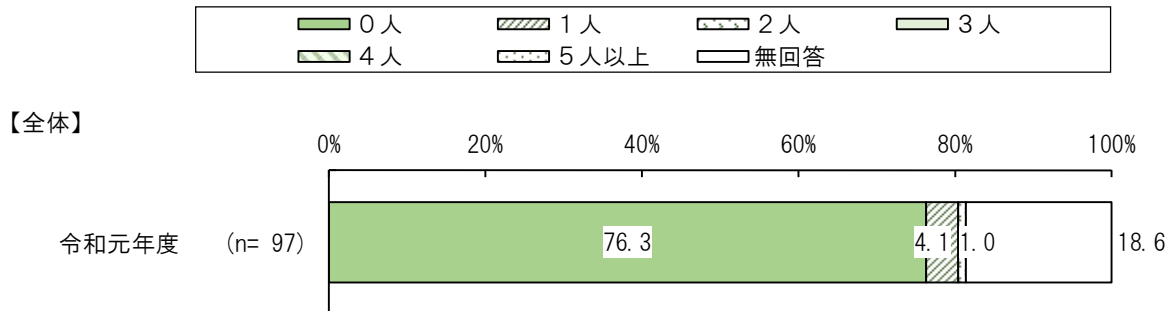
【全体】



12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

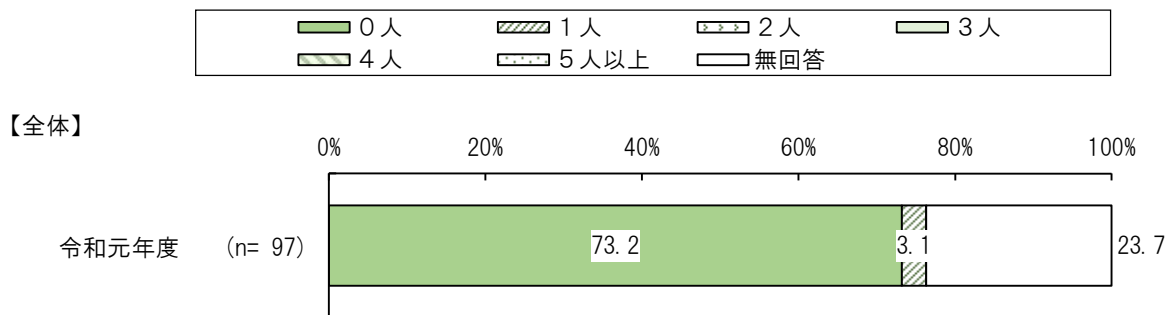
⑩ - 3 介護休業の取得状況（平成30年度女性取得者数）

介護休業の取得状況（平成30年度女性取得者数）では、「0人」が76.3%と最も多く、次いで「1人」が4.1%、「2人」が1.0%などとなっています。



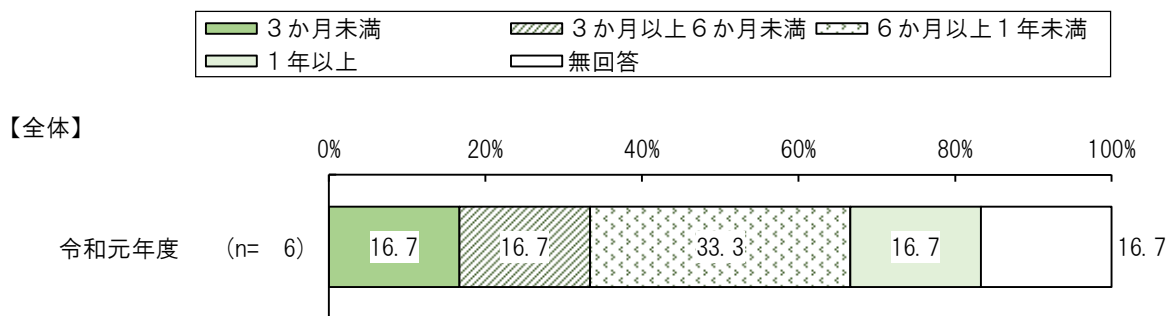
⑩ - 4 介護休業の取得状況（平成28～30年度の利用後の女性退職者数）

介護休業の取得状況（平成28～30年度の利用後の女性退職者数）では、「0人」が73.2%と最も多く、次いで「1人」が3.1%などとなっています。



⑩ - 5 介護休業の取得状況（女性1人あたりの期間の平均）

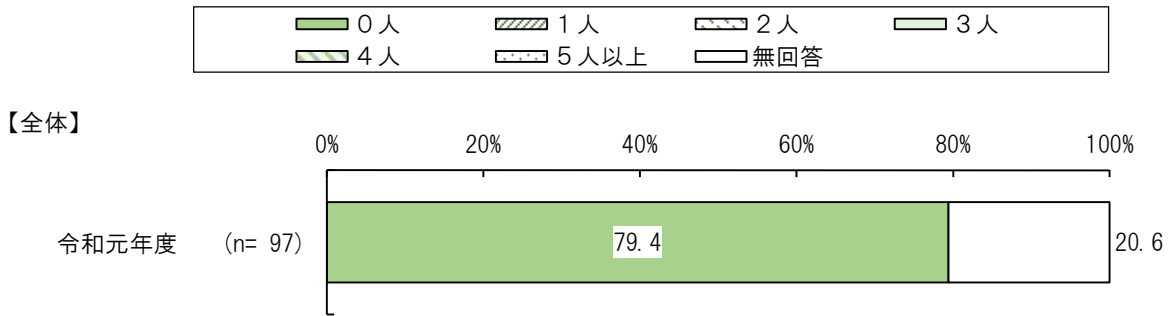
介護休業の取得状況（女性1人あたりの期間の平均）では、「3か月未満」が16.7%、「3か月以上6か月未満」が16.7%、「6か月以上1年未満」が33.3%、「1年以上」が16.7%となっています。



## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

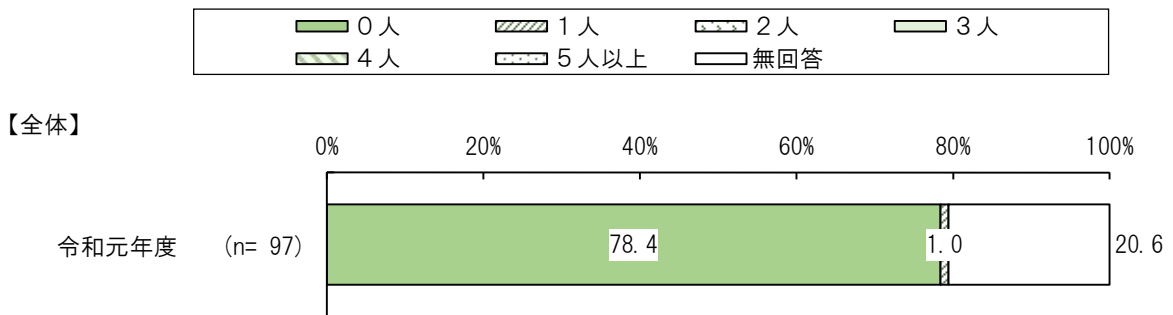
### ⑩ - 6 介護休業の取得状況（平成28年度男性取得者数）

介護休業の取得状況（平成28年度男性取得者数）では、「0人」が79.4%と最も多くなっています。



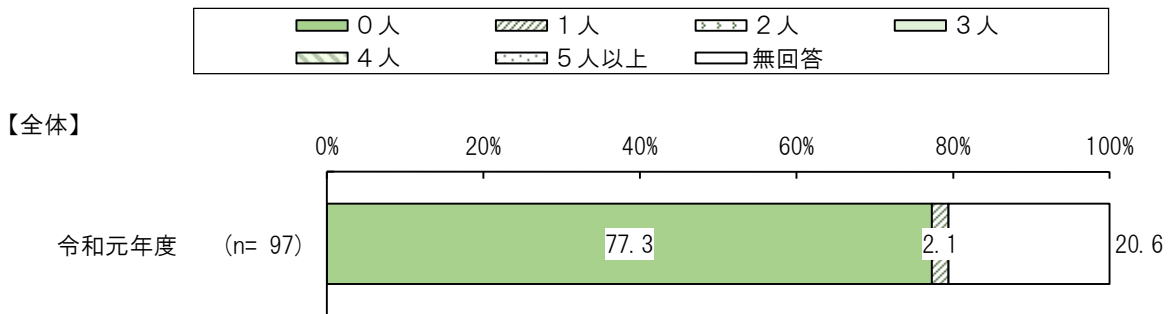
### ⑩ - 7 介護休業の取得状況（平成29年度男性取得者数）

介護休業の取得状況（平成29年度男性取得者数）では、「0人」が78.4%と最も多く、次いで「1人」が1.0%などとなっています。



### ⑩ - 8 介護休業の取得状況（平成30年度男性取得者数）

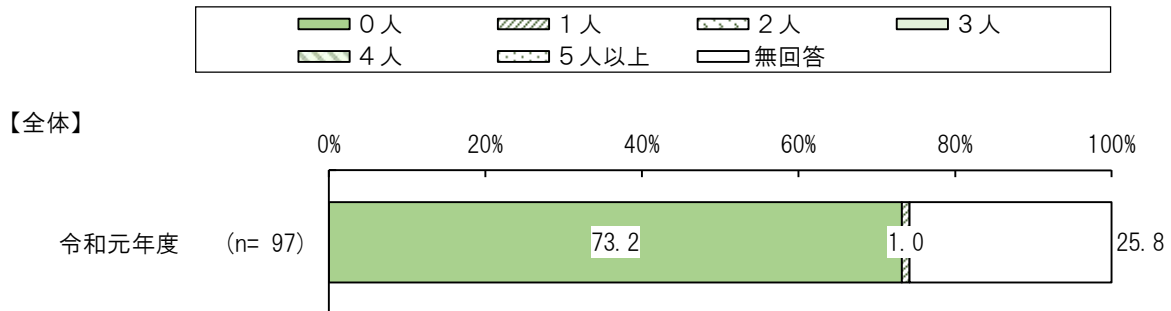
介護休業の取得状況（平成30年度男性取得者数）では、「0人」が77.3%と最も多く、次いで「1人」が2.1%などとなっています。



## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

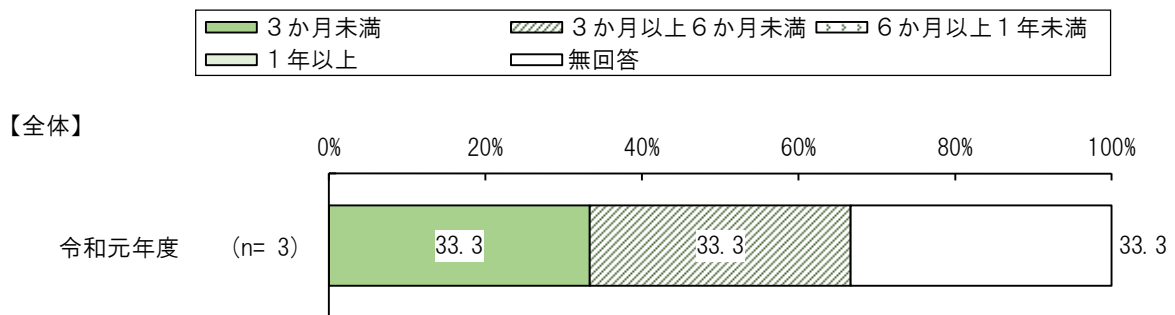
### ⑩ - 9 介護休業の取得状況（平成28～30年度の利用後の男性退職者数）

介護休業の取得状況（平成28～30年度の利用後の男性退職者数）では、「0人」が73.2%と最も多く、次いで「1人」が1.0%などとなっています。



### ⑩ - 10 介護休業の取得状況（男性1人あたりの期間の平均）

介護休業の取得状況（男性1人あたりの期間の平均）では、「3か月未満」が33.3%、「3か月以上6か月未満」が33.3%などとなっています。



### 【参考】介護休業取得者、利用後の退職者

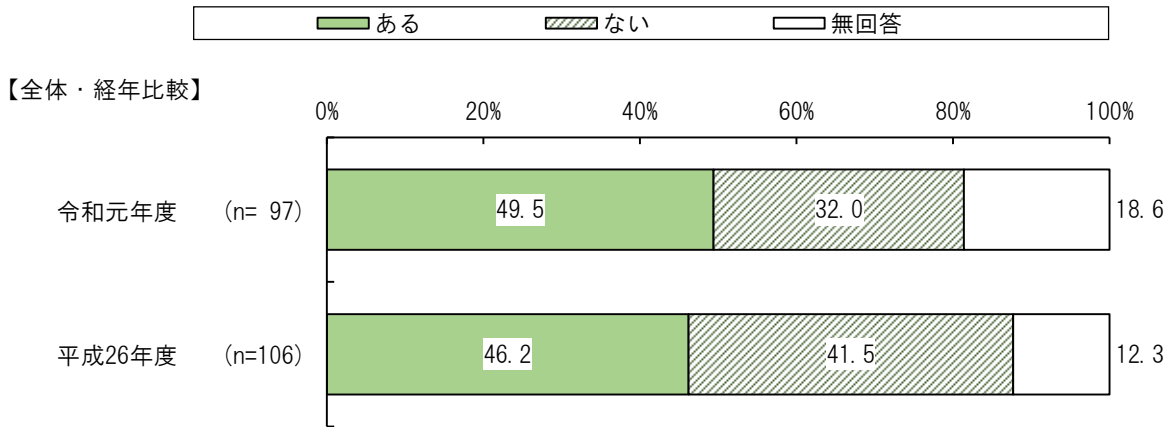
介護休業取得者数では、“女性”が13人、“男性”が3人となっています。

	平成26年度		令和元年度	
	平成23～25年度の介護休業取得者	利用後の退職者	平成28～30年度の介護休業取得者	利用後の退職者
		人数		割合 (%)
女性	8人	1人 12.5%	13人	3人 23.1%
男性	0人	0人 0.0%	3人	1人 33.3%

## 12. 育児休業制度・介護休業制度の状況

### ①介護のための短時間勤務制度

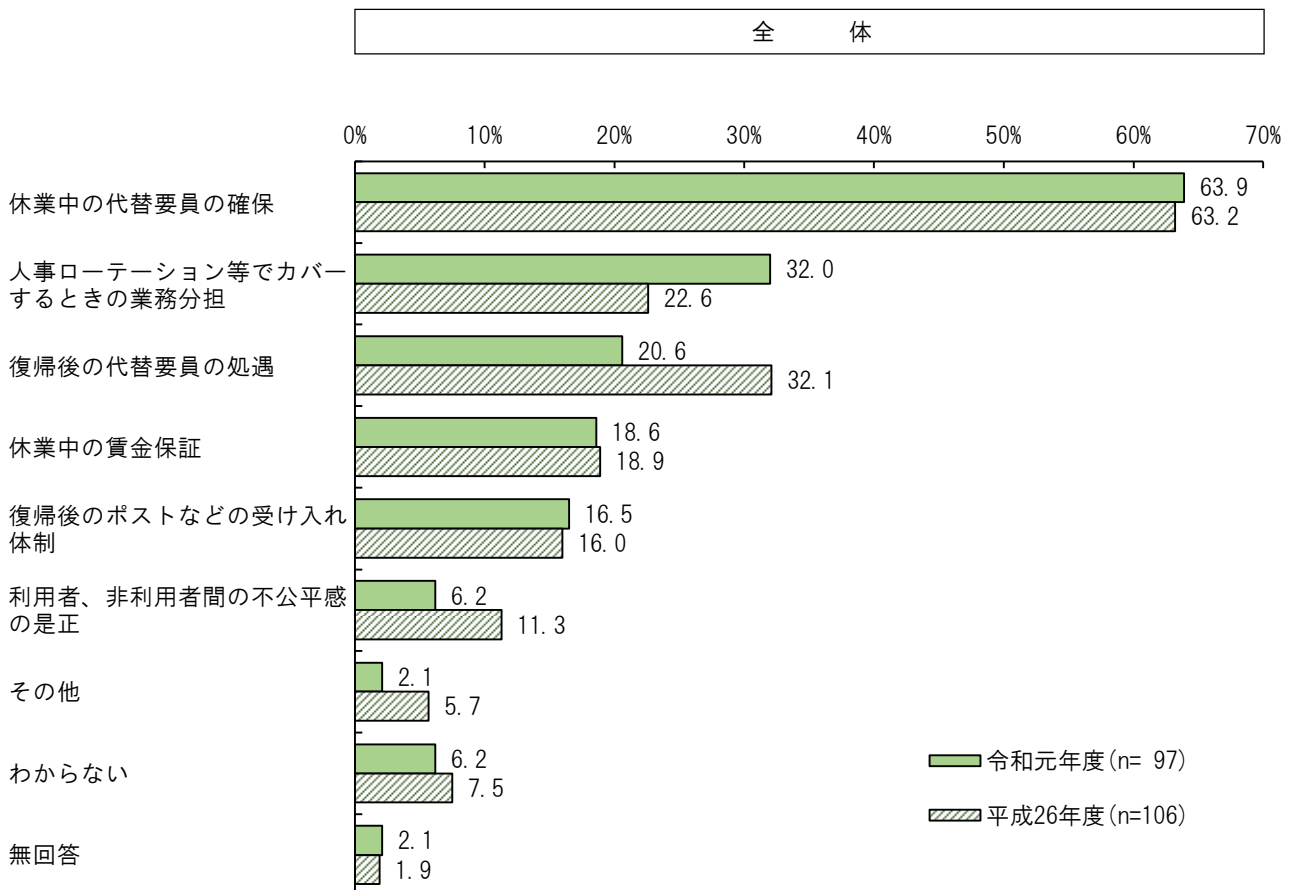
介護のための短時間勤務制度では、「ある」が49.5%、「ない」が32.0%となっています。



## 13. 育児・介護休業制度が定着するための主な課題

問13 育児・介護休業制度が定着するための主な課題はなんですか。 (○は2つまで)

育児・介護休業制度が定着するための主な課題では、「休業中の代替要員の確保」が63.9%と最も多く、次いで「人事ローテーション等でカバーするときの業務分担」が32.0%、「復帰後の代替要員の処遇」が20.6%などとなっています。



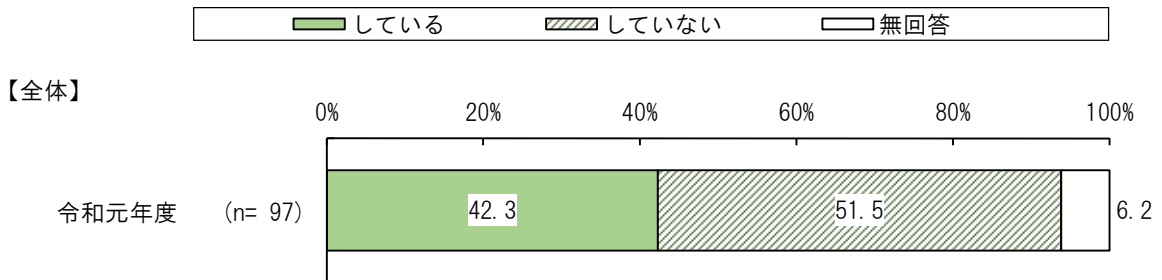
(5) 仕事と家庭の両立支援について

14. 仕事と家庭の両立支援として実施しているもの

問14 仕事と家庭の両立支援として実施しているものはありますか。 (それぞれ1つに○)

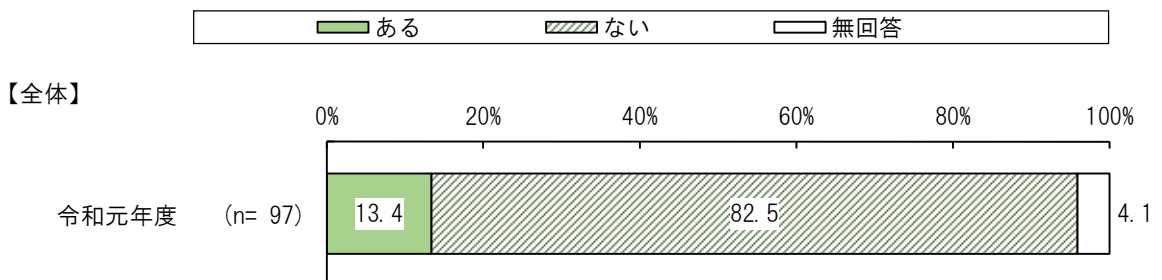
①育児・介護休業法や支援制度のアピール

育児・介護休業法や支援制度のアピールでは、「している」が42.3%、「していない」が51.5%となっています。



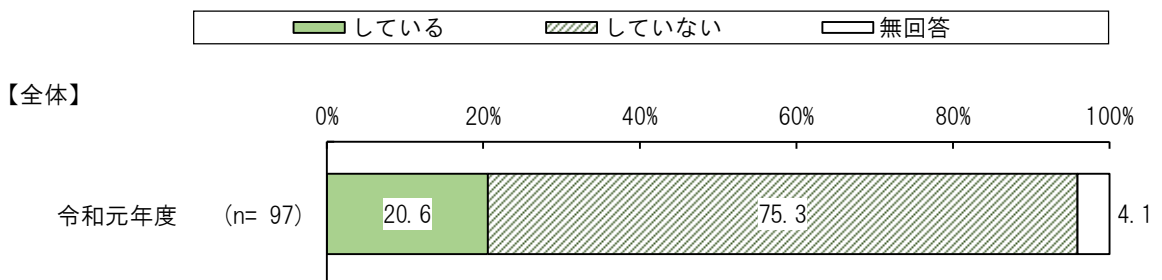
②フレックスタイム制度

フレックスタイム制度では、「ある」が13.4%、「ない」が82.5%となっています。



③男性の育児休業取得の推進

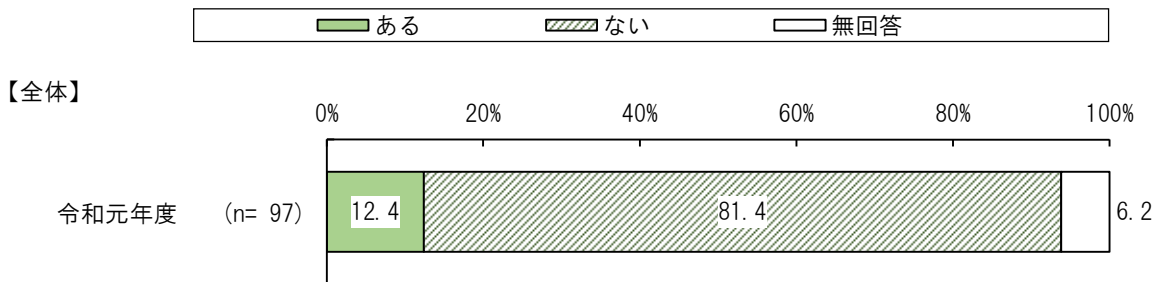
男性の育児休業取得の推進では、「している」が20.6%、「していない」が75.3%となっています。



## 14. 仕事と家庭の両立支援として実施しているもの

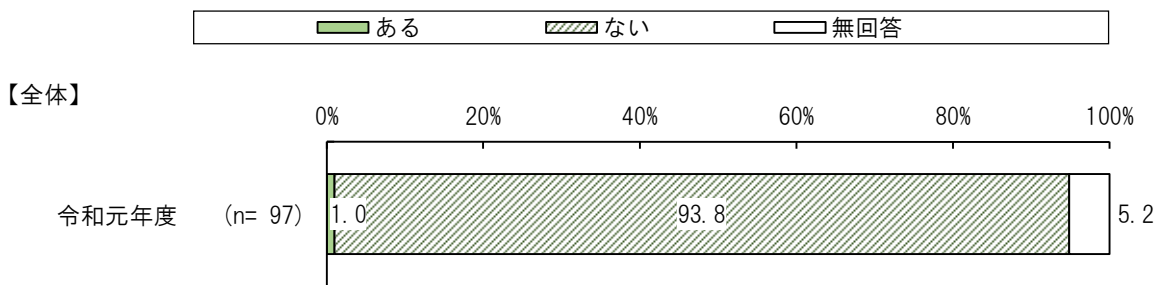
### ④育児・介護に要する経費の援助

育児・介護に要する経費の援助では、「ある」が12.4%、「ない」が81.4%となっています。



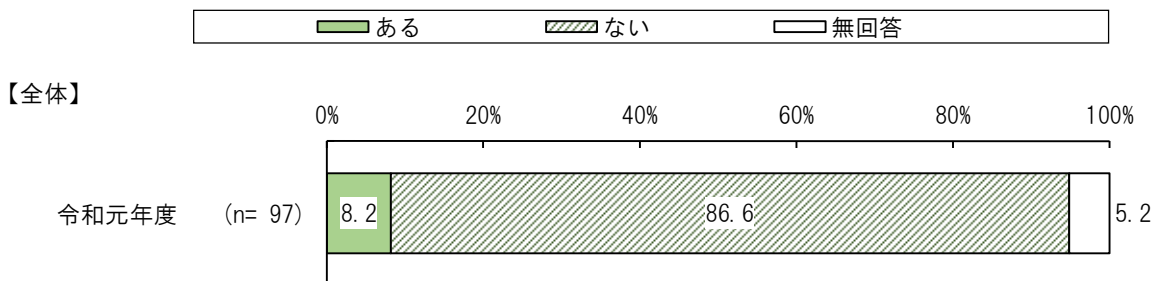
### ⑤休業中の職業能力向上のための講習等

休業中の職業能力向上のための講習等では、「ある」が1.0%、「ない」が93.8%となっています。



### ⑥休業後の職場復帰にあたり研修等の実施

休業後の職場復帰にあたり研修等の実施では、「ある」が8.2%、「ない」が86.6%となっています。

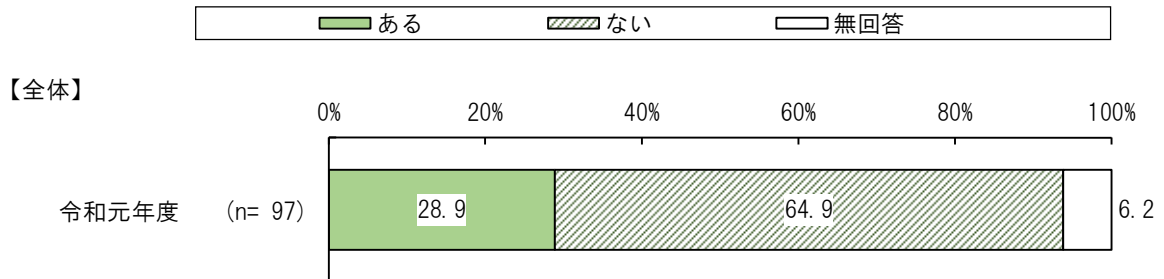




## 14. 仕事と家庭の両立支援として実施しているもの

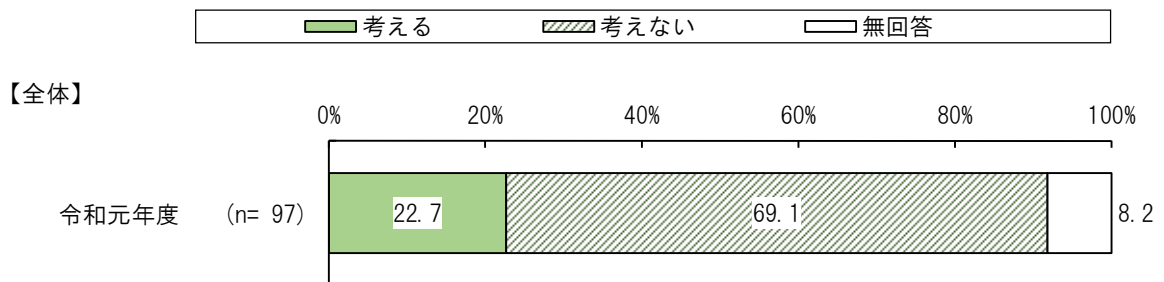
### ⑦育児・介護等で退職した人のための再雇用制度

育児・介護等で退職した人のための再雇用制度では、「ある」が28.9%、「ない」が64.9%となっています。



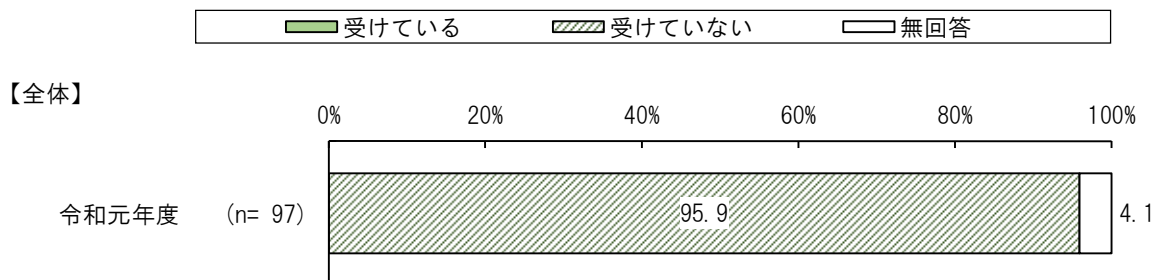
### ⑧静岡県の「男女共同参画社会づくり」宣言事業所・団体についての活用

静岡県の「男女共同参画社会づくり」宣言事業所・団体についての活用では、「考える」が22.7%、「考えない」が69.1%となっています。



### ⑨このとりカンパニー認証制度

このとりカンパニー認証制度では、「受けていない」が95.9%となっています。

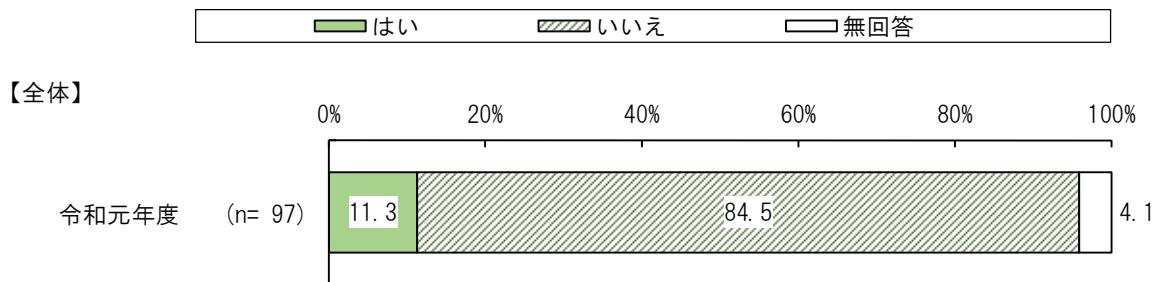


## (6) 性的マイノリティについて

### 15. 性的マイノリティの方々にとって働きやすい職場づくりの取り組み

問15 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、働きやすい職場づくりに取り組んでいますか。 (○は1つ)

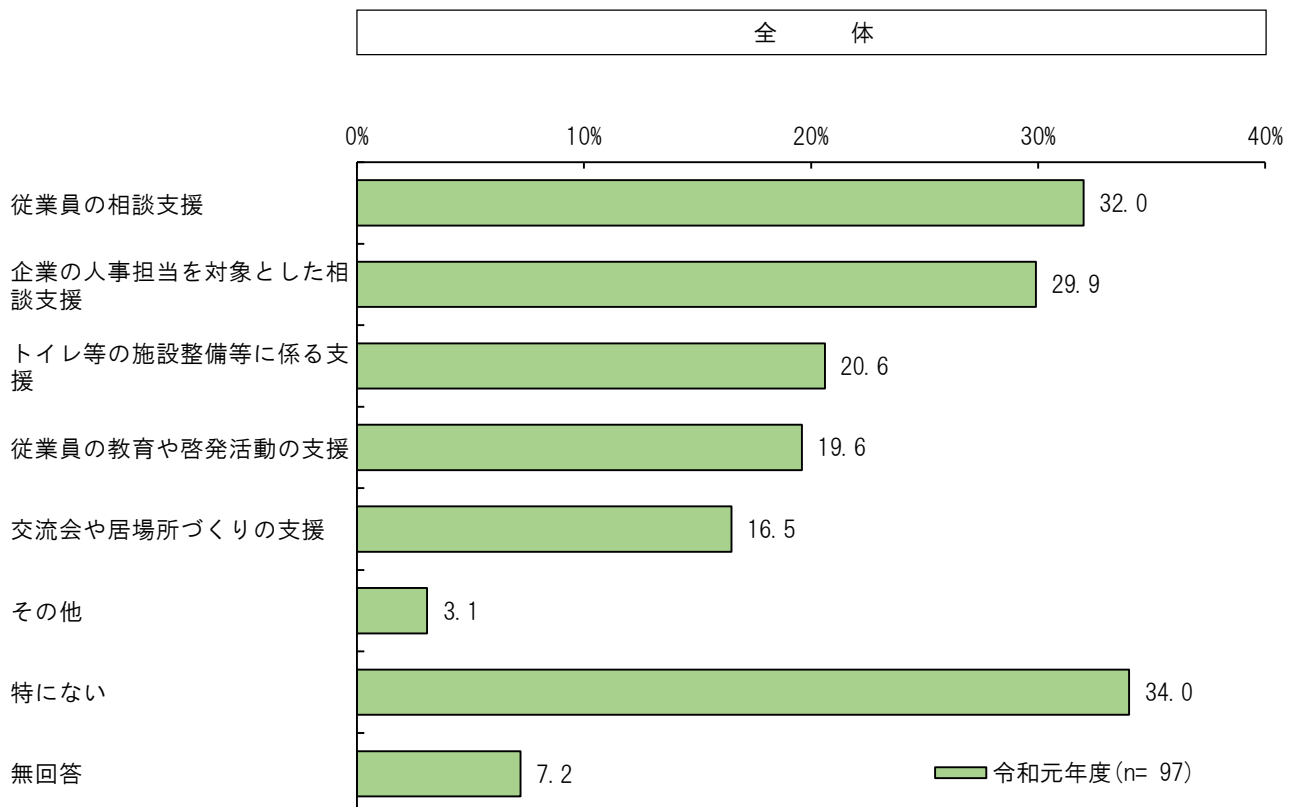
性的マイノリティの方々にとって働きやすい職場づくりの取り組みでは、「はい」が11.3%、「いいえ」が84.5%となっています。



### 16. 性的マイノリティの方々にとって働きやすい職場にするために市や県に支援してほしいこと

問16 性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、働きやすい職場にするために市や県に支援してほしいことはなんですか。 (○はいくつでも)

性的マイノリティの方々にとって働きやすい職場にするために市や県に支援してほしいことでは、「従業員の相談支援」が32.0%と最も多く、次いで「企業の人事担当を対象とした相談支援」が29.9%、「トイレ等の施設整備等に係る支援」が20.6%などとなっています。また、「特にない」が34.0%となっています。



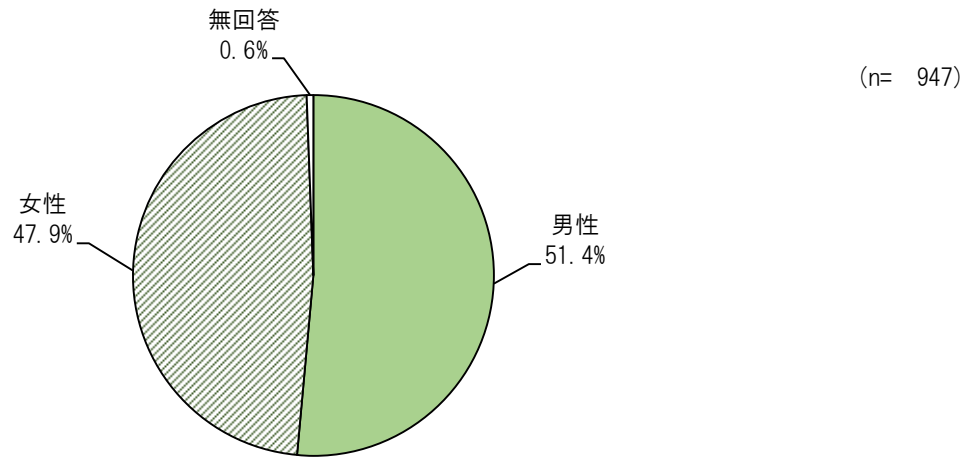
## IV 調査結果【市民意識調査（中学生用）】

## (1) 属性について

## 1. 性別

問1 あなたの性別はどちらですか。 (1つに○)

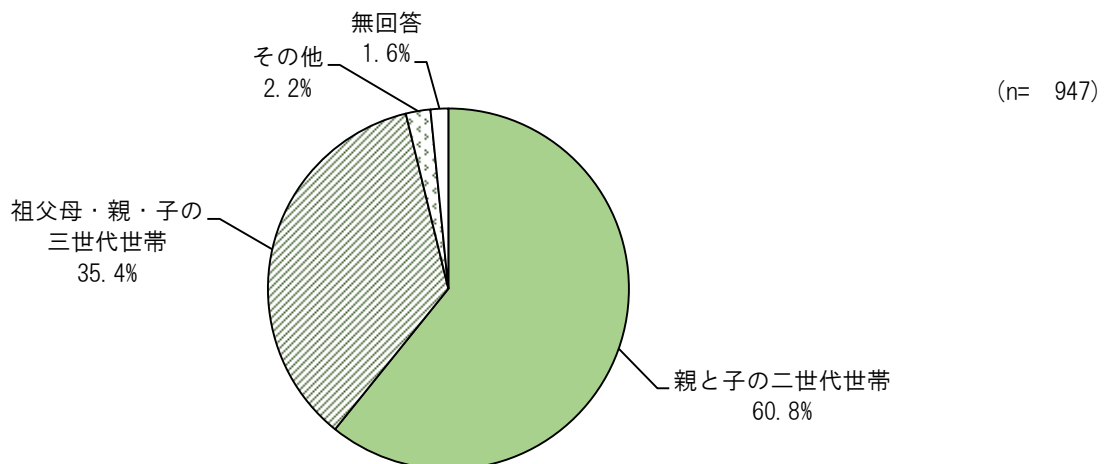
性別では、「男性」が51.4%、「女性」が47.9%となっています。



## 2. 家族構成

問2 あなたの家族構成はどれにあてはまりますか。 (1つに○)

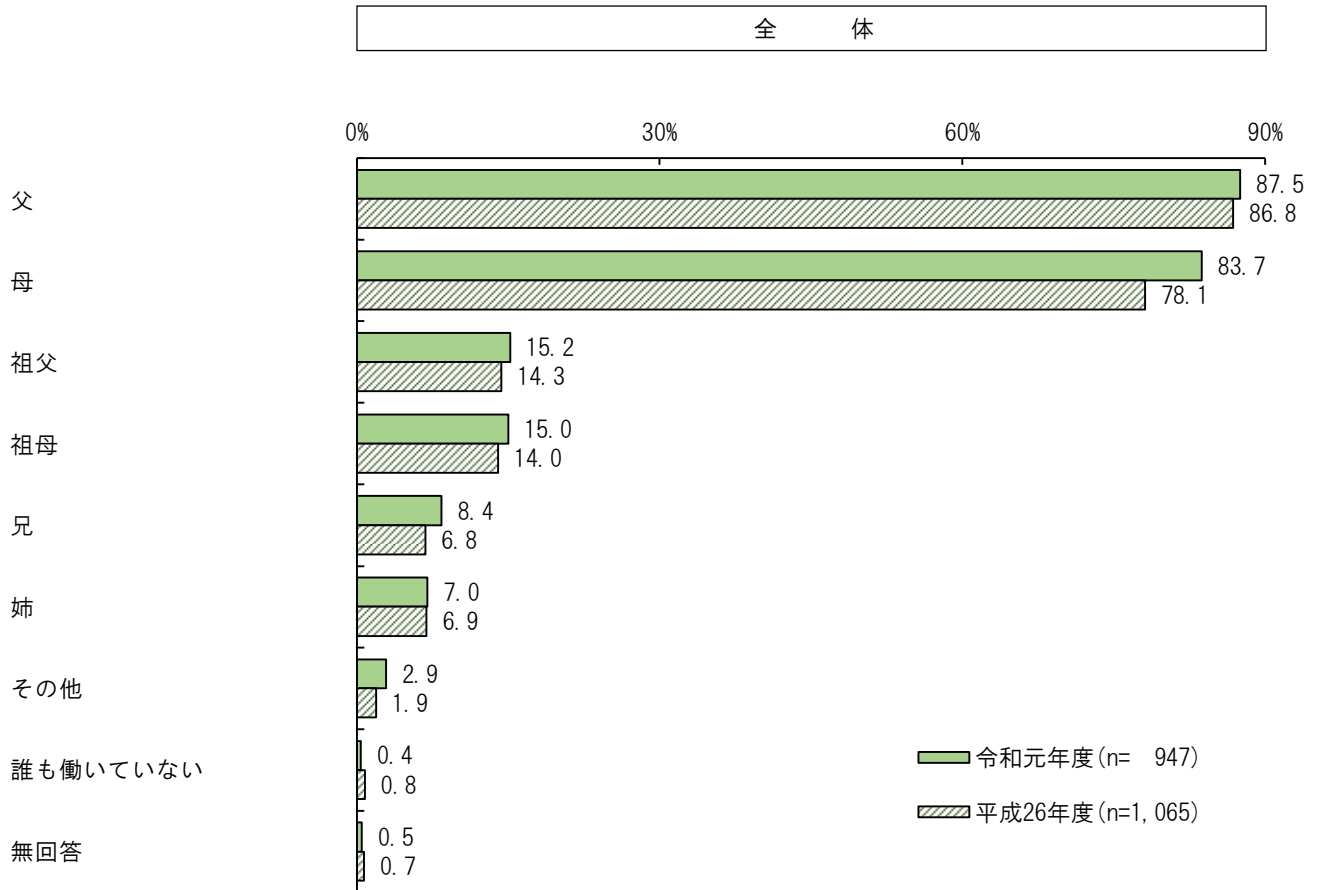
家族構成では、「親と子の二世帯世帯」が60.8%、「祖父母・親・子の三世帯世帯」が35.4%、「その他」が2.2%となっています。



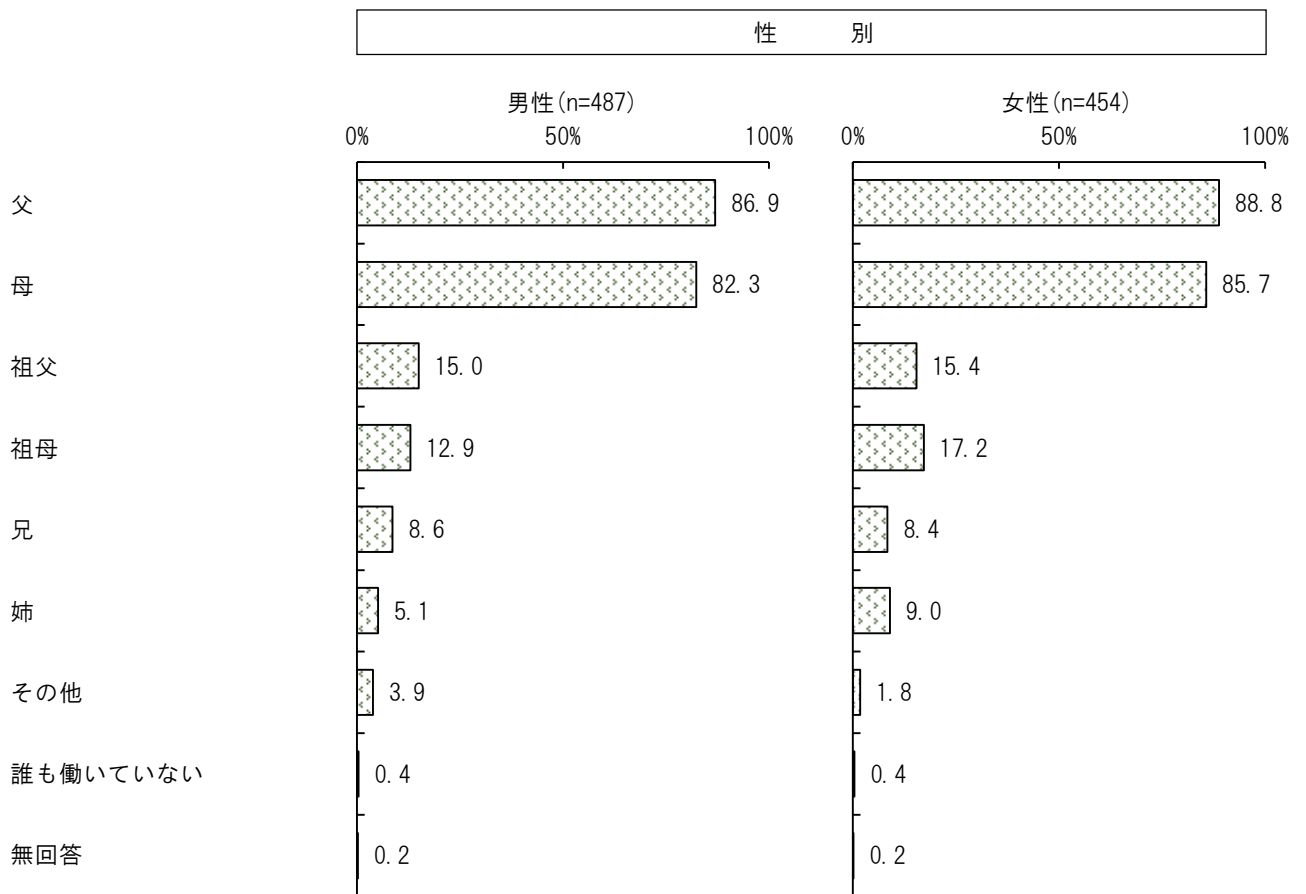
### 3. 働いている家族

問3 あなたの家で働いている人は誰ですか。 (〇はいくつでも)

働いている家族では、「父」が87.5%と最も多く、次いで「母」が83.7%、「祖父」が15.2%などとなっています。



## 3. 働いている家族



## (2) 学校生活での平等感について

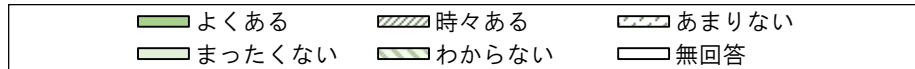
### 4. 学校またはクラスであること

問4 あなたの学校、または、クラスで、次の項目についてどのようなですか。

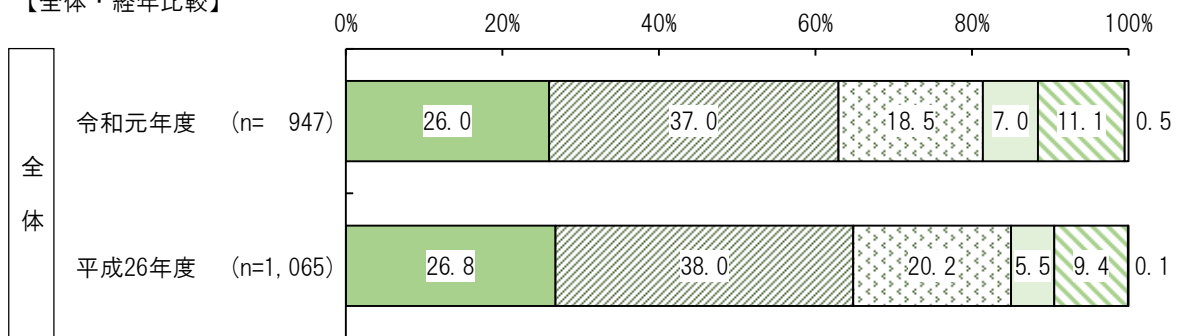
(それぞれ1つに○)

#### ①男子が女子をからかう

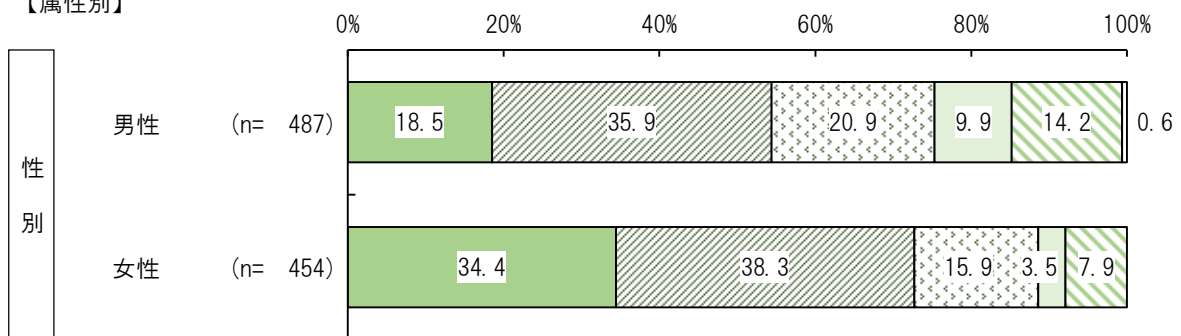
男子が女子をからかうでは、「時々ある」が37.0%と最も多く、次いで「よくある」が26.0%、「あまりない」が18.5%などとなっています。



#### 【全体・経年比較】



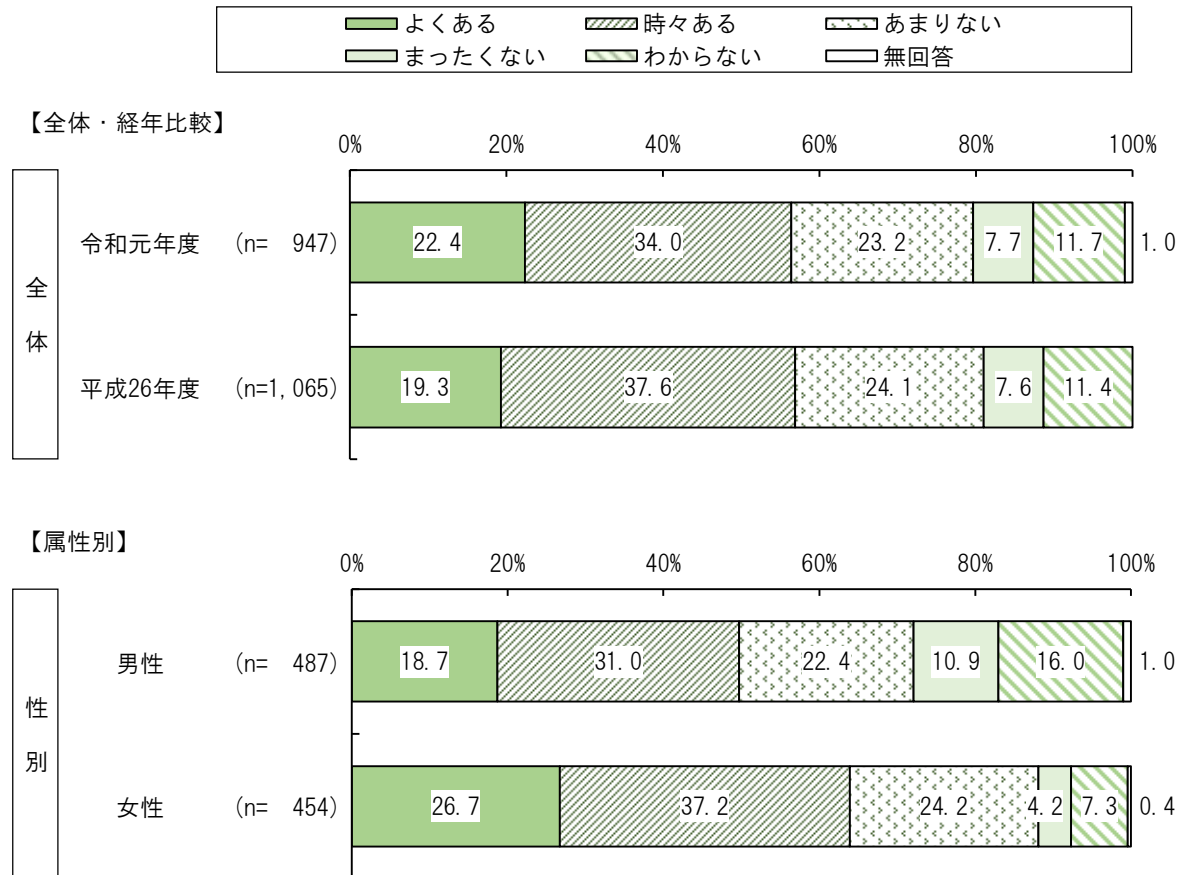
#### 【属性別】



## 4. 学校またはクラスであること

## ②女子が男子をからかう

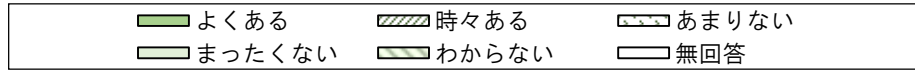
女子が男子をからかうでは、「時々ある」が34.0%と最も多く、次いで「あまりない」が23.2%、「よくある」が22.4%などとなっています。



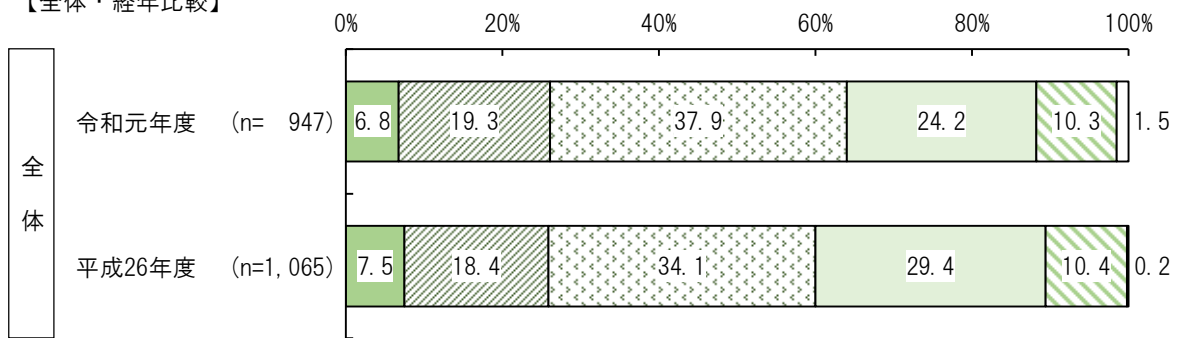
#### 4. 学校またはクラスであること

##### ③異性の子と話しにくい雰囲気がある

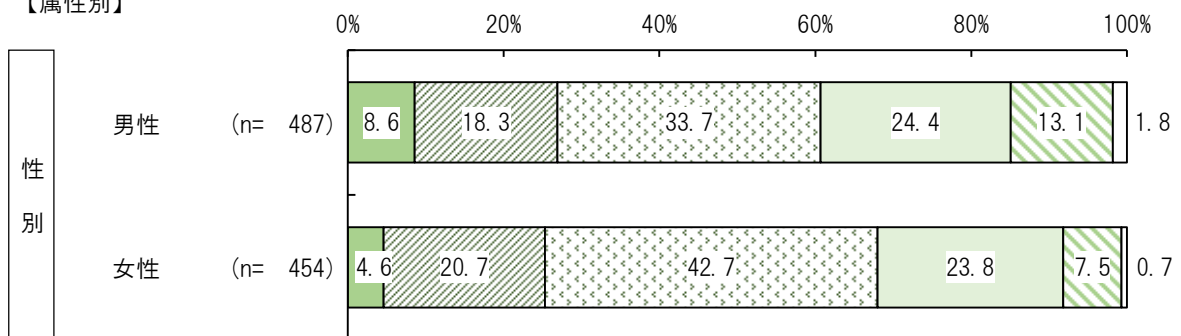
異性の子と話しにくい雰囲気があるでは、「あまりない」が37.9%と最も多く、次いで「まったくない」が24.2%、「時々ある」が19.3%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

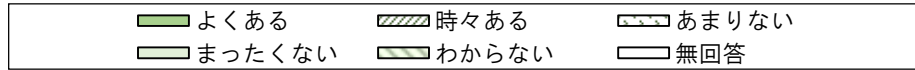




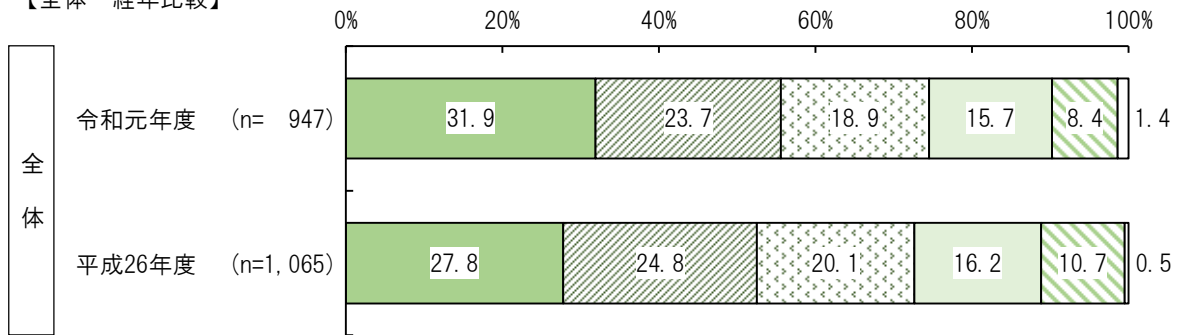
#### 4. 学校またはクラスであること

##### ④女子は「さん」、男子は「くん」づけで先生が話す

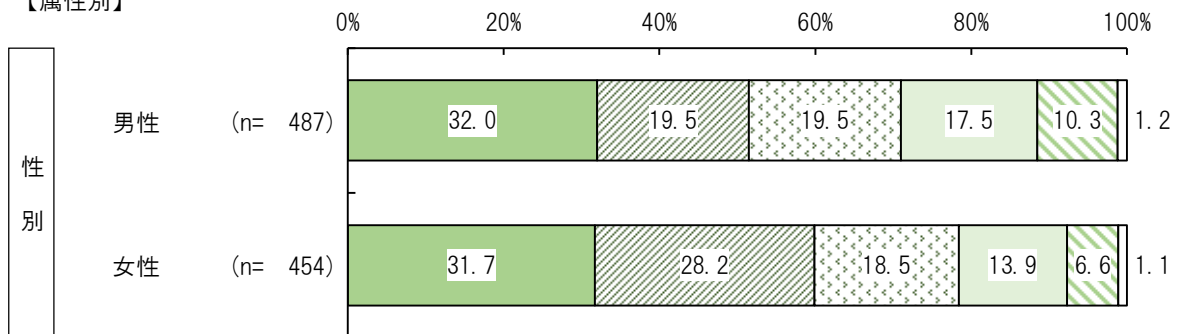
女子は「さん」、男子は「くん」づけで先生が話すでは、「よくある」が31.9%と最も多く、次いで「時々ある」が23.7%、「あまりない」が18.9%などとなっています。



【全体・経年比較】



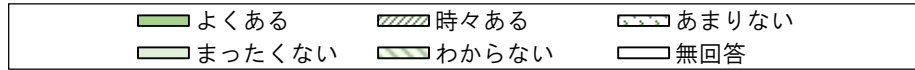
【属性別】



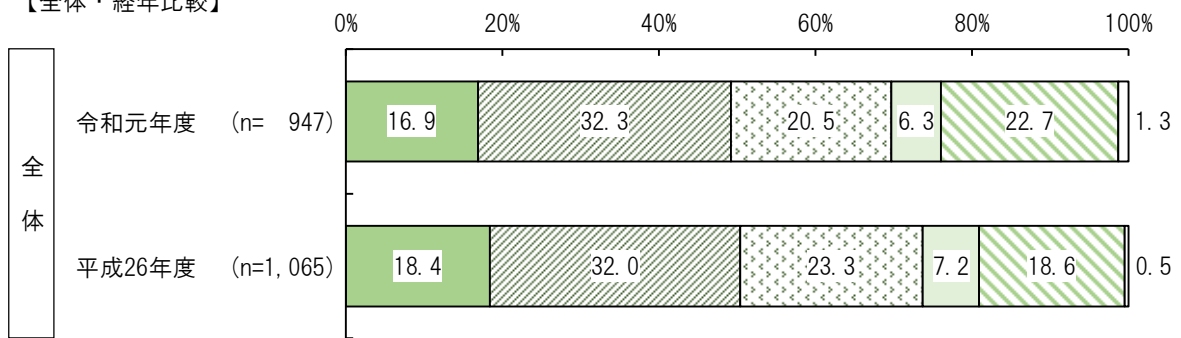
#### 4. 学校またはクラスであること

##### ⑤細かい整理整頓は女子、力仕事は男子がする

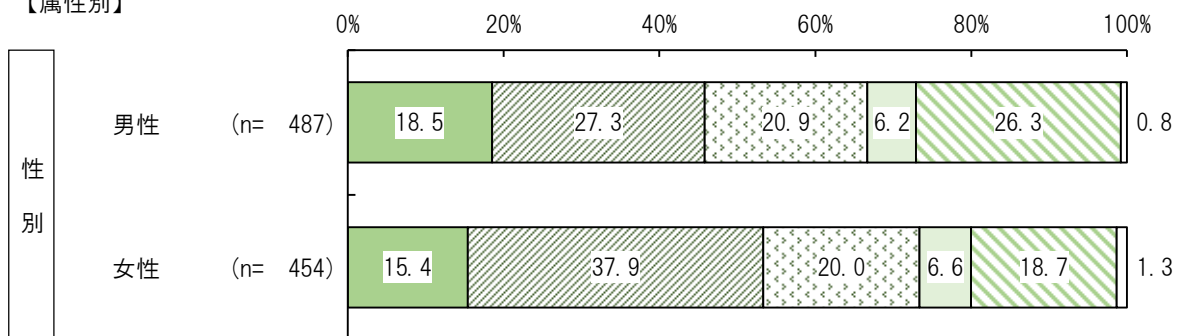
細かい整理整頓は女子、力仕事は男子がするでは、「時々ある」が32.3%と最も多く、次いで「わからない」が22.7%、「あまりない」が20.5%などとなっています。



【全体・経年比較】



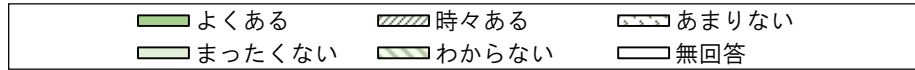
【属性別】



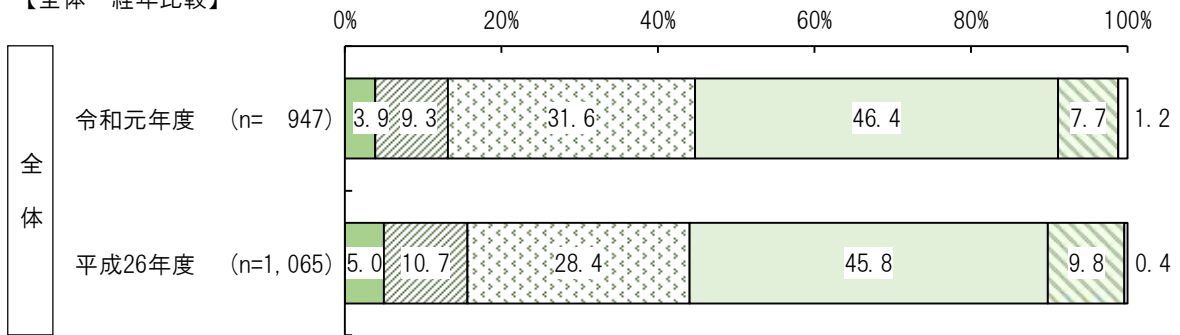
#### 4. 学校またはクラスであること

##### ⑥異性の先生と話しにくい

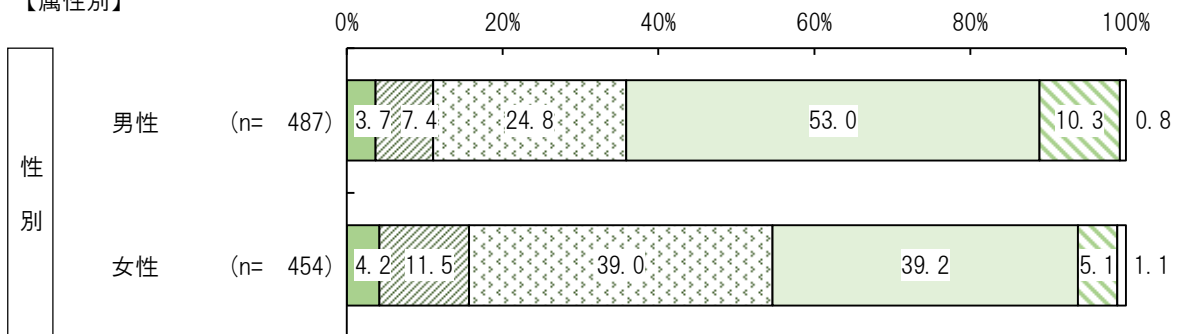
異性の先生と話しにくいでは、「まったくない」が46.4%と最も多く、次いで「あまりない」が31.6%、「時々ある」が9.3%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

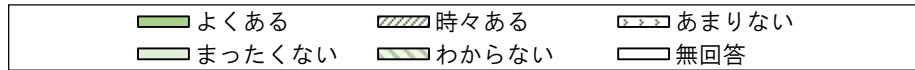


#### 4. 学校またはクラスであること

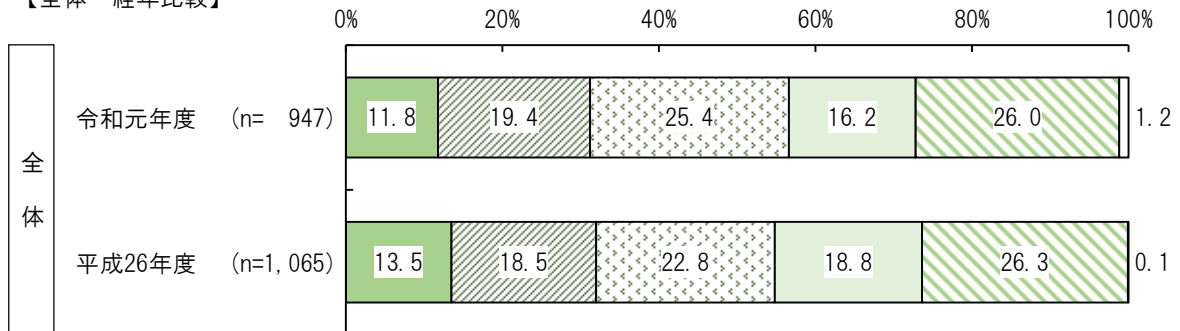
##### ⑦悩みなどは同性の先生に相談する

悩みなどは同性の先生に相談するでは、「わからない」が26.0%と最も多く、次いで「あまりない」が25.4%、「時々ある」が19.4%などとなっています。

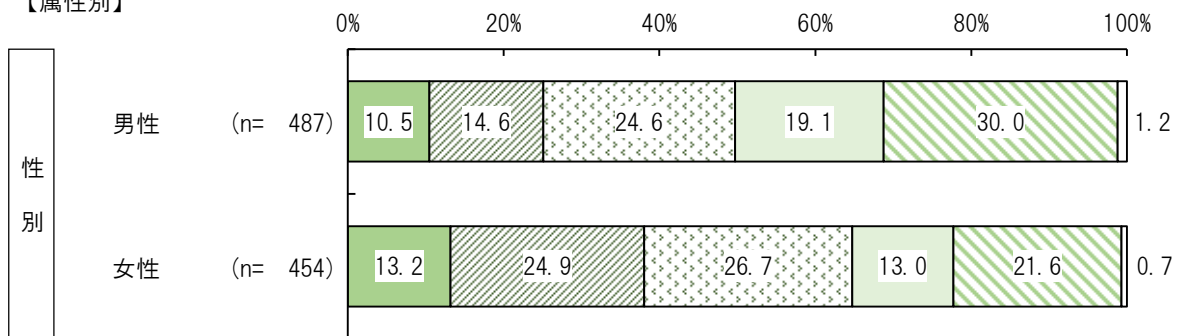
性別にみると、「女性」では「あまりない」が26.7%と最も多くなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



## 5. 適していると思う性別

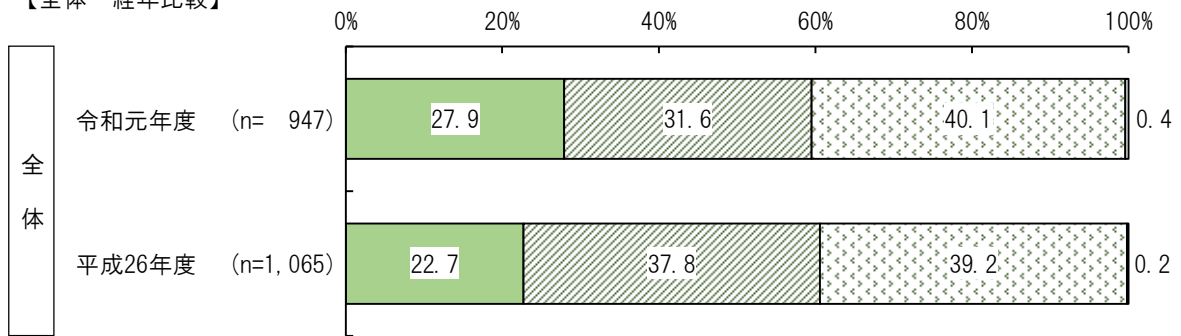
問5 次のことは、男女のどちらに適していると思いますか。 (それぞれ1つに○)

### ①生徒会の会長

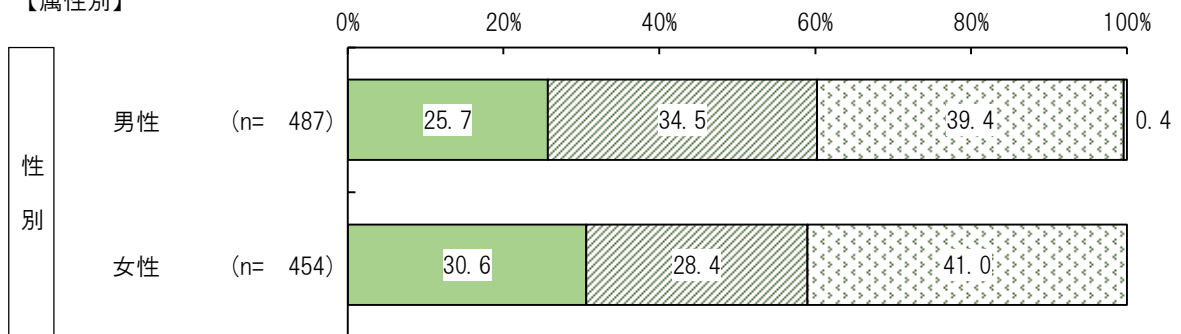
生徒会の会長では、「女子の方」が27.9%、「男子の方」が31.6%、「どちらともいえない」が40.1%となっています。



#### 【全体・経年比較】



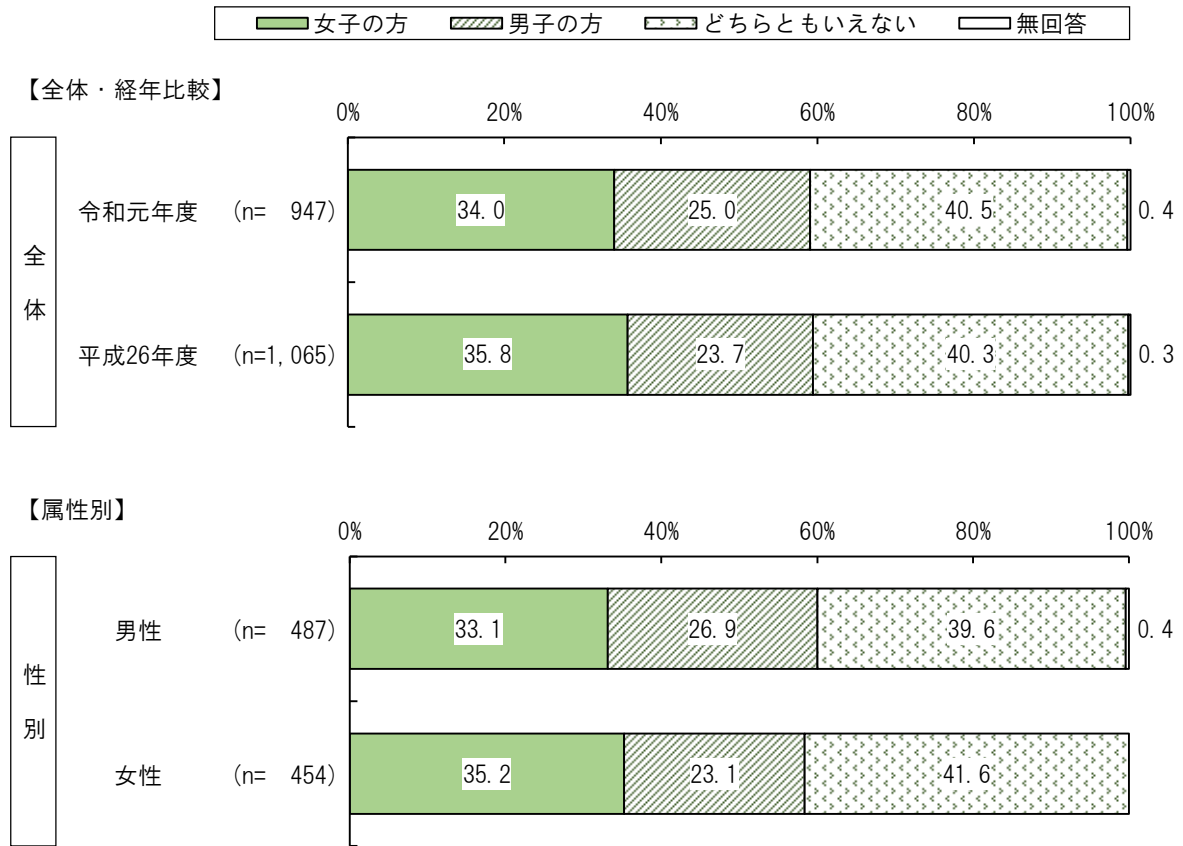
#### 【属性別】



## 5. 適していると思う性別

### ②生徒会の副会長

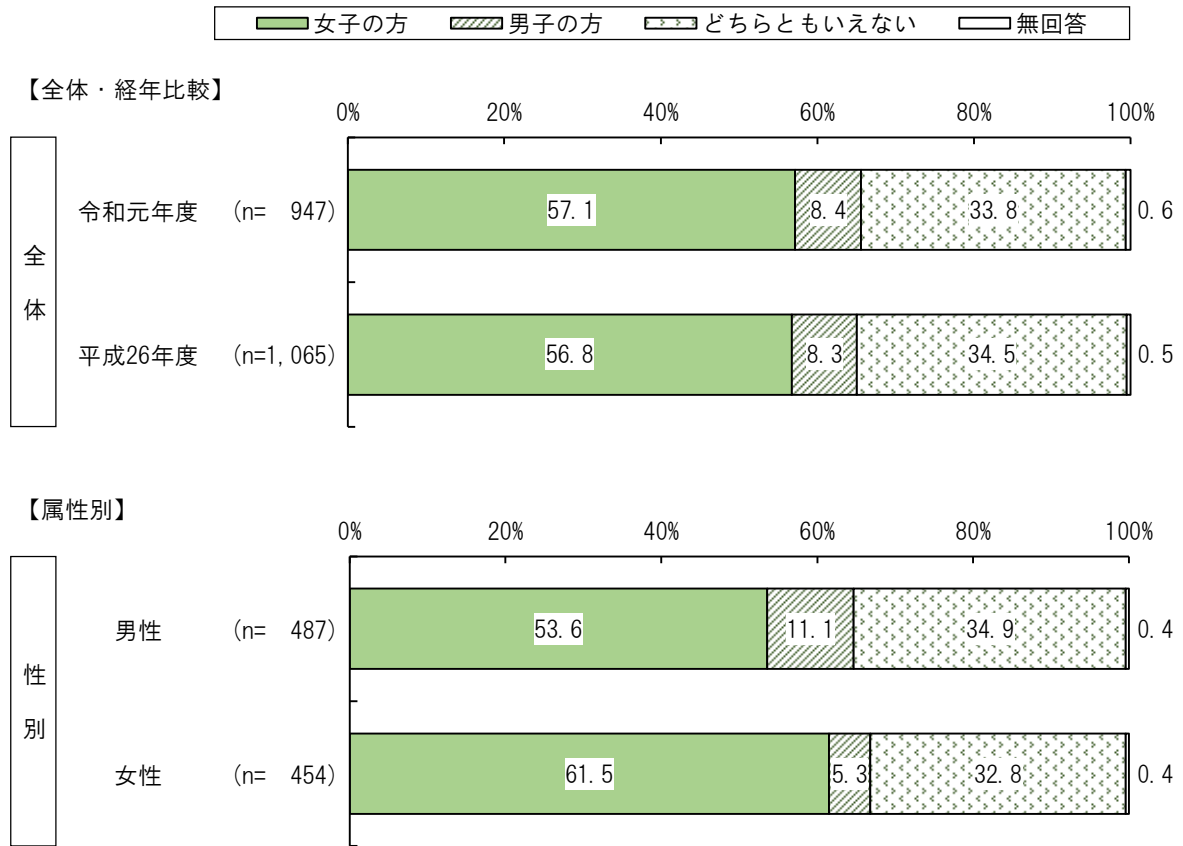
生徒会の副会長では、「女子の方」が34.0%、「男子の方」が25.0%、「どちらともいえない」が40.5%となっています。



## 5. 適していると思う性別

## ③生徒会の書記（総務）

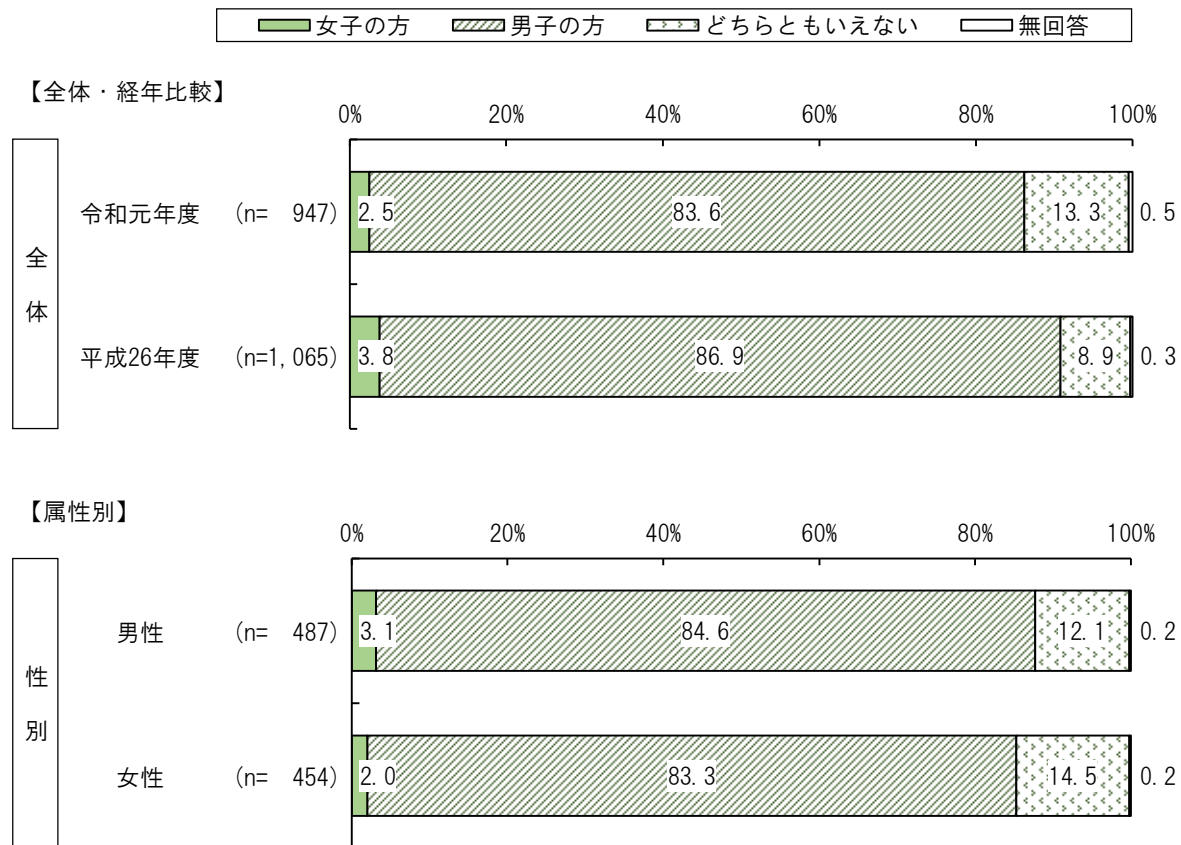
生徒会の書記（総務）では、「女子の方」が57.1%、「男子の方」が8.4%、「どちらともいえない」が33.8%となっています。



## 5. 適していると思う性別

### ④ 応援団長

応援団長では、「女子の方」が2.5%、「男子の方」が83.6%、「どちらともいえない」が13.3%となっています。

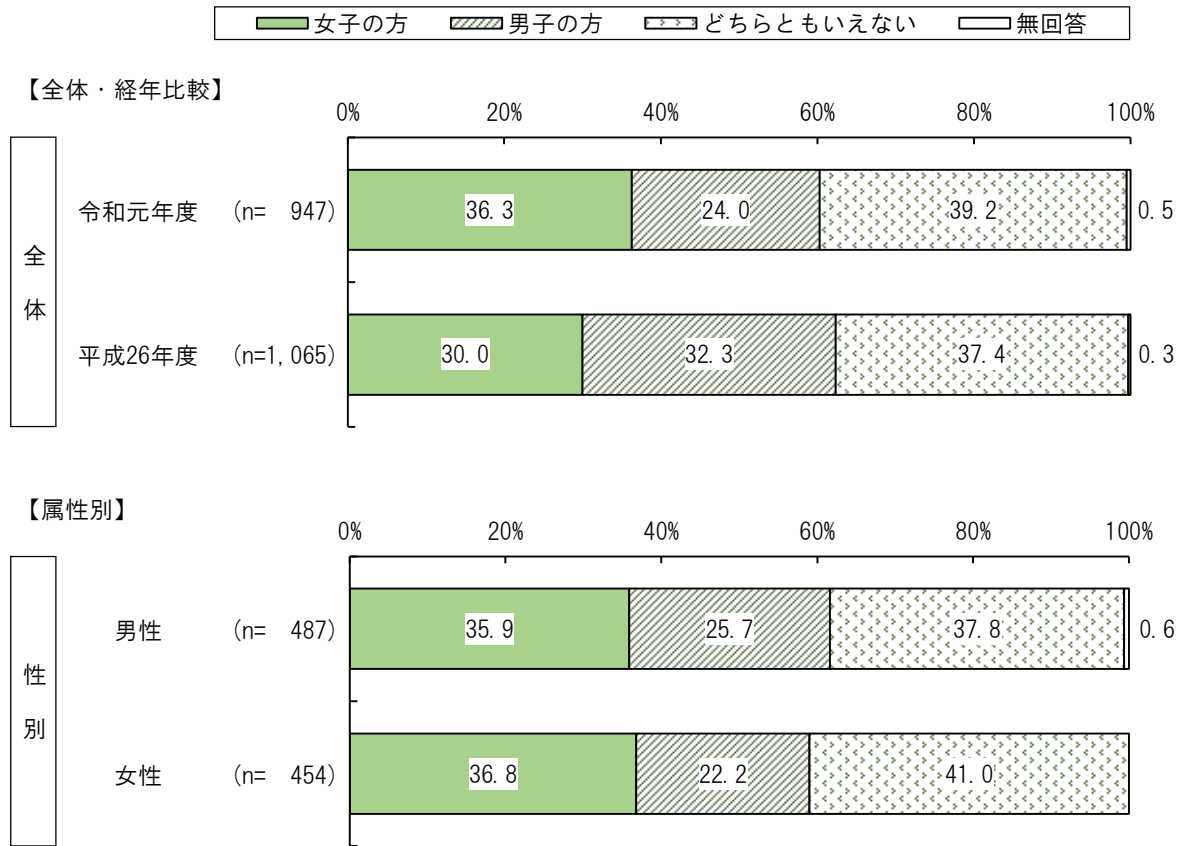




## 5. 適していると思う性別

### ⑤合唱の指揮者

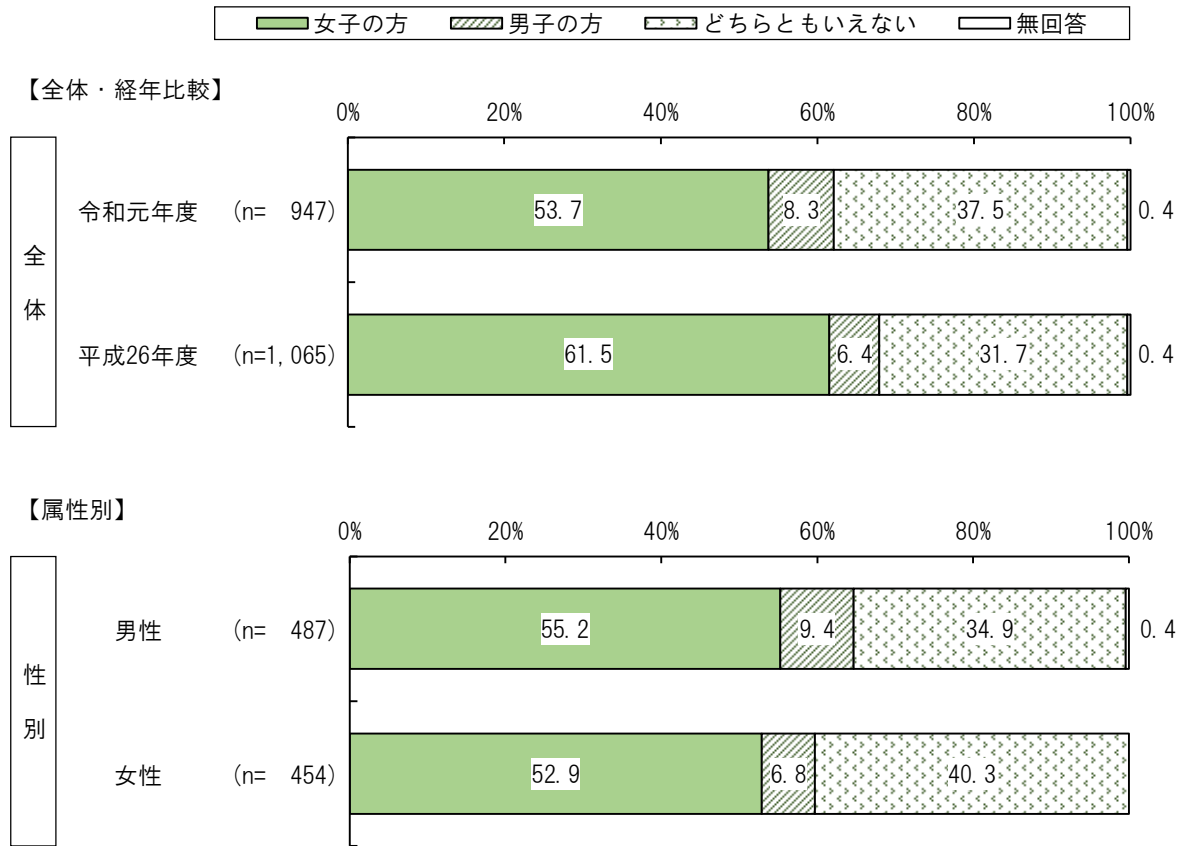
合唱の指揮者では、「女子の方」が36.3%、「男子の方」が24.0%、「どちらともいえない」が39.2%となっています。



## 5. 適していると思う性別

### ⑥合唱の伴奏者

合唱の伴奏者では、「女子の方」が53.7%、「男子の方」が8.3%、「どちらともいえない」が37.5%となっています。



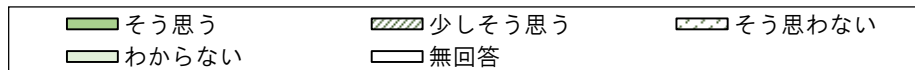
## 6. 技術・家庭科の授業で思うこと

問6 技術・家庭科の授業について、次の中からあてはまるものを選んでください。

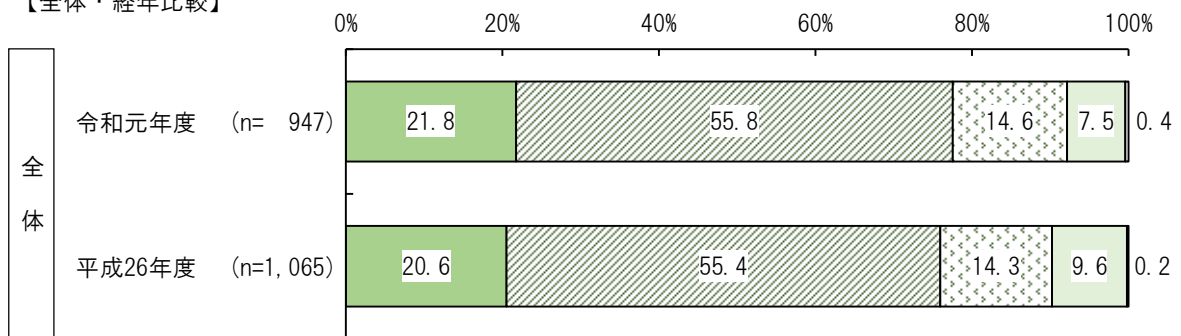
(それぞれ1つに○)

### ①技術・家庭科を学習して、自分の生活や社会に対しての問題意識を持つようになった

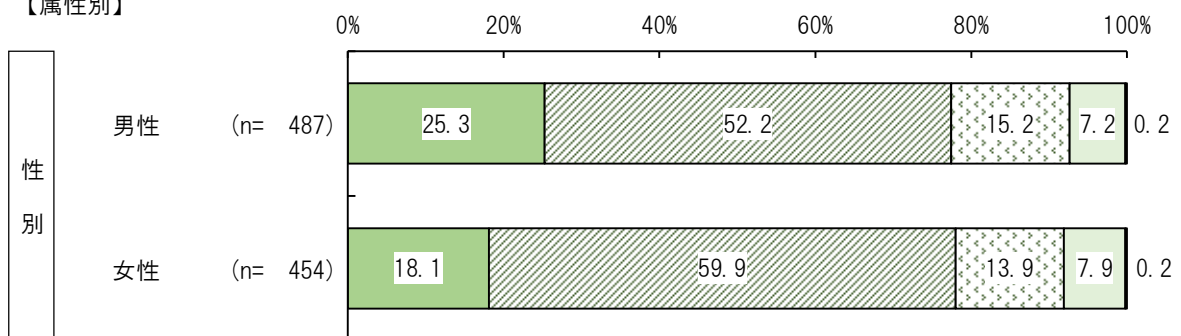
技術・家庭科を学習して、自分の生活や社会に対しての問題意識を持つようになったでは、「そう思う」が21.8%、「少しそう思う」が55.8%、「そう思わない」が14.6%、「わからない」が7.5%となっています。



#### 【全体・経年比較】



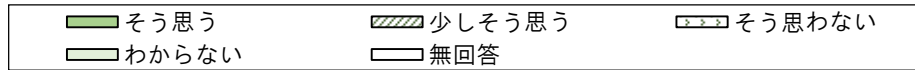
#### 【属性別】



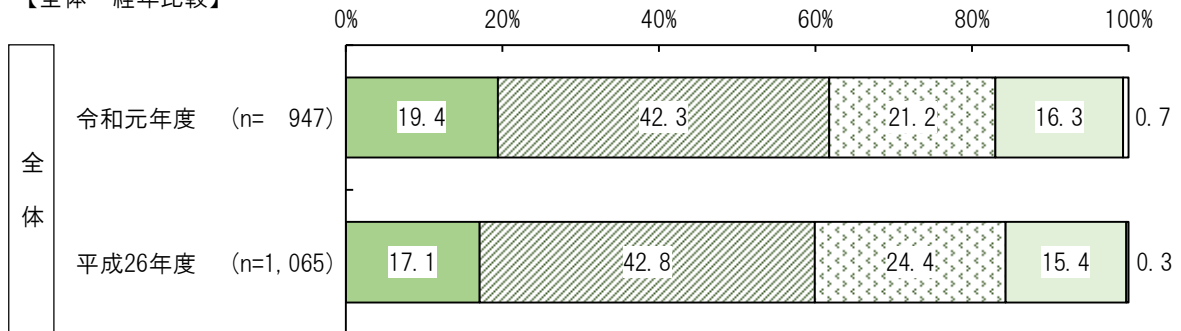
## 6. 技術・家庭科の授業で思うこと

### ②技術・家庭科を学習することによって、今後、家事に取り組む男性が増えるようになる

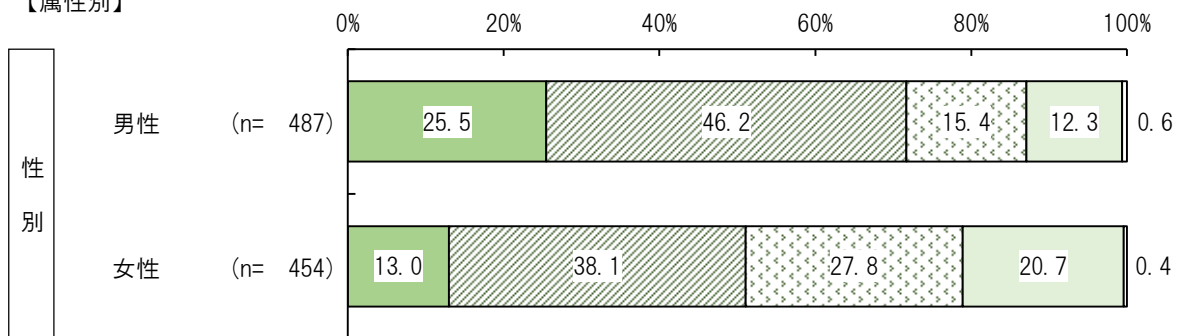
技術・家庭科を学習することによって、今後、家事に取り組む男性が増えるようになるでは、「そう思う」が19.4%、「少しそう思う」が42.3%、「そう思わない」が21.2%、「わからない」が16.3%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



### （3）友達との関係について

#### 7. 好きな異性に希望すること

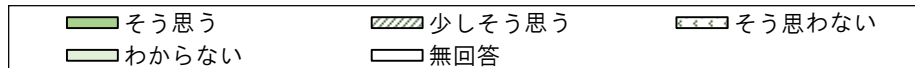
問7 次の項目で、あなたに対して、好きな異性に、とってほしいと思うことを選んでください。  
（それぞれ1つに○）

##### ①メール・SNSには、すぐ返信する

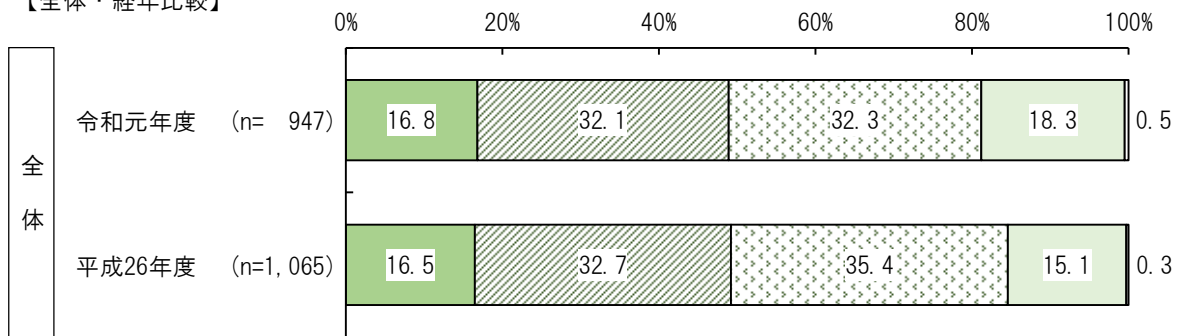
\*平成26年度では「メールにはすぐ返信する（べき）」

メール・SNSには、すぐ返信するでは、「そう思う」が16.8%、「少しそう思う」が32.1%、「そう思わない」が32.3%、「わからない」が18.3%となっています。

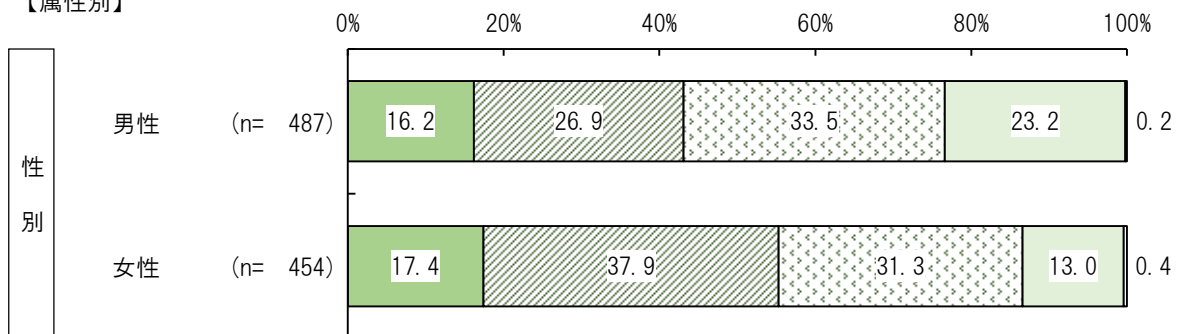
性別にみると、“女性”では「少しそう思う」が37.9%と最も多くなっています。



【全体・経年比較】



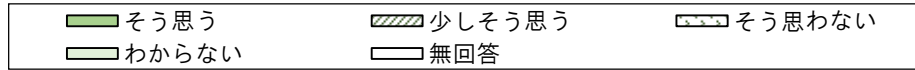
【属性別】



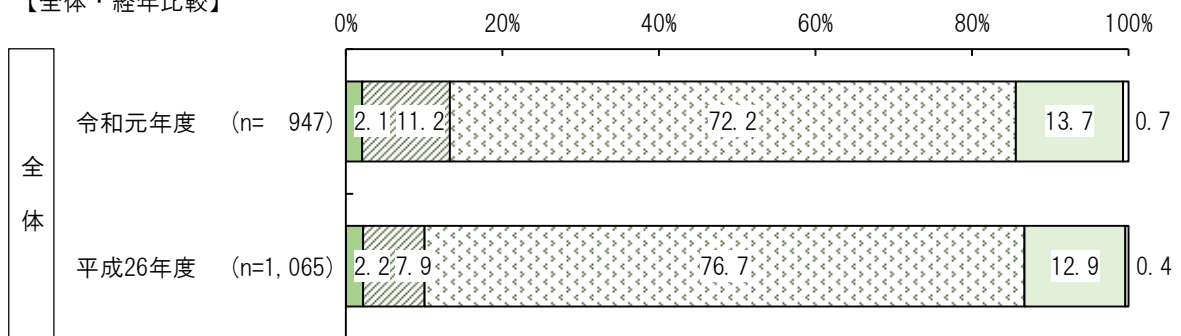
## 7. 好きな異性に希望すること

### ②異性の友達とは話さない

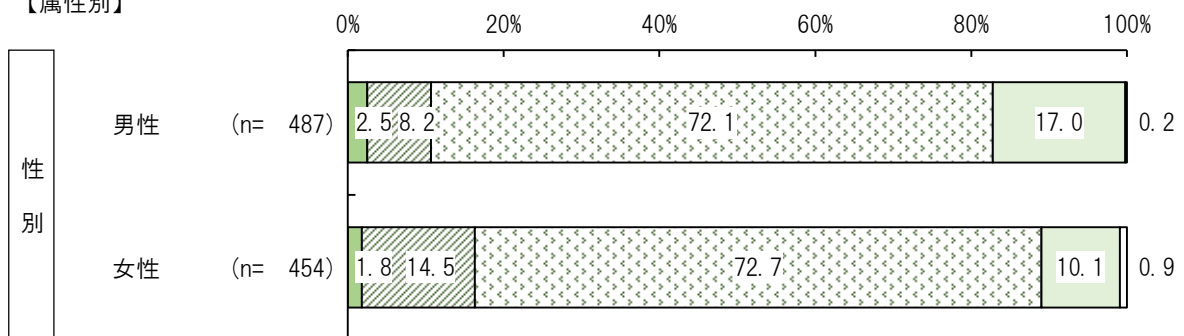
異性の友達とは話さないでは、「そう思う」が2.1%、「少しそう思う」が11.2%、「そう思わない」が72.2%、「わからない」が13.7%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

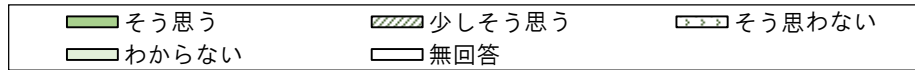


## 7. 好きな異性に希望すること

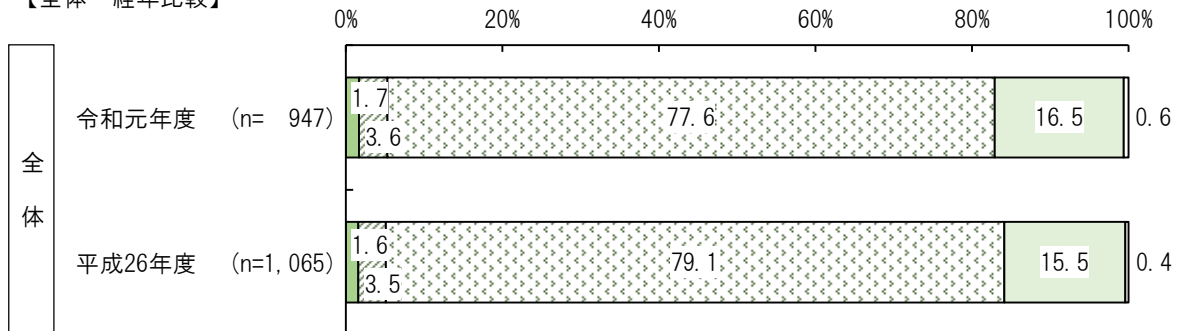
### ③異性の友達のアドレス・フレンドは消す

\*平成26年度では「異性の友達のアドレスは消す（べき）」

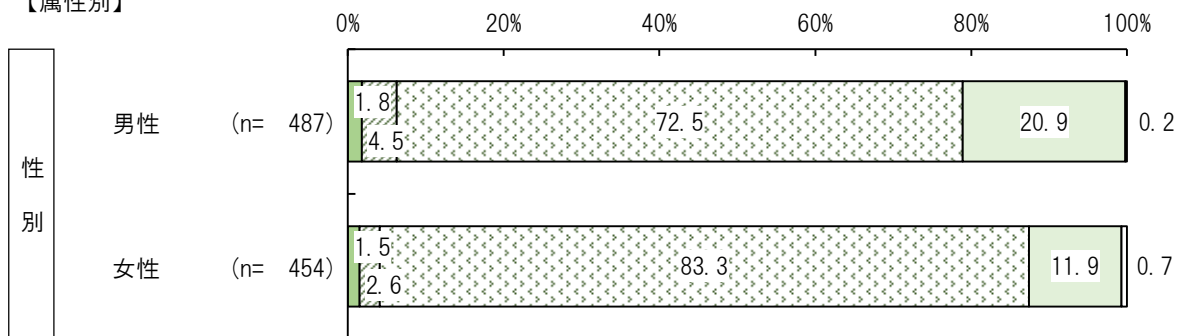
異性の友達のアドレス・フレンドは消すでは、「そう思う」が1.7%、「少しそう思う」が3.6%、「そう思わない」が77.6%、「わからない」が16.5%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

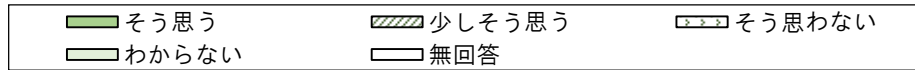


## 7. 好きな異性に希望すること

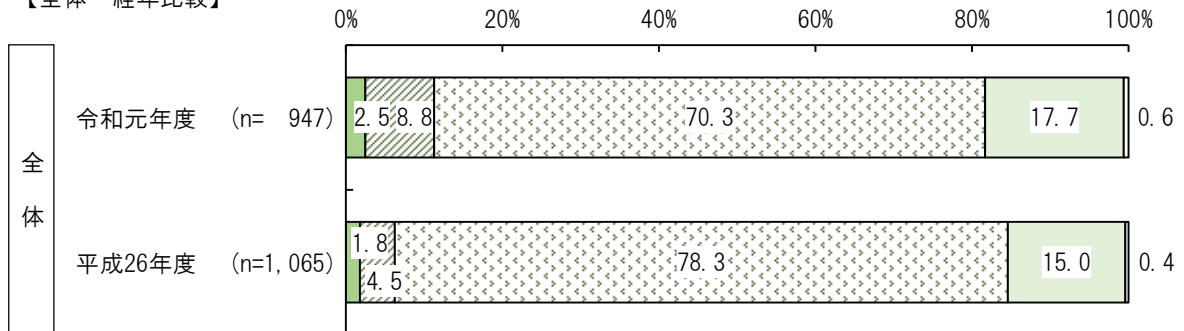
### ④自分の言ったとおりにする

\*平成26年度では「自分の言ったとおりにする(べき)」

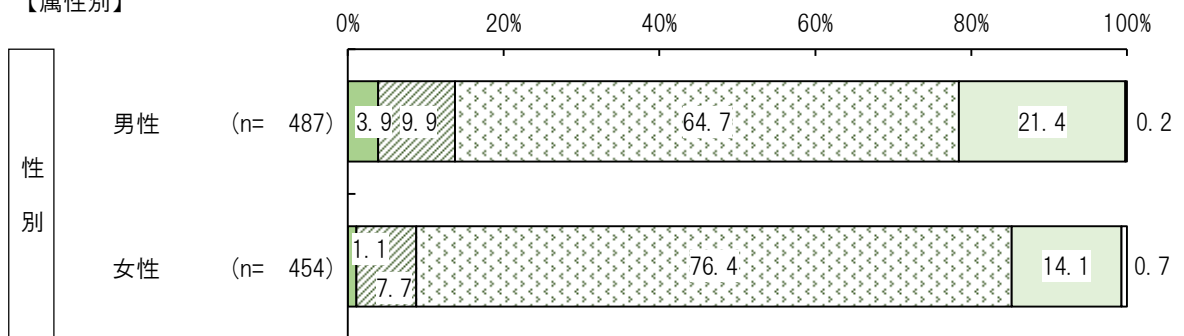
自分の言ったとおりにするでは、「そう思う」が2.5%、「少しそう思う」が8.8%、「そう思わない」が70.3%、「わからない」が17.7%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

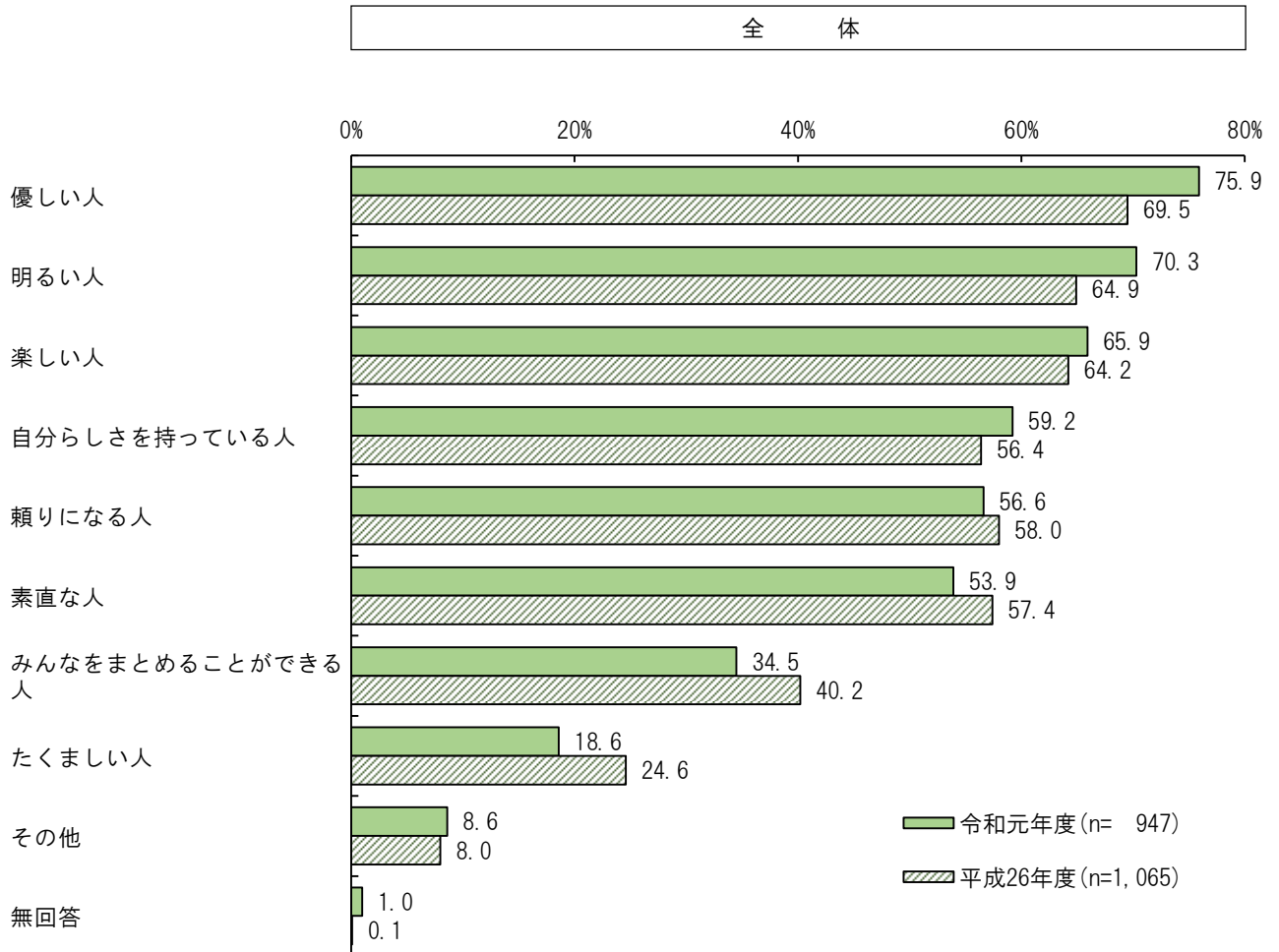




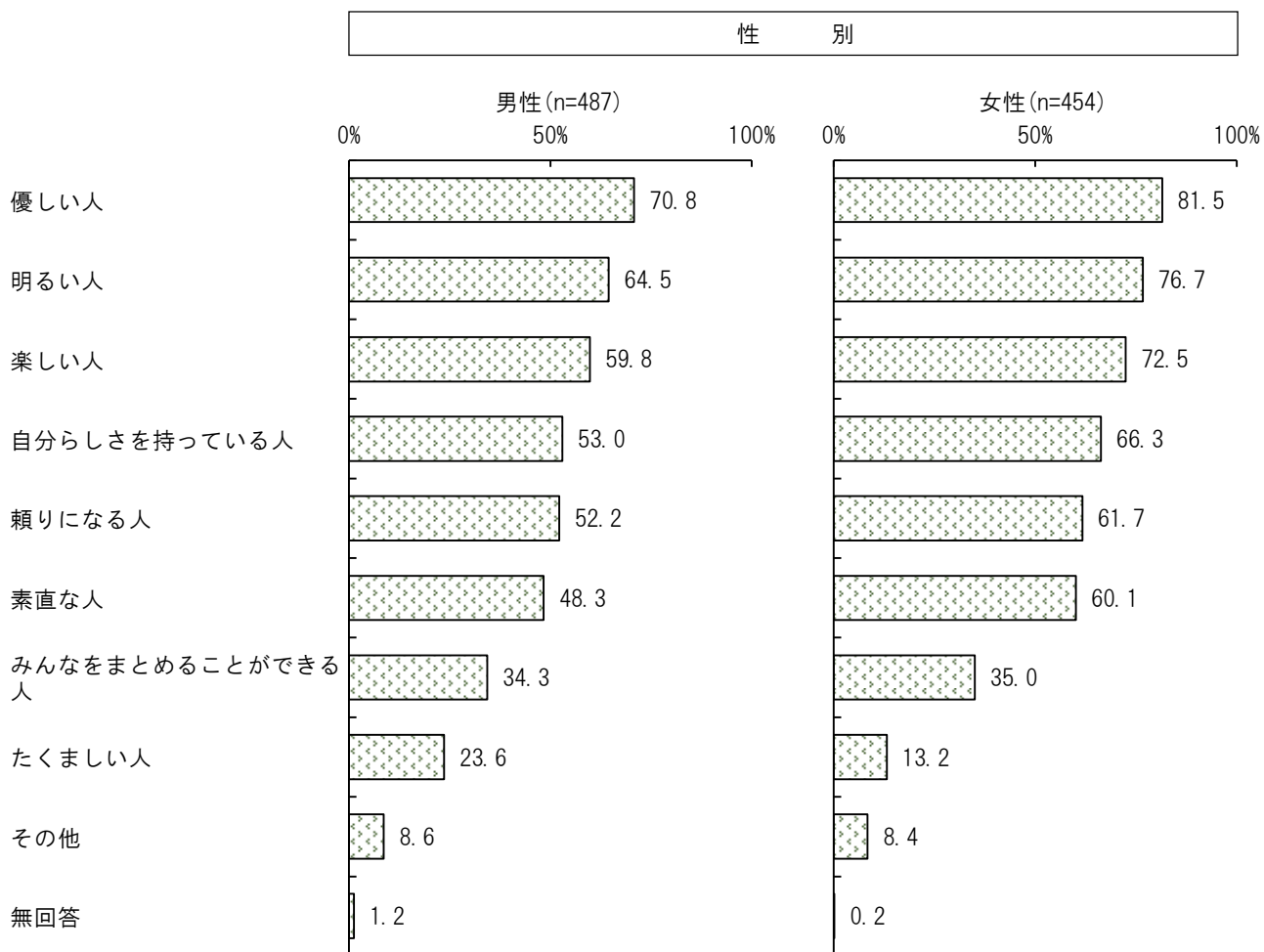
## 8. 自分がなりたいタイプ

問8 次の項目で、自分がなりたいタイプを選んでください。（〇はいくつでも）

自分がなりたいタイプでは、「優しい人」が75.9%と最も多く、次いで「明るい人」が70.3%、「楽しい人」が65.9%などとなっています。



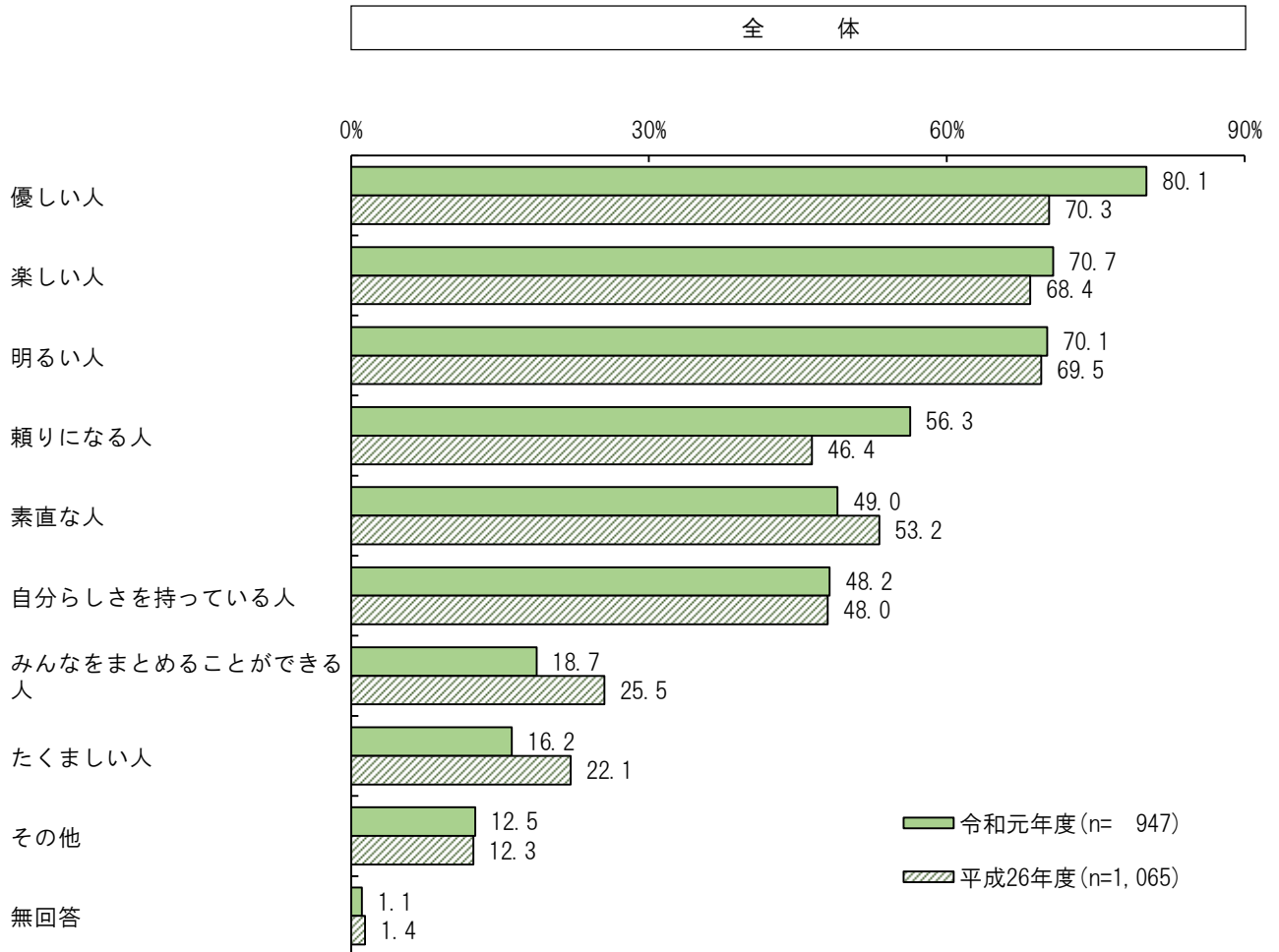
## 8. 自分になりたいタイプ



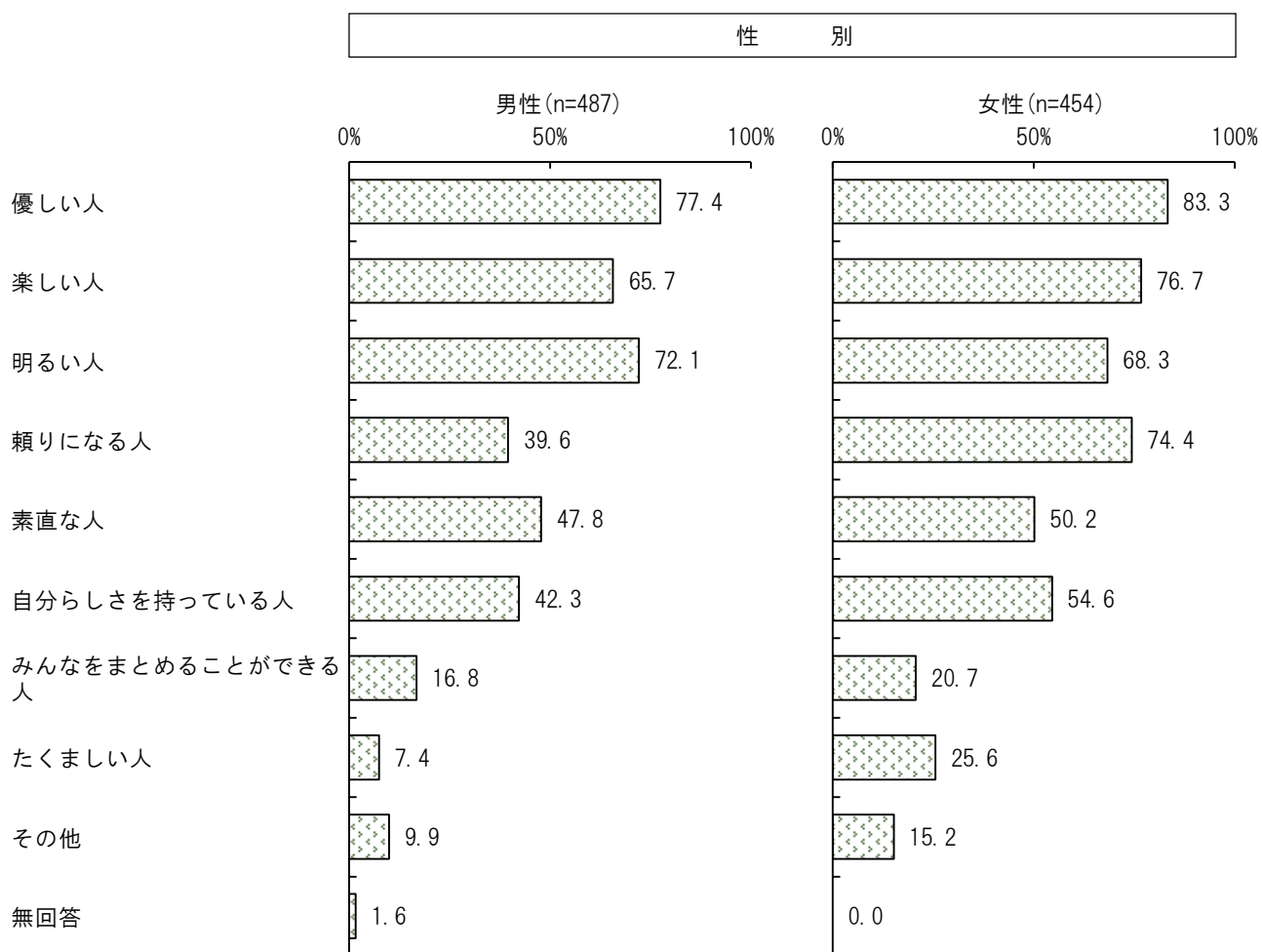
## 9. 好きな異性の友達のタイプ

問9 次の項目で、好きな異性の友達のタイプを選んでください。（〇はいくつでも）

好きな異性の友達のタイプでは、「優しい人」が80.1%と最も多く、次いで「楽しい人」が70.7%、「明るい人」が70.1%などとなっています。



## 9. 好きな異性の友達のタイプ



(4) 親との関係について

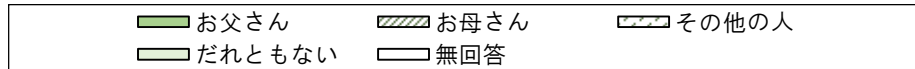
10. いちばんあてはまると思う人

問10 次の項目で、いちばんあてはまると思う人を選んでください。（それぞれ1つに○）

① 友達のことについて話をする

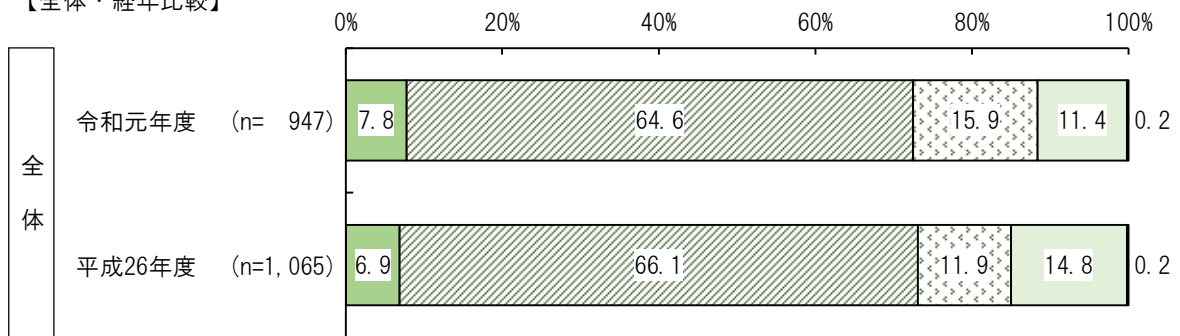
\*平成26年度では「あなたが友達のことについて話をする人」

友達のことについて話をするでは、「お父さん」が7.8%、「お母さん」が64.6%、「その他の人」が15.9%、「だれともない」が11.4%となっています。

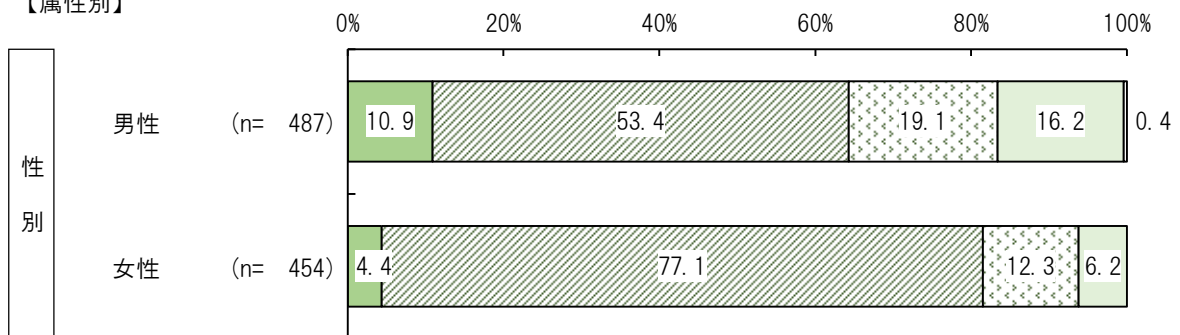


\* 選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」  
 \* 選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」  
 \* 選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」  
 \* 選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

【全体・経年比較】



【属性別】



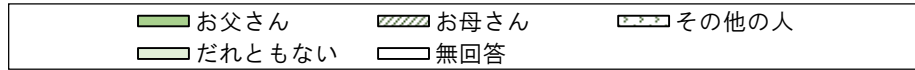
## 10. いちばんあてはまると思う人

### ②社会の出来事について話をする

\*平成26年度では「あなたが社会の出来事について話をする人」

社会の出来事について話をするでは、「お父さん」が30.3%、「お母さん」が29.4%、「その他の人」が13.3%、「だれともない」が26.5%となっています。

性別にみると、“女性”では「お母さん」が35.7%と最も多くなっています。



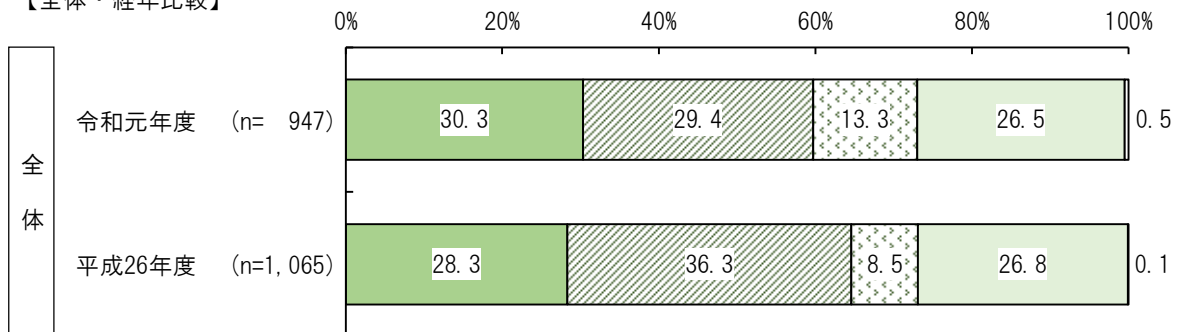
\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」

\*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」

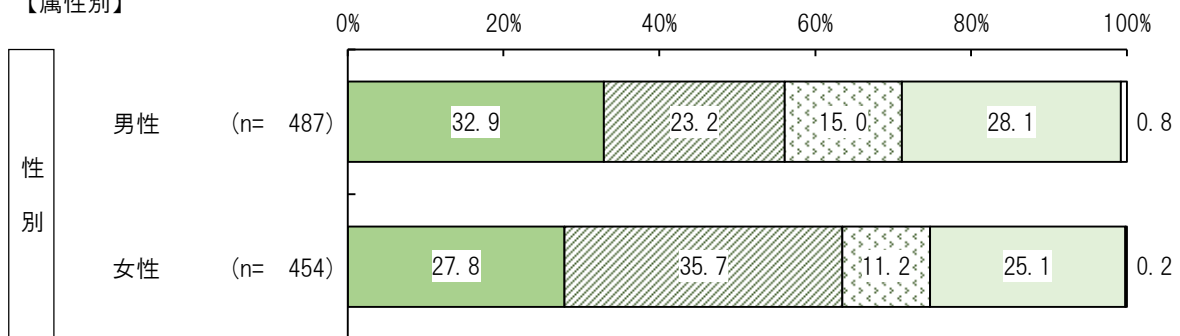
\*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」

\*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

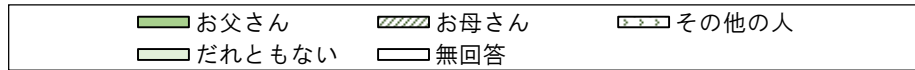


## 10. いちばんあてはまると思う人

### ③異性のことについて話をする

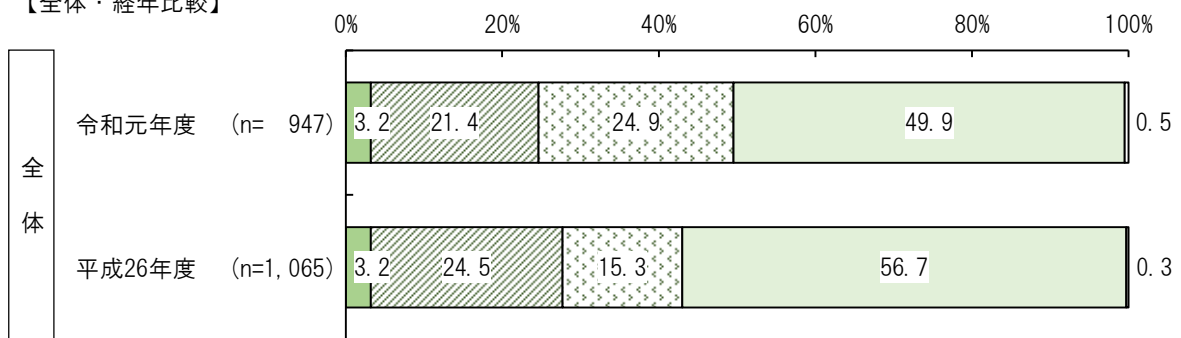
\*平成26年度では「あなたが異性のことについて話をする人」

異性のことについて話をするでは、「お父さん」が3.2%、「お母さん」が21.4%、「その他の人」が24.9%、「だれともない」が49.9%となっています。

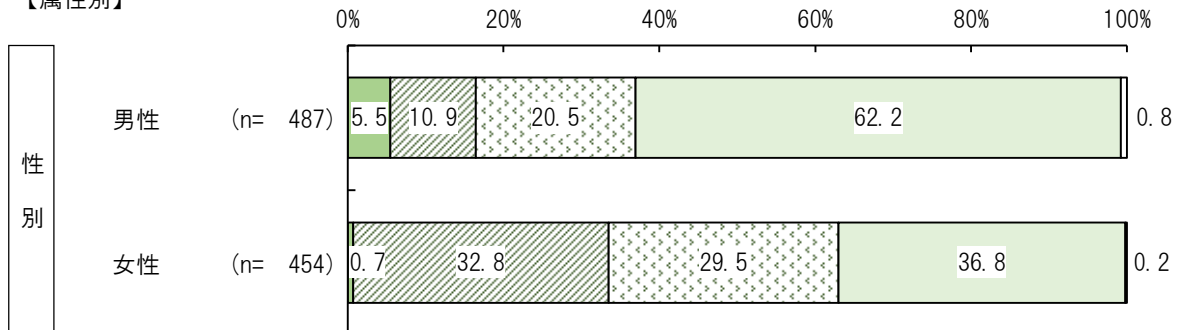


\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」  
 \*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」  
 \*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」  
 \*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

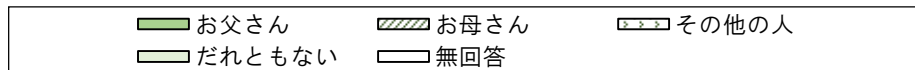


## 10. いちばんあてはまると思う人

### ④勉強を教えてくれる

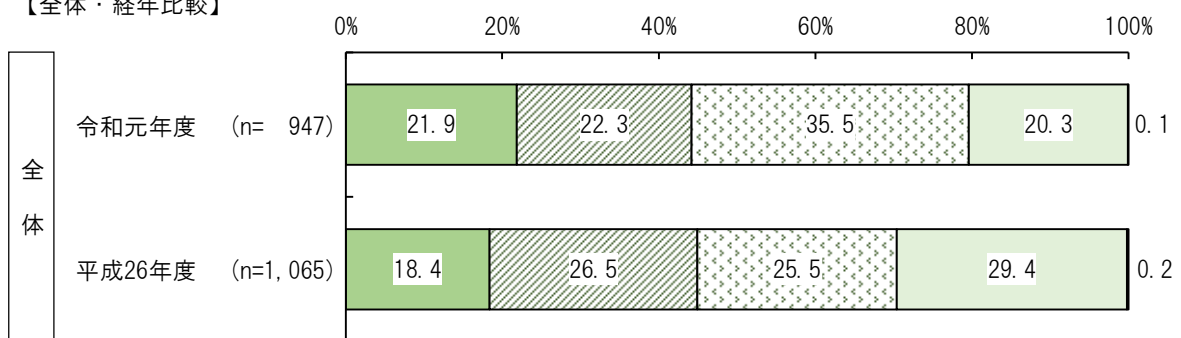
\*平成26年度では「あなたに勉強を教えてくれる人」

勉強を教えてくれるでは、「お父さん」が21.9%、「お母さん」が22.3%、「その他の人」が35.5%、「だれともない」が20.3%となっています。

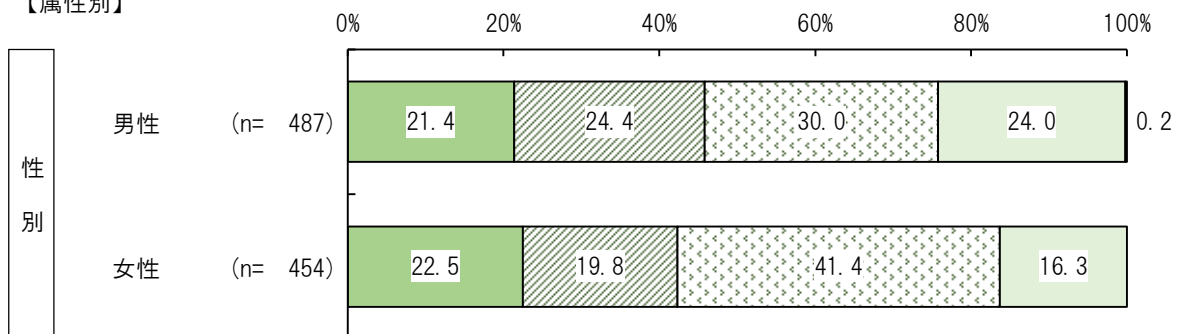


\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」  
 \*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」  
 \*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」  
 \*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】



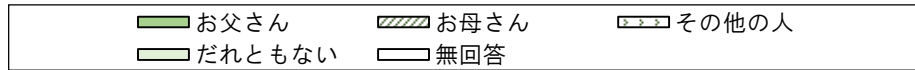


## 10. いちばんあてはまると思う人

### ⑤手伝いをする

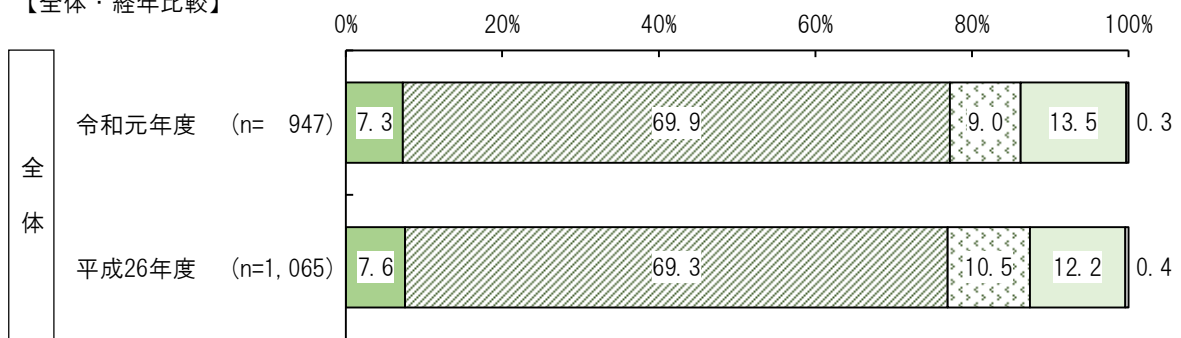
\*平成26年度では「あなたは誰の手伝いをしますか」

手伝いをするでは、「お父さん」が7.3%、「お母さん」が69.9%、「その他の人」が9.0%、「だれともない」が13.5%となっています。

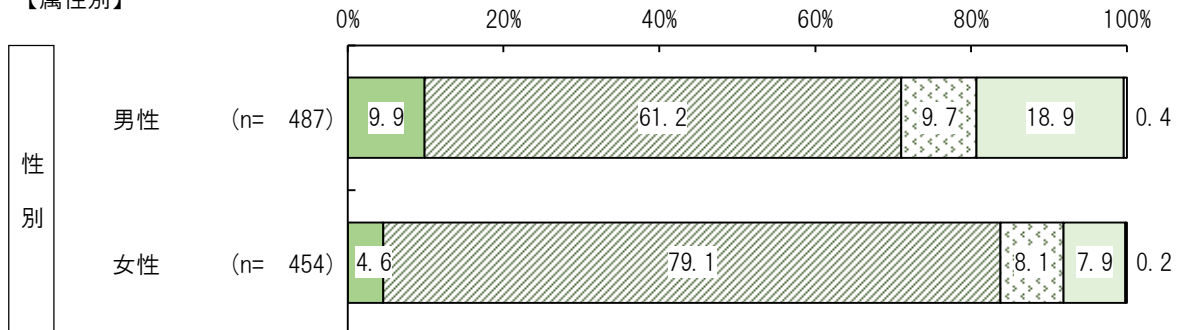


\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」  
 \*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」  
 \*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」  
 \*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】



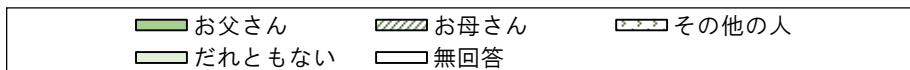
## 10. いちばんあてはまると思う人

### ⑥一緒にテレビを見る

\*平成26年度では「あなたが一緒にテレビを見る人」

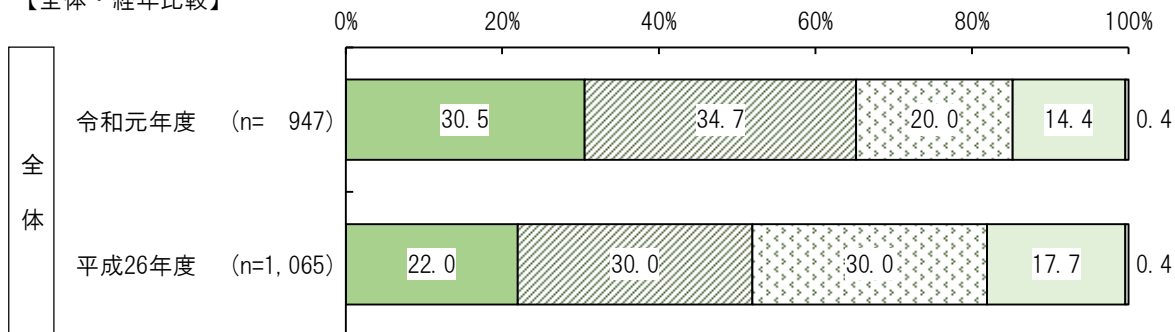
一緒にテレビを見るでは、「お父さん」が30.5%、「お母さん」が34.7%、「その他の人」が20.0%、「だれともない」が14.4%となっています。

性別にみると、“男性”では「お父さん」が36.8%と最も多くなっています。



\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」  
 \*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」  
 \*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」  
 \*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

【全体・経年比較】



【属性別】

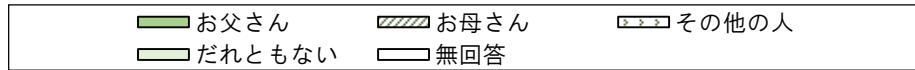


## 10. いちばんあてはまると思う人

### ⑦一緒に買い物に出かける

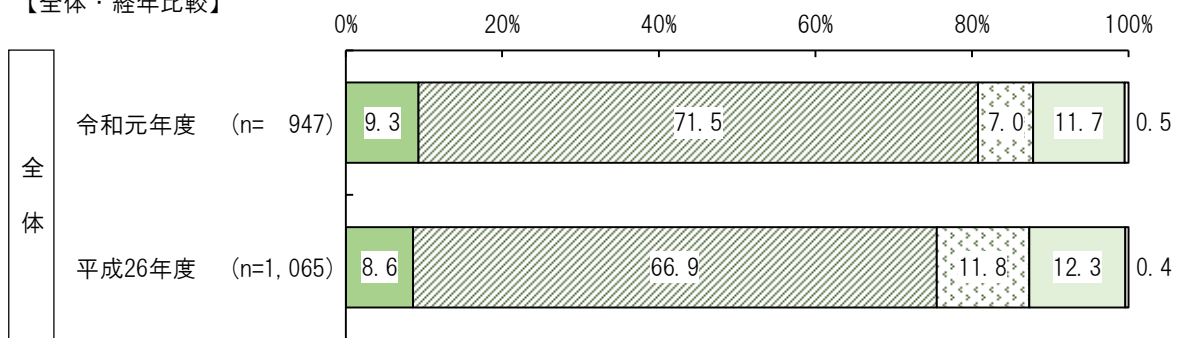
\*平成26年度では「あなたが一緒に買い物に出かける人」

一緒に買い物に出かけるでは、「お父さん」が9.3%、「お母さん」が71.5%、「その他の人」が7.0%、「だれともない」が11.7%となっています。

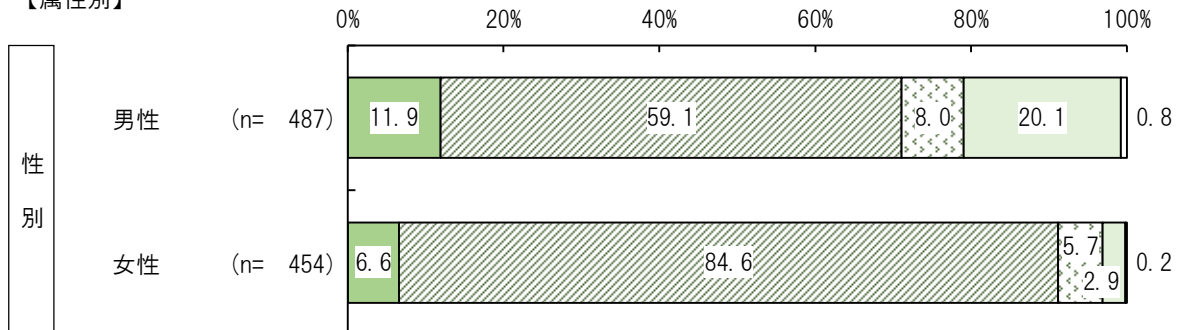


\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」  
 \*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」  
 \*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」  
 \*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

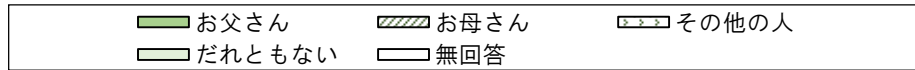


## 10. いちばんあてはまると思う人

### ⑧休日に一緒に遊ぶ

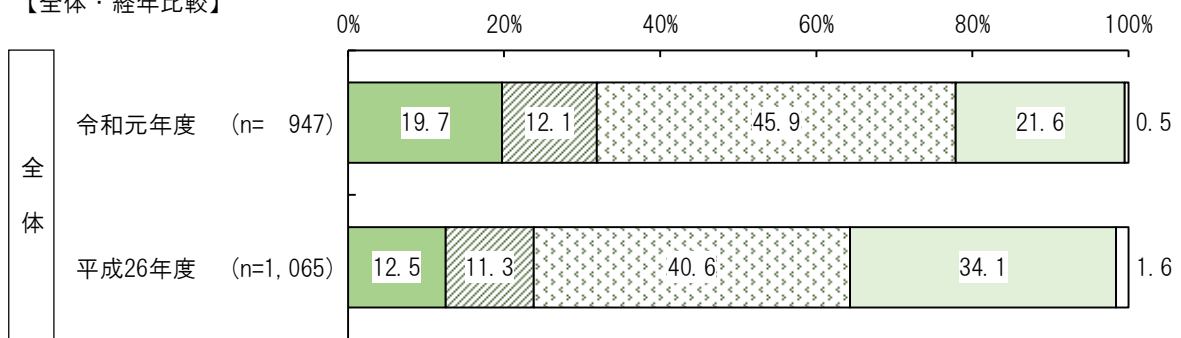
\*平成26年度では「あなたが休日に一緒に遊ぶ人」

休日に一緒に遊ぶでは、「お父さん」が19.7%、「お母さん」が12.1%、「その他の人」が45.9%、「だれともない」が21.6%となっています。

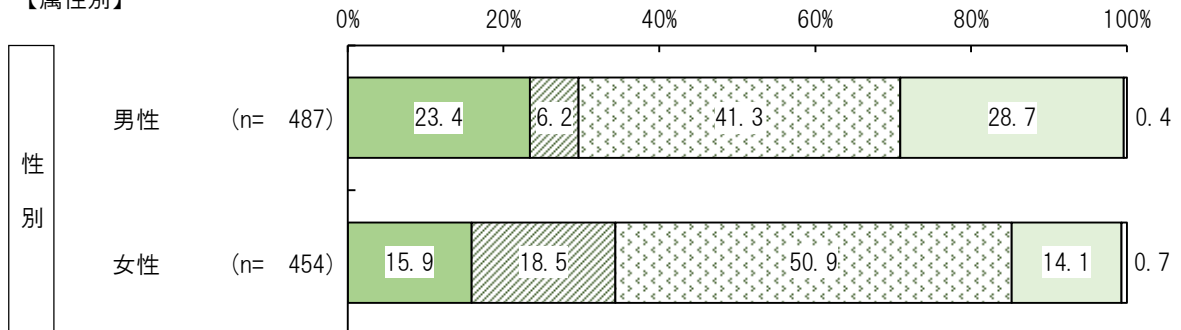


\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」  
 \*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」  
 \*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」  
 \*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

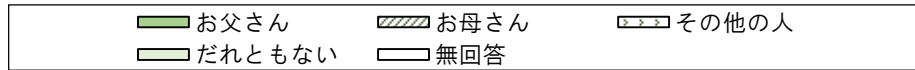


## 10. いちばんあてはまると思う人

### ⑨ほめられる

\*平成26年度では「あなたをほめる人」

ほめられるでは、「お父さん」が25.3%、「お母さん」が52.7%、「その他の人」が8.8%、「だれともない」が12.8%となっています。



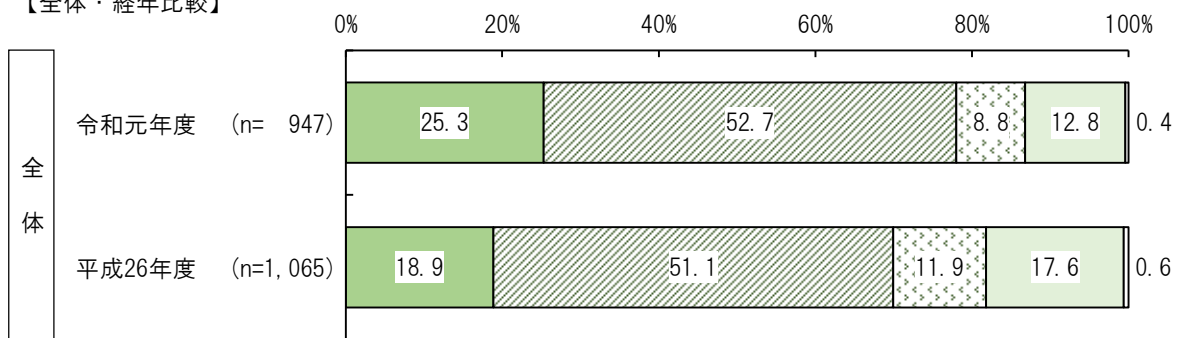
\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」

\*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」

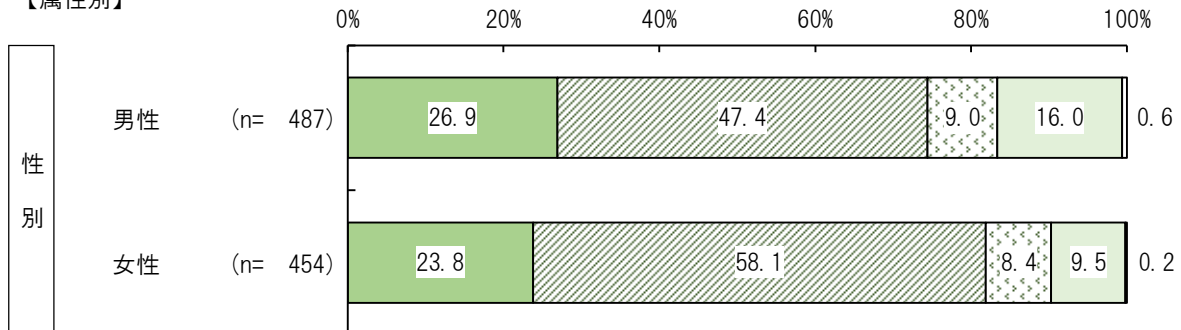
\*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」

\*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

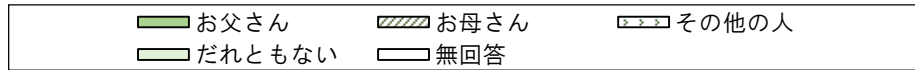


## 10. いちばんあてはまると思う人

### ⑩しかられる

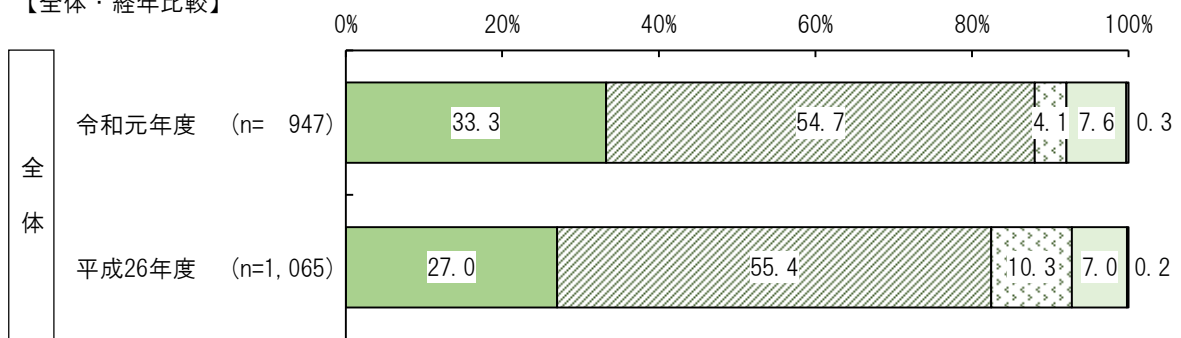
\*平成26年度では「あなたをしかる人」

しかられるでは、「お父さん」が33.3%、「お母さん」が54.7%、「その他の人」が4.1%、「だれともない」が7.6%となっています。

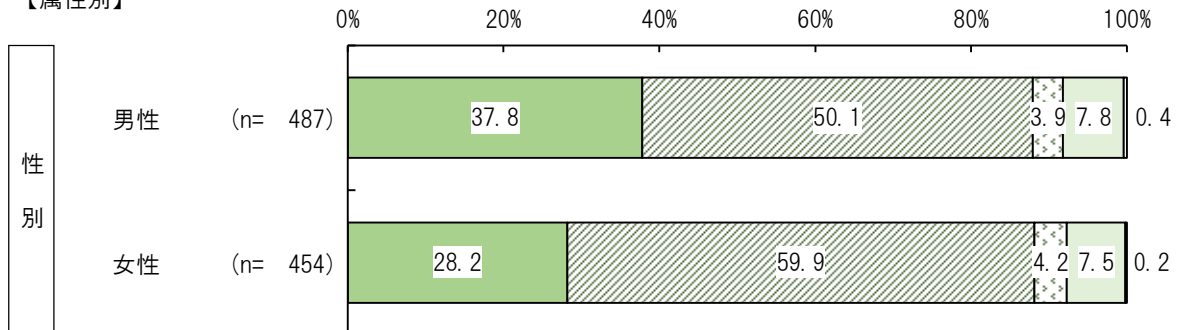


\*選択肢「お父さん」は平成26年度では「父」  
 \*選択肢「お母さん」は平成26年度では「母」  
 \*選択肢「その他の人」は平成26年度では「家族の他の人」  
 \*選択肢「だれともない」は平成26年度では「誰ともない」

#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】



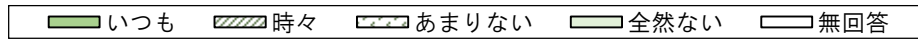
(5) 家庭生活について

11. 身の回りのことを行う頻度

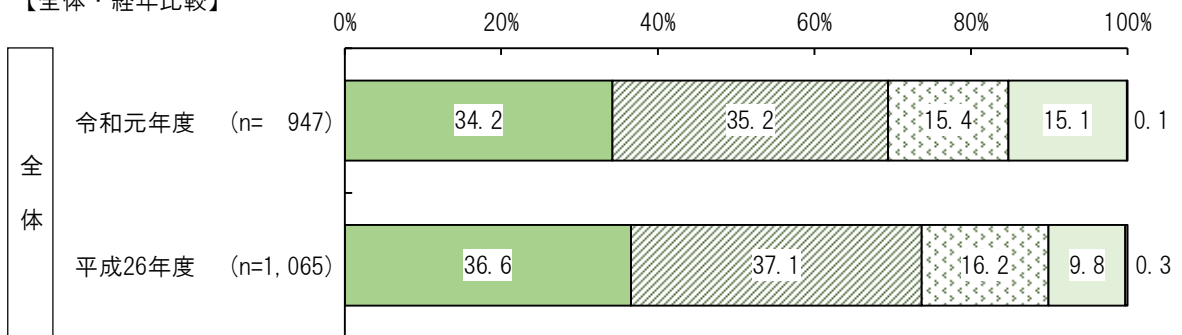
問11 身の回りのことについて、あてはまるものを選んでください。（それぞれ1つに○）

①朝一人で起きる

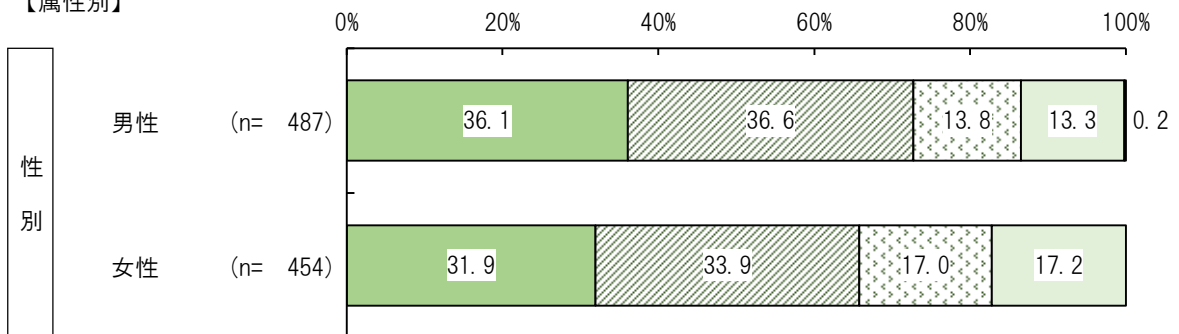
朝一人で起きるでは、「いつも」が34.2%、「時々」が35.2%、「あまりない」が15.4%、「全然ない」が15.1%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

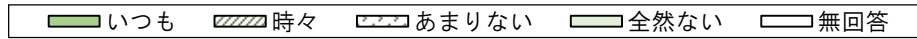


## 11. 身の回りのことを行う頻度

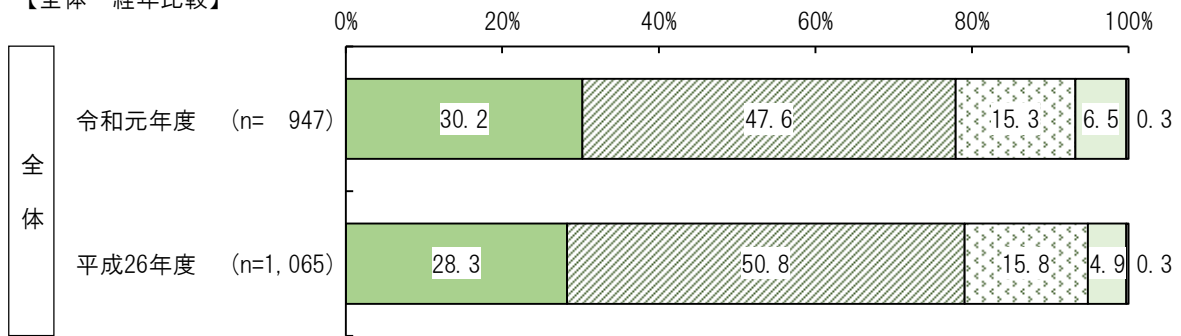
### ②自分の身の回りの整理や部屋を片付ける

\*平成26年度では「自分の身の周りの整理や部屋を片付ける」

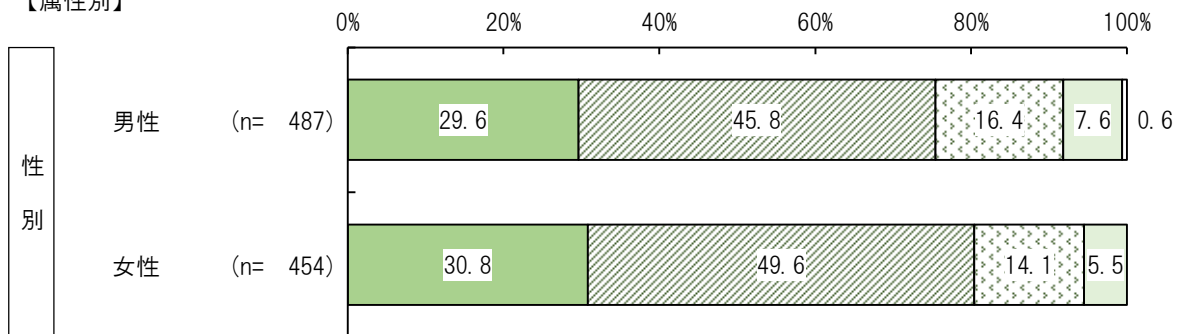
自分の身の回りの整理や部屋を片付けるでは、「いつも」が30.2%、「時々」が47.6%、「あまりない」が15.3%、「全然ない」が6.5%となっています。



#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

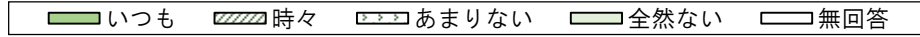




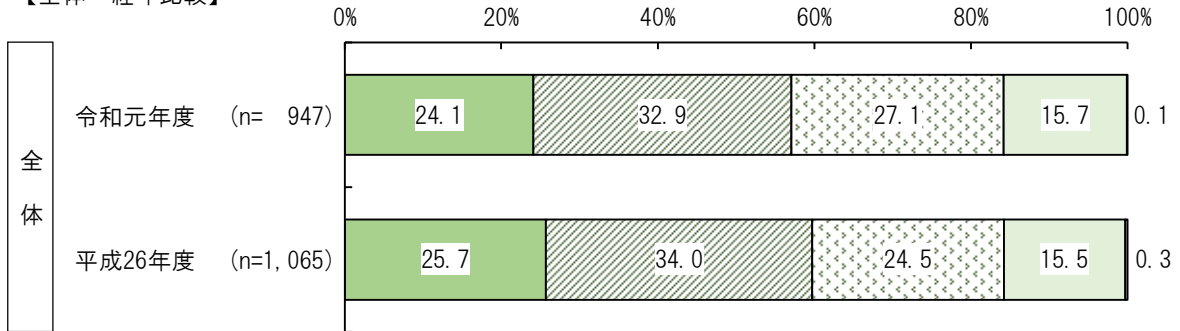
## 11. 身の回りのことを行う頻度

### ③自分の靴を洗う

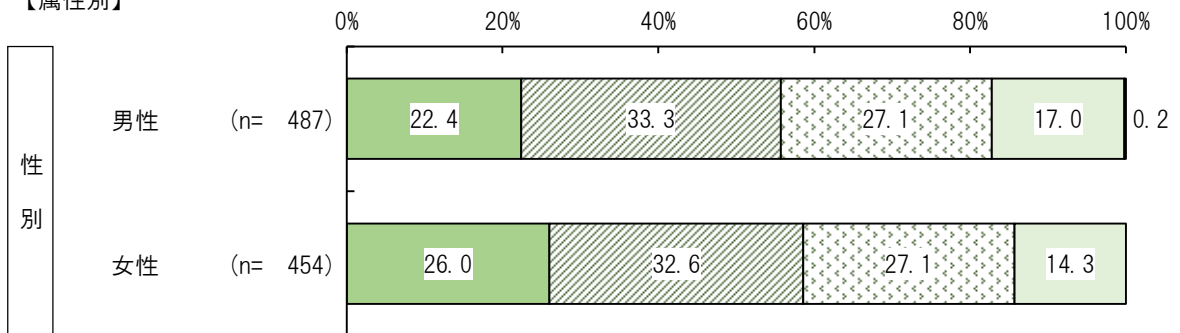
自分の靴を洗うでは、「いつも」が24.1%、「時々」が32.9%、「あまりない」が27.1%、「全然ない」が15.7%となっています。



【全体・経年比較】



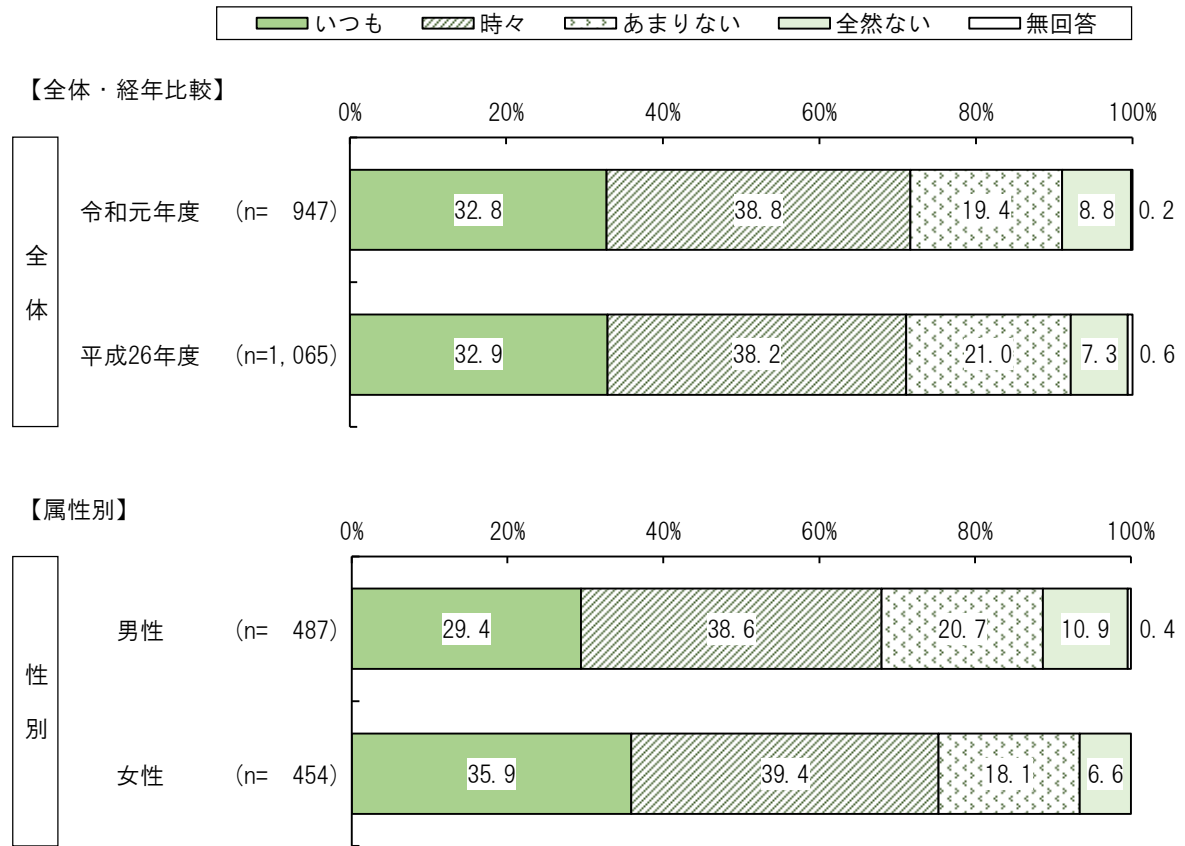
【属性別】



## 11. 身の回りのことを行う頻度

### ④食事の支度や片付けをする

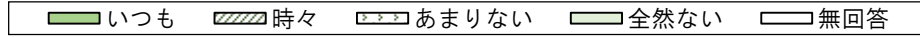
食事の支度や片付けをするでは、「いつも」が32.8%、「時々」が38.8%、「あまりない」が19.4%、「全然ない」が8.8%となっています。



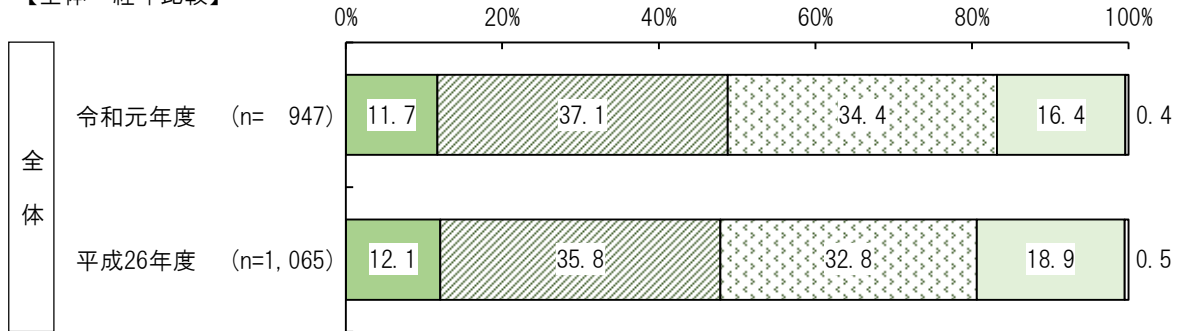
## 11. 身の回りのことを行う頻度

### ⑤掃除や洗濯をする

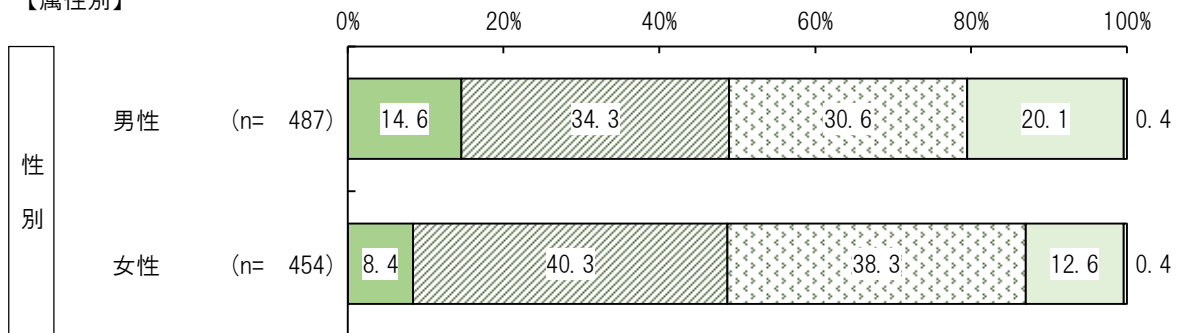
掃除や洗濯をするでは、「いつも」が11.7%、「時々」が37.1%、「あまりない」が34.4%、「全然ない」が16.4%となっています。



【全体・経年比較】



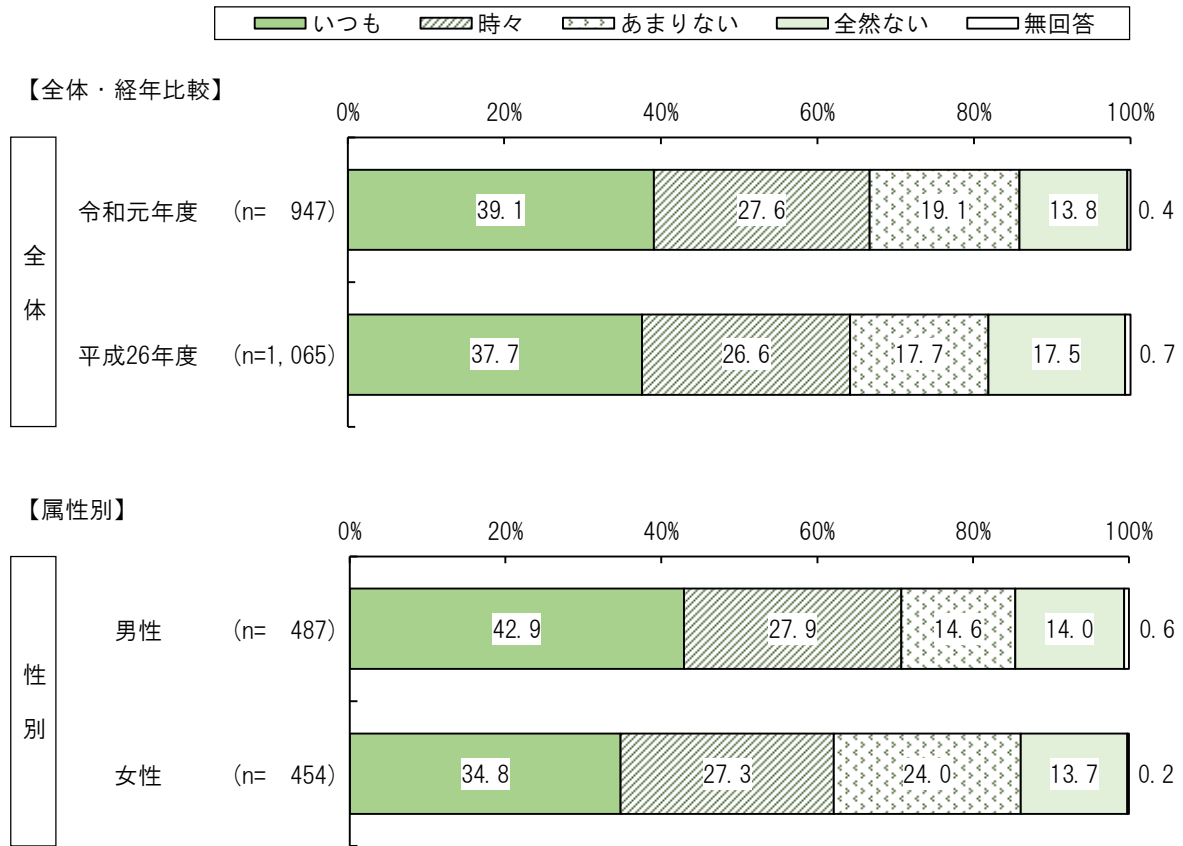
【属性別】



## 11. 身の回りのことを行う頻度

### ⑥自分の小遣いを計画的に管理する

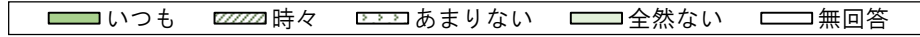
自分の小遣いを計画的に管理するでは、「いつも」が39.1%、「時々」が27.6%、「あまりない」が19.1%、「全然ない」が13.8%となっています。



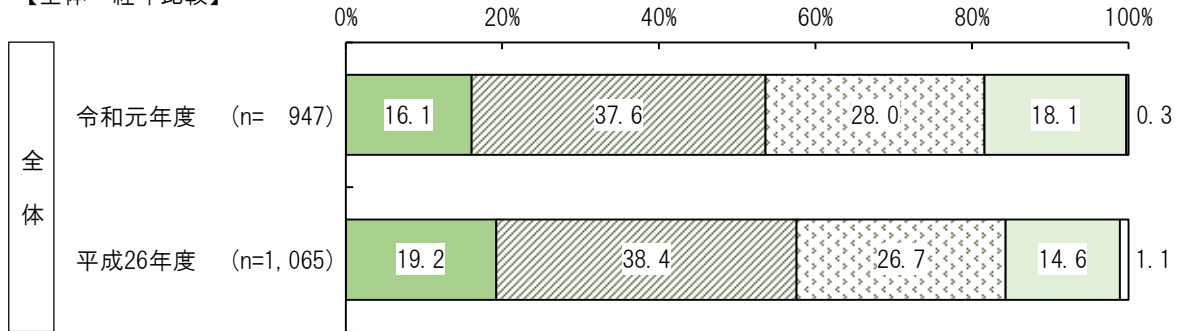
## 11. 身の回りのことを行う頻度

## ⑦家の人のお使いや世話をする

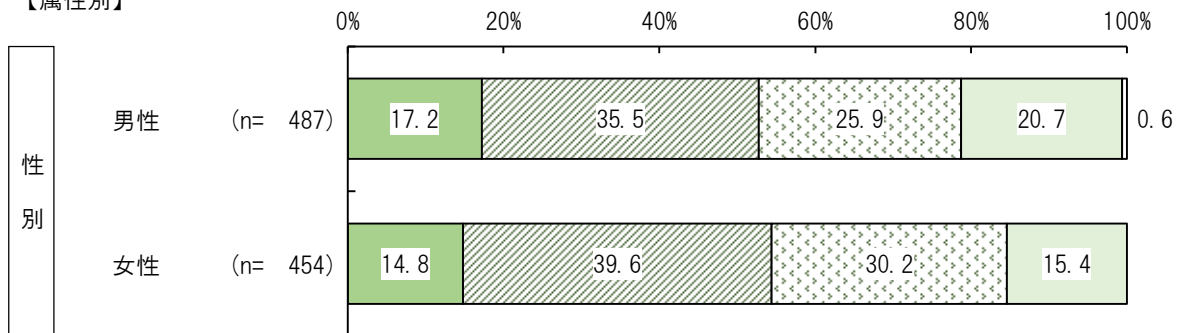
家の人のお使いや世話をするでは、「いつも」が16.1%、「時々」が37.6%、「あまりない」が28.0%、「全然ない」が18.1%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

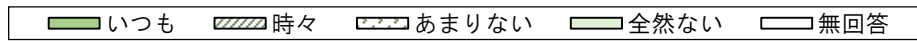


## 11. 身の回りのことを行う頻度

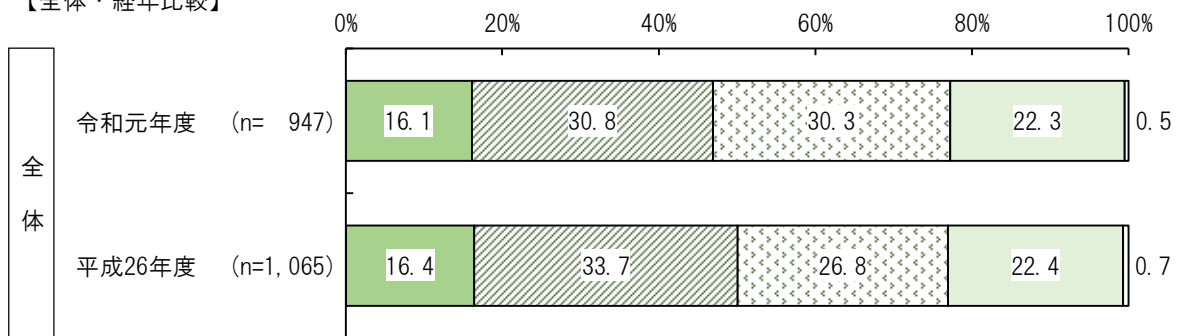
### ⑧ボランティア活動等に参加する

ボランティア活動等に参加するでは、「いつも」が16.1%、「時々」が30.8%、「あまりない」が30.3%、「全然ない」が22.3%となっています。

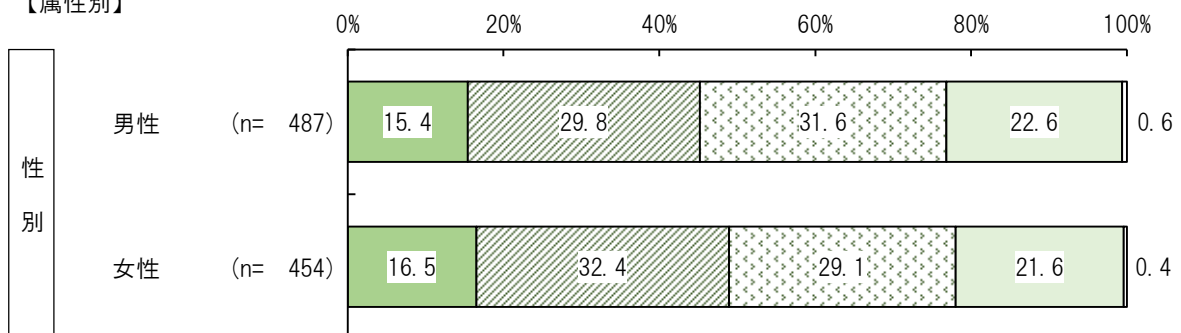
性別にみると、“男性”では「あまりない」が31.6%と最も多くなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



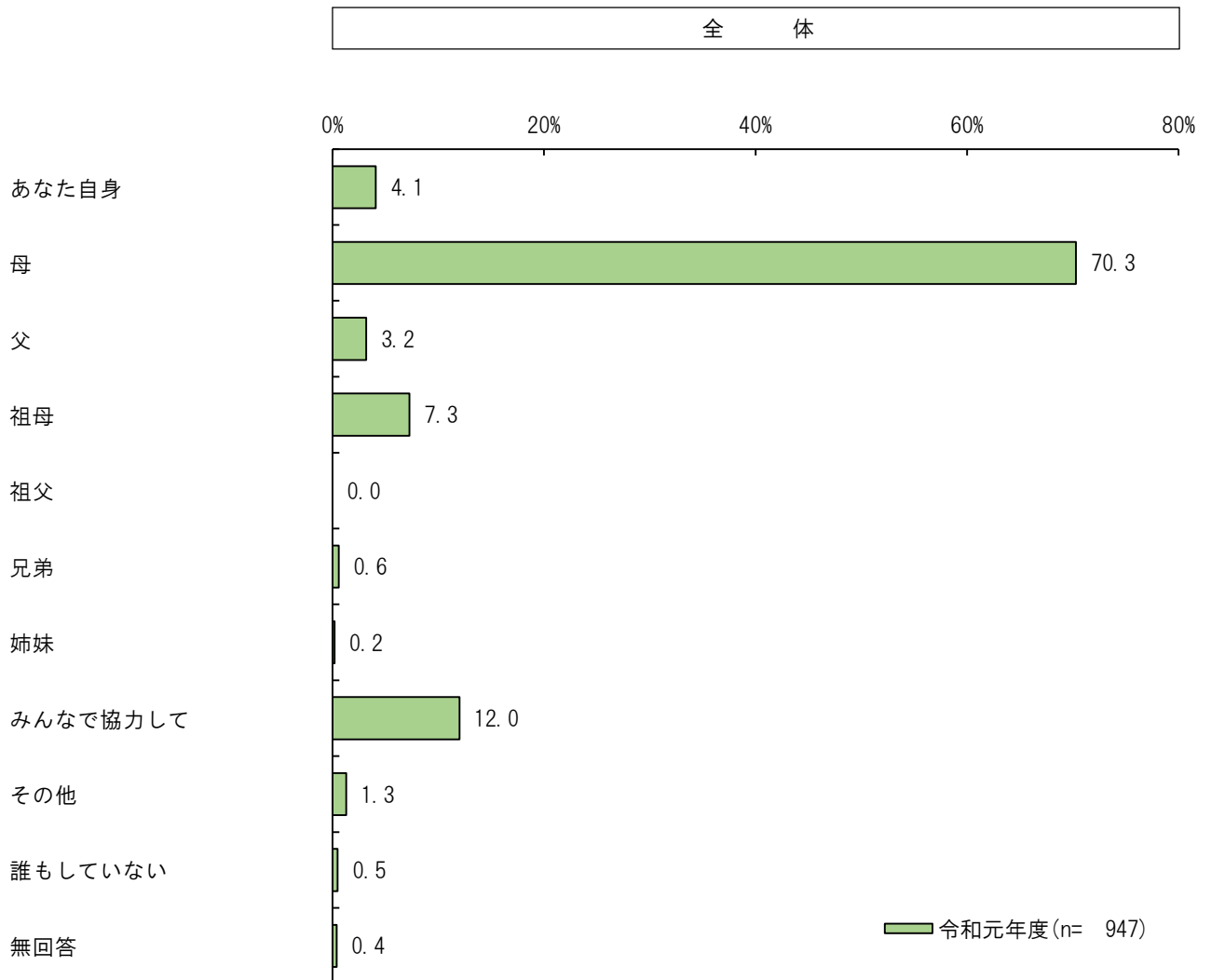
## 12. 主にしている人

問12 次の①～⑩は主に誰がしていますか。主にしている人の番号を選んでください。

(それぞれ1つに○)

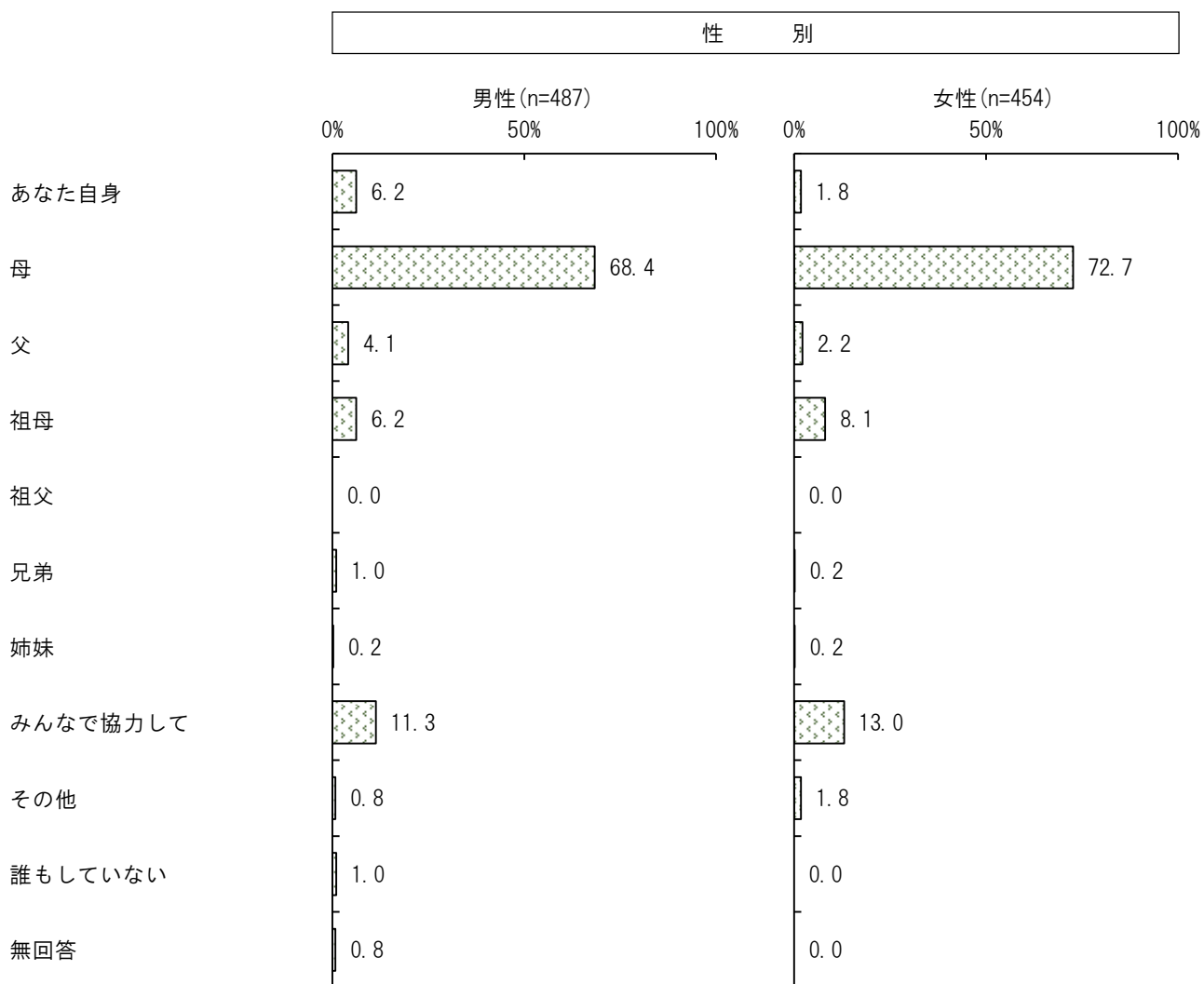
## ①掃除、洗濯、食事の支度など

掃除、洗濯、食事の支度などでは、「母」が70.3%と最も多く、次いで「みんなで協力して」が12.0%、「祖母」が7.3%などとなっています。



## 12. 主にしている人

### ①掃除、洗濯、食事の支度など



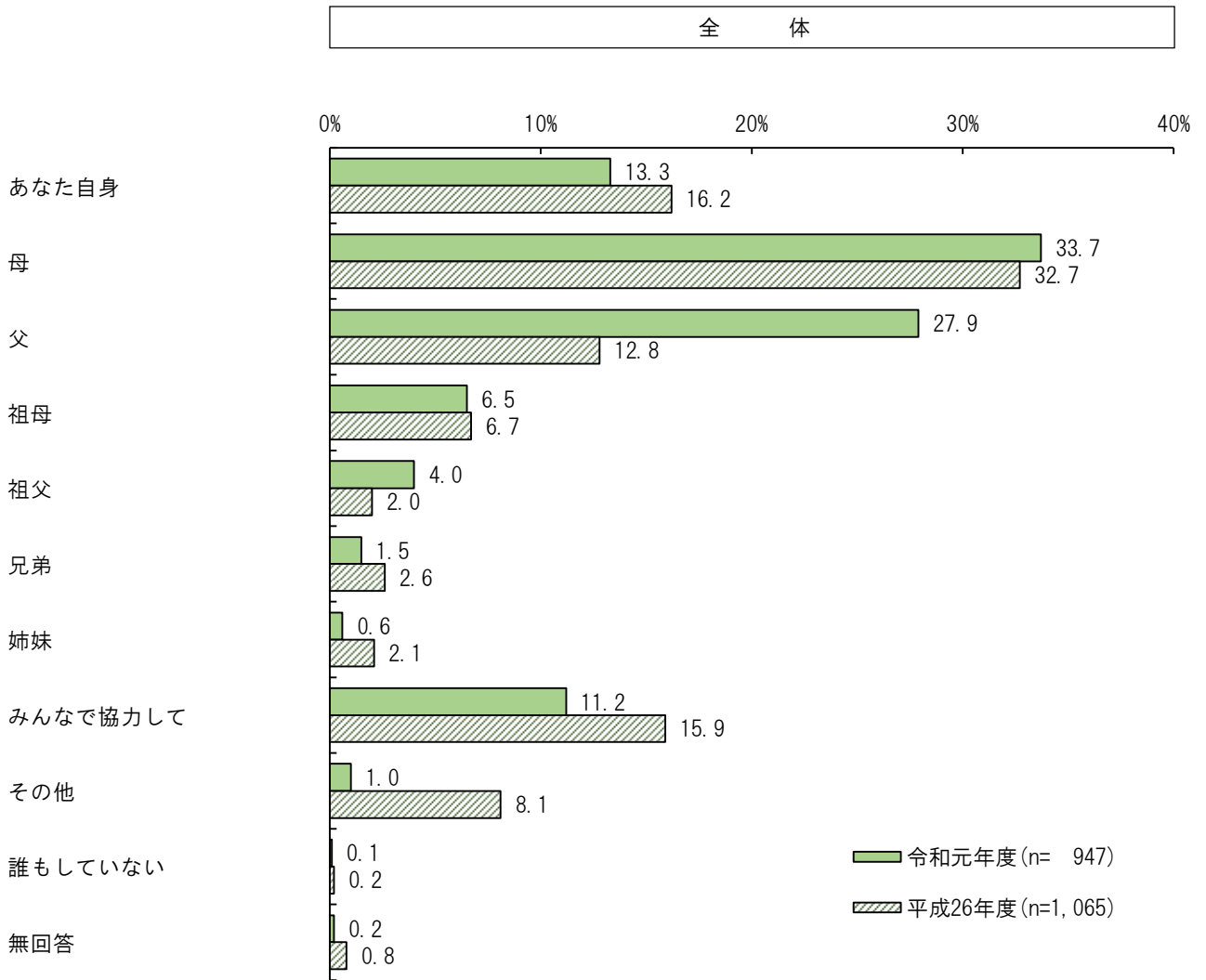


## 12. 主にしている人

### ② ゴミ出しなどの簡単な家事

\*平成26年度では「簡単な家事（ゴミ出し、風呂掃除など）」

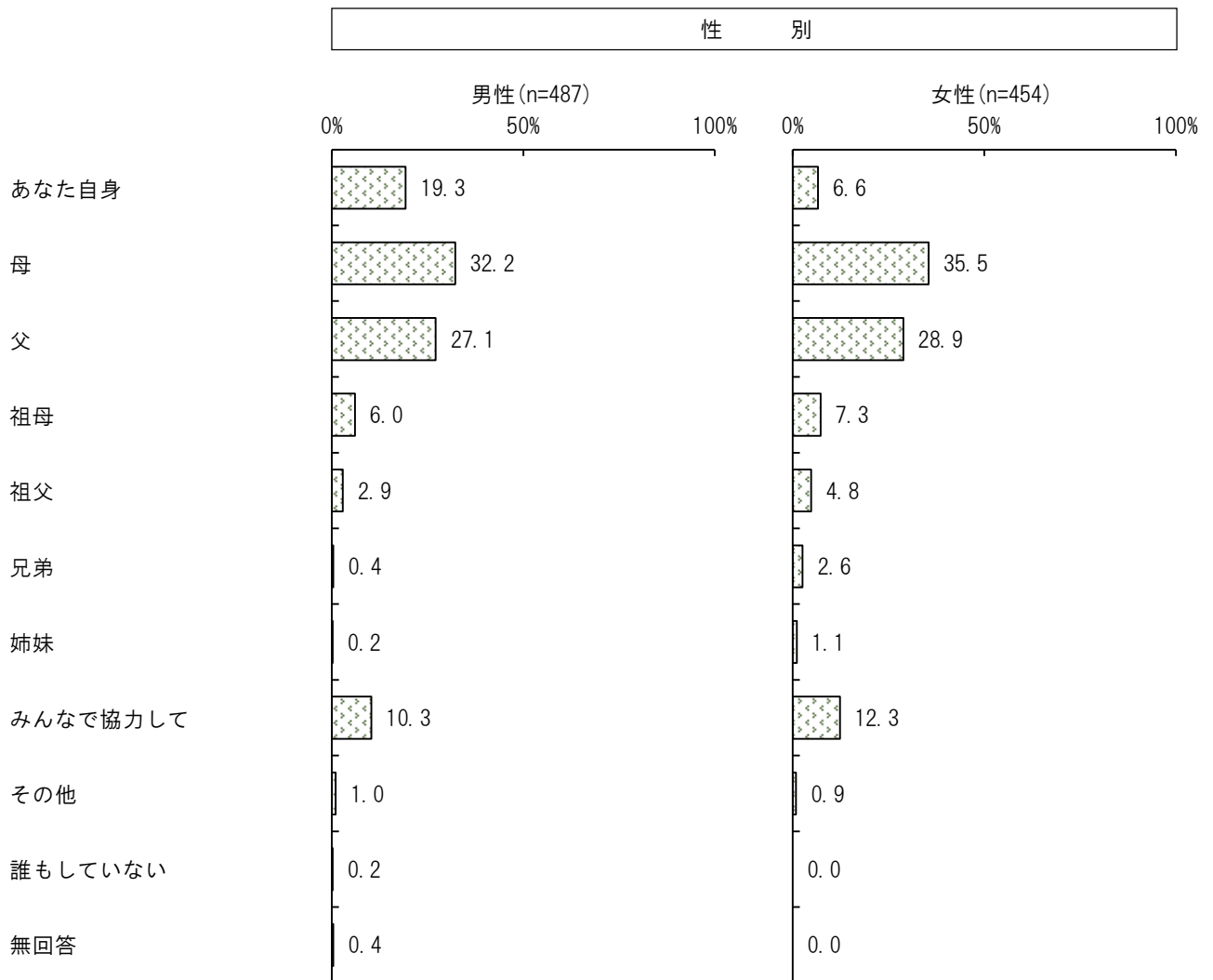
ゴミ出しなどの簡単な家事では、「母」が33.7%と最も多く、次いで「父」が27.9%、「あなた自身」が13.3%などとなっています。



## 12. 主にしている人

### ②ゴミ出しなどの簡単な家事

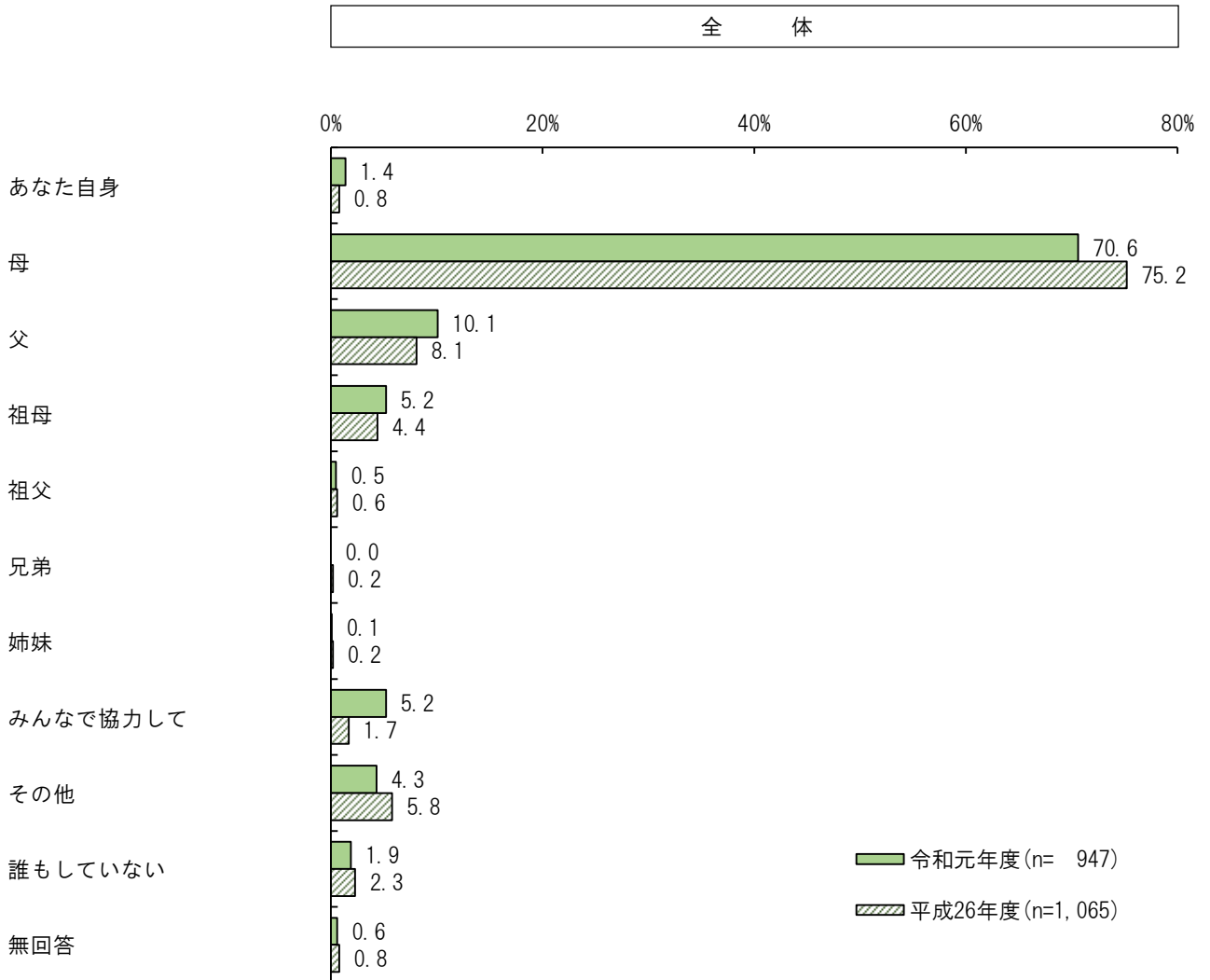
\*平成26年度では「簡単な家事（ゴミ出し、風呂掃除など）」



## 12. 主にしている人

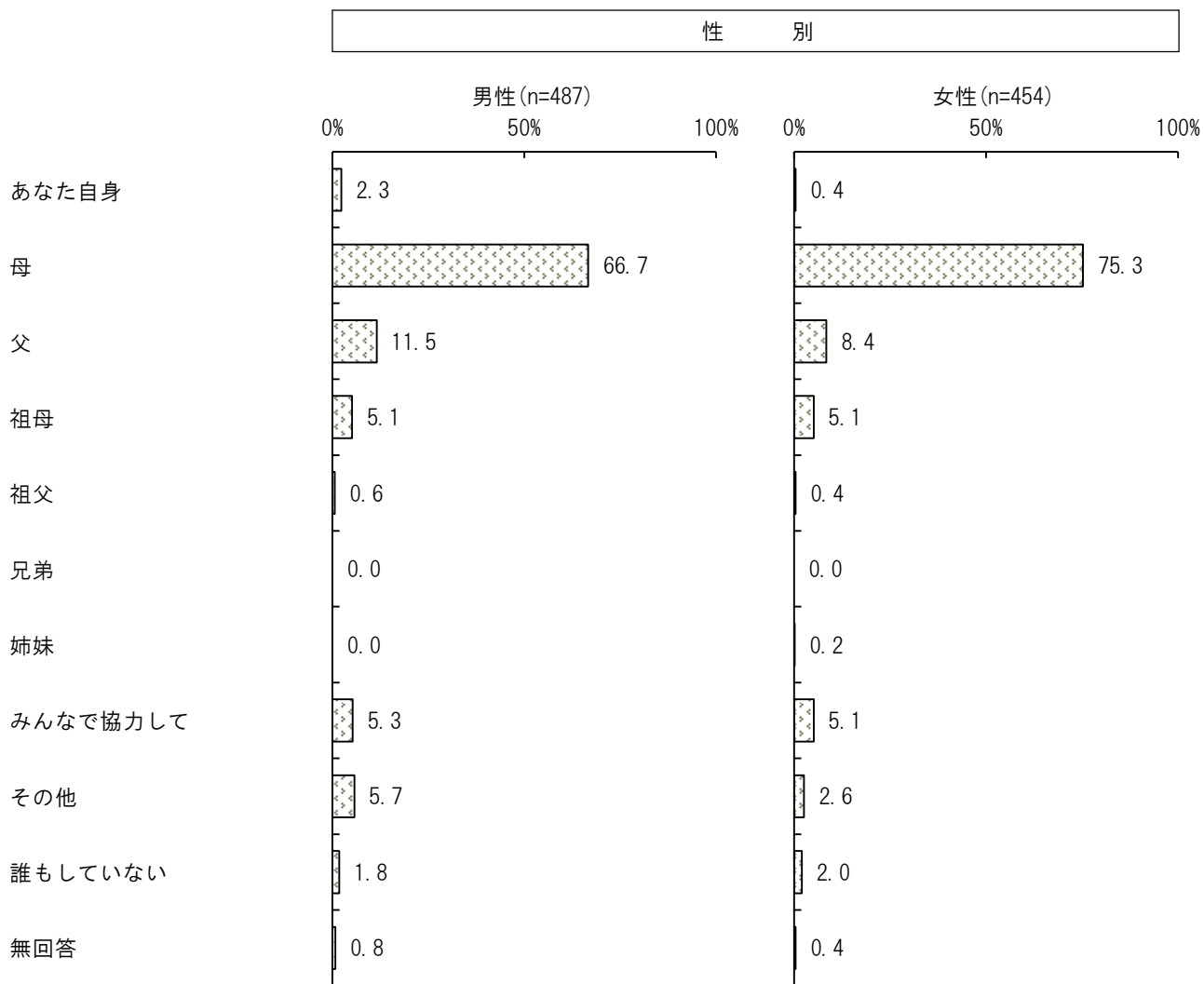
## ③日々の家計の管理

日々の家計の管理では、「母」が70.6%と最も多く、次いで「父」が10.1%、「祖母」と「みんなで協力して」が5.2%などとなっています。



## 12. 主にしている人

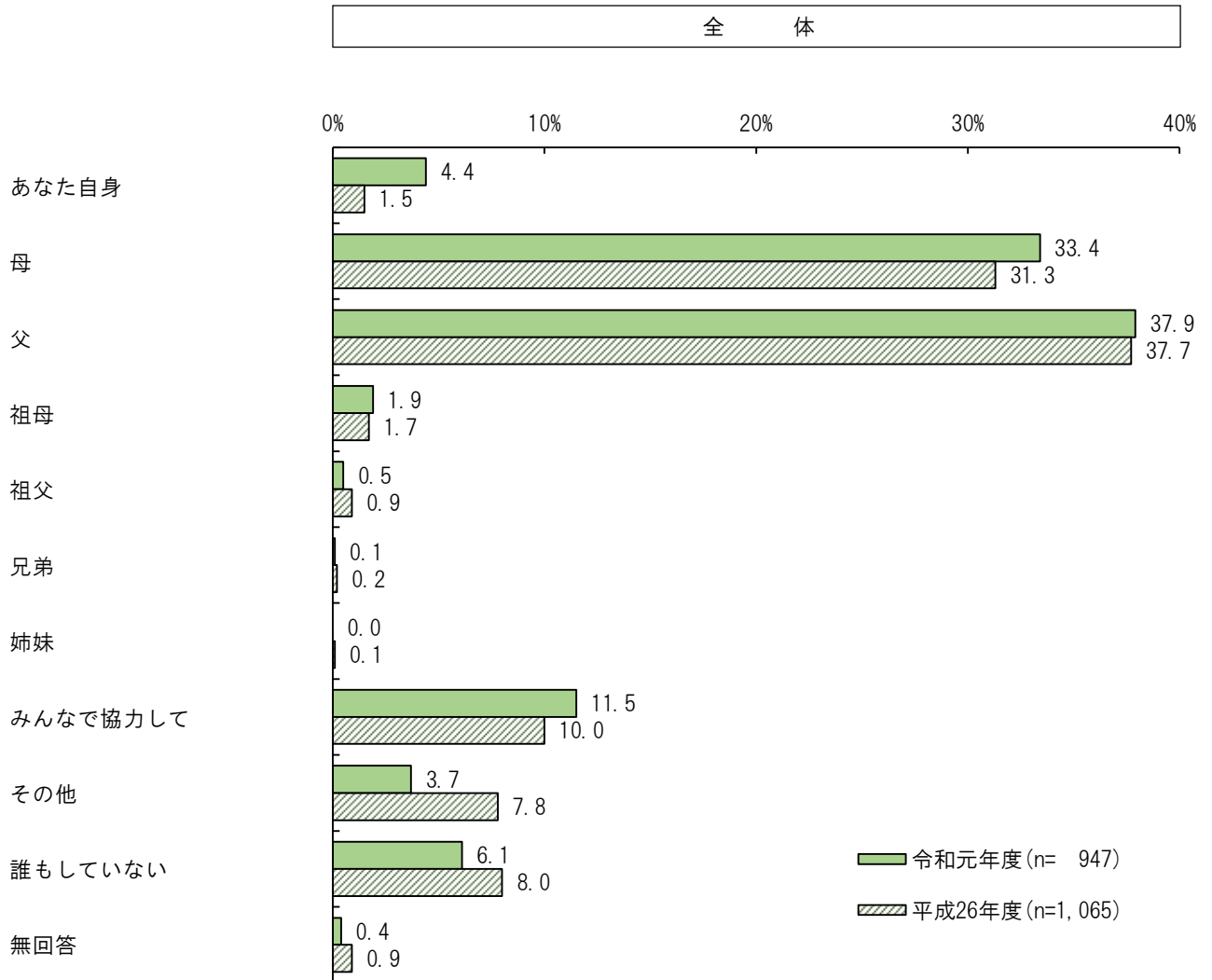
### ③日々の家計の管理



## 12. 主にしている人

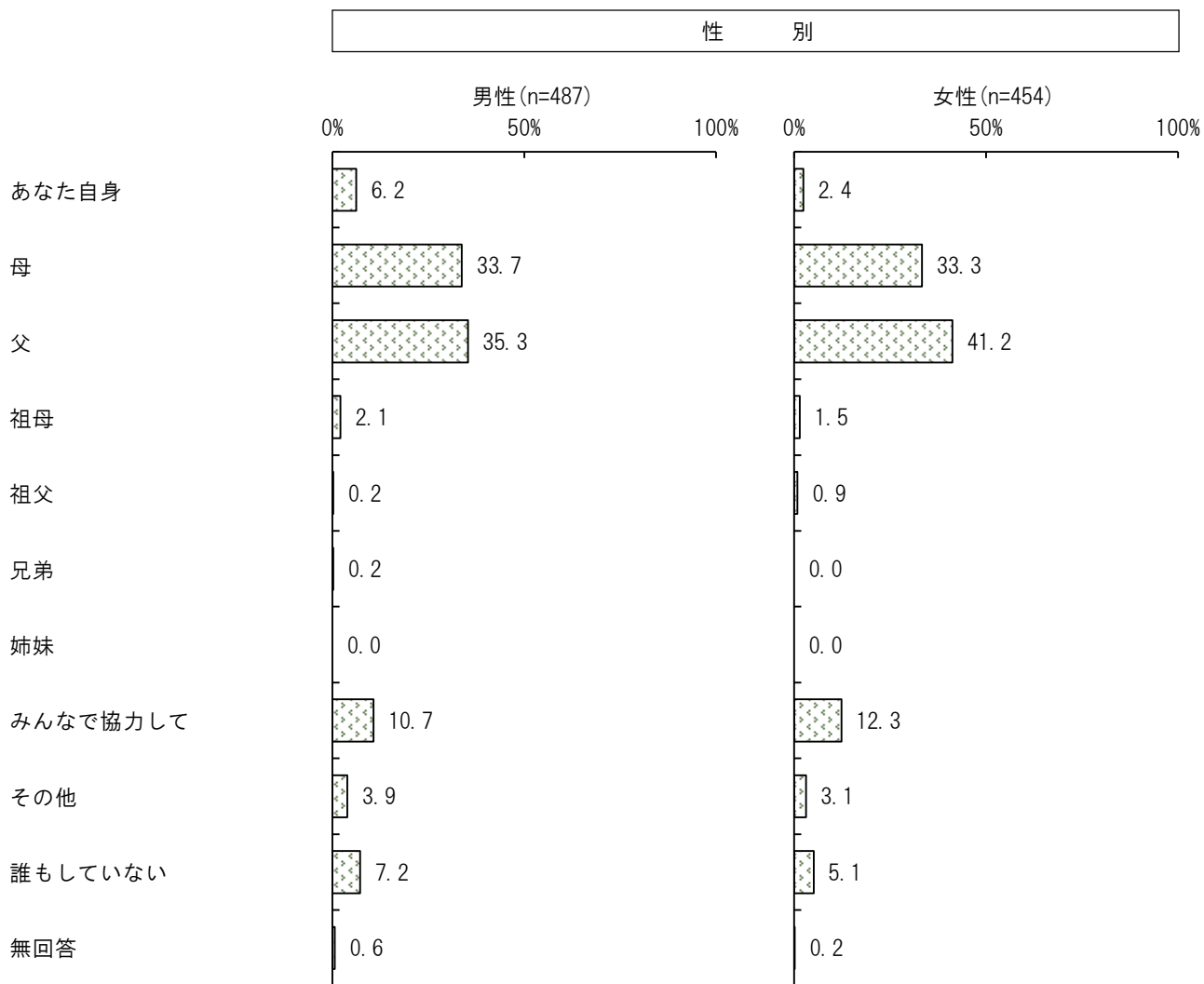
## ④高額の商品の購入を決める

高額の商品の購入を決めるでは、「父」が37.9%と最も多く、次いで「母」が33.4%、「みんなで協力して」が11.5%などとなっています。



## 12. 主にしている人

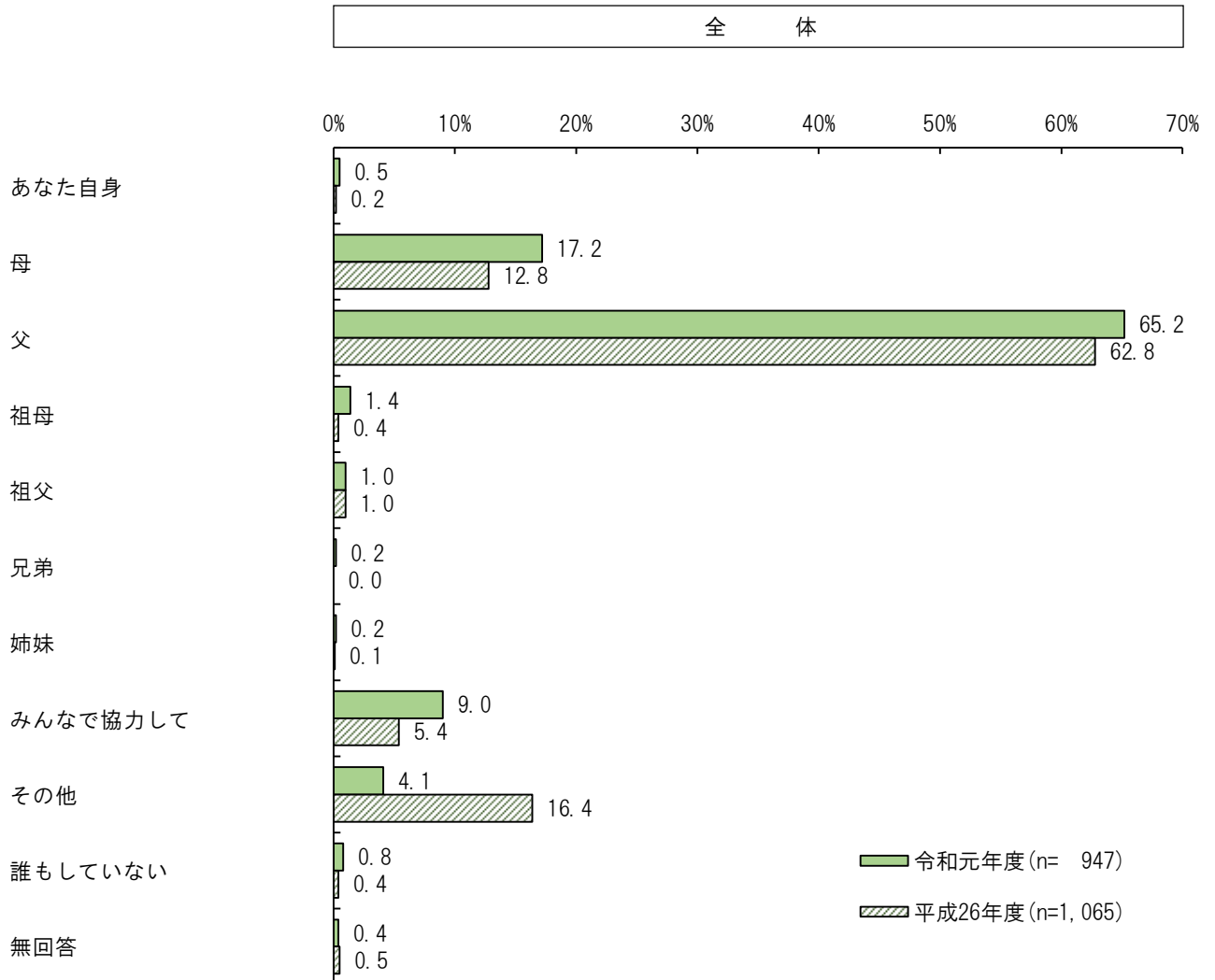
### ④高額の商品の購入を決める



## 12. 主にしている人

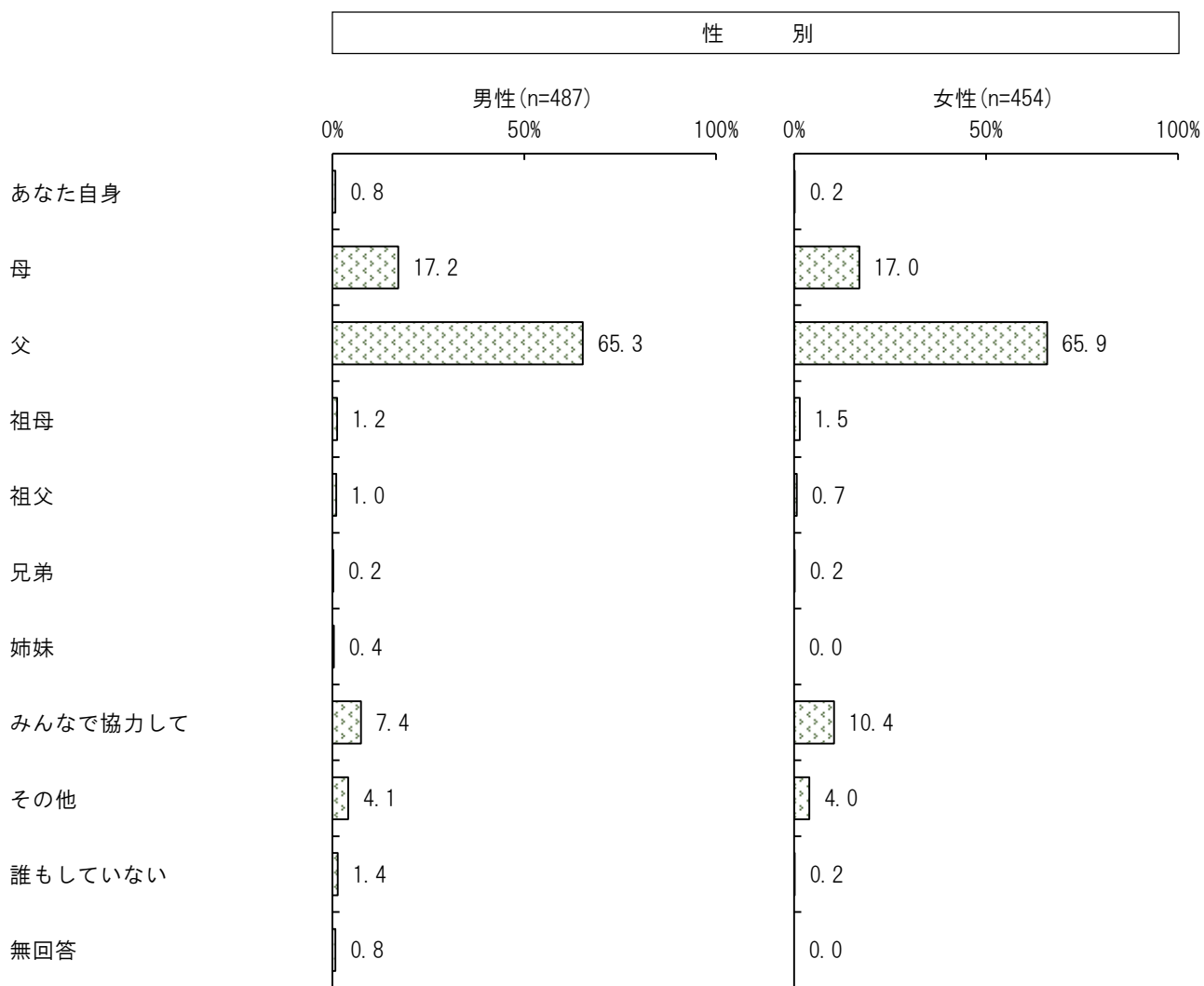
## ⑤生活費を稼ぐ

生活費を稼ぐでは、「父」が65.2%と最も多く、次いで「母」が17.2%、「みんなで協力して」が9.0%などとなっています。



## 12. 主にしている人

### ⑤生活費を稼ぐ

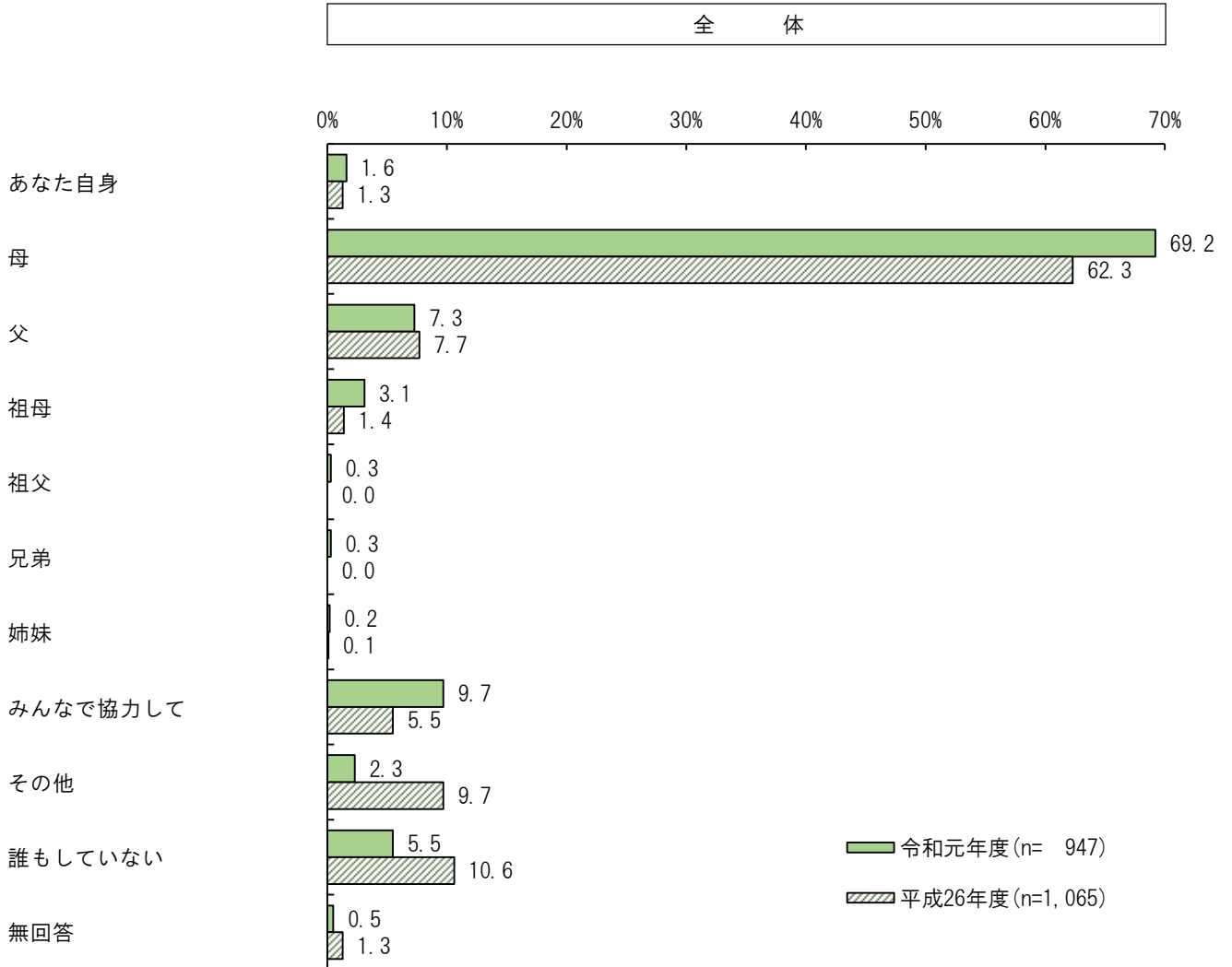




## 12. 主にしている人

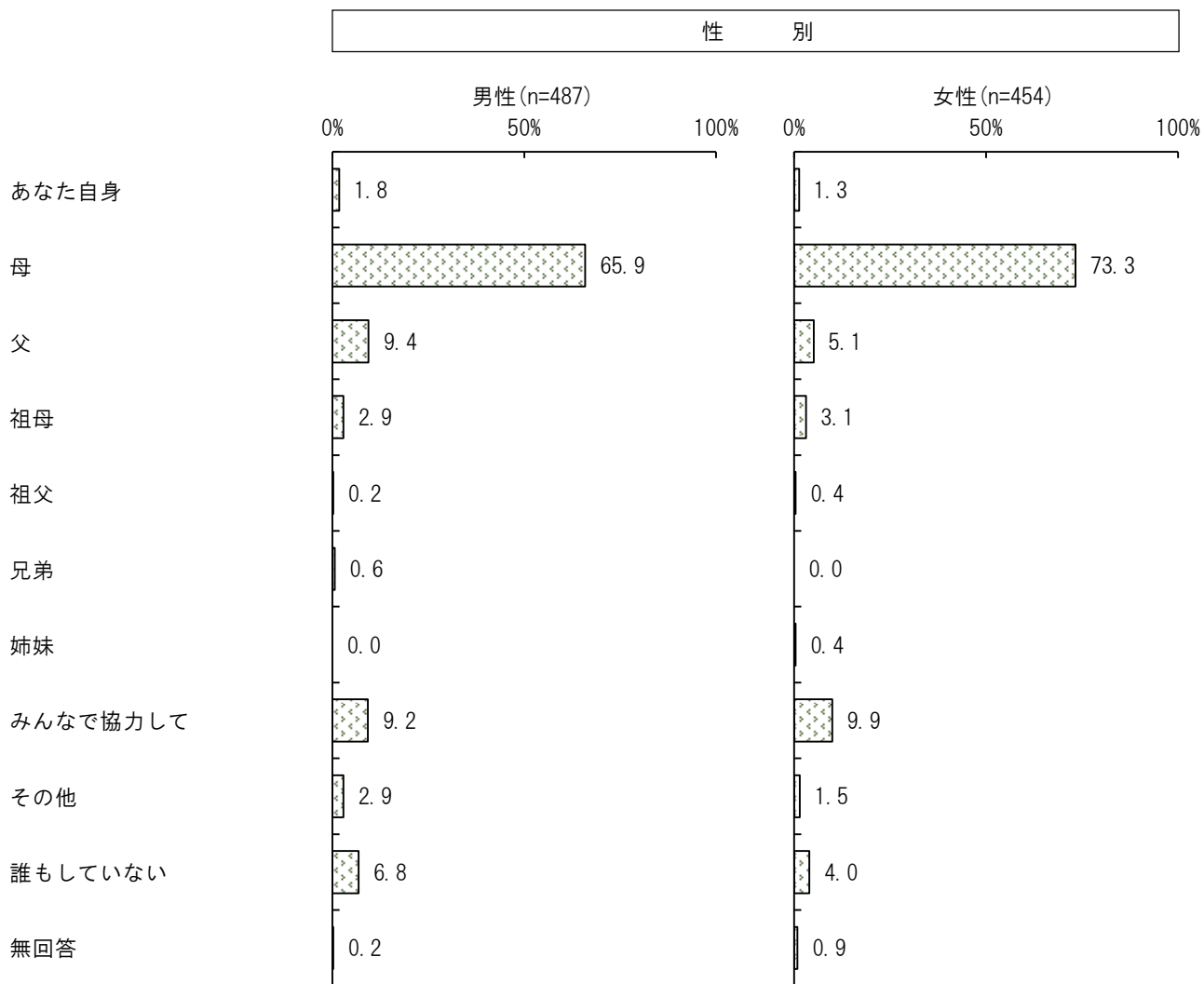
### ⑥育児、子どものしつけ

育児、子どものしつけでは、「母」が69.2%と最も多く、次いで「みんなで協力して」が9.7%、「父」が7.3%などとなっています。



## 12. 主にしている人

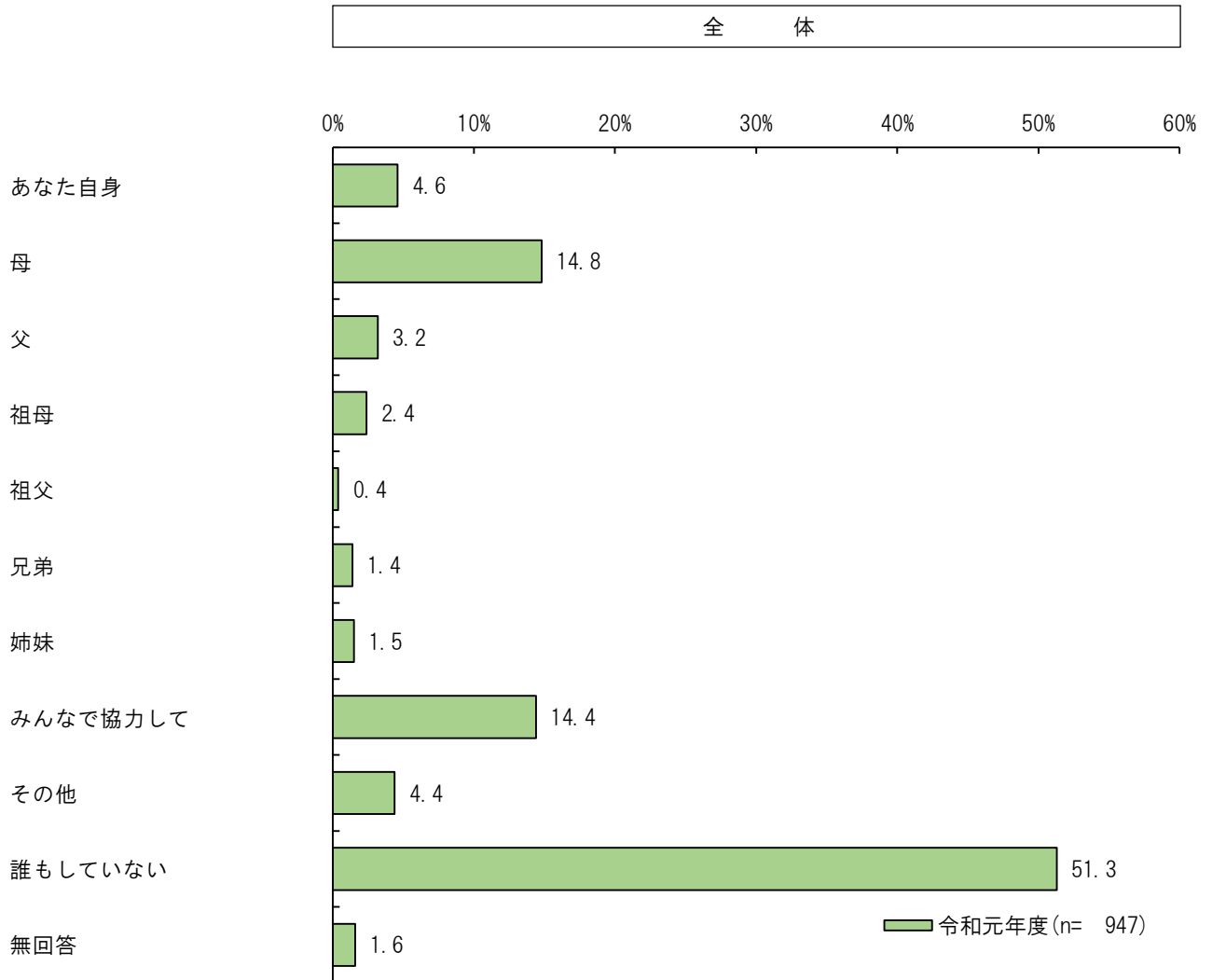
### ⑥育児、子どものしつけ



## 12. 主にしている人

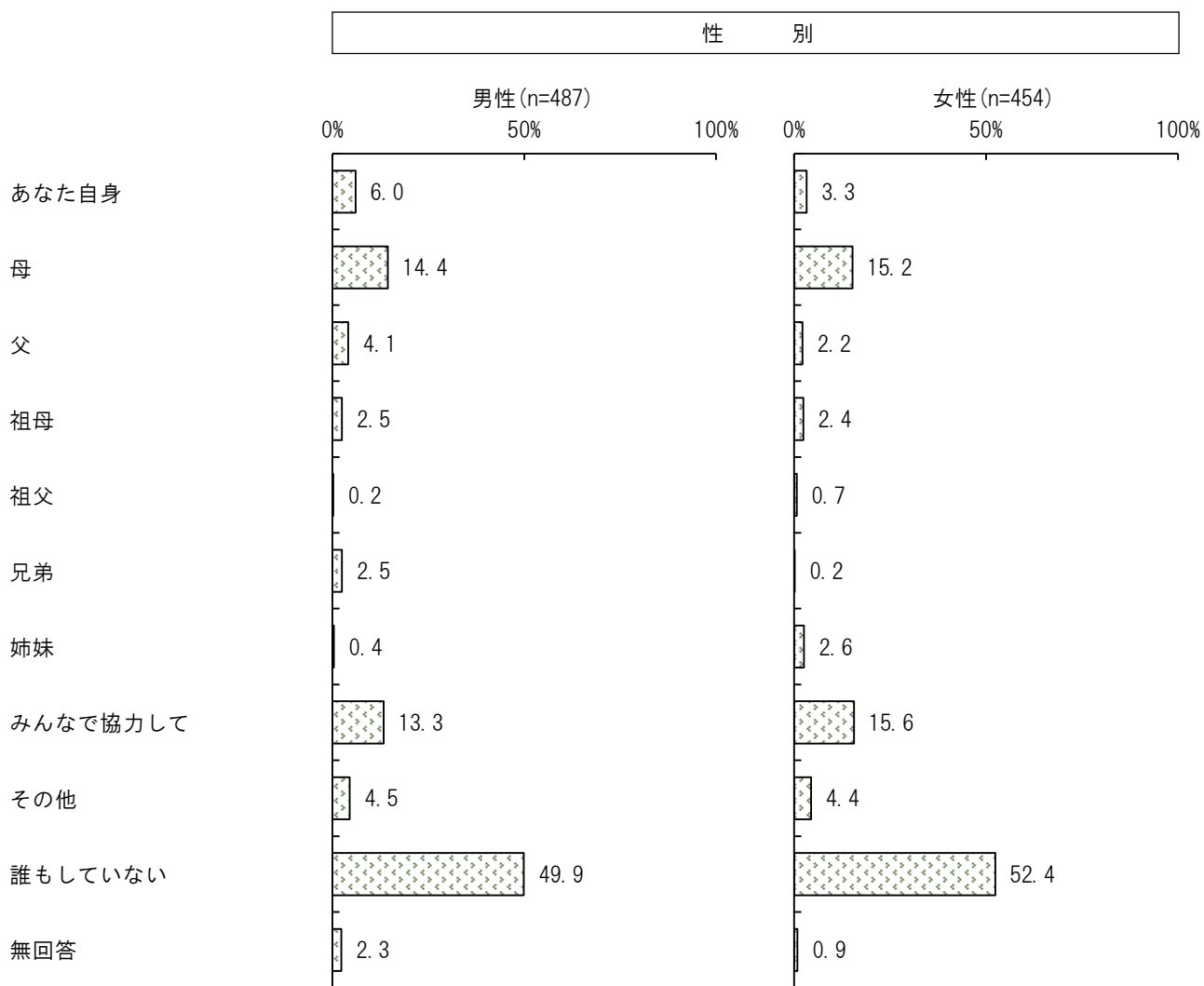
## ⑦親の世話〈介護〉

親の世話〈介護〉では、「誰もしていない」が51.3%と最も多く、次いで「母」が14.8%、「みんなで協力して」が14.4%などとなっています。



## 12. 主にしている人

### ⑦親の世話〈介護〉

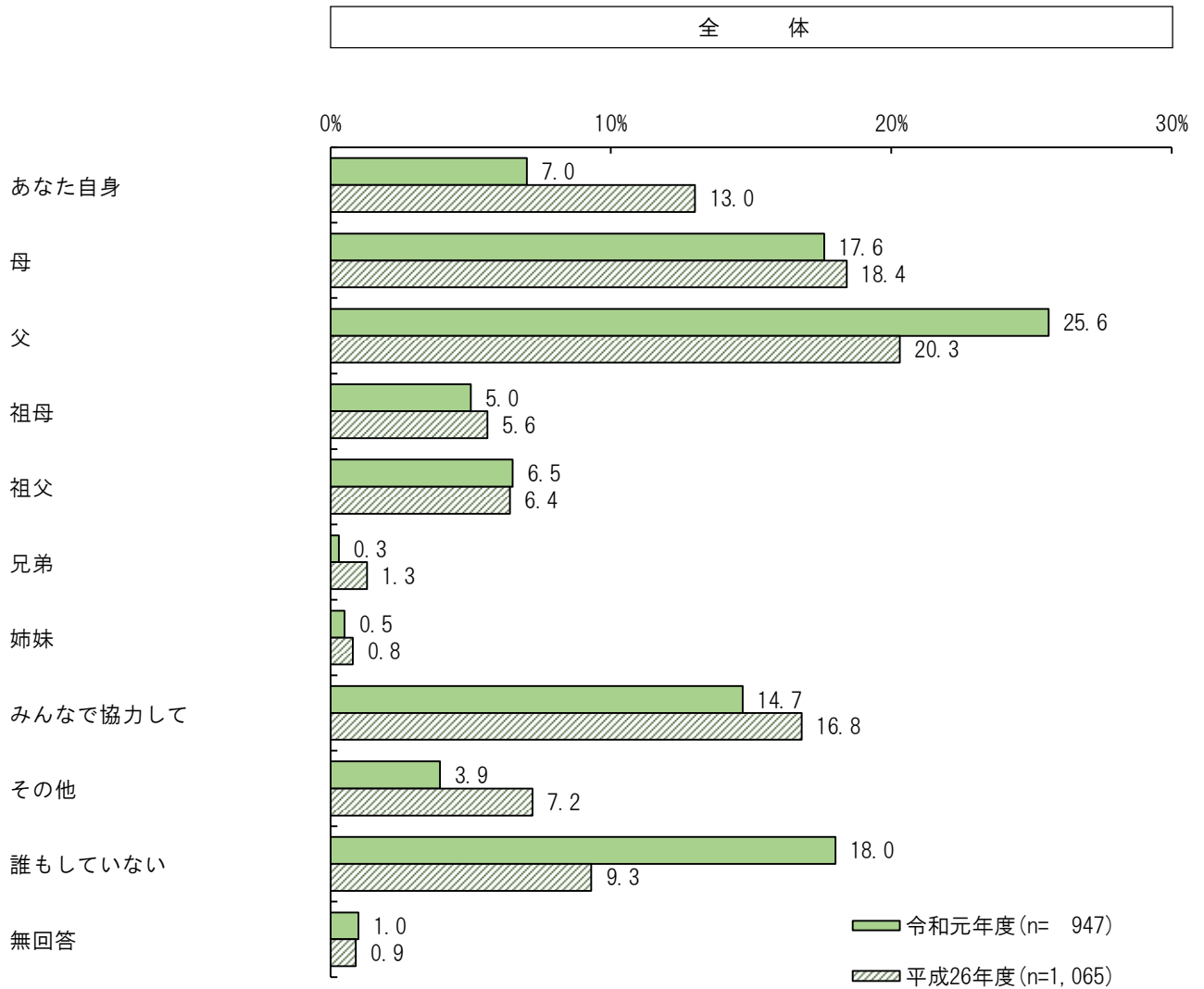


## 12. 主にしている人

## ⑧自治会などの地域活動

\*平成26年度では「町内会などの地域の行事、活動等への参加」

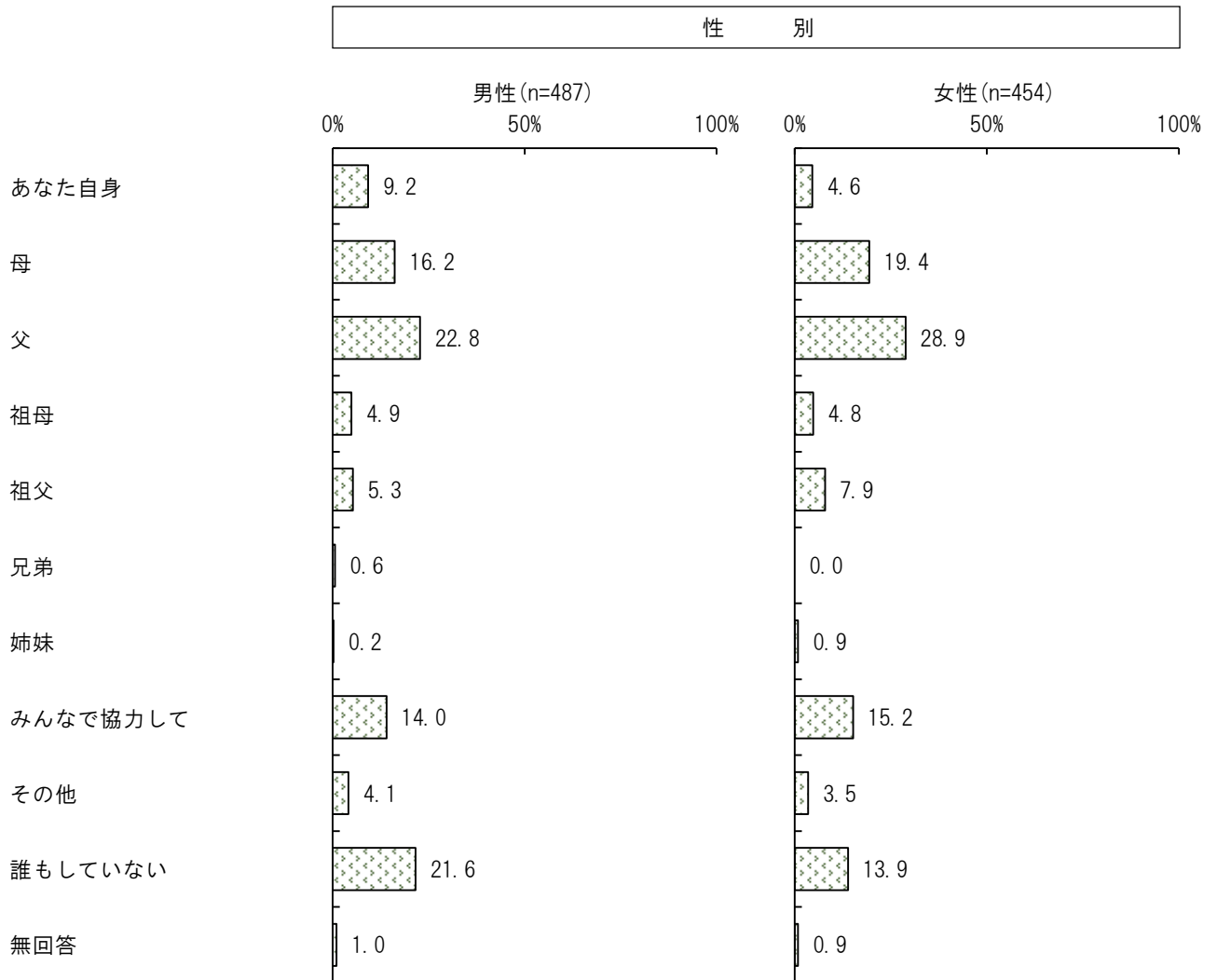
自治会などの地域活動では、「父」が25.6%と最も多く、次いで「誰もしていない」が18.0%、「母」が17.6%などとなっています。



## 12. 主にしている人

### ⑧自治会などの地域活動

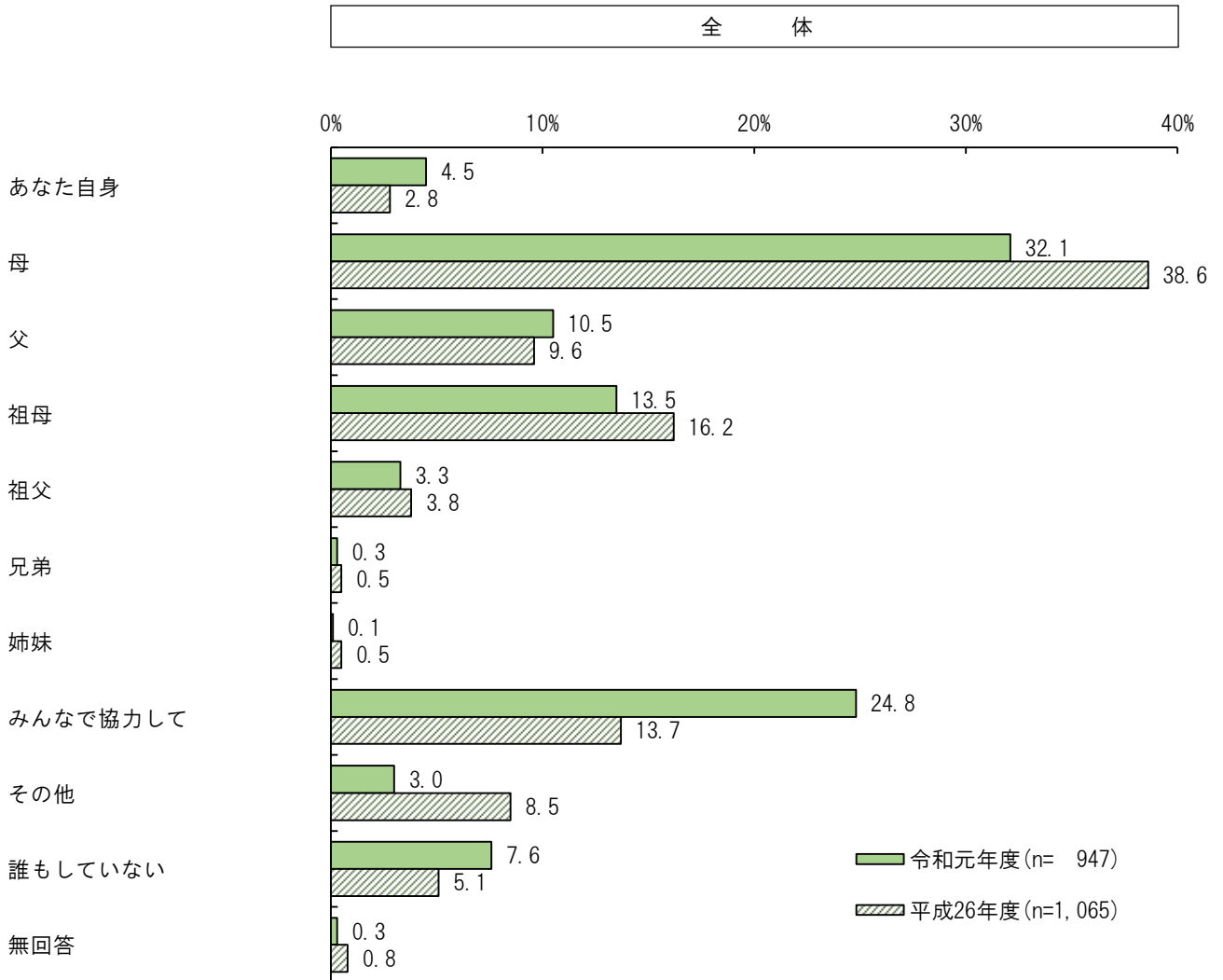
\*平成26年度では「町内会などの地域の行事、活動等への参加」



## 12. 主にしている人

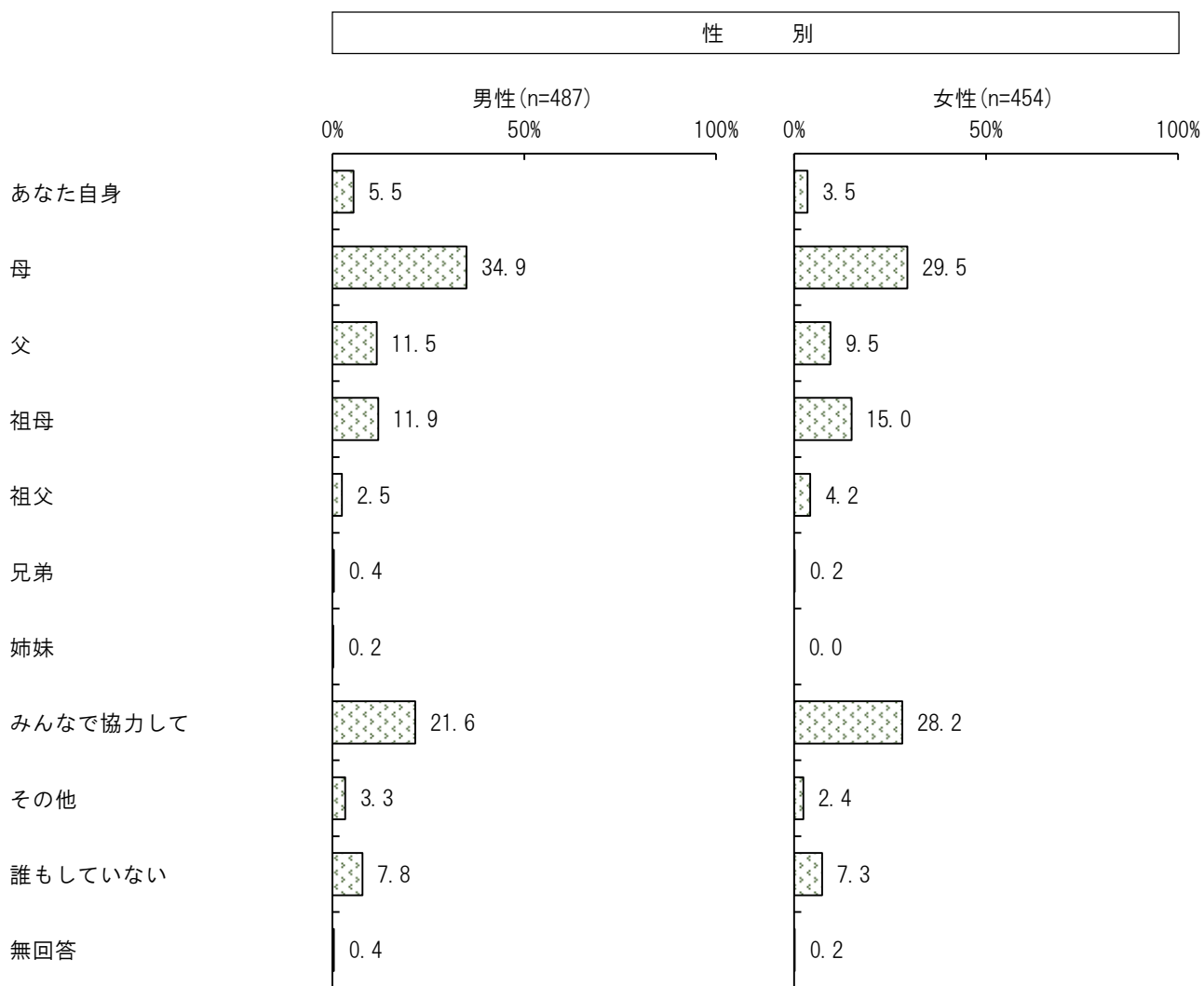
### ⑨近所とのつきあい

近所とのつきあいでは、「母」が32.1%と最も多く、次いで「みんなで協力して」が24.8%、「祖母」が13.5%などとなっています。



## 12. 主にしている人

### ⑨近所とのつきあい

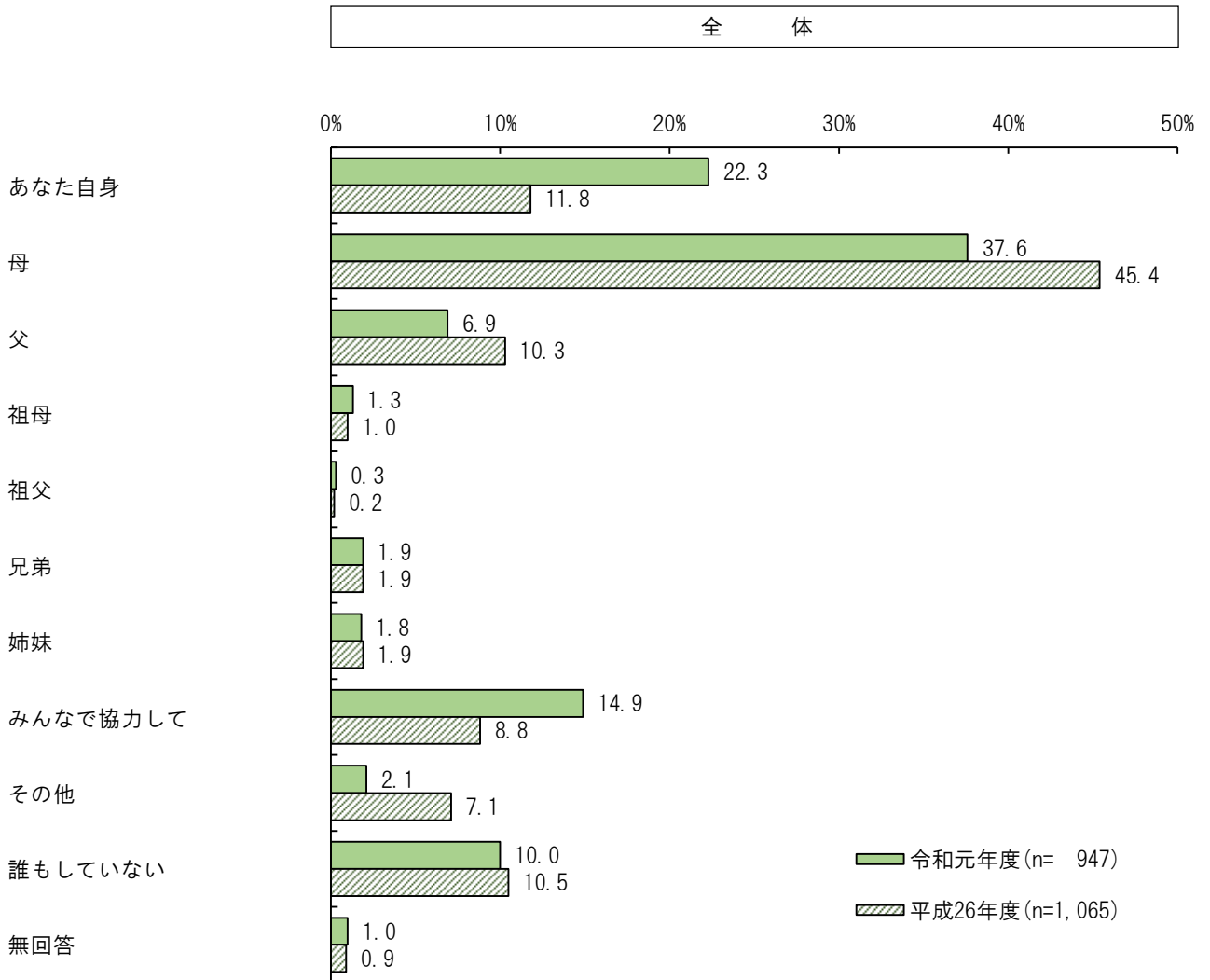




## 12. 主にしている人

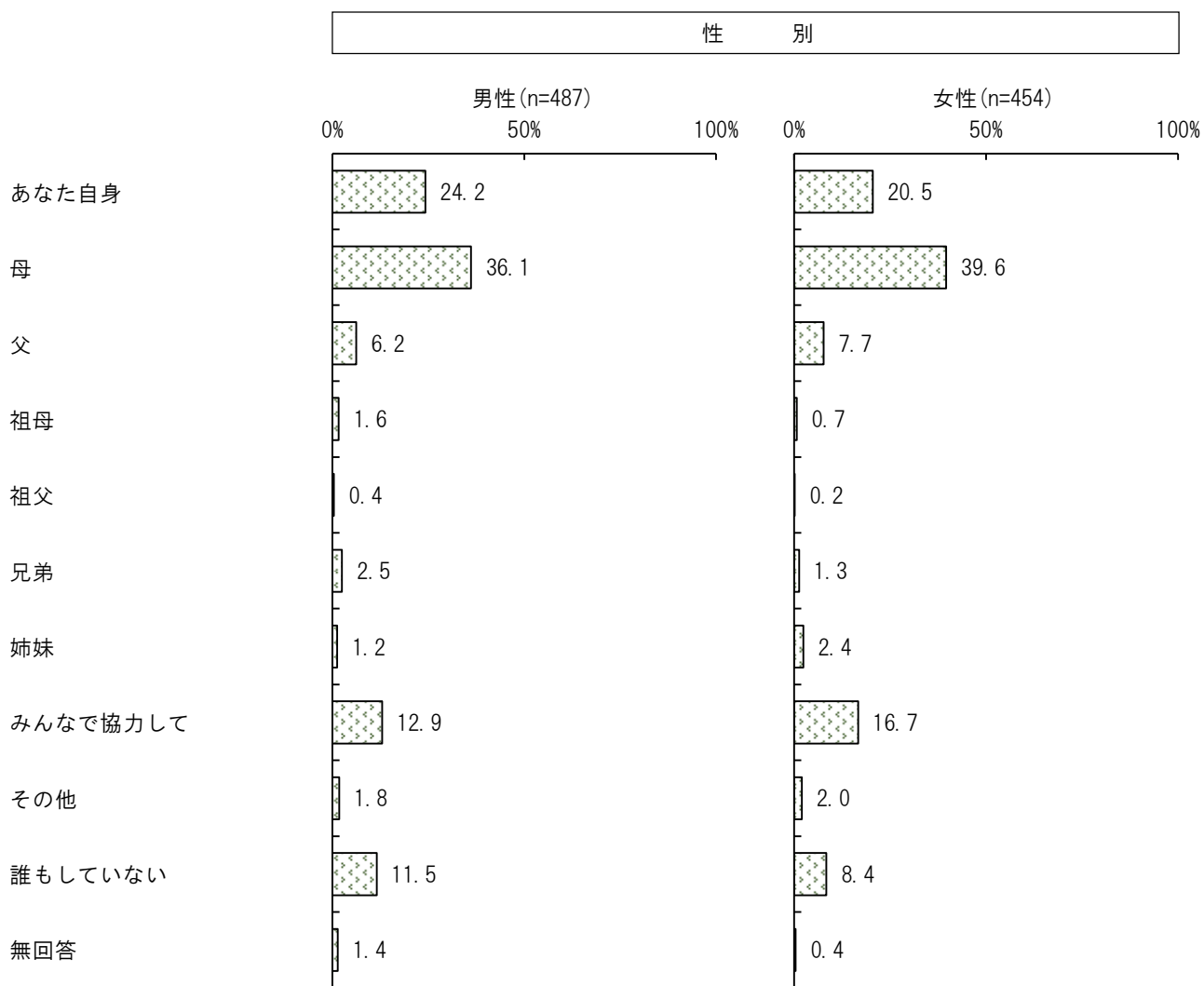
## ⑩子どもの行事への参加

子どもの行事への参加では、「母」が37.6%と最も多く、次いで「あなた自身」が22.3%、「みんなで協力して」が14.9%などとなっています。



## 12. 主にしている人

### ⑩子どもの行事への参加



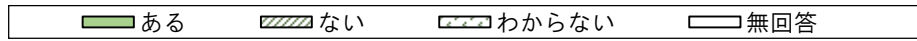
(6) 「女らしさ」「男らしさ」などについて

13. 女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われたことの有無

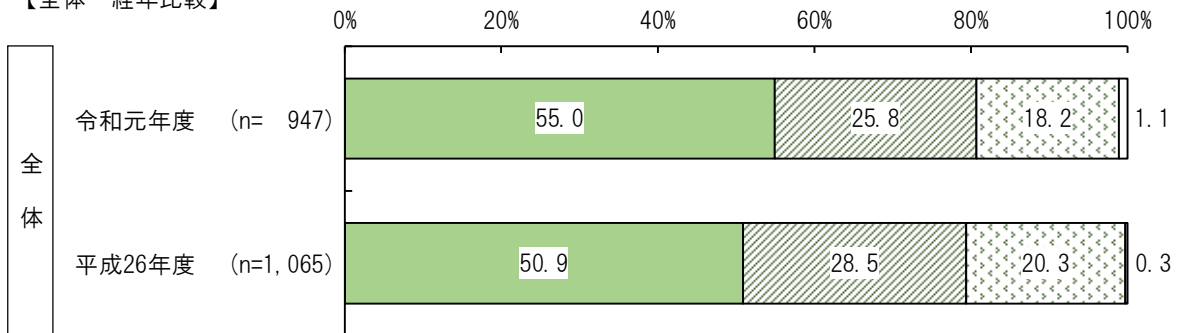
問13 あなたは、女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われたことがありますか。

(1つに〇)

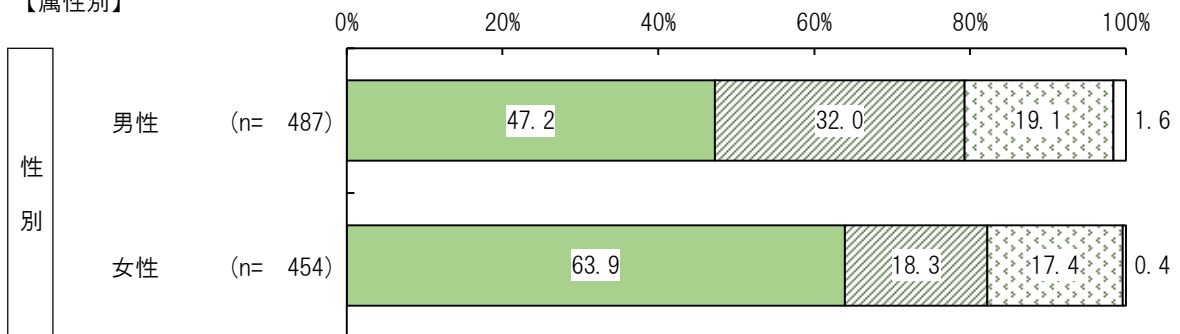
女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われたことの有無では、「ある」が55.0%、「ない」が25.8%、「わからない」が18.2%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

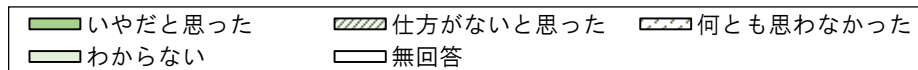


## 14. 女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われた時の感じ方

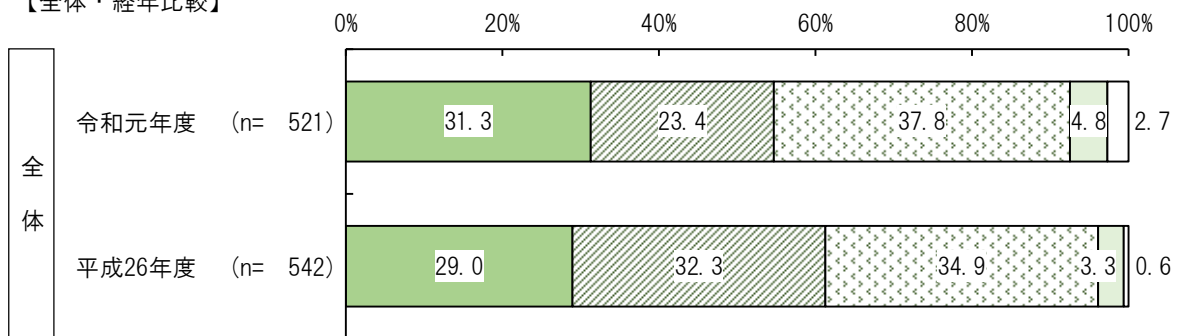
問13で「1 ある」に○をつけた方にうかがいます。

問13-1 女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われた時の感じ方について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)

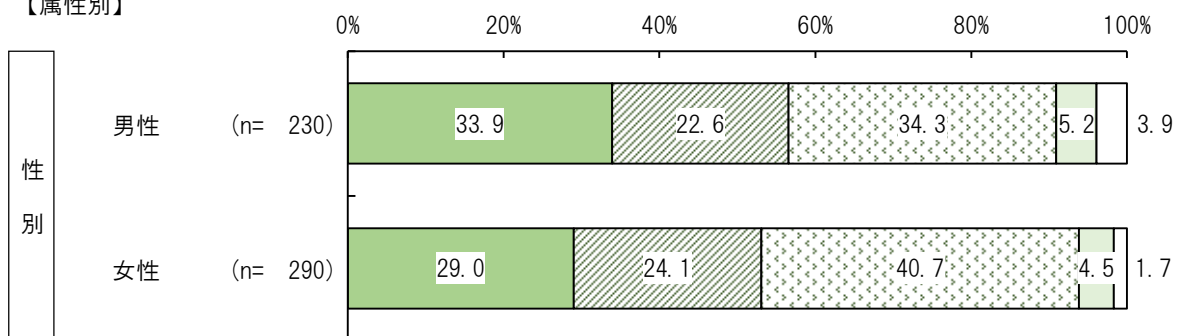
女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われた時の感じ方では、「いやだと思った」が31.3%、「仕方がないと思った」が23.4%、「何とも思わなかった」が37.8%、「わからない」が4.8%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

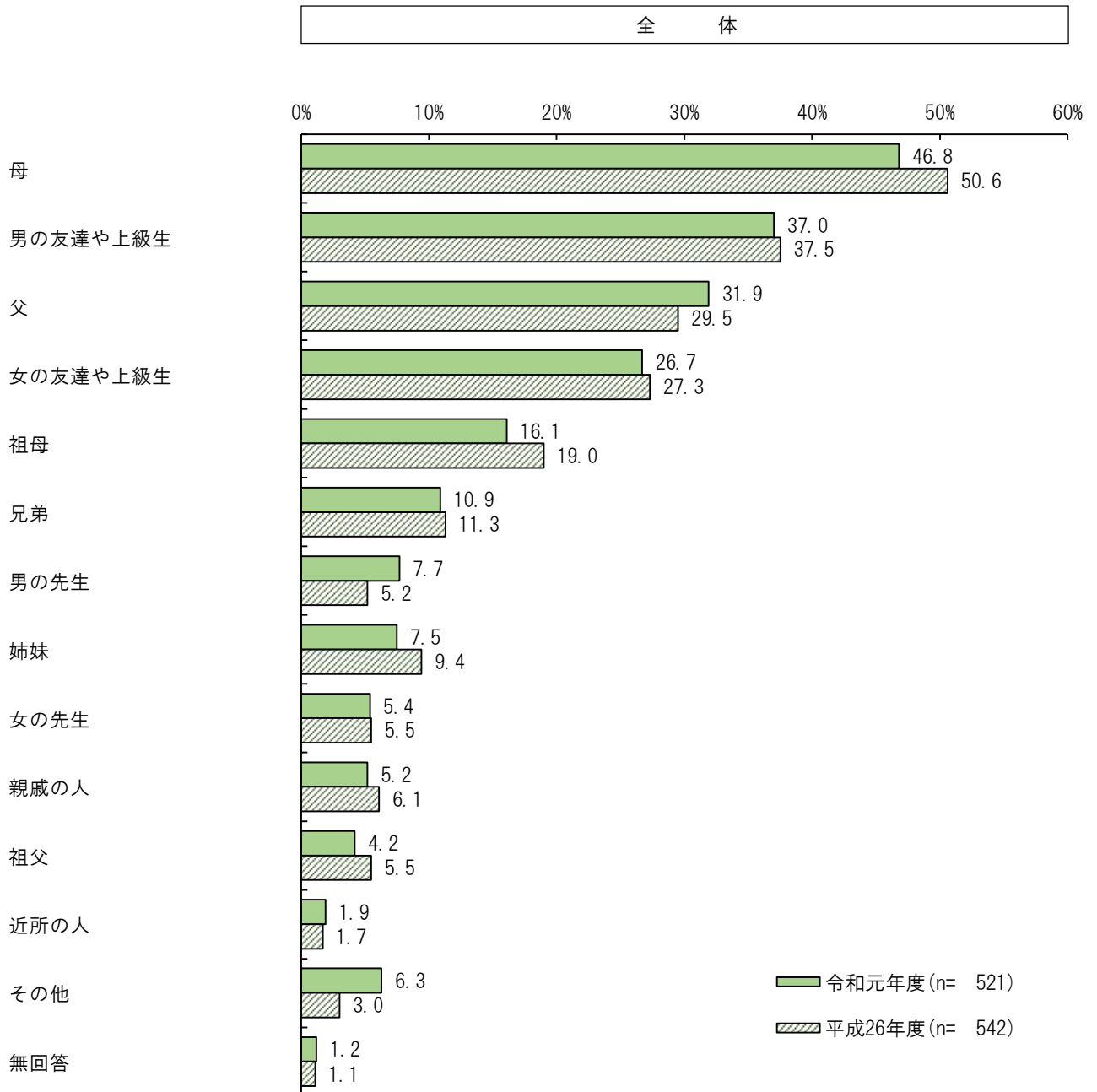


### 15. 女・男「らしく、なのに、のくせに」と言う人

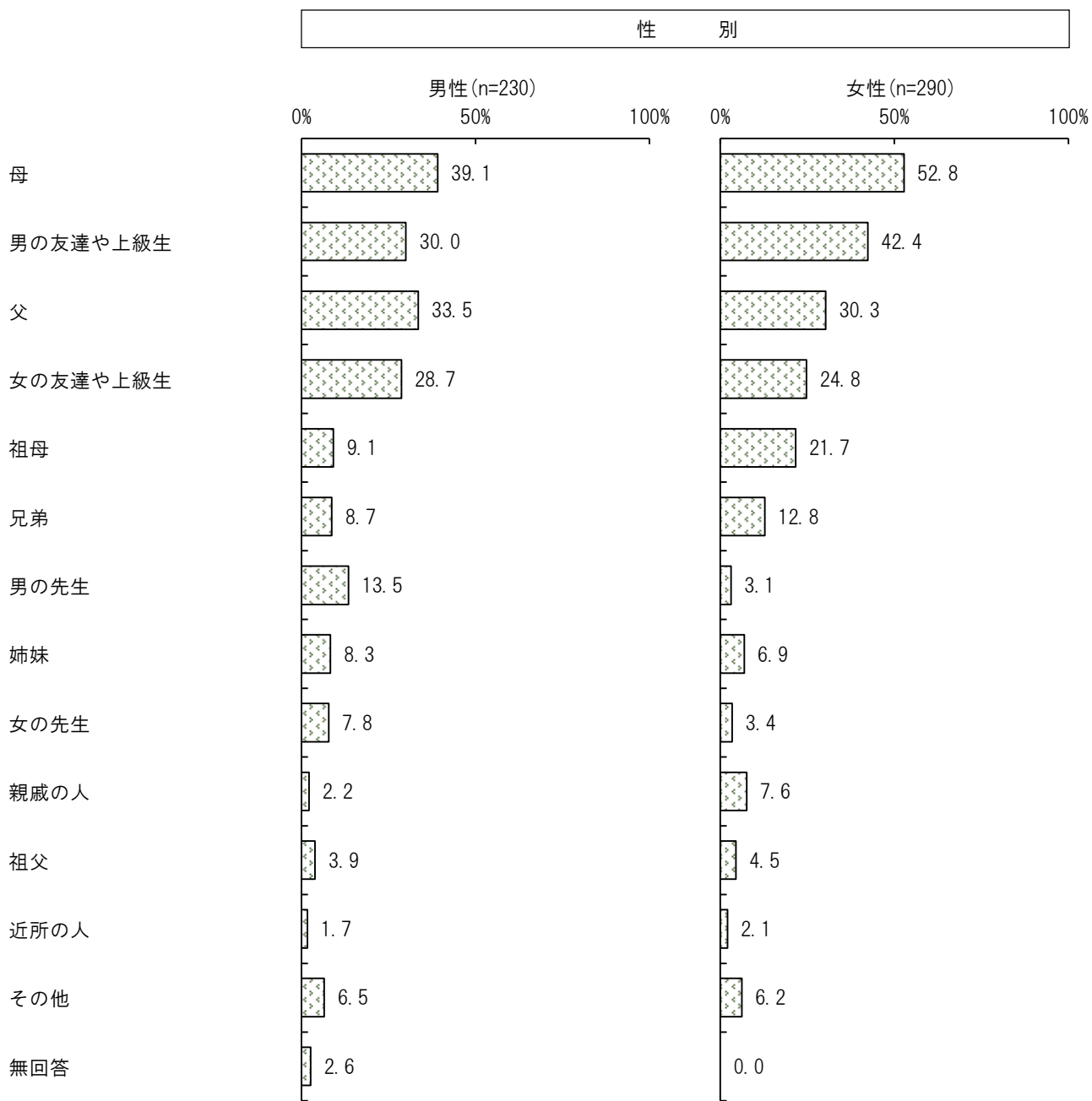
問13で「1 ある」に○をつけた方にうかがいます。

問13-2 女・男「らしく、なのに、のくせに」と言う人は誰ですか。（○はいくつでも）

女・男「らしく、なのに、のくせに」と言う人では、「母」が46.8%と最も多く、次いで「男の友達や上級生」が37.0%、「父」が31.9%などとなっています。



### 15. 女・男「らしく、なのに、のくせに」と言う人



## 16. あてはまると思う性別

問14 次のことについてどのように思いますか。あてはまるものを選んでください。

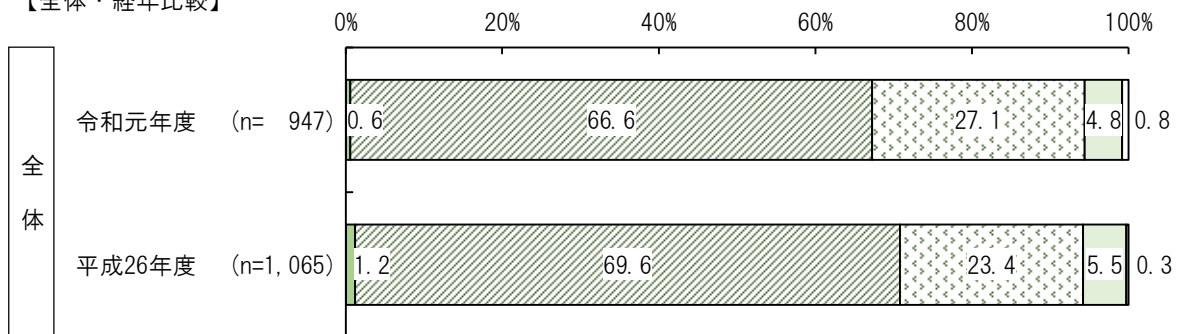
(それぞれ1つに○)

### ①スポーツが得意

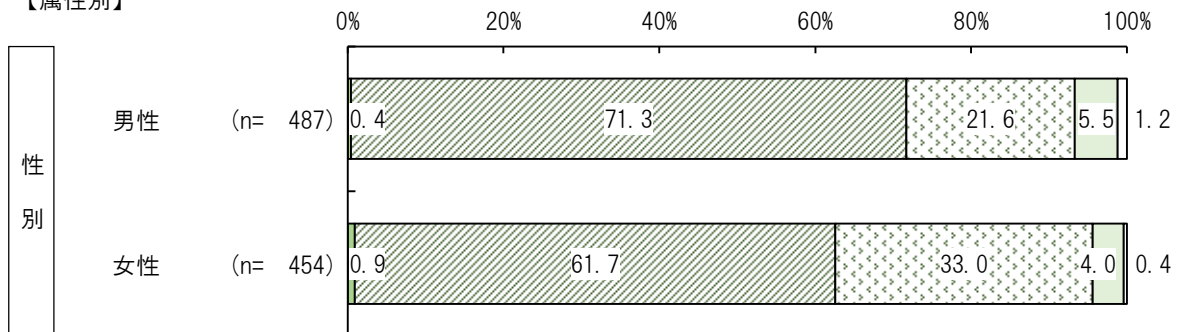
スポーツが得意では、「女子の方があてはまる」が0.6%、「男子の方があてはまる」が66.6%、「どちらも差がない」が27.1%、「わからない」が4.8%となっています。



#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

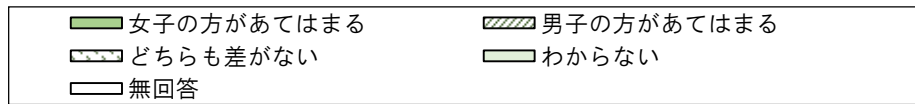


## 16. あてはまると思う性別

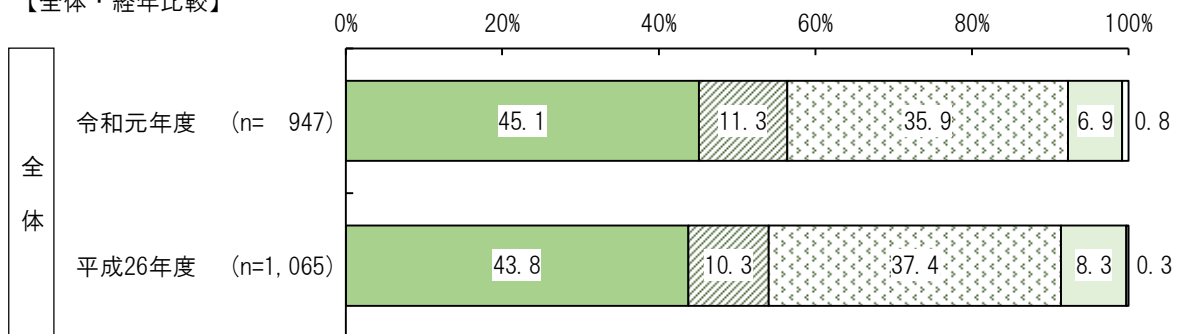
### ②やさしい

\*平成26年度では「優しい」

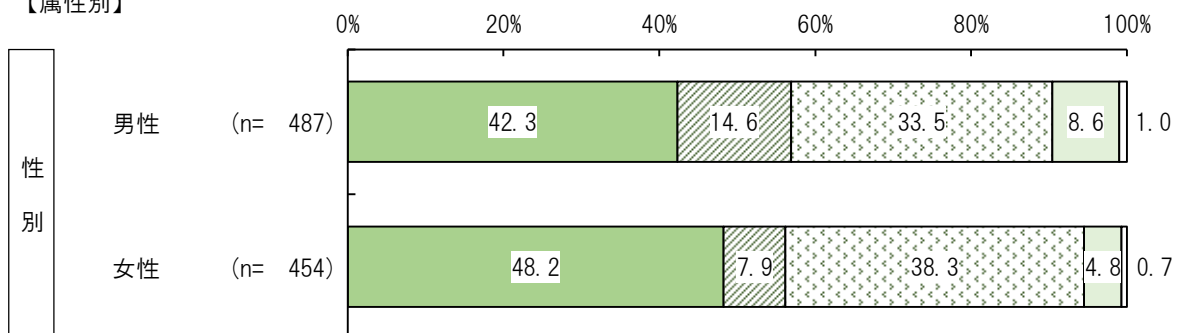
やさしいでは、「女子の方があてはまる」が45.1%、「男子の方があてはまる」が11.3%、「どちらも差がない」が35.9%、「わからない」が6.9%となっています。



#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】





## 16. あてはまると思う性別

### ③たよりになる

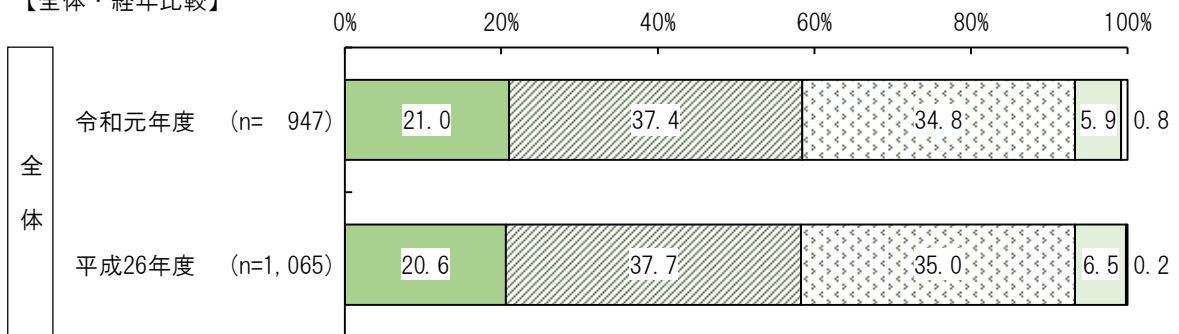
\*平成26年度では「頼りになる」

たよりになるでは、「女子の方があてはまる」が21.0%、「男子の方があてはまる」が37.4%、「どちらも差がない」が34.8%、「わからない」が5.9%となっています。

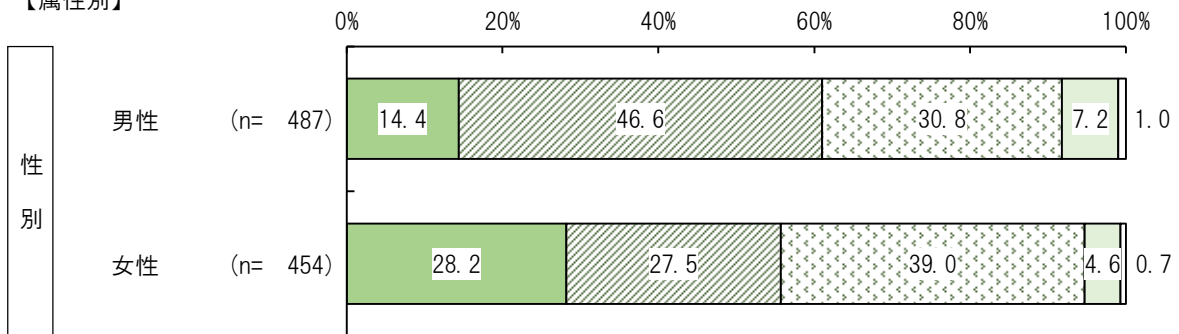
性別にみると、“女性”では「どちらも差がない」が39.0%と最も多くなっています。



#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】

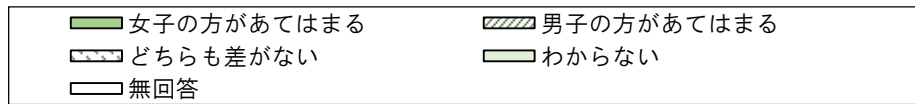


## 16. あてはまると思う性別

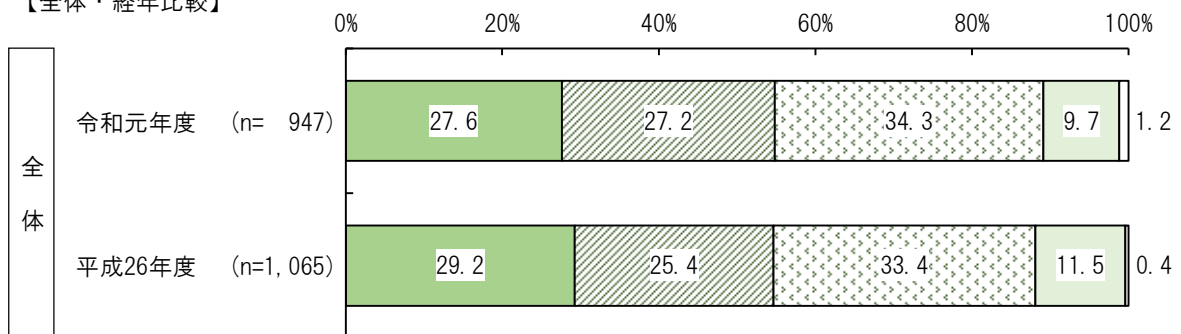
### ④すなお

\*平成26年度では「素直」

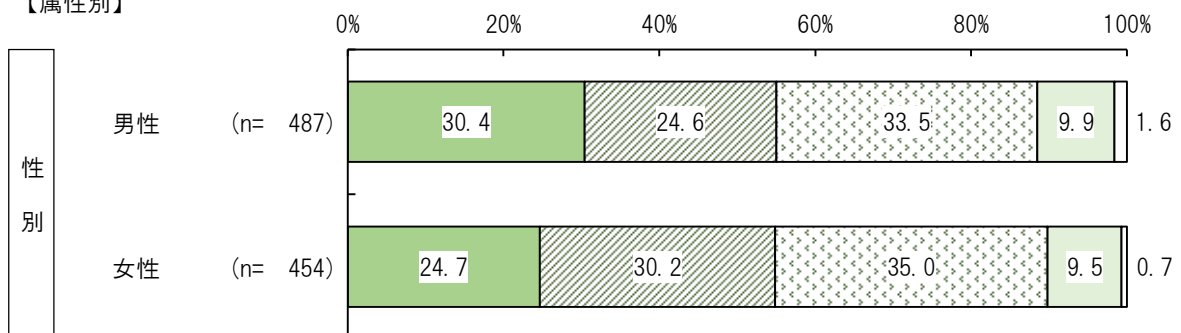
すなおでは、「女子の方があてはまる」が27.6%、「男子の方があてはまる」が27.2%、「どちらも差がない」が34.3%、「わからない」が9.7%となっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



## 16. あてはまると思う性別

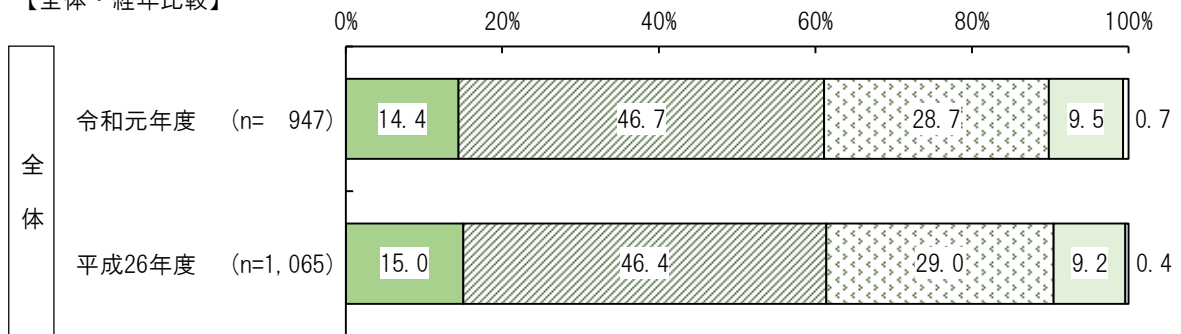
### ⑤ねばり強い

ねばり強いでは、「女子の方があてはまる」が14.4%、「男子の方があてはまる」が46.7%、「どちらも差がない」が28.7%、「わからない」が9.5%となっています。

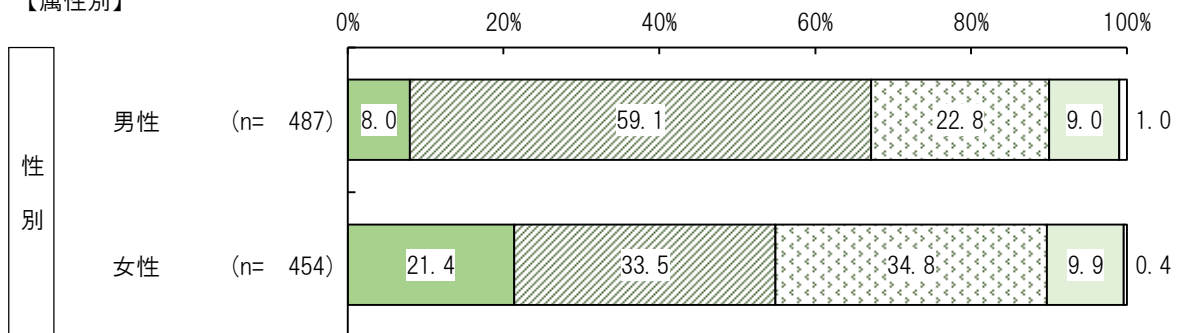
性別にみると、「女性」では「どちらも差がない」が34.8%と最も多くなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】



## 16. あてはまると思う性別

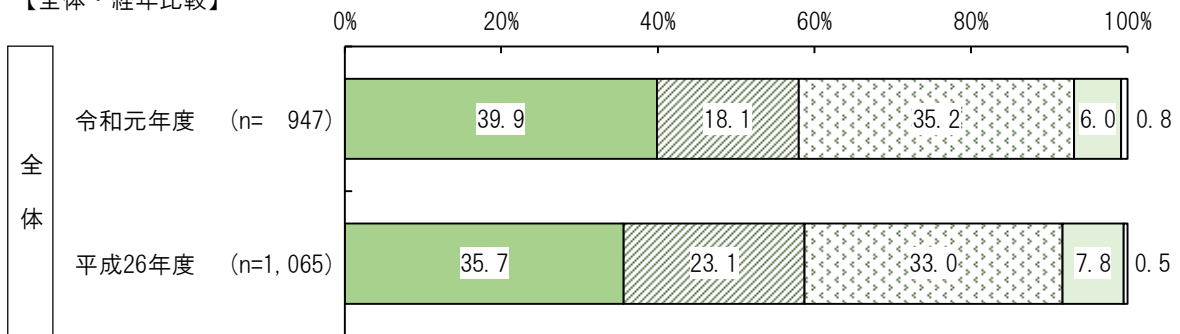
### ⑥ 皆をまとめるのがうまい

\*平成26年度では「みんなをまとめるのがうまい」

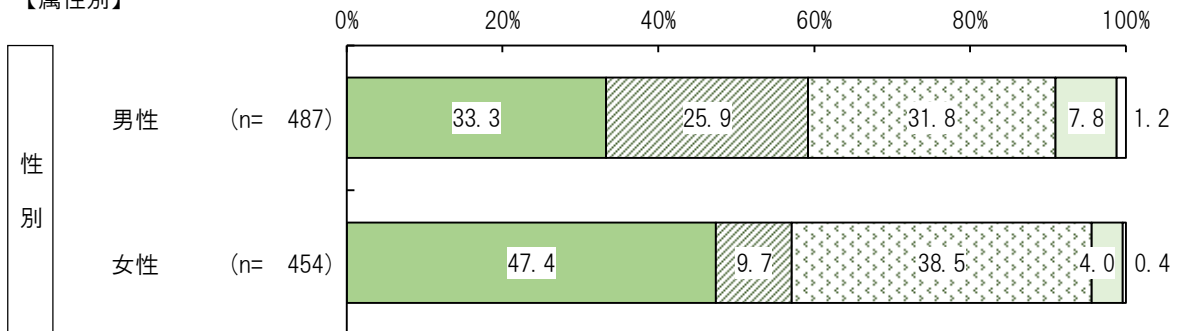
皆をまとめるのがうまいでは、「女子の方があてはまる」が39.9%、「男子の方があてはまる」が18.1%、「どちらも差がない」が35.2%、「わからない」が6.0%となっています。



【全体・経年比較】



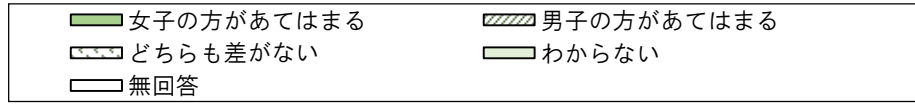
【属性別】



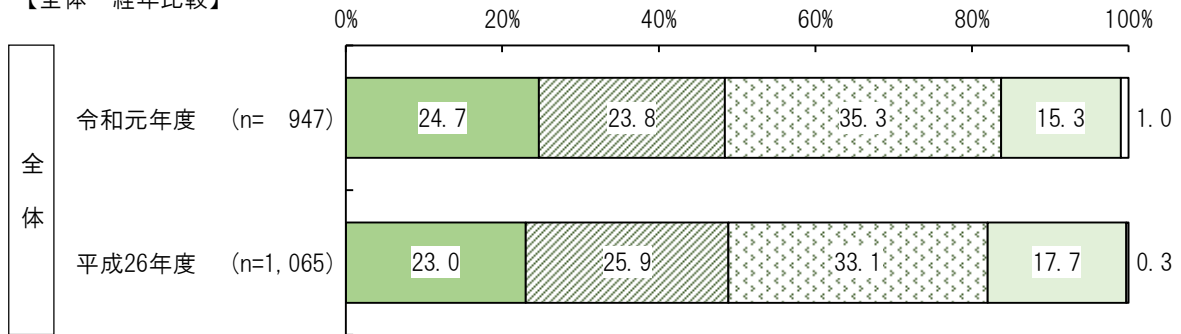
## 16. あてはまると思う性別

### ⑦創造性がある

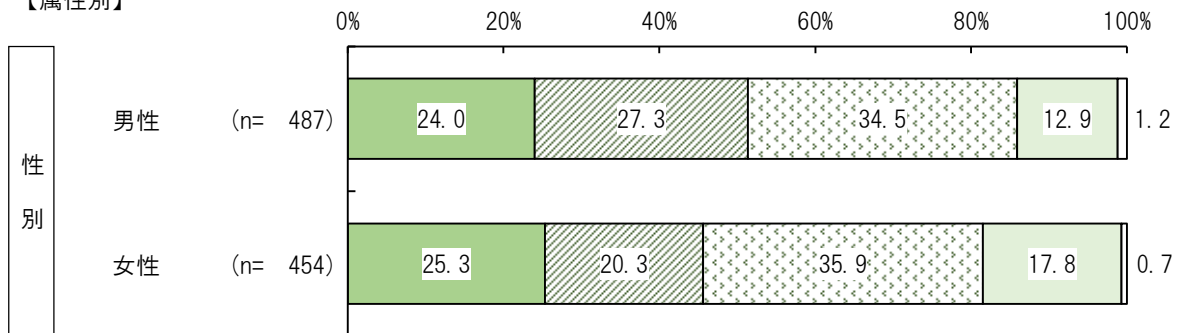
創造性があるでは、「女子の方があてはまる」が24.7%、「男子の方があてはまる」が23.8%、「どちらも差がない」が35.3%、「わからない」が15.3%となっています。



#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】



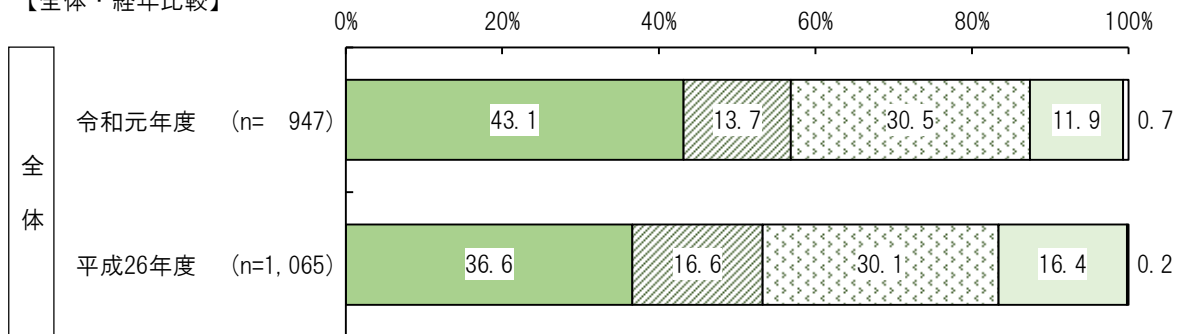
## 16. あてはまると思う性別

### ⑧視野が広い

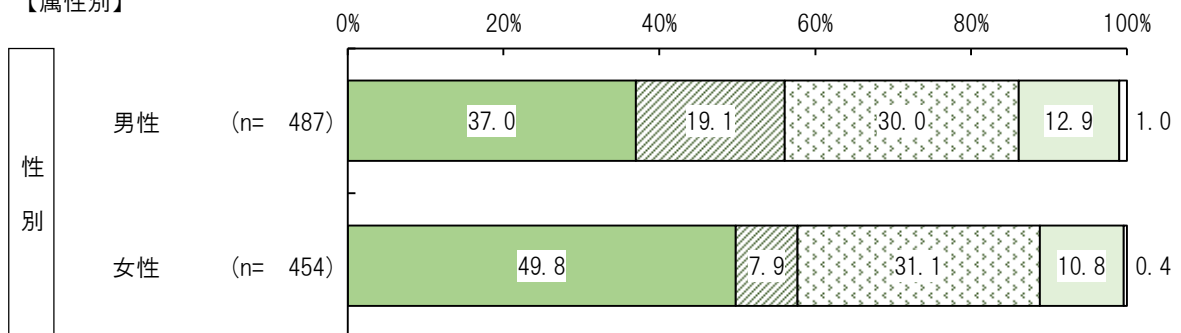
視野が広いでは、「女子の方があてはまる」が43.1%、「男子の方があてはまる」が13.7%、「どちらも差がない」が30.5%、「わからない」が11.9%となっています。



#### 【全体・経年比較】



#### 【属性別】



## 17. 「女らしく」「男らしく」の意識の有無

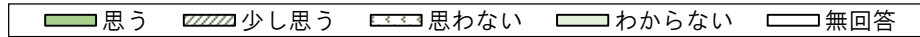
問15 あなたは、ふだんの意識の中に「女らしく」「男らしく」はあると思いますか。

(1つに○)

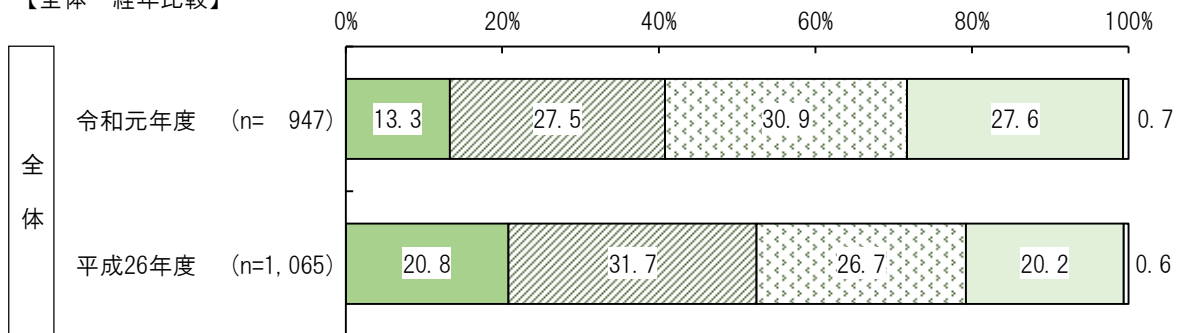
「女らしく」「男らしく」の意識の有無では、「思う」が13.3%、「少し思う」が27.5%、「思わない」が30.9%、「わからない」が27.6%となっています。

経年比較で見ると、平成26年度では「少し思う」が31.7%と最も多くなっていましたが、令和元年度では「思わない」が最も多くなっています。

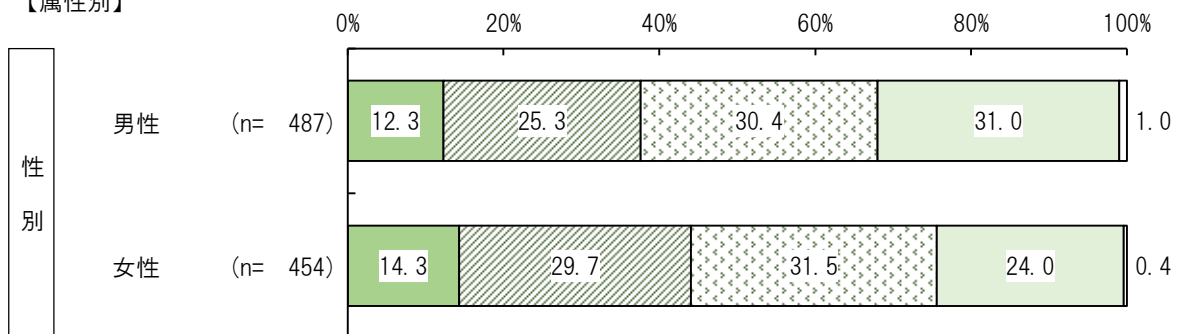
性別にみると、“男性”では「わからない」が31.0%と最も多くなっています。



【全体・経年比較】



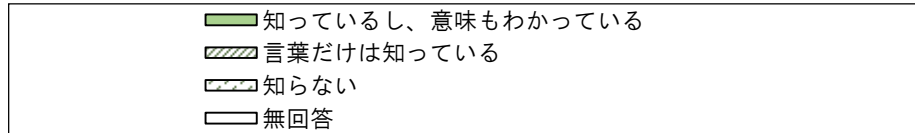
【属性別】



## 18. 「男女共同参画社会」の認知

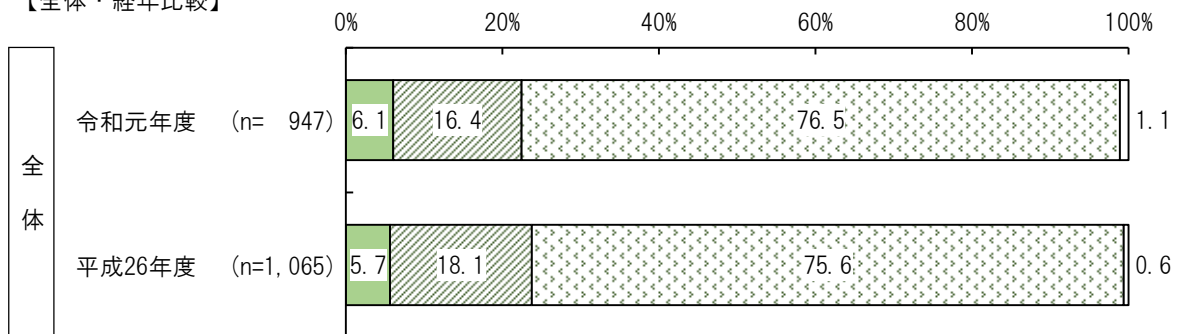
問16 あなたは「男女共同参画社会」という言葉についてご存知ですか。 (1つに〇)

「男女共同参画社会」の認知では、「知っているし、意味もわかっている」が6.1%、「言葉だけは知っている」が16.4%、「知らない」が76.5%となっています。

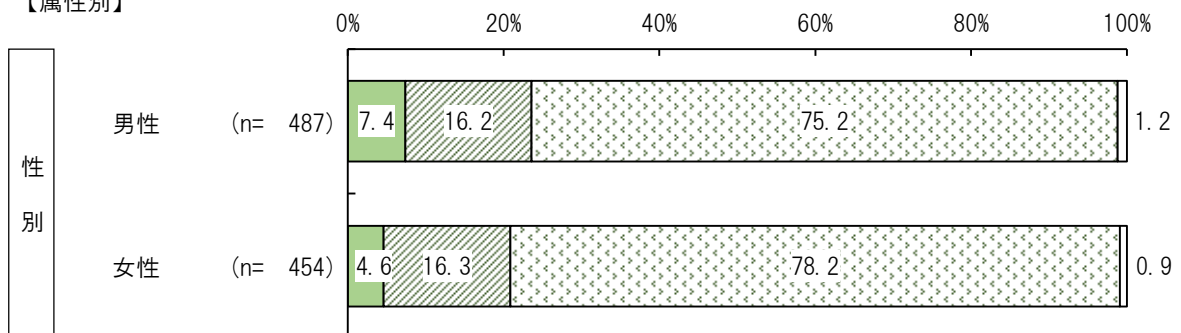


\*選択肢「知っているし、意味もわかっている」は平成26年度では「知っているし意味もわかっている」

### 【全体・経年比較】



### 【属性別】





(7) 性的マイノリティについて

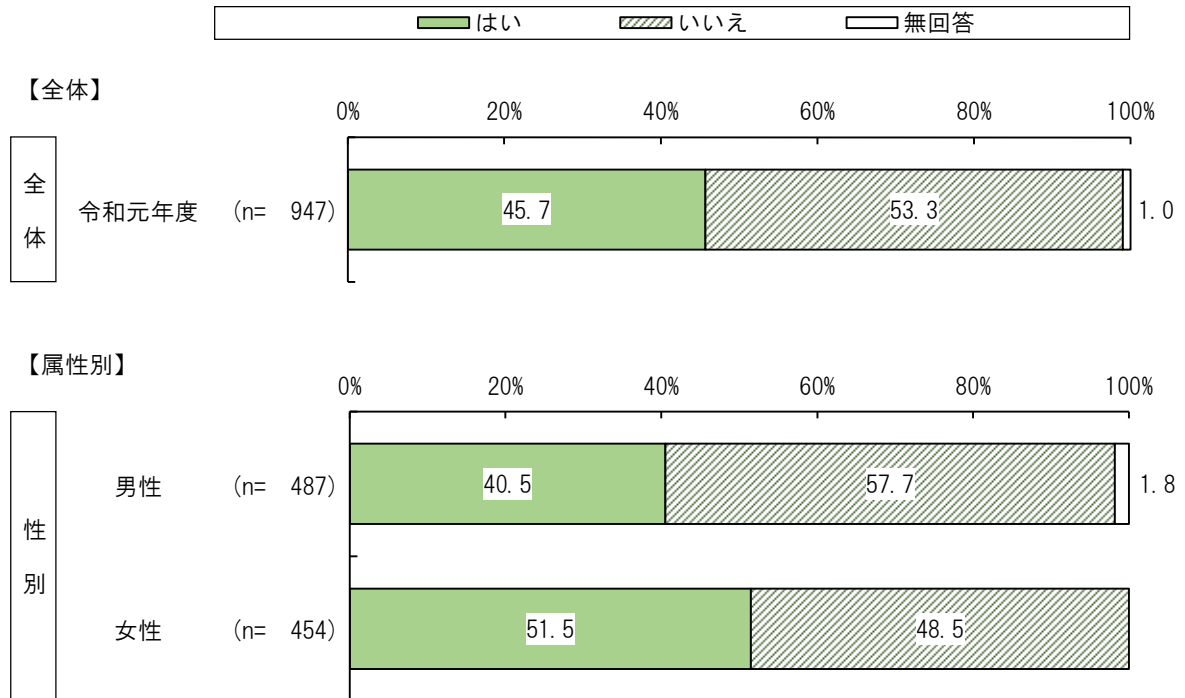
19. 性的マイノリティ（またはLGBT）の認知

問17 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。

(1つに○)

性的マイノリティ（またはLGBT）の認知では、「はい」が45.7%、「いいえ」が53.3%となっています。

性別にみると、“女性”では「はい」が51.5%と「いいえ」よりも多くなっています。

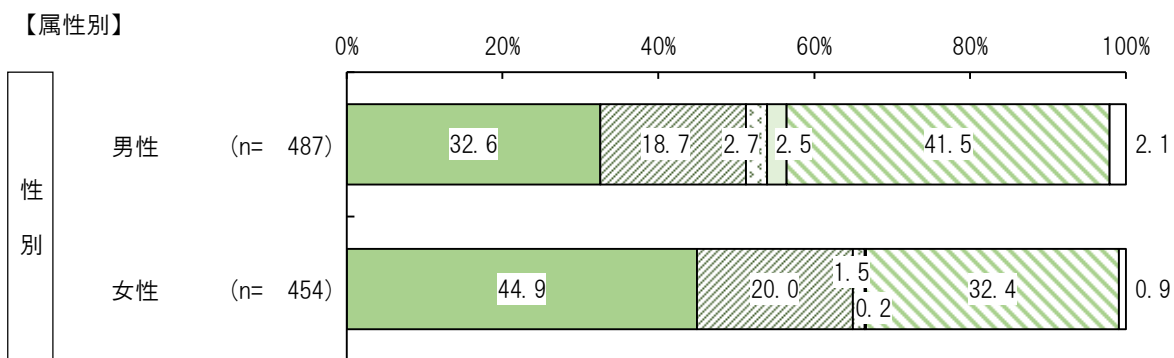
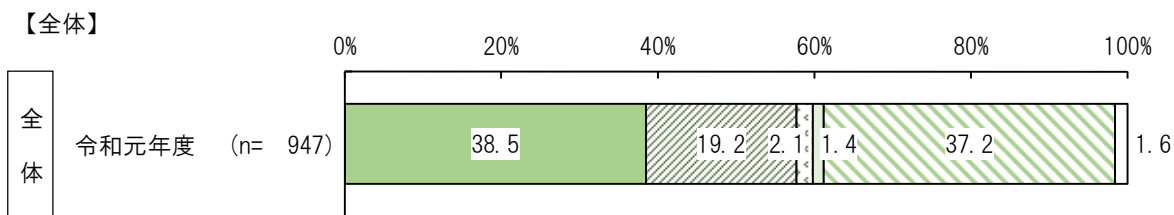
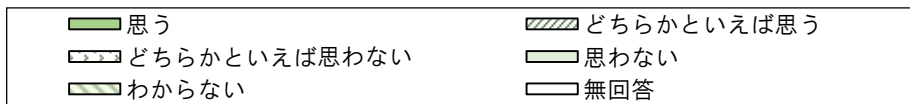


## 20. 性的マイノリティの方々にとって暮らしやすい社会の実現の必要性

問18 性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、暮らしやすい社会の実現が必要だと思えますか。 (1つに○)

性的マイノリティの方々にとって暮らしやすい社会の実現の必要性では、「思う」が38.5%と最も多く、次いで「わからない」が37.2%、「どちらかといえば思う」が19.2%などとなっています。

性別にみると、“男性”では「わからない」が41.5%と最も多くなっています。

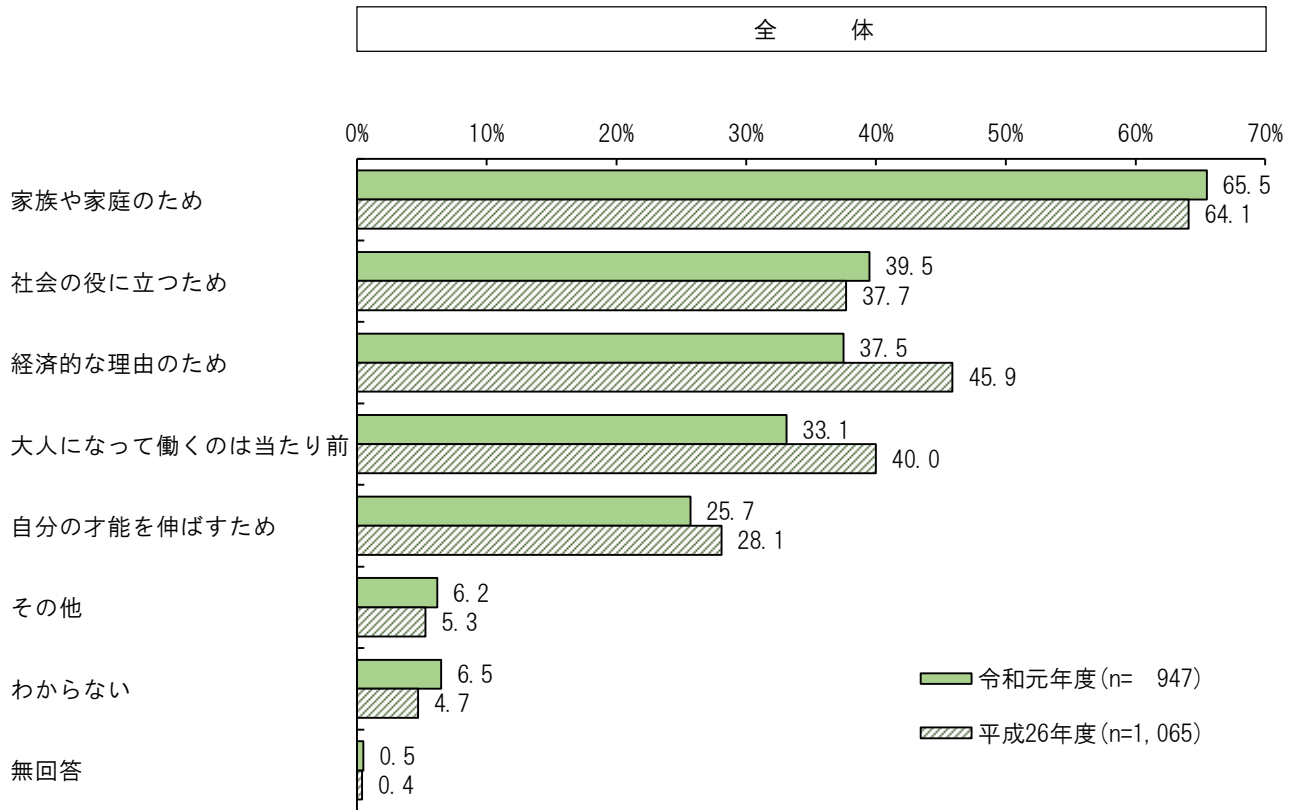


## (8) 将来のことについて

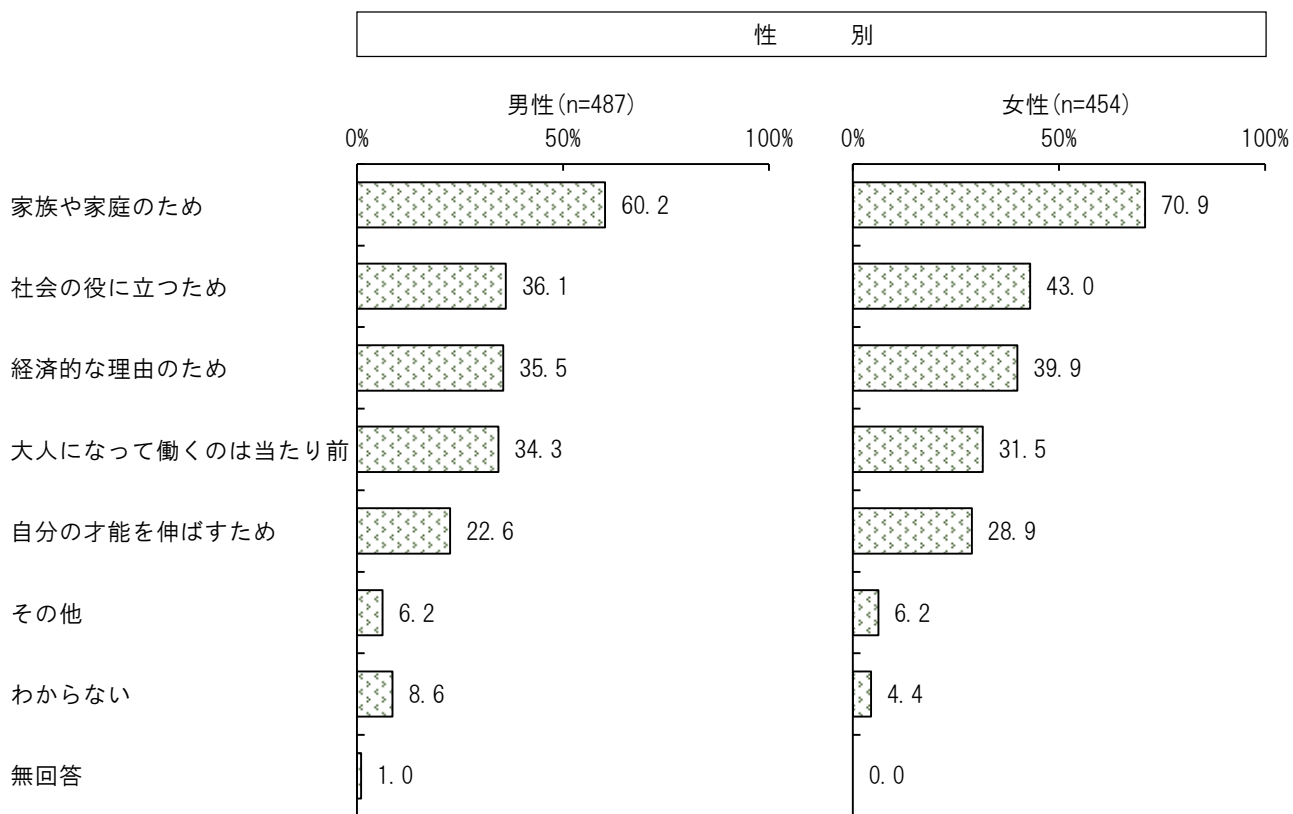
## 21. 将来働く理由の考え方

問19 あなたは、将来働く理由についてどのように考えますか。 (〇はいくつでも)

将来働く理由の考え方では、「家族や家庭のため」が65.5%と最も多く、次いで「社会の役に立つため」が39.5%、「経済的な理由のため」が37.5%などとなっています。



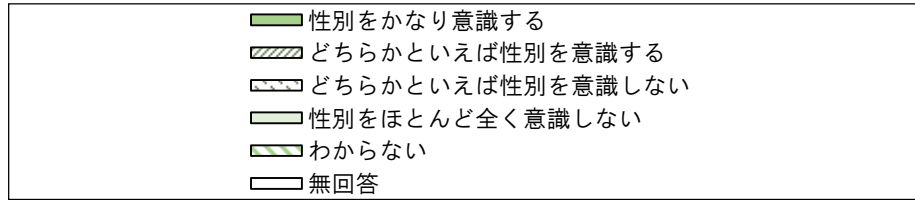
## 21. 将来働く理由の考え方



## 22. 進路や職業の選択の性別の意識

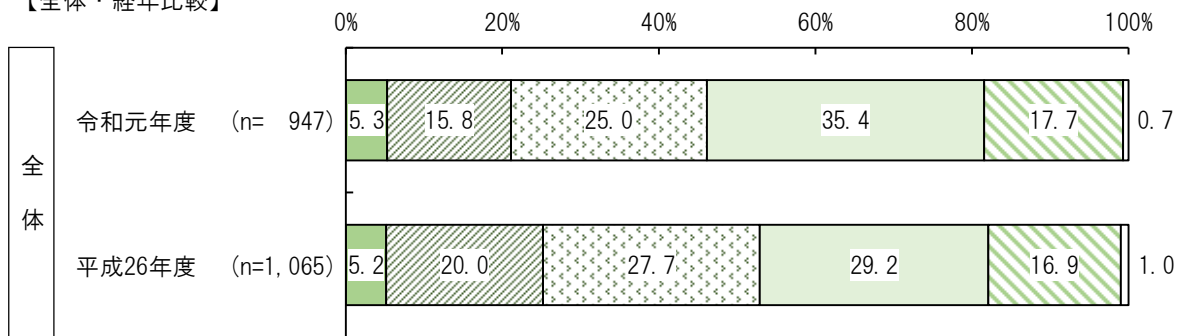
問20 あなたは、進路や職業の選択に性別を意識すると思いますか。 (1つに○)

進路や職業の選択の性別の意識では、「性別をほとんど全く意識しない」が35.4%と最も多く、次いで「どちらかといえば性別を意識しない」が25.0%、「わからない」が17.7%などとなっています。

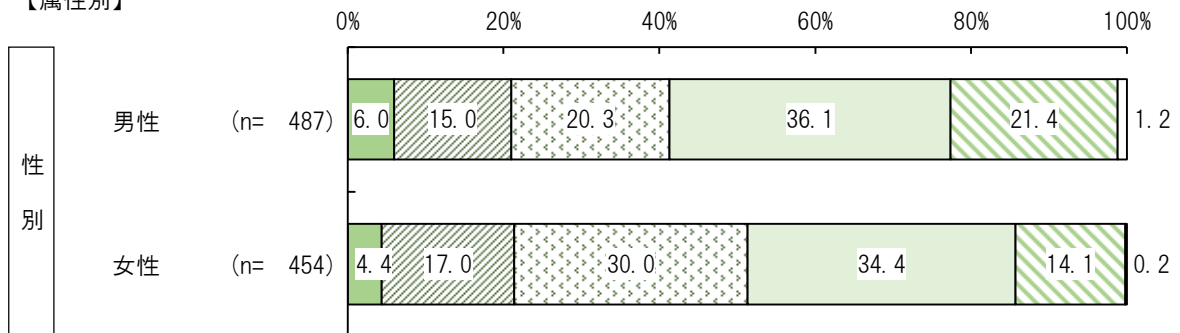


\* 選択肢「性別をほとんど全く意識しない」は平成26年度では「性別を全く意識しない」

### 【全体・経年比較】



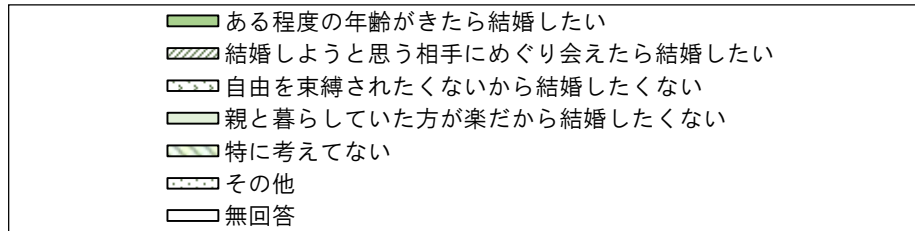
### 【属性別】



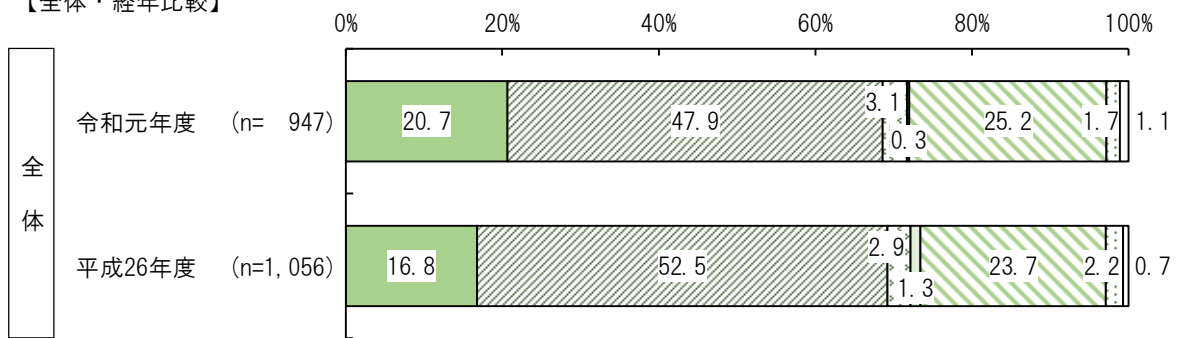
## 23. 結婚の考え方

問21 あなたは、結婚についてどのように考えますか。 (1つに○)

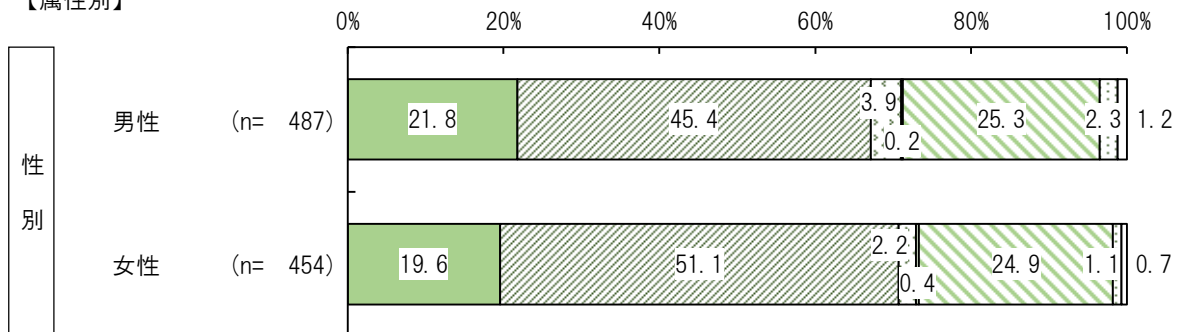
結婚の考え方では、「結婚しようと思う相手にめぐり会えたら結婚したい」が47.9%と最も多く、次いで「特に考えてない」が25.2%、「ある程度の年齢がきたら結婚したい」が20.7%などとなっています。



【全体・経年比較】



【属性別】

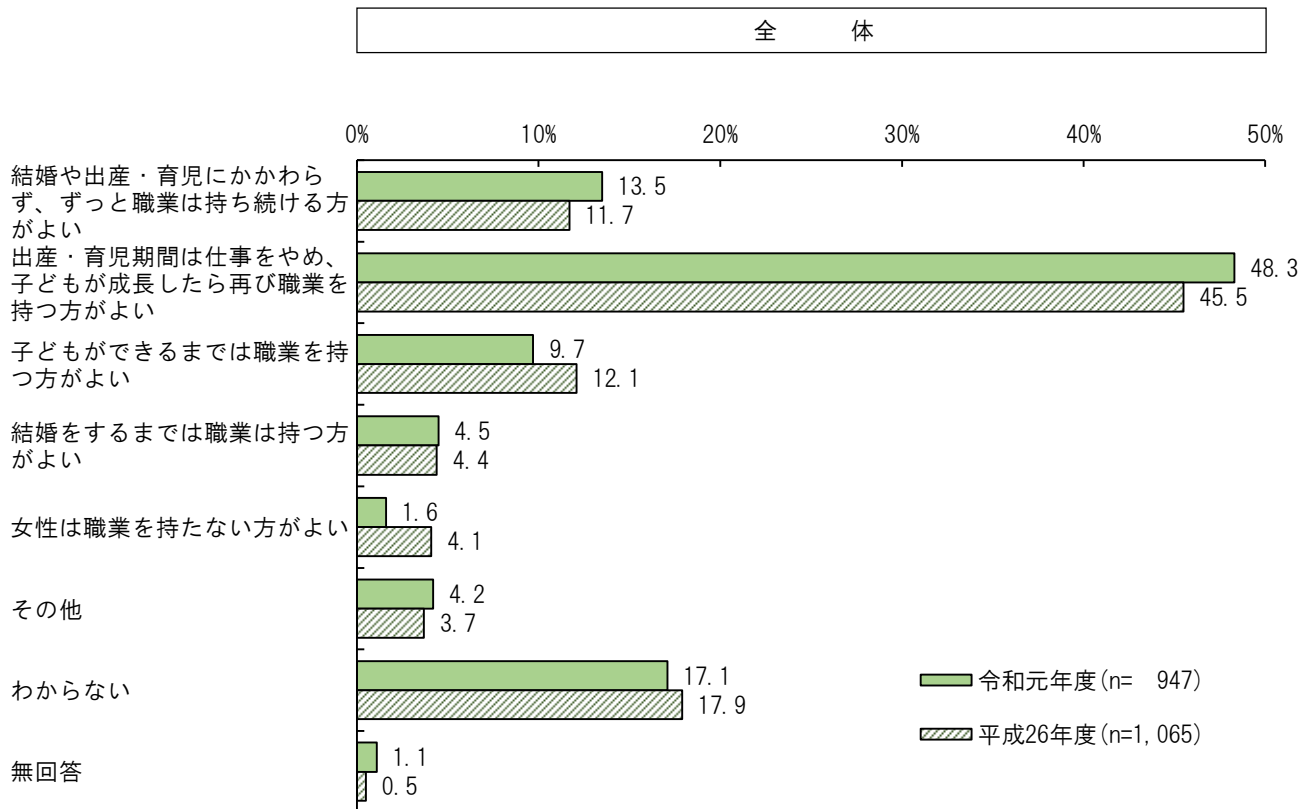


## 24. 女性が働くことへの考え方

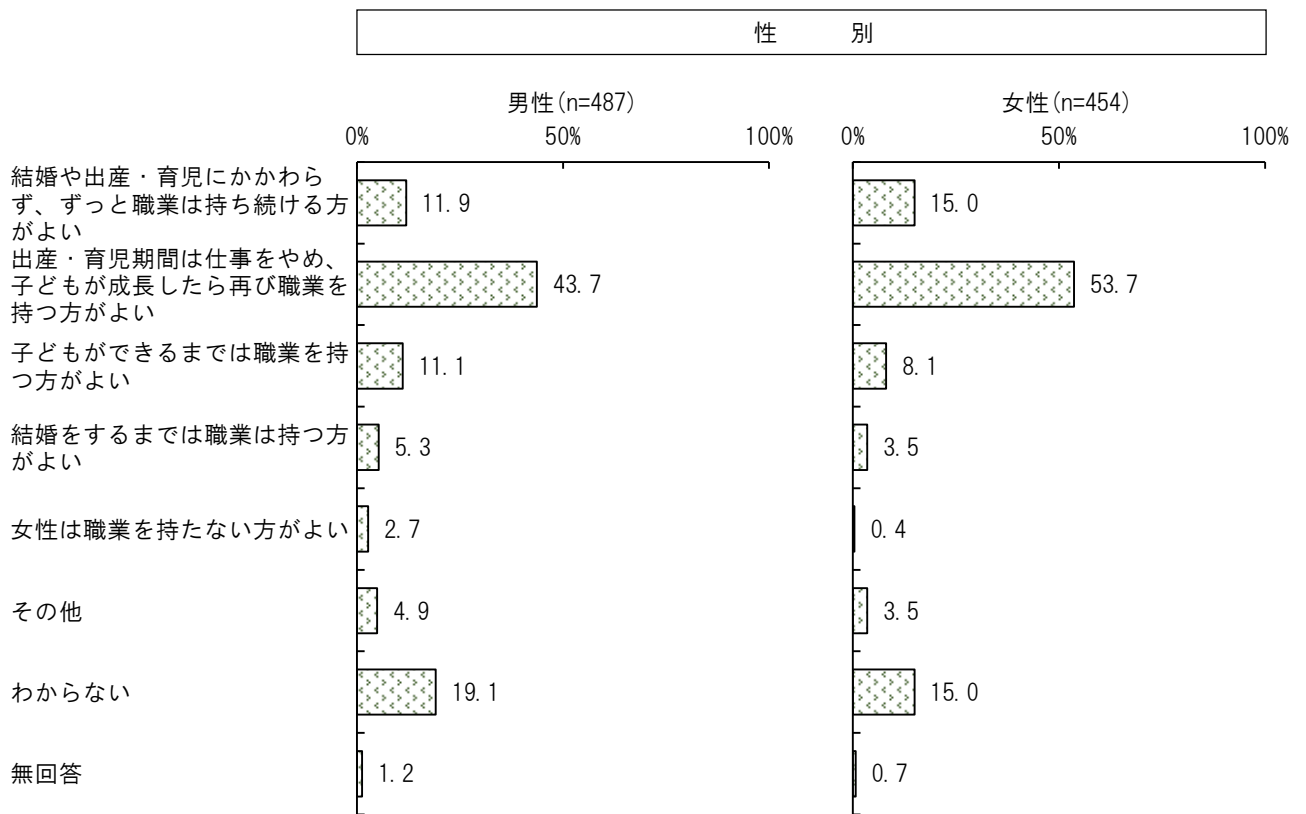
問22 女性が働くことについて、次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。

(1つに○)

女性が働くことへの考え方では、「出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び職業を持つ方がよい」が48.3%と最も多く、次いで「わからない」が17.1%、「結婚や出産・育児にかかわらず、ずっと職業は持ち続ける方がよい」が13.5%などとなっています。



## 24. 女性が働くことへの考え方





## V 調査票【市民意識調査】

令和元年度（市民意識調査）

## 富士宮市 男女共同参画に関するアンケート

## 【調査へのご協力をお願い】

日ごろから、市政の推進にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

富士宮市では、男女が互いにその人権を尊重し、それぞれの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指しています。

このたび、男女共同参画プランの見直しをするにあたり、市民の皆様の男女共同参画に関する意識について調査を行うこととなりました。

なお、このアンケートは20歳以上の男女から無作為に抽出した1,300人の方を対象にお願いするものです。

つきましては、あなたにアンケートを郵送させていただきましたが、このアンケートは無記名であり、回答いただいた皆様の情報やご意見は、調査の目的以外で使用されることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月 富士宮市長

須藤秀忠

## 記入上のお願い

- ◎ ご記入は、封書宛名のご本人にお願いいたします。
- ◎ 回答は、回答欄のあてはまる番号を○で囲んでください。
- ◎ 回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、( )内に具体的にご記入ください。
- ◎ ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて8月9日（金）までにご投函願います。

- ◎ 問い合わせ先 富士宮市市民部市民交流課 女性が輝くまちづくり推進室

TEL 22-1307

◆ 最初に、あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの地区の中学校区はどこですか。(1つに○)

- |            |            |
|------------|------------|
| 1 富士宮第一中学校 | 2 富士宮第二中学校 |
| 3 富士宮第三中学校 | 4 富士宮第四中学校 |
| 5 富士根南中学校  | 6 富士根北中学校  |
| 7 北山中学校    | 8 西富士中学校   |
| 9 井之頭中学校   | 10 上野中学校   |
| 11 大富士中学校  | 12 芝川中学校   |
| 13 柚野中学校   |            |

問2 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

- |      |      |
|------|------|
| 1 男性 | 2 女性 |
|------|------|

問3 あなたの年齢はどれにあてはまりますか。(1つに○)

- |          |          |
|----------|----------|
| 1 20～29歳 | 2 30～39歳 |
| 3 40～49歳 | 4 50～59歳 |
| 5 60～64歳 | 6 65～74歳 |
| 7 75歳以上  |          |

問4 あなたの職業はどれにあてはまりますか。(1つに○)

- |                |
|----------------|
| 1 勤め人 (フルタイム)  |
| 2 勤め人 (パートタイム) |
| 3 自営業          |
| 4 家事専業         |
| 5 無職           |
| 6 その他 ( )      |

問5 あなたの家族構成はどれにあてはまりますか。(1つに○)

- |               |
|---------------|
| 1 一人世帯        |
| 2 夫婦のみの世帯     |
| 3 親と子の二世帯世帯   |
| 4 親・子・孫の三世帯世帯 |
| 5 母子・父子世帯     |
| 6 その他 ( )     |

問6 あなたは結婚されていますか。(1つに○)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 既婚 (配偶者あり) | 2 既婚 (離別・死別) |
| 3 未婚         |              |

問6で「1 既婚 (配偶者あり)」に○をつけた方にうかがいます。

→ 問7 あなたの家庭は夫婦とも職業をお持ちの家庭ですか。それとも、どちらか一方が働いている家庭ですか。(1つに○)

- |                        |
|------------------------|
| 1 共働き (パートタイム・内職などを含む) |
| 2 夫のみ就業                |
| 3 妻のみ就業                |
| 4 ともに無職                |
| 5 その他 ( )              |

全員にうかがいます。

問8 あなたにはお子さんがいらっしゃいますか。(別居を含む)(1つに○)

- |          |           |
|----------|-----------|
| 1 子どもはいる | 2 子どもはいない |
|----------|-----------|

問9 あなたは今までに、仕事を辞めたり、中断したり、転職したことがありますか。(定年退職は含まない)(1つに○)

- |      |      |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問9で「1 ある」に○をつけた方にうかがいます。

→ 問10 仕事を辞めたり、中断したり、転職した理由を選んでください。(3つまでに○)

- |                  |
|------------------|
| 1 自分の健康上の問題      |
| 2 結婚・出産・育児のため    |
| 3 病気等の家族の世話のため   |
| 4 配偶者の転勤のため      |
| 5 配偶者の収入で生活できるため |
| 6 定年退職のため        |
| 7 仕事がおもしろくなかったため |
| 8 労働条件がよくなかったため  |
| 9 勤務先の都合で        |
| 10 家族の反対         |
| 11 その他 ( )       |
| 12 特に理由はない       |

◆ 社会における制度・慣行について

問11 「男女共同参画」という言葉と意味についてご存知ですか。(1つに○)

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1 知っているし、意味もわかっている | 2 言葉だけは知っている |
| 3 知らない             |              |

問12 あなたは、「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

(1つに○)

- |              |              |
|--------------|--------------|
| 1 反対         | 2 どちらかといえば反対 |
| 3 どちらかといえば賛成 | 4 賛成         |
| 5 わからない      |              |

問13 あなたは、高齢者の介護に対する家庭内での分担についてどのようにお考えですか。

(1つに○)

- |                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 1 主として女性が受け持つ方がよい | 2 男女が共同して分担する方がよい |
| 3 主として男性が受け持つ方がよい | 4 その他( )          |
| 5 わからない           |                   |

問14 あなたは、次の分野で男女が平等になっていると思いますか。(それぞれ1つに○)

	男性の方が非常に 優遇されている	どちらかといえば 男性の方が優遇されている	男女平等	どちらかといえば 女性の方が優遇されている	女性の方が非常に 優遇されている	わからない
① 家庭生活で	1	2	3	4	5	6
② 職場で	1	2	3	4	5	6
③ 学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
④ 地域活動の場で	1	2	3	4	5	6
⑤ 政治の場で	1	2	3	4	5	6
⑥ 法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦ 社会通念や慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6
⑧ 社会全体で	1	2	3	4	5	6

◆ 男女共同参画に関する教育・学習について

問15 あなたは、子どもの育て方についてどのように考えますか。(1つに○)

- 1 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい
- 2 ある程度は、男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい
- 3 男の子も女の子も同じように育てる方がよい
- 4 男の子、女の子と区別せず、本人の個性や能力にあったように育てる方がよい
- 5 その他 ( )

問16 あなたは、子どもの進路や職業の選択に性別を意識しましたか。また、該当する子どもがいない方は性別を意識すると思いますか。(1つに○)

- 1 性別をかなり意識した (意識する)
- 2 どちらかといえば性別を意識した (意識する)
- 3 どちらかといえば性別を意識しなかった (意識しない)
- 4 性別をほとんど全く意識しなかった (意識しない)
- 5 わからない

◆ 意思決定過程への女性の参画について

問17 あなたは、地域活動において女性が代表や運営に携わる立場になることについてどのように考えますか。(1つに○)

## (1) 自治会・町内会

- 1 女性も積極的に参画する方がよい
- 2 男性にまかせた方がよい
- 3 女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい
- 4 わからない

## (2) 子ども会

- 1 女性も積極的に参画する方がよい
- 2 男性にまかせた方がよい
- 3 女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい
- 4 わからない

## (3) P T A

- 1 女性も積極的に参画する方がよい
- 2 男性にまかせた方がよい
- 3 女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい
- 4 わからない

(4) 消防団

- 1 女性も積極的に参画する方がよい
- 2 男性にまかせた方がよい
- 3 女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい
- 4 わからない

(5) 避難訓練等の防災活動

- 1 女性も積極的に参画する方がよい
- 2 男性にまかせた方がよい
- 3 女性が参画することは賛成だが、現実にはむずかしい
- 4 わからない

◆ 地域社会とのつながりについて

問18 あなたが、次にあげる地域での活動の中で(1)現在取り組んでいる活動、(2)今後取り組みたい活動をお答えください。(〇はいくつでも)

(1) 現在取り組んでいる活動

- 1 自治会・子ども会・PTAなど地域団体活動
- 2 子育てや介護などでの団体活動
- 3 自主防災・消防団など防災団体活動
- 4 環境保護に関する団体活動
- 5 スポーツに関する団体活動
- 6 文化・教養・学習に関する団体活動
- 7 その他の団体活動
- 8 いずれもない

(2) 今後取り組みたい活動

- 1 自治会・子ども会・PTAなど地域団体活動
- 2 子育てや介護などでの団体活動
- 3 自主防災・消防団など防災団体活動
- 4 環境保護に関する団体活動
- 5 スポーツに関する団体活動
- 6 文化・教養・学習に関する団体活動
- 7 その他の団体活動
- 8 いずれもない

◆ 用語について

問19 あなたは、次にあげる用語について知っていますか。(それぞれ1つに○)

	内容まで知っている	聞いたことがある	知らない
① ジェンダー (文化的社会的につくられた性別固定的役割意識)	1	2	3
② ドメスティック・バイオレンス (DV) (配偶者やパートナーなどからの暴力)	1	2	3
③ ワーク・ライフ・バランス (仕事と家庭生活・地域活動の両立)	1	2	3
④ リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (性と生殖に関する健康と権利)	1	2	3

◆ 男女がともに能力を発揮できる就業環境について

問20 女性が働くことについてどのように考えますか。次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。(1つに○)

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 結婚や出産・育児にかかわらず、ずっと職業は持ち続ける方がよい     |
| 2 | 出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び職業を持つ方がよい |
| 3 | 子どもができるまでは職業を持つ方がよい                |
| 4 | 結婚をするまでは職業は持つ方がよい                  |
| 5 | 女性は職業を持たない方がよい                     |
| 6 | その他 ( )                            |
| 7 | わからない                              |

問21 あなたは、女性が継続して働く上での課題は何だと思えますか。(〇はいくつでも)

- 1 採用、昇進などにおける男女の格差
- 2 仕事内容における男女の格差
- 3 資質・能力を高めるための資格取得機会の不備
- 4 賃金の男女格差
- 5 長時間労働
- 6 育児・介護休業の制度が整っていない
- 7 育児・介護施設の不足
- 8 育児・介護休業が取得しにくい環境
- 9 結婚・出産退職等の慣行
- 10 女性が働き続けることに反対する職場の雰囲気
- 11 家族に反対されたり、協力が得られない
- 12 女性自身の就業意欲が低い
- 13 男性が育児・介護休業をとることへの無理解
- 14 その他 ( )
- 15 特にない
- 16 わからない

◆ ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）について

問22 次にあげる事柄は、主にどなたがしていますか。(それぞれ1つに〇)

	主に妻	主に妻だが、夫も分担	夫と妻が同じくらい	主に夫だが、妻も分担	主に夫	その他の人	単身等で自分が行う	該当しない
① 掃除、洗濯、食事の支度など	1	2	3	4	5	6	7	8
② ゴミ出しなどの簡単な家事	1	2	3	4	5	6	7	8
③ 日々の家計の管理	1	2	3	4	5	6	7	8
④ 高額の商品の購入を決める	1	2	3	4	5	6	7	8
⑤ 生活費を稼ぐ	1	2	3	4	5	6	7	8
⑥ 育児、子どものしつけ	1	2	3	4	5	6	7	8
⑦ 親の世話〈介護〉	1	2	3	4	5	6	7	8
⑧ 自治会などの地域活動	1	2	3	4	5	6	7	8
⑨ 近所とのつきあい	1	2	3	4	5	6	7	8
⑩ 子どもの行事への参加	1	2	3	4	5	6	7	8



問23 あなたが、もし介護が必要になった時、誰に介護してほしいですか。(1つに○)

- 1 配偶者（パートナー）に介護してもらう
- 2 子どもに介護してもらう
- 3 子どもの家族に介護してもらう
- 4 その他の親族に介護してもらう
- 5 友人・知人に介護してもらう
- 6 ホームヘルパー（家事援助者）に介護してもらう
- 7 介護施設に入り介護してもらう
- 8 その他（ ）

問24 ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）を実現するために、職場で必要だと思う取り組みは何ですか。(○はいくつでも)

- 1 仕事のやり方が変わること
- 2 仕事の量が少なくなること
- 3 職場の雰囲気が変わること（帰宅のしやすさなど）
- 4 配偶者が家事・育児・介護に参加してくれること
- 5 育児休業や短時間勤務など、仕事と家事・育児・介護を両立するための制度が整備されること
- 6 育児休業や短時間勤務といった制度の利用が、キャリアにおけるハンデとならないこと
- 7 保育所など仕事と家事・育児・介護を両立するための施設が整備されること
- 8 その他（ ）
- 9 特にない・わからない

問25 生活の中での、「仕事」「家庭生活」「地域・個人の生活」の優先度について、あなたの希望に最も近いものはどれですか。学生においては、仕事を学業とおきかえてお答えください。(1つに○)

- 1 「仕事」を優先したい
- 2 「家庭生活」を優先したい
- 3 「地域・個人の生活」を優先したい
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい
- 8 わからない

問26 それでは、あなたの現実(現状)に最も近いものはどれですか。(1つに○)

- 1 「仕事」を優先している
- 2 「家庭生活」を優先している
- 3 「地域・個人の生活」を優先している
- 4 「仕事」と「家庭生活」をともに優先している
- 5 「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 6 「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 7 「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している
- 8 わからない

◆ 性的マイノリティについて

問27 あなたは性的マイノリティ(またはLGBT)という言葉を知っていますか。

(1つに○)

- 1 はい
- 2 いいえ

問28 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、偏見や差別などにより生活しづらい社会だと思いますか。あなたの考えに最も近いものをお答えください。（1つに○）

- 1 思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらかといえば思わない
- 4 思わない
- 5 わからない

→ 問28で「1 思う」または「2 どちらかといえば思う」に○をつけた方にうかがいます。

問29 性的マイノリティの方々に対する偏見や差別をなくし、性的マイノリティの方々が生活しやすくなるためにどのような対策が必要だと思いますか。（○はいくつでも）

- 1 行政が市民等へ周知啓発を行う
- 2 相談窓口を充実させ、その存在を周知する
- 3 生徒や市民への対応を想定し、小中学校などの学校教員や行政職員への研修等を行う
- 4 法律等に、性的マイノリティの方々への偏見や差別解消への取り組みを明記する
- 5 当事者や支援団体、行政等を交えた連絡、意見交換を行う
- 6 働きやすい職場環境づくりの取り組みをする
- 7 わからない
- 8 その他（ ）

男女共同参画についてのあなたのご意見を回答用紙にお書きください。


お忙しいところ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。  
同封の返信用封筒（切手不要）に入れて8月9日（金）までにご投函願います。



## VI 調査票【事業所意識調査】

令和元年度（事業所意識調査）

## 富士宮市 男女共同参画に関するアンケート

## 【調査へのご協力をお願い】

日ごろから、市政の推進にご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

富士宮市では、男女が互いにその人権を尊重し、それぞれの個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指しています。

このたび、男女共同参画プランの見直しをするにあたり、男女共同参画に関する意識について調査を行うこととなりました。

なお、このアンケートは市内の事業所から無作為に抽出した200社を対象にお願いするものです。

つきましては、貴社にアンケートを郵送させていただきましたが、このアンケートは無記名であり、回答いただいた情報やご意見は、調査の目的以外で使用されることはありません。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月 富士宮市長

須藤秀忠

## 記入上のお願い

- ◎ 御記入は、事業所の総務・人事等の御担当者をお願いします。
- ◎ 回答は、回答欄のあてはまる番号を○で囲むか、数値を直接ご記入ください。  
人数等を記入する欄は、該当者がいない場合は、空白のままにせず「0」をご記入ください。
- ◎ 回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、( )内に具体的にご記入ください。
- ◎ ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒（切手不要）に入れて8月9日（金）までにご投函願います。
- ◎ 問い合わせ先 富士宮市市民部市民交流課 女性が輝くまちづくり推進室

TEL 22-1307

◆ 事業所の状況についておたずねします。

問1 事業分類 (○は1つ)	1 建設業 2 製造業 3 電気・ガス・熱供給・水道業 4 運輸・郵便業 5 卸売業・小売業 6 金融・保険業 7 サービス業 8 その他 ( )				
注)「7 サービス業」には、「情報通信業」「不動産業、物品賃貸業」「学術研究、専門・技術サービス業」「宿泊業、飲食サービス業」「生活関連サービス業、娯楽業」「教育、学習支援業」「医療、福祉」「複合サービス事業」「サービス業(他に分類されないもの)」を含みます。					
問2 常用雇用者数 (令和元年6月30日現在)		正社員	パートタイム労働者	その他の労働者	
	男性	( )人	( )人	( )人	
	女性	( )人	( )人	( )人	
注) 本社・支社等の区別を問わず、この調査書が届いた事業所に所属する者を対象とします。					
問3 派遣社員数 (令和元年6月30日現在)	男性	注) 派遣会社との契約に基づく派遣社員がいる場合にご記入ください。		( )人	
	女性			( )人	
問4 労働組合の有無 (○は1つ)		1 有		2 無	
問5 平均勤続年数 (四捨五入して、小数点第1位まで)		正社員	パートタイム労働者	その他の労働者	派遣社員
	男性	( )年	( )年	( )年	( )年
	女性	( )年	( )年	( )年	( )年
	計	( )年	( )年	( )年	( )年
問6 雇用者数の推移 (5年前と比較) (それぞれ1つに○)			増加した	減少した	変わらない
	正社員		1	2	3
	パートタイム労働者		1	2	3
	その他(契約社員等)		1	2	3
	派遣社員		1	2	3

◆ 女性の雇用について

問7 管理職及び女性管理職の人数をご記入ください。(該当者がいない場合は〇と記入)

管理職区分	管理職 の数	
		うち女性の数
役員	( )人	( )人
部長相当職	( )人	( )人
課長相当職	( )人	( )人
係長相当職	( )人	( )人

注) 管理職について

- ・企業の組織系列の各部署において、配下の係員等を指揮監督する役職のほか、専任職、スタッフ管理職等と呼ばれている役職を含みます。
- ・部長・課長等の役職名を採用していない場合など、貴事業所の実態により、どの区分に該当するか適宜判断してください。
- ・係長相当職には主任クラスを含みます。

問8 女性職員を管理職に登用することについてどう思いますか。(〇は1つ)

- 1 女性の管理職への登用は必要であり、積極的な方策を取る必要がある
- 2 女性の管理職への登用は必要だが、自然増に任せるべきである
- 3 現状以上に女性の管理職への登用を増やす必要はない
- 4 女性を管理職にする必要はない
- 5 わからない

問9 貴事業所で女性の管理職への登用を増やすための課題はなんですか。

(〇はいくつでも)

- 1 必要な知識や経験、判断力等を有する女性がいらない
- 2 将来就く可能性のある者はいるが、現在、役職に就くための在職年数等を満たしている者がいない
- 3 勤続年数が短く、役職になるまでに退職してしまう者が多い
- 4 時間外労働が多い、または深夜業務があるため敬遠する
- 5 出張、転勤等に対応できない
- 6 顧客が女性管理職をいやがる
- 7 家庭があるので責任ある仕事に就けられない
- 8 仕事がハードで女性には体力的・精神的にきつい
- 9 女性が希望しない
- 10 上司・同僚・部下となる者が女性管理職を希望しない
- 11 その他 ( )
- 12 特にない

問10 女性を活用するための取り組みとして貴事業所で実施しているものはありますか。  
(それぞれ1つに○)

取組事項	取組状況	実施している	実施予定なし	今後の実施を検討
①性別により評価することがないよう人事の基準を明確に定める		1	2	3
②仕事と家庭との両立のための制度を整えて活用を促進する		1	2	3
③女性の活用に関する担当者や責任者を選任するなどの体制を整える		1	2	3
④女性がいない又は少ない役職に女性が従事するための教育訓練を行って女性の登用を推進する		1	2	3
⑤女性の体力面での差を補う設備・器具を導入する		1	2	3
⑥女性の活用状況や活用にあたっての問題点の調査分析を行う		1	2	3
⑦管理職や同僚の男性に女性活用の重要性についての啓発を行う		1	2	3
⑧女性従業員の活躍をホームページや社内報で紹介する		1	2	3
⑨その他の取り組み ( )				

◆ 各種ハラスメント対策について

問11 職場におけるセクシュアル・ハラスメントやパワー・ハラスメント等の各種ハラスメント対策について、あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つに○)

取組事項	取組状況	行っている	行っていない	
				取り組む予定あり
①会社の姿勢や防止のための対策等を社内規定等で従業員に明示している		1	2	3
②従業員が留意すべき事項に関して、研修等により啓発している		1	2	3
③苦情・相談体制を整備し、従業員に周知している		1	2	3
④従業員からの苦情・相談があった場合には、真摯かつ迅速に対応している		1	2	3
⑤その他の取り組み ( )				



◆ 育児・介護休業制度について

問12 育児休業制度・介護休業制度の状況についておたずねします。

①育児休業制度の規定 (令和元年6月30日現在)	1 規定がある →設問②～⑥へ	2 規定がない →設問④～⑥へ
-----------------------------	--------------------	--------------------

## 育児休業制度の内容

②正社員以外の育児休業の取得	1 (雇用期間や勤務条件により) できる	2 できない			
③育児休業の期間	1 法定期間	2 法定を超える期間			
④育児休業の取得状況					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28～30年度の 利用後の退職者数	
女性	取得者数	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
	期間の平均	( ) 年 ( ) 月 (1人あたり)			
男性	取得者数	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
	期間の平均	( ) 年 ( ) 月 (1人あたり)			
⑤育児のための短時間勤務制度	1 ある(子が( )歳まで)	2 ない			
⑥所定外労働の免除	1 ある(子が( )歳まで)	2 ない			

⑦介護休業制度の規定 (令和元年6月30日現在)	1 規定がある →設問⑧～⑪へ	2 規定がない →設問⑩～⑪へ
-----------------------------	--------------------	--------------------

## 介護休業制度の内容

⑧正社員以外の介護休業の取得	1 (雇用期間や勤務条件により) できる	2 できない			
⑨介護休業の期間	1 法定期間	2 法定を超える期間			
⑩介護休業の取得状況					
	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成28～30年度の 利用後の退職者数	
女性	取得者数	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
	期間の平均	( ) 年 ( ) 月 (1人あたり)			
男性	取得者数	( ) 人	( ) 人	( ) 人	( ) 人
	期間の平均	( ) 年 ( ) 月 (1人あたり)			
⑪介護のための短時間勤務制度	1 ある	2 ない			

問13 育児・介護休業制度が定着するための主な課題はなんですか。(〇は2つまで)

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | 休業中の代替要員の確保             |
| 2 | 復帰後の代替要員の処遇             |
| 3 | 休業中の賃金保証                |
| 4 | 復帰後のポストなどの受け入れ体制        |
| 5 | 人事ローテーション等でカバーするときの業務分担 |
| 6 | 利用者、非利用者間の不公平感の是正       |
| 7 | その他 ( )                 |
| 8 | わからない                   |

◆ 仕事と家庭の両立支援について

問14 仕事と家庭の両立支援として実施しているものはありますか。(それぞれ1つに〇)

①育児・介護休業法や支援制度のアピール	1 している	2 していない
②フレックスタイム制度	1 ある	2 ない
③男性の育児休業取得の推進	1 している	2 していない
④育児・介護に要する経費の援助	1 ある	2 ない
⑤休業中の職業能力向上のための講習等	1 ある	2 ない
⑥休業後の職場復帰にあたり研修等の実施	1 ある	2 ない
⑦育児・介護等で退職した人のための再雇用制度	1 ある	2 ない
⑧静岡県の「男女共同参画社会づくり」宣言事業所・団体についての活用	1 考える	2 考えない
⑨このとりカンパニー認証制度	1 受けている	2 受けていない
⑩その他 ( )		

注) フレックスタイム制とは、労使間の協定により労働者が一週間、一か月などを単位にして一定の時間帯の中で勤務の開始と終了を自由に選択できる制度。

注) 静岡県「男女共同参画社会づくり」宣言事業とは、従業員の個性と能力の発揮や育児・介護と仕事の両立支援などに積極的に取り組むことを宣言した企業等を県が登録し、広くPRしていきます。

◆ 性的マイノリティについて

問15 現在、性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、働きやすい職場づくりに取り組んでいますか。（○は1つ）

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問16 性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、働きやすい職場にするために市や県に支援してほしいことはなんですか。（○はいくつでも）

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 1 従業員の相談支援          |   |
| 2 企業の人事担当を対象とした相談支援 |   |
| 3 トイレ等の施設整備等に係る支援   |   |
| 4 従業員の教育や啓発活動の支援    |   |
| 5 交流会や居場所づくりの支援     |   |
| 6 その他（              | ） |
| 7 特にない              |   |

お忙しいところ調査にご協力いただき、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒（切手不要）に入れて 8月9日（金） までにご投函願います。



## VII 調査票【市民意識調査（中学生用）】

令和元年度（市民意識調査）

富士宮市 男女共同参画に関するアンケート  
(中学生用)

## 【調査へのご協力をお願い】

富士宮市では、男女が互いにその人権を尊重し、それぞれの個性と能力を發揮できる男女共同参画社会の実現を目指しています。

このたび、男女共同参画プランの見直しをするにあたり、市民の皆様の男女共同参画に関する意識について調査を行うこととなりました。

つきましては、中学生の皆様にもアンケートをお願いします。

このアンケートは無記名であり、回答いただいた皆様の情報やご意見は、調査の目的以外で使用されることはありません。

このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年7月 富士宮市長 須藤秀忠

## 記入上のお願い

- ◎ 名前を記入する必要はありません。
- ◎ 回答は、回答欄のあてはまる番号を○で囲んでください。
- ◎ 回答が「その他」の場合は、番号に○をつけ、( )内に具体的にご記入ください。
- ◎ 記入が済みましたら、先生にご提出ください。
- ◎ 問い合わせ先 富士宮市市民部市民交流課 女性が輝くまちづくり推進室

TEL 22-1307

◆ あなたご自身のことについておたずねします。

問1 あなたの性別はどちらですか。(1つに○)

1 男性	2 女性
------	------

問2 あなたの家族構成はどれにあてはまりますか。(1つに○)

1 親と子の二世帯世帯	2 祖父母・親・子の三世帯世帯
3 その他 ( )	

問3 あなたの家で働いている人は誰ですか。(○はいくつでも)

1 母	2 父	3 祖母
4 祖父	5 姉	6 兄
7 その他 ( ) 8 誰も働いていない		

◆ 学校生活での平等感についておたずねします。

問4 あなたの学校、または、クラスで、次の項目についてどのようですか。

(それぞれ1つに○)

	よくある	時々ある	あまりない	まったくない	わからない
①男子が女子をからかう	1	2	3	4	5
②女子が男子をからかう	1	2	3	4	5
③異性の子と話しにくい雰囲気がある	1	2	3	4	5
④女子は「さん」、男子は「くん」づけで先生が話す	1	2	3	4	5
⑤細かい整理整頓は女子、力仕事は男子がする	1	2	3	4	5
⑥異性の先生と話しにくい	1	2	3	4	5
⑦悩みなどは同性の先生に相談する	1	2	3	4	5

問5 次のことは、男女のどちらに適していると思いますか。(それぞれ1つに○)

	女子の方	男子の方	どちらとも いえない
①生徒会の会長	1	2	3
②生徒会の副会長	1	2	3
③生徒会の書記(総務)	1	2	3
④応援団長	1	2	3
⑤合唱の指揮者	1	2	3
⑥合唱の伴奏者	1	2	3

問6 技術・家庭科の授業について、次の中からあてはまるものを選んでください。

(それぞれ1つに○)

	そう思う	少し そう思う	そう 思わない	わからない
①技術・家庭科を学習して、自分の生活や社会に対しての問題意識を持つようになった	1	2	3	4
②技術・家庭科を学習することによって、今後、家事に取り組む男性が増えるようになる	1	2	3	4

◆ 友達との関係についておたずねします。

問7 次の項目で、あなたに対して、好きな異性に、とってほしいと思うことを選んでください。(それぞれ1つに○)

	そう思う	少し そう思う	そう 思わない	わからない
①メール・SNSには、すぐ返信する	1	2	3	4
②異性の友達とは話さない	1	2	3	4
③異性の友達のアドレス・フレンドは消す	1	2	3	4
④自分の言ったとおりにする	1	2	3	4

問8 次の項目で、自分がなりたいタイプを選んでください。(○はいくつでも)

1 素直な人	2 みんなをまとめることができる人
3 優しい人	4 自分らしさを持っている人
5 頼りになる人	6 明るい人
7 たくましい人	8 楽しい人
9 その他 ( )	

問9 次の項目で、好きな異性の友達のタイプを選んでください。(○はいくつでも)

1 素直な人	2 みんなをまとめることができる人
3 優しい人	4 自分らしさを持っている人
5 頼りになる人	6 明るい人
7 たくましい人	8 楽しい人
9 その他 ( )	

◆ 親との関係についておたずねします。

問10 次の項目で、いちばんあてはまると思う人を選んでください。(それぞれ1つに○)

	お父さん	お母さん	その他の人	だれとも ない
①友達のことについて話をする	1	2	3	4
②社会の出来事について話をする	1	2	3	4
③異性のことについて話をする	1	2	3	4
④勉強を教えてくれる	1	2	3	4
⑤手伝いをする	1	2	3	4
⑥一緒にテレビを見る	1	2	3	4
⑦一緒に買い物に出かける	1	2	3	4
⑧休日と一緒に遊ぶ	1	2	3	4
⑨ほめられる	1	2	3	4
⑩しかられる	1	2	3	4

◆ 家庭生活についておたずねします。

問11 身の回りのことについて、あてはまるものを選んでください。(それぞれ1つに○)

	いつも	時々	あまりない	全然ない
①朝一人で起きる	1	2	3	4
②自分の身の回りの整理や部屋を片付ける	1	2	3	4
③自分の靴を洗う	1	2	3	4
④食事の支度や片付けをする	1	2	3	4
⑤掃除や洗濯をする	1	2	3	4
⑥自分の小遣いを計画的に管理する	1	2	3	4
⑦家の人のお使いや世話をする	1	2	3	4
⑧ボランティア活動等に参加する	1	2	3	4

問12 次の①～⑩は主に誰がしていますか。主にしている人の番号を選んでください。  
(それぞれ1つに○)

①掃除、洗濯、食事の支度など

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他 (	)		10 誰もしていない



## ②ゴミ出しなどの簡単な家事

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他（	）		10 誰もしていない

## ③日々の家計の管理

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他（	）		10 誰もしていない

## ④高額の商品の購入を決める

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他（	）		10 誰もしていない

## ⑤生活費を稼ぐ

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他（	）		10 誰もしていない

## ⑥育児、子どものしつけ

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他（	）		10 誰もしていない

## ⑦親の世話〈介護〉

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他（	）		10 誰もしていない

## ⑧自治会などの地域活動

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他（	）		10 誰もしていない

## ⑨近所とのつきあい

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他（	）		10 誰もしていない

⑩子どもの行事への参加

1 あなた自身	2 母	3 父	4 祖母
5 祖父	6 兄弟	7 姉妹	8 みんなで協力して
9 その他 (	) 10 誰もしていない		

◆ 「女らしさ」「男らしさ」などに関しておたずねします。

問13 あなたは、女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われたことがありますか。

(1つに○)

1 ある	2 ない	3 わからない
------	------	---------

問13-1と問13-2は、問13で「1 ある」に○をつけた方にうかがいます。

→問13-1 女・男「らしく、なのに、のくせに」と言われた時の感じ方について、あてはまるものを選んでください。(1つに○)

1 いやだと思った	2 仕方がないと思った
3 何とも思わなかった	4 わからない

→問13-2 女・男「らしく、なのに、のくせに」と言う人は誰ですか。(○はいくつでも)

1 母	2 父	3 祖母
4 祖父	5 姉妹	6 兄弟
7 女の友達や上級生	8 男の友達や上級生	9 女の先生
10 男の先生	11 近所の人	12 親戚の人
13 その他 (	)	

問14 次のことについてどのように思いますか。あてはまるものを選んでください。

(それぞれ1つに○)

	女子の方があてはまる	男子の方があてはまる	どちらも差がない	わからない
①スポーツが得意	1	2	3	4
②やさしい	1	2	3	4
③たよりになる	1	2	3	4
④すなお	1	2	3	4
⑤ねばり強い	1	2	3	4
⑥皆をまとめるのがうまい	1	2	3	4
⑦創造性がある	1	2	3	4
⑧視野が広い	1	2	3	4

問15 あなたは、ふだんの意識の中に「女らしく」「男らしく」はあると思いますか。

(1つに○)

- |        |         |
|--------|---------|
| 1 思う   | 2 少し思う  |
| 3 思わない | 4 わからない |

問16 あなたは「男女共同参画社会」という言葉についてご存知ですか。(1つに○)

- |                    |              |
|--------------------|--------------|
| 1 知っているし、意味もわかっている | 2 言葉だけは知っている |
| 3 知らない             |              |

◆ 性的マイノリティについておたずねします。

問17 あなたは性的マイノリティ（またはLGBT）という言葉を知っていますか。

(1つに○)

- |      |       |
|------|-------|
| 1 はい | 2 いいえ |
|------|-------|

問18 性的マイノリティ（またはLGBT）の方々にとって、暮らしやすい社会の実現が必要だと思えますか。(1つに○)

- |                |
|----------------|
| 1 思う           |
| 2 どちらかといえば思う   |
| 3 どちらかといえば思わない |
| 4 思わない         |
| 5 わからない        |

◆ 将来のことについておたずねします。

問19 あなたは、将来働く理由についてどのように考えますか。(○はいくつでも)

- |                  |               |
|------------------|---------------|
| 1 経済的な理由のため      | 2 家族や家庭のため    |
| 3 社会の役に立つため      | 4 自分の才能を伸ばすため |
| 5 大人になって働くのは当たり前 | 6 その他 ( )     |
| 7 わからない          |               |

問20 あなたは、進路や職業の選択に性別を意識すると思いますか。(1つに○)

- |                    |                   |
|--------------------|-------------------|
| 1 性別をかなり意識する       | 2 どちらかといえば性別を意識する |
| 3 どちらかといえば性別を意識しない | 4 性別をほとんど全く意識しない  |
| 5 わからない            |                   |

問21 あなたは、結婚についてどのように考えますか。(1つに○)

- |   |                         |
|---|-------------------------|
| 1 | ある程度の年齢がきたら結婚したい        |
| 2 | 結婚しようと思う相手にめぐり会えたら結婚したい |
| 3 | 自由を束縛されたくないから結婚したくない    |
| 4 | 親と暮らしていた方が楽だから結婚したくない   |
| 5 | 特に考えてない                 |
| 6 | その他 ( )                 |

問22 女性が働くことについて、次の中からあなたの考えに近いものを選んでください。  
(1つに○)

- |   |                                    |
|---|------------------------------------|
| 1 | 結婚や出産・育児にかかわらず、ずっと職業は持ち続ける方がよい     |
| 2 | 出産・育児期間は仕事をやめ、子どもが成長したら再び職業を持つ方がよい |
| 3 | 子どもができるまでは職業を持つ方がよい                |
| 4 | 結婚をするまでは職業は持つ方がよい                  |
| 5 | 女性は職業を持たない方がよい                     |
| 6 | その他 ( )                            |
| 7 | わからない                              |

男女共同参画についてのあなたのご意見を回答用紙にお書きください。


長時間、調査にご協力いただきまして大変ありがとうございました。

この調査結果は、今後、富士宮市の男女共同参画を推進する  
基礎データとして有効に活用させていただきます。

富士宮市 男女共同参画に関するアンケート

調査結果報告書

令和元年10月

富士宮市

富士宮市 市民部 市民交流課 女性が輝くまちづくり推進室

〒418-8601 富士宮市弓沢町150番地

TEL : 0544-22-1307